科目名	Intensive English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太、正田　久美	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	中山　周作、田中　浩	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	土田　智佳子	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	**ISBN**	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	10	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	伊藤　美幸	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	正田　久美、岩男　久仁子	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	**ISBN**	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	10	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	
この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、本多　真	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	中山　周作、森元　奈菜	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	**ISBN**	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	10	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R　I	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞、本多　善	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、① 英語の基礎的レベルを徹底的に理解し、それらの知識(文法／語彙)を用いて基本的な英文を書けるようになる、② 多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Everyday English Grammar、水島孝司・Roger Pattimore、南雲堂、2018年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178620 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③4月・7月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 テキスト「英文法の基礎知識」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))	事後学修 英文法演習:Unit 1(be動詞(現在形))、Unit 3(be動詞(過去形))語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(文の要素と品詞)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))	事後学修 英文法演習:Unit 2(一般動詞(現在形))、Unit 4(一般動詞(過去形、規則変化))、Unit 5(一般動詞(過去形、不規則変化))語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 2(動詞)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(動詞)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)	事後学修 英文法演習:Unit 16(形容詞)、Unit　17(副詞)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（形容詞・副詞）語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 22（不定詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 4（前置詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（前置詞）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）	事後学修 英文法演習：Unit 23（動名詞）、Unit 24（分詞）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（動名詞・不定詞・分詞）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 13（名詞・冠詞）、Unit 14（代名詞）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（名詞・代名詞）	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）	事後学修 英文法演習：Unit 8（前置詞）、Unit 20（接続詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））	事後学修 リーディング演習：Unit 7（つなぐ言葉（接続詞・前置詞））語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11・12（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 11・12（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（広告・お知らせを読む）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 21（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 21（受動態）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 9（記事を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（記事を読む）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 25（現在完了）	事後学修 英文法演習：Unit 25（現在完了）語彙・文法復習 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Eメール・手紙を読む）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ボイキン 舞、本多 善	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法／語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①NEW GATEWAY TO THE TOEIC® L&R TEST 新 イラスト・図解で学ぶTOEIC® L&R テスト はじめの一歩, 金星堂, 仲川 浩世他, 2021年	ISBN	①9784764741263
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	60	①中間レビュークイズ 30% ②期末レビュークイズ 30%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修:テキスト「本書の構成・TOEIC L&R Testについて」熟読	2時間
第2回	オンデマンド	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修:テキスト「本書の構成・TOEIC L&R Testについて」熟読	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 2 Part 5(品詞)・Part 7(Eメール)	事後学修:Unit 2 Part 5(品詞)・Part 7(Eメール)語彙・文法復習	2時間
第4回	オンデマンド	リーディング演習:Unit 2 Part 1(現在進行形に注意する)・Part 2(自然な受け答えを探す)	事後学修:Unit 2 Part 1(現在進行形に注意する)・Part 2(自然な受け答えを探す)語彙・文法復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 3 Part 5(時制)・Part 7(宣伝文)	事後学修:Unit 3 Part 5(時制)・Part 7(宣伝文)語彙・文法復習	2時間
第6回	オンデマンド	リーディング演習:Unit 3 Part 1(時制に注意する)・Part 3(空港での会話)	事後学修:Unit 3 Part 1(時制に注意する)・Part 3(空港での会話)語彙・文法復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4 Part 5(自動詞・他動詞)・Part 7(告知文)	事後学修:Unit 4 Part 5(自動詞・他動詞)・Part 7(告知文)語彙・文法復習	2時間
第8回	オンデマンド	リーディング演習:Unit 4 Part 1(1人の人物が写っている写真の集合)・Part 3(交通情報のアナウンス)	事後学修:Unit 4 Part 1(1人の人物が写っている写真の集合)・Part 3(交通情報のアナウンス)語彙・文法復習	2時間
第9回	対面	英文法演習:Unit 5 Part 5(主語と動詞の一致)・Part 7(アンケート)	事後学修:Unit 5 Part 5(主語と動詞の一致)・Part 7(アンケート)語彙・文法復習	2時間

第10回	オンデマンド	リーディング演習：Unit 5 Part 1（身体的な特徴や服装に注意する）・Part 3（WH疑問文）	事後学修：Unit 5 Part 1（身体的な特徴や服装に注意する）・Part 3（WH疑問文）語彙・文法復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 6 Part 5（受動態）・Part 7（新聞記事）	事後学修：Unit 6 Part 5（受動態）・Part 7（新聞記事）語彙・文法復習	2時間
第12回	オンデマンド	リーディング演習：Unit 6 Part 1（人物の動作や行為に注意する）・Part 3（WH疑問文）	事後学修：Unit 6 Part 1（人物の動作や行為に注意する）・Part 3（WH疑問文）語彙・文法復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修：中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	オンデマンド	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修：中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）見直し 英文法演習：Unit 7 Part 5（不定詞・動名詞）・Part 7（メッセージチェーン）	事後学修：中間レビュークイズ（英文法）の復習、Unit 7 Part 5（不定詞・動名詞）・Part 7（メッセージチェーン）語彙・文法復習	2時間
第16回	オンデマンド	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 7 Part 1（There is/are … 構文）・Part 4（パーティでのスピーチ）	事後学修：中間レビュークイズ（リーディング）の復習、Unit 7 Part 1（There is/are … 構文）・Part 4（パーティでのスピーチ）語彙・文法復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 8 Part 6（分詞）・Part 7（社内メモ／Eメール（Multiple Passages））	事後学修：Unit 8 Part 6（分詞）・Part 7（社内メモ／Eメール（Multiple Passages））語彙・文法復習	2時間
第18回	オンデマンド	リーディング演習：Unit 8 Part 1（複数の人物が写っている写真の場合）・Part 2（Yes/No疑問文）	事後学修：Unit 8 Part 1（複数の人物が写っている写真の場合）・Part 2（Yes/No疑問文）語彙・文法復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 9 Part 5（可算名詞・不可算名詞）・Part 7（求人広告）、Unit 10 Part 5（代名詞）・Part 7（リコールに関する通知文）	事後学修：Unit 9 Part 5（可算名詞・不可算名詞）・Part 7（求人広告）、Unit 10 Part 5（代名詞）・Part 7（リコールに関する通知文）語彙・文法復習	2時間
第20回	オンデマンド	リーディング演習：Unit 9 Part 1（似た音を持つ単語）・Part 3（人事に関する会話）、Unit 10 Part 1（物が主語となる場合）・Part 4（ビジネスに関するトーク）	事後学修：Unit 9 Part 1（似た音を持つ単語）・Part 3（人事に関する会話）、Unit 10 Part 1（物が主語となる場合）・Part 4（ビジネスに関するトーク）語彙・文法復習	2時間
第21回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修：期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第22回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修：期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第23回	対面	英文法演習：Unit 11 Part 5（関係詞）・Part 7（苦情文／謝罪文（Multiple Passages））、Unit 12 Part 6（接続詞・前置詞）・Part 7（申込書）	事後学修：Unit 11 Part 5（関係詞）・Part 7（苦情文／謝罪文（Multiple Passages））、Unit 12 Part 6（接続詞・前置詞）・Part 7（申込書））語彙・文法復習	2時間
第24回	オンデマンド	リーディング演習：Unit 11 Part 1（物が主な被写体となっている写真の場合）・Part 2（付加疑問文）、Unit 12 Part 1（全員に共通する行為に注目する）・Part 3（契約に関する会話）	事後学修：Unit 11 Part 1（物が主な被写体となっている写真の場合）・Part 2（付加疑問文）、Unit 12 Part 1（全員に共通する行為に注目する）・Part 3（契約に関する会話））語彙・文法復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 13 Part 5（比較）・Part 7（スケジュール表）、Unit 14 Part 5（仮定法）・Part 7（求人広告／Eメール（Multiple Passages））	事後学修：Unit 13 Part 5（比較）・Part 7（スケジュール表）、Unit 14 Part 5（仮定法）・Part 7（求人広告／Eメール（Multiple Passages））語彙・文法復習、期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第26回	オンデマンド	リーディング演習：Unit 13 Part 1（人と物の両方が含まれている写真の場合）・Part 4（社内放送）、Unit 14 Part 1（乗り物が被写体となっている写真の場合）・Part 2（平叙文の問いかけ）	事後学修：Unit 13 Part 1（人と物の両方が含まれている写真の場合）・Part 4（社内放送）、Unit 14 Part 1（乗り物が被写体となっている写真の場合）・Part 2（平叙文の問いかけ））語彙・文法復習、期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修：期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修：期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修：期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修：期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中西 亮太、正田 久美	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法／語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus＜15 Unit Edition＞、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	土田 智佳子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法/語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus<15 Unit Edition>、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中山 周作、田中 浩	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法/語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus<15 Unit Edition>、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	伊藤 美幸	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法/語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus<15 Unit Edition>、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多 善、本多 真	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法/語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus<15 Unit Edition>、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	正田 久美、岩男 久仁子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法/語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus<15 Unit Edition>、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中山 周作、森元 奈菜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた英語力としての語彙・文法・読解の基本的スキルの強化		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙、文法、およびリーディング力を向上させることによってTOEICスコアアップを目指します。具体的には、授業ではまず語彙の強化と文法に関する正しい知識の修得を図り、現代社会の多様なテーマについて書かれた英語記事のリーディングを通して英文を読むことに慣れ、キーワードやキーフレーズを見つけ出したり、文法知識の定着とアウトプットの繰り返しによってより正確に読解できるようになることを目的とします。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEIC位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙の強化や文法を正しく理解することで、様々な分野の英文を読む能力を養成します。また基礎的な英文構造についての理解に基づいて問題演習を繰り返し、修得した語彙や文法知識を使い英文を読み解く力を養います。授業を通して、①英語の基礎的レベルを徹底的に理解するだけではなく、それらの知識(文法/語彙)を用いて複雑な英文が書けるようになる、②多様な英文を読み、語彙の拡張と英文の構造・内容を理解できる、③TOEICスコアを向上させる、ことを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Grammar Plus<15 Unit Edition>、Andrew E. Bennett・小宮徹、南雲堂、2016年 ②公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	①9784523178200 ②9784906033607
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 英文法演習:テキスト「ユニットの構成」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:Unit 1～10の復習	2時間
第3回	対面	英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)	事後学修 英文法演習:Unit 1(現在時制)、Unit 2(過去時制)語彙・文法復習	2時間
第4回	対面	リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 11(文書の概要をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第5回	対面	英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)	事後学修 英文法演習:Unit 14(名詞)、Unit 3(代名詞)語彙・文法復習	2時間
第6回	対面	リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)	事後学修 リーディング演習:Unit 12(詳細情報をつかむ)語彙・精読復習	2時間
第7回	対面	英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)	事後学修 英文法演習:Unit 4(進行形)、Unit 6(未来時制)語彙・文法復習	2時間

第8回	対面	リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 13（推測を交えて読む）語彙・精読復習	2時間
第9回	対面	英文法演習：Unit 5（助動詞）	事後学修 英文法演習：Unit 5（助動詞）語彙・文法復習	2時間
第10回	対面	リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）	事後学修 リーディング演習：Unit 14（複数人のやりとりを読む）語彙・精読復習	2時間
第11回	対面	英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）	事後学修 英文法演習：Unit 7（疑問文と付加疑問文）語彙・文法復習	2時間
第12回	対面	リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）	事後学修 リーディング演習：Unit 15（段落ごとの要点をつかむ①）語彙・精読復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（英文法）	事前学修 中間レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学修 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（英文法）の見直し 英文法演習：Unit 8（比較）	事後学修 中間レビュークイズ（英文法）の復習 英文法演習：Unit 8（比較）語彙・文法復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）の見直し リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 16（段落ごとの要点をつかむ②）語彙・精読復習	2時間
第17回	対面	英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）	事後学修 英文法演習：Unit 9（不定詞）、Unit 10（動名詞）語彙・文法復習	2時間
第18回	対面	リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）	事後学修 リーディング演習：Unit 17（複数文書を関連付けて読む①）語彙・精読復習	2時間
第19回	対面	英文法演習：Unit 11（受動態）	事後学修 英文法演習：Unit 11（受動態）語彙・文法復習	2時間
第20回	対面	リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）	事後学修 リーディング演習：Unit 18（複数文書を関連付けて読む②）語彙・精読復習	2時間
第21回	対面	英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）	事後学修 英文法演習：Unit 12（形容詞節）、Unit 13（副詞節）語彙・文法復習	2時間
第22回	対面	リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）	事後学修 リーディング演習：Unit 19（速読方①：スキミング）語彙・精読復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（英文法）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	英文法演習：Unit 15（現在完了形）	事後学修 英文法演習：Unit 15（現在完了形）語彙・文法復習	2時間
第26回	対面	リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）	事後学修 リーディング演習：Unit 20（速読法②：スキャニング）語彙・精読復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（英文法）	事前学修 期末レビュークイズ（英文法）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（英文法）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（英文法）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	テッド　オスティス、シラブ　アナスタシア	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ウェザビ・マーティン、テッド　オスティス、ヒエタラーティ・エレキ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ルーデンクロー・クリス	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	リクター・スティーブ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ウェザビ・マーティン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン、カール・ジョン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、Jeff Bates（補助講師）	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class 1, 2 (1) Communication Spotlight 3rd Edition: Pre-Intermediate ABAX, Alastair Graham-Marr Class 3, 4, 5, 6 (2) Communication Spotlight 3rd Edition: High Beginner ABAX, Alastair Graham-Marr Class 7, 8 (3) Communication Spotlight 3rd Edition: Starter ABAX, Alastair Graham-Marr	ISBN	(1) 9781785470790 (2) 9781785470783 (3) 9781785470776
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。（カバンのなかにしまった状態。）
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S　I	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岩男　久仁子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Communication Spotlight 3rd Edition: Starter, ABAX,　Alastair Graham-Marr,	ISBN	①9781785470776
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline / Unit 0 How do you spell that?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	オンデマンド	Unit 1 Can you open the window?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 Can you open the window? / Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	オンデマンド	Unit 2 I like tea.	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 3 She's studying	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	オンデマンド	Unit 3 She's studying / Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 4 What's the date today?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	オンデマンド	Review Units 1-4	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 5 What do you mean?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	オンデマンド	Unit 5 What do you mean? / Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 6 Where's my phone?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 7 You're going to work? / Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	オンデマンド	Unit 8 When do you have chemistry?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	Review Quiz 1 (Units 1-8)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	オンデマンド	Review Quiz 1 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	Speaking assignment (Student pairs / interview)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	オンデマンド	Unit 9 I can cook!	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 9 I can cook! / Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	オンデマンド	Unit 10 What time do you get up?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 11 How many are there?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	オンデマンド	Unit 11 How many are there? / Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 12 What did you do after school?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	オンデマンド	Review Units 9-12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 13 It's black and white	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 13 It's black and white / Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 14 When does it start?	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	オンデマンド	レビュークイズ2のための復習 (Review Units 0-14)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	オンデマンド	まとめ (Review Quiz 2 – feedback / Reflection on the course)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度春学期
担当者	岩男 久仁子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①World Voices 1, ABAX, Alastair Graham, 2021年	ISBN	①9781785470677
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	オンデマンド	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	オンデマンド	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	オンデマンド	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	オンデマンド	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	オンデマンド	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	オンデマンド	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	オンデマンド	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	オンデマンド	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	オンデマンド	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	オンデマンド	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	オンデマンド	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	オンデマンド	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック：採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	オンデマンド	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ウェザビ・マーティン、ヒエタラーティ・エレキ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック:採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ルーデンクロー・クリス	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック:採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	リクター・スティーブ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック：採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	テッド オスティス、シラブ アナスタシア	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック:採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多 善、Jeff Bates（補助講師）	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。（カバンのなかにしまった状態。）
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック：採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ウェザビ・マーティン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック:採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Intensive English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ミルズ・ジョナサン、カール・ジョン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、基礎知識の強化と運営力の養成		
授業の目的及び概要	この授業は、リスニングとスピーキングの基本的な能力の向上を目的とします。授業では、音声ファイル、映画、会話、その他、多様なリスニング教材を利用し、様々な課題を聞き取る訓練を行います。また、身近なトピックを取り上げることによって、日常における会話が自然な英語で表現できる能力の養成を図ります。英語が通じなかった場合における聞き直しや、他の表現を依頼する等のストラテジーを培い、実践的な英語運用能力を養います。また、意思疎通を効果的に可能にするための語彙、文法、慣用句等の強化を図ります。		
履修の条件・注意	—		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、リスニングとスピーキングの技能に焦点を当てながら、言語的能力及びコミュニケーション技法を高め、より効果的に英語運用能力を修得することを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Classes 7, 8 (1) World Voices 1 ABAX, Alastair Graham Classes 3, 4, 5, 6 (2) World Voices 2 ABAX, Alastair Graham Classes 1, 2 (3) World Voices 3 ABAX, Alastair Graham	ISBN	Class 7, 8 (1) 9781785470677 Class 3, 4, 5, 6 (2) 9781785470684 Class 1, 2 (3) 9781785470691
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course Outline Introductions	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	Unit 1 You – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	Unit 1 You – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	Unit 2 Home – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	Unit 2 Home – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	1時間

第6回	対面	Unit 3 Daily Life – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第7回	対面	Unit 3 Daily Life – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第8回	対面	Unit 4 Neighborhood – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	Unit 4 Neighborhood – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	Unit 5 Work – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	Unit 5 Work – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	Unit 6 Free Time – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	Unit 6 Free Time – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	Review Units 7~12 – Information Exchange Units 1~6 Reading Practice Unit 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ1 Review Quiz 1 Units 1~6	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	レビュークイズ1のフィードバック Unit 7 Food + Drink – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	フィードバック: 採点されたテストの答え合わせ、解説	1時間
第17回	対面	Unit 7 Food + Drink – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	Unit 8 Travel – Learning outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	Unit 8 Travel – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	Unit 9 Education – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	Unit 9 Education – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	Unit 10 Health – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	Unit 10 Health – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	Unit 11 Numbers+Prices Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	Unit 11 Numbers + Prices – Speaking: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	Unit 12 People – Outcomes, Warming up, Monologue Listening, Culture Note, Speaking: Pair work Dictation, Dialogue Listening	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	Unit 12 People – Speaking Practice: Conversation, Listening: linking, Speaking: Mini-Talks, Vocabulary + Grammar, Presentation Review Units 7~12 – Information Exchange Units 7~12; Reading Practice Unit 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ2 Review Quiz 2 Units 7~12	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	レビュークイズ2のフィードバック：採点されたテストの答え合わせ、解説 Review Quiz 2 – Feedback (Return corrected quiz, check and explain answers)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ 、総括 General Summary Overall reflection on and review of the course	総括	1時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉川　真理子、宋　南先	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	土田　智佳子、正田　久美	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	中山　周作、宮﨑　寛	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉見　明子、岩男　久仁子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	正田　久美、宋　南先	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	東條　加寿子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R　I	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	本多　真	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Premium Reader Intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2010年 ②Premium Reader Pre-intermediate、Robert Juppe・馬場幸雄、金星堂、2013年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	**ISBN**	習熟度別テキスト ①9784764739109 ②9784764739093 共通テキスト 9784906033591
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	10	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③7月TOEIC IPテスト:10%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:各Unit「Reading Skills & Strategies」通読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:テキスト「本書の使い方」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Poor Litte Laika)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 1(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Where Did That Idiom Come From?)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 2(Part 1:写真描写問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Heroes from the Canine Kingdom）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 3（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Pack Carefully!）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 4（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（The Many Lives of Yoshikok Yamaguchi）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 5（Part 2：応答問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（Taxation in the 21st Century）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 6（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（The Unusual Secretary... or Secretaries?）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 7（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（Mother Complex）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 8（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（The Death of the Newspaper）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 9（Part 2：応答問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（The Great Escape: Over, Under, or Through the Berlin Wall）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多 真	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ③英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ④TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①THE HIGH ROAD TO THE TOEIC® LISTENING AND READING TEST 全パート横断型 TOEIC® LISTENING AND READINGテスト総合対策, 金星堂, 早川 幸治他, 2017年	ISBN	①9784764740457
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	60	①中間レビュークイズ 30% ②期末レビュークイズ 30%	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「TOEIC L&Rテストについて」熟読	2時間
第2回	オンデマンド	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修:リーディング演習:テキスト「TOEIC L&Rテストについて」熟読	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 6 Part 5(品詞①)・Part 6(代名詞②)・Part 7(答えを推測する問題①)	事後学修:Unit 6 Part 5(品詞①)・Part 6(代名詞②)・Part 7(答えを推測する問題①)語彙・精読復習	2時間
第4回	オンデマンド	リスニング演習:Unit 6 Part 1(光景:現在進行形が使われるパターン)・Part 2(WH疑問文⑤)・Part 3(顧客との取引の流れをおさえる)・Part 4(未来に起こることに注意する)	事後学修:Unit 6 Part 1(光景:現在進行形が使われるパターン)・Part 2(WH疑問文⑤)・Part 3(顧客との取引の流れをおさえる)・Part 4(未来に起こることに注意する)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 1 Part 5(時制)・Part 6(時制①)・Part 7(「目的」は冒頭からつかむ)	事後学修:Unit 1 Part 5(時制)・Part 6(時制①)・Part 7(「目的」は冒頭からつかむ)語彙・精読復習	2時間
第6回	オンデマンド	リスニング演習:Unit 1 Part 1(人物の動作:1人のパターン)・Part 2(WH疑問文①)・Part 3(会話の冒頭分は特に集中する)・Part 4(言い換えに注意する)	事後学修:Unit 1 Part 1(人物の動作:1人のパターン)・Part 2(WH疑問文①)・Part 3(会話の冒頭分は特に集中する)・Part 4(言い換えに注意する)語彙・音声復習	2時間
第7回	対面	リーディング演習:Unit 2 Part 5(主述の一致)・Part 6(時制②)・Part 7(文書の目的を問う問題①)	事後学修:Unit 2 Part 5(主述の一致)・Part 6(時制②)・Part 7(文書の目的を問う問題①)語彙・精読復習	2時間

第8回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 2 Part 1（人物の位置・場所：1人のパターン）・Part 2（WH疑問文②）・Part 3（レストランで使われる表現を覚える）・Part 4（話し手と聞き手を意識する）	事後学修：Unit 2 Part 1（人物の位置・場所：1人のパターン）・Part 2（WH疑問文②）・Part 3（レストランで使われる表現を覚える）・Part 4（話し手と聞き手を意識する）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 3 Part 5（能動態・受動態）・Part 6（接続表現①）・Part 7（NOT問題①）	事後学修：Unit 3 Part 5（能動態・受動態）・Part 6（接続表現①）・Part 7（NOT問題①）語彙・精読復習	2時間
第10回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 3 Part 1（光景・受動態が使われるパターン）・Part 2（WH疑問文③）・Part 3（話題を意識する）・Part 4（ニュースは冒頭をしっかり聞く）	事後学修：Unit 3 Part 1（光景・受動態が使われるパターン）・Part 2（WH疑問文③）・Part 3（話題を意識する）・Part 4（ニュースは冒頭をしっかり聞く）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 4 Part 5（動名詞・不定詞）・Part 6（接続表現②）・Part 7（文を挿入する問題）	事後学修：Unit 4 Part 5（動名詞・不定詞）・Part 6（接続表現②）・Part 7（文を挿入する問題）語彙・精読復習、中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 4 Part 1（人物の動作：2人のパターン）・Part 2（WH疑問文④）・Part 3（場所をイメージする）・Part 4（図表問題は情報を関連づける）	事後学修：Unit 4 Part 1（人物の動作：2人のパターン）・Part 2（WH疑問文④）・Part 3（場所をイメージする）・Part 4（図表問題は情報を関連づける）語彙・音声復習、中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事後学修：Unit 4 Part 1（人物の動作：2人のパターン）・Part 2（WH疑問文④）・Part 3（場所をイメージする）・Part 4（図表問題は情報を関連づける）語彙・音声復習、中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第14回	オンデマンド	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学習：中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 5 Part 5（代名詞）・Part 6（代名詞①）・Part 7（答えを推測する問題①）	事後学修：中間レビュークイズ（リーディング）の復習、Unit 5 Part 5（代名詞）・Part 6（代名詞①）・Part 7（答えを推測する問題①）語彙・精読復習	2時間
第16回	オンデマンド	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 5 Part 1（人物の位置・場所：2人のパターン）・Part 2（WH疑問文⑤）・Part 3（店内での会話のパターンを覚える）・Part 4（ポイントをしぼって待つ）	事後学修：中間レビュークイズ（リスニング）の復習、Unit 5 Part 1（人物の位置・場所：2人のパターン）・Part 2（WH疑問文⑤）・Part 3（店内での会話のパターンを覚える）・Part 4（ポイントをしぼって待つ）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 9 Part 5（比較）・Part 6（文選択①）・Part 7（文書の目的を問う問題②）	事後学修：Unit 9 Part 5（比較）・Part 6（文選択①）・Part 7（文書の目的を問う問題②）語彙・精読復習	2時間
第18回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 9 Part 1（光景：位置関係の表現パターン）・Part 2（Yes / No 疑問文③）・Part 3（広告の予算や効果をおさえる）・Part 4（注目を集める表現に注意する）	事後学修：Unit 9 Part 1（光景：位置関係の表現パターン）・Part 2（Yes / No 疑問文③）・Part 3（広告の予算や効果をおさえる）・Part 4（注目を集める表現に注意する）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 10 Part 5（前置詞）・Part 6（文選択②）・Part 7（意図問題②）	事後学修：Unit 10 Part 5（前置詞）・Part 6（文選択②）・Part 7（意図問題②）語彙・精読復習	2時間
第20回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 10 Part 1（人物の動作」身に着けている表現パターン）・Part 2（付加疑問文）・Part 3（会話の変換点をつかむ）・Part 4（会議の目的をとらえる）	事後学修：Unit 10 Part 1（人物の動作」身に着けている表現パターン）・Part 2（付加疑問文）・Part 3（会話の変換点をつかむ）・Part 4（会議の目的をとらえる）語彙・音声復習	2時間
第21回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修：期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第22回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修：期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第23回	対面	リーディング演習：Unit 11 Part 5（接続詞）・Part 6（時制③）・Part 7（NOT問題②）	事後学修：Unit 11 Part 5（接続詞）・Part 6（時制③）・Part 7（NOT問題②）語彙・精読復習	2時間
第24回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 11 Part 1（人物の動作」抽象的な言い換えパターン）・Part 2（否定疑問文）・Part 3（「トラブル」⇒「解決」の流れをおさえる）・Part 4（聞こえた情報をイメージに変換する）	事後学修：Unit 11 Part 1（人物の動作」抽象的な言い換えパターン）・Part 2（否定疑問文）・Part 3（「トラブル」⇒「解決」の流れをおさえる）・Part 4（聞こえた情報をイメージに変換する）語彙・音声復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 13 Part 5（関係代名詞）・Part 6（接続表現③）・Part 7（答えを推測する問題②）	事後学修：Unit 13 Part 5（関係代名詞）・Part 6（接続表現③）・Part 7（答えを推測する問題②）語彙・精読復習、期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	オンデマンド	リスニング演習：Unit 13 Part 1（人物の動作：推測するパターン）・Part 2（提案・勧誘）・Part 3（「意図問題」は設問を先に読む）・Part 4（次に取るべき行動を聞き取る）	事後学修：Unit 13 Part 1（人物の動作：推測するパターン）・Part 2（提案・勧誘）・Part 3（「意図問題」は設問を先に読む）・Part 4（次に取るべき行動を聞き取る）語彙・音声復習、期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修：期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修：期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修：期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修：期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉川 真理子、宋 南先	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	土田 智佳子、正田 久美	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中山 周作、宮﨑 寛	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	正田 久美、宋 南先	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉見 明子、岩男 久仁子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	東條 加寿子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English W/R Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中西 亮太	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEICスコアアップに向けた、パラグラフリーディングを駆使した英語読解力とアウトプットを通したリスニング力の強化、語彙・表現力の増強		
授業の目的及び概要	英語のパラグラフリーディングの基本を学び、アウトプットの繰り返しによるリスニング力の強化を図ります。構造を意識して英文を読むことによって文章を逐次日本語に訳すことなく英文の一部または全体を読み取る読解力の修得を目指します。同時に、リスニング演習を通して聞き取る力を鍛え、語彙・英語表現力の向上を図ります。また、就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育み、国際通用力を図る基準としてTOEICを位置づけ、国際社会で使える英語技能を備えた英語運用能力を身に付けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①パラグラフの構造を理解し、読解に応用することができる。 ②アウトプットを繰り返し、正しく英語を聴き取れるようになる。 ⑤英語表現及び語彙を修得し、読解およびリスニングに応用することができる。 ⑥TOEICにおけるリーディング・リスニング問題に応用することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の小テストおよび課題で出されるe-Learningについて授業内でのフィードバックを行う。レビュークイズについても授業のなかでフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	習熟度別テキスト(教科書購入の際に習熟度クラスを確認してください) ①Skills for Better Reading 、石谷由美子、南雲堂、2015年 ②Skills for Better Reading –Third Edition–、石谷由美子、南雲堂、2021年 共通テキスト 公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、IIBC、2020年(通年)	ISBN	習熟度別テキスト ①9784523177739 ②9784523179269 共通テキスト 9784906033591
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	①レビュークイズ:50%(25%×2回) ②e-Learning学修:10% ③10月・1月TOEIC IPテスト:10%(5%×2回)	

この科目の履修にあたって	グローバルな社会で活躍するためには、コミュニケーションツールとしての英語力が必要です。また、実践的な英語力を身につけるためには、常に英語に触れる環境が必要です。授業では、英語の基本的能力を身につける学修で英語力の基本を固めつつ、読解演習を通して応用力を培います。毎回の授業では多くの課題が出されます。e-Learning学修による語彙の増強、英文法の確認やリーディング・リスニング問題の予習・復習など、課内だけでなく課外での学修を進めることで、自学自修の習慣を身につけてください。授業では積極的に参加し、発言してください。 学修の成果を測るため、各学期に実施されるTOEIC IPテストを受験してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リーディング演習:テキスト「構文で読む英文エッセイ、ここで扱う4つのエッセイパターン、本書の使い方」熟読	2時間
第2回	対面	オリエンテーション:授業概要、評価方法、授業の進め方の説明	事後学修 リスニング演習:Unit 1～10(Part 1～Part 3)復習	2時間
第3回	対面	リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)	事後学修 リーディング演習:Unit 1(Conclusion/Reasons)語彙・精読復習	2時間
第4回	対面	リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 11(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間
第5回	対面	リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)	事後学修 リーディング演習:Unit 2(Socail Phenomenon)語彙・精読復習	2時間
第6回	対面	リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)	事後学修 リスニング演習:Unit 12(Part 3:会話問題)語彙・音声復習	2時間

第7回	対面	リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）	事後学修 リーディング演習：Unit 3（Result/Cause）語彙・精読復習	2時間
第8回	対面	リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 13（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第9回	対面	リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）	事後学修 リーディング演習：Unit 4（Several Explanations）語彙・精読復習	2時間
第10回	対面	リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 14（Part 3：会話問題）語彙・音声復習	2時間
第11回	対面	リーディング演習：Unit 5（Comparison）	事後学修 リーディング演習：Unit 5（Comparison）語彙・精読復習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第12回	対面	リスニング演習：Unit 15（Part 3：会話問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 10（Part 3：会話問題）語彙・音声復習 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第13回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）	事前学習 中間レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第14回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）	事前学修 中間レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第15回	対面	中間レビュークイズ（リーディング）見直し リーディング演習：Unit 6（For and Against）	事後学修 中間レビュークイズ（リーディング）の復習 リーディング演習：Unit 6（For and Against）語彙・精読復習	2時間
第16回	対面	中間レビュークイズ（リスニング）見直し リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）	事後学修 中間レビュークイズ（リスニング）の復習 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第17回	対面	リーディング演習：Unit 7（Classification）	事後学修 リーディング演習：Unit 7（Classification）語彙・精読復習	2時間
第18回	対面	リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 17（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第19回	対面	リーディング演習：Unit 8（History）	事後学修 リーディング演習：Unit 8（History）語彙・精読復習	2時間
第20回	対面	リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 18（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第21回	対面	リーディング演習：Unit 9（Process）	事後学修 リーディング演習：Unit 9（Process）語彙・精読復習	2時間
第22回	対面	リスニング演習：Unit 19（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 16（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第23回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リーディング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第24回	オンデマンド	期末レビュークイズ（リスニング）に向けたポイント解説・復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第25回	対面	リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）	事後学修 リーディング演習：Unit 10（Cause and Effect）語彙・精読復習 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第26回	対面	リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）	事後学修 リスニング演習：Unit 20（Part 4：説明文問題）語彙・音声復習	2時間
第27回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）	事前学修 期末レビュークイズ（リーディング）に向けた復習	2時間
第28回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）	事前学修 期末レビュークイズ（リスニング）に向けた復習	2時間
第29回	対面	期末レビュークイズ（リーディング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リーディング）の復習	2時間
第30回	対面	期末レビュークイズ（リスニング）見直しと総復習	事後学修 期末レビュークイズ（リスニング）の復習	2時間

科目名	Advanced English L/S Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ルーデンクロー・クリス	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ② Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	カー・クリス、テッド　オスティス、ヒエタラーティ・エレキ	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①　Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ②　Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③　Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	スコット・アレキサンダー	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた, 英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ② Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	リクター・スティーブ	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた, 英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ② Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ハモンズ・ジョアンナ、ウェザビ・マーティン	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ② Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S　Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	アンダーソン・テリー、シラブ　アナスタシア	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①　Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ②　Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③　Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン、カール・ジョン	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた, 英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① Academic Listening & Speaking 1, Alastair Graham-Marr et al., 2015, ABAX (Advanced Classes) ② Top-Up Listening 2 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-074-5 ② 978-1-78547-093-6 ③ 978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	対面	第1章「How have you been?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「How have you been?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	対面	第2章「What time do we arrive?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「What time do we arrive?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「Can I help you, ma'am?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	対面	第４章「What can I get you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「What can I get you?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「Can I speak to Bill, please?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	対面	第６章「Where's the toy department?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	対面	第６章「Where's the toy department?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「Two tickets for tonight's show」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	対面	第８章「Now here's the sports news」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the sports news」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「Final Call for Flight EA42」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	対面	第１０章「First day on the job」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「First day on the job」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「Great party, isn't it?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「I'm interested in taking a course」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	対面	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S Ⅰ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	テッド オスティス	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	2年生においては、学習した知識・技能を更に活かして、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組む。Advanced English L/S Ⅰで習得したスキルは、TOEIC テストでの学習者の成績や日常生活での英語使用に対する自信にも大きく貢献する。春学期(Advanced English L/S Ⅰ)は、読解力に遅れがちなリスニング力に重点が置かれている。リスニング教材、ペアワーク、グループワーク、個別学習を幅広く活用している。ボトムアップ(完全分析)理解を発展させるとともに、トップダウン理解(文脈や先行知識からの理解)の方法も強調される。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた, 英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①Top-Up Listening 1 (2nd Ed.), Chris Cleary et al., 2014, ABAX	ISBN	①978-1-78547-092-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS : 15% E-Learning : 15% Review Quiz 1 : 20% Review Quiz 2 : 20%	
この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第2回	オンデマンド	第1章「Nice to meet you!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第3回	対面	第1章「Nice to meet you!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第4回	オンデマンド	第2章「Could you say that again?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第5回	対面	第2章「Could you say that again?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第6回	オンデマンド	第3章「I've lived here all my life」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間
第7回	対面	第3章「I've lived here all my life」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(1時間程度)を完成すること。	1時間

第8回	オンデマンド	第４章「Do you have a reservation?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第9回	対面	第４章「Do you have a reservation?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第10回	オンデマンド	第５章「I'd like a coffee, please」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第11回	対面	第５章「I'd like a coffee, please」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第12回	オンデマンド	第６章「Can I try this on?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第14回	オンデマンド	第６章「Can I try this on?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第16回	オンデマンド	第７章「When would you like to fly?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第17回	対面	第７章「When would you like to fly?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第18回	オンデマンド	第８章「Now here's the weather」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第19回	対面	第８章「Now here's the weather」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第20回	オンデマンド	第９章「You have six messages」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第21回	対面	第９章「You have six messages」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第22回	オンデマンド	第１０章「Is there a bank near here?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第23回	対面	第１０章「Is there a bank near here?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第24回	オンデマンド	第１１章「How long did you work there?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第25回	対面	第１１章「How long did you work there?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第27回	対面	第１２章「Room service, how can I help you?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第28回	オンデマンド	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間
第30回	オンデマンド	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（1時間程度）を完成すること。	1時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度春学期
担当者	テッド オスティス	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	①978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS : 15% E-Learning : 15% レビュークイズ1: 20% レビュークイズ2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	オンデマンド	第1章「Introductions: Guess what?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Introductions: Guess what?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	オンデマンド	第2章「Other people: Forever friends」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Other people: Forever friends」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	オンデマンド	第3章「Abilities: You can do that?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「Abilities: You can do that?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	オンデマンド	第４章「Routines: A day in the life」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Routines: A day in the life」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第10回	オンデマンド	第５章「Stories: What happened next?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Stories: What happened next?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第12回	オンデマンド	第６章「Extremes: Simply the best!」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第14回	オンデマンド	第６章「Extremes: Simply the best!」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第16回	オンデマンド	第７章「Food: I'll have the reindeer」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Food: I'll have the reindeer」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第18回	オンデマンド	第８章「Appearances: Art attack!」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Appearances: Art attack!」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第20回	オンデマンド	第９章「Hobbies: What do you do in your free time?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Hobbies: What do you do in your free time?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第22回	オンデマンド	第１０章「Suggestions: An amazing place!」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Suggestions: An amazing place!」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第24回	オンデマンド	第１１章「Work: You get paid for that?」（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Work: You get paid for that?」（２）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: That'll never happen!」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第28回	オンデマンド	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ（１）	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間
第30回	オンデマンド	まとめ（２）およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例１時間程度）を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	カー・クリス、ヒエタラーティ・エレキ	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	スコット・アレキサンダー	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ルーデンクロー・クリス	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	リクター・スティーブ	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	アンダーソン・テリー、シラブ アナスタシア	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ハモンズ・ジョアンナ、ウェザビ・マーティン	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	ISBN	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	Advanced English L/S Ⅱ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	ミルズ・ジョナサン、カール・ジョン	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の聴解、会話、文法、語彙を中心に、広い知識と確かな運営力の養成		
授業の目的及び概要	国際学部の2年生においては、学習した知識・技能を更に活かし、英語での講座(EMI)への積極的な参加に必要な技術の発展に取り組みます。秋学期の「Advanced English L/S Ⅱ」は、効果的な学生向けプレゼンテーション、特に情報の取得と処理、および明確で自信のある口頭プレゼンテーションによる情報の伝達に特に重点を置いています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この講座ではまた，英語のスピーチの音韻的特徴や韻律的特徴についても説明し、実践する予定だ。これらのスキルは自然な英語を理解する上で不可欠であり、しばしば理解を妨げるのは語彙や文法ではなく発音である。これらの機能を習得することで、本物の教材を楽しむことができるとともに、学生のTOEICリスニング能力の飛躍的な向上に貢献することが期待されている。秋学期は、EMIの授業に積極的に参加するために必要な4つの英語スキル(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)をすべて実践している。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	① On Task 3, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Advanced Classes) ② On Task 2, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Upper Intermediate and Intermediate Classes) ③ On Task 1, Justin Harris et al., ABAX, 2018 (Foundation Classes)	**ISBN**	① 978-1-78547-073-8 ② 978-1-78547-072-1 ③ 978-1-78547-071-4
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	15	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	15	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	70	PROGOS: 15% E-Learning: 15% Review Quiz 1: 20% Review Quiz 2: 20%	

この科目の履修にあたって	授業には、必ず英和辞典もしくは、電子辞書を持参すること。 授業中は、携帯電話、スマートフォン、及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する。(カバンのなかにしまった状態。)
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	第1章「Communicating: What social media do you use?」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	第2章「Rules: That's not allowed!」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(1)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	第3章「First Meetings: Tell me about yourself」(2)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第9回	対面	第４章「Describing rooms: That's pretty stylish」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第10回	対面	第５章「Past events: When I was little」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第11回	対面	第５章「Past events: When I was little」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第12回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	レビュークイズ１のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第14回	対面	第６章「Education: What subjects do you like?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第15回	対面	レビュークイズ１	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第16回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第17回	対面	第７章「Journeys: Around the world」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第18回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第19回	対面	第８章「Giving advice: What would you do?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第20回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第21回	対面	第９章「Healthy Eating: Hippopotamus soup」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第22回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第23回	対面	第１０章「Numbers: How many people are there?」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第24回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第25回	対面	第１１章「Shopping: Look what I bought!」(２)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第26回	オンデマンド	レビュークイズ２のための復習	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第27回	対面	第１２章「Future goals: I have a dream」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第28回	対面	レビュークイズ２	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第29回	対面	まとめ(１)	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間
第30回	対面	まとめ(２)およびレビュークイズのフィードバック	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例１時間程度)を完成すること。	4時間

科目名	日本語1	開講年度	2023年度春学期
担当者	尹　惠彦、赤城　永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語2の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 1)奥田純子(2020)『読む力初中級』くろしお出版 ②③クラス 2)奥田純子(2011)『読む力中級』くろしお出版 ④⑤クラス 3)奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版	ISBN	1)9784874248270 2)9784874245187 3)9784874245842
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPT申込・受験(5%)	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の振り返り	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語1	開講年度	2023年度春学期
担当者	大倉　瑠美、福本　有希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語2の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 1)奥田純子(2020)『読む力初中級』くろしお出版 ②③クラス 2)奥田純子(2011)『読む力中級』くろしお出版 ④⑤クラス 3)奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版	ISBN	1)9784874248270 2)9784874245187 3)9784874245842
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPT申込・受験(5%)	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の振り返り	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語1	開講年度	2023年度春学期
担当者	福永　佳代子、片岡　浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語2の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 1)奥田純子(2020)『読む力初中級』くろしお出版 ②③クラス 2)奥田純子(2011)『読む力中級』くろしお出版 ④⑤クラス 3)奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版	ISBN	1)9784874248270 2)9784874245187 3)9784874245842
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPT申込・受験(5%)	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の振り返り	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語1	開講年度	2023年度春学期
担当者	大前　晶子、真下　恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語2の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 1)奥田純子(2020)『読む力初中級』くろしお出版 ②③クラス 2)奥田純子(2011)『読む力中級』くろしお出版 ④⑤クラス 3)奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版	ISBN	1)9784874248270 2)9784874245187 3)9784874245842
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPT申込・受験(5%)	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の振り返り	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

<table>
<tr><td>科目名</td><td>日本語1</td><td>開講年度</td><td>2023年度春学期</td></tr>
<tr><td>担当者</td><td>李　光曦</td><td>配当年次</td><td>1234</td></tr>
<tr><td rowspan="2">科目ナンバリング</td><td rowspan="2">科目ナンバリングは下記を参照してください。
https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html</td><td>単位数</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>授業形態(方法)</td><td>演習(語学)</td></tr>
<tr><td>グレード</td><td colspan="3">G1</td></tr>
<tr><td>科目区分</td><td colspan="3">国際学部専門教育科目</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td colspan="3">日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。</td></tr>
<tr><td>授業の目的及び概要</td><td colspan="3">本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。
日本語2の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。
そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。
①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。
②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。
③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。</td></tr>
<tr><td>履修の条件・注意</td><td colspan="3">本科目は留学生を対象とした科目です</td></tr>
<tr><td>DPとの関連</td><td colspan="3">本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。
https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html</td></tr>
<tr><td>学修の到達目標</td><td colspan="3">本科目の到達目標は以下のとおりである。
①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。
②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。
③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。
④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。</td></tr>
<tr><td>授業の方法</td><td colspan="3">この科目は対面授業で行われます。</td></tr>
<tr><td>フィードバックの方法</td><td colspan="3">宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。</td></tr>
<tr><td>アクティブ・ラーニングの取組み</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>実務経験のある教員による授業科目</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td>クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。

①クラス
1)奥田純子(2020)『読む力初中級』くろしお出版

②③クラス
2)奥田純子(2011)『読む力中級』くろしお出版

④⑤クラス
3)奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版</td><td>ISBN</td><td>1)9784874248270
2)9784874245187
3)9784874245842</td></tr>
<tr><td>参考書</td><td colspan="3">―

ISBN</td></tr>
<tr><td>成績評価の方法・基準</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>授業への積極的な参加度・取組み(%)</td><td>5</td><td>授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)</td><td>20</td><td>成果発表(口頭・実技)(%)</td><td>0</td><td>中間試験(%)</td><td>20</td></tr>
<tr><td>【定期試験】レポート試験(%)</td><td>0</td><td>【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)</td><td>30</td><td>その他(%)</td><td>25</td><td colspan="2">JLPTハーフ模試受験(20%)
2023年7月実施のJLPT申込・受験(5%)</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>この科目の履修にあたって</td><td colspan="3">授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！
7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。</td></tr>
<tr><td>オフィスアワー</td><td colspan="3">各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。
※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。</td></tr>
</table>

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の振り返り	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語2	開講年度	2023年度春学期
担当者	福本　有希、井ノ口　智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ②耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ③プリント配布 ④新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年 ⑤新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③なし ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPTの申込・受験(5%)	
この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7・8 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法9-11 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法12-14 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法15 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:中間試験に向けての復習	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験に関する復習 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 2. 文法 unit04 文法29-31 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法32-35 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法36-38 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の復習	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語2	開講年度	2023年度春学期
担当者	ウン テワンダ、橋本 凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ②耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ③プリント配布 ④新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年 ⑤新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③なし ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPTの申込・受験(5%)	
この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7・8 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法9-11 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法12-14 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法15 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:中間試験に向けての復習	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験に関する復習 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 2. 文法 unit04 文法29-31 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法32-35 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法36-38 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の復習	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語2	開講年度	2023年度春学期
担当者	片岡　浩史、菅　摂子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ②耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ③プリント配布 ④新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年 ⑤新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③なし ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPTの申込・受験(5%)	
この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7・8 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法9-11 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法12-14 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法15 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:中間試験に向けての復習	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験に関する復習 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 2. 文法 unit04 文法29-31 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法32-35 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法36-38 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の復習	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語2	開講年度	2023年度春学期
担当者	石倉　綾子、真下　恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ②耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ③プリント配布 ④新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年 ⑤新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③なし ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPTの申込・受験(5%)	
この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7・8 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法9-11 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法12-14 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法15 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:中間試験に向けての復習	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験に関する復習 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 2. 文法 unit04 文法29-31 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法32-35 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法36-38 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の復習	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語2	開講年度	2023年度春学期
担当者	太田　真実、林　美保	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ②耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2, 安藤 栄里子他, アルク, 2010年 ③プリント配布 ④新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年 ⑤新完全マスター文法日本語能力試験N1, 友松 悦子他, スリーエーネットワーク, 2011年	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③なし ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	JLPTハーフ模試受験(20%) 2023年7月実施のJLPTの申込・受験(5%)	
この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7・8 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法9-11 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法12-14 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法15 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:中間試験に向けての復習	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験に関する復習 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 2. 文法 unit04 文法29-31 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法32-35 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法36-38 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング 4. まとめ問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験範囲の復習	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語3	開講年度	2023年度秋学期
担当者	福永　佳代子、橋本　凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語4の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 また、教科書の他に補助的に使うプリントも配布します。 ①クラス ・奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ②クラス ・奥田純子(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ③クラス ・奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版 ④クラス ・目黒真実(2009)『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス ・目黒真実(2010)『上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク	ISBN	①978-4874248270 ②978-4874245187 ③978-4874245842 ④978-4757416222 ⑤978-4757419292
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間テスト内容の復習 事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語3	開講年度	2023年度秋学期
担当者	李 光曦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語4の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 また、教科書の他に補助的に使うプリントも配布します。 ①クラス ・奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ②クラス ・奥田純子(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ③クラス ・奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版 ④クラス ・目黒真実(2009)『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス ・目黒真実(2010)『上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク	ISBN	①978-4874248270 ②978-4874245187 ③978-4874245842 ④978-4757416222 ⑤978-4757419292
参考書	—	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	【その他 20%の内訳】 ①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間テスト内容の復習 事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語3	開講年度	2023年度秋学期
担当者	大前　晶子、片岡　浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語4の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 また、教科書の他に補助的に使うプリントも配布します。 ①クラス ・奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ②クラス ・奥田純子(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ③クラス ・奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版 ④クラス ・目黒真実(2009)『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス ・目黒真実(2010)『上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク	ISBN	①978-4874248270 ②978-4874245187 ③978-4874245842 ④978-4757416222 ⑤978-4757419292
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間テスト内容の復習 事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語3	開講年度	2023年度秋学期
担当者	小谷　真千代、福本　有希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語4の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 また、教科書の他に補助的に使うプリントも配布します。 ①クラス ・奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ②クラス ・奥田純子(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ③クラス ・奥田純子(2013)『読む力 中上級』くろしお出版 ④クラス ・目黒真実(2009)『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス ・目黒真実(2010)『上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク	ISBN	①978-4874248270 ②978-4874245187 ③978-4874245842 ④978-4757416222 ⑤978-4757419292
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験(JLPT)を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間テスト内容の復習 事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語3	開講年度	2023年度秋学期
担当者	大倉　瑠美、赤城　永里子、日本語（補助講師）	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語4の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築き、積極的にディスカッションなどに参加できるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動で必要なスキルを身につける。 ②読んだものを踏まえて、自分なりの考えを他の人に伝える練習を行う。 ③また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテクストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたいが耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテクストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常的および非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 また、教科書の他に補助的に使うプリントも配布します。 ①クラス ・奥田純子（2020）『読む力 初中級』くろしお出版 ②クラス ・奥田純子（2011）『読む力 中級』くろしお出版 ③クラス ・奥田純子（2013）『読む力 中上級』くろしお出版 ④クラス ・目黒真実（2009）『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス ・目黒真実（2010）『上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク	ISBN	①978-4874248270 ②978-4874245187 ③978-4874245842 ④978-4757416222 ⑤978-4757419292
参考書	―	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の中で読んだものを踏まえて、考えて話し合ったり、他の資料などと合わせて、自分なりの考えを発表したりする練習もします。特に大学のゼミの授業で自分の考えをしっかり言えるようになるためにも、日本語の授業の中で積極的に取り組み、練習をしてください。また、授業で使う教材で出てきた言葉や日常生活でよく聞く言葉は、確実に覚えて、言葉も増やしていってください。目標は1年間で5000語です！ 7月と12月にある日本語能力試験（JLPT）を必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間テスト内容の復習 事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間試験	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストに向けた学修	4時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解 3. パラフレーズ演習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語4	開講年度	2023年度秋学期
担当者	太田　真実、菅　摂子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ※既に持っている教科書は再度購入する必要はありません。 ①クラス ・安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ・実践問題のプリントを配布 ②クラス 安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ③クラス ・安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ・実践問題のプリントを配布 ④クラス 友松悦子（2011）『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ⑤クラス ・友松悦子（2011）『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ・実践問題のプリントを配布	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③978-4757418554 ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間試験範囲の振り返り 事前学修:中間試験に向けての学修	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験の振り返り 事前学修:次回授業内容についての復習、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題) 4. 中間テストのフィードバック	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法96-101 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法102-105 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 中間テストのフィードバック 2. 文のタイプ(1) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(2)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(4)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 実践問題(5) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 実践問題(7) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 実践問題(9) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語4	開講年度	2023年度秋学期
担当者	橋本　凜、日本語（補助講師）	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ※既に持っている教科書は再度購入する必要はありません。 ①クラス ・安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ・実践問題のプリントを配布 ②クラス 安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ③クラス ・安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ・実践問題のプリントを配布 ④クラス 友松悦子（2011）『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ⑤クラス ・友松悦子（2011）『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ・実践問題のプリントを配布	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③978-4757418554 ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間試験範囲の振り返り 事前学修:中間試験に向けての学修	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験の振り返り 事前学修:次回授業内容についての復習、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題) 4. 中間テストのフィードバック	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法96-101 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法102-105 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 中間テストのフィードバック 2. 文のタイプ(1) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(2)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(4)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 実践問題(5) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 実践問題(7) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 実践問題(9) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語4	開講年度	2023年度秋学期
担当者	石倉　綾子、真下　恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ※既に持っている教科書は再度購入する必要はありません。 ①クラス ・安藤 栄里子・今川 和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ・実践問題のプリントを配布 ②クラス 安藤 栄里子・今川 和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ③クラス ・安藤 栄里子・今川 和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ・実践問題のプリントを配布 ④クラス 友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ⑤クラス ・友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ・実践問題のプリントを配布	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③978-4757418554 ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間試験範囲の振り返り 事前学修:中間試験に向けての学修	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験の振り返り 事前学修:次回授業内容についての復習、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題) 4. 中間テストのフィードバック	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法96-101 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法102-105 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 中間テストのフィードバック 2. 文のタイプ(1) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(2)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(4)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 実践問題(5) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 実践問題(7) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 実践問題(9) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語4	開講年度	2023年度秋学期
担当者	赤城　永里子、林　美保	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ※既に持っている教科書は再度購入する必要はありません。 ①クラス ・安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ・実践問題のプリントを配布 ②クラス 安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ③クラス ・安藤 栄里子・今川 和（2010）『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ・実践問題のプリントを配布 ④クラス 友松悦子（2011）『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ⑤クラス ・友松悦子（2011）『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ・実践問題のプリントを配布	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③978-4757418554 ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間試験範囲の振り返り 事前学修:中間試験に向けての学修	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験の振り返り 事前学修:次回授業内容についての復習、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題) 4. 中間テストのフィードバック	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法96-101 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法102-105 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 中間テストのフィードバック 2. 文のタイプ(1) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(2)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(4)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 実践問題(5) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 実践問題(7) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 実践問題(9) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語4	開講年度	2023年度秋学期
担当者	福本　有希、井ノ口　智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語運用能力レベル別のクラス編成を行う。 日本語1の学修と合わせて、大学での豊かな人間関係を構築すること、高いレベルのクラスにおいては、大学での専門の学修において、確かな知識を獲得し、大学での学修に必要な日本語運用能力へと向上させることを目的とする。 そのために、日本語の文法を学修し、日本語で表現したり、日本語を聞いて理解できるようになるための基礎を築き、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようになることを目指す。具体的には、以下の学修を行う。 ①クラスに応じて、N3、N2、N1の文法を学修し、それを使って表現できるようにする。 ②また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	宿題を添削して返す。また、中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ※既に持っている教科書は再度購入する必要はありません。 ①クラス ・安藤 栄里子・今川 和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ・実践問題のプリントを配布 ②クラス 安藤 栄里子・今川 和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ③クラス ・安藤 栄里子・今川 和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ・実践問題のプリントを配布 ④クラス 友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ⑤クラス ・友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1 』スリーエーネットワーク ・実践問題のプリントを配布	ISBN	①978-4757418547 ②978-4757418554 ③978-4757418554 ④978-4883195640 ⑤978-4883195640
参考書	学生が購入する教科書の他に、各クラスで補助的に使う教材や演習問題をプリントで配布する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	【その他　20%の内訳】 ①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	必ず合格できるように、毎回の課題に取り組み、復習を確実に行い試験で合格点を取りましょう。 また、JLPTに合格できるように準備をして、7月と12月に行われているJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、スケジュールについて説明する。	事前学修:次回授業内容についての文法や語彙の意味を調べておく。小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	オンデマンド	1. 小テスト 2. 中間試験範囲の振り返り	事後学修:中間試験範囲の振り返り 事前学修:中間試験に向けての学修	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	対面	中間試験	事後学修:中間試験の振り返り 事前学修:次回授業内容についての復習、小テストの準備	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題) 4. 中間テストのフィードバック	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法96-101 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法102-105 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 文脈規定(語彙問題)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 中間テストのフィードバック 2. 文のタイプ(1) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(2)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(4)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 実践問題(5) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 実践問題(7) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 実践問題(9) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	振り返り 定期試験対策	定期試験のための学修	4時間

科目名	日本語5	開講年度	2023年度春学期
担当者	大前　晶子、真下　恭子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語6での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解する、②一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解する、③読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテクストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 ②記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 ③いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテクストを書くことができる。 ④一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確でその場にふさわしい丁寧さで自然にコミュニケーションできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2020)『読む力　初中級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク そのほかプリント配布 ※⑤クラスは日本語3と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①9784874248270 ②9784757416222 ③9784757416222 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストの学修	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト②のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト③のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	春学期振り返り・定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語5	開講年度	2023年度春学期
担当者	尹　恵彦、ソンダ　サンジャヤ	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語6での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解する、②一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解する、③読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテクストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 ②記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 ③いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテクストを書くことができる。 ④一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確でその場にふさわしい丁寧さで自然にコミュニケーションできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2020)『読む力　初中級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク そのほかプリント配布 ※⑤クラスは日本語3と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①9784874248270 ②9784757416222 ③9784757416222 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストの学修	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト②のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト③のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	春学期振り返り・定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語5	開講年度	2023年度春学期
担当者	福永　佳代子、福本　有希	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語6での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解する、②一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解する、③読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテクストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 ②記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 ③いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテクストを書くことができる。 ④一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確でその場にふさわしい丁寧さで自然にコミュニケーションできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2020)『読む力　初中級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク そのほかプリント配布 ※⑤クラスは日本語3と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①9784874248270 ②9784757416222 ③9784757416222 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストの学修	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト②のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト③のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	春学期振り返り・定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語5	開講年度	2023年度春学期
担当者	大倉　瑠美、井ノ口　智佳	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語6での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解する、②一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解する、③読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテクストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 ②記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 ③いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテクストを書くことができる。 ④一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確でその場にふさわしい丁寧さで自然にコミュニケーションできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2020)『読む力　初中級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク そのほかプリント配布 ※⑤クラスは日本語3と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①9784874248270 ②9784757416222 ③9784757416222 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストの学修	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト②のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト③のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	春学期振り返り・定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語5	開講年度	2023年度春学期
担当者	李 光曦、橋本 凜	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語6での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解する、②一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解する、③読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテクストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 ②記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 ③いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテクストを書くことができる。 ④一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確でその場にふさわしい丁寧さで自然にコミュニケーションできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス 奥野純子 監修(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ②クラス 目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス 目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス 目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス 目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク そのほかプリント配布 ※⑤クラスは日本語3と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①9784874248270 ②9784757416222 ③9784757416222 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストの学修	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト②のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 確認テスト③のフィードバック 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	春学期振り返り・定期試験対策	事後学修:定期試験に向けた勉強	4時間

科目名	日本語6	開講年度	2023年度春学期
担当者	井藁　久美子、大﨑　桂子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりです。 ①特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分についていける。(C1 受容) ②また、幅の広い慣用表現や口語体表現が理解でき、言語の使用域の移行を正しく認識できる。(C1 受容) ③構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(C1 受容) ④複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に適切な結論で終わることができる。(C1 産出) ⑤自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500―日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ③クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500―日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4757418905 ③クラス　978-4757418905 ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語6	開講年度	2023年度春学期
担当者	尹　惠彦、石倉　綾子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりです。 ①特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分についていける。(C1 受容) ②また、幅の広い慣用表現や口語体表現が理解でき、言語の使用域の移行を正しく認識できる。(C1 受容) ③構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(C1 受容) ④複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に適切な結論で終わることができる。(C1 産出) ⑤自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500―日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ③クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500―日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4757418905 ③クラス　978-4757418905 ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語6	開講年度	2023年度春学期
担当者	太田　真実、真下　恭子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりです。 ①特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分についていける。(C1 受容) ②また、幅の広い慣用表現や口語体表現が理解でき、言語の使用域の移行を正しく認識できる。(C1 受容) ③構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(C1 受容) ④複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に適切な結論で終わることができる。(C1 産出) ⑤自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500一日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ③クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500一日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4757418905 ③クラス　978-4757418905 ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語6	開講年度	2023年度春学期
担当者	石倉　綾子、大前　晶子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりです。 ①特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分についていける。(C1 受容) ②また、幅の広い慣用表現や口語体表現が理解でき、言語の使用域の移行を正しく認識できる。(C1 受容) ③構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(C1 受容) ④複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に適切な結論で終わることができる。(C1 産出) ⑤自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500一日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ③クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500一日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4757418905 ③クラス　978-4757418905 ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語6	開講年度	2023年度春学期
担当者	赤城　永里子、林　美保	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりです。 ①特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分についていける。(C1 受容) ②また、幅の広い慣用表現や口語体表現が理解でき、言語の使用域の移行を正しく認識できる。(C1 受容) ③構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(C1 受容) ④複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に適切な結論で終わることができる。(C1 産出) ⑤自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500―日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ③クラス　友松悦子(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型500―日本語能力試験N1-N3の重要表現を網羅』アルク ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4757418905 ③クラス　978-4757418905 ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語7	開講年度	2023年度秋学期
担当者	大前　晶子、赤城　永里子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語8での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解し、②読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2013)『読む力　中上級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク 　およびプリント配布 ※④⑤クラスは日本語5と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①99784874245842 ②9784757416222 ③9784757419292 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修 事後学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	オンデマンド	JLPT ハーフ模試	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	対面	春学期振り返り・定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語7	開講年度	2023年度秋学期
担当者	尹　惠彦、片岡　浩史	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語8での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解し、②読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2013)『読む力　中上級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク 　およびプリント配布 ※④⑤クラスは日本語5と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①99784874245842 ②9784757416222 ③9784757419292 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修 事後学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	オンデマンド	JLPT ハーフ模試	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	対面	春学期振り返り・定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語7	開講年度	2023年度秋学期
担当者	李　光曦、橋本　凜	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語8での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解し、②読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2013)『読む力　中上級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク およびプリント配布 ※④⑤クラスは日本語5と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①99784874245842 ②9784757416222 ③9784757419292 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修 事後学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	オンデマンド	JLPT ハーフ模試	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	対面	春学期振り返り・定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語7	開講年度	2023年度秋学期
担当者	小谷　真千代、井ノ口　智佳	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語8での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解し、②読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修(2013)『読む力　中上級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実(2009)『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実(2010)『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク 　およびプリント配布 ※④⑤クラスは日本語5と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①99784874245842 ②9784757416222 ③9784757419292 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修 事後学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	オンデマンド	JLPT ハーフ模試	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	対面	春学期振り返り・定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語7	開講年度	2023年度秋学期
担当者	大倉　瑠美、赤城　永里子、日本語（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル別のクラスで、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語8での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解し、②読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおして、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス　奥野純子 監修（2013）『読む力　中上級』くろしお出版 ②クラス　目黒真実（2009）『試験に強くなる! 中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ③クラス　目黒真実（2010）『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ④クラス　目黒真実（2010）『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク ⑤クラス　目黒真実（2010）『試験に強くなる! 上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク 　およびプリント配布 ※④⑤クラスは日本語5と同じ教科書です。教科書をすでに購入している人は購入不要	ISBN	①99784874245842 ②9784757416222 ③9784757419292 ④9784757419292 ⑤9784757419292
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	30	その他(%)	25	①20%：JLPT模擬試験 ②5%：2023年度7月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、テストだけではなく、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題で点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1．小テスト 2．読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1．小テスト 2．読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1．小テスト 2．読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第14回	オンデマンド	春学期前半の振り返りと中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修 事後学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストのフィードバック 3. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	オンデマンド	JLPT ハーフ模試	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	対面	春学期振り返り・定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語8	開講年度	2023年度秋学期
担当者	橋本　凜、大﨑　桂子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク ③クラス　資料を配布する ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4883195640 ③クラス　なし ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語8	開講年度	2023年度秋学期
担当者	赤城　永里子、林　美保	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク ③クラス　資料を配布する ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4883195640 ③クラス　なし ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語8	開講年度	2023年度秋学期
担当者	井藁　久美子、大前　晶子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク ③クラス　資料を配布する ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4883195640 ③クラス　なし ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語8	開講年度	2023年度秋学期
担当者	太田　真実、石倉　綾子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク ③クラス　資料を配布する ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4883195640 ③クラス　なし ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	日本語8	開講年度	2023年度秋学期
担当者	石倉　綾子、真下　恭子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。		
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上を目指す学修者を対象に、レベル分けされたクラスで授業を行い、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語5での学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をとおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。		
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。 ②複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテクストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。 ③、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。 ④複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論に持っていったりすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テスト実施後には授業内でフィードバックを行う。 また、提出された宿題は添削をして返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス　資料を配布する ②クラス　友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク ③クラス　資料を配布する ④クラス　資料を配布する ⑤クラス　資料を配布する	ISBN	①クラス　なし ②クラス　978-4883195640 ③クラス　なし ④クラス　なし ⑤クラス　なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	5	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	25	①20%:JLPT模擬試験 ②5%:2023年度12月実施のJLPT試験の申込・受験	

この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月および12月のJLPT試験を受験しましょう。 また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。 また、確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れ、評価の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第6回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント	1時間
第12回	オンデマンド	JLPTハーフ模試受験	事後学修:ハーフ模試の解答解説の見直しと、間違った箇所のノート整理	4時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 中間テストに向けた中間振り返りおよび中間試験対策	事後学修:中間テストに向けた学修 事前学修:中間テスト対策問題への回答	4時間
第14回	対面	中間テスト	事前学修:中間テストに向けた学修	4時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	4時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. リスニング 3. 文法	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	オンデマンド	定期試験に向けた振り返りと定期試験対策	事前学修:定期試験対策問題への回答 事後学修:定期試験に向けた勉強	6時間

科目名	国際学基礎A	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、赤城　永里子、ミルズ・ジョナサン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語コミュニケーションコースの学びにむけた国際学		
授業の目的及び概要	国境を越えて人と人とがコミュニケーションを図り、世界言語の中でも圧倒的多数を占める英語をツールとして国際社会は発展してきました。一方で、文化・民族・宗教の相違による衝突、多様な価値観の相違に現代社会は直面しています。これらの相違による衝突を解消するために、英語コミュニケーションコースでは、英語を中心としたコミュニケーション能力を高め、世界の諸地域における社会並びに文化の違いを理解します。英語4技能全てを不自由なく活用できる英語コミュニケーション能力を身に付け、コミュニケーション、社会/文化の専門領域から異なる価値観(言語・文化・社会)を理解し、多様性を志向するための基礎知識を修得します。この授業では、コースの学びの中心となる、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の基礎を修得し、3つの領域から世界をみる方法を学修します。そして英語コミュニケーションが捉える「国際学」の視点の理解を深めることを目的とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	「国際学基礎A」および「国際学基礎B」は、国際学部での多分野からなる複合的な学びを貫く「国際学」の視点(理論)を身につけることを目標とする。 「国際学基礎A」では、 ・①英語からみる世界、②コミュニケーション、③社会/文化の3つの領域の基礎となる知識を習得している。 ・①英語からみる世界、②コミュニケーション、③社会/文化の3つの領域から、世界をみる「見方」と「方法」を身に付けている。 ・2年進級時に、国際学基礎A・Bの視点・内容の違いを理解したうえで、コースを選択できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	予習の確認および予習で示した問題関心のリマインドをおこなうために授業内確認テストをおこないフィードバックを各回で実施する。 ラーニングポータルのテスト機能を用いて実施される各回授業外の確認テストの結果を受けて、授業内でフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書	①鳥飼 玖美子『国際共通語としての英語』講談社現代新書、2011年 ②高城 玲『大学生のための異文化・国際理解 :差異と多様性への誘い』丸善出版、2017年 ③樽本英樹『よくわかる国際社会学[第2版] 』ミネルヴァ書房、2016年	ISBN	①978-4062881043 ②978-4621301258 ③978-4623075911

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学基礎Aは国際学部の必修科目であり、英語コミュニケーションコースの学びの基礎となる知識並びに、英語コミュニケーションコースを構成する3つの領域から世界を見る方法を学修する科目です。各回授業では、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の3領域の基礎を習得するために、予習の課題が出され、次回の授業でグループワークをおこないます。また各回で学修した3領域の基礎的知識等を問う確認テストが授業外課題として出されます。予習並びに復習をした上で受講してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(本多善) ・英語コミュニケーションコースの「国際学」とは 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割、社会/文化からみる多様性の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の3領域から考える。 ・国際学部における英語の重要性、3つの専門領域、3領域の修得によって得られる「世界を知る力」、授業全体のガイダンスを説明する。	①　第1回授業　イントロダクション ・英語コミュニケーションコースの「国際学」とは 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割、社会/文化からみる多様性の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の3領域から考える。 ・国際学部における英語の重要性、3つの専門領域、3領域の修得によって得られる「世界を知る力」、授業全体のガイダンスを説明する。 の復習並びに確認テスト(2時間) ②　第2回授業　英語からみる世界① ・〈国際語〉としての英語:「3つの同心円」モデルからその具体を紹介し、グローバル社会における英語の役割を理解する。 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間

第2回	対面	英語からみる世界①(ジョナサン・ミルズ) ・〈国際語〉としての英語:「3つの同心円」モデルからその具体的事例を紹介し、グローバル社会における英語の役割を理解する。	① 第2回授業 英語からみる世界① ・〈国際語〉としての英語:「3つの同心円」モデルからその具体的事例を紹介し、グローバル社会における英語の役割を理解する。 の復習並びに確認テスト(2時間) ② 第3回授業 英語からみる世界② ・英語圏における英語の事情:英語の歴史、語彙と発音の特徴、現代の英語圏におけるバリエーション等を理解する。 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第3回	対面	英語からみる世界②(ジョナサン・ミルズ) ・英語圏における英語の事情:英語の歴史、語彙と発音の特徴、現代の英語圏におけるバリエーション等を理解する。	① 第3回授業 英語からみる世界② ・英語圏における英語の事情:英語の歴史、語彙と発音の特徴、現代の英語圏におけるバリエーション等を理解する。 の復習並びに確認テスト(2時間) ② 第4回授業 英語からみる世界③ ・英語圏以外の英語の事情:英語が他の言語と共存するインドやフィリピン等の英語の事情、日本における英語の使い方と必要性について考える。 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第4回	対面	英語からみる世界③(ジョナサン・ミルズ) ・英語圏以外の英語の事情:英語が他の言語と共存するインドやフィリピン等の英語の事情、日本における英語の使い方と必要性について考える。	① 第4回授業 英語からみる世界③ ・英語圏以外の英語の事情:英語が他の言語と共存するインドやフィリピン等の英語の事情、日本における英語の使い方と必要性について考える。 の復習並びに確認テスト(2時間) ② 第5回授業 総括。第2～4回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。 に向けた予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第5回	対面	英語からみる世界④(ジョナサン・ミルズ) ・総括。第2～4回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。	① 第5回授業 英語からみる世界④ 総括。第2～4回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第6回	対面	コミュニケーションからみる世界①(赤城永里子) 言語の獲得と言語を用いたコミュニケーションに必要な能力を理解する ・どのように言語(母語)を獲得しているのか 変形生成文法理論と認知言語学(言語獲得の一理論) 言語相対性仮説(言語と思考がつながっていることを理解する) ・コミュニケーションに関わる能力 言語能力・言語 文法能力、社会言語能力、談話能力、ストラテジー能力	① コミュニケーションからみる世界① コミュニケーションからみる世界①(赤城永里子) 言語の獲得と言語を用いたコミュニケーションに必要な能力を理解する ・どのように言語(母語)を獲得しているのか 変形生成文法理論と認知言語学(言語獲得の一理論) 言語相対性仮説(言語と思考がつながっていることを理解する) ・コミュニケーションに関わる能力 言語能力・言語 文法能力、社会言語能力、談話能力、ストラテジー能力 の復習並びに確認テスト(2時間) ② コミュニケーションからみる世界② 言語・文化間の相違性と普遍性1 ・言語の形式上の違い(日、英、＋留学生の言語) ・言語の表現上の違い(日、英、＋留学生の言語) 言語行動・非言語行動の違い ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化) の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第7回	対面	コミュニケーションからみる世界②(赤城永里子) 言語・文化間の相違性と普遍性1 ・言語の形式上の違い(日、英、＋留学生の言語) ・言語の表現上の違い(日、英、＋留学生の言語) 言語行動・非言語行動の違い ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化)	① コミュニケーションからみる世界② 言語・文化間の相違性と普遍性 2 ・言語の形式上の違い(日、英、＋留学生の言語) ・言語の表現上の違い(日、英、＋留学生の言語) 言語行動・非言語行動の違い ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化) の復習並びに確認テスト(2時間) ② コミュニケーションからみる世界③ 言語・文化間の相違性と普遍性2 ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化) ・ポライトネス(コミュニケーションにおける対人配慮) の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第8回	対面	コミュニケーションからみる世界③(赤城永里子) 言語・文化間の相違性と普遍性 3 ・ポライトネス(コミュニケーションにおける対人配慮) 言語・文化・アイデンティティ(言語と文化、言語とアイデンティティのつながりを知る) ・文化的自己とアイデンティティ ・言語とアイデンティティ コミュニケーション調整理論とコードスイッチング(異言語状況でいかにコミュニケーションを調整するか、言語選択をしているかを理解する)	① コミュニケーションからみる世界③ 言語・文化間の相違性と普遍性2 ・ポライトネス(コミュニケーションにおける対人配慮) 言語・文化・アイデンティティ(言語と文化、言語とアイデンティティのつながりを知る) ・文化的自己とアイデンティティ ・言語とアイデンティティ コミュニケーション調整理論とコードスイッチング(異言語状況でいかにコミュニケーションを調整するか、言語選択をしているかを理解する) の復習並び確認テスト(4時間)	4時間
第9回	対面	コミュニケーションからみる世界④(赤城永里子) ・総括。第6～9回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。	コミュニケーションからみる世界④ ・総括。第6～9回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第10回	対面	社会/文化からみる世界①(本多善) 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する ・民族とは何か(エスニシティを理解する) ・文化とは何か(人の営みを理解する) ・宗教とは何か(世界の宗教とその分布を理解する)	①社会/文化からみる世界① 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する ・民族とは何か(エスニシティを理解する) ・文化とは何か(人の営みを理解する) ・宗教とは何か(世界の宗教とその分布を理解する) の復習並びに確認テスト(2時間) ② 社会/文化からみる世界② 価値観・倫理観の違いから世界を理解する ・個人主義VS集団主義 ・性善説VS性悪説 ・モノクロニックVSポリクロニック の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第11回	対面	社会/文化からみる世界②(本多善) 価値観・倫理観の違いから世界を理解する ・個人主義VS集団主義 ・性善説VS性悪説 ・モノクロニックVSポリクロニック	社会/文化からみる世界② 価値観・倫理観の違いから世界を理解する ・個人主義VS集団主義 ・性善説VS性悪説 ・モノクロニックVSポリクロニック の復習並びに確認テスト(2時間) ② 社会/文化からみる世界③ グローカリゼーションから世界を考える ・グローバル・シティの機能から世界を読む(ニューヨーク・ロンドン・東京) ・グローバルとローカルの出会い(マクドナルド) フィールドから世界を知る ・英語コミュニケーションコースと海外体験 ・フィールドワークの目的と方法 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間

第12回	対面	社会/文化からみる世界③(本多善) グローカリゼーションから世界を考える ・グローバル・シティの機能から世界を読む(ニューヨーク・ロンドン・東京) ・グローバルとローカルの出会い(マクドナルド) フィールドから世界を知る ・英語コミュニケーションコースと海外体験 ・フィールドワークの目的と方法	社会/文化からみる世界④ グローカリゼーションから世界を考える ・グローバル・シティの機能から世界を読む(ニューヨーク・ロンドン・東京) ・グローバルとローカルの出会い(マクドナルド) フィールドから世界を知る ・英語コミュニケーションコースと海外体験 ・フィールドワークの目的と方法 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第13回	対面	社会/文化からみる世界④(本多善) 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する、価値観・倫理観の違いから世界を理解する、グローカリゼーションから世界を考えるフィールドから世界を知る、の総括	社会/文化からみる世界④ 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する、価値観・倫理観の違いから世界を理解する、グローカリゼーションから世界を考えるフィールドから世界を知る、の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第14回	対面	3領域から見た世界の理解(ジョナサン・ミルズ、赤城永里子、本多善) SDGs「10.人や国の不平等をなくすために:国内における多文化共生の課題」をテーマに英語・コミュニケーション、社会/文化の教員による討論	3領域から見た世界の理解 SDGs「10.人や国の不平等をなくすために:国内における多文化共生の課題」をテーマに英語・コミュニケーション、社会/文化の教員による討論 の復習並び確認テスト(4時間)	4時間
第15回	オンデマンド	これまでのふりかえり(ジョナサン・ミルズ、赤城永里子、本多善) 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割を理解し、文化的差異に基づく多文化社会の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化領域からふりかえる。英語コミュニケーションにおける、専門を修得する上での基礎となる知識のまとめをおこなう。	これまでのふりかえり 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割を理解し、文化的差異に基づく多文化社会の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化領域からふりかえる。英語コミュニケーションにおける、専門を修得する上での基礎となる知識のまとめ。 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間

科目名	国際学基礎A	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、赤城　永里子、ミルズ・ジョナサン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語コミュニケーションコースの学びにむけた国際学		
授業の目的及び概要	国境を越えて人と人とがコミュニケーションを図り、世界言語の中でも圧倒的多数を占める英語をツールとして国際社会は発展してきました。一方で、文化・民族・宗教の相違による衝突、多様な価値観の相違に現代社会は直面しています。これらの相違による衝突を解消するために、英語コミュニケーションコースでは、英語を中心としたコミュニケーション能力を高め、世界の諸地域における社会並びに文化の違いを理解します。英語4技能全てを不自由なく活用できる英語コミュニケーション能力を身に付け、コミュニケーション、社会/文化の専門領域から異なる価値観(言語・文化・社会)を理解し、多様性を志向するための基礎知識を修得します。この授業では、コースの学びの中心となる、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の基礎を修得し、3つの領域から世界をみる方法を学修します。そして英語コミュニケーションが捉える「国際学」の視点の理解を深めることを目的とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	「国際学基礎A」および「国際学基礎B」は、国際学部での多分野からなる複合的な学びを貫く「国際学」の視点(理論)を身につけることを目標とする。 「国際学基礎A」では、 ・①英語からみる世界、②コミュニケーション、③社会/文化の3つの領域の基礎となる知識を習得している。 ・①英語からみる世界、②コミュニケーション、③社会/文化の3つの領域から、世界をみる「見方」と「方法」を身に付けている。 ・2年進級時に、国際学基礎A・Bの視点・内容の違いを理解したうえで、コースを選択できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	予習の確認および予習で示した問題関心のリマインドをおこなうために授業内確認テストをおこないフィードバックを各回で実施する。 ラーニングポータルのテスト機能を用いて実施される各回授業外の確認テストの結果を受けて、授業内でフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書	①鳥飼 玖美子『国際共通語としての英語』講談社現代新書、2011年 ②高城 玲『大学生のための異文化・国際理解 :差異と多様性への誘い』丸善出版、2017年 ③樽本英樹『よくわかる国際社会学[第2版] 』ミネルヴァ書房、2016年	ISBN	①978-4062881043 ②978-4621301258 ③978-4623075911

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学基礎Aは国際学部の必修科目であり、英語コミュニケーションコースの学びの基礎となる知識並びに、英語コミュニケーションコースを構成する3つの領域から世界を見る方法を学修する科目です。各回授業では、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の3領域の基礎を習得するために、予習の課題が出され、次回の授業でグループワークをおこないます。また各回で学修した3領域の基礎的知識等を問う確認テストが授業外課題として出されます。予習並びに復習をした上で受講してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(本多善) ・英語コミュニケーションコースの「国際学」とは 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割、社会/文化からみる多様性の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の3領域から考える。 ・国際学部における英語の重要性、3つの専門領域、3領域の修得によって得られる「世界を知る力」、授業全体のガイダンスを説明する。	①　第1回授業　イントロダクション ・英語コミュニケーションコースの「国際学」とは 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割、社会/文化からみる多様性の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化の3領域から考える。 ・国際学部における英語の重要性、3つの専門領域、3領域の修得によって得られる「世界を知る力」、授業全体のガイダンスを説明する。 の復習並びに確認テスト(2時間) ②　第2回授業　英語からみる世界① ・〈国際語〉としての英語:「3つの同心円」モデルからその具体を紹介し、グローバル社会における英語の役割を理解する。 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間

第2回	対面	英語からみる世界①(ジョナサン・ミルズ) ・〈国際語〉としての英語:「3つの同心円」モデルからその具体的事例を紹介し、グローバル社会における英語の役割を理解する。	① 第2回授業 英語からみる世界① ・〈国際語〉としての英語:「3つの同心円」モデルからその具体的事例を紹介し、グローバル社会における英語の役割を理解する。 の復習並びに確認テスト(2時間) ② 第3回授業 英語からみる世界② ・英語圏における英語の事情:英語の歴史、語彙と発音の特徴、現代の英語圏におけるバリエーション等を理解する。 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第3回	対面	英語からみる世界②(ジョナサン・ミルズ) ・英語圏における英語の事情:英語の歴史、語彙と発音の特徴、現代の英語圏におけるバリエーション等を理解する。	① 第3回授業 英語からみる世界② ・英語圏における英語の事情:英語の歴史、語彙と発音の特徴、現代の英語圏におけるバリエーション等を理解する。 の復習並びに確認テスト(2時間) ② 第4回授業 英語からみる世界③ ・英語圏以外の英語の事情:英語が他の言語と共存するインドやフィリピン等の英語の事情、日本における英語の使い方と必要性について考える。 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第4回	対面	英語からみる世界③(ジョナサン・ミルズ) ・英語圏以外の英語の事情:英語が他の言語と共存するインドやフィリピン等の英語の事情、日本における英語の使い方と必要性について考える。	① 第4回授業 英語からみる世界③ ・英語圏以外の英語の事情:英語が他の言語と共存するインドやフィリピン等の英語の事情、日本における英語の使い方と必要性について考える。 の復習並びに確認テスト(2時間) ② 第5回授業 総括。第2～4回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。 に向けた予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第5回	対面	英語からみる世界④(ジョナサン・ミルズ) ・総括。第2～4回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。	① 第5回授業 英語からみる世界④ 総括。第2～4回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第6回	対面	コミュニケーションからみる世界①(赤城永里子) 言語の獲得と言語を用いたコミュニケーションに必要な能力を理解する ・どのように言語(母語)を獲得しているのか 変形生成文法理論と認知言語学(言語獲得の一理論) 言語相対性仮説(言語と思考がつながっていることを理解する) ・コミュニケーションに関わる能力 言語能力・言語 文法能力、社会言語能力、談話能力、ストラテジー能力	① コミュニケーションからみる世界① コミュニケーションからみる世界①(赤城永里子) 言語の獲得と言語を用いたコミュニケーションに必要な能力を理解する ・どのように言語(母語)を獲得しているのか 変形生成文法理論と認知言語学(言語獲得の一理論) 言語相対性仮説(言語と思考がつながっていることを理解する) ・コミュニケーションに関わる能力 言語能力・言語 文法能力、社会言語能力、談話能力、ストラテジー能力 の復習並びに確認テスト(2時間) ② コミュニケーションからみる世界② 言語・文化間の相違性と普遍性1 ・言語の形式上の違い(日、英、＋留学生の言語) ・言語の表現上の違い(日、英、＋留学生の言語) 言語行動・非言語行動の違い ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化) の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第7回	対面	コミュニケーションからみる世界②(赤城永里子) 言語・文化間の相違性と普遍性1 ・言語の形式上の違い(日、英、＋留学生の言語) ・言語の表現上の違い(日、英、＋留学生の言語) 言語行動・非言語行動の違い ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化)	① コミュニケーションからみる世界② 言語・文化間の相違性と普遍性 2 ・言語の形式上の違い(日、英、＋留学生の言語) ・言語の表現上の違い(日、英、＋留学生の言語) 言語行動・非言語行動の違い ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化) の復習並びに確認テスト(2時間) ② コミュニケーションからみる世界③ 言語・文化間の相違性と普遍性2 ・コミュニケーションスタイルの違い(日・英＋留学生の文化) ・ポライトネス(コミュニケーションにおける対人配慮) の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第8回	対面	コミュニケーションからみる世界③(赤城永里子) 言語・文化間の相違性と普遍性 3 ・ポライトネス(コミュニケーションにおける対人配慮) 言語・文化・アイデンティティ(言語と文化、言語とアイデンティティのつながりを知る) ・文化的自己とアイデンティティ ・言語とアイデンティティ コミュニケーション調整理論とコードスイッチング(異言語状況でいかにコミュニケーションを調整するか、言語選択をしているかを理解する)	① コミュニケーションからみる世界③ 言語・文化間の相違性と普遍性2 ・ポライトネス(コミュニケーションにおける対人配慮) 言語・文化・アイデンティティ(言語と文化、言語とアイデンティティのつながりを知る) ・文化的自己とアイデンティティ ・言語とアイデンティティ コミュニケーション調整理論とコードスイッチング(異言語状況でいかにコミュニケーションを調整するか、言語選択をしているかを理解する) の復習並び確認テスト(4時間)	4時間
第9回	対面	コミュニケーションからみる世界④(赤城永里子) ・総括。第6～9回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。	コミュニケーションからみる世界④ ・総括。第6～9回の内容を振り返り、理解を深めるためアクティビティ・ディスカッション等を行う。 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第10回	対面	社会/文化からみる世界①(本多善) 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する ・民族とは何か(エスニシティを理解する) ・文化とは何か(人の営みを理解する) ・宗教とは何か(世界の宗教とその分布を理解する)	①社会/文化からみる世界① 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する ・民族とは何か(エスニシティを理解する) ・文化とは何か(人の営みを理解する) ・宗教とは何か(世界の宗教とその分布を理解する) の復習並びに確認テスト(2時間) ② 社会/文化からみる世界② 価値観・倫理観の違いから世界を理解する ・個人主義VS集団主義 ・性善説VS性悪説 ・モノクロニックVSポリクロニック の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間
第11回	対面	社会/文化からみる世界②(本多善) 価値観・倫理観の違いから世界を理解する ・個人主義VS集団主義 ・性善説VS性悪説 ・モノクロニックVSポリクロニック	社会/文化からみる世界② 価値観・倫理観の違いから世界を理解する ・個人主義VS集団主義 ・性善説VS性悪説 ・モノクロニックVSポリクロニック の復習並びに確認テスト(2時間) ② 社会/文化からみる世界③ グローカリゼーションから世界を考える ・グローバル・シティの機能から世界を読む(ニューヨーク・ロンドン・東京) ・グローバルとローカルの出会い(マクドナルド) フィールドから世界を知る ・英語コミュニケーションコースと海外体験 ・フィールドワークの目的と方法 の予習並びに次回授業内課題の学修(2時間)	4時間

第12回	対面	社会/文化からみる世界③(本多善) グローカリゼーションから世界を考える ・グローバル・シティの機能から世界を読む(ニューヨーク・ロンドン・東京) ・グローバルとローカルの出会い(マクドナルド) フィールドから世界を知る ・英語コミュニケーションコースと海外体験 ・フィールドワークの目的と方法	社会/文化からみる世界④ グローカリゼーションから世界を考える ・グローバル・シティの機能から世界を読む(ニューヨーク・ロンドン・東京) ・グローバルとローカルの出会い(マクドナルド) フィールドから世界を知る ・英語コミュニケーションコースと海外体験 ・フィールドワークの目的と方法 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第13回	対面	社会/文化からみる世界④(本多善) 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する、価値観・倫理観の違いから世界を理解する、グローカリゼーションから世界を考えるフィールドから世界を知る、の総括	社会/文化からみる世界④ 世界の民族・文化・宗教の基本を理解する、価値観・倫理観の違いから世界を理解する、グローカリゼーションから世界を考えるフィールドから世界を知る、の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間
第14回	対面	3領域から見た世界の理解(ジョナサン・ミルズ、赤城永里子、本多善) SDGs「10.人や国の不平等をなくすために:国内における多文化共生の課題」をテーマに英語・コミュニケーション、社会/文化の教員による討論	3領域から見た世界の理解 SDGs「10.人や国の不平等をなくすために:国内における多文化共生の課題」をテーマに英語・コミュニケーション、社会/文化の教員による討論 の復習並び確認テスト(4時間)	4時間
第15回	オンデマンド	これまでのふりかえり(ジョナサン・ミルズ、赤城永里子、本多善) 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割を理解し、文化的差異に基づく多文化社会の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化領域からふりかえる。英語コミュニケーションにおける、専門を修得する上での基礎となる知識のまとめをおこなう。	これまでのふりかえり 「国際社会」における英語とコミュニケーションの役割を理解し、文化的差異に基づく多文化社会の理解を、①英語、②コミュニケーション、③社会/文化領域からふりかえる。英語コミュニケーションにおける、専門を修得する上での基礎となる知識のまとめ。 の復習並びに確認テスト(4時間)	4時間

科目名	国際学基礎B	開講年度	2023年度春学期
担当者	菅原　絵美、水野　清、張　雪斌、金子　治平	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	政治・経済・経営からアジア太平洋のグローバリゼーションを考える		
授業の目的及び概要	国際学のなかでもアジア太平洋地域のさまざまな課題を政治・経済・経営から考察する。具体的には、国際社会とは何か、国家、企業、個人等はどう判断・行動するかを読み解く方法(政治・経済・経営の理論)と基礎知識を学ぶ。その後、アジア太平洋地域の課題を、読み解く方法と基礎知識を組み合わせながら考察する。以上を通じて、アジア太平洋コースにおいて学ぶ「国際学」の視点を理解する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	「国際学基礎A」および「国際学基礎B」は、国際学部での多分野からなる複合的な学びを貫く「国際学」の視点(理論)を身につけることを目的としています。 ①国際法、国際政治、国際経済、国際経営の基礎となる理論・知識を修得する。 ②アジア太平洋における動向を国際政治および経済・経営の基礎知識や理論を用いて理解すること(読み解くこと)ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業冒頭に前回の授業の振り返り(確認テストの解説及び講評を含む)		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし(事前に各回のレジュメをLPにアップ)	ISBN	N.A.
参考書	授業のなかで適宜紹介する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	授業では、アジア太平洋での具体的な出来事や問題を取り上げながら、「国際社会(グローバル社会)とは何か」「グローバリゼーションとは何か」を考えていきます。 2年進級時にコースを選択するので、国際学基礎A・Bの視点・内容の違いを理解したうえでコース選択を行いましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(菅原絵美) 政治・経済・経営からの「国際学」とは 国際社会と世界(国際社会における国、企業、個人)の動きを政治・経済・ビジネスから把握する。 アジア太平洋地域を考える:秩序形成と課題(安全保障、経済(貿易・投資)、人権保障など)	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第2回	対面	国際社会の特徴と構造(菅原絵美) 政府がない「社会」のしくみ(分権的構造と規範による秩序維持) 国際社会誕生の歴史(ウェストファリア体制まで)	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第3回	対面	国際社会における国際法の役割(菅原絵美) 社会における法の機能(規範的機能と社会的機能) 国家等の行為の規制と国際社会の秩序維持 アジア太平洋地域における国際法の役割	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第4回	対面	国際社会の変容(国際政治の視点から)(張　雪斌) ウェストファリア体制移行の国際政治史(現実) 国際政治学として変容の「何」を掴むのか(理論)	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第5回	対面	国際社会の見方(国際政治の理論)(張　雪斌) リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムから世界がどう見えてくるのか。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第6回	対面	アジア太平洋地域のダイナミズム(国際政治の実践)(張　雪斌) 冷戦後のアジア太平洋地域の協力と競争 日本との関係性:ハードな外交、ソフトな民間関係	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間

第7回	対面	国内総生産（GDP）と国民可処分所得（金子治平） GDPと国民可処分所得の違い、GDPと1人あたりGDPの違いを理解し、豊さを表す指標として適当なものはどれかを検討する。 また、世界諸国のGDPや1人あたりGDPを地図上で確認して、先進諸国、開発途上国、後期開発途上国の格差を理解する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第8回	対面	経済と人口（金子治平） 人口転換理論、人口急増による貧困・飢餓問題、人口ボーナス期や人口オーナス期などを理解する。 なぜサブサハラ諸国などで貧困が多いのか。また、アジア太平洋地域の将来の人口はどのように変化すると予測されているのかを理解する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第9回	対面	食料とエネルギーの世界貿易（金子治平） 穀物、石油、および天然ガスの貿易によって、世界はどのように結びついているのかを理解する。 なぜウクライナ紛争でアフリカ諸国の飢餓の深刻化が懸念されているのか。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第10回	対面	激動の世界でビジネスをするとは（水野　清） ドラッガーを中心に経営管理の基礎や特徴を学ぶ 企業におけるマネジメント機能と役割	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第11回	対面	激動の世界でビジネスをするとは（水野　清） マーケティングとは アジア太平洋地域での企業の取組み事例からの考察	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第12回	対面	激動の世界でビジネスをするとは（水野　清） イノベーションとは アジア太平洋地域での企業の取組み事例からの考察	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第13回	対面	アジア太平洋地域の特徴と、そこでの動きを政治、経済、ビジネスから考え、解説する（菅原絵美・張雪斌・金子治平・水野清によるパネル型授業）	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第14回	対面	これまでのふりかえり（菅原絵美） アジア太平洋地域とその動向（国家、企業、個人）を政治・経済・ビジネスから把握する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のふりかえり（菅原絵美・張雪斌・金子治平・水野清） これまでの授業の振り返りを、確認テストの解説を含めて行う。各教員が15分程度の解説動画を作成する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。。	4時間

科目名	国際学基礎B	開講年度	2023年度春学期
担当者	菅原　絵美、水野　清、張　雪斌、金子　治平	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	政治・経済・経営からアジア太平洋のグローバリゼーションを考える		
授業の目的及び概要	国際学のなかでもアジア太平洋地域のさまざまな課題を政治・経済・経営から考察する。具体的には、国際社会とは何か、国家、企業、個人等はどう判断・行動するかを読み解く方法(政治・経済・経営の理論)と基礎知識を学ぶ。その後、アジア太平洋地域の課題を、読み解く方法と基礎知識を組み合わせながら考察する。以上を通じて、アジア太平洋コースにおいて学ぶ「国際学」の視点を理解する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	「国際学基礎A」および「国際学基礎B」は、国際学部での多分野からなる複合的な学びを貫く「国際学」の視点(理論)を身につけることを目的としています。 ①国際法、国際政治、国際経済、国際経営の基礎となる理論・知識を修得する。 ②アジア太平洋における動向を国際政治および経済・経営の基礎知識や理論を用いて理解すること(読み解くこと)ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業冒頭に前回の授業の振り返り(確認テストの解説及び講評を含む)		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし(事前に各回のレジュメをLPにアップ)	ISBN	N.A.
参考書	授業のなかで適宜紹介する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	授業では、アジア太平洋での具体的な出来事や問題を取り上げながら、「国際社会(グローバル社会)とは何か」「グローバリゼーションとは何か」を考えていきます。 2年進級時にコースを選択するので、国際学基礎A・Bの視点・内容の違いを理解したうえでコース選択を行いましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(菅原絵美) 政治・経済・経営からの「国際学」とは 国際社会と世界(国際社会における国、企業、個人)の動きを政治・経済・ビジネスから把握する。 アジア太平洋地域を考える:秩序形成と課題(安全保障、経済(貿易・投資)、人権保障など)	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第2回	対面	国際社会の特徴と構造(菅原絵美) 政府がない「社会」のしくみ(分権的構造と規範による秩序維持) 国際社会誕生の歴史(ウェストファリア体制まで)	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第3回	対面	国際社会における国際法の役割(菅原絵美) 社会における法の機能(規範的機能と社会的機能) 国家等の行為の規制と国際社会の秩序維持 アジア太平洋地域における国際法の役割	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第4回	対面	国際社会の変容(国際政治の視点から)(張　雪斌) ウェストファリア体制移行の国際政治史(現実) 国際政治学として変容の「何」を掴むのか(理論)	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第5回	対面	国際社会の見方(国際政治の理論)(張　雪斌) リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムから世界がどう見えてくるのか。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第6回	対面	アジア太平洋地域のダイナミズム(国際政治の実践)(張　雪斌) 冷戦後のアジア太平洋地域の協力と競争 日本との関係性:ハードな外交、ソフトな民間関係	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間

第7回	対面	国内総生産（GDP）と国民可処分所得（金子治平） GDPと国民可処分所得の違い、GDPと1人あたりGDPの違いを理解し、豊さを表す指標として適当なものはどれかを検討する。 また、世界諸国のGDPや1人あたりGDPを地図上で確認して、先進諸国、開発途上国、後期開発途上国の格差を理解する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第8回	対面	経済と人口（金子治平） 人口転換理論、人口急増による貧困・飢餓問題、人口ボーナス期や人口オーナス期などを理解する。 なぜサブサハラ諸国などで貧困が多いのか。また、アジア太平洋地域の将来の人口はどのように変化すると予測されているのかを理解する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第9回	対面	食料とエネルギーの世界貿易（金子治平） 穀物、石油、および天然ガスの貿易によって、世界はどのように結びついているのかを理解する。 なぜウクライナ紛争でアフリカ諸国の飢餓の深刻化が懸念されているのか。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第10回	対面	激動の世界でビジネスをするとは（水野　清） ドラッガーを中心に経営管理の基礎や特徴を学ぶ 企業におけるマネジメント機能と役割	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第11回	対面	激動の世界でビジネスをするとは（水野　清） マーケティングとは アジア太平洋地域での企業の取組み事例からの考察	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第12回	対面	激動の世界でビジネスをするとは（水野　清） イノベーションとは アジア太平洋地域での企業の取組み事例からの考察	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第13回	対面	アジア太平洋地域の特徴と、そこでの動きを政治、経済、ビジネスから考え、解説する（菅原絵美・張雪斌・金子治平・水野清によるパネル型授業）	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第14回	対面	これまでのふりかえり（菅原絵美） アジア太平洋地域とその動向（国家、企業、個人）を政治・経済・ビジネスから把握する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。 事後学修としてラーニングポータルのテストを受ける。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のふりかえり（菅原絵美・張雪斌・金子治平・水野清） これまでの授業の振り返りを、確認テストの解説を含めて行う。各教員が15分程度の解説動画を作成する。	事前学修としてラーニングポータルにアップしたレジュメを読んで予習を行う。。	4時間

科目名	情報処理基礎	開講年度	2023年度春学期
担当者	岩見　真希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	情報処理とICTに関する基礎的な知識・スキルの修得、情報リテラシー(情報活用能力)		
授業の目的及び概要	・本科目は、情報処理とICT(情報通信技術)に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得を目的とします。これら能力は、これからの大学生活を送る上で基本となる「汎用的技能」であり、卒業後の仕事でも必須となる「就業力」といえます。例えば、大学では、特定のテーマについて調査し、レポートを作成後、プレゼンテーションを実施します。また、現代の情報化社会にあっては、あらゆる場面でICTが利用され、利活用することが求められます。 ・本科目では、PCの基本操作に慣れるとともに、大学生活やビジネス現場で最も使われているワープロ、表計算、プレゼンテーション等の基本ソフトの「使い方」(操作知識とスキル)の基礎を修得します。また、本学の教学システム、関連したSNS(Social Networking Services)・クラウドサービス・メールサービスの利活用、図書館情報システム・インターネットを使った情報の検索方法、コンピュータ、情報通信ネットワーク、情報モラル・情報セキュリティ(ITパスポート出題内容)についても学修します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・本科目の到達目標は、大学4年間及び入社時に最低限必要となるICT(情報通信技術)・情報処理に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)PCを操作し、本学の教学システム、関連したSNSやクラウドサービスを適切に利用できる。 2)インターネットを使った適切な情報検索(図書館利用法・文献探索・データベース活用法等を含む)ができる。 3)情報化社会の特性を踏まえ、情報モラル・情報セキュリティ・個人情報・著作権等について説明できる。 4)キーボードを使って文字入力ができる(5分間で日本語300文字以上)。 5)プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を用いて簡易なスライド資料の作成ができる。 6)ワープロソフト(Word)を用いて簡易な文書作成ができる。 7)表計算ソフト(Excel)を用いて、情報を分析評価・整理等するために簡易な集計表やグラフの作成ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技を実施するため、適宜学生の質問等に回答します。 ・教学システムを利用したテストを実施した場合には、受験後、採点結果等をフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	情報リテラシー入門編　Windows10／Office 2019対応型番(FPT1918)，FOM，FOM出版，2020年	ISBN	9784865104165
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	―	

この科目の履修にあたって	毎回の授業に出席し課題に取り組めば、PC、タイピング、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフト等に関する基本的な操作スキルを身につけることが可能です。これらスキルの修得には一定の時間と量が必要です。4年間の大学生活だけでなく卒業後の仕事においても必須のスキルとなるため、集中して取り組み修得して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	1)ガイダンス 2)本学の情報通信機器及び教学システムの概要や基本操作 ・本学ICT環境(1):Learning Portal、Universal Passport、クラウドサービス(Microsoft/Office365)等 ・Windowsの操作(1) ・情報セキュリティ・パスワード変更 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP1Windowsについて～STEP6アプリを操作しよう，STEP10 Windowsを終了しよう	○事前学修 ・全15回のシラバスをすべて読んで授業計画を確認して下さい。 ・学内システムのパスワードをどのようにするかについて決めてきてください(パスワードは半角英数字記号を利用します)。 ○事後学修 ・以後、本学の教学システムに毎日ログインし、学内の連絡事項を確認してください。 ・自宅PCから本学の教学システムにアクセスし授業資料をダウンロードし閲覧してください。	4時間

第2回	対面	1)教学システムの基本操作 ・Windowsの操作(2) ・本学ICT環境(2):学修ポートフォリオ、クラウドサービス/SNS Microsoft/Office365(Outlook、OneDrive等) 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP7ファイルを上手に管理しよう～STEP9インターネットを使ってみよう	○事前学修 ・第1回の操作を基本としますので、第1回の内容を事前に復習して下さい。 ○事後学修 ・自宅PCにてメール操作やOneDrive操作して下さい。	4時間
第3回	対面	1)教学システムの基本操作 ・本学ICT環境(3): 2)Windowsの操作(3)・タイピングの基礎 ・Windowsの基本操作 ・日本語入力・タイピングの基礎 ・作成ファイルのアップロード 【テキスト】ウィンドウズ編全体	○事前学修 ・テキストの「Windowsを使ってみよう」に従って自宅PC等で操作して下さい。 ○事後学修 ・授業内で指定してたタイピング課題を作成し、学内システムを通じて提出してください。 ・以後、少なくとも「5分間で日本語300文字以上」を第12回目の授業では超えるように、タイピング練習をしてください。	4時間
第4回	対面	1)情報検索と図書館蔵書検索 2)プレゼンテーションソフトの基本操作(1) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・STEP1 PowerPointについて～STEP6 プレゼンテーションを印刷しよう	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の操作を復習しておきましょう。	4時間
第5回	対面	1)プレゼンテーションソフトの基本操作(2) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・前回の続き ・練習問題 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の練習問題を事前に確認しましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(1) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・STEP1 Wordについて～STEP6長文のレポートを編集しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「文章作成編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「文章作成編」の操作を復習しておきましょう。STEP1～STEP6。	4時間
第7回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(2) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(3) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・練習問題2と3 2)情報モラル＆情報セキュリティ【テキスト】ネット社会で情報を安全に使いこなそう 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題2と3を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題2と3を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(1) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP1 Excelについて～STEP5 表を印刷しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP1～5の操作を復習しておきましょう。	4時間
第10回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(2) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP6 グラフを作成しよう～STEP8 複数のシートを操作しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP6～8の操作を復習しておきましょう	4時間
第11回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(3) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1と2 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1と2を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(4) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・STEP9 関数を使いこなそう～STEP11 条件付き書式を設定しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP9～11の操作を復習しておきましょう	4時間
第13回	対面	1)総合演習1 ・総合演習課題(1) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(1)を完成させ提出しましょう。	4時間
第14回	対面	1)総合演習2 ・総合演習課題(2) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(2)を完成させ提出しましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	1)総合演習3 ・総合演習課題(3) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(3)を完成させ提出しましょう。	4時間

科目名	情報処理基礎	開講年度	2023年度春学期
担当者	岩田　順敬	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	情報処理とICTに関する基礎的な知識・スキルの修得、情報リテラシー(情報活用能力)		
授業の目的及び概要	・本科目は、情報処理とICT(情報通信技術)に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得を目的とします。これら能力は、これからの大学生活を送る上で基本となる「汎用的技能」であり、卒業後の仕事でも必須となる「就業力」といえます。例えば、大学では、特定のテーマについて調査し、レポートを作成後、プレゼンテーションを実施します。また、現代の情報化社会にあっては、あらゆる場面でICTが利用され、利活用することが求められます。 ・本科目では、PCの基本操作に慣れるとともに、大学生活やビジネス現場で最も使われているワープロ、表計算、プレゼンテーション等の基本ソフトの「使い方」(操作知識とスキル)の基礎を修得します。また、本学の教学システム、関連したSNS(Social Networking Services)・クラウドサービス・メールサービスの利活用、図書館情報システム・インターネットを使った情報の検索方法、コンピュータ、情報通信ネットワーク、情報モラル・情報セキュリティ(ITパスポート出題内容)についても学修します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・本科目の到達目標は、大学4年間及び入社時に最低限必要となるICT(情報通信技術)・情報処理に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)PCを操作し、本学の教学システム、関連したSNSやクラウドサービスを適切に利用できる。 2)インターネットを使った適切な情報検索(図書館利用法・文献探索・データベース活用法等を含む)ができる。 3)情報化社会の特性を踏まえ、情報モラル・情報セキュリティ・個人情報・著作権等について説明できる。 4)キーボードを使って文字入力ができる(5分間で日本語300文字以上)。 5)プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を用いて簡易なスライド資料の作成ができる。 6)ワープロソフト(Word)を用いて簡易な文書作成ができる。 7)表計算ソフト(Excel)を用いて、情報を分析評価・整理等するために簡易な集計表やグラフの作成ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技を実施するため、適宜学生の質問等に回答します。 ・教学システムを利用したテストを実施した場合には、受験後、採点結果等をフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	情報リテラシー入門編　Windows10／Office 2019対応型番(FPT1918)，FOM，FOM出版，2020年	ISBN	9784865104165
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	―	

この科目の履修にあたって	毎回の授業に出席し課題に取り組めば、PC、タイピング、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフト等に関する基本的な操作スキルを身につけることが可能です。これらスキルの修得には一定の時間と量が必要です。4年間の大学生活だけでなく卒業後の仕事においても必須のスキルとなるため、集中して取り組み修得して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	1)ガイダンス 2)本学の情報通信機器及び教学システムの概要や基本操作 ・本学ICT環境(1):Learning Portal、Universal Passport、クラウドサービス(Microsoft/Office365)等 ・Windowsの操作(1) ・情報セキュリティ・パスワード変更 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP1Windowsについて～STEP6アプリを操作しよう，STEP10 Windowsを終了しよう	○事前学修 ・全15回のシラバスをすべて読んで授業計画を確認して下さい。 ・学内システムのパスワードをどのようにするかについて決めてきてください(パスワードは半角英数字記号を利用します)。 ○事後学修 ・以後、本学の教学システムに毎日ログインし、学内の連絡事項を確認してください。 ・自宅PCから本学の教学システムにアクセスし授業資料をダウンロードし閲覧してください。	4時間

第2回	対面	1)教学システムの基本操作 ・Windowsの操作(2) ・本学ICT環境(2):学修ポートフォリオ、クラウドサービス/SNS Microsoft/Office365(Outlook、OneDrive等) 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP7ファイルを上手に管理しよう～STEP9インターネットを使ってみよう	○事前学修 ・第1回の操作を基本としますので、第1回の内容を事前に復習して下さい。 ○事後学修 ・自宅PCにてメール操作やOneDrive操作して下さい。	4時間
第3回	対面	1)教学システムの基本操作 ・本学ICT環境(3): 2)Windowsの操作(3)・タイピングの基礎 ・Windowsの基本操作 ・日本語入力・タイピングの基礎 ・作成ファイルのアップロード 【テキスト】ウィンドウズ編全体	○事前学修 ・テキストの「Windowsを使ってみよう」に従って自宅PC等で操作して下さい。 ○事後学修 ・授業内で指定してたタイピング課題を作成し、学内システムを通じて提出してください。 ・以後、少なくとも「5分間で日本語300文字以上」を第12回目の授業では超えるように、タイピング練習をしてください。	4時間
第4回	対面	1)情報検索と図書館蔵書検索 2)プレゼンテーションソフトの基本操作(1) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・STEP1 PowerPointについて～STEP6 プレゼンテーションを印刷しよう	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の操作を復習しておきましょう。	4時間
第5回	対面	1)プレゼンテーションソフトの基本操作(2) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・前回の続き ・練習問題 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の練習問題を事前に確認しましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(1) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・STEP1 Wordについて～STEP6長文のレポートを編集しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「文章作成編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「文章作成編」の操作を復習しておきましょう。STEP1～STEP6。	4時間
第7回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(2) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(3) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・練習問題2と3 2)情報モラル＆情報セキュリティ【テキスト】ネット社会で情報を安全に使いこなそう 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題2と3を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題2と3を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(1) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP1 Excelについて～STEP5 表を印刷しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP1～5の操作を復習しておきましょう。	4時間
第10回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(2) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP6 グラフを作成しよう～STEP8 複数のシートを操作しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP6～8の操作を復習しておきましょう	4時間
第11回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(3) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1と2 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1と2を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(4) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・STEP9 関数を使いこなそう～STEP11 条件付き書式を設定しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP9～11の操作を復習しておきましょう	4時間
第13回	対面	1)総合演習1 ・総合演習課題(1) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(1)を完成させ提出しましょう。	4時間
第14回	対面	1)総合演習2 ・総合演習課題(2) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(2)を完成させ提出しましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	1)総合演習3 ・総合演習課題(3) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(3)を完成させ提出しましょう。	4時間

科目名	情報処理基礎	開講年度	2023年度春学期
担当者	岩見　真希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	情報処理とICTに関する基礎的な知識・スキルの修得、情報リテラシー(情報活用能力)		
授業の目的及び概要	・本科目は、情報処理とICT(情報通信技術)に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得を目的とします。これら能力は、これからの大学生活を送る上で基本となる「汎用的技能」であり、卒業後の仕事でも必須となる「就業力」といえます。例えば、大学では、特定のテーマについて調査し、レポートを作成後、プレゼンテーションを実施します。また、現代の情報化社会にあっては、あらゆる場面でICTが利用され、利活用することが求められます。 ・本科目では、PCの基本操作に慣れるとともに、大学生活やビジネス現場で最も使われているワープロ、表計算、プレゼンテーション等の基本ソフトの「使い方」(操作知識とスキル)の基礎を修得します。また、本学の教学システム、関連したSNS(Social Networking Services)・クラウドサービス・メールサービスの利活用、図書館情報システム・インターネットを使った情報の検索方法、コンピュータ、情報通信ネットワーク、情報モラル・情報セキュリティ(ITパスポート出題内容)についても学修します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・本科目の到達目標は、大学4年間及び入社時に最低限必要となるICT(情報通信技術)・情報処理に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)PCを操作し、本学の教学システム、関連したSNSやクラウドサービスを適切に利用できる。 2)インターネットを使った適切な情報検索(図書館利用法・文献探索・データベース活用法等を含む)ができる。 3)情報化社会の特性を踏まえ、情報モラル・情報セキュリティ・個人情報・著作権等について説明できる。 4)キーボードを使って文字入力ができる(5分間で日本語300文字以上)。 5)プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を用いて簡易なスライド資料の作成ができる。 6)ワープロソフト(Word)を用いて簡易な文書作成ができる。 7)表計算ソフト(Excel)を用いて、情報を分析評価・整理等するために簡易な集計表やグラフの作成ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技を実施するため、適宜学生の質問等に回答します。 ・教学システムを利用したテストを実施した場合には、受験後、採点結果等をフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	情報リテラシー入門編　Windows10／Office 2019対応型番(FPT1918)，FOM，FOM出版，2020年	ISBN	9784865104165
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	―	

この科目の履修にあたって	毎回の授業に出席し課題に取り組めば、PC、タイピング、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフト等に関する基本的な操作スキルを身につけることが可能です。これらスキルの修得には一定の時間と量が必要です。4年間の大学生活だけでなく卒業後の仕事においても必須のスキルとなるため、集中して取り組み修得して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	1)ガイダンス 2)本学の情報通信機器及び教学システムの概要や基本操作 ・本学ICT環境(1):Learning Portal、Universal Passport、クラウドサービス(Microsoft/Office365)等 ・Windowsの操作(1) ・情報セキュリティ・パスワード変更 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP1Windowsについて～STEP6アプリを操作しよう，STEP10 Windowsを終了しよう	○事前学修 ・全15回のシラバスをすべて読んで授業計画を確認して下さい。 ・学内システムのパスワードをどのようにするかについて決めてきてください(パスワードは半角英数字記号を利用します)。 ○事後学修 ・以後、本学の教学システムに毎日ログインし、学内の連絡事項を確認してください。 ・自宅PCから本学の教学システムにアクセスし授業資料をダウンロードし閲覧してください。	4時間

第2回	対面	1)教学システムの基本操作 ・Windowsの操作(2) ・本学ICT環境(2):学修ポートフォリオ、クラウドサービス/SNS Microsoft/Office365(Outlook、OneDrive等) 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP7ファイルを上手に管理しよう～STEP9インターネットを使ってみよう	○事前学修 ・第1回の操作を基本としますので、第1回の内容を事前に復習して下さい。 ○事後学修 ・自宅PCにてメール操作やOneDrive操作して下さい。	4時間
第3回	対面	1)教学システムの基本操作 ・本学ICT環境(3): 2)Windowsの操作(3)・タイピングの基礎 ・Windowsの基本操作 ・日本語入力・タイピングの基礎 ・作成ファイルのアップロード 【テキスト】ウィンドウズ編全体	○事前学修 ・テキストの「Windowsを使ってみよう」に従って自宅PC等で操作して下さい。 ○事後学修 ・授業内で指定してたタイピング課題を作成し、学内システムを通じて提出してください。 ・以後、少なくとも「5分間で日本語300文字以上」を第12回目の授業では超えるように、タイピング練習をしてください。	4時間
第4回	対面	1)情報検索と図書館蔵書検索 2)プレゼンテーションソフトの基本操作(1) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・STEP1 PowerPointについて～STEP6 プレゼンテーションを印刷しよう	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の操作を復習しておきましょう。	4時間
第5回	対面	1)プレゼンテーションソフトの基本操作(2) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・前回の続き ・練習問題 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の練習問題を事前に確認しましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(1) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・STEP1 Wordについて～STEP6長文のレポートを編集しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「文章作成編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「文章作成編」の操作を復習しておきましょう。STEP1～STEP6。	4時間
第7回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(2) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(3) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・練習問題2と3 2)情報モラル＆情報セキュリティ【テキスト】ネット社会で情報を安全に使いこなそう 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題2と3を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題2と3を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(1) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP1 Excelについて～STEP5 表を印刷しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP1～5の操作を復習しておきましょう。	4時間
第10回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(2) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP6 グラフを作成しよう～STEP8 複数のシートを操作しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP6～8の操作を復習しておきましょう	4時間
第11回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(3) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1と2 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1と2を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(4) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・STEP9 関数を使いこなそう～STEP11 条件付き書式を設定しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP9～11の操作を復習しておきましょう	4時間
第13回	対面	1)総合演習1 ・総合演習課題(1) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(1)を完成させ提出しましょう。	4時間
第14回	対面	1)総合演習2 ・総合演習課題(2) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(2)を完成させ提出しましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	1)総合演習3 ・総合演習課題(3) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(3)を完成させ提出しましょう。	4時間

科目名	情報処理基礎	開講年度	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	情報処理とICTに関する基礎的な知識・スキルの修得、情報リテラシー(情報活用能力)		
授業の目的及び概要	・本科目は、情報処理とICT(情報通信技術)に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得を目的とします。これら能力は、これからの大学生活を送る上で基本となる「汎用的技能」であり、卒業後の仕事でも必須となる「就業力」といえます。例えば、大学では、特定のテーマについて調査し、レポートを作成後、プレゼンテーションを実施します。また、現代の情報化社会にあっては、あらゆる場面でICTが利用され、利活用することが求められます。 ・本科目では、PCの基本操作に慣れるとともに、大学生活やビジネス現場で最も使われているワープロ、表計算、プレゼンテーション等の基本ソフトの「使い方」(操作知識とスキル)の基礎を修得します。また、本学の教学システム、関連したSNS(Social Networking Services)・クラウドサービス・メールサービスの利活用、図書館情報システム・インターネットを使った情報の検索方法、コンピュータ、情報通信ネットワーク、情報モラル・情報セキュリティ(ITパスポート出題内容)についても学修します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・本科目の到達目標は、大学4年間及び入社時に最低限必要となるICT(情報通信技術)・情報処理に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)PCを操作し、本学の教学システム、関連したSNSやクラウドサービスを適切に利用できる。 2)インターネットを使った適切な情報検索(図書館利用法・文献探索・データベース活用法等を含む)ができる。 3)情報化社会の特性を踏まえ、情報モラル・情報セキュリティ・個人情報・著作権等について説明できる。 4)キーボードを使って文字入力ができる(5分間で日本語300文字以上)。 5)プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を用いて簡易なスライド資料の作成ができる。 6)ワープロソフト(Word)を用いて簡易な文書作成ができる。 7)表計算ソフト(Excel)を用いて、情報を分析評価・整理等するために簡易な集計表やグラフの作成ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技を実施するため、適宜学生の質問等に回答します。 ・教学システムを利用したテストを実施した場合には、受験後、採点結果等をフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	情報リテラシー入門編　Windows10／Office 2019対応型番(FPT1918)，FOM，FOM出版，2020年	ISBN	9784865104165
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	―	

この科目の履修にあたって	毎回の授業に出席し課題に取り組めば、PC、タイピング、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフト等に関する基本的な操作スキルを身につけることが可能です。これらスキルの修得には一定の時間と量が必要です。4年間の大学生活だけでなく卒業後の仕事においても必須のスキルとなるため、集中して取り組み修得して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	1)ガイダンス 2)本学の情報通信機器及び教学システムの概要や基本操作 ・本学ICT環境(1):Learning Portal、Universal Passport、クラウドサービス(Microsoft/Office365)等 ・Windowsの操作(1) ・情報セキュリティ・パスワード変更 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP1Windowsについて～STEP6アプリを操作しよう，STEP10 Windowsを終了しよう	○事前学修 ・全15回のシラバスをすべて読んで授業計画を確認して下さい。 ・学内システムのパスワードをどのようにするかについて決めてきてください(パスワードは半角英数字記号を利用します)。 ○事後学修 ・以後、本学の教学システムに毎日ログインし、学内の連絡事項を確認してください。 ・自宅PCから本学の教学システムにアクセスし授業資料をダウンロードし閲覧してください。	4時間

第2回	対面	1)教学システムの基本操作 ・Windowsの操作(2) ・本学ICT環境(2):学修ポートフォリオ、クラウドサービス/SNS Microsoft/Office365(Outlook、OneDrive等) 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP7ファイルを上手に管理しよう～STEP9インターネットを使ってみよう	○事前学修 ・第1回の操作を基本としますので、第1回の内容を事前に復習して下さい。 ○事後学修 ・自宅PCにてメール操作やOneDrive操作して下さい。	4時間
第3回	対面	1)教学システムの基本操作 ・本学ICT環境(3): 2)Windowsの操作(3)・タイピングの基礎 ・Windowsの基本操作 ・日本語入力・タイピングの基礎 ・作成ファイルのアップロード 【テキスト】ウィンドウズ編全体	○事前学修 ・テキストの「Windowsを使ってみよう」に従って自宅PC等で操作して下さい。 ○事後学修 ・授業内で指定してたタイピング課題を作成し、学内システムを通じて提出してください。 ・以後、少なくとも「5分間で日本語300文字以上」を第12回目の授業では超えるように、タイピング練習をしてください。	4時間
第4回	対面	1)情報検索と図書館蔵書検索 2)プレゼンテーションソフトの基本操作(1) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・STEP1 PowerPointについて～STEP6 プレゼンテーションを印刷しよう	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の操作を復習しておきましょう。	4時間
第5回	対面	1)プレゼンテーションソフトの基本操作(2) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・前回の続き ・練習問題 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の練習問題を事前に確認しましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(1) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・STEP1 Wordについて～STEP6長文のレポートを編集しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「文章作成編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「文章作成編」の操作を復習しておきましょう。STEP1～STEP6。	4時間
第7回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(2) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(3) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・練習問題2と3 2)情報モラル＆情報セキュリティ【テキスト】ネット社会で情報を安全に使いこなそう 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題2と3を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題2と3を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(1) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP1 Excelについて～STEP5 表を印刷しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP1～5の操作を復習しておきましょう。	4時間
第10回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(2) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP6 グラフを作成しよう～STEP8 複数のシートを操作しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP6～8の操作を復習しておきましょう	4時間
第11回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(3) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1と2 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1と2を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(4) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・STEP9 関数を使いこなそう～STEP11 条件付き書式を設定しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP9～11の操作を復習しておきましょう	4時間
第13回	対面	1)総合演習1 ・総合演習課題(1) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(1)を完成させ提出しましょう。	4時間
第14回	対面	1)総合演習2 ・総合演習課題(2) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(2)を完成させ提出しましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	1)総合演習3 ・総合演習課題(3) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3)タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(3)を完成させ提出しましょう。	4時間

科目名	情報処理基礎	開講年度	2023年度秋学期
担当者	李　鍾賛	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	情報処理とICTに関する基礎的な知識・スキルの修得、情報リテラシー(情報活用能力)		
授業の目的及び概要	・本科目は、情報処理とICT(情報通信技術)に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得を目的とします。これら能力は、これからの大学生活を送る上で基本となる「汎用的技能」であり、卒業後の仕事でも必須となる「就業力」といえます。例えば、大学では、特定のテーマについて調査し、レポートを作成後、プレゼンテーションを実施します。また、現代の情報化社会にあっては、あらゆる場面でICTが利用され、利活用することが求められます。 ・本科目では、PCの基本操作に慣れるとともに、大学生活やビジネス現場で最も使われているワープロ、表計算、プレゼンテーション等の基本ソフトの「使い方」(操作知識とスキル)の基礎を修得します。また、本学の教学システム、関連したSNS(Social Networking Services)・クラウドサービス・メールサービスの利活用、図書館情報システム・インターネットを使った情報の検索方法、コンピュータ、情報通信ネットワーク、情報モラル・情報セキュリティ(ITパスポート出題内容)についても学修します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・本科目の到達目標は、大学4年間及び入社時に最低限必要となるICT(情報通信技術)・情報処理に関する基礎的な知識とスキル、情報リテラシー(情報活用能力)の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)PCを操作し、本学の教学システム、関連したSNSやクラウドサービスを適切に利用できる。 2)インターネットを使った適切な情報検索(図書館利用法・文献探索・データベース活用法等を含む)ができる。 3)情報化社会の特性を踏まえ、情報モラル・情報セキュリティ・個人情報・著作権等について説明できる。 4)キーボードを使って文字入力ができる(5分間で日本語300文字以上)。 5)プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を用いて簡易なスライド資料の作成ができる。 6)ワープロソフト(Word)を用いて簡易な文書作成ができる。 7)表計算ソフト(Excel)を用いて、情報を分析評価・整理等するために簡易な集計表やグラフの作成ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技を実施するため、適宜学生の質問等に回答します。 ・教学システムを利用したテストを実施した場合には、受験後、採点結果等をフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	情報リテラシー入門編　Windows10／Office 2019対応型番(FPT1918)，FOM，FOM出版，2020年	ISBN	9784865104165
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	―	

この科目の履修にあたって	毎回の授業に出席し課題に取り組めば、PC、タイピング、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフト等に関する基本的な操作スキルを身につけることが可能です。これらスキルの修得には一定の時間と量が必要です。4年間の大学生活だけでなく卒業後の仕事においても必須のスキルとなるため、集中して取り組み修得して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	1)ガイダンス 2)本学の情報通信機器及び教学システムの概要や基本操作 ・本学ICT環境(1):Learning Portal、Universal Passport、クラウドサービス(Microsoft/Office365)等 ・Windowsの操作(1) ・情報セキュリティ・パスワード変更 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP1Windowsについて～STEP6アプリを操作しよう，STEP10 Windowsを終了しよう	○事前学修 ・全15回のシラバスをすべて読んで授業計画を確認して下さい。 ・学内システムのパスワードをどのようにするかについて決めてきてください(パスワードは半角英数字記号を利用します)。 ○事後学修 ・以後、本学の教学システムに毎日ログインし、学内の連絡事項を確認してください。 ・自宅PCから本学の教学システムにアクセスし授業資料をダウンロードし閲覧してください。	4時間

第2回	対面	1)教学システムの基本操作 ・Windowsの操作(2) ・本学ICT環境(2):学修ポートフォリオ、クラウドサービス/SNS Microsoft/Office365(Outlook、OneDrive等) 【テキスト】ウィンドウズ編 STEP7ファイルを上手に管理しよう～STEP9インターネットを使ってみよう	○事前学修 ・第1回の操作を基本としますので、第1回の内容を事前に復習して下さい。 ○事後学修 ・自宅PCにてメール操作やOneDrive操作して下さい。	4時間
第3回	対面	1)教学システムの基本操作 ・本学ICT環境(3): 2)Windowsの操作(3)・タイピングの基礎 ・Windowsの基本操作 ・日本語入力・タイピングの基礎 ・作成ファイルのアップロード 【テキスト】ウィンドウズ編全体	○事前学修 ・テキストの「Windowsを使ってみよう」に従って自宅PC等で操作して下さい。 ○事後学修 ・授業内で指定してたタイピング課題を作成し、学内システムを通じて提出してください。 ・以後、少なくとも「5分間で日本語300文字以上」を第12回目の授業では超えるように、タイピング練習をしてください。	4時間
第4回	対面	1)情報検索と図書館蔵書検索 2)プレゼンテーションソフトの基本操作(1) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・STEP1 PowerPointについて～STEP6 プレゼンテーションを印刷しよう	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の操作を復習しておきましょう。	4時間
第5回	対面	1)プレゼンテーションソフトの基本操作(2) 【テキスト】プレゼンテーション編 ・前回の続き ・練習問題 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「プレゼンテーション編」の練習問題を事前に確認しましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(1) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・STEP1 Wordについて～STEP6長文のレポートを編集しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「文章作成編」を事前に確認しておきましょう。STEP1～STEP6。 ○事後学修 ・テキストの「文章作成編」の操作を復習しておきましょう。STEP1～STEP6。	4時間
第7回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(2) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	1)ワープロソフトの基本操作(3) 【テキスト】ワープロソフトを活用しよう ・練習問題2と3 2)情報モラル＆情報セキュリティ【テキスト】ネット社会で情報を安全に使いこなそう 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題2と3を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題2と3を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(1) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP1 Excelについて～STEP5 表を印刷しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP1～5の操作を復習しておきましょう。	4時間
第10回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(2) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう STEP6 グラフを作成しよう～STEP8 複数のシートを操作しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP6～8の操作を復習しておきましょう	4時間
第11回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(3) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・前回の続き ・練習問題1と2 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの練習問題1と2を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・練習問題1と2を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	1)表計算ソフトの基本操作(4) 【テキスト】表計算ソフトを活用しよう ・STEP9 関数を使いこなそう～STEP11 条件付き書式を設定しよう 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストの「表計算編」を事前に確認しておきましょう。 ○事後学修 ・テキストの「表計算編」表計算ソフトを活用しようSTEP9～11の操作を復習しておきましょう	4時間
第13回	対面	1)総合演習1 ・総合演習課題(1) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(1)を完成させ提出しましょう。	4時間
第14回	対面	1)総合演習2 ・総合演習課題(2) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(2)を完成させ提出しましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	1)総合演習3 ・総合演習課題(3) 2)情報モラル＆情報セキュリティ 3) タイピングスコアの提出	○事前学修 ・テキストを使って操作を確認しておきましょう ○事後学修 ・総合演習課題(3)を完成させ提出しましょう。	4時間

科目名	データサイエンス基礎	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岩見　真希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)		
授業の目的及び概要	・本科目は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的とします。 ・数理・データサイエンス・AIに関するリテラシーは、Society 5.0の実現やSDGsを達成する上で必要となる「汎用的技能」であり、また、卒業後の仕事でも必要となる「就業力」といえます。 ・データやAIに関する法的性質を知り、現代ビジネスの諸課題に取り組み、社会で活躍できる力を育成する上でも数理・データサイエンス・AIに関する基礎的知識やスキルは必須の能力と言えます。 ・本科目では、このような数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得に向けて、各オフィスソフトを操作しながら課題に取り組みます。また、社会における実課題や実データを活用する実践的な学修のため、企業等から提供される実課題や実データを活用します。 ・また、情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(ITパスポート出題内容)についても学修します。 ・本科目は「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム」に準拠しています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は、数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AIの活用領域、データ・AI利活用の現場、データ・AI利活用の最新動向について説明できる。 2)データを読み、説明し、扱うことができる。 3)データ・AIを扱う上での留意事項及びデータを守る上での留意事項、情報倫理・情報セキュリティなど情報の取扱いに係る法規・倫理について説明できる。 4)企業等から提供される実データを活用して、実データを処理・分析し実課題の解決に資する報告資料を作成できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技も行いますので、適時学生の質問に答えていきます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	AIデータサイエンスリテラシー入門, 吉岡剛志, 技術評論社, 2022年	ISBN	9784297130428
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	―	―	

この科目の履修にあたって	・毎回の授業に出席し、課題に取り組めば、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)」に関する知識や技能を身につける事が可能です。 ・欠席した場合はLearningPortalを確認し、課題がある場合は提出しておきましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	・ガイダンス 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータ ・情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(※以降、ELSI&S:Ethical, Legal and Social Issues & Securityと略記を用いる) ・モデルカリキュラムとの対応(追加資料含む):社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを復習しておきましょう。	4時間

第2回	対面	ELSI&Sテスト 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を事前に読んでください。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を復習してください。	4時間
第3回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第4回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第5回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	ELSI&Sテスト ○事前学修 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第7回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第10回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第11回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	ELSI&Sテスト 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を復習しておきましょう。	4時間
第13回	対面	総合演習(1) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(1)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第14回	対面	総合演習(2) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(2)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第15回	オンデマンド	総合演習(3) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(3)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出してください。	4時間

科目名	データサイエンス基礎	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岩田　順敬	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)		
授業の目的及び概要	・本科目は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的とします。 ・数理・データサイエンス・AIに関するリテラシーは、Society 5.0の実現やSDGsを達成する上で必要となる「汎用的技能」であり、また、卒業後の仕事でも必要となる「就業力」といえます。 ・データやAIに関する法的性質を知り、現代ビジネスの諸課題に取り組み、社会で活躍できる力を育成する上でも数理・データサイエンス・AIに関する基礎的知識やスキルは必須の能力と言えます。 ・本科目では、このような数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得に向けて、各オフィスソフトを操作しながら課題に取り組みます。また、社会における実課題や実データを活用する実践的な学修のため、企業等から提供される実課題や実データを活用します。 ・また、情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(ITパスポート出題内容)についても学修します。 ・本科目は「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム」に準拠しています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は、数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AIの活用領域、データ・AI利活用の現場、データ・AI利活用の最新動向について説明できる。 2)データを読み、説明し、扱うことができる。 3)データ・AIを扱う上での留意事項及びデータを守る上での留意事項、情報倫理・情報セキュリティなど情報の取扱いに係る法規・倫理について説明できる。 4)企業等から提供される実データを活用して、実データを処理・分析し実課題の解決に資する報告資料を作成できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技も行いますので、適時学生の質問に答えていきます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	AIデータサイエンスリテラシー入門, 吉岡剛志, 技術評論社, 2022年	ISBN	9784297130428
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	―	―	

この科目の履修にあたって	・毎回の授業に出席し、課題に取り組めば、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)」に関する知識や技能を身につける事が可能です。 ・欠席した場合はLearningPortalを確認し、課題がある場合は提出しておきましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	・ガイダンス 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータ ・情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(※以降、ELSI&S:Ethical, Legal and Social Issues & Securityと略記を用いる) ・モデルカリキュラムとの対応(追加資料含む):社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを復習しておきましょう。	4時間

第2回	対面	ELSI&Sテスト 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を事前に読んでください。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を復習してください。	4時間
第3回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第4回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第5回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	ELSI&Sテスト ○事前学修 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第7回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第10回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第11回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	ELSI&Sテスト 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を復習しておきましょう。	4時間
第13回	対面	総合演習(1) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(1)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第14回	対面	総合演習(2) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(2)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第15回	オンデマンド	総合演習(3) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(3)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出してください。	4時間

科目名	データサイエンス基礎	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岩見　真希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)		
授業の目的及び概要	・本科目は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的とします。 ・数理・データサイエンス・AIに関するリテラシーは、Society 5.0の実現やSDGsを達成する上で必要となる「汎用的技能」であり、また、卒業後の仕事でも必要となる「就業力」といえます。 ・データやAIに関する法的性質を知り、現代ビジネスの諸課題に取り組み、社会で活躍できる力を育成する上でも数理・データサイエンス・AIに関する基礎的知識やスキルは必須の能力と言えます。 ・本科目では、このような数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得に向けて、各オフィスソフトを操作しながら課題に取り組みます。また、社会における実課題や実データを活用する実践的な学修のため、企業等から提供される実課題や実データを活用します。 ・また、情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(ITパスポート出題内容)についても学修します。 ・本科目は「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム」に準拠しています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は、数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AIの活用領域、データ・AI利活用の現場、データ・AI利活用の最新動向について説明できる。 2)データを読み、説明し、扱うことができる。 3)データ・AIを扱う上での留意事項及びデータを守る上での留意事項、情報倫理・情報セキュリティなど情報の取扱いに係る法規・倫理について説明できる。 4)企業等から提供される実データを活用して、実データを処理・分析し実課題の解決に資する報告資料を作成できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技も行いますので、適時学生の質問に答えていきます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	AIデータサイエンスリテラシー入門, 吉岡剛志, 技術評論社, 2022年	ISBN	9784297130428
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	―	―	

この科目の履修にあたって	・毎回の授業に出席し、課題に取り組めば、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)」に関する知識や技能を身につける事が可能です。 ・欠席した場合はLearningPortalを確認し、課題がある場合は提出しておきましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	・ガイダンス 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータ ・情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(※以降、ELSI&S:Ethical, Legal and Social Issues & Securityと略記を用いる) ・モデルカリキュラムとの対応(追加資料含む):社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを復習しておきましょう。	4時間

第2回	対面	ELSI&Sテスト 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を事前に読んでください。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を復習してください。	4時間
第3回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第4回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第5回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	ELSI&Sテスト ○事前学修 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第7回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第10回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第11回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	ELSI&Sテスト 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を復習しておきましょう。	4時間
第13回	対面	総合演習(1) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(1)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第14回	対面	総合演習(2) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(2)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第15回	オンデマンド	総合演習(3) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(3)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出してください。	4時間

科目名	データサイエンス基礎	開講年度	2023年度秋学期
担当者	呉原　志賢	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)		
授業の目的及び概要	・本科目は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的とします。 ・数理・データサイエンス・AIに関するリテラシーは、Society 5.0の実現やSDGsを達成する上で必要となる「汎用的技能」であり、また、卒業後の仕事でも必要となる「就業力」といえます。 ・データやAIに関する法的性質を知り、現代ビジネスの諸課題に取り組み、社会で活躍できる力を育成する上でも数理・データサイエンス・AIに関する基礎的知識やスキルは必須の能力と言えます。 ・本科目では、このような数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得に向けて、各オフィスソフトを操作しながら課題に取り組みます。また、社会における実課題や実データを活用する実践的な学修のため、企業等から提供される実課題や実データを活用します。 ・また、情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(ITパスポート出題内容)についても学修します。 ・本科目は「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム」に準拠しています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は、数理・データサイエンス・AIに関する能力の修得です。具体的には以下の項目を到達目標とします。 1)社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AIの活用領域、データ・AI利活用の現場、データ・AI利活用の最新動向について説明できる。 2)データを読み、説明し、扱うことができる。 3)データ・AIを扱う上での留意事項及びデータを守る上での留意事項、情報倫理・情報セキュリティなど情報の取扱いに係る法規・倫理について説明できる。 4)企業等から提供される実データを活用して、実データを処理・分析し実課題の解決に資する報告資料を作成できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・PCを用いた実技も行いますので、適時学生の質問に答えていきます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	AIデータサイエンスリテラシー入門, 吉岡剛志, 技術評論社, 2022年	ISBN	9784297130428
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	―	―	

この科目の履修にあたって	・毎回の授業に出席し、課題に取り組めば、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)」に関する知識や技能を身につける事が可能です。 ・欠席した場合はLearningPortalを確認し、課題がある場合は提出しておきましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	・ガイダンス 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータ ・情報倫理・情報セキュリティなど、情報の取扱いに係る法規・倫理(※以降、ELSI&S:Ethical, Legal and Social Issues & Securityと略記を用いる) ・モデルカリキュラムとの対応(追加資料含む):社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-1　社会で起きている変化、1-2　社会で活用されているデータを復習しておきましょう。	4時間

第2回	対面	ELSI&Sテスト 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を事前に読んでください。 ○事後学修 第1章　社会におけるデータ・AI利活用　1-3　データ・AIの活用領域、1-4　データ・AI利活用のための技術、1-5　データ・AI利活用の現場、1-6　データ・AI利活用の最新動向を復習してください。	4時間
第3回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-1　Excelの基本的な操作を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第4回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-2　時系列データの可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第5回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	ELSI&Sテスト ○事前学修 第2章　データリテラシー　2-3　平均の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第6回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-4　標準偏差の算出とその可視化を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第7回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-5　大量のデータを扱う方法を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第8回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-6　基本統計量の算出と箱ひげ図を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第9回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-7　度数聞票とヒストグラムの作成を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第10回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-8　散布図の作成と相関係数の算出を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第11回	対面	ELSI&Sテスト 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計 モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で活用されているデータ、データを説明する・データを読む・データを扱う・データ・AIの活用領域	○事前学修 第2章　データリテラシー　2-9　定性データの扱い方とクロス集計を事前に読んでください。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出して下さい。	4時間
第12回	対面	ELSI&Sテスト 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項 ・モデルカリキュラムとの対応（追加資料含む）：社会で起きている変化、データ・AI利活用の現場、データ・AIの活用領域・データ・AIを扱う上での留意事項	○事前学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を事前に読んでおきましょう。 ○事後学修 第3章　データ・AI利活用における留意事項　3-1　データ・AIを扱う上での留意事項、3-2　データを守る上での留意事項を復習しておきましょう。	4時間
第13回	対面	総合演習(1) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(1)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第14回	対面	総合演習(2) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(2)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させてください。	4時間
第15回	オンデマンド	総合演習(3) ・企業等から提供される実データを用いた処理・分析と報告書の作成(3)	○事前学修 テキスト全体を復習しておきましょう。 ○事後学修 出題された課題を完成させ提出してください。	4時間

科目名	ビジネスアプリケーション	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岩見　真希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ビジネスシーンにおけるオフィスソフトを用いた実践的なICT活用能力の涵養		
授業の目的及び概要	この授業では、ビジネスアプリケーションに関する基礎的な知識とスキルを土台に、より実践的な活用能力の修得を目指す。そのために、オフィスソフトを用いて情報を収集し、適切に可視化するための方法を学修する。さらに、加工した情報を用いて検証や分析等を行い、ドキュメントにまとめ上げる能力を身につける。授業において、実践的な課題に取り組むことによって、情報化社会で必要とされるICT(情報通信技術)活用能力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	Microsoft Word, Excel, PowerPoint を用いた実践的な課題に取り組むことによって、情報化社会で必要とされるICT(情報通信技術)活用能力を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出された課題について、随時、授業授業支援システム(Learning Portal)で講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／クリッカー等の理解度把握システムの利用		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019　スキルアップ問題集 ビジネス実践編(FOM出版), 富士通エフ・オー・エム, FOM出版, 2020.	ISBN	978-4-86510-437-0
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	70	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	Microsoft Word, Excel, PowerPoint を用いた実践的な課題を通して、ゼミでの発表、プレゼン大会や就業力育成のためのICTの活用能力を養成しよう。 この授業のテキストはWindows版 Microsoft Officeの利用を想定して書かれている。自宅で課題に取り組む際、本学学生が入手できるMicrosoft365ライセンスで演習可能だが、Windows環境が必要がある。よって、教室外で演習する際には、自宅PCがMacであるなどWindows環境でない場合は、学内PC自習室や貸出ノートPC(台数制限あり)を利用すること。 ※Mac版は操作手順や結果が異なるため対応外。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業のガイダンス プロジェクト発足を通知する ・プロジェクト体系図の作成 ・プロジェクト発足を通知するレポートの作成	【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第2回	対面	会議の開催を連絡する ・拡販会議の開催を連絡するレポートの作成 ・会議配布資料の作成	【予習】テキストの「会議の開催を連絡する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第3回	対面	行動指針を全従業員に告知する ・行動指針を通知するレポートの作成 ・行動指針を掲げたポスターの作成	【予習】テキストの「行動指針を全従業員に告知する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第4回	対面	セミナー開催をお客様に案内する ・セミナー一覧表の作成 ・セミナー開催を案内するレポートの作成	【予習】テキストの「セミナー開催をお客様に案内する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第5回	対面	セミナー申込者に受講票を送付する ・申し込み者一覧表の作成 ・受講票の作成(差し込み印刷) ・宛名ラベル印刷	【予習】テキストの「セミナー申込者に受講票を送付する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間

第6回	対面	Webサイトへのアクセス数を集計・分析する ・アクセス数の集計 ・アクセス数の分析	【予習】テキストの「Webサイトへのアクセス数を集計・分析する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第7回	対面	社内研修結果を管理する ・全従業員の成績の集計 ・従業員別の個別分析	【予習】テキストの「社内研修結果を管理する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第8回	対面	イベント売上実績を集計・分析する ・店舗別・商品カテゴリ別の売上集計表の作成 ・目標達成率の算出 ・商品カテゴリ別の売上構成比の比較 ・店舗別の売上実績と売上目標の比較	【予習】テキストの「イベント売上実績を集計・分析する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第9回	対面	セミナー開催状況を管理する ・マスタ表の作成 ・開催セミナー一覧表の作成 ・セミナー別の集計	【予習】テキストの「セミナー開催状況を管理する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第10回	対面	売上見込み・売上実績を集計する ・売上見込みの提出を依頼するレポートの作成 ・売上見込みの集計 ・売上実績の集計	【予習】テキストの「売上見込み・売上実績を集計する」の部分を読んでおくこと。 【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第11回	対面	ポスターの作成	【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第12回	対面	カタログ冊子の作成	【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第13回	対面	プレゼンテーションの作成（1）	【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第14回	オンデマンド	プレゼンテーションの作成（2）	【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間
第15回	対面	プレゼンテーションの作成（3） これまでのまとめ	【復習】今回の内容を読んで復習すること。課題を提出すること。	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	土田　智佳子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力の基礎を固め、TOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す科目である。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1　クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2　クラス2・3・4 1. TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3　クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 火4　クラス②(留学生クラス) SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition　GOAL500	ISBN	・世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル]　978-4046022059 ・TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400　978-4255156354 ・TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)978-4-906033-56-0 ・公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7　978-4906033614 ・SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition　GOAL500　9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(7月TOEIC IP):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Listening, Phonology, Listening, Question-Response, Reading. Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology from Units 1-5	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ウェザビ・マーティン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力の基礎を固め、TOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す科目である。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500	ISBN	・世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 978-4046022059 ・TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 978-4255156354 ・TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)978-4-906033-56-0 ・公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 978-4906033614 ・SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(7月TOEIC IP):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Listening, Phonology, Listening, Question-Response, Reading. Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology from Units 1-5	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	鳥居 佳世	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力の基礎を固め、TOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す科目である。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500	ISBN	・世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 978-4046022059 ・TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 978-4255156354 ・TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)978-4-906033-56-0 ・公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 978-4906033614 ・SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(7月TOEIC IP):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Listening, Phonology, Listening, Question-Response, Reading. Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology from Units 1-5	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多 善、尹 英海(補助講師)	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力の基礎を固め、TOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す科目である。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500	ISBN	・世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 978-4046022059 ・TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 978-4255156354 ・TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)978-4-906033-56-0 ・公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 978-4906033614 ・SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(7月TOEIC IP):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Listening, Phonology, Listening, Question-Response, Reading. Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology from Units 1-5	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ウェザビ・マーティン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力の基礎を固め、TOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す科目である。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500	ISBN	・世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 978-4046022059 ・TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 978-4255156354 ・TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)978-4-906033-56-0 ・公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 978-4906033614 ・SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(7月TOEIC IP):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Listening, Phonology, Listening, Question-Response, Reading. Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology from Units 1-5	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	鳥居 佳世	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力の基礎を固め、TOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す科目である。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500	ISBN	・世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 978-4046022059 ・TOEIC(R) L&Rテスト戦略的トレーニング:レベル400 978-4255156354 ・TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)978-4-906033-56-0 ・公式TOEIC List公式ening & Reading 問題集 7 978-4906033614 ・SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 1 / 4th Edition GOAL500 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(7月TOEIC IP):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Listening, Phonology, Listening, Question-Response, Reading. Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology from Units 1-5	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	土田　智佳子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEFLやTOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEFLやTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1　クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2　クラス2・3・4 1. SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro / 2nd Edition 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3　クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 火4　クラス②(留学生クラス) Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500	ISBN	TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)9784906033560 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　9784906033614 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro 9784342550157 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル]　9784046022059 ″Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500″　9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(TOEIC やTOEFL等スコア):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEFL及びTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening?Conversations, Pair work Ⅰ, Listening?Phonology, Listening?Question-Response, Reading?Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ウェザビ・マーティン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEFLやTOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEFLやTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro / 2nd Edition 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500	ISBN	TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)9784906033560 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 9784906033614 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro 9784342550157 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 9784046022059 ″Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500″ 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(TOEIC やTOEFL等スコア):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEFL及びTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening?Conversations, Pair work Ⅰ, Listening?Phonology, Listening?Question-Response, Reading?Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	鳥居　佳世	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEFLやTOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEFLやTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1　クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2　クラス2・3・4 1. SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro / 2nd Edition 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3　クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 火4　クラス②(留学生クラス) Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500	ISBN	TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)9784906033560 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　9784906033614 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro 9784342550157 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル]　9784046022059 ″Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500″　9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(TOEIC やTOEFL等スコア):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEFL及びTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening?Conversations, Pair work Ⅰ, Listening?Phonology, Listening?Question-Response, Reading?Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、尹　英海(補助講師)	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEFLやTOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEFLやTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1　クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2　クラス2・3・4 1. SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro / 2nd Edition 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3　クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 火4　クラス②(留学生クラス) Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500	ISBN	TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)9784906033560 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　9784906033614 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro 9784342550157 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル]　9784046022059 ″Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500″　9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(TOEIC やTOEFL等スコア):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEFL及びTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening?Conversations, Pair work Ⅰ, Listening?Phonology, Listening?Question-Response, Reading?Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ウェザビ・マーティン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEFLやTOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEFLやTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1 クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2 クラス2・3・4 1. SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro / 2nd Edition 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3 クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 火4 クラス②(留学生クラス) Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500	ISBN	TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)9784906033560 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 9784906033614 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro 9784342552157 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 9784046022059 ″Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500″ 9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(TOEIC やTOEFL等スコア):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEFL及びTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening?Conversations, Pair work Ⅰ, Listening?Phonology, Listening?Question-Response, Reading?Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	鳥居　佳世	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEFLやTOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEFLやTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる基本的な英語運用能力を高めることを目標とする。また受講者のTOEFLやTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅰ/Ⅱでは、TOEIC L&Rで最低400点を取得する。また習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 教科書: 水1　クラス1 1. 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル] 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 水1・水2　クラス2・3・4 1. SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro / 2nd Edition 2. TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用) 月3　クラス①(留学生クラス) 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 火4　クラス②(留学生クラス) Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500	ISBN	TOEIC® Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック(通年使用)9784906033560 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　9784906033614 SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST Goal 400 Intro 9784342550157 世界一わかりやすいTOEIC L&Rテスト総合模試1[600点突破レベル]　9784046022059 ″Success Keys to the TOEIC Listening and Reading Test Book 1 Goal→500″　9784342552625
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz(Mini Quiz, TOEIC Mini Test, Vocabulary Quiz):40% 総括テスト(TOEIC やTOEFL等スコア):40%	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEFL及びTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	教員紹介、教材・授業の方法を説明します。TOEICの概要について説明する。 当該科目は習熟度別クラスであり、テキストの内容、学習方法は初回の授業で説明する。 Introduction of the instructor, explanation of the materials and learning methods, overview and explanation of the TOEIC	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Topics: Corporate organization & structure; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Listening, Phonology,	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	Output: Describing an organization, describing a company; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Topics: Work around the office, work routines, meetings; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Output: Describing work routines, describing jobs; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening?Talks, Pair work Ⅱ, Reading?Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading?Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Topics: Travel, hotels, dining out, entertainment; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening?Conversations, Pair work Ⅰ, Listening?Phonology, Listening?Question-Response, Reading?Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Output: Describing travel procedure; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Topics: Hiring, recruiting, training, salaries; Section A: Warm-Up?Photographs, Focus on Vocabulary Ⅰ, Listening, Conversations, Pair work Ⅰ, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Output: Job interviews, getting a job; Section B: Focus on Vocabulary Ⅱ, Listening, Talks, Pair work Ⅱ, Reading, Incomplete Sentences, Focus on Grammar, Reading, Comprehension, Let's Talk Ⅱ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Topics: Factories, production, quality control; Section A: Warm-Up, Photographs, Focus on Vocabulary, Listening, Conversations, Pair work I, Phonology, Question-Response, Reading, Text Completion, Let's Talk Ⅰ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Review of topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	TOEIC Mini Test	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	Review of this semester's topics, vocabulary, grammar, phonology	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニング・ライティングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、市本　泰代（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129	ISBN	水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、土居　雅永（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129	ISBN	水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、鈴川　久美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①(一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生) TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年)ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129	ISBN	水2 クラス①(一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生) TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年) ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R(TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果)：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する(カバンの中にしまった状態)。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、鈴川　久美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①(一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生) TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年)ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129	ISBN	水2 クラス①(一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生) TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年) ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R(TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果)：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する(カバンの中にしまった状態)。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、土居　雅永（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129	ISBN	水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、市本　泰代（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129	ISBN	水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅲ	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	本多　善、尹　英海（補助講師）	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129	**ISBN**	水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITPテスト模試4回分　改訂版　ISBN 9784757440081 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年）　ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】 TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN　9784757430129
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表（口頭・実技）(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST1を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する(4時間)	4時間
第2回	対面	TOEICイントロダクション　Part 1導入	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:品詞の形	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2導入、文法:品詞の見分け問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:動詞の形	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法:本動詞の問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 導入、文法:代名詞の格	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法:接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、TOEIC Part 4 導入、 Part 5/6 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 7 学習法実践	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニング力全般強化、リーディング速読力強化	事後学修: ・TEST 1 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディング速読力強化、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 1 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 1の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	世界史概論＜世界史概論Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	中尾　恭三	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代世界形成の歴史		
授業の目的及び概要	現代社会の諸問題の形成に関わる歴史の大きな変化、とりわけ地域間・事件間の相関関係の変化に主眼を置き、異なる地域においての文化や文明の成長、とくにその相互間の交流によってそれぞれ変化していく歴史を大局的に捉え、歴史時期において国際社会に大きな影響を与えた代表的な事件の発生原因とその結果を中心に学修する。とくに、以下の2点に対し重点的に考察し説明する。それは、地球上には多様多種な文明や文化が存在し、それぞれ独自の発展変化を歩んできたこと、異なった文化背景をもつ民族間・人種間の絶え間ない移動・交易・交流によって地域、そして世界を形成されていたこと、である。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①シルクロードで代表される歴史上の東西交易、南米からの銀の流れによって地球規模の交流開始などといった歴史の大きな流れをつかむことができる。 ②時代のターニングポイントに重点を置き、時代変化を分析する方法を学ぶことができる。 ③現代社会の諸課題について考えるに際して、歴史的視点を用いることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の講義後、テーマにそった確認小テストを実施するとともに、ラーニング・ポータルのディスカッションやアンケートの機能を使って、学生の反応や質問を収集する。その後、学生の小テスト解答、質問、感想などを紹介しつつ、コメントと課題の解説を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定していません。 各回の学修内容に応じて、参考文献を紹介し、一部を配布します。	ISBN	なし
参考書	①『もういちど読む山川世界現代史』, 木谷勤, 山川出版社, 2015年 ②『世界史年表・地図(2023年版)』, 亀井高孝ほか, 吉川弘文館, 2023年 ③『世界史用語集 改訂版』, 全国歴史教育研究協議会, 山川出版社, 2022年	ISBN	①9784634640689 ②9784642095631 ③9784634033054

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	歴史学は年表片手で丸暗記の学問ではない。歴史学は史料のもとで人類の歩みを分析・検討し、流動する現実と未来を見極めようとしている。諸君は授業に積極的に出席し、各々の時代の「何故？」「それで？」について探求してみよう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	計画:イントロダクション・世界史概論って何を学修するのか	配布資料を読んで、講義内容を整理する。	1時間
第2回	対面	諸地域世界の形成と交流1・宗教と文字の伝播:世界における主要な文明圏の形成とその特質	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第3回	対面	諸地域世界の形成と交流2・近代以前の東西交流:シルクロードと「最初のグローバル」＝モンゴル時代	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第4回	対面	諸地域世界の形成と交流3・ヨーロッパ人の海洋進出と白銀の流れ	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第5回	対面	現代世界の形成1・帝国主義時代の幕開け	参考書①の第1章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第6回	対面	現代世界の形成2・植民地での従属と抵抗	参考書①の第2章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第7回	対面	現代世界の形成3・第一次世界大戦の激動	参考書①の第3章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間

第8回	対面	現代世界の形成4・ロシア革命とヴェルサイユ体制	参考書①の第4章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第9回	対面	現代世界の形成5・民族解放闘争の新展開	参考書①の第5章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第10回	対面	現代世界の形成6・危機の20年	参考書①の第6章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第11回	対面	現代世界の形成7・第二次世界大戦での破壊と苦悩	参考書①の第7章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第12回	対面	現代世界の形成8・戦後世界の展開	参考書①の第8章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第13回	オンデマンド	現代世界の様態1・現代世界の多極構造 期末試験案内	参考書①の第9章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	5時間
第14回	対面	現代世界の様態2・冷戦終結とグローバリゼーション	参考書①の第10章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	5時間
第15回	対面	まとめ・期末試験復習	これまでの配布資料を整理したうえ、復習を行う。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。 ＊履修者の理解度を把握しながら、オンデマンド授業の実施時期を含む授業計画の調整することはありうる。	5時間

科目名	世界史概論＜世界史概論Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	伍 躍	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代世界形成の歴史		
授業の目的及び概要	現代社会の諸問題の形成に関わる歴史の大きな変化、とりわけ地域間・事件間の相関関係の変化に主眼を置き、異なる地域においての文化や文明の成長、とくにその相互間の交流によってそれぞれ変化していく歴史を大局的に捉え、歴史時期において国際社会に大きな影響を与えた代表的な事件の発生原因とその結果を中心に学修する。とくに、以下の2点に対し重点的に考察し説明する。それは、地球上には多様多種な文明や文化が存在し、それぞれ独自の発展変化を歩んできたこと、異なった文化背景をもつ民族間・人種間の絶え間ない移動・交易・交流によって地域、そして世界を形成されていたこと、である。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①シルクロードで代表される歴史上の東西交易、南米からの銀の流れによって地球規模の交流開始などといった歴史の大きな流れをつかむことができる。 ②時代のターニングポイントに重点を置き、時代変化を分析する方法を学ぶことができる。 ③現代社会の諸課題について考えるに際して、歴史的視点を用いることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の講義後、テーマにそった確認小テストを実施するとともに、ラーニング・ポータルのディスカッションやアンケートの機能を使って、学生の反応や質問を収集する。その後、学生の小テスト解答、質問、感想などを紹介しつつ、コメントと課題の解説を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定していません。 各回の学修内容に応じて、参考文献を紹介し、一部を配布します。	ISBN	なし
参考書	①『もういちど読む山川世界現代史』, 木谷勤, 山川出版社, 2015年 ②『世界史年表・地図(2023年版)』, 亀井高孝ほか, 吉川弘文館, 2023年 ③『世界史用語集 改訂版』, 全国歴史教育研究協議会, 山川出版社, 2022年	ISBN	①9784634640689 ②9784642095631 ③9784634033054

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	歴史学は年表片手で丸暗記の学問ではない。歴史学は史料のもとで人類の歩みを分析・検討し、流動する現実と未来を見極めようとしている。諸君は授業に積極的に出席し、各々の時代の「何故？」「それで？」について探求してみよう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	計画:イントロダクション・世界史概論って何を学修するのか	配布資料を読んで、講義内容を整理する。	1時間
第2回	対面	諸地域世界の形成と交流1・宗教と文字の伝播:世界における主要な文明圏の形成とその特質	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第3回	対面	諸地域世界の形成と交流2・近代以前の東西交流:シルクロードと「最初のグローバル」＝モンゴル時代	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第4回	対面	諸地域世界の形成と交流3・ヨーロッパ人の海洋進出と白銀の流れ	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第5回	対面	現代世界の形成1・帝国主義時代の幕開け	参考書①の第1章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第6回	対面	現代世界の形成2・植民地での従属と抵抗	参考書①の第2章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第7回	対面	現代世界の形成3・第一次世界大戦の激動	参考書①の第3章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間

第8回	対面	現代世界の形成4・ロシア革命とヴェルサイユ体制	参考書①の第4章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第9回	対面	現代世界の形成5・民族解放闘争の新展開	参考書①の第5章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第10回	対面	現代世界の形成6・危機の20年	参考書①の第6章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第11回	対面	現代世界の形成7・第二次世界大戦での破壊と苦悩	参考書①の第7章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第12回	対面	現代世界の形成8・戦後世界の展開	参考書①の第8章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第13回	オンデマンド	現代世界の様態1・現代世界の多極構造 期末試験案内	参考書①の第9章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	5時間
第14回	対面	現代世界の様態2・冷戦終結とグローバリゼーション	参考書①の第10章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	5時間
第15回	対面	まとめ・期末試験復習	これまでの配布資料を整理したうえ、復習を行う。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。 ＊履修者の理解度を把握しながら、オンデマンド授業の実施時期を含む授業計画の調整することはありうる。	5時間

科目名	世界史概論＜世界史概論Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	中尾　恭三	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代世界形成の歴史		
授業の目的及び概要	現代社会の諸問題の形成に関わる歴史の大きな変化、とりわけ地域間・事件間の相関関係の変化に主眼を置き、異なる地域においての文化や文明の成長、とくにその相互間の交流によってそれぞれ変化していく歴史を大局的に捉え、歴史時期において国際社会に大きな影響を与えた代表的な事件の発生原因とその結果を中心に学修する。とくに、以下の2点に対し重点的に考察し説明する。それは、地球上には多様多種な文明や文化が存在し、それぞれ独自の発展変化を歩んできたこと、異なった文化背景をもつ民族間・人種間の絶え間ない移動・交易・交流によって地域、そして世界を形成されていたこと、である。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①シルクロードで代表される歴史上の東西交易、南米からの銀の流れによって地球規模の交流開始などといった歴史の大きな流れをつかむことができる。 ②時代のターニングポイントに重点を置き、時代変化を分析する方法を学ぶことができる。 ③現代社会の諸課題について考えるに際して、歴史的視点を用いることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の講義後、テーマにそった確認小テストを実施するとともに、ラーニング・ポータルのディスカッションやアンケートの機能を使って、学生の反応や質問を収集する。その後、学生の小テスト解答、質問、感想などを紹介しつつ、コメントと課題の解説を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定していません。 各回の学修内容に応じて、参考文献を紹介し、一部を配布します。	ISBN	なし
参考書	①『もういちど読む山川世界現代史』, 木谷勤, 山川出版社, 2015年 ②『世界史年表・地図(2023年版)』, 亀井高孝ほか, 吉川弘文館, 2023年 ③『世界史用語集 改訂版』, 全国歴史教育研究協議会, 山川出版社, 2022年	ISBN	①9784634640689 ②9784642095631 ③9784634033054

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	歴史学は年表片手で丸暗記の学問ではない。歴史学は史料のもとで人類の歩みを分析・検討し、流動する現実と未来を見極めようとしている。諸君は授業に積極的に出席し、各々の時代の「何故？」「それで？」について探求してみよう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	計画:イントロダクション・世界史概論って何を学修するのか	配布資料を読んで、講義内容を整理する。	1時間
第2回	対面	諸地域世界の形成と交流1・宗教と文字の伝播:世界における主要な文明圏の形成とその特質	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第3回	対面	諸地域世界の形成と交流2・近代以前の東西交流:シルクロードと「最初のグローバル」＝モンゴル時代	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第4回	対面	諸地域世界の形成と交流3・ヨーロッパ人の海洋進出と白銀の流れ	配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第5回	対面	現代世界の形成1・帝国主義時代の幕開け	参考書①の第1章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第6回	対面	現代世界の形成2・植民地での従属と抵抗	参考書①の第2章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第7回	対面	現代世界の形成3・第一次世界大戦の激動	参考書①の第3章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間

第8回	対面	現代世界の形成4・ロシア革命とヴェルサイユ体制	参考書①の第4章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第9回	対面	現代世界の形成5・民族解放闘争の新展開	参考書①の第5章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第10回	対面	現代世界の形成6・危機の20年	参考書①の第6章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第11回	対面	現代世界の形成7・第二次世界大戦での破壊と苦悩	参考書①の第7章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第12回	対面	現代世界の形成8・戦後世界の展開	参考書①の第8章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	4時間
第13回	オンデマンド	現代世界の様態1・現代世界の多極構造 期末試験案内	参考書①の第9章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	5時間
第14回	対面	現代世界の様態2・冷戦終結とグローバリゼーション	参考書①の第10章と配布資料を読んで、講義内容を整理する。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。	5時間
第15回	対面	まとめ・期末試験復習	これまでの配布資料を整理したうえ、復習を行う。歴史上の事件や人物を含む固有名詞については参考書②と③を活用して調べよう。 ＊履修者の理解度を把握しながら、オンデマンド授業の実施時期を含む授業計画の調整することはありうる。	5時間

科目名	日本史概論＜日本史概論Ⅰ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	望月　みわ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本の政治・外交・社会の歴史と国際関係		
授業の目的及び概要	日本をとりまく世界の動き、特に東アジア世界との相関関係を意識しながら、古代・中世・近世・近代および現代の歴史な変遷を大局的に捉え、その原因と結果、特に現代社会の前提となっている歴史上の諸問題について理解を深めてもらうことを目的とする。 具体的には、前近代においては、東アジア文化圏の周辺各地域との交流が日本の政治・社会に大きく影響を及ぼしたこと、近代以後は、日本が立憲政治を確立し国際社会に参入し、積極的な対外進出のすえ戦後の惨禍を経験したこと、戦後は戦前における問題をかかえつつも復興を果たし現代社会につながっていくこと等を念頭に、これらに関する重要なトピックについてとりあげるかたちで講義を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①政治史・外交史を主線に、経済や文化の変化をも留意しつつ、日本歴史の流れを俯瞰的に把握することができる。 ②時代のターニングポイントに重点を置き、時代変化を分析する方法を学ぶことができる。 ③現代社会の諸課題について考えるに際して、歴史的視点を用いることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業後に提出されたコメントや質問を翌週の授業で取り上げ、質問への回答や補足説明を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しません。レジュメを配付します。	ISBN	なし
参考書	①児玉 幸多『日本史年表・地図(2023年版)』、吉川弘文館、2023 ②大津 透ほか『もういちど読みなおす山川新日本史』、上・下、山川出版社、2022 ③全国歴史教育研究協議会『日本史用語集 改訂版』、山川出版社、2022	ISBN	①9784642095624 ②9784634591264、9784634591271 ③9784634013056

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	用語等の暗記は必要ありません。授業内容から課題を見つけ、解決するための情報収集の仕方を身につけることを重視します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(授業の内容・進め方の説明)	授業後に、授業で配付したレジュメを読んで、ノートを整理して下さい。	1時間
第2回	対面	古代の日本と東アジア	参考書②第1～4章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第3回	対面	中世の対外関係と社会	参考書②第5～6章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第4回	対面	近世における幕藩体制の形成と変化	参考書②第7～8章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第5回	対面	幕藩体制の動揺と開国	参考書②第9～10章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第6回	対面	明治維新と立憲国家の成立	参考書②第11章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第7回	対面	日清・日露戦争	参考書②第11章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間

第8回	対面	近代日本の植民地支配	参考書②第11～12章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第9回	対面	第一次世界大戦と日本	参考書②第12章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第10回	オンデマンド	軍部の台頭と満州事変	参考書②第12～13章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第11回	対面	日中戦争からアジア太平洋戦争へ	参考書②第13章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第12回	対面	占領下の日本と講和	参考書②第14章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第13回	対面	冷戦と日本	参考書②第15～16章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第14回	対面	戦後の東アジアと日本	参考書②第15～16章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第15回	対面	本授業のまとめ ＊学生の理解度などを把握しながら、オンデマンド授業の実施時期を含む上記の授業計画を調整する可能性がある。	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。	5時間

科目名	日本史概論＜日本史概論Ⅰ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	望月　みわ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本の政治・外交・社会の歴史と国際関係		
授業の目的及び概要	日本をとりまく世界の動き、特に東アジア世界との相関関係を意識しながら、古代・中世・近世・近代および現代の歴史な変遷を大局的に捉え、その原因と結果、特に現代社会の前提となっている歴史上の諸問題について理解を深めてもらうことを目的とする。 具体的には、前近代においては、東アジア文化圏の周辺各地域との交流が日本の政治・社会に大きく影響を及ぼしたこと、近代以後は、日本が立憲政治を確立し国際社会に参入し、積極的な対外進出のすえ戦後の惨禍を経験したこと、戦後は戦前における問題をかかえつつも復興を果たし現代社会につながっていくこと等を念頭に、これらに関する重要なトピックについてとりあげるかたちで講義を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①政治史・外交史を主線に、経済や文化の変化をも留意しつつ、日本歴史の流れを俯瞰的に把握することができる。 ②時代のターニングポイントに重点を置き、時代変化を分析する方法を学ぶことができる。 ③現代社会の諸課題について考えるに際して、歴史的視点を用いることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業後に提出されたコメントや質問を翌週の授業で取り上げ、質問への回答や補足説明を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しません。レジュメを配付します。	ISBN	なし
参考書	①児玉 幸多『日本史年表・地図(2023年版)』、吉川弘文館、2023 ②大津 透ほか『もういちど読みなおす山川新日本史』、上・下、山川出版社、2022 ③全国歴史教育研究協議会『日本史用語集 改訂版』、山川出版社、2022	ISBN	①9784642095624 ②9784634591264、9784634591271 ③9784634013056

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	用語等の暗記は必要ありません。授業内容から課題を見つけ、解決するための情報収集の仕方を身につけることを重視します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(授業の内容・進め方の説明)	授業後に、授業で配付したレジュメを読んで、ノートを整理して下さい。	1時間
第2回	対面	古代の日本と東アジア	参考書②第1～4章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第3回	対面	中世の対外関係と社会	参考書②第5～6章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第4回	対面	近世における幕藩体制の形成と変化	参考書②第7～8章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第5回	対面	幕藩体制の動揺と開国	参考書②第9～10章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第6回	対面	明治維新と立憲国家の成立	参考書②第11章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第7回	対面	日清・日露戦争	参考書②第11章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間

第8回	対面	近代日本の植民地支配	参考書②第11～12章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第9回	対面	第一次世界大戦と日本	参考書②第12章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第10回	オンデマンド	軍部の台頭と満州事変	参考書②第12～13章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第11回	対面	日中戦争からアジア太平洋戦争へ	参考書②第13章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第12回	対面	占領下の日本と講和	参考書②第14章と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第13回	対面	冷戦と日本	参考書②第15～16章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第14回	対面	戦後の東アジアと日本	参考書②第15～16章の指定箇所と配布資料を読んで、授業内容の整理を行う。歴史事件と歴史人物の概要については、参考書③を利用して調べよう。	4時間
第15回	対面	本授業のまとめ ＊学生の理解度などを把握しながら、オンデマンド授業の実施時期を含む上記の授業計画を調整する可能性がある。	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。	5時間

科目名	ジェンダー論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	郭　立夫	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ジェンダー・セクシュアリティ研究入門		
授業の目的及び概要	男／女の二分法や異性愛はつねに「あたりまえ」や「本能」「自然」と考えられてきました。しかしそのような考え方は社会によってつくられ、私たちの日常生活や思考をも形作っています。就職活動のエントリシートの「性別」欄から日常的に使う言葉まで、性(ジェンダー・セクシュアリティ)に関する規範は影響を与えています。その帰結としてさまざまな性差別が生じています。性に関するさまざまな不平等や差別に抗い、フェミニズムやクィア・スタディーズと呼ばれる学術研究は私たちの社会を大きく変えてきました。 この授業では女性と性的マイノリティの歴史的位置付けや社会の捉え方の変遷を扱います。歴史や社会運動を振り返るだけではなく、ポップカルチャー(ディズニーやジブリ、アメドラなど)や現在進行形の「炎上」事件やニュースなどをとおして、ジェンダー・セクシュアリティ研究に関する知識や考え方を習得します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①日常生活から性差別を発見する。 ②性が社会的に構築され、つねに政治的であることを理解する。 ③既存の社会規範を性の観点から批判的に考え直す。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	毎回授業後にラーニングポータルを通してコメントを書いてもらいます。コメントの一部を翌週の授業で紹介し、質問への回答や補足説明をします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しません。配布資料を用いて授業を行います。	ISBN	なし。
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	0	

この科目の履修にあたって	今年の授業はオンデマンド授業になっています。皆さんと対面の議論ができなく、とても残念だと思います。毎回の授業ではコメントを書いてもらい、次の授業で返答をしますので、積極的に参加してください。この授業はジェンダー論を一歩先に、性的マイノリティや障害者のような敏感なテーマを扱います。皆さんはそれらのテーマについて事前に勉強し、少数者に対する理解の上で参加することを期待しています。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	【ガイダンス＆イントロダクション:フェミニズムとクィア理論とは何か】 授業の概要や到達目標などについてガイダンスを行います。また、フェミニズムとクィア理論の問題意識と基本的な思考の枠組みを紹介します。	[予習]シラバスとガイダンス資料を事前に読んでください。 [復習]ガイダンス資料を読み直し、日常生活やニュースをジェンダー・セクシュアリティの観点から振り返る。	2時間
第2回	オンデマンド	【なぜ「性」を考えるか:フェミニズムとクィア理論の葛藤と意義】 女性運動、ゲイ＆レズビアン運動、そしてLGBT・クィア運動の関係と歴史的変遷を振り返ります。その変遷の中で、フェミニズム思想とクィア理論がいかに展開し、お互いに疑問や批判を向けたのかを説明します。そして最後に、フェミニズムとクィア理論にはなぜこのような緊張・共生関係があったのかを考えます。	[予習]配布資料を読んで、女性運動について調べ、自分の考えをまとめてください。 [復習]配布資料を読み直し、フェミニズムについて学んだことを確認してください。	4時間
第3回	オンデマンド	【近代家族の誕生】 近代家族の誕生および現代社会における家族とジェンダー規範を批判的に考えます。西洋社会と東アジア社会(中日韓台)において(現代的な異性愛中心な)婚姻制度がいかに導入され、それがいかに東アジア社会に文化・政治と合流して、今の「家族観」を作り出したのかを考えます。とりわけ、夫婦別姓について考えて行きたい。	[予習]配布資料を読んで、自分にとって家族はどのようなものなのか、その中にジェンダーはどのように機能しているのかについて考えてください。 [復習]配布資料を読み直し、家族規範と家族の近代化について学んだことを確認してください。	4時間

第4回	オンデマンド	【リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ】 出産について考え、「母性」という幻想を捉え直します。さらに医療と女性の身体、生殖補助技術についても批判的に学びます。とりわけ、東アジア社会において、女性と男性の身体、とりわけその生殖的な部分はいかに国家安全・国家の近代化に結びつけられてきたのかを振り返ります。扱う事例は代理出産、徴兵制における身体検査、そして中絶（中でもとりわけ障害者の生まれてくる権利）です。	［予習］配布資料を読んで、「代理出産」およびAIDについて調べ、考えてください。 ［復習］配布資料を読み直し、「母性」や出産について学んだことを確認してください。	4時間
第5回	オンデマンド	【ジェンダーとケアワーク】 前回を踏まえて、ケア労働（家事・育児・介護）について学びます。とりわけ、ケア労働における女性の生理的機能（子宮と乳房を持つこと）を理由にした「女性が自然的なケア労働者」という考え方を批判的に考えます。そして、ケア労働における障害と老い（人間としての「能力」が失われていくこと）の問題について考えたい。	［予習］前回の内容と今回の資料を読んで、自分の生活経験に合わせ、ケア労働について考えてください。 ［復習］配布資料を読み直し、ケア労働について学んだことを確認してください。	4時間
第6回	オンデマンド	【異性愛規範とホモフォビア】 これまでの授業に踏まえ、女性運動・フェミニズム思想における異性愛中心、シスジェンダー中心的な部分を考えます。とりわけ、このような問題はいつどのような文脈で提起され、フェミニズム思想にどのような影響を及ぼしたのかを振り返ります。	［予習］配布資料を読んで、シスジェンダーとヘテロセクシズムについて調べ、考えてください。 ［復習］配布資料を読み直し、異性愛規範やホモフォビアについて学んだことを確認してください。	4時間
第7回	オンデマンド	【カミングアウト／クローゼット】 カミングアウトとクローゼットについて学び、アイデンティティやアイデンティテ東アジア社会においてどのような問題を起こしているのかについて考えます。とりわけ、カミングアウトが伴う危険性、そしてその危険性をいかに考えればいいのかについて考えたい。事例としては、2015年の一橋大学のアウティング事件と中国における同性愛転換治療を扱いたい。	［予習］配布資料を読んで、性的マイノリティのカミングアウトやアウティングについて調べ、自分の考えをまとめてみてください。 ［復習］配布資料や参考書籍を読み直し、カミングアウトの意義やクローゼットが象徴するものについて理解をまとめてください。	4時間
第8回	オンデマンド	【レズビアン＆ゲイ運動】 同性愛者の社会運動について学び、その運動がジェンダー・セクシュアリティ研究にどのような影響を与えてきたかを紹介します。とりわけアジアの運動を事例に、レズビアン＆ゲイ運動がアメリカで誕生したという「神話」を捉え直します。すなわち、アメリカの文脈で誕生したレズビアン＆ゲイ運動はいかにグローバル化して、それがどこまで有効的なのかについて考えたい。	［予習］配布資料を読んで、プライドパレードについて調べ、自分の考えをまとめてみてください。 ［復習］配布資料を読み直し、レズビアン＆ゲイ運動について学んだことを確認してください。	4時間
第9回	オンデマンド	【ジュディス・バトラーと批判的にクィア】 第2回でも触れたクィア理論の話をもう一度考えます。これまでの授業に踏まえて、フェミニズム運動とゲイ・レズビアン運動における様々な問題に対して、クィア理論はどのような思考を提供しているのかについて学びます。とりわけ、ジュディス・バトラーの理論的文脈と彼女が提起した「批判的にクィア」について考えたい。	［予習］配布資料を読んで、クィアという言葉について調べてください。 ［復習］配布資料を読み直し、「批判的にクィア」とは何を指しているのかをもう一度確認してください。	4時間
第10回	オンデマンド	【「グローバルなLGBT運動」における西洋中心主義】 アメリカを中心とするLGBT運動がグローバル化される中、「LGBTの人権を支持するか」という問題はその国・政府が先進的であるかの判断基準の一つになっている。今回の授業は、中国とガーナのLGBT運動の事例から、そうした国際政治環境の中で、「LGBT人権を支持しない」国や地域では、どのような現状になっているのか。「LGBTの人権を支持する」という先進性は本当に世界中の性的マイノリティを平等な未来に導くうるのかなどの問題について考える。	［予習］配布資料を読んで、中国とガーナのLGBT運動について調べる。 ［復習］配布資料を読み直し、LGBT運動における西洋中心主義はどのような問題を持っているのかについて考える。	4時間
第11回	オンデマンド	【インターセクショナリティ】 前回の授業に踏まえ、インターセクショナリティ（交差性）について考えます。とりわけ、フェミニズム思想における人種差別に焦点を向けたブラックフェミニズムを事例に、インターセクショナリティという概念の誕生とそれがいかにクィア・障害理論の中で用いられ、更新されているのかを振り返ります。	［予習］配布資料を読んで、アフリカ系アメリカ女性の差別について調べ、自分の考えをまとめてみてください。 ［復習］配布資料や参考書籍を読み直し、インターセクショナリティとは。何かを自分の日常生活に合わせて考えてみてください。	4時間
第12回	オンデマンド	【セクハラ、性暴力とフェミニズム運動の複雑性】 これまでの授業の内容を振り返って、フェミニズム運動を四つの波としてまとめます。それからとりわけインターネット上で隆盛している第四波フェミニズムの代表的な運動＃MeToo運動を考えます。その特徴的な問題意識と戦略について勉強し、その運動が推進されている中で見えてくるフェミニズム運動の内部における差別や暴力を考えたい。	［予習］配布資料を読んで、セクハラや性犯罪について調べ、考えてください。 ［復習］配布資料を読み直し、性暴力について学んだことを確認してください。	4時間
第13回	オンデマンド	【TERFから見るフェミニズムとクィア運動の連帯の限界】 前回の授業を踏まえ、今インターネット上で炎上しているトランスジェンダー排除的なラディカルフェミニストについて勉強し、その言説を批判的考えます。たとえば、「ハリー・ポッター」の著者のJ.Kローリングさんの問題発言や、東京2020でみられたニュージーランドのトランス女性選手の試合参加についての議論を扱いたい。トランスジェンダーとは何かから、なぜ自ら「フェミニスト」だと掲げている人たちはトランスジェンダーを排除しているのかについて考えたい。	［予習］配布資料を読んで、トランスジェンダーについて調べ、考えてください。 ［復習］配布資料を読み直し、女性の境界はどこにあるのかについて批判的に考えてください。	4時間
第14回	オンデマンド	【クィア理論と障害学の葛藤】 人のアイデンティティの流動性に注目して、その脱構築を試みてきたクィア理論は、実際な身体的な苦痛を経験している障害者の生活経験に対して有効的なのか？とりわけ、女性で、性的マイノリティで障害を持つ人の生活経験を考える時に、クィア理論と障害学をいかに合わせる、あるいは合わせないのかについて考えたい。この回の授業はAlison Kafer（）の著書と理論を扱います。	［予習］配布資料を読んで、障がい（者）について調べ、自分の考えをまとめてください。 ［復習］配布資料や参考書籍を読み直し、障がい／健常の二項対立、そして多様な属性の交差性について学んだことを確認してください。	4時間
第15回	オンデマンド	【クィアと教育】 授業の総括として、これまで学んだ内容を活用して、小学校から大学までの学校教育における「性教育」を批判的に考えます。とりわけ、異性愛中心主義とシスジェンダー覇権はいかに私たちの教育システムに取り込まれているのかを考えます。とりわけ「クィアペダゴギー」について学びます。	［予習］配布資料を読んで、自分が受けてきた学校教育における性差別や異性愛中心主義について考えてください。 ［復習］配布資料や参考書籍を読み直し、あらゆる差別構造や規範を乗り越えた「性教育」の可能性について考えてください。	4時間

科目名	Current World Events Ⅰ＜Current Affairs＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	グリーン・スティーブン	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際社会の様々な事象を英語で学びながら、ディスカッション、調査、執筆を通じて分析力、思考力、コミュニケーション力を高める。		
授業の目的及び概要	この授業は全て英語で行われ、学生は「英語で内容(世間の事情)を学ぶ」という活動を行います(「英語を学ぶ」のでは無く「英語で学ぶ」)。 従って、授業では英語のみが使われ、評価となる活動も、全て英語が使用されます。 この科目は専門知識・能力の高度化を図る科目です。この科目は論理的思考力や幅広い視野を育む科目です。 授業では、グローバル社会で起こる事象を学びながら、「国際協力」「人権問題」「戦争と平和」などの英語で問題について、理解、発信、議論する力を身に付けます。 グローバルな視点の滋養、共存社会について考察することと並行して、語彙力、を伸長できます。 また、授業では、メディアで使われる英語の表現や、現代の社会、文化に関する語彙を学びながら、リサーチやディスカッションを通して英語の総合的運用能力を高めることを目標とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この科目の目標は、以下の通り設定しています。 1. 英語の語彙力、表現力を強化する。 2. 英語による報道内容の概要／趣旨を素早く掴み理解できる。 3. 世界で起こる諸事情について理解を深め、国際社会の動きを知る。 4. 国際社会の問題について自らの意見を英語で述べるとコミュニケーションを円滑に行うことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で質問への回答や説明をします。 授業内で継続的に行なわれるエクセサイズやクイズ、ディスカッションを行うなかで教員から講評を受けます。 学生により継続的に提出されるテキストのワークやこのコース専用のノートブックは添削した上で返却します。 テストは、採点した上で、教員から講評を受けます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Global Issues Towards Peace, 著者：達川 奎三、Walter Davies, 田頭 憲二, 山本 五郎, 田北 冬子, 南雲堂, 2014年	ISBN	978-4-523-17741-8
参考書	参考書の指定は行いません。 必要な資料は適宜授業内で指示します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	80	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	This is a content-based instruction (CBI) course in English. Only English is used in class, and for assessment activities. 授業は全て英語で行われ、授業内では英語による積極的なディスカッション参加が求められます。 TOEICスコア600以上の学生さんの履修を推奨します。 英語で自身の意見を表現する、また、他者の意見を聞き取り、それに対する質問や意見の違いを述べるなど、実践的な英語運用能力を身につけるためには、しっかりとした準備が必要となりますが、間違いを恐れず、ディスカッションに活発に参加してください。 授業は教科書に即して行われますので第2回 から毎週に必ず持参してください。 また、このコース専用のノートブックが必要で、第1回 から毎週に必ず持参してください。 盗用は禁止されています。また、オンライン／自動翻訳の使用も禁止されています。 授業中スマートフォンの使用は禁止です。教員の許可なく使用していると、クラスから退席することになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	(授業計画は、授業を進める中で変更される事があります。) Introduction to the course 授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。	【予習】 シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 【復習】 シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間

第2回	対面	Creating opportunities for learning in Afghanistan and India (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.13), complete 'Vocabulary check' (p.13), read 'True or False Questions' (p.13) 【復習】 complete or review 'Dictation' (p.14), 'Multiple-choice questions' (p.15), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第3回	対面	Creating Opportunities for learning in Afghanistan and India (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.16), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.17), 'Summary completion' (p.17), 'Conversation' (p.18), 'Related data and discussion' (p.18) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第4回	対面	Environmental threats to our planet (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.19), complete 'Vocabulary check' (p.19), read 'True or False Questions' (p.19) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.20), 'Multiple-choice questions' (p.21), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第5回	対面	Environmental threats to our planet (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.22), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.23), 'Summary completion' (p.23), 'Conversation' (p.24), 'Related data and discussion' (p.24) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第6回	対面	Getting safe water in the Gaza Strip (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.25), complete 'Vocabulary check' (p.25), read 'True or False Questions' (p.25) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.26), 'Multiple-choice questions' (p.26), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第7回	対面	Getting safe water in the Gaza Strip (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.28), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.29), 'Summary completion' (p.29), 'Conversation' (p.30), 'Related data and discussion' (p.30) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第8回	対面	Child malnutrition in Niger (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.31), complete 'Vocabulary check' (p.31), read 'True or False Questions' (p.31) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.32), 'Multiple-choice questions' (p.33), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第9回	対面	Child malnutrition in Niger (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.34), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.35), 'Summary completion' (p.35), 'Conversation' (p.36), 'Related data and discussion' (p.36) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第10回	対面	Malaria and HIV/AIDS (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.37), complete 'Vocabulary check' (p.37), read 'True or False Questions' (p.37) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.38), 'Multiple-choice questions' (p.39), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第11回	オンデマンド	「ラーニングポータルで」 Malaria and HIV/AIDS (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.40), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.41), 'Summary completion' (p.41), 'Conversation' (p.42), 'Related data and discussion' (p.42) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第12回	対面	9/11 attacks and counter terrorism strategy (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.43), complete 'Vocabulary check' (p.43), read 'True or False Questions' (p.43) 【復習】 review 'Dictation' (p.44), 'Multiple-choice questions' (p.45), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間

第13回	対面	9/11 attacks and counter terrorism strategy (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.46), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.47), 'Summary completion' (p.47), 'Conversation' (p.48), 'Related data and discussion' (p.48) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第14回	対面	Review and confirmation in preparation for test on Unit 1 to Unit 6 (inclusive)	【予習】 review for Test for Unit 1 to Unit 6 (inclusive) review feedback and comments given on individual work for Unit 1 to Unit 6 (inclusive) make notes of points you need to check (and bring to class)	4時間
第15回	対面	review of semester's work including Test for Unit 1 to Unit 6 (inclusive)	【予習】 review feedback and comments given on individual work for Unit 1 to Unit 6 (inclusive) 【復習】 review feedback and comments given on the Unit 1 to Unit 6 test © Stephen Green 2023	1時間

科目名	Current World Events Ⅰ＜Current Affairs＞	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	グリーン・スティーブン	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際社会の様々な事象を英語で学びながら、ディスカッション、調査、執筆を通じて分析力、思考力、コミュニケーション力を高める。		
授業の目的及び概要	この授業は全て英語で行われ、学生は「英語で内容(世間の事情)を学ぶ」という活動を行います(「英語を学ぶ」のでは無く「英語で学ぶ」)。 従って、授業では英語のみが使われ、評価となる活動も、全て英語が使用されます。 この科目は専門知識・能力の高度化を図る科目です。この科目は論理的思考力や幅広い視野を育む科目です。 授業では、グローバル社会で起こる事象を学びながら、「国際協力」「人権問題」「戦争と平和」などの英語で問題について、理解、発信、議論する力を身に付けます。 グローバルな視点の滋養、共存社会について考察することと並行して、語彙力、を伸長できます。 また、授業では、メディアで使われる英語の表現や、現代の社会、文化に関する語彙を学びながら、リサーチやディスカッションを通して英語の総合的運用能力を高めることを目標とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この科目の目標は、以下の通り設定しています。 1. 英語の語彙力、表現力を強化する。 2. 英語による報道内容の概要／趣旨を素早く掴み理解できる。 3. 世界で起こる諸事情について理解を深め、国際社会の動きを知る。 4. 国際社会の問題について自らの意見を英語で述べるとコミュニケーションを円滑に行うことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で質問への回答や説明をします。 授業内で継続的に行なわれるエクセサイズやクイズ、ディスカッションを行うなかで教員から講評を受けます。 学生により継続的に提出されるテキストのワークやこのコース専用のノートブックは添削した上で返却します。 テストは、採点した上で、教員から講評を受けます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Global Issues Towards Peace, 著者：達川 奎三、Walter Davies, 田頭 憲二, 山本 五郎, 田北 冬子, 南雲堂, 2014年	**ISBN**	978-4-523-17741-8
参考書	参考書の指定は行いません。 必要な資料は適宜授業内で指示します。	**ISBN**	なし

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	80	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	This is a content-based instruction (CBI) course in English. Only English is used in class, and for assessment activities. 授業は全て英語で行われ、授業内では英語による積極的なディスカッション参加が求められます。 TOEICスコア600以上の学生さんの履修を推奨します。 英語で自身の意見を表現する、また、他者の意見を聞き取り、それに対する質問や意見の違いを述べるなど、実践的な英語運用能力を身につけるためには、しっかりとした準備が必要となりますが、間違いを恐れず、ディスカッションに活発に参加してください。 授業は教科書に即して行われますので第2回 から毎週に必ず持参してください。 また、このコース専用のノートブックが必要で、第1回 から毎週に必ず持参してください。 盗用は禁止されています。また、オンライン／自動翻訳の使用も禁止されています。 授業中スマートフォンの使用は禁止です。教員の許可なく使用していると、クラスから退席することになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	(授業計画は、授業を進める中で変更される事があります。) Introduction to the course 授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。	【予習】 シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 【復習】 シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間

第2回	対面	Creating opportunities for learning in Afghanistan and India (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.13), complete 'Vocabulary check' (p.13), read 'True or False Questions' (p.13) 【復習】 complete or review 'Dictation' (p.14), 'Multiple-choice questions' (p.15), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第3回	対面	Creating Opportunities for learning in Afghanistan and India (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.16), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.17), 'Summary completion' (p.17), 'Conversation' (p.18), 'Related data and discussion' (p.18) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第4回	対面	Environmental threats to our planet (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.19), complete 'Vocabulary check' (p.19), read 'True or False Questions' (p.19) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.20), 'Multiple-choice questions' (p.21), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第5回	対面	Environmental threats to our planet (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.22), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.23), 'Summary completion' (p.23), 'Conversation' (p.24), 'Related data and discussion' (p.24) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第6回	対面	Getting safe water in the Gaza Strip (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.25), complete 'Vocabulary check' (p.25), read 'True or False Questions' (p.25) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.26), 'Multiple-choice questions' (p.26), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第7回	対面	Getting safe water in the Gaza Strip (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.28), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.29), 'Summary completion' (p.29), 'Conversation' (p.30), 'Related data and discussion' (p.30) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第8回	対面	Child malnutrition in Niger (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.31), complete 'Vocabulary check' (p.31), read 'True or False Questions' (p.31) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.32), 'Multiple-choice questions' (p.33), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第9回	対面	Child malnutrition in Niger (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.34), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.35), 'Summary completion' (p.35), 'Conversation' (p.36), 'Related data and discussion' (p.36) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第10回	対面	Malaria and HIV/AIDS (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.37), complete 'Vocabulary check' (p.37), read 'True or False Questions' (p.37) 【復習】 complete and review 'Dictation' (p.38), 'Multiple-choice questions' (p.39), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第11回	オンデマンド	「ラーニングポータルで」 Malaria and HIV/AIDS (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.40), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.41), 'Summary completion' (p.41), 'Conversation' (p.42), 'Related data and discussion' (p.42) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第12回	対面	9/11 attacks and counter terrorism strategy (Part 1)	【予習】 read unit introduction (p.43), complete 'Vocabulary check' (p.43), read 'True or False Questions' (p.43) 【復習】 review 'Dictation' (p.44), 'Multiple-choice questions' (p.45), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間

第13回	対面	9/11 attacks and counter terrorism strategy (Part 2)	【予習】 read the 'Reading activity' (p.46), check vocabulary that you do not know, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete and review 'Reading comprehension' (p.47), 'Summary completion' (p.47), 'Conversation' (p.48), 'Related data and discussion' (p.48) in your notebook, and add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第14回	対面	Review and confirmation in preparation for test on Unit 1 to Unit 6 (inclusive)	【予習】 review for Test for Unit 1 to Unit 6 (inclusive) review feedback and comments given on individual work for Unit 1 to Unit 6 (inclusive) make notes of points you need to check (and bring to class)	4時間
第15回	対面	review of semester's work including Test for Unit 1 to Unit 6 (inclusive)	【予習】 review feedback and comments given on individual work for Unit 1 to Unit 6 (inclusive) 【復習】 review feedback and comments given on the Unit 1 to Unit 6 test © Stephen Green 2023	1時間

科目名	コミュニケーション論	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	宋　南先	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	コミュニケーションの仕組みと生態をつかむ		
授業の目的及び概要	この授業では、自己が他者を理解し、他者に自己を理解させようとする行為としてのコミュニケーションが持つ仕組とその諸相について学修する。コミュニケーションという行為が目指す理解とは、自己や他者に対する「あるがまま」の理解ではなく、意図された特定の理解である。意図された理解は、コミュニケーション参与者間の関係のあり方によって多様な特徴を示す。 　この授業は、意図された伝達行為が持つ諸特徴を理解を目的とする。また、より適切なコミュニケーション参与者になるための素養を高めることもその目的とする。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を養う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバル化と情報化が同時に進む現代社会においては、コミュニケーションの形態も急速に多様化していきます。このトレンドに対応するために以下の素養を培います。 1. ヒトのコミュニケーションの基本的な仕組みを理解する。 2. コミュニケーションの生物学的、認知的基盤を理解する。 3. 個対個、個対集団、集団間、個対不特定多数、不特定多数間、といった多様なコミュニケーション形態の特徴を把握する。 4. 言語、身体表現、映像、記号等のコミュニケーション手段についての理解を得る。 5. 説得、情報のゆがみ、デマ、広告、都市伝説等の考察を通して、実践的対応力を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業ごとに、授業の概要と、意見をコメントシートに書いてもらい、次回の授業の冒頭で内容を紹介し、教員がコメントを述べます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	**ISBN**	なし
参考書	辻大介、是永論、関谷直也『コミュニケーション論をつかむ』(有斐閣、2012年)	**ISBN**	978-4-641-17720-8

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	80	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	授業の目的及び概要、授業の方法、授業計画をよく読んでおいてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	情報伝達、意図の理解、関係形成・維持という三つの観点からコミュニケーションを定義、考察します。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第2回	対面	言語相対性仮説と言語普遍論を紹介し、言語とヒトの思考の関係について考えます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第3回	対面	ヒトがコミュニケーションにおいて、フレーム、スキーマと呼ばれる、構造化された認知能力をいかに駆使しているのかを考察します。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第4回	対面	言語コミュニケーションがヒトの身体を中心とする空間概念の隠喩的拡張によって支えられていることを論じて、コミュニケーションの認知的基盤について考察します。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第5回	対面	発話行為や言外の意味について概説し、情報がいかに語や文を超えたレベルで構造化されるのかを論じます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第6回	対面	刺激と反応、分節性という視点から、動物間の伝達とヒトのコミュニケーションの違いについて考えます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第7回	対面	ヒトの表情やジェスチャーがコミュニケーションにいかに使われるのかを概観し、非言語コミュニケーションの普遍性と文化差について論じます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間
第8回	対面	具体的な談話やテクストを分析し、談話の理解がどのような原則とルールによって成り立つのかを考察します。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。(2時間程度)	2時間

第9回	対面	近代史における消費社会形成過程をたどり、大量生産と大衆消費を支える広告の役割を考察します。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第10回	対面	広告のサンプルを読み解きながら、広告が持つ情報伝達機能と説得的伝達機能について考えます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第11回	対面	流言、都市伝説、ゴシップ、デマ等が流布・普及するプロセスを分析し、情報が歪められていくパターンを論じます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第12回	対面	国家的暴力や戦争、人々の消費行動、選挙行動等にメディアが果たしてきた歴史を概観し、その影響力について考えます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第13回	対面	巧みに構造化されたコミュニケーション、説得的コミュニケーションの流れを考察します。また、それが言語トラップにいかに利用されているかも論じます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第14回	対面	地球上のほとんどの文化に存在する共通項（エティック）と、ある特定の文化にのみ存在する特有の性質（イーミック）という区別を応用し、異文化間のコミュニケーションの在り方を考えます。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第15回	対面	授業全体の総括を行います。	LMS上に掲載した動画を視聴して学修してください。オンデマンド授業です。 （2時間程度）	2時間

科目名	コミュニケーション論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中西　亮太	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	様々なコミュニケーションの形を知り、世界の人々と幅広く交流できるようになる		
授業の目的及び概要	私たちは日常生活の様々な場面でコミュニケーションをとり、情報のやりとりや人間関係の構築を行っていますが、そこには言語や文化という存在が大きく関わっています。この授業では、「コミュニケーション」というものを異文化理解とともに言語と文化の観点から考え、日常生活における具体例を通じてコミュニケーションの多様性について学修します。また、様々な形のコミュニケーションを知ることで、グローバル化が加速する現代社会において適切なコミュニケーションを取れる者になるための素養を高めることを目的とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、以下の4点を到達目標とします。 ①コミュニケーションの基本的なしくみとはたらきを理解する。 ②様々な形をとるコミュニケーションの手段について理解する。 ③自身の周りの環境に照らし合わせてコミュニケーションについて考える。 ④幅広い分野で適切なコミュニケーションをとれるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業後に、各回での学びや疑問点等ををコメントシートに記入して提出してもらい、次回の授業内で講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	異文化理解とコミュニケーション1(第2版)ことばと文化、本名信行・ベイツ・ホッファ・秋山高二・竹下裕子、三修社、2005年	ISBN	9784384040715
参考書	適宜参考資料を配布あるいは紹介します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	日常生活欠かせないコミュニケーションを適切な形で取るためには、コミュニケーションについて知るとともに、自身のまわりの環境に照らし合わせて考えることが重要です。ぜひ、過去の経験などの具体例を踏まえて考えてみてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の概要や評価方法、進め方などの説明	事前学修:コミュニケーションとは何かという問いについて、自分なりに文献等ををを参考にして調べ考えておく。 事後学修:授業での内容を踏まえて、事前に考えていた自分なりの問いに対する答えを振り返る。	4時間
第2回	対面	言語と文化がコミュニケーションにどう関わっているかを考えてみる	事前学修:当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修:当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第3回	対面	コミュニケーションのしくみとはたらきについて考えてみる① 構造と機能の面から	事前学修:当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修:当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間

第4回	対面	コミュニケーションのしくみとはたらきについて考えてみる② ストラテジーの面から	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第5回	対面	ことばが含む表と裏の意味について考えてみる	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第6回	対面	日常会話がどのように成り立っているか考えてみる	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第7回	対面	スタイルが違えば変わってくることばについて考えてみる	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第8回	対面	男っぽいことばと女っぽいことばの差について考えてみる	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第9回	対面	各文化におけるメタファーの役割について考えてみる。	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第10回	対面	異文化コミュニケーションとしての通訳と翻訳について考えてみる	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第11回	対面	多文化的な背景を持つ国際語としての英語について考えてみる。	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第12回	対面	日本語から見た異文化コミュニケーションについて考えてみる。	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第13回	オンデマンド	第13回までに扱った内容の振り返りと総復習	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第14回	対面	手話を使ったコミュニケーションが言語を使ったコミュニケーションとどう違うのか（違わないのか）について考えてみる。	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：当該授業の内容についてコメントシートに記入するとともに、次回授業に向けてラーニングポータル上で課す問題について、授業内容を振り返り、自分なりにまとめておく。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行い、身の回りの具体例に照らし合わせて、どのようにコミュニケーションが取られているか様々な視点から考えてみる。	事前学修：当該授業までに、ラーニングポータル上で課す問題に、前回の授業内容やテキスト等を踏まえて答えておく。 事後学修：定期試験に備えて、授業全体が学修したことをポイントをおさえつつ、自分なりにまとめておく。	4時間

科目名	異文化コミュニケーション	開講年度	2023年度春学期
担当者	赤城　永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	文化についての理解を深め、異文化コミュニケーションにおける様々な問題について考察する。		
授業の目的及び概要	この授業は、今日のグローバル社会において、異文化に対する感受性と他者への共感性を高め、バランスの取れた異文化コミュニケーション能力を身につけることを目標とする。授業では、異文化コミュニケーションに関する諸問題を多面的に認識し、解決のための方法について考える。これらの学修を通して、異文化に対する適応、非言語メッセージの諸相、異文化間交渉における紛争解決及び共生、コミュニケーション能力、異文化コミュニケーションにおける言語技能の役割について理解を深める。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・「文化」という概念について批判的、多面的に考察できる。 ・コミュニケーションを通して自己と他者の言語行動の違いについて観察、考察、分析できる。 ・異文化コミュニケーションにおいて生じうる問題について考察することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業を受けて気づいたこと、学んだこと、疑問等ミニッツペーパーまたはラーニングポータルのアンケートで提出し、翌週の授業で講評や回答をします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業では一定のテキストは使用せずに、随時、配布資料を活用します。	ISBN	なし
参考書	①八代京子ほか(2001)『異文化コミュニケーション・ワークブック』三修社 ISBN:978-4384018516 ②久米昭元・長谷川典子(2007)『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション―誤解・失敗・すれ違い』有斐閣 ISBN: 978-4641281080 ③池田 理知子編著(2010)『よくわかる異文化コミュニケーション』ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4623056095 ④岡本真一郎(2013)『言語の社会心理学 – 伝えたいことは伝わるのか』中央公論新社 ISBN: 978-4121022028	ISBN	①9784384018516 ②9784641281080 ③9784623056095 ④9784121022028

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)			

この科目の履修にあたって	私たちは日常生活において「文化」という概念を何気なく使っていますが、果たして「文化」とは何を意味しているのでしょうか？わかっているようでわからない概念である「文化」について深く考えてみることが、異文化コミュニケーションを学ぶための第一歩です。異文化コミュニケーションは外国で外国人とコミュニケーションをとる場面だけでなく、私たちのより身近な場面でも見出すこともできます。私たちの周りの多様性を理解し、自身も他者を尊重できるよう、授業を通してともに学んでいきたいと思います。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要、評価方法の説明 文化とは？文化が異なるとは？コミュニケーションとは？の3つの問いについて考えます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、それを踏まえ自身の日常生活や経験を振り返り、文化とコミュニケーションについて考える課題が課されます。(120分) 次回の授業の予習として、文化についての配布資料を読	4時間
第2回	対面	文化の暫定的な定義について学び、私たちが普段行っているコミュニケーションの諸要素が文化の見える部分・見えにくい分のどちらに属しているかについて考えます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、それを踏まえ自身がどのような文化に影響を受けているか考える課題が課されます。(120分) 次回の授業の予習として、文化とコミュニケーションについての配布資料を読む課題が課されます。(120分)	4時間
第3回	対面	文化とコミュニケーションについて考えるために、コミュニケーションの構成要素について学びます。ペアあるいはグループで私たちのコミュニケーションと文化のつながりについて考えます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、それを踏まえ私たちが行ってるコミュニケーションと文化がどのように関連しあっているかについて考える課題が課されます。(120分) 次回の授業の予習として、コンテキストについての配布資料を読む課題が課されます。(120分)	4時間
第4回	対面	文化とコミュニケーションを考えるために、高コンテキスト・低コンテキストについて学びます。続けてパラ言語についても学び、ペアあるいはグループでコンテキストとパラ言語のそれぞれが文化とどのように関係しているかについて考えます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、それを踏まえコンテキストあるいはパラ言語についての課題が課されます。(120分) 次回の授業の予習として、自己開示についての配布資料を読む課題が課されます。(120分)	4時間

第5回	対面	文化とコミュニケーションについて考えるために、自己開示について学び、その後ターンテイキング（会話の順番取り）について学びます。その後、ペアあるいはグループで自己開示とターンテイキングのそれぞれが文化とどのように関係しているかについて考えます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、それを踏まえ自己開示あるいはターンテイキングについての課題が課されます。（120分） 次回の予習として、グループで行うプロジェクトで調査したいことについて考える課題が課されます。（120分）	4時間
第6回	対面	グループプロジェクト：二つ以上の異なる文化を比較し、それぞれの文化に属する人々のコミュニケーションの特徴について調査する。 まずは、グループごとに話し合い、調査したいこと（リサーチクエスチョン）を決定します。その後文献調査を行い、リサーチクエスチョンに関係するどのような先行研究が行われているかについて調べます。	授業中に行った文献調査を引き続き行い、その内容をまとめる課題がなされます。（120分） 次回のグループワークのために、調査の方法と実施の計画について考える課題が課されます。（120分）	4時間
第7回	オンデマンド	参考文献の探し方とまとめ方	授業の指示に沿って、参考文献を探し、まとめてみる（240分）	4時間
第8回	対面	グループプロジェクト：二つ以上の異なる文化を比較し、それぞれの文化に属する人々のコミュニケーションの特徴について調査する。 グループで内それぞれの調査について報告しあい、その結果を考察します。その後、次回のグループ発表の準備をします。	必要ならば引き続き調査をし、その結果をまとめ、グループ発表をするための準備をする課題が課されます。（240分）	4時間
第9回	対面	グループ発表（中間試験）：グループで行ったプロジェクトの概要を発表します。 聞いている人は発表についてコメントや質問をし、かつ内容の評価をしてもらいます。 ※グループ発表を中間試験とします。	発表に対するコメントを参考にしながら、グループプロジェクトの概要をレポートとしてまとめる課題が個々人に課されます。（180分） 次回の授業の予習として、価値観についての配布資料を読む課題が課されます。（120分）	6時間
第10回	対面	異なる文化に属する人と人が出会い、コミュニケーションをとると何が起こるのかを考えるため、価値観の違いについて考えます。実際にあった事例を通して文化による価値観の違いについて学び、ペアあるいはグループで自身が行っているコミュニケーションあるいは自身が経験したコミュニケーションについて考えます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、それを踏まえ価値観の違いに関する課題が課されます。（120分） 次回の授業の予習として、対立管理スタイル・異文化適応力チェック・共感（エンパシー）に関する配布資料を読む課題が課されます。（120分）	4時間
第11回	対面	異なる文化に属する人と人が出会い、コミュニケーションをとると何が起こるのかを考えるため自分に対する気づきを高めます。対立管理スタイル・異文化適応力チェック・共感（エンパシー）について学び、自身を内省します。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、自身に対する気づきに関する課題が課されます。（120分） 次回の授業の予習として、異文化コミュニケーション・スキルについての配布資料を読む課題が課されます。（120分）	4時間
第12回	対面	異なる文化に属する人々を理解し、自分の考えや感じたことを相手に正確に伝えるために、異文化コミュニケーション・スキル（D.I.E.メソッド、アサーティブ・コミュニケーションなど）について学びます。ペアあるいはグループでアサーション・総合エクササイズを行い、実際にどのようにコミュニケーション・スキルを使って問題を解決するのか実践し、エクササイズを通して異文化コミュニケーション・スキルを高めます。	授業後は配布資料をもとに講義内容について復習し、アサーティブ・コミュニケーションついての課題が課されます。（120分） 次回からの個人プロジェクトのために、自身が調査したいことについて考える課題が課されます。（120分）	4時間
第13回	対面	個人プロジェクト：文化的背景の異なる人々がコミュニケーションを取ると、どのようなことが起こり、どのような問題が起こりうるか調査する。 個々人が調査したいことを報告し、その後自身の設定したリサーチクエスチョンに関連する先行研究について調べます。	具体的な調査方法と調査計画を考え、それを実施する課題が課されます。（120分） 次回の授業でプロジェクトの進捗具合を報告するための課題が課されます。（120分）	4時間
第14回	対面	個人プロジェクト：文化的背景の異なる人々がコミュニケーションを取ると、どのようなことが起こり、どのような問題が起こりうるか調査する。 個々人のプロジェクトの進捗を報告し、その後個人発表のための準備をします。	必要ならば引き続き調査をし、その結果をまとめ、個人発表をするための準備をする課題が課されます。（240分）	4時間
第15回	対面	個人発表：個人プロジェクトの概要を発表します。 聞いている人は発表についてコメントや質問をし、かつ内容の評価をしてもらいます。	発表に対するコメントを参考にしながら、個人プロジェクトの概要をレポートとしてまとめる課題が課されます。（240分）	4時間

科目名	ことばと社会＜ことばと文化＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	宋　南先	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	言語現象を通して社会と文化の多様なあり方を理解する。		
授業の目的及び概要	この授業は、ことばが社会・文化にとってどのような意味をもっているのかについての考察を深めることを目的とする。授業では、日本語や英語、その他の言語を比較し、言語の文法体系は、それを使用する人々が相互に合意した共通の考え方（価値観）の表れであるということを認識する。その上で、何気なく使っている文法体系には、それぞれの言語圏における人間同士、あるいは人間と自然等との関係における一定の思考様式が深く作用しているということを理解する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバル化する世界とは、単一の価値が共有される世界であると同時に、様々な文化が接触し、融合する一方で、互いにぶつかり合い、激しく対立する世界でもある。そこでは、「多文化共生」という考え方は、単に耳触りのよいスローガンや「与えられた現実」ではなく、国益優先と民族対立という厳しい現実から常に挑戦を受ける「政治的立場」であり「志向」であり続ける。この授業では、多文化共生志向を育む個人にとって必要と考えられる以下の素養を身につける。 1. 言語の構造と特徴を理解する基礎的な知識と方法を学ぶ。 2. 人間の言語活動が社会において果たす様々な機能についての理解を得る。 3. 文化の諸特徴を理解するためのキーワードと主要概念を学ぶ。 4. 言語が持つ社会的機能をよく理解し、能動的な言語使用者としての能力を高める。 3. 文化のあり方と特徴を言語現象を通して理解する方法論を身につける。 4. 文化の多様性と等価性に対する理解を深める。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	各授業において、授業の概要と意見をコメントシートに書いて提出してもらいます。コメントシートの内容については次回授業の冒頭で紹介し、教員が意見を述べます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書	岩田裕子、重光床由加、村田泰美著、「概説社会言語学 ― An Introduction to Sociolinguistics」（ひつじ書房, 2013）	ISBN	978-4-89476-637-2

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	80	その他(%)			

この科目の履修にあたって	授業の目的、到達目標、授業計画を読んで、よく確認しておいてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	社会言語学の知見を概説し、言語と文化の関係を検証する。 文化を特定の集団内の態度、価値観、信条、規範、行動に関わるダイナミックなシステムとして理解する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第2回	対面	言語学における音声学、音韻論、形態論を概括し言語の構造を考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第3回	対面	言語学における統語論、意味論を概括し言語の構造を理解する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第4回	対面	ヒトの進化と言語獲得過程を概説し、言語使用の生物学的基盤を考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第5回	対面	ヒトの生得的言語能力と、言語の多様性を論じながら、言語使用の文化的基盤を考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第6回	対面	「円滑な人間関係を維持するための社会言語行動」としての丁寧表現（ポライトネス）の普遍的側面を概説する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第7回	対面	場面、状況による丁寧表現の差異、言語間の変異を検証することによって、ポライトネス行動の言語固有性を考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間

第8回	対面	社会言語学の立場から、言語がどのようにして生まれ、伝播し、変化していくのかを、日本語および他言語の例を挙げて解説する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第9回	対面	社会階級差に起因する言語変異について、アメリカ英語やイギリス社会での事例をもとに考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第10回	対面	日本語および英語における性差を見ながら、言語の階層化・階級化のパターンとジェンダーとの関係を理解する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第11回	対面	ヨーロッパの近代国家形成過程における言語の標準化と日本の言語標準化過程を比較検証することによって、方言、国家語、標準語、民族主義の相関を考える。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第12回	対面	個人における多言語使用、社会的な多言語使用の事例を概観しながら、多言語社会において言語選択がいかなる動機で行われるかを考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第13回	対面	言語の標準化は少数者の言語の周辺化を伴う。近代国家における言語の標準化がもたらした新たな国民国家文化、国民教育の形成という肯定面と、言語差別という否定面を考察する。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第14回	対面	異文化コミュニケーションにおける様々な文化衝突の事例を扱い、その実相を考察し、克服の可能性を考える。。	LMS上に掲載した資料を読んで復習してください。 （2時間程度）	2時間
第15回	対面	講義のまとめを行う。オンデマンド授業です。	LMS上に掲載した動画を視聴して学修してください。 （2時間程度）	2時間

科目名	異文化理解＜異文化理解Ⅰ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	文化的背景の異なる国や地域、人々の価値観や習慣の違いを理解する		
授業の目的及び概要	この授業は、「国際学基礎A」の「社会/文化から見る世界」で学修した社会/文化領域の基本的知識を使って、文化的背景の異なる国や地域、人々の価値観や習慣の違いの理解を深めることが目的です。グローバル化の進む現代社会において、異文化への理解を、様々な具体例を挙げながら、就業する上で必要となる国際理解力を身につけるうえで基礎となる考え方を涵養します。自国文化との違いを認識しながら異なる文化を受容して、他者の視点で物事をみる力を身につけます。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育みます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・文化的背景の異なる国や地域、人々の価値観や習慣の違いを理解することができる。 ・自国文化との違いを認識しながら異なる文化を受容して、他者の視点で物事をみる力を身につけることができる。 ・文化の特徴、文化的差異、固定観念や差別が生じる背景を文化を通じて理解することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポート課題、コメントシート、毎回の講義内容についてのフィードバックをおこなう。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しません。	ISBN	指定しません。
参考書	①『異文化理解入門』, 原沢 伊都夫, 岩波書店, 2013年	ISBN	①9784327377342

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	この授業では、異文化の諸概念を理解し、グローバル化の進む現代社会において、文化的背景の異なる国や地域、人々の価値観や習慣の違いを理解します。異文化について理解するためには、そのための事前事後学修が必要です。授業内で出された課題を学修し、授業内では、異文化理解に関する議論に積極的に関わってください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(異文化理解の意義)	授業後に、授業の資料(レジュメなど)と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第2回	対面	世界と日本における多様化という潮流(異文化交流とコミュニケーション)	授業後に、授業の資料(レジュメなど)と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第3回	対面	グローバリゼーションと文化(国際文化学からみる世界)	授業後に、授業の資料(レジュメなど)と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第4回	対面	文化とは何か①(見える文化/見えない文化、常識/非常識)	授業後に、授業の資料(レジュメなど)と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第5回	対面	文化とは何か②(6つの文化的特徴)	授業後に、授業の資料(レジュメなど)と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第6回	対面	文化とは何か③(個人的側面/普遍的側面)	授業後に、授業の資料(レジュメなど)と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間

第7回	対面	異文化トレーニング（カルチャー・アシミレーター、シミュレーション）による異文化理解	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第8回	対面	異文化適応（4つの適応ステージ　①ハネムーン②カルチャーショック③適応の開始④適応期）	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第9回	対面	多様化の潮流、グローバリゼーションと文化、文化とは何か、異文化トレーニング、異文化適応の総括	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第10回	対面	違いへの気付き①四大文明と宗教（キリスト教文明・イスラム文明・ヒンデュー文明・儒教文明）	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第11回	対面	違いへの気付き（行動/視点/環境/発想）	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第12回	対面	異文化の認識①（固定観念/ファイリング/ステレオタイプ/エスノセントリズム）	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第13回	対面	異文化の認識②（差別：ドキュメンタリー映画の視聴）	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第14回	オンデマンド	違いへの気付き、異文化の認識、多文化社会と文化的差異の総括	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第15回	対面	多文化社会と文化的差異（異文化受容のために）	授業後に、授業の資料（レジュメなど）と、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間

科目名	国際社会学	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金　信行	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	事例研究に基づいて社会学の着眼点を理解した上で、国境を超えたグローバル社会の現状や課題について学ぶ		
授業の目的及び概要	本科目は、社会学の分析視座(方法論)や社会学の重要下位分野であり、また国際社会学の理解に資する社会学の各論を学修した上で、国際社会学の視点を通じて国境を超えたグローバル社会の現状や課題について把握することを目指すものです。本科目では、社会学の基礎的な分析視座を、家族やジェンダーや宗教といった国際社会学を理解する上でも重要な社会学の基本トピックから学修します。また、具体的な事例に対する国際社会学的視点を、国境を超える人の移動の原因や現状、対応策などから学んでいきます。本科目での学修を通じて、受講者のみなさんが将来活躍するであろう国際社会がいかなる状態にあり、そしてどのように改善することができるかを社会学的な視点で考察する力を育むことを目指します。 受講者の皆さんの授業への理解度を鑑みて、授業内容を適宜調整する可能性があります。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目では、以下の三点を到達目標とします。 ・社会学の基礎的な方法論を理解できること。 ・具体的な事例を分析する社会学的視点を理解し説明できること。 ・現代のグローバル社会における国境を超える人の移動とその帰結について、国際社会学の知識を踏まえて考察を展開できること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎授業皆さんにご提出いただくコメントシートの内容について、次回以降の授業でコメントします。 ・前回授業の内容について受講者の理解を確認する質疑応答を、毎授業行います。 ・必要に応じて、授業中に追加資料の配布や文献紹介を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる, 出口剛司, KADOKAWA, 2022年. ②よくわかる国際社会学(第2版), 樽本英樹, ミネルヴァ書房, 2016年.	ISBN	9784046059765 9784623075911
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	・大学での学修では、授業への参加だけでなく、関心をもった事柄について自ら情報を集めて思考を深める主体性が重要です。受講者の皆さんが本科目の履修を通じて、本科目で学んだ内容をテキスト以外の企業活動の事例の考察に応用したり、より専門的な内容について読書を行うなど、主体的な学修へ足を踏み出してくだされば、担当教員としてこれ以上嬉しいことはありません。 ・初回授業で詳しく説明しますが、受講者のうち希望する方で自主的に取り組んでいただく課題については、出来栄え次第では大幅な加点を差し上げることがありますので、チャレンジを是非ご検討ください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回　イントロダクション	[予習]シラバスの内容について概要を理解し、テキストの各章を概観することで本科目の全体像を適宜把握してください。 [復習]授業の配布資料を参照して復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	第2回　社会、そして社会学的分析とは何か	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第3回	対面	第3回　家族と社会学	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第4回	対面	第4回　ジェンダーと社会学	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第5回	対面	第5回　労働と社会学	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

第6回	対面	第6回　宗教と社会学①	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第7回	対面	第7回　宗教と社会学②	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	第8回　差別や犯罪と社会学	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第9回	対面	第9回　サブカルチャーと社会学	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第10回	対面	第10回　国際社会学の基礎的視座	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	第11回　国際人口移動	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	第12回　多文化社会	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	第13回　グローバルな集団と諸制度	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	第14回　国際社会学に残された課題	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15回　これまでの講義内容のまとめ	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

科目名	世界の宗教＜異文化理解Ⅱ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　真	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	この講義では、多様な文化の背景にある宗教に焦点をあてる。		
授業の目的及び概要	宗教の基本的な構造を理解し、日常にある文化／慣習を取り上げながら、宗教的文化に触れることのできる寛容な姿勢と、それを客観的に理解／分析することのできる力を身に着けることを目指します。異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協力し、社会の一員として活躍できる能力と生涯にわたる就業力を身に着けることに寄与するものと位置付けます。		
履修の条件・注意	「異文化理解＜異文化理解Ⅰ＞」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	宗教の特徴について説明できるようになります。身のまわりにある宗教文化の背景について理解、説明できるようになります。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	フロアから寄せられた質問にその場で答えます。また講評についても授業時に対応します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特にありません。	ISBN	特にありません。
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	60	その他(%)			

この科目の履修にあたって	「礼をする」「相槌を打つ」など、一見すると合理的ではないことが、日本では習慣的におこなわれています。また世界をみわたすと、合理的とは言い難い慣習がある他、理解しがたいモニュメントや集団行動が見られます。 人間社会の営みの理由や根拠をどこまでも問うていくと、宗教に行きつくことがあります。一方、宗教について多くの人はあまり知識を持っていません。この講義では、そんな宗教に目を向けます。 講義では、宗教の「教義」「行為様式(儀礼)」「社会規範」について、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教、仏教、神道を紹介します。また、ジェンダー問題、イスラエル問題、ウクライナ侵攻、自死・自殺、結婚などの背景にある、宗教的動向／思想を解説します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:宗教と文化のかかわり	・宗教と文化は強い結びつきがあります。 ・身のまわりにどんな「宗教」があるか、考えてみましょう。	4時間
第2回	対面	一神教について	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・一神教に該当する宗教はどれか、調べておきましょう。	4時間
第3回	対面	一神教について:ユダヤ教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・ユダヤ教とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第4回	対面	一神教について:キリスト教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・キリスト教とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第5回	対面	一神教について:もう一つのキリスト教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・ギリシャ正教とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第6回	対面	一神教について:イスラム教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・イスラム教とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第7回	対面	一神教について:イスラエル、パレスチナの問題	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・イスラエル、パレスチナのどういった点が問題なのか、調べておきましょう。	4時間
第8回	対面	一神教について:キリスト教と妊娠中絶について	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・人工妊娠中絶と宗教の関係について、考えてみましょう。	4時間
第9回	対面	一神教について:イスラム教圏と民主化運動	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・中東のイスラム教徒が大きく変わろうとしています。背景にある価値観について、調べておきましょう。	4時間

第10回	対面	多神教について：ヒンドゥー教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・ヒンドゥー教とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第11回	対面	多神教について：神道	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・神道とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第12回	対面	多神教について：相撲はスポーツか	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・相撲の特徴について、調べておきましょう。	4時間
第13回	対面	無神論：仏教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・仏教とはどのような宗教か、調べておきましょう。	4時間
第14回	対面	重なり合う「信仰」：グローバル下の宗教	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・信仰の重層化が広がっています（キリスト教でありながらお遍路に参加する／仏教徒でありながらサンティアゴ巡礼に参拝する／正月は神社、葬儀は仏式でおこなう、など）。 ・こうした「信仰をまたぐ」ケースについて、他にどのような事例がありそうか、調べておきましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	授業の総括	・前回講義の内容を復習しておきましょう。 ・この講義ではこれまでの講義について、質問や疑問にお答えします。質問できるように準備してきましょう。	4時間

科目名	観光概論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	増本　貴士	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	少子高齢化が進む日本国において「観光」は成長戦略のひとつです。本講義では、観光学の基本から講義を始め、観光産業と観光政策等の現状分析を行い、その分析から課題の発見と解決を考えます。		
授業の目的及び概要	本講義では、観光の産業・政策・歴史・文化等の観点から総合的に「観光」を講義し、受講生各自が観光の基礎的知識を習得するできるようにします。特に、受講生がチームで「グループディスカッション」や「プレゼンテーション」を行い、観光の基礎的知識の習得とその定着を狙います。また、内閣府地域経済分析システムRESASを使用し、データに基づいた観光分析を行います。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1. 観光に関する産業・政策・歴史・文化等の観点から「観光とは何か」に答えられる学力を身に付けること。 2. 観光の基礎的知識を習得し、現代の観光に自分がどう関わることができるかを考え、答えを出せる学力を身に付けること。 3. 資料や事実を基にした考察を文章表現し、自分自身のオリジナルレポートとして執筆できること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	1. グループディスカッションとプレゼンテーションの内容を授業中に講評します。 2. レポートの内容を授業中に講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	コンテンツツーリズム研究〔増補改訂版〕, 岡本健編著, 福村出版, 2019年, ISBN-13 : 978-4571410628 このテキストは、コンテンツツーリズムについて、諸学からの学術的アプローチや事例研究等が多く書かれています。このテキストを通読することにより、授業でのグループディスカッションやレポート執筆の際に自分自身の意見をまとめる時の参考データとなります。	ISBN	978-4-571-41062-8
参考書	レジュメ等で紹介します。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	50	グループディスカッション、その解決提案のプレゼンテーション。左記2つの合計が25%、2回行って50%。	

この科目の履修にあたって	観光の産業・政策・歴史・文化等の観点から総合的に「観光」を講義するので、日本国の観光の歴史から現代社会の観光の状況まで学ぶことができます。特に、観光は様々な分野と関わりますので、経済や経営等の学術的アプローチから、現代社会を知るきっかけ作りにもなります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回 「観光」を学ぶとは(オリエンテーション、ガイダンス) ○担当教員の自己紹介 ○授業の受け方の説明(特に、グループディスカッション、プレゼンテーション) ○授業内容の説明 ○単位認定の仕方の説明(レポート各10点×2、グループディスカッション及びプレゼンテーション各25点×2、定期試験30点)	復習:授業内容を振り返り、半期のスケジュールを自分なりに考えておくこと	1時間
第2回	対面	第2回 観光の歴史と文化① 観光はいつから始まり、今にどうつながるのか？ ○日本国での観光の歴史と文化(伊勢参り、熊野詣等)	予習:google検索等で「伊勢参り」「熊野詣」「オンラインツーリズム」を調べておく 復習:授業内容を振り返り、自分が関心のあるテーマを探しておく	2時間
第3回	対面	第3回 観光の歴史と文化② 近代の観光とは ○近代の観光を歴史・文化・産業の3点から分析する(西洋化、文明開化)	予習:google検索等で「近代の観光」を調べておく 復習:授業内容を振り返り、自分が関心のあるテーマを探しておく	2時間
第4回	対面	第4回 観光の歴史と文化③ 現在・今後の観光とは ○現在(コロナ禍、ウィズコロナ)での観光「マイクロツーリズム」「オープンエアーを重視した観光」 ○今後(ICT、アバター)での観光	予習:google検索等で「マイクロツーリズム」「オープンエアー」「アバター」を調べておく 復習:授業内容を振り返り、自分が関心のあるテーマを探しておく	2時間
第5回	対面	第5回 観光の歴史と文化から考える観光による地域活性化 ○観光による地域振興のケーススタディ「京都府宮津市・天橋立」「島根県松江市・玉造温泉」等	予習:google検索等で「天橋立」「玉造温泉」「長野県阿智村の夜景」を調べておく 復習:学習した内容から、自分に関係する場所にどう応用できるかを考え、メモを作る	3時間

第6回	対面	第6回　観光の諸相①　地域がコンテンツの舞台地になる ○コンテンツツーリズムの理論 ○コンツリイベントでのアンケート調査の分析	予習：教科書の120-187頁を読み、様々な事例を理解しておく 復習：学習した内容から、自宅が舞台地になった時のコンテンツツーリズムの企画を考え、メモを作る	3時間
第7回	対面	第7回　観光の諸相②　コンテンツツーリズムの実例 ○担当教員が奈良県吉野町でコンテンツツーリズム・コンツリイベントを企画・実施した事例紹介 ○中間レポートのお題発表	予習：google検索等で「奈良県吉野町」について調べておく 復習：前回の企画に、今回学習した内容を足して、どう企画・実施できるかを考え、メモを作る。さらに、中間レポートのお題を発表するので、第9回目の授業始めまでに中間レポートを執筆し、本授業のラーニングポータルに提出すること。	6時間
第8回	対面	第8回　観光の諸相③　注目されるツーリズム ○ガストロノミーツーリズム（地産地消の美食＋地域観光） ○医療ツーリズム（最新の医療＋地域町歩き観光）	予習：google検索等で「ガストロノミーツーリズム」「医療ツーリズム」について調べておく 復習：今回学習した内容から、自宅近くで出来るガストロノミーツーリズムを考える	3時間
第9回	対面	第9回　RESASを使った観光情報の入手・分析・評価 ○RESASを実際に使用し、観光情報を入手する ○入手した観光情報の分析・評価の手法を学ぶ	予習：google検索等で「RESAS」「RESASの使い方」のサイトを見て、一度、RESASの操作をしておく 復習：RESASを使って、これまで作ってきたメモに観光情報を追加して、メモをレベルアップさせる	3時間
第10回	対面	第10回　中間レポートの講評・フォローアップ ○中間レポートの講評を行う ○情報を追加し、フォローアップを行う	予習：自分が執筆・提出した中間レポートを見直す 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、中間レポートの加筆・修正を行う	6時間
第11回	オンデマンド	第11回　グループディスカッションの準備 ○グループディスカッションのやり方、お題の解題の仕方（問題の構造化）、解決提案の作り方 ○グループディスカッションの採点側の採点基準を知る	予習：google検索等で「グループディスカッションのやり方」「問題の構造化」を調べておく 復習：グループディスカッションは単位認定の配点が大きく、就職活動にも必須なので、動画を繰り返し視聴して、主体的に取り組めるようにしておく	6時間
第12回	対面	第12回　グループディスカッション① ○第1回目のグループディスカッションを行う ○授業時間内に、チームでまとめた解決提案をリーダーが担当教員に紙で提出する	予習：前回のグループディスカッションのやり方等を見直しておく 復習：今回のグループディスカッションの内容を振り返り、解決提案の内容をプレゼンテーションできるようにしておく	6時間
第13回	対面	第13回　グループディスカッション①の講評とフォローアップ ○前回行ったグループディスカッション①の講評を行う ○情報を追加し、フォローアップを行う	予習：提出した解決提案のプレゼンテーションができるようにしておく 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、解決提案の加筆・修正を行う	6時間
第14回	対面	第14回　グループディスカッション② ○第2回目のグループディスカッションを行う ○授業時間内に、チームでまとめた解決提案をリーダーが担当教員に紙で提出する	予習：第1回目のグループディスカッションのやり方・解決提案等を見直しておく 復習：今回のグループディスカッションの内容を振り返り、解決提案の内容をプレゼンテーションできるようにしておく	6時間
第15回	対面	第15回　まとめ、グループディスカッション②の講評とフォローアップ ○前回行ったグループディスカッション②の講評を行う ○情報を追加し、フォローアップを行う ○本授業のまとめを行う	予習：提出した解決提案のプレゼンテーションができるようにしておく 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、解決提案の加筆・修正を行う。また、これまでの授業内容を各自で振り返る	6時間

科目名	国際政治学Ⅰ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	近現代における国際政治の歴史的展開		
授業の目的及び概要	本授業では，近現代の国際政治の歴史と，いかに学問としての国際政治学が形成されてきたのかを学びます．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本授業において受講者に期待する到達目標は次のとおりです． (1)国際政治とは何か，その本質とは何かを理解できるようになる． (2)学問としての国際政治学／国際政治史とはどのようなものかを理解できるようになる． (3)日々の新聞やニュースの国際面を，国際政治学／国際政治史の観点から理解できるようになる． (4)国際政治史上の重大事件と，日本・アジアにおける同時代の状況を，俯瞰的に理解できるようになる． (5)国際学部の必須ツールである英語能力向上のために，専門用語が英語で理解できるようになる．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①各回終了前にリアクションペーパーを配布し，次回授業の冒頭でそれらをもとに受講生との質疑応答を行います． ②中間テストは，授業中に解説及び講評を行います． ③定期試験としてレポート試験を課します．内容の添削を希望する方は，定期試験終了後に担当者に連絡をください．		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない．	ISBN	指定しない．
参考書	①国際政治史ー主権国家体系のあゆみー，小川浩之・板橋拓己・青野利彦，有斐閣，2018年 ②入門講義　戦後国際政治史，森聡・福田円 編著，慶應義塾大学出版会，2022年 ③国際政治学をつかむ，村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将，有斐閣，2021年 ④国際関係論講義，山影進，東京大学出版会，2012年．	ISBN	①9784641150522 ②9784766427936 ③9784641177222 ④9784130322171

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	【授業の内容について】 ①各授業回で配布する資料・スライドをもとに予習と復習を十分に行ってください． ②各授業回にはキーワードがあります．授業後にキーワードを自分で説明できるよう，予習と復習を通じて，知識を深めてください． ③授業では教員の一方的な説明のみではなく，受講生同士でのディスカッションを通じて，知識を深めていきたいと思います． ④授業の冒頭で，新聞記事(国際面)を読み，国際政治のリテラシー向上を図ります． 【受講上のルールについて】 ①スマホ・タブレット等の私的な使用は禁止です．良識あるエレクトロニック・マナー(electronic manner)を身につけましょう． ②授業には時間通りに来て，すべての回に参加してください．出席の不正(いわゆるピー逃げや公欠の濫用)が発覚した場合は，単位を付与しません． ③授業中の私語，授業と関係のない私的行為は禁止です． ④出席をとるための学生証を忘れた場合，授業日中(その日のうち)にメールで出席の連絡をしてください． ⑤必要と状況に応じて，対面／Zoomでの面談を受け付けます．お気軽にお申し付けください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス：授業全体の説明と国際政治学／国際政治史を学ぶ意義	【予習】シラバスを事前に読んでおいてください． 【復習】シラバスと第1回のスライドを読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第2回	対面	ヨーロッパにおける近代主権国家の誕生 〈キーワード：主権国家，三十年戦争，ウェストファリア体制〉	【予習】第2回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第2回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間

第3回	対面	勢力均衡とナショナリズム 〈キーワード：フランス革命，勢力均衡，ウィーン体制，ナショナリズム，ビスマルク〉	【予習】第3回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第3回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第4回	対面	帝国主義の時代 〈キーワード：分割統治，帝国主義，植民地化〉	【予習】第4回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第4回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第5回	対面	第一次世界大戦と「危機の二十年」 〈キーワード：第一次世界大戦，総力戦，夢遊病者たち，E. H. カー，危機の二十年〉	【予習】第5回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第5回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第6回	対面	第二次世界大戦と国際秩序の崩壊 〈キーワード：大恐慌，第二次世界大戦，ヴェルサイユ体制，民族自決，国際連盟，委任統治〉	【予習】第6回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第6回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第7回	対面	冷戦の起源と分断体制の形成 〈キーワード：東西冷戦，トルーマン・ドクトリン，マーシャル・プラン，アジアにおける冷戦〉	【予習】第7回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第7回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第8回	対面	中間テスト	【予習】第1回～第7回までのスライドと配布資料を事前に読み，中間テストに備えてください． 【復習】第1回～第7回までのスライドと配布資料を読み直し，中間テスト出題範囲の知識を確認してください．	4時間
第9回	対面	グローバル化する冷戦と第三世界での代理戦争 〈キーワード：グローバル冷戦，北大西洋条約機構，脱植民地化，第三世界の代理戦争，キューバ・ミサイル危機〉	【予習】第9回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第9回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第10回	対面	冷戦体制の変容と核問題 〈キーワード：デタント，核軍拡競争，ベトナム戦争〉	【予習】第10回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第10回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第11回	対面	冷戦終結への道 〈キーワード：新冷戦，ソ連のアフガニスタン侵攻，イラン・イスラーム革命〉	【予習】第11回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第11回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第12回	対面	湾岸戦争とソ連解体 〈キーワード：湾岸戦争，安全保障理事会，人道的介入，ソ連解体〉	【予習】第12回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第12回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第13回	対面	冷戦後の地域紛争・民族紛争 〈キーワード：民族紛争，ユーゴ内戦，ジェノサイド，破綻国家〉	【予習】第13回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第13回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第14回	対面	9.11後の国際政治の展開 〈キーワード：9.11事件，対テロ戦争，アフガニスタン戦争，イラク戦争〉	【予習】第14回のスライドと配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】第14回のスライドと配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第15回	オンデマンド	総括 これまでの授業の振り返りを行い，レポート試験に向けたポイントをお話しします．	【予習】これまでのスライドと配布資料を再度読み直してください． 【復習】これまでのスライドと配布資料を再度読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間

科目名	国際政治学Ⅱ	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	張　雪斌	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	経済、ヒトと文化の側面から国際政治を学ぶ		
授業の目的及び概要	この授業の目的は国際政治学における経済、貿易、ヒトや文化といった「ソフト」な部分について学ぶことです。そして、この授業はグローバリゼーションの光の部分(豊かになった、便利になった)だけでなく、影の部分(越境する国際問題、多様化する対立と摩擦)にもスポットを当てます。 国家にとって、安全と平和はいつの時代でも至上命題です。そのため、軍事安全保障は国際政治、そして国際政治学の最重要課題であり続けてきました。一方、グローバル化が進むなか、国際政治における経済、貿易、ヒトや文化といった「ソフト」な部分の重要性が急激に増しています。この授業では、国際政治経済学だけでなく、人間の安全保障、ソフト・パワーといったテーマについても学ぶことで、経済、貿易関係の深化と、ヒトや文化の越境への理解を深めます。 受講者の皆さんの授業への理解度に合わせて、内容を調整する可能性があります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際政治学における経済、貿易、ヒトや文化といった「ソフト」な部分に関する基本的な知識を身につけること ・国際政治学や国際政治経済学の基本的な分析手法を理解すること ・国際社会における非伝統的な課題の存在を認識し、自分の意見を持つこと		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・コメントカードを使って皆さんから質問を集め、次週以降質問への回答やコメントをします ・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設けます ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介します		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013)	**ISBN**	978-4641053786
参考書	野林健、大芝亮、納家政嗣、山田敦、長尾悟『国際政治経済学・入門　第3版』(有斐閣、2007) その他の参考書と参考文献は適宜授業中に紹介します。	**ISBN**	978-4641123335

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**	0		

この科目の履修にあたって	国際政治学Ⅰと合わせて履修することをお勧めします(必須ではありません)。 この講義の内容には「正解」がありません。さまざまな情報を客観的に分析し、自分の考えとは異なる意見にも耳を傾ける姿勢を高く評価されます。 授業で学んだことと関連のあるニュース記事を見かけたら、ぜひそのニュースの要点と自分の意見をノートに書いてみてください。就職活動のときに必ず役に立ちます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の目的、概要や成績評価などについて説明します。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握してください。テキストを購入し、その内容を把握してください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	国際政治、国際政治学のソフトなものとは何か、なぜそれらが重要なのか	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第3回	対面	政治学の論理と経済学の論理	事前事後学修 【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間

第4回	対面	第二次世界大戦までの国際政治経済	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第5回	対面	冷戦期の国際政治経済：協力と協調のルール作り	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第6回	対面	グローバリゼーションと貿易摩擦、保護主義	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第7回	対面	国際秩序の模索	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	リージョナル・レベルとナショナル・レベルの国際秩序	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第9回	対面	経済安全保障	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第10回	対面	グローバリゼーションと安全保障の変容	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	国境を超える人の移動	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	人間の安全保障	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	地球環境問題	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	ソフト・パワーをめぐる新たな競争	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。15回目の授業に向けて、質問をまとめて教員に伝えてください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ、振り返り、質疑応答	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間

科目名	国際社会と法	開講年度	2023年度秋学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際社会のニュースを法の視点から考える		
授業の目的及び概要	グローバル化する社会で起こる諸現象を法(ルール)の観点から考察する基礎的な知識を学ぶ授業である。第1に法学の基礎知識(法の機能や種類、優劣関係等)を、第2に国内法及び国際法の基礎知識(条約の成立過程、裁判制度等)を、第3に国内法秩序と国際法秩序の相互関係を学修する。これら基礎知識を土台に、グローバルな課題(国籍、犯罪人の引渡し、テロ対策、感染症対策、金融危機等)を取り上げ、国内法と国際法のダイナミックな相互作用について検討を深める。将来のキャリアとして国際社会で活躍するために必要不可欠な「気づき」を得る力を養成することを目指す。		
履修の条件・注意	「日本と国際法」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本を含む国際社会での様々なニュースや出来事を取り上げ、法がどのような役割・機能をはたしているのか(またははたしていないのか)、国内法と国際法がどのように関わっているのかについての興味関心が高まる。 「グローバル社会」となりつつある現状において、個人が国内社会および国際社会でどのように法を使っていくのかについて「気づき」を得る。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業では授業内容に関する問いを課し、授業中および授業終了時にリフレクションペーパーを提出してもらう。リフレクションペーパーは次回授業でフィードバックするとともに、授業の振り返りに活用し、授業の双方向性を確保する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし	ISBN	なし
参考書	①はてなの国際法, 岩本誠吾・戸田五郎, 晃洋書房, 2022年 ②18歳から考える人権(第二版), 宍戸常寿編, 法律文化社, 2020年	ISBN	①9784771036673 ②9784589041173

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0	特になし	

この科目の履修にあたって	国際社会は歴史、文化、制度などが非常に多様である約200の国・地域によって構成されている(ちなみに日本にとっては196の国家が地球上には存在している)。一方で、この国際社会を規律するのは普遍的な法(ルール)である。普遍的なルールと多様な国・地域との間で生じるダイナミックな動きに、今後の専門学修および海外体験・留学につながっていく「気づき」を得てほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的、授業の進め方、成績評価の方法など、授業の概要を説明する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第2回	対面	法とは何か① 日本の道路交通法を題材にルールの意味、読み方、解釈の仕方について考える。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第3回	対面	法とは何か② ケーキの分け方および借地借家法を題材に当事者の利益や紛争解決について考える。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第4回	対面	国家における法(国内法) 国家とは何か、その国家のなかではたらく法についての基礎知識を学ぶ。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第5回	対面	国際法の基礎知識①:武力行使禁止原則と武力紛争のルール 国際社会における法の役割・必要性や国際法(条約・慣習国際法)について具体的な事例を示しながら考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第6回	対面	国際法の基礎知識②:国際的な人権保障 国際社会における法の役割・必要性や国際法(条約・慣習国際法)について具体的な事例を示しながら考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第7回	対面	国際法秩序と国内法秩序の相互関係 環境問題(気候変動)に関する国際法(パリ協定)を題材に、国際社会のルールが国内社会のルールとなっていく過程を考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間

第8回	対面	国際社会における紛争解決 国家間で問題が生じた場合はどのように解決するのか、平和的な紛争解決について考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第9回	対面	事例の考察① 国際社会における人の越境移動（無国籍者、難民、移住労働者など）における法について考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第10回	対面	事例の考察② 国際社会における感染症（新型コロナウイルス感染症など）対策における法について考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第11回	対面	事例の考察③ 国境を越える犯罪行為（犯罪人引渡、越境組織犯罪、テロ対策など）に対する法について考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第12回	対面	事例の考察④ 世界経済における貿易の自由化における法について考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第13回	対面	事例の考察⑤ 国際社会における安全保障（軍事同盟、AI兵器の規制など）および人間の安全保障における法について考察する。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第14回	対面	授業のまとめ 授業全体の総括を行う。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間
第15回	オンデマンド	これまでの振り返り 定期試験にむけてこれまでの授業のポイントを振り返り、質疑応答を行う。	ラーニングポータルに掲載した授業のレジュメを読み予習する。復習として授業のまとめでの出題にオンラインで回答する。	4時間

科目名	日本と国際法	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本と国際法との関わりを学修する。		
授業の目的及び概要	この授業は、江戸時代末期から今日に至るまでの日本と国際法との関わりを学修することで、今日の日本が抱える国際問題につき、法的な視点から考察できる能力を身に付けることを目的としています。授業では、開国前の幕府による諸外国との条約締結、明治期日本政府の国際法に対する姿勢、両次大戦、日米安全保障条約と基地問題、平和安全法制と自衛権論などを扱います。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本の近現代外交史を国際法に関連付けて論じることができるようになることを学修の到達目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題については、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内で資料配布を行います。	ISBN	なし
参考書	適宜紹介します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	1. この授業では、国際法のみならず日本の歴史(江戸時代末期以降)についても扱います。歴史についても、受講される皆さんが分かりやすいよう解説しますが、一通り高校の日本史の教科書や、日本史を扱った漫画等を通読しておいてください。そのうえで、日本の歴史を国際法の視点から捉えることができれば、今後の専門学修および海外体験・留学をより意義深いものにします。 2. 学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義を目指します。そのため、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要紹介	【予習】 近年、日本が関係する国際問題について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第2回	対面	国際法とは何か	【予習】 条約と慣習国際法について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第3回	対面	江戸時代末期の日本と国際法	【予習】 日米和親条約と日米修好通商条約について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第4回	対面	戊辰戦争と中立法	【予習】 戊辰戦争について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第5回	対面	不平等条約	【予習】 明治期の条約改正について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間

第6回	対面	お雇い外国人と国際法	【予習】 ヘンリー・デニソン(Henry Denison)、トマス・ベイティ(Thomas Baty)について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第7回	対面	第1次世界大戦と日本	【予習】 第1次世界大戦について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第8回	対面	国際連盟と不戦条約	【予習】 国際連盟と不戦条約について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第9回	対面	第2次世界大戦と日本	【予習】 日米開戦前の状況について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第10回	対面	領土問題	【予習】 北方領土問題及び竹島問題について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第11回	対面	国際連合と日本	【予習】 日本の国連加盟について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第12回	対面	日米安全保障条約と基地問題	【予習】 日米安全保障条約について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第13回	対面	国際司法裁判所と日本	【予習】 みなみまぐろ事件及び南極海捕鯨事件について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第14回	対面	自衛権論と平和安全法制	【予習】 集団的自衛権について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ(オンデマンド)	【予習】 これまでの授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。 【復習】 知識の定着に努めるとともに、定期試験の準備をしてください。	6時間

科目名	国際経済基礎＜世界経済入門＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金子　治平	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界経済に関して現在話題になっている経済諸事象を取り上げながら，経済学の考え方を説明します.		
授業の目的及び概要	この授業は，世界各国の経済が貿易や投資を通じて相互に影響し合っていることを理解することを目的とします. この授業を受講することにより，新聞やテレビ・ラジオで話題となっている各国の経済諸事象を相互に関連づけて理解する経済学の基本的知識を身につけることができます. 各回の講義のテーマは経済学に沿っていますが，最近の新聞資料も用いて解説するように心がけます.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	世界の経済事象に関する基本的知識を習得し，世界の経済的な問題を考察・検討する能力を身につけることを目標とします.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業支援システム「Learning Portal」上で質問を受け付けて，翌週の授業で説明します.		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しません. 資料は，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードします.	ISBN	なし
参考書	① 宮崎勇・田谷禎三(2020)『世界経済図説 第四版』(岩波新書)岩波書店 ② 西川潤(2014)『新・世界経済入門』(岩波新書)岩波書店	ISBN	① 978-4004318309 ② 978-4004314820

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	40	その他(%)			

この科目の履修にあたって	経済や社会の状況に関心を持ち，積極的に新聞・雑誌を読んだりテレビ・ラジオのニュースを見聞きしたりすることを求めます. 毎回の講義の1週間後に小テストを実施します. 毎週，復習する必要があります.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 日本経済の歩みと世界	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第2回	対面	需要曲線と消費者余剰 需要曲線と消費者余剰を学ぶとともに，なぜ世界の穀物価格の変動が大きいのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第3回	対面	供給曲線と生産者余剰，および貿易がないときの数量と価格の決定 需要曲線と供給曲線から，貿易が行われないときに，生産(消費)数量や価格がどのように決定されるのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第4回	対面	自由貿易の利益(1) 国内の状況だけで決定される価格よりも低い価格で輸入可能なときに価格・数量・余剰がどのように変化するのか，また，輸入関税をかけたときに価格・数量・余剰がどのように変化するのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第5回	対面	自由貿易の利益(2) 政府が輸入量を制限する場合に，価格・数量・余剰がどのように変化するのかを学びます. 前回までの講義と併せて，自由に貿易を行う場合には，政府が関与する場合よりも，社会全体としては利益があることを示します.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間

第6回	対面	自由貿易の利益（3） 前回までとは異なった視点からの自由貿易の利益として，リカードの比較優位の原則を学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第7回	対面	WTO(GATT)，IMF，および経済連携協定（EPA/FTA） 第二次世界大戦後にはなぜ自由貿易が推進されてきたのか，また，自由貿易を推進するための組織であるWTO，IMF，経済連携協定などについて学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第8回	対面	国民経済計算 GDP(国内総生産）は何を表している数値なのかを学びます.	事前学習として，これまでの授業を振り返り，理解した点や疑問点などを再度整理しておいてください.	4時間
第9回	対面	実質化と物価指数 名目GDPと実質GDPの違い，及び物価指数について学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第10回	対面	労働市場と失業率 失業率はどのようにして決定されるのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第11回	対面	金融市場と利子率 投資の対価としての利子率はどのように決定されるのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第12回	対面	外国為替市場と外国為替レート 外国為替市場と外国為替レート，および，外国為替レートと貿易や投資などとの関連を学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第13回	対面	国際収支（1） 世界各国間の経済の収支を表す国際収支統計とは何かを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第14回	対面	国際収支（2） 国際収支と，貿易や投資との関連を学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第15回	オンデマンド	全体の振り返り 第1～14回の講義を振り返って，全体のまとめを行います.	理解できていない箇所を掘り下げ，よく復習してください.	4時間

科目名	国際経済概論＜世界経済論＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金子　治平	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	歴史的展開も考慮しながら，世界経済に関して現在話題になっている経済諸事象を相互に関連づけながら説明します．		
授業の目的及び概要	この授業は，世界を対象としてさまざまな国家に見られる諸事象を，歴史的展開も考慮しながら関連づけて理解してもらうこと，及び経済学の基本的な考え方を理解することを目的とします． この授業を受講することにより，新聞やテレビ・ラジオで話題となっている各国の経済諸事象を相互に関連づけて理解する基本的知識を身につけます．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	世界の経済事象に関する基本的知識を習得し，世界の経済的な問題を考察・検討する能力を身につけることを目標とします．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	質問を受け付けて，翌週の授業で説明します．		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しません． 資料は，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードします．	ISBN	なし
参考書	①　宮崎勇・田谷禎三（2020）『世界経済図説 第四版』（岩波新書）岩波書店 ②　西川潤（2014）『新・世界経済入門』（岩波新書）岩波書店	ISBN	①　978-4004318309 ②　978-4004314820

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	40	その他(%)			

この科目の履修にあたって	経済や社会の状況に関心を持ち，積極的に新聞・雑誌を読んだりテレビ・ラジオのニュースを見聞きしたりすることを求めます． 毎回の講義の1週間後に，小テストを実施します．毎週，きちんと復習することを求めます．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	世界各国の人口の推移とGDPの関係（1） 各国の人口の推移と，人口転換理論について学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第2回	対面	世界各国の人口の推移とGDPの関係（2） 各国の経済の発展段階と，人口ボーナスや人口オーナスとの関係を学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第3回	対面	需要曲線と消費者余剰 需要曲線と消費者余剰を学ぶとともに，なぜ世界の穀物価格の変動が大きいのか，また，先進国の飽食と開発途上国の飢餓という減少がみられるのかを学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第4回	対面	供給曲線と生産者余剰，及び自由貿易の利益 需要曲線と消費者余剰，需要曲線・供給曲線から均衡数量・均衡価格や余剰が決定されること，貿易の有無で均衡数量・均衡価格や余剰がどのように変化するのかを学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第5回	対面	関税と輸入（輸出）数量制限の効果 貿易の際に関税をかけたり，貿易の数量を制限したりした場合に，均衡数量・均衡価格や余剰がどのように変化するかを学び，自由貿易を行うことの社会的な利益について理解します．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第6回	対面	WTO(GATT)，IMF，および経済連携協定（EPA/FTA） 自由貿易を推進するための組織であるWTO，IMF，経済連携協定について学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間

第7回	対面	変動為替相場制と，外国為替レートの変化の効果 変動為替相場に転換してきた経緯と，外国為替レートが経済に及ぼす影響について学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第8回	対面	物価と貿易 物価の変化が，貿易に与える影響について学びます．	事前学習として，これまでの授業を振り返り，理解した点や疑問点などを再度整理しておいてください．	4時間
第9回	対面	外国為替レートの決定要因 外国為替レートはどのように決定されているかに関する説を学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第10回	対面	国際収支（1） 第11回と合わせて，国際収支について詳しく学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第11回	対面	国際収支（2） 第10回と合わせて，国際収支について詳しく学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第12回	対面	国際収支と経済発展段階 国際収支と経済発展との関連についての，国際収支の発展段階説を学びます． また，必ずしも発展段階説が妥当しないこともあることを説明します．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第13回	対面	世界のエネルギー消費と経済 一次エネルギーと二次エネルギーの違い，エネルギー消費量と経済との関係などを学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第14回	対面	世界の一次エネルギーの貿易 石油，天然ガス，石炭の世界的な貿易について学びます．	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください． 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください．	4時間
第15回	オンデマンド	全体の振り返り 第1～14回の講義を振り返って，全体のまとめを行います．	理解できていない箇所を掘り下げ，よく復習してください．	4時間

科目名	国際経営基礎＜経営学概論＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	水野　清	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際学部においてベースとなる経営学全般について、基礎から専門科目へステップアップするための基本内容を学修します。		
授業の目的及び概要	この授業では、経営学全般にわたり、基礎知識を修得します。前半では、コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任、競争戦略と事業システム等を、また後半では、組織文化、コンフリクト、リーダーシップ、モチベーション等について学修します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・経営学全般にわたり、基礎知識を修得する。 ・関心のある経営学領域を見つける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	理解度テスト等については、適宜授業内で解説しフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティング戦略の企画・立案や組織のマネジメント業務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	藤田誠(2015)『経営学入門』中央経済社	ISBN	978-4502133916
参考書	井原久光(2008)『テキスト経営学(第3版)』ミネルヴァ書房	ISBN	978-4623051298

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	60	その他(%)			

この科目の履修にあたって	経営学の基礎理論を学修するなかで、企業の事例、企業における実務経験も織り混ぜながら実践的な内容を提供します。 日頃から日本経済新聞やビジネス誌を読んで、世界や日本の経営事情に関する出来事を把握してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	「イントロダクション」 「経営学とはどのような学問か」 ①経営学の対象,②経営の枠組み,について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	対面	「企業や会社の制度的・法律的な特徴」 ①企業の種類(企業形態), ②会社の種類,③会社の特徴について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第3回	対面	「コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任」 ①コーポレート・ガバナンスと株式会社の機関設計,②コーポレート・ガバナンスの論点,③利害関係者の多様性とコーポレート・ガバナンスについて学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第4回	対面	第1回～第3回の学修内容の確認 実在する企業の取り組む戦略について事例を取り上げ,これまで学修した理論を使ってどのように考えられるのかを確認します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間

第5回	対面	「経営理念、目的と戦略」 ①経営理念・ビジョン,②コーポレート・ステートメント,③企業・組織の目的,④経営理念,目的と経営戦略の関連について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第6回	対面	「企業戦略」 ①成長ベクトル,②多角化,③事業とは何かについて学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第7回	対面	「競争戦略と事業システム」 ①経験効果・経験曲線,②ポーターのファイブ・フォーシーズ・モデル,③競争戦略の類型について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第8回	オンデマンド	第1回～第7回の学修内容の確認 これまで取り扱ってきた内容について振り返るとともに,あらためて重要なポイントは何かについて確認します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第9回	対面	「組織構造」 ①戦略と組織,②組織構造の基本要因,③官僚制,④部門化の基本形について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第10回	対面	「組織文化」 ①組織文化の概念,②思考様式,行動様式と組織文化,③強い組織文化と下位文化について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第11回	対面	「コンフリクトマネジメント」 ①コンフリクトの概念,②コンフリクトの源泉,③下位文化とコンフリクトについて学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第12回	対面	第9回～第11回の学修内容の確認 実在する企業の取り組む戦略について事例を取り上げ,これまで学修した理論を使ってどのように考えられるのかを確認します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第13回	対面	「リーダーシップ」 ①リーダーシップの基本概念,②特性論(資質論), ③スタイル(行動)論について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第14回	対面	「モチベーション」 ①内容理論(欲求理論), ②プロセス論,について学修します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第15回	対面	総括 これまで取り扱ってきた内容について振り返るとともに,この授業全体の重要なポイントを整理・検討します。	(事前学修) 当該部分のレジュメ資料等を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料等、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間

科目名	国際経営基礎＜経営学概論＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	川島　隆志	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	企業経営の基本的な概念・理論を学修する		
授業の目的及び概要	経営学の考え方、組織行動論、組織理論などの基本項目の理解し、企業成長、国際化、イノベーションをどのように実現するかを学修する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①経営学の基本的な考え方を理解し、説明することができる。 ②組織行動論、組織理論に関する基本的な概念・理論を理解し、説明することができる。 ③企業の成長、国際化、イノベーションに関する基本的な概念・理論を理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内の課題、問題については、適宜授業内でフィードバックやコメント、アドバイスを行います。小レポート等の優秀なレポートについては授業中に紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティングリサーチ及び分析、経営戦略などの職務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	指定しません。	ISBN	指定しません
参考書	「経営学入門」上、下　榊原清則(2013)日経文庫　ISBN-13 : 978-4532112820 「1からの経営学」[第3版] 加護野忠男(2021)碩学舎　中央経済社　ISBN-13 : 978-4502375217	ISBN	「経営学入門」上、下　榊原清則(2013)日経文庫　ISBN-13 : 978-4532112820 「1からの経営学」[第3版] 加護野忠男(2021)碩学舎　中央経済社　ISBN-13 : 978-4502375217

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	10	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	80	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	今後、より専門性の高い科目を学習していく上での基礎です。最初は、専門用語などに慣れないかもしれませんが、社会人になるためには日常的に使用できるようになる必要があるものばかりを学修します。 そのためには、講義ノートを作成することが重要となります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	はじめに　本講義の概要 経営学への招待	【予習】シラバスとガイダンス資料を事前に読む。 【復習】講義で得た知識を確認。	4時間
第2回	対面	経営学の基本	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第3回	対面	組織行動論ーミクロ組織論	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第4回	対面	組織行動論ーマクロ組織論	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第5回	対面	経営戦略論①	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第6回	対面	経営戦略論②	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第7回	対面	経営戦略論③ 前半のまとめ	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第8回	対面	企業成長のための戦略と組織	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第9回	対面	国際化のための戦略と組織①	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間

第10回	対面	国際化のための戦略と組織②	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第11回	対面	研究開発の戦略と組織	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第12回	対面	知識経営①	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第13回	対面	知識経営②	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第14回	対面	知識経営③	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第15回	オンデマンド	オンデマンド授業回 授業全体の総括 最終レポートの解説	【予習】これまでの配布資料とノートを事前に読みなおし、疑問点を明確にする。 【復習】これまでの資料とノートをまとめなおし、総復習する。	4時間

科目名	国際経営基礎＜経営学概論＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	金　信行	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	企業経営の仕組みを説明する学問としての経営学の全体像を把握する		
授業の目的及び概要	本科目は、具体的な事例や実際に行われた調査を参照しながら、企業経営そして経営学の全体像を総論的に把握することを目指すものです。社会全体の中での会社の役割、会社を動かす仕組み、会社と会社の関係、製造過程の管理、社員の行動、人材育成の仕組み、製品販売のやり方、海外での経営のやり方などを検討することで企業経営全体の流れを把握し、企業経営の現実を説明することを目指す経営学がどのような視点や視座をもった学問であるかを学んでいきます。 受講者の皆さんの授業への理解度を鑑みて、授業内容を適宜調整する可能性があります。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修の到達目標:本科目では、以下の三点を到達目標とします。 ・企業経営がいかなる過程で成立する営みであるのかを具体的に理解できること。 ・経営学を構成する分析視角や視点を把握し説明できること。 ・企業経営において興味関心を持つ内容について、各自が主体的にリサーチや読書などの学修を進められるようになること。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	・毎授業皆さんにご提出いただくコメントシートの内容について、次回以降の授業でコメントします。 ・前回授業の内容について受講者の理解を確認する質疑応答を、毎授業行います。 ・必要に応じて、授業中に追加資料の配布や文献紹介を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	経験から学ぶ経営学入門(第2版), 上林憲雄ほか, 有斐閣, 2007年.	ISBN	978-4-641-18443-5
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	・大学での学修では、授業への参加だけでなく、関心をもった事柄について自ら情報を集めて思考を深める主体性が重要です。受講者の皆さんが本科目の履修を通じて、本科目で学んだ内容をテキスト以外の企業活動の事例の考察に応用したり、より専門的な内容について読書を行うなど、主体的な学修へ足を踏み出してくだされば、担当教員としてこれ以上嬉しいことはありません。 ・初回授業で詳しく説明しますが、受講者のうち希望する方で自主的に取り組んでいただく課題については、出来栄え次第では大幅な加点を差し上げることがありますので、チャレンジを是非ご検討ください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	第1回　イントロダクション	[予習]シラバスの内容について概要を理解し、テキストの各章を概観することで本科目の全体像を適宜把握してください。 [復習]授業の配布資料を参照して復習を行ってください。	4時間
第2回	オンデマンド	第2回　会社の経営とはどんなことか、会社はどのようにして社会に役立っているのか	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第3回	オンデマンド	第3回　会社は誰が動かしているのか――コーポレートガバナンス	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第4回	オンデマンド	第4回　会社はどのような方針で動いているのか――経営理念と戦略	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第5回	オンデマンド	第5回　会社はどんな仕組みで動いているのか――組織形態	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

第6回	オンデマンド	第6回　会社は他の会社とどのように協力しているのか――組織間関係	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第7回	オンデマンド	第7回　会社はどのようにしてモノを造るのか――生産管理	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第8回	オンデマンド	第8回　社員は仕事をどのように分担しているのか――組織構造と職務設計	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第9回	オンデマンド	第9回　社員はなぜ働くのか――モチベーションとリーダーシップ	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第10回	オンデマンド	第10回　社員はなぜ組織にとどまろうとするのか――雇用システム	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第11回	オンデマンド	第11回　社員はどのような報酬を求めるのか――報酬制度	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第12回	オンデマンド	第12回　社員はどのようにして育てられるのか――人材育成制度	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第13回	オンデマンド	第13回　会社はどのようにして商品を提供するのか――マーケティング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第14回	オンデマンド	第14回　会社は海外でどのようにして経営しているのか――国際経営	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15回　これまでの講義内容のまとめ	[予習]これまでの授業で扱ったテキストの講読範囲を再度読み直し、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

科目名	国際ビジネス概論	開講年度	2023年度春学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際ビジネス全般について、基礎から専門科目へステップアップするための基本内容を学修します。		
授業の目的及び概要	21世紀の経済現象のもっとも重要な特徴は、個別企業の経済活動が国家間の境界を越えて行われている点において把握できる。この授業では、今日拡大されつつある経済生産活動のグローバリゼーションの傾向を、事業主体の国際ビジネス戦略に則して理解することを目標とする。主なテーマは、「企業の海外展開の諸問題の考察」とし、国際ビジネスの基本を総合的に学修する内容で構成される。具体的には、多国籍企業、海外直接投資、グローバル戦略等について学修する。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育くむ。		
履修の条件・注意	「国際経営基礎＜経営学概論＞」を履修していることが望ましい		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際ビジネスの基本について説明できる。 ・貿易取引の流れを説明できる。 ・外国為替の仕組みを説明できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行うこととする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で国際ビジネス関連の情報収集を行い、情報収集に努めてること。また、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行います。	【予習】事前にシラバスを読み込み、関連する内容と参考書『外国為替・国際金融入門』第1章外国為替の基礎知識を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第2回	オンデマンド	日本経済における国際ビジネスの役割(1) 日本経済の歴史と国際ビジネスの役割について解説します。	【予習】参考書『外国為替・国際金融入門』第1章外国為替の基礎知識を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第3回	対面	日本経済における国際ビジネスの役割(2) 国際ビジネスの基礎的特徴と異文化理解の必要性について解説します。	【予習】参考書『外国為替・国際金融入門』第1章外国為替の基礎知識を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第4回	対面	外国為替の基本(1) 国際ビジネスに欠かせない外国為替の基本構造と為替変動要因について解説します。	【予習】参考書『外国為替・国際金融入門』第1章外国為替の基礎知識を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第5回	対面	外国為替の基本(2) 国際ビジネスに欠かせない外国為替の基本と国や企業に与える影響について解説します。	【予習】参考書『外国為替・国際金融入門』第1章外国為替の基礎知識を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第6回	対面	企業の海外展開の事例研究(1) 多国籍企業の定義と企業の海外展開事例を解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第1編輸出実務(輸出マーケティング調査)を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第7回	対面	企業の海外展開の事例研究(2) 多国籍企業の展開事例について解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第1編輸出実務(取引関係の創設)を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間

第8回	対面	企業の海外展開の事例研究(3) 多国籍企業の展開事例と問題について解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第1編輸出実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第9回	対面	貿易の全体構造把握(輸入編)(1) 輸入取引における信用状の仕組みと役割、取引全体の流れを解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第2編輸入実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第10回	対面	貿易の全体構造把握(輸入編)(2) 信用状なしの取引(D/P, D/A)と外国送金の仕組みと役割、取引全体の流れを解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第2編輸入実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第11回	対面	貿易の全体構造把握(輸出編)(1) 輸出取引における信用状の仕組みと役割、取引全体の流れを解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第1編輸出実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第12回	対面	貿易の全体構造把握(輸出編)(2) 信用状なしの取引(D/P, D/A)と外国送金の仕組みと役割、取引全体の流れを解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第1編輸出実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第13回	対面	国際ビジネスに必要なルール(1) 国際ビジネスに関連する法令や慣習等のルールについて解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第3編その他の貿易実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第14回	対面	国際ビジネスに必要なルール(2) 国際ビジネスに関連する法令や慣習等のルールが問題になった事例について解説します。	【予習】参考書『基本貿易実務』第3編その他の貿易実務を事前に読んでおくこと。 【復習】授業後に講義ノートを読み、理解を深める。	4時間
第15回	対面	総括 講義内容の総括をします	【予習】これまでの講義ノートを読み、授業の疑問点を明らかにする。 【復習】授業後にノートを読み、理解を深める。	4時間

科目名	Advanced English Ⅲ＜Comprehensive English Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	オコン・オーリック	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語教育の反転授業スタイルになります。この授業で学ぶべきことは、すべて宿題として出されます。授業は、ペアでの練習とフィードバックに充てます。		
授業の目的及び概要	授業へ出席することには主に2つの目的があります: 1: 先生や他の生徒に対して、宿題や英語一般に関する質問を尋ねるため 2. 宿題をする中で得られた知識を実際に使うため 生徒の授業における目標は、学習すること、また他の人達とお互い学習の手助けをしあうことです。教師の役割は、生徒の学習の手助けをすることです。 注意点:もし学習する意欲がなければ、教師は強制的に学習させることはできませんし、学習意欲のある人の学びの阻害をしてしまいます。学習意欲を持つようにしましょう。 加えて… ・これまで培ってきた基本的な語彙や文法の知識を活用し、簡単な英会話をすることができる。(知識) ・英語コミュニケーション能力向上のために積極的に参加できる。(態度・習慣) ・スピーキングに必要な語彙学習やその他の学習を授業外でも行うことができる。(態度・習慣) ・初出の単語や表現について辞書などで調べることができる。(技能)		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	このクラスは英語4技能の中でも特にスピーキングに特化した技能を育てることを目標としている。この科目は、獲得した知識や技能を活用し、国内外において、価値観や意見の異なるさまざまな人と議論し、学びを深め、協働して社会に役立てることができることを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	フィードバックは毎回の授業で行います。教師は、一人の生徒に直接、またはクラス全体に語りかけながら、生徒にフィードバックを与えます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストはLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし
参考書	参考書はLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	Final Quiz –Conducted in Class	

この科目の履修にあたって	全授業の70%以上に出席する必要があります。1セメスターに15時限の授業がある場合、11時限の授業に時間通りに出席する必要があります。つまり、4回は欠席を許されているということです。届出をしていても、欠席は欠席です。届出を行った上での欠席と、届出を行っていない欠席の違いは、届出をした場合は減点されないということです。もう一度言いますが、届出を行っているかどうかにかかわらず、5回欠席した場合は落第となります。授業は、どんなクラブ活動よりも大切です。例えば、野球をしなければならなかった、または体調がすぐれなかったという理由で5度この授業を欠席すれば、落第になります。もう一度言いますが、全授業の70%以上に出席しなければなりません。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間

第1回	対面	講師が生徒一人ひとりの一般的な英語力を確認します。 このクラスは通常、下記にある通りの型に沿って進みます。 1. あいさつ 2. 出席確認をしている間、ペアになっての練習 3. 技能のスピーキング・リスニングテスト 4. 宿題の進捗確認。生徒は宿題に関する質問に回答しなければなりません。この質問は通常、最低1時間の宿題が完了したかどうか、また何の宿題が完了したかについてです。 5. Q&A。生徒は宿題または英語一般に関する質問を先生に対して尋ねることができます。これは授業の最後の時間まで続く可能性もあります。 6. さまざまなアクティビティの、ペアになっての練習 --- 選択肢1 - 1人が先生役になり、その人が回答を見ることが許されます。 --- 選択肢2 - どちらの生徒もハンドアウトを見て構いません。 --- 選択肢3 - 会話の練習 7. 練習したものについてのプレゼンテーション	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第2回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第3回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第4回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第5回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第6回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第7回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第8回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第9回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第10回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第11回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第12回	対面	復習	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第13回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第14回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第15回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間

科目名	Advanced English Ⅲ＜Comprehensive English Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	グリーン・スティーブン	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	様々なトピックを英語で学んで、多様な活動(聞く、見る、話す、読む、書く)を通して、アカデミックスキルと英語スキルの両方を身に付けることができます。		
授業の目的及び概要	この授業は全て英語で行われ、学生は「英語で内容(様々なトピックについて)を学ぶ」という活動を行います(「英語を学ぶ」と「英語で学ぶ」)。 従って、授業では英語のみが使われ、評価となる活動も、全て英語が使用されます。 この科目は専門知識・能力の高度化を図る科目です。この科目は論理的思考力や幅広い視野を育む科目です。 授業では、多様な分野(健康科学、人類学、社会学、地球科学、経済学、ビジネス等)の興味深いテーマに接しながら、リサーチやディスカッションを通して英語の総合的運用能力を高めることを目標とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	達成目標は、The Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)のB1レベルです。CEFR ガイドラインによると、英語のB1レベルの人は: 1. 仕事、学校や遊びの場面で頻繁に経験する身近な事柄に関する明確で標準的な情報の要点を理解できる。 2. その言語が話される地域を旅行する間に起こり得るほとんどの状況に対応できる。 3. よく知っている話題や、個人的に興味がある話題に関して、単純な文を繋げることができる。 4. 経験、出来事、夢や希望、志について語り、自分の意見や計画に対する理由や説明を簡単に述べることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で質問への回答や説明をします。 授業内で継続的に行なわれるエクセサイズやクイズ、ディスカッションを行うなかで教員から講評を受けます。 学生により継続的に提出される教科書のワークやこのコース専用のノートブックは添削した上で返却します。 テストは、採点した上で、教員から講評を受けます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Pathways 3: Listening, Speaking, and Critical Thinking, First Edition (1st ed.), Becky Traver Chase, Kristin L. Johannsen, Cengage Learning, 2012年	ISBN	978-1-133-30763-1
参考書	参考書の指定は行いません。 必要な資料は適宜授業内で指示します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	65	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	コースの教科書とこのコース専用のノートブック	

この科目の履修にあたって	This is a content-based instruction (CBI) course in English. Only English is used in class, and for assessment activities. 授業は全て英語で行われ、授業内では英語による積極的なディスカッション参加が求められます。TOEICスコア600以上の学生さんの 履修を推奨します。英語で自身の意見を表現する、また、他者の意見を聞き取り、それに対する質問や意見の違いを述べるなど、実践的な英語運用能力を身につけるためには、しっかりとした準備が必要となりますが、間違いを恐れず、ディスカッションに活発に参加してください。授業は教科書に即して行われますので第2回 から毎週に必ず持参してください。また、このコース専用のノートブックが必要で、第1回から毎週に必ず持参してください。 盗用は禁止されています。また、オンライン/自動翻訳の使用も禁止されています。授業中スマートフォンの使用は禁止です。教員の許可なく使用していると、クラスから退席することになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	(授業計画は、授業を進める中で変更される事があります。) Introduction to the course 授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。 Gender and society Lesson A (Part 1)	【予習】 read the course syllabus シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 read & prepare your answers for 'Think and discuss' (p.1) & 'Exploring the theme' (p.2-3) 【復習】 シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確 認してください。 complete 'B' (p.5) & 'C' (p.5) , add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間

第2回	対面	Gender and society Lesson A (Part 2)	【予習】 read 'Note-taking' (p.6) complete 'A' (p.6) & 'B' (p.6) 【復習】 read 'Grammar' (p.9) complete 'A' (p.10), 'B' (p.10), 'C' (p.10), and 'D' (p.10), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第3回	対面	Gender and society Lesson A (Part 3)	【予習】 read p.11–13 【復習】 complete 'B' (p.15) & 'C' (p.15), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第4回	対面	Gender and society Lesson A and B	【予習】 read p.12 & p.13 【復習】 complete and review 'A' and 'B' (p.12), and 'A' and 'B' (p.13), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第5回	対面	Gender and society Lesson B (Part 1)	【予習】 read p.14–16, and p.204 【復習】 complete and review 'A' (p.14), 'B', 'C' and 'D' (p.15), 'A' and 'B' (p.16), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第6回	対面	Gender and society Lesson B (Part 2)	【予習】 read p.17–20 and p.204, and complete 'A' (p.20) 【復習】 complete and review 'A' & 'B' (p.18) 'A' (p.20), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第7回	対面	review of 'Gender and society', including quiz (listening, vocabulary, and grammar)	【予習】 prepare for 'Gender and society' quiz 【復習】 review corrected answers for 'Gender and society' quiz	4時間
第8回	対面	Reproducing life Lesson A (Part 1)	【予習】 read & prepare your answers for 'Think and discuss' (p.21) & 'Exploring the theme' (p.22–23) 【復習】 complete and review 'A' and 'B' (p.24), 'A', 'B', and 'C' (p.25), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第9回	対面	Reproducing life Lesson A (Part 2)	【予習】 read p.26–28 and p.209 【復習】 complete and review 'A', 'B', and 'C' (p.27), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第10回	対面	Reproducing life Lesson A (Part 3)	【予習】 read p.29–31 【復習】 complete and review 'A', and 'B' (p.30), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第11回	対面	Reproducing life Lesson A and B	【予習】 read p.32–33 【復習】 complete and review 'A', 'B' & 'C' (p.32), 'Collaboration' (p.33), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第12回	オンデマンド	「ラーニングポータルで」 Reproducing life Lesson B (Part 1)	【予習】 read p.34–35, and p.204 【復習】 complete and review 'A' & 'B' (p.34), 'A' & 'B' (p.35), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第13回	対面	Reproducing life Lesson B (Part 2)	【予習】 read p.36 & p.37 【復習】 complete and review 'After Listening' (p.37), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第14回	対面	Reproducing life Lesson B (Part 3)	【予習】 read p.36, p.38, & p.39 【復習】 complete and review 'A', & 'B' (p.38), 'C' & 'E' (p.39), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第15回	対面	review of 'Reproducing life', including quiz (listening, vocabulary, and grammar)	【予習】 prepare for 'Reproducing life' quiz 【復習】 review corrected answers for 'Reproducing life' quiz © Stephen Green, 2023	4時間

科目名	Advanced English Ⅳ＜Comprehensive English Ⅱ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	オコン・オーリック	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語教育の反転授業スタイルになります。この授業で学ぶべきことは、すべて宿題として出されます。授業は、ペアでの練習とフィードバックに充てます。		
授業の目的及び概要	授業へ出席することには主に2つの目的があります: 1: 先生や他の生徒に対して、宿題や英語一般に関する質問を尋ねるため 2. 宿題をする中で得られた知識を実際に使うため 生徒の授業における目標は、学習すること、また他の人達とお互い学習の手助けをしあうことです。教師の役割は、生徒の学習の手助けをすることです。 注意点:もし学習する意欲がなければ、教師は強制的に学習させることはできませんし、学習意欲のある人の学びの阻害をしてしまいます。学習意欲を持つようにしましょう。 加えて… ・これまで培ってきた基本的な語彙や文法の知識を活用し、簡単な英会話をすることができる。(知識) ・英語コミュニケーション能力向上のために積極的に参加できる。(態度・習慣) ・スピーキングに必要な語彙学習やその他の学習を授業外でも行うことができる。(態度・習慣) ・初出の単語や表現について辞書などで調べることができる。(技能)		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	このクラスは英語4技能の中でも特にスピーキングに特化した技能を育てることを目標としている。この科目は、獲得した知識や技能を活用し、国内外において、価値観や意見の異なるさまざまな人と議論し、学びを深め、協働して社会に役立てることができることを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	フィードバックは毎回の授業で行います。教師は、一人の生徒に直接、またはクラス全体に語りかけながら、生徒にフィードバックを与えます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストはLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし
参考書	参考書はLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	0	基準: ・提出が遅れたとしても、すべての宿題を出さなければなりあません。 ・罰則の規定があります。	

この科目の履修にあたって	全授業の70%以上に出席する必要があります。1セメスターに15時限の授業がある場合、11時限の授業に時間通りに出席する必要があります。つまり、4回は欠席を許されているということです。届出をしていても、欠席は欠席です。届出を行った上での欠席と、届出を行っていない欠席の違いは、届出をした場合は減点されないということです。もう一度言いますが、届出を行っているかどうかにかかわらず、5回欠席した場合は落第となります。授業は、どんなクラブ活動よりも大切です。例えば、野球をしなければならなかった、または体調がすぐれなかったという理由で5度この授業を欠席すれば、落第になります。もう一度言いますが、全授業の70%以上に出席しなければなりません。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間

第1回	対面	講師が生徒一人ひとりの一般的な英語力を確認します。 このクラスは通常、下記にある通りの型に沿って進みます。 1. あいさつ 2. 出席確認をしている間、ペアになっての練習 3. 技能のスピーキング・リスニングテスト 4. 宿題の進捗確認。生徒は宿題に関する質問に回答しなければなりません。この質問は通常、最低1時間の宿題が完了したかどうか、また何の宿題が完了したかについてです。 5. Q&A。生徒は宿題または英語一般に関する質問を先生に対して尋ねることができます。これは授業の最後の時間まで続く可能性もあります。 6. さまざまなアクティビティの、ペアになっての練習 --- 選択肢1 - 1人が先生役になり、その人が回答を見ることが許されます。 --- 選択肢2 - どちらの生徒もハンドアウトを見て構いません。 --- 選択肢3 - 会話の練習 7. 練習したものについてのプレゼンテーション	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第2回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第3回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第4回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第5回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第6回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第7回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第8回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第9回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第10回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第11回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第12回	対面	復習	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第13回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第14回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間
第15回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	4時間

科目名	Advanced English Ⅳ＜Comprehensive English Ⅱ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	グリーン・スティーブン	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	様々なトピックを英語で学んで、多様な活動(聞く、見る、話す、読む、書く)を通して、アカデミックスキルと英語スキルの両方を身に 付けることができます。		
授業の目的及び概要	この授業は全て英語で行われ、学生は「英語で内容(様々なトピックについて)を学ぶ」という活動を行います(「英語を学ぶ」と「英語で学ぶ」)。 従って、授業では英語のみが使われ、評価となる活動も、全て英語が使用されます。 この科目は専門知識・能力の高度化を図る科目です。この科目は論理的思考力や幅広い視野を育む科目です。 授業では、多様な分野(健康科学、人類学、社会学、地球科学、経済学、ビジネス等)の興味深いテーマに接しながら、リサーチやディスカッションを通して英語の総合的運用能力を高めることを目標とします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	達成目標は、The Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)のB1レベルです。CEFR ガイドラインによると、英語のB1レベルの人は: 1. 仕事、学校や遊びの場面で頻繁に経験する身近な事柄に関する明確で標準的な情報の要点を理解できる。 2. その言語が話される地域を旅行する間に起こり得るほとんどの状況に対応できる。 3. よく知っている話題や、個人的に興味がある話題に関して、単純な文を繋げることができる。 4. 経験、出来事、夢や希望、志について語り、自分の意見や計画に対する理由や説明を簡単に述べることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で質問への回答や説明をします。 授業内で継続的に行なわれるエクセサイズやクイズ、ディスカッションを行うなかで教員から講評を受けます。 学生により継続的に提出される教科書のワークやこのコース専用のノートブックは添削した上で返却します。 テストは、採点した上で、教員から講評を受けます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Pathways 3: Listening, Speaking, and Critical Thinking, First Edition (1st ed.), Becky Traver Chase, Kristin L. Johannsen, Cengage Learning, 2012年	ISBN	978-1-133-30763-1
参考書	参考書の指定は行いません。 必要な資料は適宜授業内で指示します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	15	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	65	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	コースの教科書とこのコース専用のノート ブック	

この科目の履修にあたって	This is a content-based instruction (CBI) course in English. Only English is used in class, and for assessment activities. 授業は全て英語で行われ、授業内では英語による積極的なディスカッション参加が求められます。TOEICスコア600以上の学生さんの 履修を推奨します。英語で自身の意見を表現する、また、他者の意見を聞き取り、それに対する質問や意見の違いを述べるなど、実践 的な英語運用能力を身につけるためには、しっかりとした準備が必要となりますが、間違いを恐れず、ディスカッションに活発に参加 してください。授業は教科書に即して行われますので第2回 から毎週に必ず持参してください。また、このコース専用のノートブック が必要で、第1回から毎週に必ず持参してください。 盗用は禁止されています。また、オンライン/自動翻訳の使用も禁止されています。授業中スマートフォンの使用は禁止です。教員の 許可なく使用していると、クラスから退席することになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	(授業計画は、授業を進める中で変更される事がありま す。) Introduction to the course 授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。 Human Migration Lesson A (Part 1)	【予習】 read the course syllabus シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 read & prepare your answers for 'Think and discuss' (p.41) & 'Exploring the theme' (p.42-43) 【復習】 シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確 認してください。 complete and review 'A', & 'B' (p.42) , add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第2回	対面	Human Migration Lesson A (Part 2)	【予習】 read p.44-47 【復習】 complete and review 'A', & 'B' (p.44) 'A', 'B', & 'C' (p.45), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間

第3回	対面	Human Migration Lesson A (Part 3)	【予習】 read p.48–51 【復習】 complete and review 'Grammar' & 'A' (p.48),'Grammar' & 'A' (p.49), 'A', & 'B' (p.51), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第4回	対面	Human Migration Lesson A & B	【予習】 read p.52–53, complete 'Before Viewing' (p.52) 【復習】 complete and review 'After Viewing' (p.53), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第5回	対面	Human Migration Lesson B (Part 1)	【予習】 read p.54–56, and p.214 【復習】 complete and review 'A' and 'B' (p.54), 'C' and 'D' (p.55), 'A' and 'B' (p.56), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第6回	対面	Human Migration Lesson B (Part 2)	【予習】 read p.57–59, and complete 'A' (p.58) 【復習】 complete and review 'B' (p.57), 'A' & 'B' (p.58), and 'B' & 'C' (p.59), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第7回	対面	review of 'Human Migration', including quiz (listening, vocabulary, and grammar)	【予習】 prepare for 'Human Migration' quiz 【復習】 review corrected answers for 'Human Migration' quiz	4時間
第8回	対面	Fascinating Planet Lesson A (Part 1)	【予習】 read & prepare your answers for 'Think and discuss' (p.61) & 'Exploring the theme' (p.62–63) 【復習】 complete and review p.61–63, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第9回	対面	Fascinating Planet Lesson A (Part 2)	【予習】 read p.64–66 【復習】 complete and review 'B' & 'C' (p.64), 'G' (p.65), and 'B' (p.66), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第10回	対面	Fascinating Planet Lesson A (Part 3)	【予習】 read p.67–71, and p.214–251 【復習】 complete and review 'A' (p.67), 'A' (p.68), 'B' (p.69), and 'C' (p.71), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第11回	対面	Fascinating Planet Lesson A & B	【予習】 read p.72 & p.73 【復習】 complete and review 'A' and 'B' (p.72), and 'C', 'B' & 'A' (p.73), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第12回	オンデマンド	「ラーニングポータルで」 Fascinating Planet Lesson B (Part 1)	【予習】 read p.74–75 【復習】 complete and review 'A' (p.74), 'B', 'C' & 'D' (p.75), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第13回	対面	Fascinating Planet Lesson B (Part 2)	【予習】 read p.76–77 【復習】 complete and review 'After Listening' (p.77), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第14回	対面	Fascinating Planet Lesson B (Part 3)	【予習】 read p.78–80 【復習】 complete and review 'A', 'B' &'C' (p.78), 'E' & 'F' (p.79), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第15回	対面	review of 'Fascinating Planet', including quiz (listening, vocabulary, and grammar)	【予習】 prepare for 'Fascinating Planet' quiz 【復習】 review corrected answers for 'Fascinating Planet' quiz © Stephen Green, 2023	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、鈴川　久美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①(一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生) TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分(通年)　ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年)ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分(通年)　ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年) ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	60	レビュークイズ:20% TOEIC®L＆R(TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果):40%	
この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する(カバンの中にしまった状態)。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、土居　雅永（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	
この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、市本　泰代（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、土居　雅永（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	
この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、鈴川　久美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①(一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生) TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分(通年)　ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年)ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年)ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分(通年)　ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング(通年)　ISBN 9784757426702 水2 クラス②(留学生クラス) Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1　クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点(通年) ISBN　9784757428096 水1/水2　クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問(通年) ISBN　9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル(通年)ISBN　9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	60	レビュークイズ:20% TOEIC®L＆R(TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果):40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する(カバンの中にしまった状態)。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、市本　泰代（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	
この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅳ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、尹　英海（補助講師）	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習（語学）
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	TOEIC或いはTOEFL学習素材を活用して英語力を強化し、コミュニケーションに必要な英語運用力の土台を作る。		
授業の目的及び概要	・TOEIC或いはTOEFLテスト形式の問題を解き、対策を学んで、スコアアップを図る。 ・一度解いた問題を活用して英語力を強化する自己学習法を実施する。 ・語彙力強化を目指して毎回語彙テストを実施する。 ・英語力に欠かせない文法力強化を目指して文法テキストを学習する。 ・本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・TOEIC或いはTOEFLテストで問われる国際コミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。 ・英語の効果的な自己学習法を体得し、今後自立した英語学習を継続できることを目標とする。 ・Exam Prep. Ⅲ/Ⅳでは、TOEIC L&Rで最低500点を目標とする。またTOEFLクラスについては、Listening/SWE/ReadingにおいてB1以上を目標とする。 ・習熟度別クラスを設定しているため、各クラスレベルに応じて獲得目標が設定される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 水2 クラス①（一般学生＋留学生クラス、交換留学を希望する学生） TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） 【別冊模試・音声DL付】TOEIC(R) L&Rテスト「直前」模試3回分 ISBN 9784757433540 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年）ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年）ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129	ISBN	TOEFLクラス 完全攻略！TOEFL ITP(R)テスト模試4回分（通年） ISBN 9784757426221 完全攻略！完全攻略TOEFL ITP(R)テストリーディング（通年） ISBN 9784757426702 水2 クラス②（留学生クラス） Building TOEIC L&R Test Skillsスキルアップ TOEIC L&R テスト ISBN 9784523179160 水1 クラス1・クラス2 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC (R)テスト 中学英文法で600点（通年） ISBN 9784757428096 水1/水2 クラス3・4・5 TOEIC(R) L&Rテスト 至高の模試600問（通年） ISBN 9784757428997 TOEIC(R) L&Rテスト ゼロからスコアが稼げるドリル（通年）ISBN 9784757430129
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	60	レビュークイズ：20% TOEIC®L＆R（TOEFLクラスはTOEIC或いはTOEFL試験結果）：40%	

この科目の履修にあたって	授業中は、携帯電話、スマートフォン及び通信機能を持つ機器のアプリ使用は、一切禁止する（カバンの中にしまった状態）。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要、計画、成績評価についての説明。テキストの内容、学習方法の説明、また一部使用テキストが習熟度により違うため指定教材を説明する。	事後学修: ・至高の模試TEST2を初回授業内で説明する3回チャレンジ法の受験1回目のやり方で、時間制限内で受験する	4時間
第2回	対面	TOEIC Part 1自己学習法実践、文法：品詞の見分け復習	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習	4時間
第3回	対面	語彙テスト①、TOEIC Part 1 自己学習法実践、文法:名詞、代名詞問題	事後学修: ・語彙のテスト指定範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part 1指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第4回	対面	語彙テスト②、TOEIC Part 2自己学習法実践、文法:動詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第5回	対面	語彙テスト③、TOEIC Part 2 自己学習法実践、文法：形容詞、副詞問題	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙復習、Part2指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第6回	対面	語彙テスト④、TOEIC Part 3 自己学習法実践、文法：前置詞、接続詞	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、文法テキスト復習	4時間
第7回	対面	語彙テスト⑤、TOEIC Part 3 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 3 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第8回	対面	語彙テスト⑥、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 5 文法問題強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 5 復習	4時間
第9回	対面	語彙テスト⑦、TOEIC Part 4 自己学習法実践、Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第10回	対面	語彙テスト⑧、リスニング全般強化、 Part 6/7 読解力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 6/7 復習	4時間
第11回	対面	語彙テスト⑨、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、リスニングセクション 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第12回	対面	語彙テスト⑩、リスニング力全般強化、Part 7 速読力強化	事後学修: ・語彙のテスト範囲学習、至高の模試テキストの授業でカバーした範囲の語彙学習、Part 4 指定の箇所を自己学習法で練習、Part 7 復習	4時間
第13回	オンデマンド	リスニングのまとめ	事後学修: ・TEST 2 リスニングセクション の総復習	4時間
第14回	対面	リーディングのまとめ、レビュークイズ	事後学修: ・TEST 2 リーディングセクションの総復習	4時間
第15回	対面	学習の総まとめ	事後学修: ・至高の模試TEST 2 の3回チャレンジ法の受験3回目のやり方で、制限時間内で受験する、間違えた問題を復習する	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅴ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、中桐　真由美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz:40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP):40	
この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要・課題説明 目標スコア到達に必要なTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2　疑問詞を使った疑問文	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 日常場面での会話	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・ツアー	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Listening Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 5 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Reading Part 7 広告・社内文書	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Reading Part 7 手紙・メール・チャット問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ対策	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	Reading Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅴ	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善、中桐　真由美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz：40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP)：40	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要・課題説明 目標スコア到達に必要なTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修： ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2　疑問詞を使った疑問文	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 日常場面での会話	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・ツアー	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Listening Section 総合演習	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 5 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Reading Part 7 広告・社内文書	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Reading Part 7 手紙・メール・チャット問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ対策	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	Reading Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅴ	開講年度	2023年度春学期
担当者	三戸　康世	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN 9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 ISBN 9784906033614	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN 9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7 ISBN 9784906033614
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz:40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP):40	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要・課題説明 目標スコア到達に必要なTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2 疑問詞を使った疑問文	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 日常場面での会話	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・ツアー	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Listening Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 5 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Reading Part 7 広告・社内文書	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Reading Part 7 手紙・メール・チャット問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ対策	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	Reading Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅴ	開講年度	2023年度春学期
担当者	三戸　康世	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz：40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP)：40	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要・課題説明 目標スコア到達に必要なTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修： ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2　疑問詞を使った疑問文	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 日常場面での会話	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・ツアー	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Listening Section 総合演習	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 5 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Reading Part 7 広告・社内文書	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Reading Part 7 手紙・メール・チャット問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ対策	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	Reading Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅴ	開講年度	2023年度春学期
担当者	鳥居　佳世	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7　ISBN　9784906033614
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz：40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP)：40	
この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要・課題説明 目標スコア到達に必要なTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修： ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2　疑問詞を使った疑問文	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 日常場面での会話	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・ツアー	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Listening Section 総合演習	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 5 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Reading Part 7 広告・社内文書	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	Reading Part 7 手紙・メール・チャット問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ対策	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	Reading Section 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅵ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、中桐　真由美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz：40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP)：40	
この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要の説明 目標スコア到達のためのTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修： ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2 疑問詞を使った疑問文	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 Conversation	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・スピーチ	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 7 広告・手紙・メール	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Part 7 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	弱点別課題演習(リスニング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	弱点別課題演習(リーディング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	本番形式総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅵ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善、中桐　真由美(補助講師)	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz：40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP)：40	
この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要の説明 目標スコア到達のためのTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修： ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2 疑問詞を使った疑問文	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 Conversation	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・スピーチ	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 7 広告・手紙・メール	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Part 7 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	弱点別課題演習(リスニング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	弱点別課題演習(リーディング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	本番形式総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅵ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	三戸　康世	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN 9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8 ISBN 9784906033638	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN 9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8 ISBN 9784906033638
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz:40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP):40	

この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要の説明 目標スコア到達のためのTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2 疑問詞を使った疑問文	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 Conversation	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・スピーチ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 7 広告・手紙・メール	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Part 7 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	弱点別課題演習(リスニング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	弱点別課題演習(リーディング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	本番形式総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. VI	開講年度	2023年度秋学期
担当者	三戸　康世	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. V/VIでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz:40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP):40	
この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要の説明 目標スコア到達のためのTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修: ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2 疑問詞を使った疑問文	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 Conversation	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・スピーチ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 7 広告・手紙・メール	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Part 7 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	弱点別課題演習(リスニング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	弱点別課題演習(リーディング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	本番形式総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Exam Prep. Ⅵ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	鳥居　佳世	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習(語学)
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語の4技能を鍛えることでTOEICスコアの向上を目指す。		
授業の目的及び概要	本科目は英語の4技能を総合的に鍛えることで、TOEIC®L＆Rのスコアの向上を目指す。授業ではTOEICスコア向上に必要な語彙の増強、品詞の習得、読解力及び聴解力の向上、更にはライティングやスピーキングといったアウトプットを実践することでTOEICスコアの飛躍的な向上を目指す。国際社会における就業力育成に必要不可欠なコミュニケーション能力を高める。クラス1・2については、本学担当教員の授業計画のもと、株式会社アルクの英語講師が授業を実施する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、ビジネス界における認知度が高く、社会人の英語運用能力の指標の一つに使われているTOEICの形式の問題を解きながら、日常生活で使用される英語及びビジネスシーンで使われる国際コミュニケーション力を高めることを目標とする。また受講者のTOEICスコアの向上を目指す。Exam Prep. Ⅴ/Ⅵでは、TOEIC L&Rスコア600を到達目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テストについてフィードバックをおこなう。課題、発表、総括テストについて、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	当該科目は習熟度別クラスであり、テキストについては第一回目の授業並びに教科書販売リストにおいて、各クラス別に指示する。 クラス1・2 【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 クラス3・4・5 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638	ISBN	【音声DL・全問解説動画付】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問(通年) ISBN　9784757433960 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8　ISBN 9784906033638
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	80	Quiz：40 総括テスト(各学期に実施されるTOEIC IP)：40	
この科目の履修にあたって	学習者の聴解力、読解力を身に付け、正確な英語表現を習得することでTOEICスコアの向上を目指します。大学卒業後のビジネス界で役に立つコミュニケーション力を身に付けます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要の説明 目標スコア到達のためのTOEIC学習法ガイダンス Vocabulary Test	事後学修： ・語彙、文法、読解、リスニングの予習(4時間程度)	4時間
第2回	対面	Listening Part 2 疑問詞を使った疑問文	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	Listening Part 3 Conversation	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第4回	対面	Listening Part 4 アナウンス・スピーチ	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第5回	対面	Reading Part 5 文法語彙語法問題	事後学修： 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間

第6回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第7回	対面	Reading Part 6 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第8回	対面	Reading Part 7 広告・手紙・メール	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第9回	対面	Reading Part 7 ダブルパッセージ・トリプルパッセージ	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第10回	対面	Part 7 総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4 時間程度)	4時間
第11回	対面	TOEIC Mini Quiz Feedback of the Quiz	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) 次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第12回	対面	弱点別課題演習(リスニング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第13回	オンデマンド	弱点別課題演習(リーディング編)	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(2時間程度) と次回授業の語彙、文法、読解、リスニングの予習(2時間程度)	4時間
第14回	対面	本番形式総合演習	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの総復習(4時間程度)	4時間
第15回	対面	TOEIC Mini Test Review	事後学修: 語彙、文法、読解、リスニングの復習(4時間程度)	4時間

科目名	Global Issues Ⅰ＜Readings for Global Issues Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	東條 加寿子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化が進む国際社会の諸問題を英語で理解・議論し、共存社会について考えます。		
授業の目的及び概要	この授業では、グローバル化が進む社会の諸問題について、テキストやメディア情報を英語で講読することを目的としています。国連が設定し世界中が注目している持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)を基軸として世界の諸課題を理解し議論することで、英語の4技能を向上させます。また、国際社会の一員としての問題意識を持ちながら諸問題を学ぶことによって、国際理解力、異文化理解力、国際感覚を養います。英語による運用能力の向上に加え、これからの共存社会を考え生き抜くための基本的な知識や問題意識を身に付けることで、様々な文化背景を持つ人々との英語による意思疎通能力を高めます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバル化の進展に伴う世界情勢の変化、課題、解決策を英語で理解し、議論し、自分の考えを発信することができる。グローバルな視野を持ち、世界が抱える課題について多様な視点を学修することで、幅広い視野を持つことができる。英語で世界の事象について読み、聞き、表現することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で行う活動や課題、および中間試験について講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①CLIL SDGs: Sustainable Development Goals(CLIL 英語で考えるSDGs一持続可能な開発目標)、笹島茂他、三修社、2021年	ISBN	①978-4-384-33504-0 C1082
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	25
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	25	その他(%)			

この科目の履修にあたって	グローバル化とは一体、何でしょうか。私たちの社会にどのような影響をもたらしているのでしょうか。国境を越えて地球規模で発生している諸問題について、情報を収集し、知識を獲得し、自分の考えをまとめることで、共存社会の中で自分はどのような行動をとればいいのかを考えていきましょう。十分に予習・復習をして授業に臨み、英語での読解、議論が自分のものになるように、積極的な取り組みを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Introduction to the course. Overview of the topics covered in the course. Reading "No Poverty/Zero Hunger"	"No Poverty/Zero Hunger" の語彙・読解予習	4時間
第2回	対面	Reading "No Poverty/Zero Hunger" and related activities	"No Poverty/Zero Hunger" の復習 "Good Health and Well-Being" の語彙・読解の予習	4時間
第3回	対面	Reading "Good Health and Well-Being"	"Good Health and Well-Being" の復習 "Good Health and Well-Being" の語彙・読解の予習	4時間
第4回	対面	Reading "Good Health and Well-Being" and related activities	"Good Health and Well-Being" の復習 "Quality Education" の語彙・読解予習	4時間
第5回	対面	Reading "Quality Education"	"Quality Education" の復習 "Quality Education" の語彙・読解予習	4時間
第6回	対面	Reading "Quality Education" and related activities	"Quality Education" の復習 Unit 1, 2 and 3 の総復習	4時間
第7回	オンデマンド	中間テストのための復習と解説 SDGsデータのプレゼンテーション資料(PPT)作成	中間テストのための復習とポイント解説 SDGsデータのプレゼンテーション資料の収集	4時間
第8回	対面	中間テスト "Gender Equality/ Reduced Inequalities" and related activities	中間テストのための復習 "Gender Equality/ Reduced Inequalities" の語彙・読解の予習	4時間
第9回	対面	Reading "Gender Equality/ Reduced Inequalities" Presentation	"Gender Equality/ Reduced Inequalities" の復習 "Gender Equality/ Reduced Inequalities" の語彙・読解の予習	4時間

第10回	対面	Reading "Clean Water and Sanitation" Presentation	"Clean Water and Sanitation"の復習 "Clean Water and Sanitation"の語彙・読解予習	4時間
第11回	対面	Reading "Clean Water and Sanitation" and related activities Presentation	"Clean Water and Sanitation" の復習 "Affordable and Clean Energy"の語彙・読解の予習	4時間
第12回	対面	Reading "Affordable and Clean Energy" Presentation	"Affordable and Clean Energy" の復習 "Affordable and Clean Energy" の語彙・読解の予習	4時間
第13回	対面	Reading "Affordable and Clean Energy" and related activities Presentation	"Affordable and Clean Energy" の復習 "Decent Work and Economic Growth" の語彙・読解の予習	4時間
第14回	対面	Reading "Decent Work and Economic Growth" Presentation	"Decent Work and Economic Growth" の語彙・読解の予習	4時間
第15回	対面	Reading "Decent Work and Economic Growth" and related activities Unit 4, 5, 6, 7の復習 春学期の総まとめ	"Decent Work and Economic Growth" の復習 Unit 4, 5, 6, 7の復習 春学期の総復習	4時間

科目名	Global Issues Ⅰ＜Readings for Global Issues Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化が進む国際社会の諸問題を英語で理解・議論し、共存社会について考える。		
授業の目的及び概要	この授業では、グローバル化が進む社会の諸問題について、テキストやメディア情報を英語で講読することを目的としています。国連が設定し世界中が注目している持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)を基軸として世界の諸課題を理解し議論することで、英語の4技能を向上させます。また、国際社会の一員としての問題意識を持ちながら諸問題を学ぶことによって、国際理解力、異文化理解力、国際感覚を養います。英語による運用能力の向上に加え、これからの共存社会を考え生き抜くための基本的な知識や背景、問題意識を身に付けることで、さまざまな問題において発展的に議論し活動できるようになり、海外におけるコミュニケーション能力が向上します。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバル化の進展に伴う世界情勢の変化、課題、解決策を英語で理解し、議論し、自分の考えを発信することができる。グローバルな視野を持ち、世界が抱える課題について多様な視点を学修することで、幅広い視野を持ちながら英語で世界の事象について話すことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で行う活動や課題、および中間・最終発表について講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	CLIL 英語で学ぶSDGsの基礎、笹島茂・高木由香里・工藤泰三・佐藤真久・Larry Joe・Curtis M. Revis Seubert、三修社、2022年	ISBN	9784384335125
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	50	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	20	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	グローバル化とは一体、何でしょうか。私たちの社会にどのような影響をもたらしているのでしょうか。国境を越えて地球規模で発生している諸問題について、情報を収集し、知識を獲得し、自分の考えをまとめることで、共存社会の中で自分はどのような行動をとればいいのかを考えていきましょう。十分に予習・復習をして授業に臨み、英語での読解、議論が自分のものになるように、積極的な取り組みを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション(授業の進め方や目標、扱うトピックの確認)	Unit 1: "Live together ともに生きる"の語彙・読解予習	4時間
第2回	対面	Unit 1: "Live together ともに生きる"の読解演習	Unit 1: "Live together ともに生きる"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習・復習	4時間
第3回	対面	Unit 1: "Live together ともに生きる"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 1: "Live together ともに生きる"におけるディスカッション内容の復習 Unit 2: "Create inclusive society ともに生きる社会を築く"の語彙・読解予習	4時間
第4回	対面	Unit 2: "Create inclusive society ともに生きる社会を築く"の読解演習	Unit 2: "Create inclusive society ともに生きる社会を築く"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間
第5回	対面	Unit 2: "Create inclusive society ともに生きる社会を築く"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 2: "Create inclusive society ともに生きる社会を築く"におけるディスカッション内容の復習 中間発表に向けた予習・準備	4時間
第6回	対面	中間発表の実施および講評	Unit 3: "Think about food problems 食問題を考える"の語彙・読解予習	4時間
第7回	対面	Unit 3: "Think about food problems 食問題を考える"の読解演習	Unit 3: "Think about food problems 食問題を考える"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間

第8回	対面	Unit 3: "Think about food problems 食問題を考える"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 3: "Think about food problems 食問題を考える"におけるディスカッション内容の復習 Unit 4: "Ensure quality education for all すべての人に質の高い教育を"の語彙・読解予習	4時間
第9回	対面	Unit 4: "Ensure quality education for all すべての人に質の高い教育を"の読解演習	Unit 4: "Ensure quality education for all すべての人に質の高い教育を"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間
第10回	対面	Unit 4: "Ensure quality education for all すべての人に質の高い教育を"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 4: "Ensure quality education for all すべての人に質の高い教育を"におけるディスカッション内容の復習 Unit 5: "Ensure clean water ans safe toilets きれいな水と安全なトイレを"の語彙・読解予習	4時間
第11回	対面	Unit 5: "Ensure clean water ans safe toilets きれいな水と安全なトイレを"の読解演習	Unit 5: "Ensure clean water ans safe toilets きれいな水と安全なトイレを"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間
第12回	対面	Unit 5: "Ensure clean water ans safe toilets きれいな水と安全なトイレを"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 5: "Ensure clean water ans safe toilets きれいな水と安全なトイレを"におけるディスカッション内容の復習 Unit 6: "Don't use plastic プラスチックを使わない"の語彙・読解予習	4時間
第13回	オンデマンド	Unit 6: "Don't use plastic プラスチックを使わない"の読解演習およびミニレポート作成	Unit 6: "Don't use plastic プラスチックを使わない"の復習 最終発表に向けた予習・準備	4時間
第14回	対面	最終発表の実施	Unit 7: "Protect all living things すべての生き物を守る"の語彙・読解予習	4時間
第15回	対面	最終発表の講評 Unit 7: "Protect all living things すべての生き物を守る"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 7 "Protect all living things すべての生き物を守る"におけるディスカッション内容の復習 Unit 1～Unit 7で扱ったトピックの総復習	4時間

科目名	Global Issues Ⅱ＜Readings for Global Issues Ⅱ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	東條　加寿子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化が進む国際社会の諸問題を英語で理解・議論し、共存社会について考えます。		
授業の目的及び概要	この授業では、「Reading for Global Issues I」に引き続き、グローバル化が進む社会の諸問題について、テキストやメディア情報を英語で講読することを目的としています。国連が設定し世界中が注目している持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Golds)を基軸として世界の諸課題を理解し議論することで、英語の4技能を向上させます。また、国際社会の一員としての問題意識を持ちながら諸問題を学ぶことによって、国際理解力、異文化理解力、国際感覚を養います。これからの共存社会を生き抜くための基本的な知識や問題意識を身に付けることで、様々な文化背景を持つ人々との英語による意思疎通能力を高めます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバル化の進展に伴う世界情勢の変化、課題、解決策を英語で理解し、議論し、自分の考えを発信することができる。グローバルな視野を持ち、世界が抱える課題について多様な視点を学修することで、幅広い視野を持つことができる。英語で世界の事象について話すことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で行う課題、中間テスト、プレゼンテーションについて講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①CLIL SDGs: Sustainable Development Goals(CLIL 英語で考えるSDGs一持続可能な開発目標)、笹島茂他、三修社、2021年	ISBN	①978-4-384-33504-0 C1082
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	25
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	25	その他(%)			

この科目の履修にあたって	グローバル化とは一体、何でしょうか。私たちの社会にどのような影響をもたらしているのでしょうか。国境を越えて地球規模で発生している諸問題について、情報を収集し、知識を獲得し、自分の考えをまとめることで、共存社会の中で自分はどのような行動をとればいいのかを考えていきましょう。十分に予習・復習をして授業に臨み、英語での読解、議論が自分のものになるように、積極的な取り組みを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Introduction to the course. Overview of the topics covered in the course. Reading "Industry, Innovation and Infrastructure"	"Industry, Innovation and Infrastructure"の復習 "Industry, Innovation and Infrastructure" の語彙・読解予習	4時間
第2回	対面	Reading "Industry, Innovation and Infrastructure"	"Industry, Innovation and Infrastructure" の復習 "Industry, Innovation and Infrastructure" の語彙・読解の予習	4時間
第3回	対面	Reading "Industry, Innovation and Infrastructure" and related activities	"Industry, Innovation and Infrastructure" の復習 "Sustainable Cities and Communities" の語彙・読解の予習	4時間
第4回	対面	Reading "Sustainable Cities and Communities"	"Sustainable Cities and Communities" の復習 "Sustainable Cities and Communities" の語彙・読解予習	4時間
第5回	対面	Reading "Sustainable Cities and Communities" and related activities	"Sustainable Cities and Communities" の復習 "Responsible Production and Consumption" の語彙・読解予習	4時間
第6回	対面	Reading "Responsible Production and Consumption"	"Responsible Production and Consumption" の復習 Unit 8, 9, 10 の総復習	4時間
第7回	オンデマンド	中間テストのための復習・ポイントの解説 SDGsデータのプレゼンテーション資料(PPT)の作成	中間テストのための復習 SDGsデータのプレゼンテーション資料の収集	4時間
第8回	対面	中間テスト Reading "Climate Action"	中間テストのための復習 "Climate Action" の復習 "Climate Action" の語彙・読解の予習	4時間

第9回	対面	Reading "Climate Action" and related activities Presentaion	"Climate Action" の復習 "Life below Water/ Life on Land"の語彙・読解の予習	4時間
第10回	対面	Reading "Life below Water/ Life on Land" Presentaion	"Life below Water/ Life on Land"の復習 "Life below Water/ Life on Land"の語彙・読解予習	4時間
第11回	対面	Reading "Life below Water/ Life on Land" and related activities Presentaion	"Life below Water/ Life on Land" の復習 "Peace, Justice and Strong Institution"の語彙・読解の予習	4時間
第12回	対面	Reading "Peace, Justice and Strong Institution" Presentaion	"Peace, Justice and Strong Institution" の復習 "Peace, Justice and Strong Institution" の語彙・読解の予習	4時間
第13回	対面	Reading "Peace, Justice and Strong Institution" and related activities Presentation	"Peace, Justice and Strong Institution" の復習	4時間
第14回	対面	Reading "Partnerships for the Goals" Presentation	Reading "Partnerships for the Goals" の語彙・読解の予習	4時間
第15回	対面	Reading "Partnerships for the Goals" and related activities Unit 11~14の復習 秋学期の総まとめ	Reading "Partnerships for the Goals"の復習 Unit 11~14の復習 秋学期の総復習	4時間

科目名	Global Issues Ⅱ＜Readings for Global Issues Ⅱ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中西　亮太	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化が進む国際社会の諸問題を英語で理解・議論し、共存社会について考える。		
授業の目的及び概要	この授業では、グローバル化が進む社会の諸問題について、テキストやメディア情報を英語で講読することを目的としています。国連が設定し世界中が注目している持続可能な開発目標であるSDGs（Sustainable Development Goals）を基軸として世界の諸課題を理解し議論することで、英語の4技能を向上させます。また、国際社会の一員としての問題意識を持ちながら諸問題を学ぶことによって、国際理解力、異文化理解力、国際感覚を養います。英語による運用能力の向上に加え、これからの共存社会を考え生き抜くための基本的な知識や背景、問題意識を身に付けることで、さまざまな問題において発展的に議論し活動できるようになり、海外におけるコミュニケーション能力が向上します。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバル化の進展に伴う世界情勢の変化、課題、解決策を英語で理解し、議論し、自分の考えを発信することができる。グローバルな視野を持ち、世界が抱える課題について多様な視点を学修することで、幅広い視野を持ちながら英語で世界の事象について話すことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で行う活動や課題、および中間・最終発表について講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	CLIL 英語で学ぶSDGsの基礎、笹島茂・高木由香里・工藤泰三・佐藤真久・Larry Joe・Curtis M. Revis Seubert、三修社、2022年	ISBN	9784384335125
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	50	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	20	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	グローバル化とは一体、何でしょうか。私たちの社会にどのような影響をもたらしているのでしょうか。国境を越えて地球規模で発生している諸問題について、情報を収集し、知識を獲得し、自分の考えをまとめることで、共存社会の中で自分はどのような行動をとればいいのかを考えていきましょう。十分に予習・復習をして授業に臨み、英語での読解、議論が自分のものになるように、積極的な取り組みを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション（授業の進め方や目標、扱うトピックの確認）	Unit 8: "Build sustainable cities and communities 災害に強くなる"の語彙・読解予習	4時間
第2回	対面	Unit 8: "Build sustainable cities and communities 災害に強くなる"の読解演習	Unit 8: "Build sustainable cities and communities 災害に強くなる"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習・復習	4時間
第3回	対面	Unit 8: "Build sustainable cities and communities 災害に強くなる"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 8: "Build sustainable cities and communities 災害に強くなる"におけるディスカッション内容の復習 Unit 9: "Secure electricity resources 電力を確保する"の語彙・読解予習	4時間
第4回	対面	Unit 9: "Secure electricity resources 電力を確保する"の読解演習	Unit 9: "Secure electricity resources 電力を確保する"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間
第5回	対面	Unit 9: "Secure electricity resources 電力を確保する"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 9: "Secure electricity resources 電力を確保する"におけるディスカッション内容の復習 中間発表に向けた予習・準備	4時間
第6回	対面	中間発表の実施および講評	Unit 10: "Promote good health and well-being 健康な生活を送る"の語彙・読解予習	4時間
第7回	対面	Unit 10: "Promote good health and well-being 健康な生活を送る"の読解演習	Unit 10: "Promote good health and well-being 健康な生活を送る"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間

第8回	対面	Unit 10: "Promote good health and well-being 健康な生活を送る"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 10: "Promote good health and well-being 健康な生活を送る"におけるディスカッション内容の復習 Unit 11: "Live in an againg society 高齢化社会を生きる"の語彙・読解予習	4時間
第9回	対面	Unit 11: "Live in an againg society 高齢化社会を生きる"の読解演習	Unit 11: "Live in an againg society 高齢化社会を生きる"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間
第10回	対面	Unit 11: "Live in an againg society 高齢化社会を生きる"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 11: "Live in an againg society 高齢化社会を生きる"におけるディスカッション内容の復習 Unit 12: "Promote our decent work 豊かな働き方をする"の語彙・読解予習	4時間
第11回	対面	Unit 12: "Promote our decent work 豊かな働き方をする"の読解演習	Unit 12: "Promote our decent work 豊かな働き方をする"の復習および当該トピックにおけるディスカッションに向けての予習	4時間
第12回	対面	Unit 12: "Promote our decent work 豊かな働き方をする"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 12: "Promote our decent work 豊かな働き方をする"におけるディスカッション内容の復習 Unit 13: "Live well during climate change 気候に優しい生活をする"の語彙・読解予習	4時間
第13回	オンデマンド	Unit 13: "Live well during climate change 気候に優しい生活をする"の読解演習およびミニレポート作成	Unit 13: "Live well during climate change 気候に優しい生活をする"の復習 最終発表に向けた予習・準備	4時間
第14回	対面	最終発表の実施	Unit 14: "End child labour 児童労働をやめる"の語彙・読解予習	4時間
第15回	対面	最終発表の講評 Unit 14: "End child labour 児童労働をやめる"の読解演習および当該トピックにおけるディスカッション	Unit 14: "End child labour 児童労働をやめる"におけるディスカッション内容の復習 Unit 8～Unit 14で扱ったトピックの総復習	4時間

科目名	Business Communication　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ハモンズ・ジョアンナ	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Acquire Business Skills for Professional Life		
授業の目的及び概要	この授業はビジネス分野に関係した情報のやり取りに対応できる英語運用能力の養成を目的とする。ビジネス英語に慣れ親しむことを通じ、業務に直結する実践的英語運用能力の向上を図る。具体的には、ビジネスパーソンとしての基礎的な会話(自己紹介、会食、挨拶)や、社外とのコミュニケーション(アポイントメント、電話連絡等)等のビジネスの現場で使用される表現や語彙を修得する。また、諸外国の慣習等、文化的側面も学び、ビジネスパートナーとスムーズなコミュニケーションがとれる能力を修得することを目指す。		
履修の条件・注意	Students will need to do the following things in this class. 1. Come to class on time 2. Do the classwork and class activities 3. Work in small groups as a team 4. Study business vocabulary for weekly vocabulary quizzes. 5. Prepare your presentations		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	The goals of this course are to improve the following points below. 1. Business English vocabulary 2. TOEIC score 3. Understanding international business situations 4. Giving presentations in English 5. Working as a team and communicating in Englis		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	Feedback will be given during class and after tests.		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Business Plus 2 – Preparing for the Workplace Margaret Helliwell Cambridge University Press 2014	ISBN	978-1-107-63764-1
参考書	None	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	Review Quiz 1:15% Review Quiz 2:15%	

この科目の履修にあたって	Let's enjoy learning English together in a way that will help you have a bright future in international business!
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Orientation	Getting to know you	2時間
第2回	対面	Unit 1-1	Welcoming a visitor	2時間
第3回	対面	Unit 1-2	Describing things	2時間
第4回	対面	Unit 2-1	Communicating at work	2時間
第5回	対面	Unit 2-2	Communication outside work	2時間
第6回	対面	Unit 3-1	Describing services	2時間
第7回	対面	Review / Review Quiz	Review of Units 1-3	1時間

第8回	対面	Unit 3-2	How to learn a foreign language.	2時間
第9回	対面	Unit 4-1	Radio commercials	2時間
第10回	対面	Unit 4-2	Advertising	2時間
第11回	対面	Unit 5-1	Personal achievements	2時間
第12回	対面	Unit 5-2	Successful people	2時間
第13回	対面	Presentation preparation	Presentation preparation	2時間
第14回	オンデマンド	Review / Presentations	Review of Units 4-6 / Presentations	2時間
第15回	対面	Mock TOEIC Exam	Final Test	1時間

科目名	Business Communication　I	開講年度	2023年度春学期
担当者	オコン・オーリック	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語教育の反転授業スタイルになります。この授業で学ぶべきことは、すべて宿題として出されます。授業は、ペアでの練習とフィードバックに充てます。		
授業の目的及び概要	授業へ出席することには主に2つの目的があります: 1: 先生や他の生徒に対して、宿題や英語一般に関する質問を尋ねるため 2. 宿題をする中で得られた知識を実際に使うため 生徒の授業における目標は、学習すること、また他の人達とお互い学習の手助けをしあうことです。教師の役割は、生徒の学習の手助けをすることです。 注意点:もし学習する意欲がなければ、教師は強制的に学習させることはできませんし、学習意欲のある人の学びの阻害をしてしまいます。学習意欲を持つようにしましょう。 加えて… ・これまで培ってきた基本的な語彙や文法の知識を活用し、簡単な英会話をすることができる。(知識) ・英語コミュニケーション能力向上のために積極的に参加できる。(態度・習慣) ・スピーキングに必要な語彙学習やその他の学習を授業外でも行うことができる。(態度・習慣) ・初出の単語や表現について辞書などで調べることができる。(技能)		
履修の条件・注意	Students will need to do the following things in this class. 1. Come to class on time 2. Do the classwork and class activities 3. Work in small groups as a team 4. Study business vocabulary for weekly vocabulary quizzes. 5. Prepare your presentations		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	このクラスは英語4技能の中でも特にスピーキングに特化した技能を育てることを目標としている。この科目は、獲得した知識や技能を活用し、国内外において、価値観や意見の異なるさまざまな人と議論し、学びを深め、協働して社会に役立てることができることを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	フィードバックは毎回の授業で行います。教師は、一人の生徒に直接、またはクラス全体に語りかけながら、生徒にフィードバックを与えます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストはLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし
参考書	参考書はLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	Final Quiz –Conducted in Class	

この科目の履修にあたって	全授業の70%以上に出席する必要があります。1セメスターに15時限の授業がある場合、11時限の授業に時間通りに出席する必要があります。つまり、4回は欠席を許されているということです。届出をしていても、欠席は欠席です。届出を行った上での欠席と、届出を行っていない欠席の違いは、届出をした場合は減点されないということです。もう一度言いますが、届出を行っているかどうかにかかわらず、5回欠席した場合は落第となります。授業は、どんなクラブ活動よりも大切です。例えば、野球をしなければならなかった、または体調がすぐれなかったという理由で5度この授業を欠席すれば、落第になります。もう一度言いますが、全授業の70%以上に出席しなければなりません。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間

第1回	対面	講師が生徒一人ひとりの一般的な英語力を確認します。 このクラスは通常、下記にある通りの型に沿って進みます。 1. あいさつ 2. 出席確認をしている間、ペアになっての練習 3. 技能のスピーキング・リスニングテスト 4. 宿題の進捗確認。生徒は宿題に関する質問に回答しなければなりません。この質問は通常、最低1時間の宿題が完了したかどうか、また何の宿題が完了したかについてです。 5. Q&A。生徒は宿題または英語一般に関する質問を先生に対して尋ねることができます。これは授業の最後の時間まで続く可能性もあります。 6. さまざまなアクティビティの、ペアになっての練習 --- 選択肢1 - 1人が先生役になり、その人が回答を見ることが許されます。 --- 選択肢2 - どちらの生徒もハンドアウトを見て構いません。 --- 選択肢3 - 会話の練習 7. 練習したものについてのプレゼンテーション	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第2回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第3回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第4回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第5回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第6回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第7回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第8回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第9回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第10回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第11回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第12回	対面	復習	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第13回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第14回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第15回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間

科目名	Business Communication Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ハモンズ・ジョアンナ	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Acquire Business Skills for Professional Life		
授業の目的及び概要	この授業はビジネス分野に関係した情報のやり取りに対応できる英語運用能力の養成を目的とする。ビジネス英語に慣れ親しむことを通じ、業務に直結する実践的英語運用能力の向上を図る。具体的には、ビジネスパーソンとしての基礎的な会話(自己紹介、会食、挨拶)や、社外とのコミュニケーション(アポイントメント、電話連絡等)等のビジネスの現場で使用される表現や語彙を修得する。また、諸外国の慣習等、文化的側面も学び、ビジネスパートナーとスムーズなコミュニケーションがとれる能力を修得することを目指す。		
履修の条件・注意	Students will need to do the following things in this class. 1. Come to class on time 2. Do the classwork and class activities 3. Work in small groups as a team 4. Study business vocabulary for weekly vocabulary quizzes. 5. Prepare your presentations		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	The goals of this course are to improve the following points below. 1. Business English vocabulary 2. TOEIC score 3. Understanding international business situations 4. Giving presentations in English 5. Working as a team and communicating in Englis		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	Feedback will be given during the class and after tests.		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Text: Business Plus 2 Edition: 2014 Authors: Margaret Helliwell Publisher: Cambridge	ISBN	978-1-107-63764-1
参考書	None	ISBN	None

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	15
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	15	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	Let's enjoy learning English together in a way that will help us to have bright futures in international business!
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Orientation	Getting to know you	2時間
第2回	対面	Unit 6-1	A company and its money	2時間
第3回	対面	Unit 6-2	In a bank	2時間
第4回	対面	Unit 7.1	Future of education	2時間
第5回	対面	Unit 7-2	Future trends	2時間
第6回	オンデマンド	Unit 8-1	Making complaints	2時間
第7回	対面	Review / Review Quiz 1	Review of Units 6-8	2時間

第8回	対面	Unit 8-2	Making complaints	2時間
第9回	対面	Unit 9-1	Social program	2時間
第10回	対面	Unit 9-2	Social program	2時間
第11回	対面	Unit 10-1	Meeting styles	2時間
第12回	対面	Unit 10-2	Organising a meeting	2時間
第13回	対面	Review / Presenations	Review / Presentations	2時間
第14回	対面	Review / Presentations	Review of Units 6-10 / Presentations	2時間
第15回	対面	Mock TOEIC Exam	Final Test	1時間

科目名	Business Communication Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	オコン・オーリック	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語教育の反転授業スタイルになります。この授業で学ぶべきことは、すべて宿題として出されます。授業は、ペアでの練習とフィードバックに充てます。		
授業の目的及び概要	授業へ出席することには主に2つの目的があります: 1: 先生や他の生徒に対して、宿題や英語一般に関する質問を尋ねるため 2. 宿題をする中で得られた知識を実際に使うため 生徒の授業における目標は、学習すること、また他の人達とお互い学習の手助けをしあうことです。教師の役割は、生徒の学習の手助けをすることです。 注意点:もし学習する意欲がなければ、教師は強制的に学習させることはできませんし、学習意欲のある人の学びの阻害をしてしまいます。学習意欲を持つようにしましょう。 加えて… ・これまで培ってきた基本的な語彙や文法の知識を活用し、簡単な英会話をすることができる。(知識) ・英語コミュニケーション能力向上のために積極的に参加できる。(態度・習慣) ・スピーキングに必要な語彙学習やその他の学習を授業外でも行うことができる。(態度・習慣) ・初出の単語や表現について辞書などで調べることができる。(技能)		
履修の条件・注意	Students will need to do the following things in this class. 1. Come to class on time 2. Do the classwork and class activities 3. Work in small groups as a team 4. Study business vocabulary for weekly vocabulary quizzes. 5. Prepare your presentations		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	このクラスは英語4技能の中でも特にスピーキングに特化した技能を育てることを目標としている。この科目は、獲得した知識や技能を活用し、国内外において、価値観や意見の異なるさまざまな人と議論し、学びを深め、協働して社会に役立てることができることを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	フィードバックは毎回の授業で行います。教師は、一人の生徒に直接、またはクラス全体に語りかけながら、生徒にフィードバックを与えます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストはLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし
参考書	参考書はLearning Portalで無料提供されます。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	0	基準: ・提出が遅れたとしても、すべての宿題を出さなければなりあません。 ・罰則の規定があります。	

この科目の履修にあたって	全授業の70%以上に出席する必要があります。1セメスターに15時限の授業がある場合、11時限の授業に時間通りに出席する必要があります。つまり、4回は欠席を許されているということです。届出をしていても、欠席は欠席です。届出を行った上での欠席と、届出を行っていない欠席の違いは、届出をした場合は減点されないということです。もう一度言いますが、届出を行っているかどうかにかかわらず、5回欠席した場合は落第となります。授業は、どんなクラブ活動よりも大切です。例えば、野球をしなければならなかった、または体調がすぐれなかったという理由で5度この授業を欠席すれば、落第になります。もう一度言いますが、全授業の70%以上に出席しなければなりません。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間

第1回	対面	講師が生徒一人ひとりの一般的な英語力を確認します。 このクラスは通常、下記にある通りの型に沿って進みます。 1. あいさつ 2. 出席確認をしている間、ペアになっての練習 3. 技能のスピーキング・リスニングテスト 4. 宿題の進捗確認。生徒は宿題に関する質問に回答しなければなりません。この質問は通常、最低1時間の宿題が完了したかどうか、また何の宿題が完了したかについてです。 5. Q&A。生徒は宿題または英語一般に関する質問を先生に対して尋ねることができます。これは授業の最後の時間まで続く可能性もあります。 6. さまざまなアクティビティの、ペアになっての練習 --- 選択肢1 - 1人が先生役になり、その人が回答を見ることが許されます。 --- 選択肢2 - どちらの生徒もハンドアウトを見て構いません。 --- 選択肢3 - 会話の練習 7. 練習したものについてのプレゼンテーション	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第2回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第3回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第4回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第5回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第6回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第7回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第8回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第9回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第10回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第11回	対面	授業中の活動は、生徒の英語力によって異なります。	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第12回	対面	復習	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第13回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第14回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間
第15回	対面	筆記試験 スピーキングテスト	毎回の授業の後、宿題に最低1.5時間かけてください。学習スピードが速ければ、60分で十分です。学習スピードが遅い場合は、90分以上は時間をかけましょう。学習スピードは遅くても問題ありませんが、追いつくようにすることが義務となることに注意しましょう。	1.5時間

科目名	English for Tourism＜観光英語＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	観光業務、旅行業務に必要な英語を身につけよう		
授業の目的及び概要	観光立国が日本における重要な成長戦略の柱とされ、様々な改革が行われる中、海外から来日する外国人の数も飛躍的に増加している。この授業は、海外からの観光客やゲストに対応する旅行・観光・航空・ホテル・飲食等のサービス業において業務にあたるための英語運用能力を身につけることを目標とする。一般的な英語運用能力に加え、業界専門用語や独特の言い回し等、プロフェッショナルかつ業務遂行に必要な英運用能語力を養成する。同時に日本の文化や観光について、造詣を深め英語で発信出来る能力を培う。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	旅行や観光における様々な場面で使われる独特な用語や表現を修得する。 具体的には、空港、ホテル、レストラン、公共交通機関、観光名勝、苦情／問題解決等で使われる実践的な「観光英語」を身につけ「観光・旅行業界で必要とされる英語」を修得する。また、将来、グローバルな場面で英語で接遇する際に必要となる英語を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	定期的に課題を出して、提出されたものを修正し、学生に返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	『English for Tourism 101 ーから学ぶ観光英語の基礎～日本から世界へ～』(2008)南雲堂	ISBN	ISBN 9784523177609
参考書	『Enjoy Your Trip! 旅英語の心得』(2019)南雲堂	ISBN	ISBN 9784523177838

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	担当教員の経験を基に豆知識を交えながら海外旅行に必要な英語表現と文化など基礎的知識を学び、積極的にコミュニケーションを図る態度を身につけます。海外旅行に行きたい人はもちろん、外国人に日本の観光案内をしたい人も履修してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス、自己紹介。 Unit 1 Japan (Hokkaido) 北海道の観光名所、名産品、観光業の英語の略語などを学習する。 Pair Work with Numbers	Unit 1 Japan (Hokkaido) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第2回	対面	Unit 2 Japan (Kyoto) 京都の観光名所、世界遺産、また日本の伝統文化について英語でどう表現するかを学習する。 Pair Work with Numbers	Unit 2 Japan (Kyoto) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第3回	対面	Unit 3 Japan (Yufuin) 日本の温泉、ホテル業務種類についての英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 3 Japan (Yufuin) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第4回	対面	Unit 5 ASEAN (Singapore) シンガポール、入国カードで必要となる英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 5 ASEAN (Singapore) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	Unit 6 ASEAN (Bali, Indonesia) インドネシア、バリとアジアの国々で必要となる英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 6 ASEAN (Bali, Indonesia) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	Unit 7 Oceania (Sydney, Australia) オーストラリアの観光名所で使用される英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 7 Oceania (Sydney, Australia) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第7回	対面	Unit 8 The Pacific Rim (Hawaii, the USA) ハワイの観光において必要となる英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 8 The Pacific Rim (Hawaii, the USA) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第8回	対面	Unit 9 Europe (London, the UK) ロンドンの観光名所で使用する英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 9 Europe (London, the UK) 語彙と表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第9回	対面	Unit 10 Europe (France) 観光大国、フランスの観光名所で必要な英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 10 Europe (France) 語彙と表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第10回	対面	Unit 11 Europe (Museums in Europe) ヨーロッパの美術館、芸術に関する英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 11 Europe (Museums in Europe) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第11回	対面	Unit 12 North America (New York, the USA) ニューヨークでのショービジネスの英語を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 12 North America (New York, the USA) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第12回	対面	Unit 13 North America (Boston, the USA) アメリカのスポーツ、歴史を学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 13 North America (Boston, the USA) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	Unit14 North America (Canada) カナダ観光の英語、宿泊施設について学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 14 North America (Canada) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	Unit 15 Latin America (Rio de Janeiro, Brazil) 中南米の観光名所、英語について学ぶ。 Pair Work with Numbers	Unit 15 Latin America (Rio de Janeiro, Brazil) 語彙、表現の予習。 今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を整理する。 与えられた課題に取り組む。	4時間
第15回	オンデマンド	第1回～第14回の授業の総復習を行う。	授業内容を復習し、理解を深める。	4時間

科目名	翻訳実践	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡村　徹	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	翻訳に不可欠な基本的英語力を養う。		
授業の目的及び概要	この授業は、翻訳の基礎概念を修得すると同時に、英語の読解力及び、日本語における表現力を高めることを目標とする。翻訳の基本として、正確な原文理解が必須となるが、実際には、原文を解釈する力だけでなく、高度な日本語運用能力と翻訳的思考が必要とされる。授業では、様々な英語を、それぞれの場面や状況に相応しい日本語に翻訳する能力を身につけることを目指す。また、具体的な翻訳作業の分析を通して、日本語と英語の根本的な発想・認識パターンの違いについて理解する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	話し言葉でも書き言葉でも、発信するのに必要な基本的言語能力を踏まえた上で、日英/英日翻訳の手順としての基本的英文を組み合わせて応用し、より自然な日本語/英語表現で発信できるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出された課題を添削して、返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	認知言語学的発想！英日翻訳の技術, 鍋島弘治朗, マイケル・ブルックス, くろしお出版, 2020年	ISBN	9784874248324
参考書	英語の論理・日本語の論理, 安藤貞雄, 大修館書店, 1986年	ISBN	4469240931

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	60	その他(%)		0	
この科目の履修にあたって	皆さんが知りたいこと、興味のあること、それを毎日コツコツと英文で読みましょう！							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	翻訳者になるために	・テキストpp.7-16に目を通しておく。 ・与えられた課題に取り組む。	4時間
第2回	対面	優れた翻訳とは	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.26-32を予習し、問題を解いておく。	4時間
第3回	対面	代名詞について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.37-42を予習し、問題を解いておく。	4時間
第4回	対面	数量詞について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.51-56を予習し、問題を解いておく。	4時間
第5回	対面	比較級と最上級について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.65-70を予習し、問題を解いておく。	4時間
第6回	対面	無生物主語 I について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.78-84を予習し、問題を解いておく。	4時間
第7回	対面	無生物主語 II について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.89-92を予習し、問題を解いておく。	4時間
第8回	対面	名詞句について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.100-102を予習し、問題を解いておく。	4時間

第9回	対面	順行訳について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.115-118を予習し、問題を解いておく。	4時間
第10回	対面	話法について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.126-128を予習し、問題を解いておく。	4時間
第11回	対面	レトリックについて考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.136-142を予習し、問題を解いておく。	4時間
第12回	対面	イディオムについて考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp.154-158を予習し、問題を解いておく。	4時間
第13回	対面	肯定表現と否定表現について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp. 167-170を予習し、問題を解いておく。	4時間
第14回	対面	「は」「が」構文について考えます。	・今回の授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・次回テキストpp. 178-181を予習し、問題を解いておく。	4時間
第15回	オンデマンド	オンデマンドで、「翻訳の深さ: もっと勉強したい人のために」について授業します。	・今学期の全ての授業内容を振り返り、授業中に取ったノート内容を参考に纏めて整理する。 ・今学期の全ての授業内容を振り返り、自分が強化すべき項目を確認して今後の課題とする。 ・返却された今学期全ての課題を見直し、今後取り組むべき課題を認識する。	4時間

科目名	コミュニケーション技法Ⅰ＜日本語コミュニケーション技法Ⅰ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	赤城　永里子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	的確にかつ効果的に自分の考えを伝えることができるようになろう		
授業の目的及び概要	本授業では、ビジネスや社会生活等、様々な場面に応じた日本語によるコミュニケーションを円滑に行うための技法を修得することを目的に、正確な語彙や、慣用句等を正しく使用する表現力を養成します。コミュニケーションは情報のやりとりを行ったり、人間関係を維持・構築する相互交流です。本科目では、主に情報のやりとりに着目し、自分の意見を適切に他者に伝えることができる能力とともに、相手を説得し、理解してもらえるように伝える能力を養成する。授業では、同じ伝達内容が、場面や立場により如何に変化するのか、どのように変化させる必要があるのか等を、具体的な事例や、ロールプレイを用いた能動的な手法により身につけます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目では、以下の4点を到達目標とします。 1. 情報を与える相手(の理解度)に配慮して話すことができる 2. 相手に伝わるように、話のまとまりを意識することの大切さに気付く 3. 自分の意見を説得力を持って明確に伝えることができる 4. プレゼンテーションの技術が、書くことにも応用できることを理解する		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業を受けて気づいたこと、学んだこと、疑問等ミニッツペーパーにで提出し、翌週の授業で講評や回答します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	教材は、教員が作成したPPTを中心に進め、受講生にはハンドアウトを配布します。ハンドアウトは教科書の代わりになりますので、必ずファイルなどを準備して、資料を紛失しないようにしてください。(ラーニングポータルにもアップします。)	ISBN	なし
参考書	授業中に参考になる資料(論文等)を適時配布します。 プレゼンテーション研究会(2015)『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング：伝える力を高める14ユニット』実教出版	ISBN	978440733743-3

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	自分の考えを的確にかつ効果的に伝える技術は、プレゼンテーションや就職活動等の面接で非常に役に立つ技術です。ぜひ身につけてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要説明、成績評価の説明 初対面の会話で自分をアピールする	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第2回	対面	初対面の会話からコミュニケーションを深める	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第3回	対面	自分の言いたい事を明確に伝える 相手の関心を引き、納得させることができる	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第4回	対面	言葉以外の方法で自分の伝えたいことを相手に訴える コミュニケーション時における自分の印象を変える	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間

第5回	対面	自由な発想でアイディアを生み出す 状況に応じて様々な発想方法を使いこなす	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第6回	対面	プレゼンテーションの骨組みを理解し、構成する 説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第7回	対面	自分の主張の正当性を裏付ける 主張の根拠を強化し、説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第8回	オンデマンド	文章をプレゼンテーションの発展形として捉えることができる プレゼンテーションの準備(PPT・原稿作成)をする	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：引き続きプレゼンテーションの準備をする。(120分)	4時間
第9回	対面	中間試験：今まで習った技法を使い、自分の専門分野に関連した内容をプレゼンテーションする 他者のプレゼンテーションを聞いて評価する ※中間試験としてプレゼンテーション(口頭発表)を実施します	事後学修：自分のプレゼンテーションに関して自己評価する。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第10回	対面	賛否が分かれる問題について自分の意見をまとめる 自分の意見を効果的に主張する	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第11回	対面	話のあらすじを面白く展開する 話のあらすじに臨場感を持たせる	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第12回	対面	抽象的な事物を具体的に説明する 論理的に物事を説明する	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(120分)	4時間
第13回	対面	特定の問題について、集団の中でそれぞれの立場から意見を交換して、解決策を導き出したり、新たな提案をおこなったりする	事後学修：授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(120分) 事前学習：第15回授業での発表に向けて準備する。(120分)	4時間
第14回	対面	日本語コミュニケーションⅠで学んだ知識を使って、論理的に話す課題をして短いプレゼンテーション(口頭発表)する	事前学習：第14・15回授業での発表に向けて準備する。(120分)	4時間
第15回	対面	日本語コミュニケーションⅠで学んだ知識を使って、論理的に話す課題をして短いプレゼンテーション(口頭発表)する	学期末レポートに取り組む(240分)	4時間

科目名	コミュニケーション技法Ⅱ＜日本語コミュニケーション技法Ⅱ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	赤城　永里子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	円滑な人間関係が築ける会話の仕組みを知ろう		
授業の目的及び概要	本授業では、ビジネスや社会生活等、様々な場面に応じた日本語によるコミュニケーションを円滑に行うための技法を修得することを目的に、正確な語彙や、慣用句等を正しく使用する表現力を養成します。コミュニケーションは情報のやりとりを行ったり、人間関係を維持・構築する相互交流です。春学期は、人間関係の維持・構築に着目して、日本文化と深く結びついた敬語や謙譲語およびあらゆる言語に通ずる普遍的なポライトネス(Politeness)の理論を知り、相手に応じて「丁寧に話す」ということについての理解を深めます。それにより、場面に応じ適切な表現を用いて、自らの思いを相手に伝えられる能力を養成します。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本授業では、以下の4点を到達目標とします。 1. あなたなりのコミュニケーションの定義を持つ 2. コミュニケーションに関わる要素を学修する 3. 日常の自分自身、周りの人の言語使用に興味を持つ 4. 良好な人間関係を維持・構築するための方法を学ぶ		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業後に、各回での学びや疑問点をミニッツペーパーに記入してもらい、翌週の授業で講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業では一定のテキストは使用せずに、随時、配布資料を活用します。	ISBN	なし
参考書	授業では一定の参考書は使用せずに、随時、配布資料を適時紹介します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	上手な話し手になるためには、自分自身の言語使用をいかに内省できるか、自分の発話に対する聞き手の反応をよく見ることが必要です。ぜひ、この機会に内省してみてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要、評価方法の説明	事前学習:コミュニケーションとは何か、自分なりに本などを用いて調べて考える。	2時間
第2回	対面	コミュニケーションのモデル、種類、本質的な特徴の説明 本科目でのコミュニケーションの定義	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第3回	対面	言語的要素(語彙の選択)が与える印象について知る。ジェンダーと言葉について知る。	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第4回	対面	非言語的要素が与える印象について考える	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第5回	対面	言語形式と文脈、言語の含みについて知る	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間

第6回	対面	言語形式＋文脈＝発話の意味の具体例を見てみる	学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第7回	オンデマンド	なぜコミュニケーションが成立するのか、発話の意図が解釈される方法をまとめる	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第8回	対面	敬語とは何なのか 敬語の体系(1) 相手との関係の認識	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第9回	対面	敬語とは何なのか 敬語の体系(2) 場の認識	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第10回	対面	ポライトネス理論についての説明(1)	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第11回	対面	ポライトネス理論についての説明(2)	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第12回	対面	ポライトネスと配慮表現についての説明	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第13回	対面	ポライトネスと配慮表現についての説明	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第14回	対面	言語文化の異なりによる差異について知る	事後学修:授業後に課す質問について、①授業での話をまとめる、②本などで調べて答える。(必要時間120分) 事前学習:次回授業に向けて課す質問について、①自分の日常の言語使用を振り返る、②本などで調べて答える。(必要時間120分)	4時間
第15回	対面	言語文化の異なりによる差異について知る 総括	学期中の講義を踏まえて定期試験(レポート)を作成する。	6時間

科目名	アカデミックライティング	開講年度	2023年度秋学期
担当者	浅見　緑	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	レポートや論文の構成を知り、大学での学修の集大成となる卒業論文が書けるようになろう。		
授業の目的及び概要	この授業は、論文作成に必要な学術的文章の特性を理解し、アカデミックな論述能力を向上させることを目標とする。授業では、まず、論文を書くということは、物事を合理的に考え、それを説得力ある言葉で表現することであることを理解し、その方法を具体的な例を示しながら考察する。その後、文章の形式・構成・論理展開の方法、的確な表現について理解を深め、論文執筆に取り組むために必要な文章作成能力を養成する。また、各自が作成した文章に対する自己点検や受講生相互の意見交換、教員の講評などを通して、推敲能力を向上させる。		
履修の条件・注意	「日本語文章表現Ⅰ・Ⅱ」を受講していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)学術的文章の特性を理解し、卒業論文や本格的なレポートの作成に取り組むことができる。 (2)物事を論理的かつ合理的に考える習慣を身に付け、説得力ある言葉で表現することができる。 (3)作成した文章を推敲し、より良い文章にすることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題に対して、授業時に教員が解説し、講評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	板書と配布資料を利用して、授業を進める。	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		
この科目の履修にあたって	大学生になって、これまで何らかのレポートを書いた経験があると思います。これまで書いたレポートをもとに、より本格的なレポートや論文にするには、何が必要か考えていきましょう。不十分な点に気づくことから、まず始めましょう。この授業を通じて、レポートや論文に取り組む面白さが味わえるようになることを期待しています。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の目的、進め方の説明 受講生の構成や人数により、授業内容や進め方については、変更を行うことがあります。	事前学習:次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする。	4時間
第2回	対面	あるテーマについて、結論(意見)の根拠として説得力のある説明を考え、グループ内で発表、ディスカッションを行う。	事後学修:授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習:次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第3回	対面	あるテーマについて、結論(意見)の根拠として説得力のある説明を考え、グループ内で発表、ディスカッションを行う。 段落構成に留意し、短く序論・本論・結論の構成の文章にまとめる。	事後学修:授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習:次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第4回	対面	学術文書で好まれる語彙の選択を学ぶ。	事後学修:授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習:次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第5回	対面	学術文書で好まれる語彙の選択を学ぶ。	事後学修:授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習:次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第6回	対面	論文のタイプ、構成を知る	事後学修:授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習:次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間

第7回	対面	テーマの絞り方を知る。自分の卒論のテーマを絞ってみる。	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第8回	対面	先行研究の探し方を知り、探してみる。	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第9回	対面	先行研究の役割を知り、まとめる。また、引用の仕方を学ぶ。	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第10回	対面	研究のテーマの問を立てる。 調査の方法について知り、調査を行う。	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第11回	対面	結論（意見）の根拠として説得力のある説明を考える。	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第12回	対面	あるテーマについて、結論（意見）の根拠として説得力のある説明を考え、語彙の選択、段落構成に留意し、序論・本論・結論の構成の文章にまとめる（1）	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第13回	対面	あるテーマについて、結論（意見）の根拠として説得力のある説明を考え、語彙の選択、段落構成に留意し、序論・本論・結論の構成の文章にまとめる（2）	事後学修：授業で扱った内容に関して、教員が課した課題をする 事前学習：次回で取り扱う内容に関して、教員が課した課題をする	4時間
第14回	対面	作例したレポートを、受講生、教員で合評する。	事後学修：合評を踏まえて、レポートを推敲する。	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ	レポート提出に向けて執筆を進める。	4時間

科目名	テクニカルライティング	開講年度	2023年度春学期
担当者	浅見　緑	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	社会人として必要になる文書を書く練習をしよう。		
授業の目的及び概要	この授業では、論理的に物事を考え文章を構成するという、社会で必要とされる能力を身につけることを目標とする。そのために、読み手に伝わり、説得力のある文書を書くための語彙や表現の選択、論理的展開や段落構成の技術を学修する。また、グループワークを通じて、協働する方法や姿勢を身につけると同時に、グローバルビジネスの場で起こりうる、非日本語母語話者との日本語に関連するトラブル等のケーススタディーを通し、異文化コミュニケーションや異文化理解の能力を育成する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	以下の5点を到達目標とする。 1. 社会に出てから必要な文書(ビジネス文書)の特徴を理解し、適切な文書の作成を心がけることができる。 2. 読み手に配慮した文書を作成することができる。 3. インターネットの特徴を理解して、ビジネスメールを作成することができる。 4. 社会に出てから求められる語彙力、表現力を身につけている。 5. 提案書や企画書の作成において、根拠のある資料と分析をもって、論を展開し、結論づける事ができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題については、授業時に学生間で合評したり教員から講評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①富士通エフ・オー・エム (2010)『よくわかる自信がつくビジネス文書』富士通オフィス機器 ②必要に応じて適宜プリントを配布	ISBN	978-4893118738
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		
この科目の履修にあたって	社会に出ると、いろいろな機会に様々な文書を書くことが求められます。仕事を始めてから社会人として必要になる文書について学修しましょう。文章作成の心構えや基本、思考法は、レポートや論文の作成に通じるものがあります。この授業での学修を通して、学生時代の文章作成での経験が社会に出て生かされるということを実感して、卒業論文やレポートの作成に取り組みましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス／ビジネス文書の基本 授業の目的、進め方等の説明を行う。 社会に出てから必要とされる文書の種類を理解する。 受講生の構成、人数により、授業内容や進め方は変更することがあります。	事後学修:シラバスの確認 事前学習:小テストの準備	4時間
第2回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②通知書・依頼書 実例をもとに、用件を明確に伝える文章について学修する。	事後学修:授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習:小テストの準備	4時間
第3回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②議事録 実例をもとに、会議の目的に応じた記録の作成について学修する。	事後学修:授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習:小テストの準備	4時間
第4回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②報告書 実例をもとに、報告の目的に応じた文書の作成について学修する。	事後学修:授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習:小テストの準備	4時間

第5回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②提案書 実例をもとに、現状の改善に向けた方向性を提案する文書の作成について学修する。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備	4時間
第6回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②企画書 実例をもとに、計画の実現に向けて具体的な方法を提案する文書の作成について学修する。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備	4時間
第7回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②提案・企画の発表準備 第12回～第14回のプレゼンテーションに向けて、個人またはグループで提案または企画のテーマや内容について意見交換し、準備計画をたてる。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備、プレゼンテーションの準備	4時間
第8回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②案内状・通知状 実例をもとに、社内と社外に発信する文書の違い、目的と役割について学修する。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備、プレゼンテーションの準備	4時間
第9回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②見積書・請求書 実例にもとに、正確さや説得力が求められる文書の作成について学修する。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備、プレゼンテーションの準備	4時間
第10回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②お礼状・お詫び状 実例をもとに、気持ちよい関係を築くための文書の作成について学修する。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備、プレゼンテーションの準備	4時間
第11回	対面	①小テスト 実例をもとに、説得力のある文書を書くために必要な語彙・表現の選択方法を学修する。 ②ビジネスメール 実例をもとに、インターネット上で行う手紙のやり取りの特徴や書き方のポイント、ルールとマナーについて学修する。	事後学修：授業内で学んだことに関する課題を完成させる 事前学習：小テストの準備、プレゼンテーションの準備	4時間
第12回	対面	①小テストの復習テスト これまでの小テストの復習テストを行う。 ②履修生による企画・提案の発表（1） プレゼンテーションを実施し、履修生と教員による合評を行う。	事後学修：プレゼンテーションの振り返りと企画書・提案書の作成準備 事前学習：これまでの小テストの復習テストの準備、プレゼンテーションの準備	4時間
第13回	対面	履修生による企画・提案の発表（2） プレゼンテーションを実施し、履修生と教員による合評を行う。	事後学修：プレゼンテーションの振り返りと企画書・提案書の作成準備 事前学習：これまでの小テストの準備	4時間
第14回	対面	履修生による企画・提案の発表（3） プレゼンテーションを実施し、履修生と教員による合評を行う。	事後学修：プレゼンテーションの振り返りと企画書・提案書の作成準備 事前学習：これまでの小テストの復習	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ ①小テストの復習再テスト ②授業全体の総括を行う。	事後学修：定期試験レポートの準備として、企画・提案のプレゼンテーション資料をもとに、各自で企画書・提案書を完成させる。	4時間

科目名	プレゼンテーション実践	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	石川　靖之	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	プレゼンテーション能力の養成		
授業の目的及び概要	この授業では、プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の使い方に加え、プレゼンテーションのコツを学び、実際にプレゼンテーション資料を作成することで、他者と差別化された効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	相手の記憶に残る効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	講義授業の翌週は前回の復習を行います。また、実践課題はラーニングポータルにアップしていただき、後日受講者にコメント等でフィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、リクルートで採用広告制作を5年、制作会社でイベントや各種広告・販促物・音楽の企画制作等で15年の勤務経験を経た後、自らの会社を起業。大手企業から行政、中小企業まで幅広いクライアントを対象に広告・マーケティング分野で30年以上の実務経験を有しており、現在も現役プランナーとして活動している。本科目では、これらの実務経験を活かして、具体的な事例を挙げながら、メディアと広告の関連性や機能、課題、今後の可能性について解説する。		
テキスト	指定しません。ラーニングポータルにアップする講義資料(パワーポイント等)を用いて行います。	**ISBN**	なし
参考書	一生使える 見やすい資料のデザイン入門,出版社 : インプレス ,発売日 : 2016/1/22	**ISBN**	9784844339632

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	50	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	「約束を守る」こと。これが社会人になってまず問われる能力です。授業を通して約束を守る習慣を身につけながら、いかに自ら積極的に行動できるかがポイントです。課題が多い授業のため、全授業の出席はもとより、受講者自身の積極的な参加と継続的な向上心が必要。単位取得のみの目的ではついてこれません。 また、PowerPointを使って自分プレゼンテーションを作成していただきますので、各自のPCを持参してください(PCを持っていない学生には大学から貸し出します)。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	●ガイダンス 教員自己紹介。授業の進め方・注意点について説明	事前:本授業で達成したい目標を決めておくこと(1.5時間程度) 事後:自分プレゼン内容を考えておくこと(1.5時間程度)	3時間
第2回	対面	●プレゼンとは? プレゼンとはいかに他者と違って、相手にとってプラスになることを伝えるか。 受講生全員に、自分プレゼンしていただきます。	事前:当日の授業で達成したい目標と自分プレゼン内容を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間
第3回	対面	●プレゼンテーションのコツ 人前で話すことが苦にならなくなる10個のポイントをお教えします。	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと。(3時間程度)	4時間
第4回	対面	●自分キャッチフレーズ制作 自分の強みを中心に自分キャッチフレーズを制作し、ラーニングポータルに提出していただきます。	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度)。 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと。発表課題作成(3時間程度)	4時間
第5回	対面	●自分キャッチフレーズ解説 提出された自分キャッチフレーズの発表・講評・解説をします。	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:授業で解説した内容を復習すること(2時間程度)	3時間
第6回	対面	●採用されるプレゼン資料の作り方 実際に採用されるプレゼン資料を作成するための5つのポイントをお教えします	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間

第7回	対面	●効果的なパワーポイントでのスライド作成技術① 作成手順／スライドマスター／使用フォント	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、授業で実施した方法を実際に操作できるようにしておくこと（3時間程度）	4時間
第8回	対面	●効果的なパワーポイントでのスライド作成技術② 作成手順／スライドマスター／使用フォント（続き）	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、授業で実施した方法を実際に操作できるようにしておくこと（3時間程度）	4時間
第9回	対面	●効果的なパワーポイントでのスライド作成技術③ レイアウト、画像、表紙	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと。授業中にできなかった課題は次週までの宿題（3時間程度）	4時間
第10回	対面	●効果的なパワーポイントでのスライド作成技術④ レイアウト、画像、表紙（続き）	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、授業で実施した方法を実際に操作できるようにしておくこと（3時間程度）	4時間
第11回	対面	●効果的なパワーポイントでのスライド作成技術⑤ グラフ、アニメーション、加工	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、授業で実施した方法を実際に操作できるようにしておくこと（4時間程度）	5時間
第12回	対面	●効果的なパワーポイントでのスライド作成技術⑥ グラフ、アニメーション、加工（続き）	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、授業で実施した方法を実際に操作できるようにしておくこと（4時間程度）	5時間
第13回	対面	●自分プレゼン（ワーク） これまで学んだことを使って、次週から始まる自分プレゼンテーションのためのスライド作成ワーク。ラーニングポータルにアップ。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：課題作成（5時間程度）	6時間
第14回	対面	●自分プレゼンテーション 提出されたパワーポイントについての発表・解説。 ※受講人数によりますが、全員発表を予定	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：解説を聞いて感じたことで、自分のプレゼンテーションの改善を考える（2時間程度）	3時間
第15回	オンデマンド	●総括 オンデマンド動画で、これまで授業で学んできたことのおさらいをします。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：授業全体で学んだことを復習すること（4時間程度）	5時間

科目名	比較文化論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	比較文化の視点を養う		
授業の目的及び概要	この授業では、日本文化と異文化の中から具体的な題材を取り上げ、それらの比較を通して、文化が個別的性格と普遍的性格を持つことを理解し、個別文化の価値を認識する力を養うことを目指します。従来の専門分野にとらわれず、比較という手法を用いながら、学際的・総合的な文化研究を目指していく考え方を身につけてもらい、国際社会で活躍するのに役立てます。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育みます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本と外国の諸事例をふまえて、他国文化と日本文化を比較し、グローバル時代における多様な文化のあり方とその価値に対する理解を深めることにより、他者尊重の態度を養い、「異文化を見る視点」を身につけることを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	『異文化理解力――相手と自分の真意がわかる ビジネスパーソン必須の教養』エリン・メイヤー著、英治出版、2015 ※ 授業の予習・復習、およびレポート作成の時に使用します。	ISBN	9784862762085
参考書	"The Culture Map: Decoding How People Think, Lead, and Get Things Done Across Cultures", Erin Mayer, Public Affairs, 2015 ※ これは教科書の英語版(原文)です。	ISBN	9781610392761

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	この科目のほか、国際学部開講の『異文化理解』も履修することを薦めます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	日本・外国における「コミュニケーション」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	日本・外国における「評価」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第3回	対面	日本・外国における「説得」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第4回	対面	日本・外国における「指導」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第5回	対面	日本・外国における「決定」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第6回	対面	日本・外国における「信用」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第7回	対面	日本・外国における「意見の違い」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第8回	対面	日本・外国における「予定」について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第9回	対面	トピック(1)演劇 日本の伝統芸能について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第10回	対面	トピック(1)演劇 イギリスや西洋の演劇について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第11回	対面	トピック(2)絵本 日本の絵本について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間

第12回	対面	トピック（2）絵本 イギリスや西洋の絵本について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第13回	対面	トピック（3）教育 日本の教育について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第14回	対面	トピック（3）教育 イギリスや西洋の教育について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間

科目名	多文化共生社会論	開講年度	2023年度春学期
担当者	梶村　美紀	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	多文化共生社会の基本的概念および現状を理解する。		
授業の目的及び概要	この授業では、①多文化共生論の基本的概念を正しく理解し、説明できるようになる、②事例を通じて、多文化共生社会の現状を理解する、③自らが多文化共生社会に置かれたときに、適切に振舞えるようになるための考え方を身につけることを目指す。事例として、日本社会に存在する外国人労働者、アイヌ民族、在日コリアン等の文化的マイノリティの状況とともに、世界に視野を広げ、先住民族、宗教的マイノリティ、移住労働者等の問題を取り上げ、これらの問題を解決する方法について検討する。		
履修の条件・注意	「異文化理解＜異文化理解Ⅰ＞」、「世界の宗教＜異文化理解Ⅱ＞」、「国際社会と法」を履修することが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	受講生は、多文化共生社会の基本的概念および現状を理解することにより、視野を広げ、自らが多文化共生社会に置かれたときに、適切に振舞えるようになるための考え方を身につけることを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	質問等について授業内にフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	ISBN	使用しない。
参考書	授業中に紹介する。	ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	国際学部開講の『異文化理解』および『異文化適応論』を履修していることが望ましい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	多文化共生社会論の履修にあたって、基本的な用語および考え方、世界的な潮流、学修する意義を理解する。	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第2回	対面	多文化化が進む日本の実情を学修する。	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第3回	対面	日本における多文化共生社会に関連する政策の変遷を学修する。	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第4回	対面	多文化共生社会を読み解くための基本的な理論を学修する。	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第5回	対面	2～4回目振り返り及び確認テスト	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第6回	対面	日本の多文化共生事例①関西地方	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第7回	対面	日本の多文化共生事例②中部地方	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第8回	対面	日本の多文化共生事例③関東地方	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第9回	対面	日本の多文化共生事例④東北地方	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間
第10回	対面	地方自治体と多文化共生	配布資料の予習および復習(3時間程度)	3時間

第11回	対面	1～10回目振り返り及び中間テスト	配布資料の予習および復習（3時間程度）	3時間
第12回	対面	各地の自治体における多文化共生	配布資料の予習および復習（3時間程度）	3時間
第13回	対面	コロナ禍と多文化共生	配布資料の予習および復習（3時間程度）	3時間
第14回	対面	諸外国における多文化共生	配布資料の予習および復習（3時間程度）	3時間
第15回	オンデマンド	授業総括	第1回～第14回授業配布資料の復習（3時間程度）	3時間

科目名	Japanese Culture	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本文化についての知識の修得		
授業の目的及び概要	この授業は英語のみで行われる。授業では、日本文化についての知識を修得することを目的とする。具体的には、授業を通して、現代の日本文化の基盤ともいえる、近世期の文化の理解を深めることを中心的な目標として設定したうえで説明・解説を行い、近世期を中心とする日本文化の特徴を英語で理解し、他者に発信する能力を修得する。さらに、世界から見た日本の文化の特徴を認識したうえ、それを認識するだけではなく、英語で伝えることができる英語力をも培うことを授業の目標のひとつとする。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、全て英語で行われ、① 現代の日本文化の基盤ともいえる、近世期(江戸時代)の文化の理解を深め、② 日本文化の特徴を英語で理解し外国人に発信する能力を修得する。日本の近世期は、「管理社会」ともいえる厳しい身分社会であったにもかかわらず、それでもきわめて洗練された、しかも活気のある文化をつくった。この時代の浮世絵や歌舞伎等が世界の芸術に大きな影響を及ぼしたことを理解する。この近世期の文化の豊かさを認識し、かつそれを英語で世界に伝えることができる英語運用能力を培う。一方、明治以降の日本文化にも注目して、比較を通じて近世期の日本文化が現在の日本文化とどう関わっているのか、あるいは異なっているのか、という理解を深める。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定しません。	ISBN	なし
参考書	①『大江戸見聞録』、江戸文化歴史検定協会・編、小学館、2006 ② "Japan: History and Culture from Classical to Cool", Nancy J. Stalker, University of California Press, 2018, 9780520287778	ISBN	① 9784096266014 ② 9780520287778

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	日本文化の理解を深めて、外国人と英語でディスカッションができる能力の養成が目標です。双方型教育の授業なので、気になる点や分からない点は、一々教員に質疑をする習慣を身につけましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	"Course Introduction: Kamigata and Edo" 近世期について考えるきっかけとして、近世の「上方」と「江戸」、それぞれの文化的・社会的・経済的な特徴について検討する。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第2回	対面	"People (1): The Townspeople" 身分社会のなかで、個人の将来はある程度、生まれた時点で定まっていた。しかし、当時の町人は一生懸命文化や学問に励んだ。非常に洗練された町人文化が生み出された背景として、町人文化の特徴について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第3回	対面	"People (2): The Warrior Class" 武士は近世社会の支配階級ではあったが、それでも大名レベルの裕福な武士と、下級武士との間の差が激しかった。戦争がない平和な時代に自己の「存在理由」をどう考えたかということも含め、武家の暮らしの特徴について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第4回	対面	People (3): The Shogun and the Daimyo Lords 徳川将軍は、事実上、国家の統治者であった。しかし、将軍の生活に焦点を合わせると、外国の統治者層の豪華な暮らしに比べて、将軍の日常は質素で、倹約的であった。このような点を踏まえ、将軍や大名の暮らしの特徴について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間

第5回	対面	"People (4): Women in Premodern Japan" 近世では、儒教の影響が強くなり、女性の権利と自由が束縛され、個性を見せる機会も非常に限られていた。「武家の女性」、「町人の女性」、「遊女」等のいくつかの生き方のパターンに焦点を合わせ、現代の社会への影響についても検討する。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第6回	対面	"People (5): Children in Premodern Japan" 義務教育がなかった時代とはいえ、「寺子屋」という教育機関が普及して、多くの庶民の子どもは読み書きができるようになった。その実態について学ぶ。また、江戸の子どもの遊びや玩具についても検討する。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第7回	対面	"Creativity (1): Ukiyoe Prints and Kusazoshi Picturebooks" フランスの印象派に大きな影響を及ぼした「浮世絵」、及び正月に刊行された「草双紙」(絵を主体とする読み物)の紹介を通して、近世人の創造性について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第8回	対面	"Creativity (2): The Kabuki Theatre" 歌舞伎は、単なる「劇」にとどまらず、老若男女を問わず皆の共通文化であり、現代のテレビのような存在であった。歌舞伎の人気俳優、有名な作品、興行等について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第9回	対面	"Creativity (3): The Joruri Puppet Theatre" 浄瑠璃(現代の文楽)は特に近世中期に盛んであり、歌舞伎よりも人気が高い時代(「浄瑠璃の黄金時代」)もあった。時代が下ると人形や三味線の技術も発達し、現代の文楽として観客を魅了し続ける。このような歴史を踏まえ、浄瑠璃の発達と完成について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第10回	対面	"Creativity (4): Dutch Studies in Japan" 蘭学は、ヨーロッパの科学・技術の学問で、徳川吉宗がこれを奨励した。緒方洪庵が大坂に開いた「適塾」は代表的な蘭学塾で、福沢諭吉等、多くの明治時代の思想家や政治家がここで学んだ。優秀な人材を世に出した理由について検討する。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第11回	対面	"Creativity (5): The Tokaido and its Culture" 東海道は、京都より太平洋に沿って東方に至る街道です。江戸時代における東海道の社会的・文化的な重要性と、東海道のロマンが生み出した浮世絵・出版物などについて学びます。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第12回	対面	"Heroes (1): The Scholar Sugawara no Michizane" 浄瑠璃の黄金時代の〈三大名作〉の一つ『菅原伝授手習鑑』に登場する菅原道真は、平安時代の政治家・文人・学者として名高いが、死後は「天神」として神格化した。「寺小屋」の神様として、庶民に親しまれた菅原道真の人物像について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第13回	対面	"Heroes (2): The Tragic Warrior Minamoto no Yoshitsune and Shizuka Gozen" 〈三大名作〉の一つ『義経千本桜』に登場する源義経は、日本の代表的なフォーク・ヒーローで、その伝説は『義経記』に記される。恋人の静御前も、能や浄瑠璃によく登場する白拍子である。義経に関する多くの浮世絵、草双紙、演劇作品等を通して、源義経と静御前の人物像について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第14回	対面	"Heroes (3): Oishi Kuranosuke, Leader of the Ako Ronin" 元禄期に起こった「赤穂浪士事件」は、ようやく平和になった徳川時代の日本の人に大きな衝撃を与え、当時の知識人は賛否両論であった。事件を描いた浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』等を通して、大石内蔵助と赤穂浪士の人物像について学ぶ。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の総括を行う。	授業後に、配ったレジュメと、自分が授業で取ったメモをしっかり読み、復習をすること。また、気になったトピックについて、図書館の参考書やインターネット等を活用し、更に積極的に調べること。	4時間

科目名	Multicultural Society＜Multiculturalism in Modern Society＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン 舞	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	多文化主義の基本的概念を深く考え、理解し、英語で説明できるようになる。		
授業の目的及び概要	多文化主義の基本的概念を理解し、英語で説明できるようになるとともに、事例を通じて多文化社会の現状と課題を考察することを目的とする。授業では、多文化主義を文化・経済・政治的側面から解説し、多文化の事例を紹介する。また、多文化社会における諸課題を考察するために、移民やマイノリティを取り巻く現状について調査し、種々の課題について英語で議論する。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育みます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①授業で取り上げる多文化主義の考え方や、授業で紹介する世界の多文化主義の概念や政策について英語で理解できるようになる。 ②多文化主義に関連する、人種、エスニシティ、マイノリティの基本的概念を英語で理解できるようになる。 ③多文化社会の実現に向けて何が必要で何が不足しているのかについて、議論することができる。 ④更に、多文化主義を文化・経済・政治的側面から理解することができる。 ⑤多文化社会の実現に向けて何が必要で何が不足しているのかについて、議論することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回、授業後にReflection Sheetを記入し提出。翌週の授業冒頭で共有する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	"Exploring Landscapes of Culture &Communication(英語で学ぶはじめての異文化コミュニケーション論)"(松柏社) Michael Ruddick, 他 著	ISBN	ISBN:978-4-88198-739-1
参考書	①『異文化コミュニケーション・ワークブック』, 八代京子、荒木晶子、樋口容視子、山本志都、コミサロフ喜美(著), 三修社, 2001年 ②『異文化間コミュニケーション入門』, 西田ひろ子(編), 創元社, 2000年 ③『日本人の異文化コミュニケーション』, 鍋倉健悦(著), 北樹出版, 1990年	ISBN	①9784384018516 ②9784422310220 ③9784893841483

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	10	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では、英語で多文化主義の諸概念を理解し、多文化社会の現状と課題を考察しながら現代の日本における多文化社会について考えます。国際化が進む日本で活躍できる人材、海外で活躍できる人材の育成を目指します。授業は教科書のとおり進めますが、担当教員の経験談や現代社会におけるさまざまな時事問題を取り上げ概説します。授業では多文化社会を多角的に考えられるよう見識を養うことを目的としています。そのため毎回必ず予習をしっかり行い、授業に参加してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション、自己紹介。 Unit 1 Essentialism ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit I 本文 (pp.4) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第2回	対面	Unit 2 Non-essentialism ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 2 本文 (pp.12) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第3回	対面	Unit 3 Socialization ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 3 本文 (pp.18) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第4回	対面	Unit 4 Cultural Identity ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 4 本文 (pp.24) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間

第5回	対面	Unit 5 Cultural Hybridity ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 5 本文 (pp.32) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第6回	対面	Unit 6 Stereotypes ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 6 本文 (pp.38~39) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第7回	対面	Unit 7 Representation ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 7 本文 (pp.46~47) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第8回	対面	Unit 8 Time and Culture ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 8 本文 (pp.52~53) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第9回	対面	Unit 9 Discourse ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 9 本文 (pp.58~59) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第10回	対面	Unit 10 Collectivism and Individualism ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit5 本文 (pp.66) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第11回	対面	Unit 11 Masculine and Feminine Culture ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 11 本文 (pp.72~73) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第12回	対面	Unit 12 High-context and Low-context Culture ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit6本文 (pp.78~79) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	Unit 13 Power-distance ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 13 本文 (pp.86~87) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第14回	オンデマンド	Unit 14 Globalization and Cultural Identity ①Warm-Up ②Vocabulary Building ③Reading ④Listening	事前学修:教科書 Unit 14 本文 (pp.92~93) 精読。語彙の予習。 事後学修:授業内で指示する課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	総括、ディスカッション。 授業内でクラスメイトとの意見交換を行い、多文化主義について自分の考えをレポートにまとめる。	第1～14回目の授業で学んだことを復習し、多文化主義について意見を述べられるよう準備をしておく。	4時間

科目名	International Migration	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多 善	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会における国際移民の潮流と課題を理論と事例から理解する。		
授業の目的及び概要	この授業は英語で行われます。この授業では、グローバル化に伴う人口移動の動向、移民と国民国家の問題、シティズンシップや文化、政治経済をめぐる移民の新潮流を理解することを目的とします。移民社会化の流れを、エスニシティの多様性、人種差別、多文化主義から読み解き、議論します。また、世界の移民社会について学修することで、グローバル社会で活躍するために必要な国際理解力、異文化理解力、国際感覚、英語運用能力を養います。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育みます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際移民の動向を英語で理解することを目標とします。具体的には、国際人口移動の動態、国際移民が社会にもたらす具体的変化を理解します。授業において使用する参考書、英文記事、PPTの資料を英語で理解し、国際移民に関する理論・政策・文化などの基礎知識を獲得します。授業の後半ではいくつかの課題について英語で議論します。これによって英語の4技能の向上が期待され、最終的には海外においてある事象について簡単な議論ができるだけの英語運用能力の修得を目指します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の確認テスト及びプレゼンテーションについてフィードバックをおこなう。またレビュークイズについて採点を行った後、各自へのフィードバックを実施する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書	"The Age of Migration: International Population Movements in the Modern World(6th Edition)" Hein de Haas, Stephen Castles 他, Red Globe Press	ISBN	978-1352007121

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国境を越える国際移民は、決して新しい現象ではありません。人類は貧困、紛争、環境悪化のために新たなチャンスを求めて過去2、3世紀の間、移動してきました。国際移民として活躍する研究者、技術者、労働者が世界中に拡散する一方、国家と国際移民、マジョリティと移民との間で今なお紛争や問題が生じています。この授業では、英語で国際移民の潮流を理解し、国際移民がおかれている社会環境の課題と可能性について議論します。専門的な内容を理解するためには、そのための事前事後学修が必要です。授業内で出された課題を学修し、授業内では、移民に関する議論に積極的に関わってください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業概要の説明。国際移民のイントロダクション。 第1回目テーマ「国際移民とは何か」 1. 国際移民とは何か。 2. 人が国境を越える要因は何か。 3. 或いは国境を越える要因は必要か。	事後課題:授業内で指定したテーマの配布資料 1. 国際移民とは何か。 2. 人が国境を越える要因は何か。 3. 或いは国境を越える要因は必要か。 の復習(2時間程度) 事後学修:次回扱うテーマの配布資料 1. グローバリゼーション:グローバル化と国際化の違い 2. 移民:グローバル移民か国際移民か 3. 地域別にみる国際移民の動態 の予習(2時間程度)	4時間
第2回	対面	第2回目テーマ「グローバル移民の挑戦」 1. グローバリゼーション:グローバル化と国際化の違い 2. 移民:グローバル移民か国際移民か 3. 地域別にみる国際移民の動態	事後課題:授業内で指定したテーマの配布資料 1. グローバリゼーション:グローバル化と国際化の違い 2. 移民:グローバル移民か国際移民か 3. 地域別にみる国際移民の動態 の復習(2時間程度) 事後学修:次回扱うテーマの配布資料 1. プッシュ・プル理論、そして新たな潮流 2. 送出国、受入国、そして第三の潮流(ディアスポラ) 3. ディアスポラとは何か の予習(2時間程度)	4時間

第3回	対面	第3回目テーマ「現代の移民」 1. プッシュ・プル理論、そして新たな潮流 2. 送出国、受入国、そして第三の潮流（ディアスポラ） 3. ディアスポラとは何か	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. プッシュ・プル理論、そして新たな潮流 2. 送出国、受入国、そして第三の潮流（ディアスポラ） 3. ディアスポラとは何か の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. 移民のグローバル化/加速化 2. 移民の多様化 2. 1 ジェンダー 2. 2 エスニシティ 2. 2 政治 の予習（2時間程度）	4時間
第4回	対面	第4回目テーマ「現代の移民：その一般的傾向」 1. 移民のグローバル化/加速化 2. 移民の多様化 2. 1 ジェンダー 2. 2 エスニシティ 2. 2 政治	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. 移民のグローバル化/加速化 2. 移民の多様化 2. 1 ジェンダー 2. 2 エスニシティ 2. 2 政治 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. 国際移民の規制問題：規制される移民 2. エスニシティの多様性：移民国への影響と課題 の予習（2時間程度）	4時間
第5回	対面	第5回目テーマ「エスニシティの多様性、人種差別、そして多文化主義」 1. 国際移民の規制問題：規制される移民 2. エスニシティの多様性：移民国への影響と課題	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. 国際移民の規制問題：規制される移民 2. エスニシティの多様性：移民国への影響と課題 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. 事例を通してみる人種差別とマイノリティ：アメリカの場合 2. 事例を通してみる人種差別とマイノリティ：日本の場合 の予習（2時間程度）	4時間
第6回	対面	第6回目テーマ「エスニシティの多様性、人種差別、そして多文化主義」 1. 事例を通してみる人種差別とマイノリティ：アメリカの場合 2. 事例を通してみる人種差別とマイノリティ：日本の場合	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. 事例を通してみる人種差別とマイノリティ：アメリカの場合 2. 事例を通してみる人種差別とマイノリティ：日本の場合 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. 人種差別とマイノリティ 2. 人種という暴力 3. マイノリティとシティズンシップ：国籍取得の諸課題 の予習（2時間程度）	4時間
第7回	対面	第7回目テーマ「エスニシティの多様性、人種差別、そして多文化主義」 1. 人種差別とマイノリティ 2. 人種という暴力 3. マイノリティとシティズンシップ：国籍取得の諸課題	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. 人種差別とマイノリティ 2. 人種という暴力 3. マイノリティとシティズンシップ：国籍取得の諸課題 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. 多文化主義とは何か 2. 自由主義と多文化主義 3. 多文化主義の事例：その特性と課題 の予習（2時間程度）	4時間
第8回	対面	確認テストの実施（第1～第7回） 第8回目テーマ「エスニシティの多様性、人種差別、そして多文化主義」 1. 多文化主義とは何か 2. 自由主義と多文化主義 3. 多文化主義の事例：その特性と課題	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. 多文化主義とは何か 2. 自由主義と多文化主義 3. 多文化主義の事例：その特性と課題 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 「国際移民の潮流、エスニシティ、多文化主義について復習とディスカッション」 の復習と準備（2時間程度）	4時間
第9回	対面	第9回目テーマ「国際移民の潮流、エスニシティ、多文化主義について復習とディスカッション」	事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. 国民と国家 2. トランスナショナリズム理論 3. シティズンシップ理論 の予習（4時間程度）	4時間
第10回	対面	第10回目テーマ「移民理論」 1. 国民と国家 2. トランスナショナリズム理論 3. シティズンシップ理論	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. 国民と国家 2. トランスナショナリズム理論 3. シティズンシップ理論 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. グローバルな移民の流れ 2. 西欧主要国内の移民マイノリティの人口：1950～1970 3. 2000年以降の動態 の予習（2時間程度）	4時間
第11回	対面	第11回目テーマ「1945年以降のヨーロッパへの移民」 1. グローバルな移民の流れ 2. 西欧主要国内の移民マイノリティの人口：1950～1970 3. 2000年以降の動態	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. グローバルな移民の流れ 2. 西欧主要国内の移民マイノリティの人口：1950～1970 3. 2000年以降の動態 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. グローバルな移民の流れ 2. 現代のエスニシティとマイノリティ：アメリカの場合 3. 現代のエスニシティとマイノリティ：カナダの場合 の予習（2時間程度）	4時間
第12回	対面	第12回目テーマ「南北アメリカへの移民」 1. グローバルな移民の流れ 2. 現代のエスニシティとマイノリティ：アメリカの場合 3. 現代のエスニシティとマイノリティ：カナダの場合	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. グローバルな移民の流れ 2. 現代のエスニシティとマイノリティ：アメリカの場合 3. 現代のエスニシティとマイノリティ：カナダの場合 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. グローバルな移民の流れ 2. アジアから西洋への移民の特徴 3. アジア内部での労働移民とその課題 の予習（2時間程度）	4時間
第13回	対面	第13回目テーマ「アジア太平洋地域への移民」 1. グローバルな移民の流れ 2. アジアから西洋への移民の特徴 3. アジア内部での労働移民とその課題	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. グローバルな移民の流れ 2. アジアから西洋への移民の特徴 3. アジア内部での労働移民とその課題 の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 1. マイノリティと受入社会 2. 新たなエスニック・マイノリティの形成 3. 日本におけるエスニック・マイノリティのコミュニティ の予習（2時間程度）	4時間

第14回	対面	第14回目テーマ「新たなエスニック・マイノリティが織りなす社会」 1. マイノリティと受入社会 2. 新たなエスニック・マイノリティの形成 3. 日本におけるエスニック・マイノリティのコミュニティ	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 1. マイノリティと受入社会 2. 新たなエスニック・マイノリティの形成 3. 日本におけるエスニック・マイノリティのコミュニティ の復習（2時間程度） 事後学修：次回扱うテーマの配布資料 「国際移民の潮流、理論、エスニシティ、地域について復習とディスカッション」 の復習と準備（2時間程度）	4時間
第15回	オンデマンド	第15回目テーマ「国際移民の潮流、理論、エスニシティ、地域について復習とディスカッション」の総括	事後課題：授業内で指定したテーマの配布資料 「国際移民の潮流、理論、エスニシティ、地域について復習とディスカッション」 の復習	4時間

科目名	観光資源論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	増本　貴士	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	本講義は、観光資源について、マクロ的に観光学の学理、ミクロ的にさまざまな観光地の歴史・文化、現状と発展可能性を事例として、マクロ・ミクロの両面から講義する。		
授業の目的及び概要	本講義は、観光資源を学理と事例から履修生が学べるようにし、かつ、コンテンツツーリズムやICTといった新しい観光の知見を持つことができるようにする。そして、「観光資源をどう活用し、どう観光客を誘致するか」に自分自身の回答を出せるようにする。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1.「観光資源を発見・活用する提案を学生チームで行うことができる」学力を身に付けること。 2. 様々な学理や事例から、自分自身の生活エリアでの観光資源を考察し、観光資源に関する基礎的知識を習得すること。 3. 資料や事実を基にした考察を文章表現し、自分自身のオリジナルレポートとして執筆できること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	1. グループディスカッションとプレゼンテーションの内容を授業中に講評します。 2. レポートの内容を授業中に講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	レジュメを配布する。	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	50	グループディスカッション、その解決提案のプレゼンテーション。左記2つの合計が25%、2回行って50%。	

この科目の履修にあたって	本講義は、①観光学や情報学等の諸学から「観光資源を考える基盤」、②コロナ禍で激変した観光関連産業の現状と発展可能性、の2つに大別する。その2つについて、マクロ的な観点から学理を説明し、ミクロ的な観点から各事例を説明する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回 「観光資源」を学ぶとは(オリエンテーション、ガイダンス) ○担当教員の自己紹介 ○授業の受け方の説明(特に、グループディスカッション、プレゼンテーション) ○授業内容の説明 ○単位認定の仕方の説明(レポート各10点×2、グループディスカッション及びプレゼンテーション各25点×2、定期試験30点)	復習:授業内容の振り返りを行う	4時間
第2回	対面	第2回　観光資源を考える基盤① ○観光とは、体験型観光とは	予習:google検索等で、観光とは・体験型観光とは何かについて調べておく 復習:授業内容の振り返り	4時間
第3回	対面	第3回　観光資源を考える基盤② ○コロナ禍でのオンラインツアーとは	予習:google検索等で、オンラインツアーとは何かについて調べておく 復習:授業内容の振り返り	4時間
第4回	対面	第4回　観光資源を考える基盤③ ○コンテンツツーリズムとは	予習:google検索等で、コンテンツツーリズムとは何かについて調べておく 復習:授業内容の振り返り	4時間
第5回	対面	第5回　観光資源を考える基盤④ ○地域で歴史・食文化のイベントを作る	予習:google検索等で、奈良県吉野町、経験経済について調べておく 復習:授業内容の振り返り	4時間
第6回	対面	第6回　観光資源を考える基盤⑤ ○マイクロツーリズムとは	予習:google検索等で、マイクロツーリズムとは何かについて調べておく 復習:授業内容の振り返り	4時間

第7回	対面	第7回　地域の観光資源を活かしたイベントの企画・実施 〇地域の観光資源を活かして、地域の人々が中心になってイベントを開催しようとしている。その現状を分析し、どう企画・開催していくかを考える	予習：google検索等で、奈良県吉野町のサブカルチャーイベントや夏祭を調べておく 復習：授業内容の振り返り・復習を行う	6時間
第8回	対面	第8回　地方自治体の広報に見る地域の観光資源 〇地方自治体は地域の観光資源を広報し、交流人口を増やそうとしている。その現状を考える	予習：自宅のある地方自治体がどんな観光資源を活かした広報をしているかを調べておく 復習：授業内容の振り返り・復習を行う	6時間
第9回	対面	第9回　地方自治体の取り組みが視察観光を呼び起こす 〇課題解決に挑戦する地方自治体の取り組みが視察観光を呼び起こす現状を説明し、その地域資源の有効性を考える	予習：青森市や富山市のコンパクトシティ、宮津市の副業人材の活用について、google検索で調べておく 復習：授業内容の振り返り・復習を行う	6時間
第10回	対面	第10回　中間レポートの講評・フォローアップ 〇中間レポートの講評を行う 〇情報を追加し、フォローアップを行う	予習：自分が執筆・提出した中間レポートを見直す 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、中間レポートの加筆・修正を行う	6時間
第11回	オンデマンド	第11回　グループディスカッションの準備 〇グループディスカッションのやり方、お題の解題の仕方（問題の構造化）、解決提案の作り方 〇グループディスカッションの採点側の採点基準を知る	予習：google検索等で「グループディスカッションのやり方」「問題の構造化」を調べておく 復習：グループディスカッションは単位認定の配点が大きく、就職活動にも必須なので、動画を繰り返し視聴して、主体的に取り組めるようにしておく	6時間
第12回	対面	第12回　グループディスカッション① 〇第1回目のグループディスカッションを行う 〇授業時間内に、チームでまとめた解決提案をリーダーが担当教員に紙で提出する	予習：前回のグループディスカッションのやり方等を見直しておく 復習：今回のグループディスカッションの内容を振り返り、解決提案の内容をプレゼンテーションできるようにしておく	6時間
第13回	対面	第13回　グループディスカッション①の講評とフォローアップ 〇前回行ったグループディスカッション①の講評を行う 〇情報を追加し、フォローアップを行う	予習：提出した解決提案のプレゼンテーションができるようにしておく 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、解決提案の加筆・修正を行う	6時間
第14回	対面	第14回　グループディスカッション② 〇第2回目のグループディスカッションを行う 〇授業時間内に、チームでまとめた解決提案をリーダーが担当教員に紙で提出する	予習：第1回目のグループディスカッションのやり方・解決提案等を見直しておく 復習：今回のグループディスカッションの内容を振り返り、解決提案の内容をプレゼンテーションできるようにしておく	6時間
第15回	対面	第15回　まとめ、グループディスカッション②の講評とフォローアップ 〇前回行ったグループディスカッション②の講評を行う 〇情報を追加し、フォローアップを行う 〇本授業のまとめを行う	予習：提出した解決提案のプレゼンテーションができるようにしておく 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、解決提案の加筆・修正を行う。また、これまでの授業内容を各自で振り返る	6時間

科目名	国際観光論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	宮﨑　友里	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際観光(インバウンドとアウトバウンド)の動向と観光政策、観光まちづくりの理論と手法を概観する。		
授業の目的及び概要	21世紀は人々の移動が地球規模で行われる。観光が世界経済の大きな柱となってきた為、「国際観光の時代」といわれている。超高齢化社会を迎える日本において「観光」は注目を集める成長産業である。特に2013年以降、インバウンド観光客の増加は驚異的とも言える。本授業は、アウトバウンドとインバウンドの国際観光の概念を把握し、特に、今後日本経済の牽引役への成長期待も大きいインバウンド観光による地域創造ついて学ぶ。そして、外国人観光客を魅了する観光まちづくりの理論と手法も概観する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1. 少子高齢化時代におけるインバウンド観光振興の重要性を説明できる。 2. 持続可能な観光(サスティナブル・ツーリズム)を追求し、地域を再生させている地域の観光形態を理解する。 3. 今後の日本におけるインバウンド観光政策として、「量から質へ」の転換を図るには、どのような視点が重要か説明ができる。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	質問への回答や補足説明をします。 優秀なコメントは、授業中に紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しません。	ISBN	特に指定しません。
参考書	講義内で、各トピックに応じた参考書を紹介します。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	担当教員が作成した国際観光論についての理解を深めるための様々な資料やパワーポイント資料を提示します。社会のグローバル化の波を受ける国際観光の状況に興味と関心を抱き、積極的に国際観光を学んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	イントロダクション:講義方式、成績評価などについて説明する。	事前学習:観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習:授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第2回	オンデマンド	世界における観光の歴史	事前学習:観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習:授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第3回	オンデマンド	国際観光客はどこへ向かうのか	事前学習:観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習:授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第4回	オンデマンド	国際観光客はどこからやって来るのか	事前学習:観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習:授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第5回	オンデマンド	観光産業を支えるホテル産業の歴史(1)	事前学習:観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習:授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第6回	オンデマンド	観光産業を支えるホテル産業の歴史(2)	事前学習:観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習:授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間

第7回	オンデマンド	観光産業を支える旅行代理店業の歴史（1）	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第8回	オンデマンド	観光産業を支えるホテル産業の歴史（2）	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第9回	オンデマンド	国際観光ケーススタディ①	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第10回	オンデマンド	観光の新しい役割：観光拡大の光と影	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第11回	オンデマンド	エコツーリズム（1）	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第12回	オンデマンド	エコツーリズム（2）	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第13回	オンデマンド	文化施設と観光（1）	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第14回	オンデマンド	文化施設と観光（2）	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間
第15回	オンデマンド	総括	事前学習：観光に関連する新聞記事やニュース等を確認しておくこと。 事後学習：授業内容と、事前学習の内容がどのように繋がっているのかを考え、説明できるようになること。	4時間

科目名	ホスピタリティ論	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	石井　里奈	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ホスピタリティを理解し、日常的に実践する力を身につける。		
授業の目的及び概要	ホスピタリティは、当初はホテル、旅行、飲食店などの観光業界で実践されてきた理念でしたが、徐々に、サービス業を中心にあらゆる業界で取り入れられてきています。ホスピタリティが目指すのは、良好な人間関係の構築と維持です。そして、心から相手のことを考えて行動することがホスピタリティの実践です。この授業ではホスピタリティを理解し、どのような考え方でどのような言動を身につけるべきか、事例をもとに考察し、グループワークやプレゼンテーションを行います。また、日常生活に取り入れられるマナーを実践します。就職活動において評価され、社会人となってからも職場や顧客からも信頼され、良好な人間関係が構築できることを目指します。ホスピタリティの概念がどのような場面で実践されているかについても、現役のゲストスピーカーを招き、質疑応答を通じて学ぶ機会を得ます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	ホスピタリティの重要性を理解し、1 人ひとりの個性や価値観の違いを受けとめて、敬い、ホスピタリティを実践する力を身につけます。他者との良好な人間関係を築くことができるコミュニケーションスキルを身につけ、今後の就職活動や社会活動にも活かせることを目指します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業毎に「気づきシート」を記入し提出します。このシートには毎回の授業についての自身の気づき、質問等を書きます。次回授業の冒頭で質問への回答や補足説明をします。また良い気づきについても紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しません。配布資料やPPTを用いて授業を行います。	**ISBN**	なし
参考書	授業時に適宜紹介します。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	10	**成果発表(口頭・実技)(%)**	10	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	授業ではホスピタリティを理論(ロジック)で理解するにとどまらず、実践(アクション)につなげていきます。 グループワークでは他者を受容し、積極的に自分の考えや経験を共有してください。またロールプレイングやプレゼンテーションにも前向きに取り組むことを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	・オリエンテーション 授業の概要や受講のルール、到達目標についてガイダンスを行います。	【予習】シラバスを事前に読んでおくこと。 【復習】シラバスとガイダンス資料を読み直し、授業への取り組み姿勢や目標を検討する。	1時間
第2回	対面	・ホスピタリティとは ホスピタリティの概念・定義を理解します。	【予習】ホスピタリティの言葉の意味、同じ語源の言葉を調べる。 【復習】配布資料に基づき復習をする。	4時間
第3回	対面	・自己理解と他者理解 自分の考え方のクセや他者との関わりについて考えます。 また、理想的な人との関わり方や自身の課題について理解します。	【予習】現状の自分のストロングポイント、ウイークポイントについて考えておく。 【復習】授業の内容をもとに振り返りを行う。	4時間
第4回	対面	・ホスピタリティを実践する基本行動① 日常で実践できる行動を考え、実践練習します。	【予習】日常実践しているホスピタリティを考える。 【復習】学んだことを実践する。配布資料を基に復習をする。	4時間
第5回	対面	・ホスピタリティを実践する基本行動② 必要となる様々な行動、気遣いについて考えます。	【予習】アルバイトなどで自分が実践しているサービスや気遣いをまとめる。 【復習】配布資料を基に振り返りを行い、改善点を考える。	4時間
第6回	対面	・ホスピタリティの歴史とおもてなしの心 海外のホスピタリティや日本のおもてなしについて学びます。	【予習】日本のおもてなしで印象に残った経験などを考える。 【復習】資料や紹介された参考図書をもとに学びを深める。	4時間
第7回	対面	・ホスピタリティとCS(顧客満足) ロイヤルティやクレームについて具体的に事例研究をします。	【予習】自分が経験したクレーム(アルバイトや顧客として)について原因を考えておく。 【復習】配布資料や参考文献を基に復習をする。	4時間

第8回	対面	・ホスピタリティ産業事例研究① 具体的な業界の特徴を理解します。	【予習】興味のあるホスピタリティ業界を調べてみる。 【復習】配布資料や参考文献を基に復習をする。	4時間
第9回	対面	・ホスピタリティ産業事例研究② 具体的な業界の特徴を理解します。	【予習】周囲の社会人にホスピタリティについてインタビューを実施してみる。 【復習】配布資料や参考文献を基に復習をする。	4時間
第10回	対面	・ゲストスピーカーからの学び ホスピタリティ産業で、現役で活躍するゲストスピーカーを招き、その実際についてのお話を聞きます。 また、グループで検討した質問をインタビューします。	【予習】事前に質問事項を検討する。 【復習】今回の授業の学びを振り返り、新たに興味をもったことについて調べる。	4時間
第11回	対面	・ユニバーサルサービスの基本 ユニバーサルサービスについて理解し、実践するために必要なことを考えます。	【予習】ユニバーサルサービスの具体例について調べる。 【復習】授業内容を復習し、日常で実践できることを考える。	4時間
第12回	対面	・チーム力で働く力 求められるチームワーク、チームで成しえるホスピタリティを理解します。	【予習】チームで成しえた経験を振り返り、考える。 【復習】チームワークに必要な資質や自身の役割を再考する。	5.5時間
第13回	対面	・ホスピタリティ産業・事例調査プレゼンテーション① グループでホスピタリティ産業について、またホスピタリティサービスの事例についてを調査し、発表します。	【予習】役割分担や進行方法を決め、プレゼンテーション資料を完成させる。プレゼンテーションの練習を行う。 【復習】プレゼンテーションの内容を見直し、まとめる。	5.5時間
第14回	対面	・ホスピタリティ産業・事例調査プレゼンテーション② グループでホスピタリティ産業について、またホスピタリティサービスの事例についてを調査し、発表します。	【予習】役割分担や進行方法を決め、プレゼンテーション資料を完成させる。プレゼンテーションの練習を行う。 【復習】プレゼンテーションの内容を見直し、まとめる。	4時間
第15回	オンデマンド	・これまでのまとめ 授業の総復習とポイントをまとめ、定期試験の準備も行います。	【予習・復習】これまでの授業を振り返り、ポイントをまとめておく。	4時間

科目名	航空実務	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中川　正秋	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化が進む航空業界のマーケット戦略と、その仕事の種類、実務内容を理解する		
授業の目的及び概要	この授業では、航空産業に関する基本的な知識を修得し、航空会社や空港における実務について理解することを目的とする。具体的には航空会社(キャビンアテンダント、グランドスタッフ、予約・発券、経営管理、マーケティング)及び空港関係(空港入管・税関・検疫、ケータリング等)における様々な実務内容について理解する。また担当教員の長年培った航空会社での実務経験を紹介し、航空会社の実務について理解を深める。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1) 航空輸送の発展と歴史、航空自由化後の航空会社の政策・戦略を理解する。 (2) 航空業界の様々な仕事について学び、それぞれの実務内容を理解する。 (3) 基本的な航空用語が理解できる。 (4) 航空業界の様々な仕事の実務を理解し、将来の進路選択に役立てる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	(1)プレゼンやレポートに対し, 適宜、改善点を指導する。 (2)授業毎の質問は授業中に解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、長年にわたり、各国の航空会社にて、営業課長や営業部長、執行役員等の役職を歴任し、エアライン・ビジネスに広く携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	テキスト:不要 担当教員が独自作成レジメを授業毎にラーニングポータルの教材に添付しますのでプリントアウトをして授業で使用すること。また参考資料(航空会社、IATA、JATA等の報告書、インターネット記事等)も適宜配布する。	ISBN	なし
参考書	参考書:以下参照 ①「航空産業入門」(株)ANA総研編集, 東洋新報社, 2008年 ②「エアライン/エアポート・ビジネス入門」高橋望・横見宗樹, 株式会社法律文化社, 2011年 ③「エアライン オペレーション入門」(株)ANA総合研究所, 株式会社ぎょうせい, 2015年 ④「国土交通白書」国土交通省 ⑤ IATA報告書 ⑥ JATA報告書 参考書:以下参照 1.「航空産業入門」(株)ANA総研編集 2.「エアラインオペレーション入門」株)ANA総研編集 2.「国土交通白書」国土交通省 3. IATA報告書 4. JATA報告書	ISBN	① 9784492761755 ② 9784589033376 ③ 9784324099698 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	近年の航空業界はグローバル化の発展と共に、世界の政治、経済の影響を受けやすいので、日頃から航空業界の動向に興味を持ち、主要新聞、航空業界のインターネット記事を注意深く読むことで理解を深めるようにする。 航空業界の様々な仕事の実務を理解することで、航空業界に興味を持ち、将来、多くの学生が航空業界に就かれることを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 講義目的、全講義内容、評価基準、授業に際しての注意事項について説明	【予習】航空業界の最近の話題になっているニュースをインターネットで調べてくる。 【復習】次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2.5時間
第2回	対面	世界の航空の歴史ー世界の航空産業の歴史、航空機の飛行方法と技術革新による進化	【予習】世界の航空機の歴史について、書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】世界の航空の歴史と航空機の進化を振り返り、航空業界の発展を復習する。	4時間
第3回	対面	グローバルアライアンスとローコストキャリア(LCC)の台頭	【予習】ワンワールドとスターアライアンスに加入しているのはどのような航空会社か。またどのようなLCCがあるのかを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】グローバルアライアンスに加入することによる航空会社と消費者のメリット。大手航空会社(FSC)に対抗するLCCの戦略を復習する。	4時間

第4回	対面	航空会社の予約・発券業務 (1) 都市・空港の3レター、航空会社2レターコード、国際線航空時刻表の見方、乗り継ぎ所要時間(MCT)等	【予習】日本・世界にある有名な空港と航空会社名を書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】航空会社の予約・発券業務の基礎知識を復習する。	4時間
第5回	対面	航空会社の予約・発券業務(2) 世界の航空会社予約システム、予約記録の作り方、国際線航空チケットの見方と発券、国際線航空運賃の仕組み、航空運賃の種類と計算の仕方、空港税及び燃油サーチャージ	【予習】JAL・ANAの国内線時刻表を見て、見方に慣れておく。 【復習】航空会社の予約の仕方、国際航空運賃の仕組みについて復習する。	4時間
第6回	対面	空港ーハブ＆スポークとハブ空港の役割、空港組織(入管、税関、検疫、機内食ケータリング会社等)	【予習】アジアのハブ空港はどこか、空港で働く組織は何かを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】ハブ空港の役割と空港組織について復習する。	4時間
第7回	対面	グランドスタッフ(1) 空港旅客サービスの業務　チェックイン～出発まで、クラス別地上サービス、特殊サービス、空港ラウンジ	【予習】グランドスタッフの業務内容について書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】グランドスタッフの業務内容について復習する。	4時間
第8回	対面	グランドスタッフ(2) 手荷物損失、クレーム処理、イレギュラー時の対応、ランプ作業	【予習】関西空港でグランドスタッフの業務を行っているのは何社あるのか会社名をインターネット等で調べてくる。 【復習】グランドスタッフの業務とランプ作業の内容について復習する。	4時間
第9回	対面	キャビンアテンダント(1)客室乗務員の業務内容、訓練の内容および採用	【予習】キャビンアテンダントの業務内容について書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】キャビンアテンダントの業務内容について復習する。	4時間
第10回	対面	キャビンアテンダント (2) 客室サービス、機内食の歴史、国際線機内食、クラス別機内食、機内食の種類、スペシャルミール等	【予習】どのような国内線・国際線機内食、クラス別機内食、機内食の種類、スペシャルミールがあるのか書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】キャビンアテンダントのサービスと様々な機内食について復習する。	4時間
第11回	対面	航空会社の戦略(1)航空会社のCSの重要性とブランド戦略	【予習】世界で有名な航空会社(LCCを含む)のブランド要素となる会社ロゴを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】航空会社がサービス、売上げを拡大するための、ブランド戦略、ネットワーク戦略、CRS戦略を復習する。	4時間
第12回	対面	航空会社の戦略 (2) ネットワーク戦略, CRS戦略とインターネットの拡大 (3)マイレージとデーターベースマーケッティング、FFPの仕組み	【予習】JAL・ANAのマイレージプログラムの特典を各社のHPで調べてくる。 【復習】マイレージプログラムの歴史と仕組みについて復習する。	4時間
第13回	対面	① 民間航空機の進化と国際政治—航空機の技術革新、航空機製造と国際政治 ② 航空業界の未来像ー ①グローバル時代の航空事業の多様化と未来像	【予習】世界で運航されている様々な民間航空機を書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】最新鋭の航空機販売と国際政治の関係について復習する。	4時間
第14回	対面	航空業界の未来像ー② 近隣アジアの緊密化、未来への望ましい方向性、航空業界とツーリズム (観光産業)の共存	【予習】アフターコロナの航空業界・旅行業界はどのように変わるのかを書籍や文献・インターネット等で調べて推測してくる。 【復習】コロナまでの航空業界を理解し、アフターコロナはどのように変わるのかを資料・データーを基に予測したことを復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	航空実務の総括ー1回～15回の授業内容の復習と質疑応答 期末試験の対策の説明	【予習】この授業の中での疑問点等、質問できるように準備してくる。 【復習】航空実務の総括の内容を復習する。	4時間

科目名	航空経済論	開講年度	2023年度春学期
担当者	中川　正秋	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル競争における世界の航空政策・航空各社の戦略		
授業の目的及び概要	この授業では、航空産業に関する基本的な知識修得を目的とする。航空業界は世界のグローバル化にともない著しく発展してきた。規制緩和後の航空自由化により、ローコストキャリア(LCC)の台頭が始まり、大手航空会社のグローバルアライアンス化が加速した民間航空の歴史に沿った授業をする。具体的には、航空事業と航空政策、空港、国際航空貨物、航空会社の経営と戦略について幅広く理解を深める。また担当教員の長年培った航空会社での実務経験を紹介し、Updateのマーケット動向や航空会社戦略についても考察する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)航空輸送の発展と歴史を理解し、未来像についても説明することができる。 (2)航空事業と航空政策についての基礎知識を習得する。 (3)グローバル競争における世界の航空会社の動向・戦略について理解する。 (4)JAL・ANAとローコストキャリア (LCC)の経営・戦略の違いについて理解する。 (5)航空企業研究の深堀りを行い、将来の進路選択に役立てる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	(1)プレゼンやレポートに対し，適宜、改善点を指導する。 (2)授業毎の質問は授業中に解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、長年にわたり、各国の航空会社にて、営業課長や営業部長、執行役員等の役職を歴任し、エアライン・ビジネスに広く携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	テキスト:不要 担当教員が独自作成レジメを授業毎にラーニングポータルの教材に添付しますのでプリントアウトをして授業で使用すること。また参考資料(航空会社、IATA、JATA等の報告書、インターネット記事等)も適宜配布する。	ISBN	なし
参考書	参考書:以下参照 ①「航空産業入門」(株)ANA総研編集，東洋新報社，2008年 ②「エアライン/エアポート・ビジネス入門」高橋望・横見宗樹，株式会社法律文化社，2011年 ③「国土交通白書」国土交通省 ④ IATA報告書 ⑤ JATA報告書	ISBN	① 9784492761755 ② 9784589033376 ③ なし ④ なし ⑤ なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	近年の航空業界はグローバル化の発展と共に、世界の政治、経済の影響を受けやすいので、日頃から航空業界の動向に興味を持ち、主要新聞、航空業界のインターネット記事を注意深く読むことで理解を深めるようにする。 世界の航空会社の動向・現状を理解することで航空業界に興味を持ち、将来、多くの学生が航空業界に就かれることを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 講義目的、全講義内容、評価基準、授業に際しての注意事項について説明	【予習】航空業界の最近の話題になっているニュースをインターネット等で調べてくる。 【復習】次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2.5時間
第2回	対面	航空の歴史―ライト兄弟によって始めて動力飛行機が飛んだ1903年から日本の航空自由化までの歴史	【予習】ライト兄弟から始まり、航空自由化までの航空の歴史について、書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】航空の歴史を振り返り、世界の航空会社の発展を復習する。	4時間
第3回	対面	航空事業と航空政策(1)国家戦略とナショナルフラッグ・キャリア、ICAO、IATA	【予習】世界で有名なナショナルフラッグ・キャリアを最低5社、書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】国家戦略としてのナショナルフラッグ・キャリアについて復習する。	4時間
第4回	対面	航空事業と航空政策(2)自由化の流れ、規制緩和とオープン政策	【予習】航空自由化による航空会社と消費者のメリットは何かを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】規制緩和をすることによってグローバル航空マーケットはどのように発展したかを復習する。	4時間
第5回	対面	アライアンス― グローバルアライアンスの誕生、発展、戦略	【予習】ワンワールドとスターアライアンスの加入航空会社を書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】グローバルアライアンスに加入することによる航空会社と消費者のメリットを復習する。	4時間

第6回	対面	ローコストキャリアの台頭― LCCの歴史と特徴	【予習】日本のローコストキャリア（LCC)と世界の有名なローコストキャリア5社を書籍や文献・インターネット等で調べて書き出してくる。 【復習】LCCのと既存大手航空会社(FSC)とのビジネスモデルの違いを復習する。	4時間
第7回	対面	空港ー日本の空港の現状と課題、ハブ＆スポーク、アジアのハブ空港戦争	【予習】日本の空港名、世界の空港名を書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】アジアのハブ空港と空港民営化による収益拡大について復習する。	4時間
第8回	対面	国際航空貨物―貨物輸送の特色、マーケット概況、AWBの説明	【予習】国際航空貨物について書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】世界経済のグローバル化、ボーダレス化の進展で需要拡大となる国際航空貨物マーケットについて復習する。	4時間
第9回	対面	航空安全と地球環境 (1) 航空保安対策、航空機の安全性を高めるシステム (2) 地球温暖化と航空会社の環境対策、今後の環境経営	【予習】航空機の安全性を高めるシステムは何か、地球温暖化で航空会社が実施していることは何かを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】テロから守る航空保安対策、航空機を安全に運航するための、最新安全運航システムと航空会社の実施している温暖化対策について復習する。	4時間
第10回	対面	航空会社の経営 (1) 航空運送業の特徴、航空旅行需要の特性、航空機の生産性、航空運送の費用	【予習】新型コロナの影響で世界の航空会社が経営危機となっているが、具体例を書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】航空機のオペレーションコスト、生産性を復習する。	4時間
第11回	対面	航空会社の経営 (2) CSの重要性、プライシングとレベニュー・マネージメント	【予習】自身が大阪ー札幌に旅行する場合、サービス・飛行時間を考慮し、いくらが適切な料金かをJAL・ANAのHPで調べてくる。 【復習】国際線運賃・国内線運賃の制度とプライシングの多様化、収益を上げるためのレベニュー・マネジメントについて復習する。	4時間
第12回	対面	航空会社の戦略 (1) ブランド戦略、ネットワーク戦略、CRS戦略とインターネットの拡大	【予習】世界で有名な航空会社（LCCを含む）のブランド要素となる会社ロゴを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】航空会社がサービス、売上げを拡大するための、ブランド戦略、ネットワーク戦略、CRS戦略を復習する。	4時間
第13回	対面	航空会社の戦略 (2) マイレージプログラム(FFP)の歴史、仕組みと特典、データーベースマーケッティング	【予習】JAL・ANAのマイレージプログラムの特典を各社のHPで調べてくる。 【復習】マイレージプログラムの歴史と仕組みについて復習する。	4時間
第14回	対面	航空業界の未来像ー航空機の進化、グローバル時代の航空事業の多様化、航空・観光業界の共存と未来像	【予習】アフターコロナの航空業界・旅行業界はどのように変わるのかを書籍や文献・インターネット等で調べてくる。 【復習】コロナまでの航空業界を理解し、アフターコロナはどのように変わるのかを資料データーを基に予測したことを復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	航空経済論の総括ー1回～15回の授業内容の復習と質疑応答 期末試験の対策について説明	【予習】この授業の中での疑問点等、質問できるように準備してくる。 【復習】航空経済論の総括の内容を復習する。	4時間

科目名	Tourism and World Heritages	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ハモンズ・ジョアンナ	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	人類が共有すべき遺産と観光との関連について認識を深め、貢献の可能性を考察する。		
授業の目的及び概要	この授業は英語のみで行われる。授業は、世界遺産について、その歴史・文化上の学術的意義とその保存管理に関する現状等を英語で理解することを目標とする。具体的には、世界遺産という制度の創設と理念を理解し、国内外で登録された世界遺産がいかに基準を満たし、登録されることとなったか、その経緯について学修する。また、それぞれの遺産が持つ固有の価値及び観光化されることによるメリット・デメリット等を明らかにし、未来に向けて価値を損なわない持続可能な観光資源としてのあり方について、様々な事例を取り上げて考察する。		
履修の条件・注意	授業は全て英語で行われる。TOEICスコア500以上が望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	英語を通して: 1)「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」を理解する。 2)世界遺産条約に登録された遺産はもとより、自らの身近な自然遺産や文化遺産にの重要性を認識し保全のための共働する姿勢を培う。 3)世界遺産と観光について、多様な側面を理解し、自らがそれらの課題克服と持続可能な発展に向けて、国際社会の一員として如何に関わる事ができるかを考察する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題については、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	None	ISBN	None
参考書	None	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	25	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	25
	【定期試験】レポート試験(%)	25	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	25	その他(%)			

この科目の履修にあたって	授業は全て英語で行われ、学生も授業内は英語のみを使用する。授業で与えられたテーマについてプレゼンテーションを行うには、十分な準備(調査、論点整理能力、予想される反対意見への対応等)が必要となる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Course guidance Introduction to Tourism.	Review Introduction to Tourism. Research UNESCO & World Heritage Convention.	2時間
第2回	対面	UNESCO & World Heritage Convention. Departures role play.	Review UNESCO & World Heritage Convention and role play. Research UNESCO & Advisory Bodies (	2時間
第3回	対面	UNESCO & Advisory Bodies (UNSCO, IUCN and ICOMOS). Arrivals role play.	Review UNESCO & Advisory Bodies (UNSCO, IUCN and ICOMOS) and role play.	2時間
第4回	対面	List of World Heritage Sites in Danger. Hotel role play.	Review List of World Heritage Sites in Danger and role play. Research COVID-19 & Tourism.	2時間
第5回	対面	COVID-19 & Tourism. Hotel role play.	Review COVID-19 and role play. Prepare for presentation practice.	2時間
第6回	対面	Presentation practice. Restaurant role play.	Review all material covered.	2時間
第7回	対面	Review & Review Quiz.	Review.	2時間
第8回	対面	Feedback on Review Quiz. Restaurant role play.	Research Indigenous Peoples and World Heritage.	2時間
第9回	対面	Indigenous Peoples and World Heritage. Transportation role play.	Review Indigenous Peoples and World Heritage and role play. Research Sustainable Tourism.	2時間

第10回	対面	Sustainable Tourism. Transportation role play.	Review Sustainable Tourism and role play. Research SDGs and Tourism.	2時間
第11回	対面	SDGs and Tourism. Sightseeing role play.	Review SDGs and Tourism and role play. Prepare for presentation practice.	2時間
第12回	対面	Presentation practice.	Prepare for presentation.	2時間
第13回	オンデマンド	Presentations	Review all material from week 8.	4時間
第14回	対面	Review Quiz.	Review.	2時間
第15回	対面	Feedback on Review Quiz.	Summary of the course	1時間

科目名	現代中国事情	開講年度	2023年度秋学期
担当者	池上　寛	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	歴史、政治、経済から見た中台関係		
授業の目的及び概要	この授業では、中国(中華人民共和国)と台湾(中華民国)の関係について、歴史、政治および経済などの面から学習する。中国は台湾を不可侵の自国領土としている一方、台湾には中華民国という国が存在している。このような状況がどうして生まれたかを第2次大戦後に起きた国共内戦から最近の状況まで、歴史、政治、経済の面から取り上げる。 2022年に起きたウクライナ侵攻によって、中国が台湾を侵攻するのではないか、あるいは台湾海峡危機などの言葉が新聞やテレビなどで話題になっています。これを理解するためには、中台の歴史を知ることが必要である。本講義では台湾の歴史を取り上げつつ、中国との関係を概観し、今につながる中台関係について検討する。なお、授業への理解度に合わせて、適宜内容を調整する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・台湾という島の歴史を概観し、理解すること ・戦後の中国や台湾について、とくにこの50年間の動きについて理解すること ・中台関係の状況について理解し、分析すること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・コメントカードに講義に対する質問を募集し、次週以降にフィードバックする ・ここに記載した参考書以外の資料、文献を紹介する		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しない	ISBN	なし
参考書	遠流台湾館 (著), 呉 密察 (監修), 横澤 泰夫(日本語版編訳) (翻訳)『台湾史小事典(第3版)』中国書店 松田康博・清水麗編著(2018)『現代台湾の政治経済と中台関係』晃洋書房	ISBN	978-4903316529 978-4771029880

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	可能であれば、中国の近現代(日清戦争(1894年)から現在)について大まかな動きを予め学習すること 台湾については世界史で授業で取り上げられることも少ないと思うが、興味を持って授業に参加すること
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の概要や目的、成績評価などについて説明する。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第2回	対面	台湾の歴史(下関条約まで)	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第3回	対面	日中戦争と第2次国共合作	第2次国共内戦と台湾	4時間
第4回	対面	台湾の帰属問題を考える	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第5回	対面	国際連合常任理事国の地位と中国	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第6回	オンデマンド	前半部分のまとめ:政治対立する中台関係(1945年から1972年)を考える	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

第7回	対面	李登輝政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第8回	対面	李登輝政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第9回	対面	陳水扁政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第10回	対面	陳水扁政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第11回	対面	馬英九政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第12回	対面	馬英九政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第13回	対面	蔡英文政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第14回	対面	蔡英文政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第15回	対面	まとめと今後の中台関係	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

科目名	現代中国事情	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	池上　寛	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	歴史、政治、経済から見た中台関係		
授業の目的及び概要	この授業では、中国(中華人民共和国)と台湾(中華民国)の関係について、歴史、政治および経済などの面から学習する。中国は台湾を不可侵の自国領土としている一方、台湾には中華民国という国が存在している。このような状況がどうして生まれたかを第2次大戦後に起きた国共内戦から最近の状況まで、歴史、政治、経済の面から取り上げる。 2022年に起きたウクライナ侵攻によって、中国が台湾を侵攻するのではないか、あるいは台湾海峡危機などの言葉が新聞やテレビなどで話題になっています。これを理解するためには、中台の歴史を知ることが必要である。本講義では台湾の歴史を取り上げつつ、中国との関係を概観し、今につながる中台関係について検討する。なお、授業への理解度に合わせて、適宜内容を調整する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・台湾という島の歴史を概観し、理解すること ・戦後の中国や台湾について、とくにこの50年間の動きについて理解すること ・中台関係の状況について理解し、分析すること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・コメントカードに講義に対する質問を募集し、次週以降にフィードバックする ・ここに記載した参考書以外の資料、文献を紹介する		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しない	**ISBN**	なし
参考書	遠流台湾館 (著), 呉 密察 (監修), 横澤 泰夫(日本語版編訳) (翻訳)『台湾史小事典(第3版)』中国書店 松田康博・清水麗編著(2018)『現代台湾の政治経済と中台関係』晃洋書房	**ISBN**	978-4903316529 978-4771029880

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	可能であれば、中国の近現代(日清戦争(1894年)から現在)について大まかな動きを予め学習すること 台湾については世界史で授業で取り上げられることも少ないと思うが、興味を持って授業に参加すること
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の概要や目的、成績評価などについて説明する。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第2回	対面	台湾の歴史(下関条約まで)	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第3回	対面	日中戦争と第2次国共合作	第2次国共内戦と台湾	4時間
第4回	対面	台湾の帰属問題を考える	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第5回	対面	国際連合常任理事国の地位と中国	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第6回	オンデマンド	前半部分のまとめ:政治対立する中台関係(1945年から1972年)を考える	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

第7回	対面	李登輝政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第8回	対面	李登輝政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第9回	対面	陳水扁政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第10回	対面	陳水扁政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第11回	対面	馬英九政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第12回	対面	馬英九政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第13回	対面	蔡英文政権下での中台関係（1）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第14回	対面	蔡英文政権下での中台関係（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第15回	対面	まとめと今後の中台関係	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

科目名	現代アメリカ事情	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代アメリカ合衆国についての多角的考察		
授業の目的及び概要	本授業は、アメリカ合衆国について様々な側面から理解することを目的とするものである。 具体的には各授業回において、地理、歴史、連邦・地方政治制度、司法制度、各種の社会問題(教育、医療、福祉等)、文化(宗教等)といったトピックを取り扱い、アメリカ合衆国の全体像を学ぶことを目的とする。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本授業が受講生に求める到達点は以下の2点である。 1. アメリカについて多角的な知識を習得し、アメリカとはどのような国かを具体的にイメージできるようになる。 2. アメリカと自国/母国がどのように違うのかを把握し、アメリカから何を学ぶべきかを他者に説明できるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎回の授業においてコメントシートを配布するので、質問や意見等を自由に記入してもらい、翌授業回に講師からのコメントを付して返却する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし	**ISBN**	指定なし
参考書	授業内にて適宜紹介する	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	本授業は、各回それぞれアメリカの多用な面に焦点を当てるが、受講生の希望を可能な限り取り込む予定である。 本授業は、成績配分が特殊なのでシラバスを十分に熟読すること。とりわけて各授業回のコメントが極めて重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション ・教員と受講生の自己紹介 ・授業概要の説明と目的意識のすり合わせ ・成績評価の方法と注意事項の説明	事前学習　シラバスを熟読する 事後学習　シラバスと配付資料を読み返し履修するかを決める	5時間
第2回	対面	アメリカ合衆国の世界的な立ち位置とは(地理、人口、国名、経済情勢など)	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第3回	対面	米国の連邦制、地方自治の特徴とは何か	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第4回	対面	米国の大統領制度の特徴とは何か(選挙制度、首相制度との比較)	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第5回	対面	アメリカの司法制度の特徴とは何か	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間

第6回	対面	アメリカにおける銃問題と法規制の現状とは何か	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第7回	対面	アメリカにおける信仰状況とはどのようなものか（キリスト教とはそもそも何か、プロテスタントとカトリックの違いとは何か）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第8回	対面	アメリカにおける女性の地位とはどのようなものか（男尊女卑の実態）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第9回	対面	アメリカにおける中絶問題とは何か	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第10回	対面	アメリカにおける黒人とインディアンの境遇とはどのようなものか（BLM運動とは）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第11回	対面	アメリカにおける貧困の実態とはどのようなものか	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第12回	対面	アメリカにおける識字率と教育格差問題とはどのようなものか	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第13回	対面	アメリカにおけるLGBTと同性愛の現状とはどのようなものか	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第14回	対面	アメリカが抱える諸問題について（薬物問題か在外米軍基地問題など学生からのリクエストに答える予定）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第15回	オンデマンド	授業の総括（これまでの考察から、アメリカのどのような側面が見えてきたのかについて振り返える）と定期試験レポートについての解説	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　期末レポートの作成に向けて準備を開始する。	5時間

科目名	比較政治学	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	比較政治学の基本的な考え方を学ぶこと.		
授業の目的及び概要	本講義では, 比較政治学の基本的な理論を中心に学び, それをもとに世界の政治を学びます. ①先進国と途上国の政治の諸特徴をよりよく理解し, ②比較政治学の分析枠組み・分析方法を学び, そして③最近の政治に関わる時事問題に対して自分の意見を持てるようになることを目的とします.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)比較政治学における理論と分析枠組み・分析方法を理解すること. (2)先進国と途上国で起こる政治のダイナミズムを知り, それを一定の枠組みから説明できるようになること.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	各回終了前にリアクションペーパーを配布し, 次回授業の冒頭でそれらをもとに受講生との質疑応答を行います. また, 課題については授業中に解説及び講評を行います.		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	比較政治学, 粕谷祐子, ミネルヴァ書房, 2014	ISBN	9784623071449
参考書	①原因を推論する一政治分析方法論のすゝめ一, 久米郁男, 有斐閣, 2015 ②比較政治学の考え方, 久保慶一・末近浩太・高橋百合子, 有斐閣, 2016 ③比較政治制度論, 建林正彦・曽我謙悟・待鳥聡史, 有斐閣, 2014	ISBN	①9784641149076 ②9784641150317 ③9784641123649

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	教科書・参考書や配布資料を利用して予習・復習を行ってください. 関連科目として「現代中東事情」「国際関係論」と併せて履修することを推奨しますが, 必須ではありません. 授業では教員の一方的な説明のみではなく, 受講生によるプレゼンテーションやディスカッションを通じて知識を深めていきたいと思います.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス:授業全体の説明(30分), 受講生の関心に関する聞き取り(30分), 映像を用いた講義(30分)	【予習】シラバスを事前に読んでおいてください. 【復習】ガイダンス資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間
第2回	対面	比較政治学の方法と考え方	【予習】教科書「序章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「比較政治学の方法と考え方」の配布資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間
第3回	対面	国家建設:国家の概念と捉え方	【予習】教科書「第1章」を事前に読んでおいてください. 【復習】「国家建設:国家の概念と捉え方」の配布資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間
第4回	対面	政治体制としての民主主義	【予習】教科書「第5章」を事前に読んでおいてください. 【復習】「政治体制としての民主主義」の配布資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間
第5回	対面	選挙政治:選挙制度と投票行動	【予習】教科書「第9章」を事前に読んでおいてください. 【復習】「選挙政治:選挙制度と投票行動」の配布資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間
第6回	対面	政党と政党システム	【予習】教科書「第10章」を事前に読んでおいてください. 【復習】「政党と政党システム」の配布資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間
第7回	対面	執政府・議会関係	【予習】教科書「第11章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「執政府・議会関係」の配布資料を読み直し, 講義で得た知識を確認してください.	4時間

第8回	対面	民主主義体制と政治文化	【予習】教科書「第7章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「民主主義体制と政治文化」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第9回	対面	民主化	【予習】教科書「第6章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「民主化」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第10回	対面	権威主義体制	【予習】教科書「第8章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「権威主義体制」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第11回	対面	市民社会	【予習】教科書「第2章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「市民社会」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第12回	対面	福祉国家	【予習】教科書「第12章」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「福祉国家」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第13回	対面	中央・地方関係	【予習】ラーニング・ポータルの配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「中央・地方関係」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第14回	対面	政軍関係	【予習】ラーニング・ポータルの配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「政軍関係」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第15回	オンデマンド	コロナ・ウイルスと比較政治学および総括	【予習】ラーニング・ポータルの配布資料と，これまでの授業回の配布資料を再度読んでおいてください. 【復習】これまでの授業回の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間

科目名	国際関係論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	戦争と内戦を中心テーマとして，国際関係論における理論的知見とその背景にある事象・歴史を学ぶ.		
授業の目的及び概要	本講義では，戦争と内戦の原因と結果，内戦における暴力の問題，武装組織などについて世界中の事例を扱いながら講義をします. 授業全体の前半では，国際関係論を中心としてその他の分野(比較政治学や開発経済学など)から導き出された戦争や内戦に関する理論的な知見や分析枠組みに関して解説を行います. 授業全体の後半では，前半で学んだ理論的な知見を実際の事例に応用するために，有史以来生起する世界中の戦争と内戦に関する事例を紹介します.		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)国際関係論における戦争と内戦に関する分析枠組みを理解し，身につけること. (2)世界で起こる戦争と内戦を知り，歴史的な事例の基礎知識を身につけること. (3)世界で起こる戦争と内戦を知り，それを一定の枠組みから説明できるようになること.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	各回終了前にリアクションペーパーを配布し，次回授業の冒頭でそれらをもとに受講生との質疑応答を行います．また，課題については授業中に解説及び講評を行います.		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しません. 配布資料を用いて授業を行います.	ISBN	なし
参考書	①戦争とは何か一国際政治学の挑戦一，多湖淳，中央公論新社，2020年 ②〈内戦〉の世界史，デイヴィッド・アーミテイジ(平田雅博・阪本浩・細川道久 訳)，岩波書店，2019 ③平和と安全保障，鈴木基史，東京大学出版会，2007	ISBN	①9784121025746 ②9784000241816 ③9784130342520

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	参考書や配布資料を利用して予習・復習を行ってください. 関連科目として「現代中東事情」「比較政治学」と併せて履修することを推奨しますが，必須ではありません. 授業では教員の一方的な説明のみではなく，受講生同士でのディスカッションを通じて知識を深めていきたいと思います.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス:授業全体の説明(40分)，受講生の関心に関する聞き取り(20分)，映像を用いた講義(30分)	【予習】シラバスを事前に読んでおいてください. 【復習】シラバスと第1回のガイダンス資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第2回	対面	戦争とは何か？:歴史と概念①	【予習】「戦争とは何か？:歴史と概念①」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「戦争とは何か？:歴史と概念①」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第3回	対面	戦争とは何か？:歴史と概念②	【予習】「戦争とは何か？:歴史と概念②」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「戦争とは何か？:歴史と概念②」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第4回	対面	内戦とは何か？:歴史と概念①	【予習】「内戦とは何か？:歴史と概念①」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦とは何か？:歴史と概念①」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第5回	対面	内戦とは何か？:歴史と概念②	【予習】「内戦とは何か？:歴史と概念②」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦とは何か？:歴史と概念②」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間

第6回	対面	内戦と国際的介入	【予習】「内戦と国際的介入」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦と国際的介入」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第7回	対面	内戦における暴力①	【予習】「内戦における暴力①」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦における暴力①」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第8回	対面	内戦における暴力②	【予習】「内戦における暴力②」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦における暴力②」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第9回	対面	内戦における暴力③	【予習】「内戦における暴力③」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦における暴力③」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第10回	対面	武装組織と反乱①	【予習】「武装組織と反乱①」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「武装組織と反乱①」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第11回	対面	武装組織と反乱②	【予習】「武装組織と反乱②」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「武装組織と反乱②」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第12回	対面	内戦における同盟理論	【予習】「内戦における同盟理論」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「内戦における同盟理論」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第13回	対面	ラテンアメリカにおける内戦：麻薬戦争とゲリラの台頭	【予習】「ラテンアメリカにおける内戦」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「ラテンアメリカにおける内戦」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第14回	対面	アフリカにおける内戦：天然資源をめぐる攻防	【予習】「アフリカにおける内戦」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「アフリカにおける内戦」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第15回	オンデマンド	総括	【予習】これまでの授業回の配布資料を再度読んでおいてください。 【復習】これまでの授業回の配布資料を読み直し、講義で得た知識を確認してください。	4時間

科目名	対外政策論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	だれが、何のために、どのように国家の対外政策を決めて実施しているのか		
授業の目的及び概要	この授業では、国家の対外政策が形成、実施される仕組みについて理解することを目的とします。 国際政治学では、国家が最も基本的な行為主体として捉えられており、観察と分析の対象となっています。さらに、国家は合理的に国益を追求し、他国と協力したり対立したりするものだと考えられていますが、現実世界では国家という行為主体は存在しません。国家の対外政策を決定、実施しているのは常に人間であり、人間により構成される組織です。人間である以上、合理的行動するときもあればそうでないときもあります。そして、人間と人間で構成される組織の活動には違いもあれば、共通点も多いのです。この授業は国家という単位を意識しつつ、人間と人間で構成される組織にも注目し、対外政策が形成、実施されるメカニズムについて皆さんと議論を進めていきます。 受講者の皆さんの授業への理解度に合わせて、内容を調整する可能性があります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・対外政策(特に事例として挙げる国や組織)に関する基本的な知識を身につけること ・対外政策論の基本的な分析手法を理解すること ・外交問題における国内外の相互作用を理解し、自分の意見を持つこと		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・コメントカードを使って皆さんから質問を集め、次週以降質問への回答やコメントをします ・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設けます ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介します		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013)	ISBN	978-464105378
参考書	加茂具樹編著『中国対外行動の源泉』(慶應義塾大学出版会、2017) グレアム・アリソン『決定の本質 キューバ・ミサイル危機の分析 第2版』(日経BP社、2016) 信田智人『冷戦後の日本外交―安全保障政策の国内政治過程』(ミネルヴァ書房、2006) 信田智人編著『アメリカの外交政策―歴史・アクター・メカニズム』(ミネルヴァ書房、2010) その他の参考書や参考資料は授業中に適宜紹介します。	ISBN	978-4766424089 978-4822251284 978-4623047017 978-4623055821

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際政治学Ⅰ、国際政治学Ⅱと合わせて履修することをお勧めします(必須ではありません)。 この講義の内容には「正解」がありません。さまざまな情報を客観的に分析し、自分の考えと異なる意見にも耳を傾ける姿勢を高く評価されます。 授業で学んだことと関連のあるニュース記事を見かけたら、ぜひそのニュースの要点と自分の意見をノートに書いてみてください。就職活動のときに必ず役に立ちます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の目的、概要や成績評価などについて説明します。	【予習】事前にシラバスの内容から概要を理解し、指定したテキストを読んでおいてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	対外政策とは何か、対外政策と国内政策とはどう違うのか、なぜ対外政策を学ぶのが重要なのかについて説明します。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第3回	対面	対外政策論の分析手法について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間

第4回	対面	キューバ・ミサイル危機を事例に、対外政策決定について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第5回	対面	対外政策の決定と実施について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第6回	対面	対外政策決定に関連する映画を見ます（映画を見ながらメモを取ってください）。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第7回	対面	対外政策論の視点から、先週見た映画の内容についてディスカッションを行います。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	対外政策における国内政治と国際政治の相互作用について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第9回	対面	戦後アメリカの対外政策①（アメリカ外交の歴史と、アメリカ外交を左右する重要な概念）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第10回	対面	戦後アメリカの対外政策②（冷戦後のアメリカ外交と、アメリカ外交を立案、実施するアクター）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	戦後日本の対外政策①（戦後日本外交の歴史）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	戦後日本の対外政策②（冷戦後日本外交のダイナミクス）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	戦後中国の対外政策①（中国外交の歴史）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	戦後中国の対外政策②（冷戦後中国外交のダイナミズム）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。15回目の授業に向けて、質問をまとめて教員に伝えてください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業の総括と質疑応答	【予習】配布資料を使い、事前予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間

科目名	政治地理学	開講年度	2023年度春学期
担当者	張　雪斌	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	地政学の観点から国際政治と地理の接点を探る		
授業の目的及び概要	この授業の目的は、地理と空間の観点から批判的に国際政治を理解する方法を学ぶことです。 皆さんはきっとどこかで地政学という単語を耳にしたことがあるのではないでしょうか。普段深く考えずに使っている「地政学」には実はさまざまな立場からの解釈と分析が存在します。極端に単純化すると、地政学とは地理と空間の観点から権力の行使や利益の分配を説明する学問です。平面的な国際政治を立体的に捉えることにより、地政学が紛争や対立を説明する単純明快な答えを提供してくれるときもあれば、政策や戦略の妥当性を恣意的に説明するための道具にもされます。 この授業は皆さんに地政学の歴史、理論や方法について学び、そして議論をする場を提供します。具体的には、授業の前半は担当者がテキストや参考書の内容を基に講義を行います。後半では、受講者の皆さんがグローバルな問題を地政学の分析視点から分析し、発表とディスカッションを行います。事例の選び方や発表の順番などについては授業中に皆さんと相談して決めます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・地政学に関する基本的な知識を身につけること ・地政学の基本的な分析手法を理解すること ・地政学の分析方法を用いて、グローバルな問題を分析し、自分の意見を持つこと		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・コメントカードを使って皆さんから質問を集め、次週以降質問への回答やコメントをします ・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設けます ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介します		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	庄司潤一郎、石津朋之編著『地政学原論』(日経BP、2020)	ISBN	978-4532176822
参考書	アレクサンダー・C・ディーナー、ジョシュア・ヘーガン『境界から世界を見る―ボーダースタディーズ入門』(岩波書店、2017) コーリン・フリント『現代地政学―グローバル時代の新しいアプローチ』(原書房、2014) コリン・S・グレイ、ジェフリー・スローン編著『地政学 ー地理と戦略ー』(五月書房、2021) その他の参考文献は適宜授業中に紹介します。	ISBN	978-4000610438 978-4562091973 978-4909542373

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	この講義の内容には「正解」がありません。さまざまな情報を客観的に分析し、自分の考えと異なる意見にも耳を傾ける姿勢を高く評価されます。 授業で学んだことと関連のあるニュース記事を見かけたら、ぜひそのニュースの要点と自分の意見をノートに書いてみてください。就職活動のときに必ず役に立ちます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の目的、概要や成績評価などについて説明します。	【予習】事前にシラバスの内容から概要を理解し、指定したテキストを読んでおいてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	地政学、政治地理学と国際政治学の関係について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第3回	対面	地政学を理解するための枠組みについて学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間

第4回	対面	場所と政治、地政的コードについて学びます	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第5回	対面	地政学の古典的なアプローチ①ランドパワーについて学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第6回	対面	地政学の古典的なアプローチ②シーパワーについて学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください	4時間
第7回	対面	地政学の古典的なアプローチ③エアパワーについて学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	地政学の視点から見るキューバミサイル危機	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。	4時間
第9回	対面	地政学から見る国境	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。	4時間
第10回	対面	地政学的な観点からの事例分析（アジア太平洋における米中の競争）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。	4時間
第11回	対面	地政学的な観点からの事例分析（アジア太平洋におけるパワーシフトと日本の対応）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。	4時間
第12回	対面	地政学的な観点からの事例分析（インド太平洋構想）について学びます。	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。	4時間
第13回	対面	受講者による発表とディスカッション①	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。	4時間
第14回	対面	受講者による発表とディスカッション②	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。 発表とディスカッションのための準備を行ってください。 15回目の授業に向けて、質問をまとめて教員に伝えてください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業の総括、質問応答	【予習】配布資料を使い、予習をしてください。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を行ってください。自分が興味関心を持っているポイント、あるいは質問をノートにまとめてください。 指定された場合はテキストの内容を読んで、予習、復習を行ってください。	4時間

科目名	国際協力法	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉良　悟	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際法の基礎知識を身につけ、日本・世界のニュースを読み解こう。		
授業の目的及び概要	この授業は、国際法の基礎知識を学ぶ授業である「国際社会と法」の発展科目です。授業の前半では、グローバルな課題に直接関わる分野の基礎知識を学修します。そのうえで、後半では安全保障や武力紛争法などの具体的なテーマをとりあげます。国際法とは、国家間の利害対立を調整する効果的な手段です。グローバル化が急速に進みつつある今日においては、どのような進路を志す方にとっても、国際法に関する知見は必須のものになります。		
履修の条件・注意	「日本と国際法」または「国際社会と法」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、国際社会の課題解決に向けて構築されてきた国際法規範および制度を学び、国際社会でのキャリア形成に必要となる柔軟な問題解決型の思考を修得することを目標とします。国際的な協力枠組を必要とする分野で、どのような法規範が形成され、どのような制度が確立されてきたのかを学び、これら法規範や制度を複合的に活用し課題を解決するための可能性と限界を理解できるようになります。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題については、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	ビジュアルテキスト国際法(第3版), 加藤信行・植木俊哉・真山全・森川幸一・酒井啓亘・立松美也子編著, 有斐閣, 2022年	ISBN	9784641046924
参考書	国際法, 岩沢雄司, 東京大学出版会, 2020年	ISBN	9784130323918

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)			

この科目の履修にあたって	1．多様な国家と共生していくためには、第一に相互理解が求められます。相互理解のためには、普遍的なルールを知ることが大切です。そのルールが国際法です。この授業で扱った様々なルールを国際的な事例に当てはめて、自分なりの結論を導き出す習慣を身に付けてください。そのことが今後の専門学修および海外体験・留学をより意義深いものにします。 2．学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義を目指します。そのため、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してください
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要紹介(授業及び成績評価に関するガイダンスを行った後、国際法とは何かについて時事問題を取り上げながら議論します)	【予習】 シラバスを熟読するとともに、国際法に関するニュースを調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第2回	対面	国際法とは何か	【予習】 教科書の1-26頁を読み、国際法について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第3回	対面	国家責任(法的責任の発生と責任解除の方法)	【予習】 教科書の27-28頁を読み、国際法に違反した場合の責任解除の方法について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第4回	対面	国際法主体(国家、国際組織、個人)	【予習】 教科書の29-35、79-102頁を読み、国際法における国家、国際組織、個人について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第5回	対面	国家領域①(領土、海洋)	【予習】 教科書の49-50、62-78頁を読み、国際法において領土及び海洋がどのように規律されているか調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間

第6回	対面	国家領域②(空、宇宙)	【予習】 教科書の50-51、59-61頁を読み、国際法で空及び宇宙がどのように規律されているか調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第7回	対面	条約法(条約の意義、留保、条約解釈)	【予習】 教科書の36-43頁を読み、条約の意義、留保、条約解釈について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第8回	対面	外交関係と領事関係(外交使節団・領事の任務と構成、外交特権)	【予習】 教科書の43-48頁を読み、外交使節団・領事の任務と構成、外交特権について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第9回	対面	領域権原と領土紛争(領有権を巡る争い)	【予習】 教科書の50-57頁を読み、領域権原と領土紛争について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第10回	対面	環境と法(国際法の視点による環境問題の考察)	【予習】 教科書の124-132頁を読み、環境分野における国際法の規律について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第11回	対面	紛争処理制度(国際社会における平和的紛争解決手続)	【予習】 教科書の133-146頁を読み、国際社会における平和的紛争解決手続について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第12回	対面	戦争の法的地位と安全保障(戦争が違法化されるまでの系譜、自衛権)	【予習】 教科書の147-157頁を読み、戦争が違法化されるまでの流れと自衛権について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第13回	対面	武力紛争のルール(害敵手段、兵器の規制、文民の保護)	【予習】 教科書の158-168頁を読み、害敵手段、兵器の規制、文民の保護について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第14回	対面	国際刑事法(戦争犯罪、国際刑事裁判制度)	【予習】 教科書の108-112、169頁を読み、戦争犯罪や国際刑事裁判制度について調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ(オンデマンド)	【予習】 これまでの授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。 【復習】 試験内容を確認し、定期試験に向けて対策を行ってください。	6時間

科目名	国際協力法	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	來田　真依子	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際社会における諸問題の法的理解		
授業の目的及び概要	国際法は主として国家間の関係を規律する法(ルール)である。現代の国際社会が抱える様々な課題(安全保障と平和、環境、開発、人権、人道支援等)を解決するために、法(ルール)がどのような役割を果たすのかを学ぶことにより、国際社会の諸問題を「法の窓」から紐解き、理解することがこの授業の目的である。そのため、授業の前半では国際法の基礎知識や基本となる考え方を学ぶ。その後、授業の後半では安全保障や環境保護など様々な分野における国際法に焦点を当て、具体的なテーマを取り上げながら学修する。		
履修の条件・注意	「日本と国際法」または「国際社会と法」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業の到達目標は2つある。1つ目は、国際法とは何であるのか、そして国際社会は国際法によってどのように規律されているのかについて、基本的な知識を獲得することである。2つ目は、国際社会の諸問題を解決するために国際法がいかなる役割を果たしうるのかを理解することにより、柔軟な問題解決型の思考を修得することである。確認のためのリフレクションペーパー作成とまとめの試験を通じて、受講者は国際法について正しく理解し、自分自身の視点を養うことができたかどうかを評価される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業中にリアクションペーパーを課題として提出してもらう。このリアクションペーパーについては、次回授業でフィードバックを行うとともに、授業の振り返りに活用し、授業の双方向性を確保する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	加藤 信行ほか[編著]『ビジュアルテキスト国際法〔第3版〕』	**ISBN**	978-4641046924
参考書	浅田正彦(編著)『国際法 第4版』(東信堂、2019年) 森川幸一ほか(編)『国際法で世界がわかる　ニュースを読み解く32講』(岩波書店、2016年) 山形英郎(編)『国際法入門　逆から学ぶ(第2版)』(法律文化社、2018年)	**ISBN**	978-4-7989-1545-6 978-4-0002-2955-5 978-4-589-03960-6

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	50	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	学生一人ひとりがまず自分自身の考えを構築し、次にその考えをわかりやすく言語化し、最後に他者と意見を交わして多様な視点を学ぶことができるような、参加型の講義にすることを目指している。授業の中で感じた疑問や興味については積極的に発言してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の進め方や成績評価について説明する。また、国際法学とは何かについて概観する。	シラバスを熟読するとともに、教科書のイントロダクションを読む。復習として国際法に関するニュースを調べておく。	4時間
第2回	対面	国際社会で守るルール:国際法総論	教科書第2章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第3回	対面	国とは何か?:国家の成立	教科書第3章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第4回	対面	国と国がつき合う:条約法と領事関係法	教科書第4章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第5回	対面	領土のない国はない:国家の領域	教科書第5章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第6回	対面	国が集まってグループをつくる:国際機構	教科書第7章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第7回	対面	国の安全を守る:国際安全保障	教科書第13章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第8回	対面	戦わずにもめごとを解決する:紛争の平和的解決	教科書第12章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第9回	対面	海の国際法(1):海洋法の歴史と海域の区分	教科書第6章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間

第10回	対面	海の国際法(2):海洋をめぐる現代の問題	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第11回	対面	国際環境法(1):国際環境法の歴史と特徴	教科書第11章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第12回	オンデマンド	国際環境法(2):環境をめぐる現代の問題	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第13回	対面	犯罪も国を越える(1):国際犯罪とは何か	教科書第9章を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第14回	対面	犯罪も国を越える(2):映画「ハンナ・アーレント」から国際犯罪について考える	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第15回	対面	授業のまとめ	これまでの授業で配布したレジュメを読み返し、自分の理解度を確認する。復習として、試験の実施内容を確認し、定期試験に向けて対策を行う。	4時間

科目名	安全保障と国際法	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉良　悟	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際社会における安全保障を法的側面から考える。		
授業の目的及び概要	本授業は、グローバル化する現代社会の諸問題のうち、武力紛争及び核兵器に関する法的な規制について、国際法を中心に学修することを目的とします。授業では、安全保障概念について解説した後、戦争の法的地位の変遷、自衛権行使要件論といった論点とともに、人道的介入や在外自国民保護といった近年再び問題となっている論点について扱います。また、核兵器に関しては、国際法による規制といった論点のみならず、中東地域での核兵器を巡る争いや日本における核兵器保有論議といった地域的問題についても扱います。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際法による武力行使の規律について説明できるようになること、そして、核兵器に対する国際社会の取り組みを説明できるようになることを目標とします。その結果として、安全保障のあり方や世界で発生する武力紛争について、自己の見解を確立できるようになることを目指します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題については、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内で資料配布を行います。	ISBN	なし
参考書	適宜紹介します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)			

この科目の履修にあたって	1. 安全保障とは、どのようにして武力紛争を防ぐかを考えるものです。この授業を履修するにあたり、皆さん一人一人が国際社会の安定のためにどうすればよいか考える習慣を身に付けてください。そのことが 今後の専門学修および海外体験・留学をより意義深いものにします。 2. 学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義を目指します。そのため、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要紹介	【予習】 21世紀の武力紛争について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第2回	対面	安全保障とは何か	【予習】 安全保障について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第3回	対面	正戦論と「無差別戦争観」	【予習】 正戦論について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第4回	対面	国際連盟と不戦条約	【予習】 国際連盟と不戦条約について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第5回	対面	国際連合と集団的安全保障	【予習】 国際連合の成り立ちについて、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間

第6回	対面	自衛権①	【予習】 カロライン号事件(1837年)と自衛権行使要件論について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第7回	対面	自衛権②	【予習】 集団的自衛権について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第8回	対面	日本国憲法と自衛権	【予習】 日本の平和安全法制について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第9回	対面	人道的介入	【予習】 NATOによるコソボ爆撃(1999年)と、米英仏によるシリア攻撃(2018年)について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第10回	対面	在外自国民保護	【予習】 マヤグエス号事件(1975年)、エンテベ空港事件(1976年)について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第11回	対面	核兵器開発の歴史と核実験に対する法的規制	【予習】 部分的核実験禁止条約、地下核実験制限条約、包括的核実験禁止条約について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第12回	対面	核軍縮と核兵器禁止条約	【予習】 中距離核戦力全廃条約と核兵器禁止条約について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第13回	対面	中東諸国における核兵器	【予習】 イスラエルによるオシラク原子炉爆撃事件(1981年)と先制的自衛について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第14回	対面	日本における核兵器保有論議	【予習】 第2次世界大戦後の日本における核兵器保有を巡る議論について、書籍やインターネットなどで調べておいてください。 【復習】 授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ(オンデマンド)	【予習】 これまでの授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認してください。 【復習】 知識の定着に努めるとともに、定期試験の準備をしてください。	6時間

科目名	国際人権法	開講年度	2023年度春学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	わたしたちの生活での「なぜ」を国際人権法から考える		
授業の目的及び概要	この授業では、国際人権法に関する基礎知識を得るとともに、市民生活および企業活動等具体的場面への適用を考察する。具体的には、第1に国際人権法の基礎知識として人権に関する国際文書(宣言・条約等)の全体像とその仕組みを、第2に国際人権法が規定する内容を、自由権、社会権、差別の撤廃(人種および女性)、外国人の権利、子どもの権利、障がい者の権利等個別分野を、第3に、日本および世界での具体的事例を取り上げ、国内基準と国際基準のギャップ、侵害の防止及び救済策等について学ぶ。		
履修の条件・注意	「国際協力法」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、国際人権法の課題解決に向けて構築されてきた規範および制度を学び、国際社会でのキャリア形成に必要となる柔軟な問題解決型の思考を修得することを目標とする。国際的な協力枠組を必要とする分野で、どのような国際人権法規範が形成され、どのような制度が確立されてきたのかを学び、これらを複合的に活用し課題を解決するための可能性と限界を理解する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業では授業内容に関する問いを課し、授業終了時にリフレクションペーパーを提出する。リフレクションペーパーは次回授業でフィードバックするとともに、振り返りに活用し、授業の双方向性を確保する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	国際人権法の考え方, 川島聡・菅原絵美・山崎公士, 法律文化社, 2021年	ISBN	9784589041449
参考書	国際条約集, 植木俊哉・中谷和弘(編集代表), 有斐閣, 2022年	ISBN	9784641001589

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 国際人権法の概要を事例を交えながら紹介し議論する。	テキストのプロローグを読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第2回	対面	権利と義務は誰のもの？〔権利と義務の主体〕	テキスト第1章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第3回	対面	なぜ自由権と社会権は分けられないの？〔人権の不可分性〕	テキスト第2章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第4回	対面	まったく同じように扱っても差別？〔差別の禁止〕	テキスト第3章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第5回	対面	ジェンダーは女性のことではありません！〔女性差別撤廃条約〕	テキスト第4章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第6回	対面	国籍と人種、その違いが分かりますか？〔人種差別撤廃条約〕	テキスト第5章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第7回	対面	不登校は何が問題？〔子どもの権利条約〕	テキスト第6章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第8回	対面	障害って何だろう？〔障害者権利条約〕	テキスト第7章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第9回	対面	仕事の内容が同じなのに賃金が違う？〔国際労働機関(ILO)条約〕	テキスト第8章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第10回	対面	帰るに帰れない！〔拷問等禁止条約と難民条約〕	テキスト第9章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間

第11回	対面	国境を越えた者同士なのに何が違う？〔難民条約と移住労働者権利条約〕	テキスト第10章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第12回	対面	条約は日本の裁判でも使えるの？〔国内裁判〕	テキスト第11章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第13回	対面	国家報告に効き目はあるの？〔国家報告〕	テキスト第12章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第14回	対面	日本人も個人通報できるの？〔個人通報〕と授業のまとめ	テキスト第13章を読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間
第15回	オンデマンド	授業の振り返り 国際人権法はなぜ必要か、15回の授業を振り返り、まとめを行う。	テキストエピローグを読み予習を行う。また復習として授業のまとめとして出題した問いにオンラインで回答する。	4時間

科目名	比較税制論	開講年度	2023年度春学期
担当者	伍 躍	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	租税の基礎知識を修得しより公平かつ最適な税制を考えよう		
授業の目的及び概要	この授業では、税に関する基本的な考え方や知識を学修し、日本と諸外国の税制や租税政策の比較を通じて、日本の税制への理解を深めることを目的とする。具体的には、税に関する公平・中立・簡素といった基本原則のほか、日本を含むアジア主要国及びOECD加盟諸国の税制と租税政策を横断的に比較することを通じて、日本及び諸外国における既存の税制(特に、個人所得税や消費税等)の問題点を把握し、各国の社会状況に応じた適切な税制について検討する能力を養う。また、多角的な観察力を修得し、アジア主要国の社会を理解する能力を修得することも目的の1つとする。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	税制とは、国家が政治・経済・外交・教育等の様々な活動を行うために必要な財力を調達し、管理・使用するための財政制度の一環として存在する必要不可欠な制度である。各国の歴史文化や政治経済の発展が異なることにより、税制も様々な形態がある。税に関する公平、中立、簡素といった基本原則をはじめとする税制に関する考え方や、日本を含むアジア主要国及びOECD加盟国の税制と租税政策を横断的に比較することを通じて、その問題点を把握し、税制の整備と改革に重点を置きながら、税制の基礎知識を修得する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①学生が提出した小テストやリアクションペーパーを添削してフィードバックをする。 ②毎回、授業中にて代表的な小テストやリアクションペーパーについて講評することをもって学生にフィードバックをする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは不使用。必要な資料は事前にラーニングポータルにて配布します。	ISBN	なし
参考書	参考書: ①三木義一『日本の税金 第3版』岩波新書1359 ②藤井大輔　ほか『図説 日本の税制』(財経詳報社、令和2～3年度版、2022年) ③伏見俊行『アジア税の基礎知識』(税務研究会出版局、2016年) ④諸富徹『私たちはなぜ税金を納めるのか ―租税の経済思想史』(新潮社、2013年)	ISBN	①9784004317371 ②9784881774885 ③9784793121821 ④9784106037276

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	50	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	40	その他(%)	0	詳細については、授業中にて指示する。	

この科目の履修にあたって	①日々の生活において自ら納めた税金を意識してほしい。 ②日々の生活において税金で賄ったことを意識してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の趣旨を説明する	復習:授業の配布資料を読んで復習しておくこと(2時間程度)。 予習:参考書①序章の「民主主義と税」を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第2回	対面	租税の意義と機能について説明する。	復習:前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと(2時間程度)。 予習:参考書②の「税制の概要」の3「税制の役割」を読んで予習しておくこと(2時間程度)。	4時間
第3回	対面	租税原則等の租税に関する考え方について説明する。	復習:前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと(2時間程度)。 予習:参考書②の「税制の概要」の7「租税原則」を読んで予習しておくこと(2時間程度)。	4時間
第4回	対面	租税体系、租税法律主義、租税法律主義の国際比較を行う。	復習:前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと(2時間程度)。 予習:参考書②の「租税の歴史」、とくに各国憲法における租税に関する条項を読んで予習しておくこと(2時間程度)。	4時間
第5回	対面	租税の国民負担率、租税の国民負担率の国際比較を行う。	復習:前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと(2時間程度)。 予習:参考書②の「税制の概要」の5「租税負担率」を読んで予習しておくこと(2時間程度)。	4時間

第6回	対面	日本における近代租税制度の確立と発展、日本における既存の租税制度の構造と特徴について解説する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書②の「わが国の租税制度の変遷と今後の課題」の8「シャウプ勧告による税制」以後の部分を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第7回	対面	個人所得税の定義と由来、日本における現行の個人所得税制の基本構造について解説する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書①の第1章第1～2節を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第8回	対面	日本における個人所得税制の現状と個人所得税制改革のあり方について解説する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書①の第1章第3～4節を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第9回	対面	個人所得税制の国際比較を行う。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書①の第1章第5節、参考書②の「租税制度の国際比較」の5「所得税制度」を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第10回	対面	消費税制の基本事項について説明する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書①の第3章第1節を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第11回	対面	日本における現行の一般消費税制の形成、及びその基本構造について説明する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書①の第1章第2～3節を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第12回	対面	OECD主要国の消費税・付加価値税の概要、日本における一般消費税制の特徴、消費税制がもつ逆進性について解説する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書参考書②の「租税制度の国際比較状」の9「付加価値税」を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第13回	オンデマンド	日本における法人税制とアジア主要国やOECD主要国との比較、租税特別措置について解説 期末試験案内	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書①の第2章第1～3節を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第14回	対面	世界の動向と環境関連課税の考え方について解説する。	復習：前回授業の配布資料を読んで復習しておくこと（2時間程度）。 予習：参考書②の「わが国の税制の現状」の7「その他の国税」の（3）を読んで予習しておくこと（2時間程度）。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行い、期末試験の復習内容を指示する。	復習：これまで配布した資料を読んで復習して定期試験に向けて準備すること（4時間程度）。 ＊以上の授業計画は受講生の理解度を配慮し必要に応じて、オンデマンド授業の実施時期を含めて微調整を行う可能性はある。	4時間

科目名	NPO・NGO論	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	金森　康	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界や日本のNPOの動向，企業の社会責任(CSR)の事例などを通じて，関連分野の最新動向を学ぶ		
授業の目的及び概要	State(国家や地方政府)，Market(市場)，Third Sector(NPO/NGO)，Communityという社会経済システムの4領域の相互関係をふまえて，NPOや社会的起業家の現状理解，地域政策における位置づけ，地域開発における役割について考えていく. ・事例の解説を中心に行う. ・講義ビデオを適宜使用し，最新の動向の紹介を中心に講義を行う. ・ケーススタディを通じてNPO・NGOの基礎を理解する.		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・NPO(Not-for-Profit Organization)や社会起業家が果たす社会的役割について理解する. ・最新事例のケーススタディを通じて，NPOの最新動向をつかむ ・専門用語や考え方を理解する		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	講義内容→小テストまたはレポート→小テストの解説とこれまでの講義内容の再解説→次の講義内容→小テストまたはレポート→小テストの解説とこれまでの講義内容の再解説→次の内容，という様に，ひとつの講義テーマが終了する毎に小テストと解説・振り返り行う.		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しません. 講師作成講義資料にて行う.	**ISBN**	テキスト無し
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	40	**成果発表(口頭・実技)(%)**	10	**中間試験(%)**	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	サークルやゼミで学外活動，特に社会貢献・地域貢献系を希望する方に受講していただきたいと思います.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	世界のNPOの現状を解説し，日本の現状を理解する.	授業計画1では，講義全体を通じたキーワードを説明するので，キーワードの意味や重要度を復習する.	4時間
第2回	対面	社会システム論，ウェルフェアミックス，政策評価，協働	授業計画2では，理論的背景を説明するので，NPOの社会的位置づけや理論的背景について整理し，復習する.	4時間
第3回	対面	社会政策論，地域政策論，地域経営，地域マーケティング	授業計画3では，理論的背景を説明するので，NPOの社会的位置づけや理論的背景について整理し，復習する.	4時間
第4回	対面	社会保障，政策評価，PPP(Public Private Partnership)，地方分権	授業計画4では，理論的背景を説明するので，NPOの社会的位置づけや理論的背景について整理し，復習する.	4時間
第5回	対面	社会保障，政策評価，PPP(Public Private Partnership)，地方分権	授業計画5では，理論的背景を説明するので，NPOの社会的位置づけや理論的背景について整理し，復習する. 授業計画4-5で解説する英国の若者失業者対策の仕組みは特に重要なので，制度の主旨と運営面での効率性を理解すること.	4時間
第6回	対面	NPO・NGO・社会起業家の世界的動向	授業計画6では，ビデオ教材を使用して，先進事例のケーススタディを行うので，参考モデルとなる要素について整理し，復習する. 先進事例のケーススタディに関するレポート課題を予定している. これまでの講義内容を復習したうえで，講義を受講すること. なお，講義の進捗によっては，レポート課題実施が前後することがある.	4時間

第7回	対面	NPO・NGO・社会起業家の世界的動向	授業計画7では，ビデオ教材を使用して，先進事例のケーススタディを行うので，参考モデルとなる要素について整理し，復習する.	2時間
第8回	対面	NPO・NGO・社会起業家の世界的動向	授業計画8では，ビデオ教材を使用して，先進事例のケーススタディを行うので，参考モデルとなる要素について整理し，復習する. 先進事例のケーススタディに関するレポート課題を予定している. これまでの講義内容を復習したうえで，講義を受講すること. なお，講義の進捗によっては，レポート課題実施が前後することがある.	4時間
第9回	対面	NPO・NGO・社会起業家の世界的動向	授業計画9では，ビデオ教材を使用して，先進事例のケーススタディを行うので，参考モデルとなる要素について整理し，復習する.	4時間
第10回	対面	NPO・NGO・社会起業家の世界的動向	授業計画10では，ビデオ教材を使用して，先進事例のケーススタディを行うので，参考モデルとなる要素について整理し，復習する. 先進事例のケーススタディに関するレポート課題を予定している. これまでの講義内容を復習したうえで，講義を受講すること. なお，講義の進捗によっては，レポート課題実施が前後することがある.	4時間
第11回	対面	企業の社会的責任（CSR），社会的マーケティング，社会的責任投資（SRI）	授業計画11では，企業の社会的責任（CSR）に関する理論的背景を説明するので，キーワードを整理し，復習する.	4時間
第12回	対面	企業の社会的責任（CSR），社会的マーケティング，社会的責任投資（SRI）	先進事例のケーススタディに関するレポート課題を予定している. これまでの講義内容を復習したうえで，講義を受講すること. なお，講義の進捗によっては，レポート課題実施が前後することがある.	4時間
第13回	対面	企業の社会的責任（CSR），社会的マーケティング，社会的責任投資（SRI）	先進事例のケーススタディに関するレポート課題を予定している. これまでの講義内容を復習したうえで，講義を受講すること. なお，講義の進捗によっては，レポート課題実施が前後することがある.	4時間
第14回	オンデマンド	テストまたはグループワーク	これまでの講義内容にもとづき，総括的な講義中テストを実施する. これまでの講義内容の復習をおこない，受講すること.	5時間
第15回	対面	総括テスト解説 講義の総括	これまでの講義内容について復習を行い，疑問点や質問事項をまとめたうえで受講すること.	5時間

科目名	地方自治と国際協力	開講年度	2023年度春学期
担当者	西脇　邦雄、金谷　一郎	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	隠れた移民大国日本の現状を知り、多文化共生社会を目指す地方自治体の取り組みに学ぶ		
授業の目的及び概要	我が国は、移民受け入れの体制を確立せずに296万人(2022年6月)をこえる外国人を受け入れており 生活相談、教育や就労問題など、多くの課題が地方自治体に委ねられている。 姉妹都市による自治体間の国際交流から、増加する外国籍住民を意識した「内なる国際化」が1990年代に提唱された。 今日では総務省が多文化共生指針を策定し、1700を超える地方自治体に、計画の策定を要請している。 地方自治体の施策を考える際に、在日コリアンと言われる旧植民地時代の人々の人権保障が先例となる。 さらに外国籍の子どもの日本語と母語の保障、共生のためのやさしい日本語の普及など近年の課題を検討する。 また、世界の195の国のうち150近くは開発途上国と言われるが、なぜ国際協力や国際貢献が必要かを考える。 政府開発援助 ODAの地方自治体版、自治体 ODAの先駆者として北九州市の先進事例から今後の課題を考察する。		
履修の条件・注意	「異文化理解＜異文化理解Ⅰ＞」、「世界の宗教＜異文化理解Ⅱ＞」、「国際社会と法」を履修することが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本人学生と留学生が授業を通じて交流し、フレンドリーな関係を築く。 多文化共生や自治体ODAについて理解を深め、外国籍住民との共生社会に貢献する意識を持つ。 特に留学生が日本の国際貢献に関心を持ち、日系企業への就職の動機付けとする。 企業経営にもダイバーシティが求められていることから、目標として次の内容を目指す。 「異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協力し、社会の一員として活躍できる能力と生涯にわたる就業力を身につけている。」		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストやレポート課題についてラーニングポータル上で実施し、講評する。 地方自治体の施策を学ぶ機会として近隣の福祉作業所や博物館などへの見学、フィールドワークを行う。 留学生を最初に出会う異文化の他者として捉え、交流やグループワークによる相互理解により、多文化共生を体験する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、大阪府議会議員を16年務めた経験を有する。府議会議員として、自治体における日中友好、日華友好、日韓友好(韓国大使表彰)、日ロ友好、日本モンゴル友好活動に取り組んできた。本科目では、これらの経験を活かしながら、地方自治と国際協力について、具体事例を交えながら、実践的な教育を行う。		
テキスト	特に指定しない。	ISBN	なし
参考書	①戦後補償から考える日本とアジア(日本史リブレット)内海 愛子　山川出版　2002年 ②友達を助けるための国際人権法入門　申 惠丰(著/文)桂川 潤(イラスト)　影書房 2020年 ③ヘイト・スピーチとは何か　師岡康子　岩波新書　2013年	ISBN	① ISBN:978-4-634-54680-6 ② ISBN:978-4-87714-486-9 ③ ISBN:9784004314608

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	法学部、西脇邦雄(元大阪府議会議員)と元大阪市の区長経験者である金谷一郎による それぞれの現場での活動を伝える実践的な授業。 日本もかつては移民国家だった。沖縄だけで16万人の人々がブラジルやペルーに移民し、日系人社会を築いてきた。 過去の歴史に学ぶとともに、地方自治体の取り組む多文化共生施策や自治体ODAと言われる 国際協力の取り組みにも関心を持ってほしい。 多文化共生の考え方を身につけてることは、国際水準の人権間感覚を養うことでもある。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス　授業の概要説明、 ・自己紹介学生同士も ・私の国際交流活動の紹介 ・中国での日本語教師で有名な元芸人笈川さんの国際協力の姿に学ぶ (西脇邦雄)	予習2時間　総務省地域の国際化の推進を読む https://www.soumu.go.jp/kokusai/ 復習2時間　新型コロナウイルス逆転の秘策、笈川さんの国際協力を調べる	4時間
第2回	オンデマンド	フィンランド教育や世界の学校現場を知り新しい学力観を理解する (西脇邦雄)	予習2時間　フィンランド教育のビデオクリップを視聴。フィンランドの地理について予習。 復習2時間　PISA調査が求める新しい学力観について配布資料を読み、PISA調査のテストに解答する。	4時間

第3回	対面	フィンランド教育の振り返り。在日コリアンの人権保障の歴史から日本の課題を考える ・韓流ブームの変遷を調べる。 ・人種、民族という概念をどう捉えるのか。 ・日本人意識の形成と周縁化された人々の人権補償、戦後補償の歴史を通じて多文化共生の課題を考える （西脇邦雄）	予習2時間　フィンランド教育PISA調査の振り返り。日本における韓流ブームの歴史や現状を調べる。 復習2時間　在日コリアンの存在と何が問題となってきたのか授業の復習を行う。	4時間
第4回	対面	BLMブラックライブズマター運動を知り、人種差別概念の問題点を考える ・肌の色の違いとはなにを意味するのか、人種の概念はいつ誰が作ったのか ・人種差別撤廃条約は何を定めているのか （西脇邦雄）	予習2時間　アメリカの人種差別の歴史をwebサイトで調べる。人種差別撤廃条約について調べる。 復習2時間　科学的人種主義や日本での人種差別問題を理解し、正しい知識はどのように獲得すればよいか考える。	4時間
第5回	対面	身近な国際交流1 私の街の紹介 （西脇邦雄）	予習2時間　私の街の紹介特に居住する地方自治体のHPなどを調べて、スライドを作成する。 復習2時間　発表者のスライドから街の特徴、食、観光などの魅力を考える。	4時間
第6回	対面	身近な国際交流2 私の街の紹介 （西脇邦雄）	予習2時間　私の街の紹介特に居住する地方自治体のHPなどを調べて、スライドを作成する。 復習2時間　発表者のスライドから街の特徴、食、観光などの魅力を考える。	4時間
第7回	対面	「多文化共生1マイクロアグレッション」 ・日常生活に埋め込まれた自分自身のマイクロアグレッション【小さな（マイクロ）攻撃性（アグレッション）】を発見し、 その言葉や行動における人種や文化背景、性別、障害、価値観など、自分と異なる人に対する無意識の偏見や無理解、差別心が含まれていることを実例を用いて体験する。 ・各自の発見や気付き共有し、各自の意識の違いも含め議論し合うことで、多文化共生の重要性を再確認する。 （金谷一郎）	予習2時間　マイクロアグレッションの意味と事例について予習する。 復習2時間　授業を振り返り、自身の体験から気づきや克服の方策を考える。	4時間
第8回	対面	「多文化共生2出会いと気づき」 ・昨年に実施された私立中学校の入試問題で出題された日本の外国人問題の歴史や多文化共生の課題を自分自身で実際に解き、 最先端の小学校教育の現状と課題を再認識し、各自の発見や気付きを共有する。 ・各自の発見や気付き共有することで、自分が受けてきた教育との違いを再認識し、 現代社会の課題・問題点を議論することで、多文化共生の重要性を再認識し、解決策について議論・考察する。 （金谷一郎）	予習2時間　ヘイトスピーチについて調べ、東京川崎大阪の事例について調べる。 復習2時間　小中学校での多文化共生教育の事例の資料を読み、これまでの教育で不足してた点を考える。	4時間
第9回	対面	「多文化共生3コミュニティの活性化」 ・学生自身（特に留学生）のコミュニティについて ・相談相手や困った時の支援などについて、自分自身の体験を共有することで、コミュニティの活性化特に留学生が関わるコミュニティの活性化について議論する。 母語・母国文化の重要性はもちろん、日本人・行政の認識の不十分性などを共有化して、解決策について議論し考察する。 （金谷一郎）	予習2時間　自身の住んでいる地域のコミュニティとしてどのような活動があるか調べる。 復習2時間　留学生の体験から困りごとの解決や支援について、また、留学生がいることが地域の活性化につながるか、 行政の視点も踏まえて考える。	4時間
第10回	対面	「多文化共生4生野区のおける多文化共生のまちづくり」 ・大阪市生野区における最先端の多文化共生社会の実現に向けた取り組みを紹介し、 在日韓国・朝鮮人問題はもとより、多くの国から来ている外国人（海外にルーツのある日本人を含む）問題に対する多くの課題を、 講師が研究した事例（「大阪市生野区における多文化共生のまちづくり拠点に関わる検討」コミュニティ政策１９　P137-161：コミュニティ政策学会編2021年10月発行）を紹介して 具体的な事例について、解決策を議論し考察する。 （金谷一郎）	予習2時間　外国籍住民が多く暮らす大阪市生野区コリアタウンについて調べる。 復習2時間　講師の論文を読み多文化共生のまちづくりの課題を考える。	4時間
第11回	対面	「多文化共生5教育行政の課題」 ・講師が在職していた大阪市の教育現場での多文化共生の取り組みの経過と現状を紹介する。 ・地域や各種支援団体と連携した取り組みを紹介することで、国・自治体の多文化共生施策の限界と可能性を議論し、解決策について考察する。 （金谷一郎）	予習2時間　文科省や大阪府のwebサイトから、外国籍の子どもの教育課題について調べる。 復習2時間　国、自治体の多文化共生施策の課題と限界について検討された内容を振り返る。	4時間
第12回	対面	日本式生活インフラの輸出1 ODAとは何か　JICAの組織事業を理解する これまでの授業について小テストによる理解度チェック （西脇邦雄）	予習2時間　政府のODAやJICAの組織や事業についてHPから調べる。 復習2時間　日本の立場から国際協力の必要性を理解し、関心のあるテーマを深める。	4時間
第13回	対面	日本式生活インフラの輸出2 北九州市の水道事業、環境技術の輸出について 関心が持てた生活インフラの輸出についてコメントシートを作成する。 （西脇邦雄）	予習2時間　北九州市の HPから取り組みを調べる。 復習2時間　北九州市のベトナム、ハイフォン市における水道事業 インドネシア、スラバヤ市におけるゴミの分別リサイクル事業について配布資料からその仕組みを理解する。	4時間
第14回	対面	日本式生活インフラの輸出3 東南アジアで問題となっているゴミ処理やリサイクル、上下水道の普及、交通渋滞や大気汚染などの環境問題に加え 高齢化社会の到来などの課題を共有し、日本がどのように解決策を講じているか考察する。 可能なら介護施設や生活介護の事業所、または歴史博物館にフィールドワークを行う。 （西脇邦雄）	予習2時間　厚生労働省や自治体のHPから介護保険サービスについて調べる。 復習2時間　それぞれの国の高齢化を調べ、介護サービスの必要性について考える。	4時間
第15回	対面	授業の振り返りと「新型コロナ感染症と人権～私たちはリテラシーに基づいて行動しているか」 （西脇邦雄）	予習2時間　　これまでの授業の資料、レポート課題について振り返りを行う。 復習2時間　多文化共生と国際協力の最大のテーマとしてパンデミックの克服がある。 感染症に対しリテラシーを持って行動しているか考える。	4時間

科目名	Introduction to International Law＜International Relations and Law＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語文献を通じた国際法の基礎知識の修得		
授業の目的及び概要	この授業は英語文献を用いながら日本語で行われる。授業では、テキストの問題提起を受けて、国家を巡る諸論点、主権国家とは、国際法はどこから生まれるか、国際法はどのように実現されるかなどに加え、武力行使、経済、人道・人権、環境、国際犯罪など具体的な国際法領域も広く取り扱う。この授業を通じて、国際法に関する導入的知識を修得するとともに、それに係る事項を英語で理解する力を身につける。テキストのほか、授業で取り上げる事例や国際文書をラーニングポータルで適宜紹介する。国際社会のルールに関する問題提起を英語で読み解き、まずは日本語で自身の意見を発信できるようになってもらいたい。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①国際法の英語の専門用語について理解し説明をすることができる。 ②国際ニュースや出来事を国際法の視点から説明することができる。 ③国際社会のルールに関する問題提起を英語で読み解き、(まずは日本語で、最終的には英語で)自身の意見を発信できるようになってもらいたい		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業では授業内容に関する問いを課し、授業終了時にリフレクションペーパーを提出する。リフレクションペーパーは次回授業でフィードバックするとともに、振り返りに活用し、授業の双方向性を確保する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	International Law: A Very Short Introduction, Vaughan Lowe, Oxford Univ Pr, 2016	ISBN	9780199239337
参考書	国際条約集, 植木俊哉・中谷和弘(編集代表), 有斐閣, 2022年	ISBN	9784641001589

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 国際法の基礎知識 Nations under law(第1章:主権国家とは？)	テキスト第1章pp.1-6を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第2回	対面	Nations under law(第1章:国家と人民)	テキスト第1章pp.6-14を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第3回	対面	Nations under law(第1章:国家承認と政府承認)	テキスト第1章pp14-18を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第4回	対面	Where does international law come from? (第2章:慣習国際法)	テキスト第2章pp19-28を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第5回	対面	Where does international law come from? (第2章:条約)	テキスト第2章pp28-38を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第6回	対面	Implementing international law(第3章:条約の国内実施)	テキスト第3章pp39-46を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第7回	対面	Implementing international law(第3章:国家責任)	テキスト第3章pp46-55を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第8回	対面	Freedom from external interferece(第4章:the jus in bello)	テキスト第4章pp56-64を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第9回	対面	Freedom from external interferece(第4章:the jus ad bellum)	テキスト第4章pp64-84を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第10回	対面	Sovereignty inside the State (第5章:管轄権)	テキスト第5章pp85-97を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間

第11回	対面	Sovereignty inside the State（第5章：法と管轄権）	テキスト第5章pp97-104を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第12回	対面	What international law does well（第6章：国際協力）	テキスト第6章pp105－112を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第13回	対面	What international law does well（第6章：経済、人権・人道）	テキスト第6章pp112-116を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間
第14回	対面	What international law does well（第6章：環境、国際犯罪）	テキスト第6章pp116-119を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4.5時間
第15回	オンデマンド	What international law does badly (or not at all)（第7章：まとめ） 授業のまとめと定期試験にむけた振り返り	テキスト第7章pp120-123を読み予習する。また授業後はテキスト該当部分およびレジュメを読み復習する。	4時間

科目名	国際経済学Ⅰ＜国際経済学＞	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	池上　寛	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバリゼーション下の国際経済を貿易を中心に考える		
授業の目的及び概要	国際経済学は、国民経済(その国のなかでの経済活動、経済取引のこと。国内経済、閉鎖経済とも言われる)と別の国民経済が国を超えて行う経済活動、経済取引(開放経済)について考える学問である。また、国家を超えて、財(モノ)・サービス、資本、労働の交換や移動によって、相手の経済だけではなく、自国の経済にも影響を与えることを調べる学問である。この講義では国際経済学の主要課題である国際貿易を中心に、海外投資や多国間協定等も取り上げる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際経済学の主要課題である国際貿易や海外投資についての考え方を理解するとともに、公表されているデータをつかって世界経済の状況について理解することを目標とする。適宜新聞やテレビで出てくる経済事象や日本の状況についても解説するので、これらについても理解できるようにする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回授業後に質問や疑問に思ったことを書いてもらい、それを次の講義の冒頭でフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	伊藤萬里・田中鮎夢著(2023)『現実からまなぶ国際経済学』有斐閣	**ISBN**	978-4-641-20001-2
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	60	**その他(%)**			
この科目の履修にあたって	この講義の理解を深めるために、世界経済論の履修を勧めます。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス(国際経済学とは？) 授業の進め方、評価についての説明	伊藤・田中(2023)の序章を事前に読み、かつ事後も理解を深めるために読むこと。	4時間
第2回	対面	マクロ経済の基礎(1):GDPについて(GDPの構成要素等) ＊国際経済学を知るには、マクロ経済学の基礎を知ることが必要である。そのため、国際経済学について本格に学習する前に、2回にわたってマクロ経済学の基礎を講義する	事前に講義資料をダウンロードし、それを目を通してくること。また、事後の復習も重要である。	4時間
第3回	対面	マクロ経済学の基礎(2):国際収支について(その見方、日本の状況について)	事前に講義資料をダウンロードし、それを目を通してくること。また、事後の復習も重要である。	4時間
第4回	対面	経済データから世界の状況を知る	伊藤・田中(2023)の第1章を事前事後学習をすること。	4時間
第5回	対面	グローバル化と保護主義を知る	伊藤・田中(2023)の第2章を事前事後学習をすること。	4時間
第6回	対面	企業活動のグローバル化について考える	伊藤・田中(2023)の第3章を事前事後学習をすること。	4時間
第7回	オンデマンド	技術と貿易を考える(オンデマンド講義)	伊藤・田中(2023)の第4章を事前事後学習をすること。	4時間
第8回	対面	生産要素と貿易(ヘクシャー=オーリン・モデル)について	伊藤・田中(2023)の第5章を事前事後学習をすること。	4時間
第9回	対面	規模の経済と貿易について考える	伊藤・田中(2023)の第6章を事前事後学習をすること。	4時間
第10回	対面	新しい貿易理論を考える	伊藤・田中(2023)の第7章を事前事後学習をすること。	4時間

第11回	対面	貿易政策について考える(その1)	伊藤・田中(2023)の第8章を事前事後学習をすること。	4時間
第12回	対面	貿易政策を考える(その2)	伊藤・田中(2023)の第9章を事前事後学習をすること。	4時間
第13回	対面	多国間の経済枠組みについて考える	伊藤・田中(2023)の第10章を事前事後学習をすること。	4時間
第14回	対面	グローバル化と経済格差について考える	伊藤・田中(2023)の第11章を事前事後学習をすること。	4時間
第15回	対面	全体のまとめ:講義を振り返り、国際経済における課題などを考える。	これまでに使用した資料を一通り目を通して出席すること。また、講義終了後は事後学習をすること。	4時間

科目名	国際経済学Ⅰ＜国際経済学＞	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	田畑　理一	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際経済学の中心的理論と説明である、貿易、為替レート(円高、円安)、国際収支を理解すること。		
授業の目的及び概要	国際経済学は、国家間の経済関係によって生じる問題について考察する学問である。この授業では、グローバル化が進む現代の経済情勢を理解するために必要な国際経済学の知識を身につけることを目標とする。具体的には、マクロ経済の基礎の学修、国際収支と為替レート、「比較優位」等の国際貿易の基礎理論や海外直接投資の理論について学修した後に、経済統合すなわちECおよびEU、FTA(自由貿易協定)、TPP(環太平洋連携協定)等の協定の意義について考察する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	マクロ経済学の基礎、貿易、国際収支、経常収支、為替レートなどの国際経済学の基本概念について理解し、為替レート変動の意味、国際収支表の見方が分かるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	コメントシートに毎回の授業の中心的テーマについて書いてもらって、適宜フィードバックし、次回の授業の内容に反映させる。また、授業期間の途中に800字程度のレポートを書いてもらい、授業の理解度を把握する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特にありません。	**ISBN**	なし
参考書	①『国際日本経済論』, 熊倉正修著, 昭和堂, 2015年 (本書は、日本経済について論じながら、国際経済の中で日本経済が抱える重要な経済問題を考察し、さらには、日本の政治・経済のあり方についてまで論じる意欲的な書物である。 ②『新・世界経済入門』, 西川潤著, 岩波新書, 2014年	**ISBN**	①9784812214312 ②9784004314820

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	この科目の学修は、いわゆる国際収支表およびその各項目の経済学的意味を理解することが最も重要である。そのためには、この表の作成の理論的背景であるマクロ経済学の基本を学んでいることが前提となるため、講義の最初の部分でマクロ経済学の説明を数回にわたって行う。一枚の表の意味を十全に理解することが簡単ではないことを知ってもらいたい。 授業での説明でわかりにくい人は、参考書(『国際日本経済論』熊倉正修著)の該当箇所を読んで欲しい。その上で分からない人は、授業の終わった後に、何が分からないかを質問してもらいたい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス:国際経済概論のガイダンスとして、経済主体(家計、企業、政府)と経済循環、そして国際経済との関係について考察する。経済学的思考についても考える。	熊倉正修『国際日本経済論』の第2章「国民経済の循環と産業構造」(20～36頁)を読んで、復習してください。	4時間
第2回	対面	マクロ経済学(1)	熊倉正修『国際日本経済論』の第2章「国民経済の循環と産業構造」(20～36頁)を読むこと。	4時間
第3回	対面	マクロ経済学(2):GDPと消費、投資の関係、これらについての単純モデルの説明。	熊倉正修『国際日本経済論』の第1章「一国の経済活動と国民経済計算」(2～19頁)を読んで、復習してください。	4時間
第4回	対面	マクロ経済学(3):GDPと消費、投資、貿易、海外投資、経常収支の関係(すなわちオープン・モデル)について説明する。	熊倉正修『国際日本経済論』の第4章「国際間の経済取引と国際収支」(55～70頁)を読んで、復習してください。	4時間
第5回	対面	貿易と国際収支:経常収支＝貯蓄－投資、の関係の意味と国際収支との関係について	熊倉正修『国際日本経済論』の第4章「国際間の経済取引と国際収支」(55～70頁)を読んで、復習してください。	4時間
第6回	対面	「国際収支表」:日本の国際収支表について各項目について詳細に説明する。	熊倉正修『国際日本経済論』の第4章「国際間の経済取引と国際収支」(55～70頁)を読んで、復習してください。	4時間
第7回	対面	「貿易と比較優位」:2財2国の比較生産費説から多数国の場合、さらにヘクシャー・オリーンの比較優位説の意味について説明する。	熊倉正修『国際日本経済論』の第6章「比較優位と貿易構造」(92～105頁)を読んで、復習してください。	4時間
第8回	対面	貿易、輸出と外国為替:輸出と支払い、為替取引について、並為替と逆為替の理解を通じて国際決済の仕組みについて学修する。	熊倉正修『国際日本経済論』の第3章「通貨と決済システム」(37～54頁)を読んで、復習してください。	4時間
第9回	対面	為替レートと購買力平価:購買力平価(絶対的、相対的)説と為替レートの関係の説明。	熊倉正修『国際日本経済論』の第13章「購買力平価と実質為替レート」(209～224頁)を読んで、復習してください。	4時間

第10回	対面	為替レートと金利平価：為替レートと金利平価との関係の説明。為替先物取引についても触れる。	熊倉正修『国際日本経済論』の第13章「購買力平価と実質為替レート」（176～191頁）を読んで、復習してください。	4時間
第11回	対面	直接投資と間接投資：直接投資と間接投資の関係、直接投資の経済発展にとっての意義の説明。	熊倉正修『国際日本経済論』の第5章「日本の経済構造と対外経済関係の変遷」（176～191頁）を読んで、復習してください。	4時間
第12回	対面	直接投資と経済開発：直接投資と経済開発との関連、外貨流入、技術移転、雇用、経済発展について考察する。	『新・世界経済入門』（西川潤、岩波新書）の第3章「変わりゆく多国籍企業と海外投資」（69～92頁）を読んで、復習してください。	4時間
第13回	対面	経済統合：AFTA（アセアン自由貿易協定）、EU（欧州連合）、NAFTA（北アメリカ自由貿易協定）などの経済統合について考察する。	『新・世界経済入門』（西川潤、岩波新書）の第1章「グローバル化 vs. 地域化」（20～49頁）を読んで、復習してください。	4時間
第14回	対面	グローバル経済：グローバル経済における投資や雇用、技術移転の問題の考察。	『新・世界経済入門』（西川潤、岩波新書）の第9章「南北問題、ODAと地域秩序」（220～270頁）を読んで、復習してください。	4時間
第15回	オンデマンド	「保護貿易と自由貿易」：国際経済のおける保護貿易と自由貿易、金融の自由化の意味について考え、全体のまとめを行う。	熊倉正修『国際日本経済論』の第17章「輸入関税と産業保護」（288～305頁）を読んで、復習してください。	4時間

科目名	国際経済学Ⅱ＜国際金融概論＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際金融における全般的な内容を学修します。		
授業の目的及び概要	この授業では、国際金融論の基礎知識を身につけることを目標とする。グローバル化が進む現代の経済情勢において、金融に関わるグローバル化の現象について理解することは、重要な意味をもつ。特にリーマンショックや欧州債務危機等について理解するためには国際金融論の知識が必要である。具体的には、国際収支と基礎理論、為替レートの決定理論、国際通貨、為替制度、国際金融市場とデリバティブ、国際金融の現実問題等について学修する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際金融の全体構造を説明できる。 ・外国為替の基礎的な仕組みを説明できる。 ・円相場や株価の動きを説明できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連する情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行います。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、参考書の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	国際金融の具体事例から国際金融の役割について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	対面	外国為替の基本構造と為替変動要因について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	対面	外国為替の基本と国や企業に与える影響について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	対面	企業、銀行の国際活動と国際金融について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第4章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	対面	国際収支の構成と各国の国際収支について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第4章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	対面	デリバティブの基本理論について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第3章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	対面	デリバティブの基本理論について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第3章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	対面	デリバティブ取引事例と問題点について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第3章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	対面	国際金本位制の成立と崩壊について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	対面	ブレトンウッズ体制の成立と崩壊について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	対面	欧州通貨統合について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	対面	国際通貨と国際金融危機について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第6章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	対面	今後の国際通貨体制の展望について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第6章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	対面	講義内容の総括をします。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	国際経済学Ⅱ＜国際金融概論＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際金融の全体把握		
授業の目的及び概要	この授業では、国際金融論の基礎知識を身につけることを目標とする。グローバル化が進む現代の経済情勢において、金融に関わるグローバル化の現象について理解することは、重要な意味をもつ。特にリーマンショックや欧州債務危機等について理解するためには国際金融論の知識が必要である。具体的には、国際収支と基礎理論、為替レートの決定理論、国際通貨、為替制度、国際金融市場とデリバティブ、国際金融の現実問題等について学修する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際金融の全体構造を説明できる。 ・外国為替の基礎的な仕組みを説明できる。 ・円相場や株価の動きを説明できる。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	小レポートについては、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	70	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連する情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行います。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、参考書の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	国際金融の具体事例から国際金融の役割について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	オンデマンド	外国為替の基本構造と為替変動要因について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	オンデマンド	外国為替の基本と国や企業に与える影響について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	オンデマンド	企業、銀行の国際活動と国際金融について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第4章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	オンデマンド	国際収支の構成と各国の国際収支について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第4章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	オンデマンド	デリバティブの基本理論について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第3章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	オンデマンド	デリバティブの基本理論について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第3章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	オンデマンド	デリバティブ取引事例と問題点について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第3章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	オンデマンド	国際金本位制の成立と崩壊について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	オンデマンド	ブレトンウッズ体制の成立と崩壊について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	オンデマンド	欧州通貨統合について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	オンデマンド	国際通貨と国際金融危機について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第6章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	オンデマンド	今後の国際通貨体制の展望について解説します。	【予習】事前学修として、参考書の第6章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	オンデマンド	講義内容の総括をします。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	環境経済論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	今井　健一	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	自然環境と私たち人間の経済活動との関係について学ぶ。		
授業の目的及び概要	本授業の目的は、環境問題を考える上で根幹をなす自然界のしくみとその価値を理解すると共に、環境問題の原因と対策を経済学的側面から学ぶことである。環境問題は多岐にわたるため、気候変動、海洋プラスチックごみ、、再生可能エネルギー、生物多様性など世界が注目するホットな問題に絞り、それらの現状、原因・背景、対策について考える。授業では、自然環境と私たち人間の経済活動との関係を理解する上で有用な経済学の概念(例えば、外部不経済)、そして自然科学の概念(例えば、生態系)の基本的内容について学んでいくが、これらの概念については、授業においてわかりやすく説明していく。授業では、ホットな環境問題に加え、現在、日本でも関心が高まりつつあるSDGs(持続可能な開発目標)もテーマの一つとして取り上げる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本授業における学修の到達目標は、(1)自然環境と人間の経済活動との関係、そして、その関係における根本的な課題を理解でき、さらに(2)環境経済学を学ぶことをとおして、環境問題を含む社会の諸問題を分析するための論理的思考力を身に付けることである。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業では課題を出す(調査を要する課題もあり)。これらの課題の回答内容については、授業にて解説・質疑応答・ディスカッションを行う。また優れた回答についてはクラスで紹介していく。中間試験については、採点した上で講評・解答解説・質疑応答を行う。これらのフィードバックをとおして、講義内容についての理解と関心をさらに深めていく。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しない。授業資料をテキストとする。	ISBN	なし
参考書	①環境経済学の第一歩, 大沼あゆみ・柘植隆宏, 有斐閣, 2021年 ②環境と社会, 中静　透・諸富　徹・大塚　直, 放送大学教育振興会, 2021年	ISBN	①9784641150898 ②9784595322761

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)		0	

この科目の履修にあたって	環境経済学は、経済学にたくさんある応用分野の一つです。よって、この授業で環境経済学を学ぶにあたっては、経済学の基盤であるミクロ経済学とマクロ経済学、特にミクロ経済学の入門レベルの知識が役立ちます。本授業で出てくる経済用語や経済概念を初めて聞く人にとっては、最初、難しく感じるかもしれませんが、何かを初めて学ぶときは何でもそうです。経済学を学んだことがない人でも理解できるよう、出来るだけわかりやすく説明していきます。環境問題を理解するためには、自然科学、社会科学、人文科学など科学全般の知識が役立ちます。自然科学は自然のしくみを理解する上で役立ちます。一方、経済学は、人間(特に人間の経済活動)と自然との関係を理解し、そして分析する上で役立ちます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	①授業の目的及び概要、学修の到達目標、授業計画、レポート試験等について、ガイダンスを行います。 ②環境経済学のイントロダクションとして、「環境と経済のバランス」について学ぶ。	【予習】シラバスを事前に読んでおいてください。 【復習】①シラバスを読み直し、授業で理解した内容を確認してください。②授業資料1「はじめに:環境と経済のバランス」を読み直し、講義で学んだ重要なポイントを確認してください。	2時間
第2回	対面	「ローカルな環境問題とグローバルな環境問題」の違いについて学ぶ。	【予習】授業資料2「ローカルな環境問題とグローバルな環境問題」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第3回	対面	環境問題を考える上で重要な概念である「環境容量」について学ぶ。	【予習】授業資料3「環境問題をより深く考える(1):環境容量とは」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第4回	対面	環境問題を考える上で有用な経済概念である「トレードオフ」と「経済的インセンティブ」について学ぶ。	【予習】授業資料4「環境問題をより深く考える(2):トレードオフと経済的インセンティブ」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間

第5回	対面	自然環境と人間の経済活動の関係に大きな影響をおよぼす経済のしくみについて、特に、ミクロとマクロの視点から学ぶ。	【予習】授業資料5「経済のしくみ(1):ミクロとマクロの視点」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第6回	対面	自然環境と人間の経済活動の関係に大きな影響をおよぼす経済のしくみを理解するため、特に、市場、価格、需要曲線、供給曲線について学ぶ。	【予習】授業資料6「経済のしくみ(2):市場、価格、需要曲線、供給曲線」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第7回	対面	経済概念である「公共財」について学ぶ。	【予習】授業資料7「環境問題をより深く考える(3):公共財」を事前に読んでおいてください。 【復習】①講義で学んだ重要なポイントを確認してください。②次回授業で実施される中間試験に備え、第1回～第7回授業の講義内容(課題内容も含む)を復習してください。	5時間
第8回	対面	①中間試験の実施 ②経済概念である「外部不経済と市場の失敗」について学ぶ。	【予習】授業資料8「環境問題をより深く考える(4):外部不経済と市場の失敗」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第9回	対面	①中間試験の講評・解答説明・質疑応答。 ②「持続可能な発展」と「SDGs」(持続可能な開発目標) について	【予習】授業資料9「SDGsの概要」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第10回	対面	「気候変動問題」:地球温暖化のメカニズムを学ぶ。	【予習】授業資料10「気候変動問題(1):地球温暖化のメカニズム」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第11回	対面	「気候変動問題」:CO2削減に向けたエネルギー政策を考える(再生可能エネルギー、原子力)	【予習】授業資料11「気候変動問題(2):CO2削減に向けたエネルギー政策を考える」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第12回	対面	資源をはじめとする自然が持つ様々な機能について学ぶ。	【予習】授業資料12「自然を考える(1):資源を提供してくれる自然」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第13回	対面	「生態系」、「生物多様性」、「里山」、「食物連鎖」といった概念をとおして、人間と自然の共存について考える。	【予習】授業資料13「自然を考える(2):自然との共存(生態系、生物多様性、里山、食物連鎖)」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第14回	対面	海洋プラスチックごみ問題を事例に「循環経済」について考えると共に、「物質収支」、「ライフ・サイクル・アセスメント」について学ぶ。	【予習】授業資料14「循環経済の構築」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要なポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第15回	オンデマンド	定期筆記試験に備えて、第1回～第14回授業の講義内容(課題内容も含む)における重要項目についての理解度を再確認することを目的として、オンデマンド授業を実施する。	【予習】第1回～第14回授業の重要ポイントを再度確認し、理解が不十分である項目についてはリストアップし、第15回オンデマンド授業の前日までにLearning Portalより提出してください。	5時間

科目名	比較経済論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	池上　寛	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代世界の主要な国の経済制度、経済体制を考察しながら、経済制度と市場経済のあり方の関連を考察する。		
授業の目的及び概要	この授業では、アメリカ、ヨーロッパ、ロシア、中国(および東南アジア)等の各国・地域の経済システムの特徴について、国際比較しながら理解することを目標とする。また、各国・地域の経済発展や旧社会主義諸国の市場経済への移行についても取り上げ、世界経済が市場経済システムによって一体化しつつある現状についても学修する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	18世紀半ばにイギリスで産業革命が始まって以来の市場経済(資本主義経済)の発展の歴史を知ること その後の世界経済が遂げてきた経済発展の歴史の中で市場経済がどのように変化、変容をしてきたかについて知ること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出されたコメントシートに対してフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定テキストはなし	ISBN	なし
参考書	シリーズ・現代の世界経済 (全9巻) そのうち、 ①加藤 一誠・地主 敏樹・村山 裕三編著(2012)『現代アメリカ経済論』ミネルヴァ書房。 ②梶谷 懐・藤井大輔編著(2018)『現代中国経済論(第2版)』ミネルヴァ書房。 ③久保 広正・田中 友義(2011)『現代ヨーロッパ経済論』ミネルヴァ書房。 ④吉井 昌彦・溝端 佐登史編著(2011)『現代ロシア経済論』ミネルヴァ書房。	ISBN	①9784623058693 ②9784623082247 ③9784623058709 ④9784623060368

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	比較経済論は世界各国の経済の比較を行うので、世界史とりわけ産業革命期以降のヨーロッパの歴史を学修していることが望ましい ただし、受講者は高校時代に世界史の学修を終了しているとは限らないので、世界史の知識は本講義の初めに講じる予定である。 受講者は世界経済の歴史、動向、世界の主要国の経済に関心をもってほしい。 本講義は世界各国の経済の歴史と現状をかいつまんで説明するため、世界経済における各国経済のあり方について短時間で学べるので効果的、効率的に学修できると考えている。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	比較経済論とは何かについて、初めに説明しておきたい。 長い歴史を持ち、世界の主要な地域大国でもある国々すなわち中国、アメリカ、ヨーロッパ、ロシア等の各国・地域の経済システムの特徴について、国際比較しながら理解することを目標とする。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第2回	対面	アメリカ経済について(1)。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第3回	対面	アメリカ経済について(2)。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第4回	対面	アメリカ経済について(3)。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第5回	対面	ヨーロッパとEUについて(1)。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

第6回	対面	ヨーロッパおよびEUについて（2）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第7回	対面	ヨーロッパおよびEUについて（3）。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第8回	対面	中国の政治と経済について（1）。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第9回	対面	中国の政治と経済について（2）。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第10回	対面	中国の政治と経済について（3）。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第11回	対面	ソ連・ロシアについて（1）。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第12回	対面	ソ連・ロシアについて（2）。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第13回	対面	経済連携の現状について。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第14回	対面	米中経済対立について。	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ：世界の経済体制と日本（オンデマンド講義）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

科目名	比較経済論	開講年度	2023年度春学期
担当者	田畑　理一	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代世界の主要な国の経済制度、経済体制を考察しながら、経済制度と市場経済のあり方の関連を考察する。		
授業の目的及び概要	この授業では、アメリカ、ヨーロッパ、ロシア、中国(および東南アジア)等の各国・地域の経済システムの特徴について、国際比較しながら理解することを目標とする。また、各国・地域の経済発展や旧社会主義諸国の市場経済への移行についても取り上げ、世界経済が市場経済システムによって一体化しつつある現状についても学修する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	18世紀半ばにイギリスで産業革命が始まって以来の市場経済(資本主義経済)の発展の歴史を知ってもらい、その後の世界経済が遂げてきた経済発展の歴史の中で市場経済がどのように変化、変容を被ってきたかについて知ることを目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出されたコメントシートに対してフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特にテキストはありません。	ISBN	なし
参考書	シリーズ　現在の世界経済 そのうち、 ①現代アメリカ経済論, 加藤 一誠、地主 敏樹、村山 裕三, ミネルヴァ書房, 2012年 ②現代中国経済論, 加藤弘之、上原一慶, ミネルヴァ書房, 2011年 ③現代ヨーロッパ経済論, 久保 広正、田中 友義, ミネルヴァ書房, 2011年 ④現代ロシア経済論, 吉井 昌彦、溝端 佐登史, ミネルヴァ書房, 2011年 以上のほかに、第9巻は世界経済と日本経済とのつながりを記述しているので、有益である。	ISBN	①9784623058693 ②9784623058761 ③9784623058709 ④9784623060368

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	比較経済論は、世界各国の経済の比較を行うので、世界史とりわけ産業革命期以降のヨーロッパの歴史を学修していることが望ましいが、受講者は高校時代に世界史の学修を終了しているとは限らないので、世界史の知識は本講義の初めに講じる予定である。 受講者は世界経済の歴史、動向、世界の主要国の経済に関心をもってほしい。 本講義は世界各国の経済の歴史と現状をかいつまんで説明するため、世界経済における各国経済のあり方について短時間で学べるので効果的、効率的に学修できると考えている。世界の経済について理解するには歴史的アプローチは効果的である。ただし、思い込みや偏見は無用である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	比較経済論とは何かについて、初めに説明しておきたい。 長い歴史を持ち、世界の主要な地域大国でもある国々すなわち中国、アメリカ、ヨーロッパ、ロシア等の各国・地域の経済システムの特徴について、国際比較しながら理解することを目標とする。	事前にシラバスをよく読んでおくこと。 配布したレジュメを用い、授業日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第2回	対面	アメリカ経済について(1)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第3回	対面	アメリカ経済について(2)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第4回	対面	アメリカ経済について(3)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	ヨーロッパとEUについて(1)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第6回	対面	ヨーロッパおよびEUについて(2)	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	ヨーロッパおよびEUについて(3)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	中国の政治と経済について(1)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間

第9回	対面	中国の政治と経済について(2)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	中国の政治と経済について(3)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと	4時間
第11回	対面	ソ連・ロシアについて(1)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと	4時間
第12回	対面	ソ連・ロシアについて(2)。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと	4時間
第13回	対面	ソ連・ロシアについて。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと	4時間
第14回	対面	米欧日と中ソの対立(新冷戦？)について。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと	4時間
第15回	オンデマンド	さまざまな国の政治と経済と日本。	配布したレジュメを用い、本日の講義内容を復習しておくこと	4時間

科目名	Contemporary Economic Issues	開講年度	2023年度秋学期
担当者	今井　健一	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語で日本国内外における経済の動向について学ぶ。		
授業の目的及び概要	本授業は、英語で日本国内外における経済の動向について学ぶ。基本的にはテキストの内容に沿って、授業を進めていく。具体的には、まず、"物価"、"雇用"、"消費・貯蓄"、"投資"、"金融機関の役割"、"外国為替"など基礎的な経済用語について英語で復習(理解の再確認)すると共に、それらに関連した実際の経済の動きについて学んでいく。さらに、"国際貿易"、"アジア経済"、"ヨーロッパ経済"など日本国内外の経済の動きについても学んでいく。授業では、以上の内容を英語で学んでいくわけであるが、次のことを実践してほしい。第一に、各授業テーマに関連したテキスト該当ページあるいは指定文献を熟読すると共に、初めて出くわす経済用語・経済概念については、自身で調べ理解しておくこと(この能動的学びは、テキストの内容を理解し、授業でのレクチャー、質疑応答、ディスカッションでの理解を深めるために極めて重要)。第二に、授業で出題される質問・課題についても、自身で調べ積極的に取り組むこと(この能動的学びも、授業内容の理解を深め、かつ英語力を高めるために極めて重要)。期末試験は、英語によるレポート作成を予定。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業の学修の主な目標は以下の通りである。 1. 日本・世界の経済動向に関する英語文献を読み、正確に内容を理解できる力を高める。 2. 日本や世界の経済動向について英語で質問し、英語で説明できる力を高める。 3. 日本や世界の経済動向について調べた結果を英語でまとめ、英語で書く力を高める。 4. 総合的な英語でのコミュニケーション力を高める。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で出題される課題について、調査、分析、調査・分析結果のサマリー作成、そしてプレゼンテーション(Q&A、ディスカッションを含む)を行う。このようなプロセスを通して、授業で学んだ経済テーマについての理解を深めていくと共に、他のプレゼンテーションを聞くことでテーマについての視野を広げていく。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Studying the Japanese and World Economies(英語で学ぶやさしい経済), 栗原　裕 他, 朝日出版社, 2006年	ISBN	9784255154244
参考書	①The Japanese Economy, second edition, Takatoshi Ito・Takeo Hoshi, The MIT Press, 2020 ②Population and the Japanese Economy: Longevity, Innovation, and Economic Growth, Hiroshi Yoshikawa・Charles Stewart, 出版文化産業振興財団(JPIC), 2020 ③経済ニュース英語リーディング教本, 小西和久, 朝日出版社, 2007	ISBN	①9780262538244 ②9784866580562 ③9784255004099

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	この科目は英語で日本国内外の経済の動きを学びます。このように英語で特定の分野を学ぶことを一般的に「Content-based English」と呼びます。本科目を履修するにあたっては、(1) 経済学入門程度の経済についての知識がある(または1・2年次の時に経済関連科目を履修している)こと、加えて、(2) 英語力、例えばTOIEC 600点以上あることが、望ましいと言えます(但し、必須ではありません)。以上の2点を満たしていなくても、"是非、本科目を履修して、日本国内外の経済を学び、そして英語力も高めたい"と高い意欲を持っている人は、是非履修してください。また、迷っている人は、第1回目の授業に出席し、担当教員に相談してみて下さい。皆さん、本科目で「日本と世界の経済を学び、そして英語力も高める」一石二鳥の実現にチャレンジしましょう！
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	①授業の目的及び概要、学修の到達目標、テキスト、授業計画等について、ガイダンスを行う。 ②授業開始に先立っての簡単なアンケート調査および英語力小テストの実施(事前準備は不要)。	【予習】シラバスとテキスト"Studying the Japanese and World Economies"の「はじめに」と「Contents」(目次)を事前に読んでおく。 【復習】シラバスを読み直し、講義で得た内容を確認する。	2時間
第2回	対面	What Is Inflation? (物価が上がる、下がるーインフレーションとは？)	【予習】テキストのChapter 2を事前に熟読し、内容を理解する。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第3回	対面	What Is Unemployment? (仕事を得る、仕事を失うー失業とは？)	【予習】テキストのChapter 3を事前に熟読し、内容を理解する。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第4回	対面	Consumption and Saving (お金を使う、お金を貯めるー消費と貯蓄)	【予習】テキストのChapter4を事前に熟読し、内容を理解する。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間

第5回	対面	What Is Investment?（企業がお金を使う―投資とは？）	【予習】テキストのChapter5を事前に熟読し、内容を理解する。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第6回	対面	What Is the Bank of Japan？（「金融政策」の実施―日本銀行とは？）	【予習】テキストのChapter6を事前に熟読し、内容を理解する。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第7回	対面	①What Do Banks Do?（お金を預ける、お金を借りる、振込みをする―銀行の仕事は？） ②【課題1】の説明：課題内容、調査・分析結果のサマリー作成、プレゼンテーションについて	【予習】テキストのChapter7を事前に熟読し、内容を理解する。 【復習】【課題1】について調べ、その調査・分析結果のサマリーを作成し、次回の授業でサマリー内容を発表する準備をすること。	6時間
第8回	対面	【課題1】のプレゼンテーション（全員）	【予習】プレゼンテーション準備	4時間
第9回	対面	What Is Exchange Rate?（円をドルに交換したい―為替レートとは？）	【予習】テキストのChapter8を事前に熟読し、内容を理解することに努める。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第10回	対面	What Is International Balance of Payments?（国にも黒字や赤字―国際収支とは？）	【予習】テキストのChapter9を事前に熟読し、内容を理解す。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第11回	対面	Financial Policy and Fiscal Policy（景気を良くしたい―金融政策と財政政策）	【予習】テキストのChapter 10を事前に熟読し、内容を理解すること。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第12回	対面	Trade Policy（経済摩擦の原因にも―貿易政策）およびWTO and IMF（貿易と金融の世界的なルール―WTOとIMF）	【予習】テキストのChapter 11 & Chapter 12を事前に熟読し、内容を理解すること。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第13回	対面	① Asia's Development（アジアの時代？―成長するアジア） ②【課題2】の説明：課題内容、調査・分析結果のサマリー作成、プレゼンテーションについて	【予習】テキストのChapter 13を事前に熟読し、内容を理解すること。 【復習】【課題2】について調べ、その調査・分析結果のサマリーを作成し、次回の授業でサマリー内容を発表する準備をすること。	6時間
第14回	対面	【課題2】のプレゼンテーション（全員）	【予習】プレゼンテーション準備	4時間
第15回	オンデマンド	レポート試験（定期試験）についての説明	【予習】事前に配布される“レポート試験”説明資料を読んでおくこと。	2時間

科目名	経営管理論＜経営管理概論＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	水野　清	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代社会の基本的問題として経営管理をとらえ、全般について基礎から専門科目へステップアップするための基本内容を学修します。		
授業の目的及び概要	この授業では、「古典的管理論」と「近代管理論」の議論を検討し経営管理論の全体像を明らかにし、モティベーションやリーダーシップについて講義を展開します。 また、「組織内部のマネジメント」等について理解を深めます。 この授業を受講することにより、経営の知識を活かしながら考え、企業、行政、NPOなどでマネジメント能力を発揮し、地域や企業の発展に貢献できる基本的な知識の修得を目的とします。		
履修の条件・注意	「国際経営基礎＜経営学概論＞」、「国際ビジネス概論」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際的なビジネスを担う人材に必要な素養を身につけるとともに、社会で実際におこっている事象について経営学的な観点から分析することができるようになることを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間レポートについては、授業内で解説し、フィードバックします。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティング戦略の企画・立案や組織のマネジメント業務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	上野恭裕・馬場大治編著『経営管理論』(中央経済社,2016年)	ISBN	978-4-502-19061-2
参考書	P・ドラッカー著, 上田惇生訳『マネジメント　基本と原則』(ダイヤモンド社 ,2001年)	ISBN	978-4478410233

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	60	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業は国際ビジネス科目群に位置付けられており、実学としての”使える”経営学を学修することを目指しています。 企業経験も織り混ぜながら具体的な組織マネジメントについて実践的な内容を提供します。 日頃から日本経済新聞やビジネス誌を読んで、世界や日本の経営事情に関する出来事を把握してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	「ガイダンス」 この科目の目的・目標、授業の進め方・受け方、成績評価などについて、授業計画の詳細とともに説明します。 「マネジメントの誕生(1)」 ①科学的管理法について学修します。	(事前学修) この科目のシラバスを読み込み、受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。また、テキストの第1章を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第3章の当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	対面	「マネジメントの誕生(2)」 ②人間関係論③マネジメントへの役立ちについて学修します。	(事前学修) テキストの第3章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第3章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第3回	対面	「組織マネジメントの展開(1)」 ①個人と組織②組織の存続条件について学修します。	(事前学修) テキストの第4章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第4章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間

第4回	対面	「組織マネジメントの展開(2)」 ③意思決定のマネジメント④組織マネジメントの価値について学修します。	(事前学修) テキストの第4章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第4章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第5回	対面	「モティベーション論(1)」 ①モティベーションとは②実体理論―人は何によって意欲が生まれるのか―について学修します。	(事前学修) テキストの第5章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第5章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第6回	対面	「モティベーション論(2)」 ③プロセス理論④モティベーションを生み出すマネジメントについて学修します。	(事前学修) テキストの第5章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第5章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第7回	オンデマンド	「第1回～第6回の学修内容の再確認」 第1回～第6回までに学修してきた内容の再確認を進めるため、実在する企業の取り組む組織変革についての事例を取り上げ、これまで学修した理論を使ってどのように考えられるのかを確認します。	(事前学修) あらためてテキストの第3章～第5章、当該部分のレジュメ資料、ノートを一通り読み返し、わからない所がないようにしておいて下さい。 また、当該部分のレジュメ資料を一通り読み込み、予習して下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第8回	対面	「リーダーシップ論(1)」 ①リーダーシップの基礎②リーダーシップのコンティンジェンシー理論について学修します。	(事前学修) テキストの第6章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第6章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第9回	対面	「リーダーシップ論(2)」 ③トップとミドルのリーダーシップ④リーダーシップ研究の新展開について学修します。	(事前学修) テキストの第6章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第6章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第10回	対面	「組織構造のマネジメント(1)」 ①組織構造とは何か②官僚制組織について学修します。	(事前学修) テキストの第7章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第7章当該部分、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第11回	対面	「組織構造のマネジメント(2)」 ③組織形態④組織構造の発展について学修します。	(事前学修) テキストの第7章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第7章当該部分、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第12回	対面	「組織文化のマネジメント(1)」 ①組織文化とは何か②組織文化の機能と逆機能③組織文化の形成と変革について学修します。	(事前学修) テキストの第8章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第8章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第13回	対面	「組織文化のマネジメント(2)」 ③組織文化の形成と変革について学修します。	(事前学修) テキストの第8章、当該部分のレジュメ資料を一通り読み、予習して下さい。 (事後学修) テキストの第8章、当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第14回	対面	「第8回～第13回の学修内容の再確認」 第8回～第13回までに学修してきた内容の再確認を進めるため、実在する企業の取り組む戦略についての事例を取り上げ、これまで学修した理論を使ってどのように考えられるのかを確認します。	(事前学修) あらためてテキストの第6章～第8章、当該部分のレジュメ資料、ノートを一通り読み返し、わからない所がないようにしておいて下さい。 (事後学修) 当該部分のレジュメ資料、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第15回	対面	「全体のまとめ」 これまで取り扱ってきた内容について振り返るとともに、あらためて重要なポイントは何かについて確認します。	(事前学修) あらためてテキストの第3章～第8章、当該部分のレジュメ資料、ノートを一通り読み返し、わからない所がないようにしておいて下さい。 (事後学修) 授業で確認された重要ポイントを中心にテキスト、レジュメ資料、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	経営戦略論	開講年度	2023年度春学期
担当者	川島　隆志	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	経営戦略の基本的な概念・理論を学修する		
授業の目的及び概要	経営戦略を中心に、「戦略」の基本的な概念・理論の基本を理解し、その実行をどのように実現するかを学修する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①「戦略」の基本的な考え方を理解し、説明することができる。 ②経営環境分析に関する基本的な概念・理論を理解し、説明することができる。 ③基本戦略、製品ライフサイクル別戦略、市場地位別戦略、資源アプローチ、事業ドメイン、成長戦略などに関する基本的な概念・理論を理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内の課題、問題については、適宜授業内でフィードバックやコメント、アドバイスを行います。小レポート等の優秀なレポートについては授業中に紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティングリサーチ及び分析、経営戦略などの職務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	「1からの戦略論」[第2版] 嶋口充輝(2016)碩学舎　中央経済社	ISBN	ISBN 978-4-502-16741-6
参考書	「戦略サファリ」第2版 ー戦略マネジメント・コンプリート・ガイドブックー　ヘンリー ミンツバーグ他(2012)東洋経済新報社 「経営学入門」上、下　榊原清則(2013)日経文庫	ISBN	「戦略サファリ」第2版 (978-4492533192) 「経営学入門」上 (978-4532112820)、下 (978-4532112837)

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	10	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	80	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	企業・組織を長期的に維持・成長させていくためには、戦略をもって経営していく必要があります。戦略という言葉は良く使用されますが、その意味は、曖昧であることに気づかされます。本科目で、戦略の基本を押さえて組織・企業が魅力的な未来行動が選択できる意思決定ができるよう学修します。そのためには、講義ノートを作成することが重要となります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	はじめに　本講義の概要 「戦略」への招待	【予習】シラバスとガイダンス資料を事前に読む。 【復習】講義で得た知識を確認。	4時間
第2回	対面	経営環境分析① 業界構造分析	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第3回	対面	経営環境分析② PEST分析 3C分析とSWOT分析	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第4回	対面	基本戦略	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第5回	対面	製品ライフサイクル別の戦略	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第6回	対面	市場地位別の戦略	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第7回	対面	リソース・ペースト・ビュー	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第8回	対面	戦略的事業システムの構築	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第9回	対面	事業領域(ドメイン)	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間

第10回	対面	成長戦略	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第11回	対面	PPMの戦略的意義	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第12回	対面	戦略的CSRの取組み	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第13回	対面	戦略と経営組織	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第14回	対面	企業・組織変革	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第15回	オンデマンド	オンデマンド授業回 授業全体の総括 最終レポートの解説	【予習】これまでの配布資料とノートを事前に読みなおし、疑問点を明確にする。 【復習】これまでの資料とノートをまとめなおし、総復習する。	4時間

科目名	経営戦略論	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	金　信行	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	具体的なケースから経営戦略を理解する		
授業の目的及び概要	本科目は、現実の企業が展開する経営戦略に関するケースを読み解きながら、経営戦略の基本概念や基礎理論の習得を目指すものです。第2回～第10回授業では、例えばすかいら一く、幸楽苑、パーク24、コマツ、ヤマトホールディングス、ソニーなどの企業による実際の経営戦略の事例であるケースから「需要量と供給量の一致」や「イノベーションのジレンマ」などの経営戦略の基本概念について理解を深めます。そして第11回～第14回授業では、「経営環境」、「事業戦略」、「企業戦略」、「経営組織」という四つのテーマに着目して、ケースを織り交ぜながら経営戦略の基礎理論を学んでいきます。受講者の皆さんの授業への理解度を鑑みて、授業内容を適宜調整する可能性があります。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目では、以下の三点を到達目標とします。 ・企業が近年展開した実際の経営戦略のケースについて、豊富な知識を身につけられていること。 ・標準的な経営戦略の概念やフレームワークについて、ケースに即して十分に理解し説明できること。 ・「経営環境」、「事業戦略」、「企業戦略」、「経営組織」の四つのテーマから成る経営戦略論の全体像を具体的に把握できること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎授業皆さんにご提出いただくコメントシートの内容について、次回以降の授業でコメントします。 ・前回授業の内容について受講者の理解を確認する質疑応答を、毎授業行います。 ・必要に応じて、授業中に追加資料の配布や文献紹介を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	ゼロからの経営戦略, 沼上幹, ミネルヴァ書房, 2016年.	**ISBN**	978-4-623-07832-5
参考書	1からの戦略論〈第2版〉, 嶋口充輝ほか編, 碩学社, 2016年.	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	・大学での学修では、授業への参加だけでなく、関心をもった事柄について自ら情報を集めて思考を深める主体性が重要です。受講者の皆さんが本科目の履修を通じて、本科目で学んだ内容をテキスト以外の企業活動の事例の考察に応用したり、より専門的な内容について読書を行うなど、主体的な学修へ足を踏み出してくだされば、担当教員としてこれ以上嬉しいことはありません。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回　イントロダクション	[予習]シラバスの内容について概要を理解し、テキストの各章を概観することで本科目の全体像を適宜把握してください。 [復習]授業の配布資料を参照して復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	第2回　市場をつかみ、狙いを定める	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第3回	対面	第3回　成熟した社会で自社の強みを見直す	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第4回	対面	第4回　個人事業主から「経営者」に脱皮する	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第5回	対面	第5回　先手を取り、進化を続ける	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

第6回	対面	第6回　最初の意図を超えて広がるイノベーション	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第7回	対面	第7回　業界の中でニッチャーとして生きる	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	第8回　経営資源を何に投じるか	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第9回	対面	第9回　業界の構造変化を見通し、勝ち残る	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第10回	対面	第10回　イノベーションをめぐる諸問題	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	第11回　経営環境	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	第12回　事業戦略	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	第13回　企業戦略	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	第14回　経営組織	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15回　これまでの講義内容のまとめ	[予習]これまでの授業で扱ったテキストの講読範囲を再度読み直し、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

科目名	マーケティング論	開講年度	2023年度春学期
担当者	川島　隆志	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	マーケティングの基本について、主に企業活動の観点から学修する。		
授業の目的及び概要	企業など製品・サービス提供組織が生活者・顧客・ユーザー等へ働きかける際に重要になるのがマーケティングという考え方です。本科目は、マーケティングの基本的な考え方、企業など組織がどのようなマーケティング活動をしているのかを理解してもらい、今後マーケティング志向の意思決定ができるよう講義する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①マーケティングの基本的な考え方を理解し、説明することができる。 ②STP、4P、マーケティング・マネジメント、リレーションシップ、ブランド、などの専門用語を理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内の課題、問題については、適宜授業内でフィードバックやコメント、アドバイスを行います。小レポート等の優秀なレポートについては授業中に紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティングリサーチ及び分析、経営戦略などの職務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	指定しません。	ISBN	指定しません
参考書	「大学生4年間のマーケティングが10時間でざっと学べる」阿部誠(2020)角川文庫 ISBN-13 : 978-4-04-604569-0 「1からのマーケティング」[第4版]石井淳蔵他(2019)碩学舎　中央経済社 ISBN-13 : 978-4502327711 「マーケティング」池尾恭一　他　(2010)有斐閣　ISBN-13 : 978-4641053731	ISBN	「大学生4年間のマーケティングが10時間でざっと学べる」ISBN-13 : 978-4-04-604569-0 「1からのマーケティング」ISBN-13 : 978-4502327711 「マーケティング」ISBN-13 : 978-4641053731

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	10	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	80	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	マーケティング・コンサルタントの経験を持つ担当教員が、マーケティングの枠組みを理解できるよう事例を紹介しながら講義します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	はじめに　本講義の概要 マーケティングへの招待	【予習】シラバスとガイダンス資料を事前に読む。 【復習】講義で得た知識を確認。	4時間
第2回	対面	マーケティングの基本的な考え方	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第3回	対面	市場を理解する マーケティング・リサーチ	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第4回	対面	消費者行動と購買行動	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第5回	対面	産業市場と購買行動	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第6回	対面	競争環境分析	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第7回	対面	市場セグメントとターゲットの選定とポジショニング	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識	4時間
第8回	対面	マーケティング戦略 前半のまとめ	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第9回	対面	製品・ブランドに関する意思決定	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間

第10回	対面	価格に関する意思決定	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第11回	対面	チャネル（流通）に関する意思決定	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第12回	対面	コミュニケーションとプロモーション・ミックスに関する意思決定	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第13回	対面	リレーションシップ・マーケティング	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第14回	対面	グローバル市場への戦略設計	【予習】配布資料を事前に読む。 【復習】配布資料と講義で得た知識をノートにまとめる。	4時間
第15回	オンデマンド	オンデマンド授業回 授業全体の総括 最終レポートの解説	まとめノートを参考に試験を実施	4時間

科目名	マーケティング論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金　信行	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	具体的なケースからマーケティングを理解する		
授業の目的及び概要	本科目は、具体的な企業の製品やサービスに関するマーケティングのケースを詳細に検討することで、マーケティング戦略の基本枠組みやその今日的課題の把握を目指すものです。各回授業では、例えばCASIO、ドトール、スターバックス、伊藤園、東京ディズニーリゾートなどの企業による実際のマーケティング活動のケースについて詳しく学ぶことを通じて、STP(セグメント、ターゲティング、ポジショニング)や4P(製品、価格、流通チャネル、プロモーション)といった戦略／戦術的マーケティングの基本枠組み、そしてブランド構築などの今日的課題やウェブマーケティングのような新たな展開について理解を深めます。 受講者の皆さんの授業への理解度を鑑みて、授業内容を適宜調整する可能性があります。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目では、以下の三点を到達目標とします。 ・マーケティング活動の実践例について、豊富な知識を身につけられていること。 ・戦略／戦術的マーケティングの基本枠組みについて、十分に理解し説明できること。 ・マーケティングの今日的課題と新たな展開について、知識を踏まえて考察を展開できること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎授業皆さんにご提出いただくコメントシートの内容について、次回以降の授業でコメントします。 ・前回授業の内容について受講者の理解を確認する質疑応答を、毎授業行います。 ・必要に応じて、授業中に追加資料の配布や文献紹介を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	ケースに学ぶマーケティング，青木幸弘，有斐閣，2015年.	ISBN	978-4-641-18426-8
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	・大学での学修では、授業への参加だけでなく、関心をもった事柄について自ら情報を集めて思考を深める主体性が重要です。受講者の皆さんが本科目の履修を通じて、本科目で学んだ内容をテキスト以外の企業活動の事例の考察に応用したり、より専門的な内容について読書を行うなど、主体的な学修へ足を踏み出してくだされば、担当教員としてこれ以上嬉しいことはありません。 ・初回授業で詳しく説明しますが、受講者のうち希望する方で自主的に取り組んでいただく課題については、出来栄え次第では大幅な加点を差し上げることがありますので、チャレンジを是非ご検討ください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回　イントロダクション	[予習]シラバスの内容について概要を理解し、テキストの各章を概観することで本科目の全体像を適宜把握してください。 [復習]授業の配布資料を参照して復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	第2回　マーケティングを学ぶ	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第3回	対面	第3回　競争戦略	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第4回	対面	第4回　セグメンテーションとターゲティング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第5回	対面	第5回　ポジショニング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

第6回	対面	第6回　消費者行動とマーケティングリサーチ	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第7回	対面	第7回　新製品開発	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	第8回　価格戦略	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第9回	対面	第9回　流通チャネル戦略	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第10回	対面	第10回　マーケティングコミュニケーション	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	第11回　ブランド構築	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	第12回　サービスマネジメント	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	第13回　経験価値マーケティング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	第14回　ウェブマーケティング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15回　これまでの講義内容のまとめ	[予習]これまでの授業で扱ったテキストの講読範囲を再度読み直し、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

科目名	経営情報論＜経営情報概論＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金　信行	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	情報通信技術と人間／組織／社会との相互依存性の視点から現代の情報化実践とビジネス変革を理解する		
授業の目的及び概要	本科目は、情報通信技術が人間／組織／社会と相互依存的に成立しているという視座を基に、現代の情報通信環境を反映した経営情報論の全体像の把握を目指すものです。本科目では、デジタル情報技術が高度に発達したDX(Digital Transformation)環境における情報化実践とビジネス変革が、情報通信技術と人間／組織／社会との相互作用を通じてどのように成立しているのかを考えていきます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目では、以下の三点を到達目標とします。 ・情報通信技術と人間／組織／社会との相互依存性という最新の経営情報論の視座を身につけられていること。 ・現代のDX環境の情報化実践について十分に理解し説明できること。 ・DX環境がビジネスだけでなく日常までも幅広く支えている現代の情報化社会について、知識を踏まえて考察を展開できること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎授業皆さんにご提出いただくコメントシートの内容について、次回以降の授業でコメントします。 ・前回授業の内容について受講者の理解を確認する質疑応答を、毎授業行います。 ・必要に応じて、授業中に追加資料の配布や文献紹介を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	現代経営情報論, 遠山暁・村田潔・古賀広志, 有斐閣, 2021年.	ISBN	978-4-641-22178-9
参考書	経営情報論(新版補訂), 遠山暁・村田潔・岸眞理子, 有斐閣, 2015年.	ISBN	978-4-641-22057-7

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	・大学での学修では、授業への参加だけでなく、関心をもった事柄について自ら情報を集めて思考を深める主体性が重要です。受講者の皆さんが本科目の履修を通じて、本科目で学んだ内容をテキスト以外の企業活動の事例の考察に応用したり、より専門的な内容について読書を行うなど、主体的な学修へ足を踏み出してくだされば、担当教員としてこれ以上嬉しいことはありません。 ・初回授業で詳しく説明しますが、受講者のうち希望する方で自主的に取り組んでいただく課題については、出来栄え次第では大幅な加点を差し上げることがありますので、チャレンジを是非ご検討ください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回　イントロダクション	[予習]シラバスの内容について概要を理解し、テキストの各章を概観することで本科目の全体像を適宜把握してください。 [復習]授業の配布資料を参照して復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	第2回　経営情報論の基礎	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第3回	対面	第3回　経営情報論の基礎理論	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第4回	対面	第4回　経営情報システム観の変遷	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第5回	対面	第5回　情報通信技術の進展と組織	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

第6回	対面	第6回　経営情報システムの設計・開発	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第7回	対面	第7回　経営情報システムの管理	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	第8回　情報通信技術を活用したビジネスイノベーション	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第9回	対面	第9回　ネットビジネス	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第10回	対面	第10回　情報通信技術と組織コミュニケーション	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	第11回　ビジネスインテリジェンスとナレッジマネジメント	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	第12回　情報通信技術と社会	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	第13回　これからの経営情報論と情報化実践	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	第14回　ウェブマーケティング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15回　これまでの講義内容のまとめ	[予習]これまでの授業で扱ったテキストの講読範囲を再度読み直し、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

科目名	流通システム論	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	二替　大輔	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	流通の存在意義について理解し，企業の流通戦略を理論的に検討する。		
授業の目的及び概要	本講義では，流通の存在根拠を理解し，企業の流通戦略を理論的に検討することを目的とします。具体的には，流通の構造，流通の登場人物間の関係および流通の経済理論を用いた分析手法について学習していきます。講義では，流通に関する基本的な事項，卸売業，小売業の構造，流通現象を経済学的に考えるための基礎知識を解説します。そして，流通に関わる卸売業者や小売業者の戦略，および流通現象の経済学的評価方法について検討していきます。また，講義内容の理解を深めるために問題演習を実施します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	流通の存在根拠を理解し，説明することができる。 生産者，卸売業者，小売業者の関係性について理解し，説明することができる。 現実に見られる流通に関わる企業の行動について，理論的に説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	問題演習については，採点した上で返却します 期末試験については，UNIVERSAL PASSPORTで解答・解説を公開します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	はじめての流通　新版，崔容熏・原頼利・東伸一，有斐閣，2022年	**ISBN**	9784641151031
参考書	①1からの流通論(第2版)，石原武政・竹村正明・細井謙一(編著)，2018年 ②現代商業学 新版，高嶋克義，2012年	**ISBN**	①9784502283611 ②9784641124646

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	0	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	10	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	新聞等で流通に関する記事について関心を持ってください。講義内容の理解が進みます。 また，この講義を学ぶことで，様々な流通に関わる現象を理論的に考えられるようになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	流通とはなにか：流通の定義と流通を学ぶ必要性について理解する。	【予習】：テキスト第0章を読んで商業の基本的な内容について予習すること 【予習】：授業で配布した資料とテキスト第0章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第2回	対面	流通の役割：流通の登場人物と存在意義について理解する。	【予習】：テキスト第1章を読んで流通の基礎について予習すること 【予習】：授業で配布した資料とテキスト第1章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第3回	対面	小売業の役割：小売業の社会的役割について理解する。	【予習】：テキスト第2章を読んで小売業の特徴について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第2章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第4回	対面	小売フォーマットと小売店舗形態：様々な小売店舗の形態について理解する。	【予習】：テキスト第3章を読んで小売流通の形態について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第3章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第5回	対面	プライベート・ブランド(PB)の展開：小売業者のPBの開発の目的とその条件について理解する。	【予習】：テキスト第4章を読んでPBの仕組みについて予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第4章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第6回	対面	卸売業の役割：卸売業者の役割について理解する。	【予習】：テキスト第5章を読んで卸売業者の役割について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第5章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間

第7回	オンデマンド	全半のまとめ：前半の内容についての復習を行う。	【予習】：テキスト第1章～第5章を読んで理解できなかったところをまとめておくこと 【復習】：授業で配布した資料を使って，前半の内容を復習すること	4時間
第8回	対面	マーケティング・チャネルの役割：流通における生産者（メーカー）の行動について理解する。	【予習】：テキスト第6章を読んでマーケティング・チャネルについて予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第6章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第9回	対面	情報技術の発達と流通：流通における情報技術の影響について理解する。	【予習】：テキスト第7章を読んで流通と情報技術の関係について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第7章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第10回	対面	物流の役割：流通過程における商品の流れ（物流）の流通過程に与える影響を理解する。	【予習】：テキスト第8章を読んで物流管理について予習すること 【予習】：授業で配布した資料とテキスト第8章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第11回	対面	グローバル流通：流通における国際化の問題について理解する。	【予習】：テキスト第9章を読んで流通に国際化について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第9章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第12回	対面	サービス財の流通：無形の商品（サービス財）に流通について理解する。	【予習】：テキスト第10章を読んでサービス財について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第10章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第13回	対面	産業財の流通：企業や組織向けに販売される商品（産業財）の流通について理解する。	【予習】：テキスト第11章を読んで産業財について予習すること 【復習】：授業で配布した資料とテキスト第11章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第14回	対面	流通政策とまちづくり：流通の社会的役割と流通政策について理解する。	【予習】：テキスト12章を読んで流通の社会的役割と流通政策について予習すること 【復習】：テキスト12章を読み直し授業内容の復習をすること	4時間
第15回	対面	講義内容のまとめ：講義全体のまとめを行う。	【予習】：テキスト第7章～第12章および配布資料を読んで理解できなかったところをまとめておくこと 【復習】：授業で配布した資料を使って，後半の内容を復習すること	4時間

科目名	会計学＜会計学概論＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	谷村　真理	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代会計学に関する基礎的な知識や考え方を学修する。		
授業の目的及び概要	この授業の目的は、現代会計学の諸領域における基礎的知識や考え方を学修するとともに、基本的な会計実務処理の技能を修得することです。 主に簿記・会計の初学者を対象として、基本的な簿記の構造原理や会計学の諸領域について幅広く扱います。 具体的には、広義の会計学の基本となる複式簿記について学修し、会計学を形成する簿記論、財務諸表論、原価計算、管理会計論等を網羅しつつ、企業会計の意義と役割について確認し、これからのあり方について考察します。あわせて、実学として、基本的な会計実務処理や会計情報に基づく判断が行える能力を身に着けます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	会計学の諸領域で用いられる基本的な用語や仕組みを理解し、説明することができる。 会計学の諸領域における基本的な考え方、社会における位置づけや有用性を理解し、説明することができる。 日商簿記検定試験初級合格程度の、基本的な会計実務処理の技能を修得する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題に対するフィードバック(講評、コメント等)は、授業内で適宜行います。 レポートの一部を翌週の授業で紹介し、質問への回答や補足説明をします。 優秀なレポートは、授業内で紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	1. 中村竜哉(2009)『プレステップ会計学』弘文堂 2. その他、適宜レジュメを配布します。	ISBN	9784335000751
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	20	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	会計は、どんな仕事をする上でも必要となる知識です。かつては「読み書き算盤」と言われ、商売を行う上での三大スキルとして重視されてきました。 この授業は、その会計の世界への入り口となります。 初めて触れる学生は、まずは基本的な考え方に慣れていきましょう。自然と理解が深まっていきます。 ある程度の知識や資格を持っている学生は、より実践的な新しい視点から考察することで、知識を深めていきましょう。 また、将来に備えて積極的に日商簿記検定試験や日商ビジネス会計検定試験に挑戦しましょう。エクステンションセンターで、日商簿記3級、2級の講座が開講されているので、この機会に是非受講してみてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【オリエンテーション】 この授業で学ぶこと、到達目標、難易度、成績評価など。 【経営者に必要な会計知識】 企業経営は、①お金を集めてきて、②そのお金を何かに投資して、③そこから利益を上げる、という3つの活動から成り立っていますが、会計はこれら3つの活動を数字で把握するための仕組みであることを学修します。	予習:テキスト第1章を読んでおく(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第2回	対面	【お金の集め方と使い方】 企業活動は資金の調達とその運用として説明できることを理解し、資金の調達源泉とその具体的な運用形態を対象表示した報告書が貸借対照表であること、並びにそこに記載される資産、負債、純資産について学修します。	予習:テキスト第2章・第4章を読んでおく(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第3回	対面	【利益計算の仕組み】 企業の主たる活動である営業活動について理解し、利益計算と収支計算とは似て非なるものであることを学修します。収益、費用、利益といった概念を使用した損益計算書の内容について学修します。	予習:テキスト第3章を読んでおく(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第4回	対面	【キャッシュフローと資金繰り】 企業活動は資金の調達とその運用として説明できることを理解し、資金繰り管理の重要性や資金調達の方法について学びます。	予習:テキスト第4章を読んでおく(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間

第5回	対面	【会計情報に基づく経営分析】 財務諸表に基づく経営分析の基本を学びます。	予習:前回までの講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第6回	対面	【会計情報に基づく経営分析　演習①】 経営分析の基本に基づき、実際に分析を行います。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第7回	対面	【【会計情報に基づく経営分析　演習②】 経営分析の基本に基づき実際に分析を行い、分析結果の背後にある事象に関して考察します。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第8回	対面	【有価証券報告書の読み方】 上場企業などに公開が義務付けられている有価証券報告書の概要を学び、何のために作成・公表されるのか、公表することの社会的意義を学修します。	予習:テキスト第8章を読んでおく(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第9回	対面	【有価証券報告書の分析①】 実際に公表されている、身近な企業の有価証券報告書を読み、分析を行います。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第10回	対面	【有価証券報告書の分析②】 実際に公表されている、身近な企業の有価証券報告書を読んで分析を行い、分析結果の背後にある事象について考察します。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第11回	対面	【【有価証券報告書の分析③】 有価証券報告書の分析結果に基づき、類似企業と比較分析することで、財務諸表や経営分析に関する理解を深め、実際に役立つ知識として腑に落とします。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第12回	対面	【企業分析①】 今までの講義を踏まえ、興味のある企業について会計情報を入手し、実際に分析を行います。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第13回	対面	【企業分析②】 今までの講義を踏まえ、興味のある企業について会計情報を入手して実際に分析を行い、分析結果の背後にある事象を考察します。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第14回	対面	【企業分析③】 前回までの企業分析結果に関するプレゼンテーションを行い、相互ディスカッションを行うことで、気づきを共有します。	予習:前回の講義の復習をする(2時間)。 復習:講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間
第15回	オンデマンド	【まとめ】 講義内容を総括し、企業会計全般について考察します。	予習:今までの講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。 復習:第講義を振り返り、身近な事例について考察する(2時間)。	4時間

科目名	Business Management	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	金 信行	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語を使ってMBAの基礎やマーケティングを学ぶ		
授業の目的及び概要	本科目では、現代ビジネスの共通言語そして基礎体力となっているMaster of Business Administration(経営管理修士)、つまりMBAに関係する経営学的知識や最先端のマーケティング理論について、英語テキストを通じて学んでいきます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目では、以下の三点を到達目標とします。 ・MBAに関する基礎的な内容を理解できること。 ・最先端のマーケティング理論についてその内容を把握できていること。 ・ビジネスや経営に関する英語圏での最先端の議論について、主体的に学修を進められるようになること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎授業皆さんにご提出いただくコメントシートの内容について、次回以降の授業でコメントします。 ・前回授業の内容について受講者の理解を確認する質疑応答を、毎授業行います。 ・必要に応じて、授業中に追加資料の配布や文献紹介を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	新版　英語で学ぶMBAベーシックス, 藤井正嗣／リチャード・シーハン, NHK出版, 2022年.	**ISBN**	4-14-035178-0
参考書	英語で読むマーケティング, 相島淑美, 研究社, 2021年.	**ISBN**	978-4-327-45298-8

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**			
この科目の履修にあたって	・大学での学修では、授業への参加だけでなく、関心をもった事柄について自ら情報を集めて思考を深める主体性が重要です。受講者の皆さんが本科目の履修を通じて、本科目で学んだ内容をテキスト以外の企業活動の事例の考察に応用したり、より専門的な内容について読書を行うなど、主体的な学修へ足を踏み出してくだされば、担当教員としてこれ以上嬉しいことはありません。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回　イントロダクション	[予習]シラバスの内容について概要を理解し、テキストの各章を概観することで本科目の全体像を適宜把握してください。 [復習]授業の配布資料を参照して復習を行ってください。	4時間
第2回	対面	第2回　マーケティング①	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第3回	対面	第3回　マーケティング②	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第4回	対面	第4回　会計と財務①	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第5回	対面	第5回　会計と財務②	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第6回	対面	第6回　人と組織①	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

第7回	対面	第7回　人と組織②	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第8回	対面	第8回　戦略①	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第9回	対面	第9回　戦略②	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第10回	対面	第10回　ビジョン①	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第11回	対面	第11回　ビジョン②	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第12回	対面	第12回　関係性マーケティングと価値共創	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第13回	対面	第13回　ソーシャルマーケティング	[予習]テキストの講読範囲を事前に読み、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第14回	対面	第14回　受講者によるプレゼンテーション	[予習]授業で行うプレゼンテーションの準備を行なってください。 [復習]プレゼンテーションの内容や担当者からのフィードバックを振り返ることで、復習を行ってください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15回　これまでの講義内容のまとめ	[予習]これまでの授業で扱ったテキストの講読範囲を再度読み直し、予習を行ってください。 [復習]授業の配布資料や提出したコメントシートの内容を振り返ることで、復習を行ってください。	4時間

科目名	貿易実務＜貿易商務論＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中曽根　淑芳	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	貿易取引の流れとその全体像、専門用語の理解		
授業の目的及び概要	この授業では、貿易取引の基礎について学修する。貿易取引は市場調査に始まり、契約の締結、貨物の引き渡しなどのプロセスを経て代金決済に終わるとされることから、貿易実務に携わるときに必要となる交渉、通関手続き、船積の手配、貨物海上保険、外国為替相場、代金決済など広範囲にわたる専門知識を解説する。それにより、貿易取引の流れとその全体像をつかみ、貿易実務において使用される専門用語を修得する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この科目の目標は、以下の通り設定している。 (1)貿易取引の流れとその全体像をつかむことができる。 (2)貿易の専門用語を説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題については、授業中に解説および講評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	教科書:　指定しない。 配付資料を用いて授業を行う。	ISBN	なし
参考書	参考書: 亀田尚己【編著】平野英則・岸田勝昭・長沼健・吉川英一郎【著】『現代国際商取引ーよくわかる理論と実務』文眞堂、2021年	ISBN	978-4-8309-5120-6

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	30	その他(%)	10	授業での発表等	

この科目の履修にあたって	自主的かつ積極的に授業に参加し、わからないときにはどんどん質問をしてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。	【予習】シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 【復習】シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	2.5時間
第2回	対面	貿易取引の全体像について学びます。	【予習】「貿易取引の全体像」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第3回	対面	海外・国内の市場調査について学びます。	【予習】「海外・国内の市場調査」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第4回	対面	売買契約について学びます。	【予習】「売買契約」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第5回	対面	貿易取引条件とインコタームズについて学びます。	【予習】「貿易取引条件とインコタームズ」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第6回	対面	代金決済について学びます。	【予習】「代金決済」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間

第7回	対面	外国為替相場と為替変動リスクの回避について学びます。	【予習】「外国為替相場と為替変動リスクの回避」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第8回	対面	国際物品運送について学びます。	【予習】「国際物品運送」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第9回	対面	貨物海上保険について学びます。	【予習】「貨物海上保険」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第10回	対面	貿易取引に関するその他の保険について学びます。	【予習】「貿易取引に関するその他の保険」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第11回	対面	輸出実務の流れについて学びます。	【予習】「輸出実務の流れ」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第12回	対面	輸入実務の流れについて学びます。	【予習】「輸入実務の流れ」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第13回	対面	国際貿易体制の基礎知識について学びます。	【予習】「国際貿易体制の基礎知識」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第14回	対面	国際紛争解決：国際民事訴訟と国際商事仲裁について学びます。	【予習】「国際紛争解決：国際民事訴訟と国際商事仲裁」に関する配布資料を事前に読んでおいてください。 【復習】授業の配布資料を読み直し、講義で得た内容を確認してください。	4時間
第15回	オンデマンド	定期試験に向けて、これまでの内容の総復習をオンデマンドで配信します。	【復習】オンデマンド動画を視聴したうえで、確認テストを解き、これまでの学修内容の総復習を行ってください。	5.5時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	姜 若冰	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	橋本　凜	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	ISBN	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	池上　寛	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	ボイキン　舞	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	來田　真依子	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	ISBN	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	菅原　絵美	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	岩見　真希	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	金　信行	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	東條　加寿子	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	中山　周作	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題等に取り組み、それについて教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	ISBN	なし
参考書	参考文献は基礎演習のなかで適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと学修目標の設定 授業の概要と今後の進め方について説明する。スチューデントアシスタントによる春学期の目標の経験談などを通じて、具体的かつバックキャスティングによる目標の設定の仕方を学ぶ。 国際学部における留学・体験科目の説明を行う。	復習　4年間を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、1年間、さらには春学期の現実的な目標を立てる。	2時間
第2回	対面	コース選択の説明とノート・テイキングについて学ぶ(1) 2年次以降のコース選択と海外体験について説明を行う。 アカデミックスキルとして、ノート・テイキングについて学ぶ。大学の授業の特徴を知り、何のためにノートをとるのかに加え、対面授業を受ける場合の具体的な学修方法について学ぶ。	復習　保護者とも相談しながら、2年次以降のコース選択をどうするのか検討しておくこと。 復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	ノート・テイキングについて学ぶ(2) 遠隔授業を受ける場合のノート・テイキングの注意点、および具体的なノート・テイキングのテクニックについて学んでいく。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第4回	対面	図書館ガイダンス 大学で学ぶ上で重要な文献(図書・資料等)検索・活用の仕方、そのための図書館の使い方についてガイダンスを行う。その後実践として、次週から始まる研究発表のテーマに関する文献検索を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。研究発表のテーマに沿った図書・資料探しを行い、実際に読みはじめること。	4時間
第5回	対面	研究発表(個人プレゼンテーション)について学ぶ(1) 各クラスでテーマを発表後、ブレインストーミングや情報収集・整理を行う。	復習　資料を実際に検索し、ワークシートを完成させる。	4時間

第6回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（2） プレゼンテーション資料の作り方（レジュメおよびパワーポイント）、プレゼンテーションの仕方および聞き方を説明する。その後、各自資料を作成する。	復習・予習　プレゼンテーション資料を作成し、提出する。	4時間
第7回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（3） 提出された資料に基づき、クラス全員が発表を行う。	復習 プレゼンテーションを振り返り、評価できる点および改善点などを、ラーニングポータルを通じて提出する。	6時間
第8回	対面	研究発表（個人プレゼンテーション）について学ぶ（4） 発表を振り返り、プレゼンテーション（資料作成および発表方法、質問方法など）のポイントを確認する。	復習 授業で振り返ったポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	6時間
第9回	対面	国際学入門およびビブリオバトルに関する説明 ビブリオバトルを実施するにあたり、図書選びのテーマである「国際学」に関して各基礎演習担当教員の専門分野に引き付けた講義を行う。その上でビブリオバトルの目的やルール、ビブリオバトル参加に向けた説明・準備を行う。	復習　国際学の振り返りとともに、ビブリオバトルに向けた図書の選定、精読を行う。	6時間
第10回	対面	クラス内ビブリオバトル クラス内でのビブリオバトルを実施する。互いの発表に対して評価をしながら、クラス代表を決定する。クラス内での意見交換、教員が講評を行う。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、クラスメイトおよび教員からのコメントを受けて自身の発表内容の改善を行う。	2時間
第11回	対面	クラス間ビブリオバトル クラス代表10名によるビブリオバトルを実施。教員は講評を行う。学生は発表を聞き、ミニレポートを作成する。	復習　ビブリオバトルでの発表の振り返りを行うとともに、ミニレポートを作成する。	4時間
第12回	対面	レポートの書き方について学ぶ（1） レポートのテーマを発表し、レポートを完成させるまでのプロセス全体を学ぶ。自身で検索した文献をもとに、情報の整理の仕方を学ぶ。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	6時間
第13回	対面	レポートの書き方について学ぶ（2） レポートの書き方やレポートの構成を学んだのち、自身で収集・整理した情報をもとに、実際にレポートの構成を考える。	復習　授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。 復習・予習　基礎演習で考えたレポートの構成をもとに、実際にレポートを書きはじめ、レポートの下書きを提出すること。	2時間
第14回	オンデマンド	レポートの書き方について学ぶ（3） 提出されたレポートの下書きをもとに、よりよいレポートを書くためのポイントを振り返る。	復習 授業で学んだポイントをもとに、自身のレポートを加筆・修正し、完成させる。	4時間
第15回	対面	春学期の振り返り 完成版のレポートを提出する。 春学期学修したことのまとめ、夏休み・秋学期に向けて説明を行った上で、期末試験の注意点について指導を行う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	2時間

科目名	基礎演習B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	姜 若冰	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、春学期の基礎演習Aの後続科目として大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 大学三年次学修の特徴を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	ISBN	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	必修科目ですので、授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組み、必ず単位を修得するようにしてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション ①授業の概要と今後の進め方について説明を行う。 ②海外体験プログラムについての説明をし、申込手続きなどの流れを確認する。 ③秋学期の学修目標を設定してもらう。 ④個人面談を行う。	①海外体験プログラムの渡航先について調べて、保護者と相談した上で手続きを進めること。 ②卒業を視野に入れて、各年次の目標を想定した上で、秋学期の現実的な目標を立てる	4時間
第2回	対面	アカデミック・スキル:ブックレポート1	配布資料をもとにブックレポートの要領を習得し、書籍を選定する。	4時間
第3回	対面	アカデミック・スキル:ブックレポート2	配布資料をもとにブックレポート説明内容を再確認し復習をする 配布資料を使ってブックレポートの要件を確認する 選定書籍を読む	4時間
第4回	対面	アカデミック・スキル:ブックレポート3	配布資料をもとにレポート作成の説明内容を再確認し復習をする 自分が設定したテーマに沿って、レポートを書いてみる	4時間
第5回	対面	アカデミック・スキル:ブックレポート4	チェックされたレポートをもとに、レポート構成のポイントを再確認し復習をする 復習内容をもとに、レポートを修正する	4時間

第6回	対面	アカデミック・スキル：ブックレポート5	配布資料をもとに、レポート構成のポイントを再確認し復習をする 授業中の意見交換に基いてレポートの修正を行う 配布資料をもとに、プレゼンテーションの概要を確認する	6時間
第7回	対面	アカデミック・スキル：プレゼンテーション1	配布資料をもとに、プレゼンテーションの意義・構成についてを再確認し復習をする 配布資料をもとに、プレゼンテーションの資料を準備する	4時間
第8回	対面	アカデミック・スキル：プレゼンテーション2	配布資料をもとに、プレゼンテーションの意義・構成についてを再確認し、プレゼンテーションの資料を準備する	4時間
第9回	対面	アカデミック・スキル：プレゼンテーション3	配布資料をもとに、プレゼンテーションの意義・構成についてを再確認し、プレゼンテーションの資料を準備する	4時間
第10回	対面	アカデミック・スキル：プレゼンテーション4	配布資料をもとに、プレゼンテーションの意義・構成についてを再確認し、プレゼンテーションの資料を準備する	4時間
第11回	対面	アカデミック・スキル：プレゼンテーション5	発表内容を反省する	4時間
第12回	対面	自由トーク1 国際学・異文化交流に関するホットな話題を取り上げ、クラス内で意見交換する	自由トーク1の内容についての感想レポートを書く	4時間
第13回	対面	自由トーク2 国際学・異文化交流に関するホットな話題を取り上げ、クラス内で意見交換する	期末試験の要項を確認し、復習のスケジュールを考える	4時間
第14回	オンデマンド	秋学期を振り返り、自己点検シートを作成する。	秋学期に受講した各科目の学習内容を振り返り、期末試験に向けての準備をする。	6時間
第15回	対面	3年次の一年間を振り返り、4年目に向けて目標を立てる。	3年次の成果を確認し、就職など将来の計画を考える。	4時間

科目名	基礎演習B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	伍 躍	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに日本で留学生活に慣れよう。		
授業の目的及び概要	この授業は、来年度の4月から、大学の一年生としての学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。演習を通して、日本語能力を磨き、特に読解能力の向上を目指して、日本社会および出身国・地域の社会が抱える諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行 います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力の養成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	当該演習では、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 自律性を求めるという日本の大学教育の特徴を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	ISBN	なし
参考書	指定しない。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	来年度の勉学生活をスムーズに適応させるための科目ですので、授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組み、よい成績で修得するようにしてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 資料(2024年度大学パンフレット)の指定ページを予習する(語彙調べ)。	2時間
第2回	対面	①目標のワークシートの講評 ②国際学部の教育特徴・教育内容・進路について説明	復習 目標ワークシートの修正(必要に応じて) 予習 資料(2024年度大学履修の手引き)の指定ページを予習する(語彙調べ)。	3時間
第3回	対面	大学の授業・単位・成績評価を確認し、目標達成計画の重要性について説明する	復習 各自、目標達成の計画を検証して修正する(対象:すでに作成した人)か作成する(対象:未作成の人) 予習 新聞を読む①(朝日新聞ワークシートより)	3時間
第4回	対面	新聞を読む①の確認(音読・語彙説明・議論)	復習 新聞を読む①についての説明内容を整理する 予習 新聞を読む②(朝日新聞ワークシートより)	4時間
第5回	対面	新聞を読む②の確認(音読・語彙説明・議論)	復習 新聞を読む②についての説明内容を整理する 予習 新聞を読む③(朝日新聞ワークシートより)	4時間
第6回	対面	新聞を読む③の確認(音読・語彙説明・議論)	復習 新聞を読む③についての説明内容を整理する 予習 新聞を読む④(朝日新聞ワークシートより)	4時間
第7回	対面	新聞を読む④の確認(音読・語彙説明・議論)	復習 新聞を読む④についての説明内容を整理する 予習 新聞を読む⑤(朝日新聞ワークシートより)	4時間
第8回	対面	新聞を読む⑤の確認(音読・語彙説明・議論) ノートテイキングの要点に関する資料を説明し、予習のポイントを指示する	復習 新聞を読む⑤についての説明内容を整理する 予習 ノートテイキングの要点に関する資料を読んで確認する(語彙調べ)	4時間

第9回	対面	動画資料:「講義ノートのとり方」「ノートテイキングの必要文房具」 ノートテイキング実践:教員のミニ講義を聞いてノートを取ってみよう。	復習と予習:ノートテイキング実践のノートを整理し、「私がこのようにノートを取りました」ということについての説明を準備する。	4時間
第10回	対面	クラス発表会①:私のノート	復習 クラス発表会の講評と意見交換をもとに、ノートを修正する。 学生研究発表大会の見学を準備する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会の見学	復習 学生研究発表大会の見学感想文をまとめる	4時間
第12回	対面	クラス発表会②:学生研究発表大会の感想	復習 クラス発表会の講評と意見交換をもとに、見学感想文を修正する。	4時間
第13回	対面	協働して目標を達成しよう:グループ作業(与えられたテーマについての調査・まとめ) 実施方法についての教員説明・チームビルディング	復習と予習　グループ作業の内容および各自 の役割を確認して、下調べをする。	4時間
第14回	オンデマンド	期末試験試験の実施方法・復習の重要性と大学の成績評価について	復習 授業後に、期末試験についての配布資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第15回	対面	秋学期の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認だとを行 う。	復習　授業のまとめについて振り返りを行 う。 ＊上記の授業計画は演習の進捗状況により微調整する可能性はあります。	2時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	池上　寛	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	ISBN	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	橋本　凜	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	
この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	呉原　志賢	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	田中　慎吾	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	來田　真依子	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	岩見　真希	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	菅原　絵美	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	
この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。 また春休み・2年次に向けた留学・海外体験についても説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	金　信行	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	東條　加寿子	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	基礎演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	中山　周作	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界への関心を持つとともに大学での学びについて知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、大学での学修に必要な学修態度や技能等を身につけることを目的とします。授業を通して、自ら学び、行動する主体性と学修技法を身につけさせるとともに、グローバル社会の諸課題への興味を喚起し、大学での学修の動機づけ等を行います。また、大学における良好な人間関係を構築し、他者を理解してコミュニケーションを図る能力の向上、グループワークを通じた協働力とリーダーシップの育成、将来に向けたキャリア意識の形成も図ります。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指します。 ① 高校とは異なる大学という場(自律性)を理解している。 ② 積極的で能動的な学修態度と大学で学修を行うための基礎的な技能を身につけている。 ③ 異なる価値観や文化的背景をもつ他者と協働する大切さを知っている。 ④ 「世界を知る」ことに対する意欲と異文化に対する「気づき」を持っている。 ⑤ 国際キャリアにおける幅の広いキャリア像を持っている。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	取り組んだ課題について教員がコメントする等のフィードバックを実施します。作成した課題等は学修ポートフォリオに蓄積し、学修の振り返りに役立てます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	なし
参考書	参考書は基礎演習のなかで適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	20	リフレクションペーパー	

この科目の履修にあたって	授業での取組に積極的に参加して、課せられた課題に取り組んでください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクションと秋学期の目標設定(学生研究発表大会に向けて) 夏休みの振り返り&秋学期目標シート作成を作成する。秋学期の基礎演習Bは、学生研究発表大会がテーマとなる。研究発表の目的(世界への関心と国際共修)、グループ分け、役割分担などを説明する。	復習 秋学期の目標のワークシートを完成させる。 予習 春学期から考え始めていた学祭の販売物について、プレゼンの準備を進める。	2時間
第2回	対面	本を読む:批判的な本の読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な本の読み方の実践を行う。グループワークにあたっての役割分担の決定などを行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第3回	対面	論文・資料を読む:論文・資料の批判的な読み方の実践 研究発表に向けて、トピックの構想を開始するために、批判的な論文・資料の読み方を学ぶ。本・論文・資料からの情報をもとに、研究発表の構想をグループで検討する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	3時間
第4回	対面	問いを立てる:調査・分析・研究のための問いの立て方 「調査・分析・研究のための問いの立て方」についての講義を行うとともに、研究発表のトピックを練る。グループワークの進捗状況について、演習教員がグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第5回	対面	調べる:資料検索法(図書館・データベース) 「資料検索法(図書館・学内外データベース・CiNiiなど)」についての講義を行うとともに、研究発表トピックに関する情報を収集する。グループ内で資料情報を共有する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

第6回	対面	調べる：データとエビデンス，著作権・剽窃・引用 「データとエビデンス，著作権・剽窃・引用」についての講義を行うとともに、トピックに関する情報を収集する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第7回	対面	議論をする：論点の整理 「論点の整理法」についての講義を行うとともに、集めた情報を整理する。発表資料の作成を開始するほか、KJ法・ブレイン・ストーミングなどのグループ作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第8回	対面	議論する：論点を整理し主張を作る 「論点を整理し主張を作ること」についての講義を行う。発表資料の作成にむけた作業を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第9回	対面	発表する：研究発表を学ぶ 研究発表の中間報告・教員の講評（クラス全体）、分かりやすい発表の方法（話し方や効果的な図表の使い方）を指導する。教員によるグループ面談を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第10回	対面	研究発表の予行演習 予行演習を行う。発表に対する質疑応答の練習（クラス全体）を行う。必要に応じて、各グループの進捗確認と最終調整を行う。	復習 ポイントを基に、自身のプレゼンテーション資料を加筆・修正し再提出する。	4時間
第11回	対面	学生研究発表大会 学年全体で学生研究発表大会（国際学部）を実施する。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第12回	対面	学生研究発表大会の振り返り 振り返りシートの記入を行い、専門演習Ⅰの演習募集に先立ち、国際学部コース制の説明を行う。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第13回	対面	シャッフル演習① 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第14回	オンデマンド	シャッフル演習② 専門演習とコース選択に関する説明を実施し、それぞれの教員の演習ではどのような分野・トピックが学べるのかを示す。	復習 授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	2時間
第15回	対面	1年間の振り返り 秋学期振り返りシートの記入、春休みの学習、新学期のスケジュールの確認を行う。 シャッフル演習の内容を踏まえ、基礎レポートを提出する。	復習　授業のまとめについて振り返りを行う。	6時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	姜 若冰	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『女性学・男性学――ジェンダー論入門』第3版, 伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子著, 有斐閣アルマ, 2019年	ISBN	①978-4641221222
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『アメリカ史』上下巻, 紀平英作, 山川出版, 2019年	ISBN	①978-4634423817＆978-4634423824
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは（1） 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは（2） 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料（レジュメ）の作成（1） 教科書の該当章の要約および発表資料（レジュメ）の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料（レジュメ）の作成（2） ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方（1） 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方（2） グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践（1） 教科書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	今井　健一	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『世界の現場から実践SDGs：格差・環境・食料問題の現実解』, 日経サイエンス編集部 編, 日経サイエンス, 2022年	ISBN	①9784296114719
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	東條　加寿子	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『改訂版　異文化コミュニケーションのA to Z　ー理論と実践の両面からわかる』, 小坂貴志, 研究社, 2017年	ISBN	①978-4-327-42198-4
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩA	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	來田　真依子	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『新聞記事と国際法の話』, 芹田健太郎, 信山社, 2022年	**ISBN**	①9784797281118
参考書	担当教員が演習内で指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	0		
この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『アメリカ文学入門』, 諏訪部　浩一他, 三修社, 2013年	ISBN	①978-4384057485
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『やさしい言語学』, 高橋留美 他著, 研究社, 2021年	ISBN	①978-4-327-37748-9
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	張　雪斌	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『米中対立－アメリカの戦略転換と分断される世界』, 佐橋亮, 中央公論新社, 2021年 ②『国際政治学をつかむ[第3版]』, 村田晃嗣　他編, 有斐閣, 2023年	ISBN	①978-4121026507 ②978-4641177314
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『日本語で考えたくなる科学の問い：「調べる・考える・伝える」ための探究・活動型日本語教科書(上：文化と社会篇)』, 田中祐輔　編著, 凡人社, 2022年	ISBN	①9784893589958
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『「戦争」は許されるのか? 国際法で読み解く武力行使のルール』, 稲葉義泰, イカロス出版, 2022年	ISBN	①9784802212069
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	橋本　凜	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは（1） 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは（2） 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料（レジュメ）の作成（1） 教科書の該当章の要約および発表資料（レジュメ）の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料（レジュメ）の作成（2） ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方（1） 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方（2） グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践（1） 教科書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＡ	開講年度	2023年度春学期
担当者	金　信行	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、グローバル社会の諸課題に関する調査・検討を行い、その過程を通じて主体的に行動する態度を身につけ、協働力とリーダーシップ、創造的思考力の向上を図ることを目的とする。そのため、1年次に修得した基本的な調査、発表、討論、文章表現等の能力とグローバル社会の諸課題への関心を一層高めながら、個人やグループ等で様々な課題に取り組む。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③ 互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①『ケースに学ぶ経営学〔第3版〕』, 東北大学経営学グループ, 有斐閣, 2019年	ISBN	①978-4-641-18448-0
参考書	担当教員が演習内で指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	精読とは(1) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第3回	対面	精読とは(2) 教科書の1章を教員が指定し精読を行う。担当教員が適宜内容を解説しながら、精読のやり方を身に付ける。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第4回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(1) 教科書の該当章の要約および発表資料(レジュメ)の作成方法を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。そして課題に取り組み、次回授業で報告を行う。	4時間
第5回	対面	要約・発表資料(レジュメ)の作成(2) ひとりひとりが作成した発表資料をピア・レビューする。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第6回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(1) 作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方、発表の聴き方、質問の仕方を学ぶ。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第7回	対面	発表の仕方・聴き方、質問の仕方(2) グループに分かれ、作成した教科書該当章の発表資料に基づき、発表の仕方・聴き方、質問の仕方を実践する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第8回	対面	クラスでの実践(1) 教科書の担当章の発表資料を作り発表(10分程度)する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認し、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間

第9回	対面	クラスでの実践（2） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認する。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第10回	対面	クラスでの実践（3） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第11回	対面	クラスでの実践（4） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第12回	対面	クラスでの実践（5） 入門書の担当章の発表資料を作り発表（10分程度）する。内容に基づく議論点を示しクラスメイトと議論する。	クラスメイトが提出したレジュメを事前に確認、疑問点を整理しておく。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第13回	対面	問いや議論点の設定（1） 入門書を通して、どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、次回授業で報告する。	4時間
第14回	対面	問いや議論点の設定（2） ひとりひとりが設定した問い・議論点を、実際にクラス内で討議する。	教員が教科書の指定した部分を読む。課題に取り組み、授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員の指示に従いこれまでの授業の振り返りを行う。授業後に、授業で配布した資料を読んで復習する。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	呉原　志賢	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	今井　健一	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表（口頭・実技）(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 （プレゼンの）序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成（1） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成（2） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	姜 若冰	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	東條　加寿子	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 （プレゼンの）序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成（1） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成（2） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	來田　真依子	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表（口頭・実技）(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 （プレゼンの）序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成（1） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成（2） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	岡部　友樹	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表（口頭・実技）(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 （プレゼンの）序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成（1） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成（2） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉良　悟	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	中西　亮太	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表（口頭・実技）(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 （プレゼンの）序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成（1） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成（2） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金　信行	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ＩＢ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	橋本　凜	配当年次	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル社会の諸課題を多角的な視点から知る		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ＩＡ」に引き続き、基礎的な調査、発表、討論、文章表現等に関する能力や、グローバル社会の諸課題への関心を更に向上させるとともに、他者と協働して課題に取り組むためのコミュニケーション能力の修得を促進することを目的とする。授業での取組の成果は、プレゼンテーションを行い、履修生間で討論する。さらに、グローバル社会の諸課題を分析して理解を深めるとともに、筋道を立てて考える力を身につける。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業での取組をとおして、以下の到達目標の達成を目指す。 ① 積極的な学修姿勢を身につけ、基本的なアカデミックスキルを活用できる。 ② 国際理解・多文化共生志向を深める。 ③互いの価値観の相違を尊重したうえで、教員からのガイドを受けて、与えられた課題を協力して完成することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては事前にラーニングポータルに提出してもらい、教員・学生から授業のなかでフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	演習担当者から適宜指示する。
参考書	演習担当者から適宜指示する。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際学部2年次の学びは「広く知る」がテーマであり、世界に対する興味・関心を高める1年次から一歩進んで、世界に対する自身の知識の幅を広げてほしい。そのためにも、学生は「広く知る」ことを意識し、演習内でのテーマ設定を行っていってほしい。自身で自身の知識の幅を広げていく積極的姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第2回	対面	テーマの考え方・決め方 与えられた課題に対し、適切なテーマを設定することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第3回	対面	研究方法・調査方法を知る 担当教員の専門分野での研究方法、調査方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第4回	対面	資料検索・資料収集および要約 目的に沿った資料を検索し収集することができるよう、また入手した資料を要約することができるよう方法を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第5回	対面	問いや議論点の設定 どのようなことを疑問に思ったかを議論し、問いや議論点を設定する方を学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第6回	対面	テーマの見直しと活動の振り返り 改善点や修正点を分析し、テーマの見直しを行う。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第7回	対面	プレゼンテーションの構成、引用、参考文献の示し方 (プレゼンの)序論、本論、結論の構成を学ぶとともに、引用および参考文献の正しい締め方などを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第8回	対面	スライド資料の作成(1) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第9回	対面	スライド資料の作成(2) 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に(階層的に)整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間

第10回	対面	スライド資料の作成（3） 担当教員からの指示に従いながら、プレゼンテーションの内容を論理的に（階層的に）整理・展開することを学ぶ。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第11回	対面	クラス内での研究発表大会とそのふりかえり 学修の「ふりかえり」を適切に次の「学修改善」につなげる。	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第12回	対面	プレゼンテーション大会の実施	大会でのプレゼンテーションについて、そこからの自分の学びについてレポートを作成し、提出する。	4時間
第13回	対面	クラステーマ活動（1） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第14回	対面	クラステーマ活動（2） 3年次演習に向けて専門書を読む／PBL（模擬裁判・模擬国連／フィールドワークなど）を行う	課題に取り組み、次回授業で提出する。授業後に、授業で配布した資料を読み復習する。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習ておく。	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	張　雪斌	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際政治学の理論と現実を学ぶ		
授業の目的及び概要	本演習は国際政治学の観点からさまざまな国際問題を分析し、国際社会の過去、現在と未来について学ぶ。演習の中心的な分析対象は東アジアの国際関係だが、それ以外の地域や新領域の国際問題(人の越境、文化交流、環境問題やサイバーセキュリティなど)についても扱う。 国際政治学、とりわけ東アジアの国際関係は私たちの生活に深く関連している。グローバリゼーションが深化している今日では、公的機関や企業の活動だけでなく、我々個人の安全と安心も国際情勢の変動に影響されている。日々起こっている時事問題を知ることが極めて重要だが、情報を手に入れるだけでは国際政治を理解できるわけではない。本演習では、受講者は国際政治学の専門書や論文集を講読し、ディスカッションを重ねることで国際政治に関連する知識を学ぶのと同時に国際政治学の分析手法を習得する。 受講者の理解度と要望に合わせて、内容を調整する可能性がある。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際政治の過去、現在と未来に関する基本的な知識を身につけること ・国際政治学の基本的な分析手法を理解し、習得すること ・国際社会におけるさまざまな課題の存在を認識し、自分の意見を持つこと ・積極的な学修姿勢を身に着け、基本的なアカデミックスキルを応用できること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設ける ・Microsoft Teamsを活用して受講者と情報共有や個別指導を行う ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介する		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	日本国際政治学会学会誌『国際政治』各号 ・受講者が発表で使用する論文を選択し、クラスメイトと情報共有する ・新たな文献を追加する場合は受講者と相談して決定する	ISBN	0454-2215
参考書	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013)	ISBN	978-4641053786

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	・普段積極的に国際政治に関連する新聞記事、書籍や論文を読むこと ・国際政治学Ⅰ・Ⅱ、国際関係論、対外政策論、政治地理学など関連科目の履修をお勧めします(必須ではありません)。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の概要、目的、教材について説明する。	授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習を行う	4時間
第2回	対面	自己紹介、班分け、発表内容の確認	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、自らの興味関心に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う	4時間
第3回	対面	国際政治の理論や分析手法について担当者が説明を行い、クラス全体でディスカッションを行う	・授業の内容への復習を行う ・発表の日程を確定し、自らの興味関心に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う	4時間
第4回	対面	国際政治の現状、課題について担当者が説明を行い、クラス全体でディスカッションを行う	・授業の内容への復習を行う ・発表の日程を確定し、自らの興味関心に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第5回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第6回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間

第7回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第8回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第9回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第10回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第11回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第12回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第13回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第14回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の総括、質疑応答	・授業の内容への復習を行う ・レポートの執筆	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	伍　躍	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル・ヒストリー(global history)の観点から政治・経済・社会を学修する。		
授業の目的及び概要	これまでの演習・講義・海外体験などの科目で学修した政治・経済・社会に関する知識や理論を、グローバル・ヒストリーの観点から、批判的・検証的な分析・考察をする総合的学修を行うことを目的とする。具体的には以下の2点である。 ①基本資料などの輪読などを通して、3年次学生としての文章解読力・理解力・課題発見力・プレゼン力を磨く。 ②グローバル・ヒストリーの観点から政治・経済・社会に関するテーマを調査・分析を行う。そのうえ、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、調査・分析の内容についての理解を深め、学修内容を定着する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①この授業は、「専門演習Ⅰ」に引き続き、秋学期の学生研究発表大会の出場・次年度の卒業研究の完成を目指して、各自の研究テーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。 ②資料の解読・テーマの発見と構想・分析や論証の仕方・資料の扱い方等の基本的なアカデミック・スキルを向上させたうえ、口頭発表にとどまらず、自らの学修成果や思考内容を論理的な文章にまとめる。 ③グループワークを通して、社会人基礎力としてのコミュニケーション能力・協働力とリーダーシップ等のさらなる向上を目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①レポートなど:添削して学生にフィードバックをする。 ②発表・プレゼンテーション:授業中にて講評することをもって学生にフィードバックをする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	不使用。	ISBN	なし
参考書	①大阪大学歴史教育研究会『市民のための世界史』、大阪大学出版会、2018 ②水島司『グローバル・ヒストリー入門』、山川出版社、2010 ③妹尾達彦『グローバル・ヒストリー』、中央大学出版部、2018	ISBN	①9784872594690 ②9784634349650 ③9784805741511

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	読む・考える・まとめる・発表することを求める。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	シラバスを読んで、本演習のねらい・目標・授業方法を確認する。(2時間)	2時間
第2回	対面	アカデミック・スキルの再確認:資料調査・精読について	①指定したテーマに関する資料(図書)を調査する。(2時間) ②精読や読書ノートのポイントを再確認する。(1時間) ③輪読の準備を行う。(2時間)	5時間
第3回	対面	指定図書の輪読(個人・1)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第4回	対面	指定図書の輪読(個人・2)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第5回	対面	指定図書の輪読(個人・3)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第6回	対面	指定図書の輪読(個人・4)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第7回	対面	指定図書の輪読(個人・5)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第8回	対面	グループ輪読のポイントを説明し、グループを結成しスケジュールを決める。	①グループ輪読のポイントを復習する。(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間

第9回	対面	指定図書の輪読(グループ・1)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第10回	対面	指定図書の輪読(グループ・2)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第11回	対面	指定図書の輪読(グループ・3)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第12回	対面	指定図書の輪読(グループ・4)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第13回	対面	指定図書の輪読(グループ・5)	①輪読した図書を使って復習をする(2時間) ②グループ輪読の準備を行う。(2時間)	4時間
第14回	対面	指定図書の輪読(グループ・6)	輪読した図書を使って復習をする(2時間) 期末レポートの準備を行う。(3時間)	5時間
第15回	オンデマンド	まとめ	期末レポートの作成を行う。(5時間) ＊以上の授業計画は輪読の進捗状況などを勘案しながら、オンデマンド授業の実施時期を含めて微調整を行う可能性はある。	5時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本文化および比較文化について学修する。		
授業の目的及び概要	現代はグローバル社会が進んでおり、国境を越えたやり取りが年々増えています。これから日本の職場で活動する人にとっては、日本文化の特徴をより深く理解し、かつ外国人に対して英語で説明することは非常に重要な課題です。この専門演習では、日本文化の特徴について考えます。現在の文化の現象もちろん、近代以前の時代の文化も視野に入れ、より深く考えます。また、国際共修の観点から、他国(または自国)の文化との比較を行います。この演習は主に英語で行われます。教材は、日本文化に関する文献からの文章を精読し、英語でのペアワーク、グループワーク、学生発表等を実施します。この専門演習の学修と実践を通じて、現代の職場に求められている強い「異文化理解力」も築くことを望んでいます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業の前半では、日本文化・比較文化に関する教材に基づいて個々の履修生が説明を行う。授業の後半では、グループに分かれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげる。グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間前後に個別にフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定しません。	ISBN	なし
参考書	①"The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture", Roger J. Davis and Osamu Ikeno, Tuttle Publishing 2002 ②"Japan: History and Culture from Classical to Cool", Nancy J. Stalker, University of California Press, 2018	ISBN	① 9780804832953 ② 9780520287778

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	グループワークを中心に授業を進めるので、積極的に授業に参加する学生を歓迎する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第2回	対面	調査方法 資料収集や調査の方法について検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第3回	対面	発表方法 調査した内容をまとめあげ、発表する方法を検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第4回	対面	テーマの検討(1) 教材の講読、履修生による発表を行い、調査テーマの検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第5回	対面	テーマの検討(2) 教材の講読、履修生による発表を行い、調査テーマの検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

第6回	対面	テーマの検討(3) 教材の講読、履修生による発表を行い、調査テーマの検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第7回	対面	グループ調査(1) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第8回	対面	グループ調査(2) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第9回	対面	グループ調査(3) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第10回	対面	グループ調査(4) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第11回	対面	グループ調査(5) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第12回	対面	発表・ディスカッション(1) グループで調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第13回	対面	発表・ディスカッション(2) グループで調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第14回	対面	発表・ディスカッション(3) グループで調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	金子　治平	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	経済に関連する新聞記事を読みこなすようになるとともに，卒業研究課題を決定する （副次的にはアンケート調査や統計データの使用についても理解を深める）		
授業の目的及び概要	専門演習ⅡA・Bでは，経済事象に関する資料や文献を読み解く能力，表や図から経済事象を理解する能力，データを表や図でわかりやすく表示する能力，データを通して経済事象を考察する能力を身につけることを目的とします． 具体的には， ・新聞や雑誌の記事などを，知らない用語を調べながら読むことによって，新聞や雑誌記事の理解を深めること ・本や論文を読むことによって，興味を持った事象について深く学び，課題を発見すること を通じて，卒業研究のテーマと課題を決定することを行います． また，必要に応じて， ・データを表や図でわかりやすく表すことができるようにパソコンの使い方を学ぶこと ・既存のアンケート調査データから，表や図を作成することができることを学ぶこと ・アンケート調査の方法を学ぶこと も目的とします． また，テレビ・ラジオ・新聞などで関心のあるニュースなどをチェックして，その概要を毎週，提出してもらいます． とくにデータの扱いやアンケート調査について学びたい学生には，授業時間外に学習を行いますので申し出てください．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業の目的に対応して，専門演習ⅡA・Bを通した主な目標は， （1）関心のある経済事象に関する文献を読むことができるようになること であり，必要に応じて （2）関心のある経済事象に関連する既存の統計データやアンケート調査データを使用して，適切な表やグラフを作成し，経済事象を考察することができるようになること （3）関心のある経済事象に関連するアンケート調査を，みずから実施できるようになること も目標とします． また， （4）（1）～（3）を通して，卒業研究のテーマを設定し研究を進めることができるようになること です． とくに専門演習ⅡAでは，（1）が主な目標です．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間外に，グループあるいは個別にフィードバックします．		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しない予定ですが，必要に応じて授業内で指示させていただきます．	ISBN	なし
参考書	必要があれば，授業中に紹介します．	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	・授業には必ず出席してください． ・やむをえず欠席する場合には，直前でもいいので事前に連絡してください． ・出席しなかった場合には，次回までに補習を行いますので出席してください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の概要を説明します．	授業資料を読んで復習してください．	4時間
第2回	対面	新聞資料の発表と，その検討（1）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間

第3回	対面	新聞資料の発表と，その検討（2）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第4回	対面	新聞資料の発表と，その検討（3）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第5回	対面	新聞資料の発表と，その検討（4）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第6回	対面	新聞資料の発表と，その検討（5）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第7回	対面	新聞資料の発表と，その検討（6）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第8回	オンデマンド	卒業研究の課題設定のための文献の探し方・読み方	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第9回	対面	新聞資料の発表と，その検討（7）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第10回	対面	新聞資料の発表と，その検討（8）	・各自が1週間の新聞を読んで，興味を持った記事を2日前までに教員に送付してください． ・授業内でわからなかった言葉を復習して，定義などをノートに書いてください．	4時間
第11回	対面	卒業研究課題の検討（1）	・新聞，書籍，論文などを読んで，卒業研究課題を何にするかを事前に検討しておいてください．	4時間
第12回	対面	卒業研究課題の検討（2）	・新聞，書籍，論文などを読んで，卒業研究課題を何にするかを事前に検討しておいてください．	4時間
第13回	対面	卒業研究課題の検討（3）	・新聞，書籍，論文などを読んで，卒業研究課題を何にするかを事前に検討しておいてください．	4時間
第14回	対面	卒業研究課題の検討（4）	・新聞，書籍，論文などを読んで，卒業研究課題を何にするかを事前に検討しておいてください．	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行います．	卒業研究課題の概要をまとめてください．	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	安全保障論の総合的理解		
授業の目的及び概要	この授業は、次の3つにより構成されます。第1に、文献講読、第2にディベート、第3に、ビブリオ・バトルです。まず、文献講読は、国際法や安全保障論に関する本を1冊選定し、担当者の報告と討議を行います。つぎに、ディベートは、ある論点につき肯定側、否定側の2チームに分かれて意見を戦わせます。ディベートにより、多角的な視野から問題を考察できる力を養います。そして、ビブリオ・バトルは、1人5分間で1冊の本を紹介し、誰の本を読みたいと思ったかを聴衆が決めるものです。これは、読書習慣の獲得とプレゼンテーション能力向上を目的としています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業での到達目標は、次の2点です。第1に、安全保障分野に関する基本的知見を習得とともに、安全保障に関する論点での立場の違いを理解し、一方の立場に変更することなく俯瞰的視野を持って国際情勢を分析できるようになることです。そのため、使用するテキストも立場の異なる論者による書籍を2冊指定しています。第2に、ディベートやビブリオ・バトルを通じて、説得的かつ論理的な自己の見解を主張できるようになることです。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	ビブリオ・バトル及びディベート実施回では、終了後に講評を行います。また、レポート等の授業外課題に対しては、その都度フィードバックを行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	戦後日本の安全保障, 千々和泰明, 中央公論新社, 2022年	ISBN	9784121026972
参考書	防衛実務国際法, 黒﨑将広・坂元茂樹・西村弓・石垣友明・森肇志・真山全・酒井啓亘, 弘文堂, 2021年	ISBN	9784335356926

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	1. 講読の回では、指定範囲を事前に読んでくることが必須です。読まずに授業に参加した場合では、得られる学修効果は極めて乏しいものになります。 2. ビブリオ・バトル及び卒業研究に向けて、読書習慣を身に付けてください。 3. 春学期のうちに、皆さんが4年生になったときの卒業論文で何をテーマにするのかを決めてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要紹介(ディベート・チーム作成、ビブリオ・バトル概要紹介、ディベート大会案内、ディベート論題3回分の決定)	【事前学修】ディベート及びビブリオ・バトルに関して調べておいてください。また、ディベートについて、議論したいテーマを3つ考えてきてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第2回	対面	卒業研究と卒業後の進路	【事前学修】自身が考える「良い文章」はどのようなものかを探してきてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第3回	対面	国際法とは何か①(国際法概説)	【事前学修】図書館へ行くなどして、国際法の概要を通読しておいてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	6時間
第4回	対面	国際法とは何か②(国際法分野における安全保障)	【事前学修】図書館へ行くなどして、国際法の安全保障分野を通読しておいてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	6時間
第5回	対面	ビブリオ・バトル①及びテキスト講読①	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間

第6回	対面	テキスト講読②	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第7回	対面	ディベート①	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第8回	対面	ビブリオ・バトル②及びテキスト講読③	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第9回	対面	テキスト講読④	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第10回	対面	ディベート②	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第11回	対面	ビブリオ・バトル③及びテキスト講読⑤	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第12回	対面	テキスト講読⑥	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第13回	対面	ディベート③	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第14回	対面	ビブリオ・バトル④及びテキスト講読⑦	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ（オンデマンド）	【事前学修】卒業研究中間レポートのテーマを選定してください。 【事後学修】選定したテーマに関する書籍を収集してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	6時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	「人」に関わるさまざまなグローバル課題(人種やジェンダーに基づく差別、現代奴隷や児童労働、難民、子ども兵士、気候変動や海洋プラスチック問題など)を国際法の視点から考える。		
授業の目的及び概要	この授業では、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づきテーマを選択する。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につけさせることを目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した法・政治に関する知識や理論を地球的課題(人権、環境、国際犯罪、腐敗防止、武力紛争等)に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 グループに分かれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげるために、グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	国際人権法の考え方, 川島聡・菅原絵美・山崎公士, 法律文化社, 2021年	ISBN	9784589041449
参考書	①21世紀国際社会を考える:多層的な世界を読み解く38章, 渋谷淳一・本多量久(編著), 旬報者, 2017年 ②国際法で世界がわかる:ニュースを読み解く32講, 森川幸一他, 岩波書店, 2016年 ③国際条約集, 植木俊哉・中谷和弘(編集代表), 有斐閣, 2022年	ISBN	①9784845115167 ②9784000229555 ③9784641001589

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 国際社会の法や政治に関する基礎知識を身につけて、日本や世界で生じる様々な課題を基礎知識をつかって解説できるようになろう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	事前学修として、テキストに目を通し、関心のあるテーマを見つけておく。事後学修は授業のなかで指示する(ラーニングポータルを通じた課題の提出を予定)。	4時間
第2回	対面	国際法の視点からの研究にむけて①	予習としてテキスト第4章を読む。演習後は配付レジュメを復習する。	4時間
第3回	対面	国際法の視点からの研究にむけて②	予習としてテキスト第5章を読む。演習後は配付レジュメを復習する。	4時間
第4回	対面	国際法の視点からの研究にむけて③	予習としてテキスト第6章を読む。演習後は配付レジュメを復習する。	4時間
第5回	対面	担当文献の発表(1) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第6回	対面	担当文献の発表(2) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第7回	対面	担当文献の発表(3) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間

第8回	対面	担当文献の発表(4) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第9回	対面	担当文献の発表(5) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第10回	対面	担当文献の発表(6) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第11回	対面	担当文献の発表(7) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第12回	対面	担当文献の発表(8) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第13回	対面	担当文献の発表(9) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第14回	対面	担当文献の発表(10) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の総括を行う。	ラーニングポータルを通じた事前学修・事後学修を行う。 詳しくは授業のなかで指示する。	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	赤城　永里子	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	コミュニケーションにおける国際的な課題、地域的な課題を知る。		
授業の目的及び概要	この授業では、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づきテーマを選択する。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につけさせることを目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修したコミュニケーションやことばと文化に関する知識に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 グループに分かれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげるために、グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	学生から呈された疑問点について、翌週にディスカッションを行ったり、教員からの説明を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	新聞記事、論文等を配布する。	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	40	春学期修了時に、研究テーマを決定し、研究テーマの決定の動機や背景等のレポートを作成し提出します。	

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してください。授業では、本ゼミでの主な研究課題に関する論文を提示し、研究内容の発表およびディスカッション、グループでの研究を行います。 ※履修生には学期中に必ず1度発表してもらいます。発表することが、成績付与の条件となります。また、春学期の終了までに卒業研究のテーマを決定してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	事後学修:また、自分の関心があるテーマを考えておく。 事前学修:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。	2時間
第2回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(1) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(1)	事後学修:授業のテーマに関する課題をラーニングポータルで提出する。 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。	4時間
第3回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(2) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(2)	事後学修:授業のテーマに関する課題をラーニングポータルで提出する。 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。	4時間
第4回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(3) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(3)	事後学修:授業のテーマに関する課題をラーニングポータルで提出する。 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。また、発表者はレジュメを作成する。	4時間
第5回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(4) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(4)	事後学修:授業のテーマに関する課題をラーニングポータルで提出する。 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。また、発表者はレジュメを作成する。	4時間
第6回	オンデマンド	先行研究の探し方とまとめ方	復習　動画内での指示に沿って、先行研究を探す	4時間

第7回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(5) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(5)	事後学修:授業のテーマに関する課題をラーニングポータルで提出する。 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。また、発表者はレジュメを作成する。	4時間
第8回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(6) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(6)	事後学修:授業のテーマに関する課題をラーニングポータルで提出する。 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。また、発表者はレジュメを作成する。	4時間
第9回	対面	コミュニケーションに関する国際的課題や地域的課題について知る(7) 言語分野の研究における調査方法や調査の方法について知る(7)	事後学修:グループ研究のテーマに関わる参考文献を探し、読み込んでおく 事前学習:次回に発表する内容の資料を読み込んでおく。また、発表者はレジュメを作成する。	4時間
第10回	対面	グループ研究1	事前学修:グループで持ち寄った先行研究をまとめて、スライドを作成する 事後学修:問いの解を求めるための調査項目案を作る	6時間
第11回	対面	グループ研究2	事後学修:問いの解を求めるための調査項目案を作る 調査の方法のスライドページを作成する	6時間
第12回	対面	グループ研究3	事後学修:調査結果のスライドページを作成する	6時間
第13回	対面	グループ研究4	事前学修:調査結果を分析考察してみる 事後学修:分析と考察のスライドページを作成する	6時間
第14回	対面	発表1	事後学修　他のグループの発表に対するコメントを作成する	1.5時間
第15回	対面	発表2	事後学修　他のグループの発表に対するコメントを作成する 自身の卒業論文テーマを決め、先行研究を5本探す	6時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	異文化理解・国際関係学・国際文化学並びに国際社会学に関する知識や理論からグローバリゼーションと文化について考察する		
授業の目的及び概要	この授業では、異文化理解・国際関係学・国際文化学をてがかりに、移民・アイデンティティ・格差等の分析方法並びに知識を修得すると同時に、社会学の手法を用いて、調査・研究に取り組む。また、各自のテーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につけると同時に、卒業論文執筆に向けて学修する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論をグローバリゼーションと文化に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 各自のテーマ、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの一連のプロセスを学び、卒業テーマを決定し、3000字の調査レポートを執筆する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの調査については、その方法論と調査方法について、適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックをおこなう。また発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	ISBN	使用しない。
参考書	①Sarah Tomley and Mitchell Hobs, 2015, 'The Sociology Book: Big Ideas Simply Explained', DK ②岸政彦ほか(2016)『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ③ジグムント・バウマン(2014)『リキッド化する世界の文化論』訳伊藤茂、青土社	ISBN	①978-1465436504 ②978-4641150379 ③978-4791768073

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際関係学、国際文化学、世界の文化的な事象に感心のある学生さんの履修を歓迎します。授業では専門書を読みながら、国際関係や世界の見方、文化について考えていきます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション: 授業の目的・意義・方法・評価について 世界/国際関係/国際文化について考える① ・指定された章の解説 ・ディスカッション	指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) TOEIC,SPI学修(2時間)	4時間
第2回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える② ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修(2時間)	4時間
第3回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える③ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修(2時間)	4時間
第4回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える④ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(2時間)	4時間

第5回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える⑤ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第6回	対面	質的・量的調査とは①: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第7回	オンデマンド	質的・量的調査とは②: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第8回	対面	社会調査及び自身の研究①: 社会調査及び自身の研究発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表向に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第9回	対面	社会調査及び自身の研究②: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第10回	対面	社会調査及び自身の研究③: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第11回	対面	社会調査及び自身の研究④: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第12回	対面	グローバリゼーションと文化に関する考察①	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第13回	対面	グローバリゼーションと文化に関する考察②	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第14回	対面	グローバリゼーションと文化に関する考察③	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) TOEIC,SPI学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第15回	対面	グローバリゼーションと文化に関する考察④ 春学期総括	8000字の卒業レポート(未完成でもよい)を提出する。	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	水野　清	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	SDGs（持続可能な開発目標)を実現するための実践的なマネジメントについて、理解し実践する。		
授業の目的及び概要	この演習では,企業・国際機関・行政・NPO・ソーシャルベンチャー等の組織体を対象に,SDGs（持続可能な開発目標)を実現するための実践的なマネジメントについて,卒業研究として提言することを最終のゴール(目標)としています。 3年春学期では,マネジメントの基本と原則を学修するため,ドラッカーの「マネジメント」を輪読し,当該分担学生の報告をふまえディスカッション・グループワークを行います。並行して,SDGsを取り巻く国内外の現状と課題等の学修も行います。3年秋学期は,関心のある組織領域あるいはSDGsゴールごとにグループ分けし,当該組織・SDGsゴールの現状調査等により固有の課題の探索と解決策の検討を行ないます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)マネジメントについて、基礎理論を理解し専門用語の説明ができるようになる。 (2)チームでの活動に主体的に参加し、積極的に協働することができる。 (3)個人研究の課題・関心領域を決定する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。 そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティング戦略の企画・立案や組織のマネジメント業務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	P.F.ドラッカー著,上田惇生訳『【エッセンシャル版】マネジメント−基本と原則』（ダイヤモンド社,2001年）	ISBN	978−4478410233
参考書	P.F.ドラッカー著,上田惇生訳『非営利組織の経営』（ダイヤモンド社,2007年）	ISBN	978−4478307052

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	ゼミで真剣に研究したいと考えている学生の受講を期待しています。 ゼミは、少人数で教員とゼミ生が直接交流することができる数少ない機会です。 単に勉強する場だけではなく、学生生活、そして社会人になってからも含めて、皆さんが有意義に過ごすことができるようにゼミを活用して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	事前学修として、テキストに目を通し、関心のあるテーマを見つけておく。事後学修は授業のなかで指示する。	4時間
第2回	対面	SDGsマネジメントの視点からの研究にむけて①	予習としてテキスト該当箇所を読む。演習後は配付レジュメを復習する。	4時間
第3回	対面	SDGsマネジメントの視点からの研究にむけて②	予習としてテキスト該当箇所を読む。演習後は配付レジュメを復習する。	4時間
第4回	対面	SDGsマネジメントの視点からの研究にむけて③	予習としてテキスト該当箇所を読む。演習後は配付レジュメを復習する。	4時間
第5回	対面	担当文献の発表① 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第6回	対面	担当文献の発表② 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第7回	対面	担当文献の発表③ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間

第8回	対面	担当文献の発表④ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第9回	オンデマンド	中間総括 これまでの課題文献の講読、履修生による発表に対する中間総括を行い、今後の発表等に対する指導を実施。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第10回	対面	担当文献の発表⑤ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第11回	対面	担当文献の発表⑥ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第12回	対面	担当文献の発表⑦ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第13回	対面	担当文献の発表⑧ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第14回	対面	担当文献の発表⑨ 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する課題文献の講読、履修生による発表を行い、検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表者は授業内での発表に備え、他の学生は質問や分からないところをまとめておく。復習として、課題文献および発表者の報告資料の振り返りを行う。	4時間
第15回	対面	全体総括 春期授業全体の総括を行い、秋期授業への課題等を提示。	ラーニングポータルを通じた事前学修・事後学修を行う。 詳しくは授業のなかで指示する。	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	言語そのものを研究対象として扱う言語学を概観し、言語現象をさまざまな分野・観点から分析する。		
授業の目的及び概要	この授業では、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表に至るまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づきテーマを選択する。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につけさせることを目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した言語や文化に関する知識を具体的な言語現状に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 グループに分けれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげるために、グループディスカッション等のグループでの取り組みを通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの発表については、理論や分析・考察方法に対して適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックを行う。また、発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する形でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	適宜論文等の文献資料を配布する。	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	世界中の様々な言語そのものや言語にまつわる現象に関心が学生を歓迎します。授業では論文や専門書などの精読を通して、研究対象としての言語の捉え方や研究方法などについて考えていきます。学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分ならではの「答え」を探していくことを期待します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方などの概要を説明する。	事前にシラバスを読み、特に授業のテーマや到達目標を理解しておく。演習後は配布する資料を概観し、自分の関心があるテーマについて考えておく。	4時間
第2回	対面	言語そのものを対象とする研究について①	事前学習として、配布する資料を熟読しておく。演習後は、扱った内容を自分なりにまとめる事後学修に取り組	4時間
第3回	対面	言語そのものを対象とする研究について②	事前学習として、配布する資料を熟読しておく。演習後は、扱った内容を自分なりにまとめる事後学修に取り組	4時間
第4回	対面	言語そのものを対象とする研究について③	事前学習として、配布する資料を熟読しておく。演習後は、扱った内容を自分なりにまとめる事後学修に取り組	4時間
第5回	対面	担当文献の発表① 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間
第6回	対面	担当文献の発表② 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間
第7回	対面	担当文献の発表③ 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間

第8回	対面	担当文献の発表④ 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間
第9回	対面	担当文献の発表⑤ 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間
第10回	対面	担当文献の発表⑥ 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間
第11回	対面	担当文献の発表⑦ 言語を対象とした研究の分野・手法に関する文献の精読・発表を履修生が行い、全体で共有・検討を行う。	授業内で指示する課題文献を読み、発表担当者は発表に備えて事前に他の履修生と協働して内容をまとめておく。事後学修として、課題文献および発表担当者の発表の振り返りを行う。	4時間
第12回	対面	先行研究の探し方・まとめ方①	事前学修として、先行研究を探し読み込んでおく。 事後学修として、読み込んだ先行研究を考察を踏まえてまとめておく。	4時間
第13回	オンデマンド	卒業研究に向けたテーマ選択・考察 担当教員による言語学に関する概説を踏まえて、履修生自身が卒業研究に向けたテーマを設定する。	事前学習として、第13回までに授業で扱った言語に関する分野・手法を復習しておく。 事後学修として、履修生自身が興味・関心を持ったテーマを設定し、適切な分野・手法の視点から分析・考察する。	4時間
第14回	対面	先行研究の探し方・まとめ方②	事前学修として、先行研究を探し読み込んでおく。 事後学修として、読み込んだ先行研究を考察を踏まえてまとめておく。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括(どのような言語現象が存在し、どのような分野・手法での分析・考察が可能か)を行う。	第15回までに扱った研究分野・手法全体を振り返り、具体的な言語現象と合わせて考察を進めておく。 事後学修として、履修生独自の分析・考察をまとめ、レポートとして提出する。	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化する企業経営における情報の利活用について考察する。		
授業の目的及び概要	この授業では、相互に意見を交換しながら、各自が取り組む課題研究を発展させることを目的とする。テーマに関連する文献調査に当たり、それに基づき考察することで、課題研究を深めていく。課題研究の成果は、授業において報告を行い、履修生間で討論する。授業での取組を通して、これまでの学修で修得した、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等を向上させる。。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した知識や理論をグローバル化する企業経営における情報の利活用についての諸課題に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげるために、グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課した課題に対して、授業内で講評する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しません。	ISBN	ー
参考書	『情報通信白書』総務省(授業内での発表を行う際に参考にする。)	ISBN	ー

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	目的意識を持って授業に望むようにすること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業前後に、授業で配布した資料を読ん復習ておくこと	4時間
第2回	対面	調査方法 文献資料収集や調査の方法について検討する。	授業前後に、授業で配布した資料を読ん復習ておくこと	4時間
第3回	対面	発表方法 調査した内容をまとめあげ、発表する方法を検討する。	授業前後に、授業で配布した資料を読ん復習ておくこと	4時間
第4回	対面	テーマの検討(1) 経営情報に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第5回	対面	テーマの検討(2) 経営情報に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第6回	対面	テーマの検討(3) 経営情報に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第7回	対面	テーマの検討(4) 経営情報に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第8回	対面	テーマの検討(5) 経営情報に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間

第9回	オンデマンド	経営情報に関する時事問題の考察とレポート資料作成(1) 個々に調査した内容について、課題研究のレポート資料作成に取り組む。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第10回	対面	経営情報に関する時事問題の考察とレポート資料作成指導(2) 個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート資料作成の指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第11回	対面	経営情報に関する時事問題の考察とレポート資料作成指導(3) 個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート資料作成の指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第12回	対面	経営情報に関する時事問題の考察とレポート資料作成指導(4) 個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート資料作成の指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第13回	対面	課題研究中間発表(1) 課題研究を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学修内容の定着と問題点の再検討を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第14回	対面	課題研究中間発表(2) 課題研究を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学修内容の定着と問題点の再検討を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読ん復習ておくこと	4時間

科目名	専門演習ⅡA	開講年度	2023年度春学期
担当者	浅見　緑	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界とのつながりに目を向け、その背景にある社会状況や考え方を理解する。		
授業の目的及び概要	この科目は、国際コミュニケーションコースに所属する学生のための演習です。 演習での学修を通じて、異文化に対する理解と多文化共生を育み、世界各国・地域の文化、歴史、および現代の社会事情に精通した能力を身につけることを目標にしています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)文化、ことば、文学をきっかけに、世界とのつながりに目を向け、その背景にある社会状況や考え方を理解する。 (2)1・2年次に講義科目で得た知識や理論、留学・体験などの経験を結びつけ、学生研究発表大会および卒業論文へとつながる自身のテーマを探す。 (3)演習での活動を通して、コミュニケーション能力やリーダーシップ等の社会人基礎力の向上を目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業時または次回の授業時に、振り返り、コメント、添削などによってフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しません。資料を配布します。	ISBN	なし
参考書	授業時に必要に応じて紹介します。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	基本資料の収集・輪読、調査・分析、ゼミ生どうしの活発な意見交換・協働作業、プレゼンテーション、ブックレポートの作成などを通して、異なる視点から物事を見ることができ、お互いの価値観が揺さぶられるような演習になればと思っています。状況が許せば、学外見学に出かける予定です。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	シラバスを読み、授業の目的、目標、進め方等について確認する。	4時間
第2回	対面	テーマを探る(1)	これまでの学修で関心をもった分野や2年次に所属していた演習での取り組みについて確認する。	4時間
第3回	対面	テーマを探る(2)	関心ある分野やテーマについて、ブックレポートに使用する参考資料を探す。	4時間
第4回	対面	基本資料の輪読(1)	今回輪読した資料を復習する。 次回の輪読の準備をする。	4時間
第5回	対面	基本資料の輪読(2)	今回輪読した資料を復習する。 次回の輪読の準備をする。	4時間
第6回	対面	基本資料の輪読(3)	今回輪読した資料を復習する。 次回の輪読の準備をする。	4時間
第7回	対面	基本資料の輪読(4)	今回輪読した資料を復習する。 次回の輪読の準備をする。	4時間
第8回	対面	基本資料の輪読(5)	輪読した資料を復習する。 次回の輪読の準備をする。	4時間
第9回	対面	基本資料の輪読(6)	輪読した資料を復習する。 次回の輪読の準備をする。	4時間
第10回	対面	基本資料の輪読(7) ブックレポートの準備(発表の確認)	ブックレポートの準備をする。 輪読した資料を復習する。	4時間
第11回	対面	ブックレポート(1) クラス発表と意見交換	発表のための資料を準備する。	4時間

第12回	対面	ブックレポート(2) クラス発表と意見交換	発表のための資料を準備する。	4時間
第13回	対面	ブックレポート(3) クラス発表と意見交換	発表のための資料を準備する。	4時間
第14回	対面	ブックレポート(4) クラス発表と意見交換	発表のための資料を準備する。	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ	ブックレポートを推敲して提出する準備を行う。	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際政治学の理論と現実を学ぶ		
授業の目的及び概要	本演習は国際政治学の観点からさまざまな国際問題を分析し、国際社会の過去、現在と未来について学ぶ。演習の中心的な分析対象は東アジアの国際関係だが、それ以外の地域や新領域の国際問題(人の越境、文化交流、環境問題やサイバーセキュリティなど)についても扱う。 国際政治学、とりわけ東アジアの国際関係は私たちの生活に深く関連している。グローバリゼーションが深化している今日では、公的機関や企業の活動だけでなく、我々個人の安全と安心も国際情勢の変動に影響されている。日々起こっている時事問題を知ることが極めて重要だが、情報を手に入れるだけでは国際政治を理解できるわけではない。本演習では、受講者は国際政治学の専門書や論文集を講読し、ディスカッションを重ねることで国際政治に関連する知識を学ぶのと同時に国際政治学の分析手法を習得する。 受講者の理解度と要望に合わせて、内容を調整する可能性がある。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際政治の過去、現在と未来に関する基本的な知識を身につけること ・国際政治学の基本的な分析手法を理解し、習得すること ・国際社会におけるさまざまな課題の存在を認識し、自分の意見を持つこと ・積極的な学修姿勢を身に着け、基本的なアカデミックスキルを応用できること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設ける ・Microsoft Teamsを活用して受講者と情報共有や個別指導を行う ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介する		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	日本国際政治学会学会誌『国際政治』各号 ・受講者が発表で使用する論文を選択し、クラスメイトと情報共有する ・新たな文献を追加する場合は受講者と相談して決定する	ISBN	0454-2215
参考書	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013)	ISBN	978-4641053786

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	・普段積極的に国際政治に関連する新聞記事、書籍や論文を読むこと ・国際政治学Ⅰ・Ⅱ、国際関係論、対外政策論、政治地理学など関連科目の履修をお勧めします(必須ではありません)。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の概要、目的、教材について説明する。	授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習を行う	4時間
第2回	対面	自己紹介、班分け、発表内容の確認	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、自らの興味関心に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う	4時間
第3回	対面	国際政治の理論や分析手法について担当者が説明を行い、クラス全体でディスカッションを行う	・授業の内容への復習を行う ・発表の日程を確定し、自らの興味関心に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う	4時間
第4回	対面	国際政治の現状、課題について担当者が説明を行い、クラス全体でディスカッションを行う	・授業の内容への復習を行う ・発表の日程を確定し、自らの興味関心に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第5回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第6回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間

第7回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第8回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第9回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第10回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第11回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第12回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第13回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第14回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の内容への復習を行う ・論文の内容を読み、発表とディスカッションの準備を行う	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の総括	・授業の内容への復習を行う ・レポートの執筆	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	伍 躍	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル・ヒストリー(global history)の観点から政治・経済・社会を学修する。		
授業の目的及び概要	これまでの演習・講義・海外体験などの科目で学修した政治・経済・社会に関する知識や理論を、グローバル・ヒストリーの観点から、批判的・検証的な分析・考察をする総合的学修を行うことを目的とする。具体的には以下の2点である。 ①基本資料などの輪読などを通して、3年次学生としての文章解読力・理解力・課題発見力・プレゼン力を磨く。 ②グローバル・ヒストリーの観点から政治・経済・社会に関するテーマを調査・分析を行う。そのうえ、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、調査・分析の内容についての理解を深め、学修内容を定着する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①この授業は、「専門演習Ⅰ」AとBおよび「専門演習Ⅱ」Aに引き続き、秋学期の学生研究発表大会の出場・次年度の卒業研究の完成を目指して、各自の研究テーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。 ②資料の解読・テーマの発見と構想・分析や論証の仕方・資料の扱い方等の基本的なアカデミック・スキルを向上させたうえ、口頭発表にとどまらず、自らの学修成果や思考内容を論理的な文章にまとめる。 ③グループワークを通して、社会人基礎力としてのコミュニケーション能力・協働力とリーダーシップ等のさらなる向上を目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①レポートなど:添削して学生にフィードバックをする。 ②発表・プレゼンテーション:授業中にて講評することをもって学生にフィードバックをする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	不使用。	ISBN	なし
参考書	①大阪大学歴史教育研究会『市民のための世界史』、大阪大学出版会、2018 ②水島司『グローバル・ヒストリー入門』、山川出版社、2010 ③妹尾達彦『グローバル・ヒストリー』、中央大学出版部、2018	ISBN	①9784872594690 ②9784634349650 ③9784805741511

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	読む・考える・まとめる・発表することを求める。 学生研究発表大会への出場を薦める。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	シラバスを読んで、本演習のねらい・目標・授業方法を確認する。(3時間)	3時間
第2回	対面	グループ研究のポイントを説明する。	①グループの結成について自由に意見交換をする。(2時間) ②グループ研究のテーマについて意見交換をする。(2時間)	4時間
第3回	対面	グループ研究のテーマ・スケジュールを決定する。	グループ研究の準備を行う(4時間)	4時間
第4回	対面	グループ・プレゼンテーション(1)	グループ研究の準備を行う(4時間)	4時間
第5回	対面	グループ・プレゼンテーション(2)	グループ研究の準備を行う(4時間)	4時間
第6回	対面	グループ・プレゼンテーション(3)	グループ研究の準備を行う(4時間)	4時間
第7回	対面	グループ・プレゼンテーション(4)	グループ研究の準備を行う(4時間)	4時間
第8回	対面	グループ・プレゼンテーション(5) 学生研究発表大会の出場者を決める。	①グループ・プレゼンテーションの総括を行う。(2時間) ②学生研究発表大会の出場者へのアドバイスについて意見交換をする。(3時間)	5時間

第9回	対面	卒業研究に向けての準備作業について	各自、卒業研究の仮テーマ・内容について考えて説明の準備を行う。(4時間)	4時間
第10回	オンデマンド	卒業研究の仮テーマについての報告準備・資料調査の方法	学期末レポート作成に向けての準備(4時間)	4時間
第11回	対面	卒業研究の仮テーマについての報告(1)	学期末レポート作成に向けての準備(4時間)	4時間
第12回	対面	卒業研究の仮テーマについての報告(2)	学期末レポート作成に向けての準備(4時間)	4時間
第13回	対面	卒業研究の仮テーマについての報告(3)・講評	学期末提出物・卒業研究中間レポートの作成の準備(4時間)	4時間
第14回	対面	学期末提出物・卒業研究中間レポート作成の進捗状況報告	学期末提出物・卒業研究中間レポート作成に向けての準備(4時間)	4時間
第15回	対面	まとめ。	学期末・卒業研究中間レポートの最終確認・提出(6時間)	6時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本文化および比較文化について学修する。		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅡA」に引き続き、各自が取り組むテーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。現代はグローバル社会が進んでおり、国境を越えたやり取りが年々増えています。これから日本の職場で活動する人にとっては、日本文化の特徴をより深く理解し、かつ外国人に対して英語で説明することは非常に重要な課題です。この専門演習では、日本文化の特徴について考えます。現在の文化の現象もちろん、近代以前の時代の文化も視野に入れ、より深く考えます。また、国際共修の観点から、他国(または自国)の文化との比較を行います。この演習は主に英語で行われます。教材は、日本文化に関する文献からの文章を精読し、英語でのペアワーク、グループワーク、学生発表等を実施します。この専門演習の学修と実践を通じて、現代の職場に求められている強い「異文化理解力」も築くことを望んでいます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業の前半では、日本文化・比較文化に関する教材に基づいて個々の履修生が説明を行う。授業の後半では、グループに分かれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげる。グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間前後に個別にフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定しません。	ISBN	なし
参考書	①"The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture", Roger J. Davis and Osamu Ikeno, Tuttle Publishing 2002 ②"Japan: History and Culture from Classical to Cool", Nancy J. Stalker, University of California Press, 2018	ISBN	① 9780804832953 ② 9780520287778

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	グループワークを中心に授業を進めるので、積極的に授業に参加する学生を歓迎する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第2回	対面	調査方法 資料収集や調査の方法について検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第3回	対面	発表方法 調査した内容をまとめあげ、発表する方法を検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第4回	対面	テーマの検討(1) 教材の講読、履修生による発表を行い、調査テーマの検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第5回	対面	テーマの検討(2) 教材の講読、履修生による発表を行い、調査テーマの検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

第6回	対面	テーマの検討(3) 教材の講読、履修生による発表を行い、調査テーマの検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第7回	対面	グループ調査(1) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第8回	対面	グループ調査(2) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第9回	対面	グループ調査(3) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第10回	対面	グループ調査(4) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第11回	対面	グループ調査(5) グループに分かれ、各テーマについて調査し、発表に向けての取組を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第12回	対面	発表・ディスカッション(1) グループで調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第13回	対面	発表・ディスカッション(2) グループで調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第14回	対面	発表・ディスカッション(3) グループで調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	金子　治平	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	経済に関連する新聞記事を読みこなすようになるとともに，卒業研究課題を決定する （副次的にはアンケート調査や統計データの使用についても理解を深める）		
授業の目的及び概要	専門演習ⅡA･Bでは，経済事象に関する資料や文献を読み解く能力，表や図から経済事象を理解する能力，データを表や図でわかりやすく表示する能力，データを通して経済事象を考察する能力を身につけることを目的とします． 具体的には， ･新聞や雑誌の記事などを，知らない用語を調べながら読むことによって，新聞や雑誌記事の理解を深めること ･本や論文を読むことによって，興味を持った事象について深く学び，課題を発見すること を通じて，卒業研究のテーマと課題を決定することを行います． また，必要に応じて， ･データを表や図でわかりやすく表すことができるようにパソコンの使い方を学ぶこと ･既存のアンケート調査データから，表や図を作成することができることを学ぶこと ･アンケート調査の方法を学ぶこと も目的とします． また，テレビ･ラジオ･新聞などで関心のあるニュースなどをチェックして，その概要を毎週，提出してもらいます． とくにデータの扱いやアンケート調査について学びたい学生には，授業時間外に学習を行いますので申し出てください．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業の目的に対応して，専門演習ⅡA･Bを通した主な目標は， （1）関心のある経済事象に関する文献を読むことができるようになること であり，必要に応じて （2）関心のある経済事象に関連する既存の統計データやアンケート調査データを使用して，適切な表やグラフを作成し，経済事象を考察することができるようになること （3）関心のある経済事象に関連するアンケート調査を，みずから実施できるようになること も目標とします． また， （4）（1）～（3）を通して，卒業研究のテーマを設定し研究を進めることができるようになること です． とくに専門演習ⅡBでは，（1）と（4）が主な目標です．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間外に，グループあるいは個別にフィードバックします．		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しない予定ですが，必要に応じて授業内で指示させていただきます．	ISBN	なし
参考書	必要があれば，授業中に紹介します．	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	･授業には必ず出席してください． ･やむをえず欠席する場合には，直前でもいいので事前に連絡してください． ･出席しなかった場合には，次回までに補習を行いますので出席してください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 春学期の専門演習ⅡAを振り返るとともに，夏休み中の進捗状況について報告してもらいます．	事前学習として，夏休み中に，卒業研究に関連して行ったことをまとめておいてください．	4時間
第2回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（1）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第3回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（2）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間

第4回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（3）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第5回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（4）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第6回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（5）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第7回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（6）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第8回	オンデマンド	卒業研究の進め方のコツ	オンデマンドで配信された内容をよく復習してください．	4時間
第9回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（7）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第10回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（8）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第11回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（9）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第12回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（10）	事前学習として，読んだ本や論文の要約を行うなど，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第13回	対面	卒業研究中間レポート執筆のための発表と検討（1）	事前・事後学習として，これまでの各自の卒業研究の進捗状況をふまえて，卒業研究中間レポートを執筆してください．	4時間
第14回	対面	卒業研究中間レポート執筆のための発表と検討（2）	事前・事後学習として，これまでの各自の卒業研究の進捗状況をふまえて，卒業研究中間レポートを執筆してください．	4時間
第15回	対面	卒業研究中間レポート執筆のための発表と検討（3）	事前・事後学習として，これまでの各自の卒業研究の進捗状況をふまえて，卒業研究中間レポートを執筆してください．	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉良　悟	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	安全保障論の総合的理解		
授業の目的及び概要	この授業は、次の3つにより構成されます。第1に、文献講読、第2にディベート、第3に、ビブリオ・バトルです。まず、文献講読は、国際法や安全保障論に関する本を1冊選定し、担当者の報告と討議を行います。つぎに、ディベートは、ある論点につき肯定側、否定側の2チームに分かれて意見を戦わせます。ディベートにより、多角的な視野から問題を考察できる力を養います。そして、ビブリオ・バトルは、1人5分間で1冊の本を紹介し、誰の本を読みたいと思ったかを聴衆が決めるものです。これは、読書習慣の獲得とプレゼンテーション能力向上を目的としています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業での到達目標は、次の2点です。第1に、安全保障分野に関する基本的知見を習得とともに、安全保障に関する論点での立場の違いを理解し、一方の立場に変更することなく俯瞰的視野を持って国際情勢を分析できるようになることです。そのため、使用するテキストも立場の異なる論者による書籍を2冊指定しています。第2に、ディベートやビブリオ・バトルを通じて、説得的かつ論理的に自己の見解を主張できるようになることです。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	ビブリオ・バトル及びディベート実施回では、終了後に講評を行います。また、レポート等の授業外課題に対しては、その都度フィードバックを行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	戦後日本の安全保障, 千々和泰明, 中央公論新社, 2022年	ISBN	9784121026972
参考書	防衛実務国際法, 黒﨑将広・坂元茂樹・西村弓・石垣友明・森肇志・真山全・酒井啓亘, 弘文堂, 2021年	ISBN	9784335356926

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	1. 講読の回では、指定範囲を事前に読んでくることが必須です。読まずに授業に参加した場合では、得られる学修効果は極めて乏しいものになります。 2. ビブリオ・バトル及び卒業研究に向けて、読書習慣を身に付けてください。 3. 全国大学ディベート選手権大会や全国大学ビブリオ・バトルなど、学外の大会に積極的に参加してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	卒業研究中間レポート論題報告	【事前学修】卒業研究中間レポートの論題と概要を準備してきてください。 【事後学修】ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第2回	対面	ビブリオ・バトル①及びテキスト講読①	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第3回	対面	ディベートへ向けたグループ・ワーク	【事前学修】指定された論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第4回	対面	ディベート①	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第5回	対面	論文精読①	【事前学修】指定された論文を精読しておいてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間

第6回	対面	ビブリオ・バトル②及びテキスト講読②	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第7回	対面	ディベート②	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第8回	対面	ディベート③	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第9回	対面	ビブリオ・バトル③及びテキスト講読③	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第10回	対面	ディベート④	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第11回	対面	論文精読②	【事前学修】指定された論文を精読しておいてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第12回	対面	ビブリオ・バトル④及びテキスト講読④	【事前学修】指定されたテキストの範囲を精読しておいてください。また、ビブリオ・バトル発表者は書籍を読み込み発表の練習をしておいてください。 【事後学修】教員の講評を踏まえて、配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第13回	対面	ディベート⑤	【事前学修】ディベート参加者は、準備をおこなってください。参加者以外は、論題に関して調査しておいてください。 【事後学修】教員の講評を振り返ってください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第14回	対面	論文精読③	【事前学修】指定された論文を精読しておいてください。 【事後学修】配布された資料を再読してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ（オンデマンド）	【事前学修】1年間の授業内容を見直してください。 【事後学修】卒業研究中間レポートを完成させ、提出してください。また、ビブリオ・バトルに向けて読書を継続してください。	6時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	「人」に関わるさまざまなグローバル課題(人種やジェンダーに基づく差別、現代奴隷や児童労働、難民、子ども兵士、気候変動や海洋プラスチック問題など)を国際法の視点から考える。		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅡA」に引き続き、各自が取り組むテーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。特にテーマの構想、分析の仕方、資料の扱い方等の基本的な調査・分析のスキルを向上させるとともに、口頭発表にとどまらず、成果を論理的な文章にまとめる取組も行う。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等のさらなる向上を目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した法・政治に関する知識や理論を地球的課題(難民、人権、環境、国際犯罪、腐敗防止、武力紛争等)に対し、さらなる分析・考察を行うことで深く理解する。 調査・分析した内容を資料として取りまとめ、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、その内容についての自分なりの観点を持つ。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	国際人権法の考え方, 川島聡・菅原絵美・山崎公士, 法律文化社, 2021年	ISBN	9784589041449
参考書	①21世紀国際社会を考える:多層的な世界を読み解く38章, 渋谷淳一・本多量久(編著), 旬報者, 2017年 ②国際法で世界がわかる:ニュースを読み解く32講, 森川幸一他, 岩波書店, 2016年 ③国際条約集, 植木俊哉・中谷和弘(編集代表), 有斐閣, 2022年	ISBN	①9784845115167 ②9784000229555 ③9784641001589

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 国際社会の法や政治に関して、関心のある「自分のテーマ」を見つけよう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	ラーニングポータルに国際法に関する記事を掲載するので事前に読み、概要を把握すること(必要時間120分)。また授業後には、事件に関する論点をまとめ、ラーニングポータルを通じて提出すること(必要時間120分)。	4時間
第2回	対面	テーマの検討(1) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	研究テーマに関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをしシートを再提出する。	4時間
第3回	対面	テーマの検討(2) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	研究テーマに関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをしシートを再提出する。	4時間
第4回	対面	調査・分析(1) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第5回	対面	調査・分析(2) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第6回	対面	調査・分析(3) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第7回	対面	調査・分析(4) 「人」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第8回	対面	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成指導(1) 調査・分析した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行った内容を資料として取りまとめ、レポート作成に向けた指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第9回	対面	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成指導(2) 調査・分析した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行った内容を資料として取りまとめ、レポート作成に向けた指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間

第10回	対面	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成指導(3) 調査・分析した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行った内容を資料として取りまとめ、レポート作成に向けた指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第11回	対面	レポート発表(1) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第12回	対面	レポート発表(2) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第13回	対面	レポート発表(3) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第14回	対面	レポート発表(4) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	ラーニングポータルを通じた事前学修・事後学修を行う。詳しくは授業のなかで指示する。	4時間

科目名	専門演習ⅡB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	赤城　永里子	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	コミュニケーションにおける国際的な課題、地域的な課題を知る。		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅡA」に引き続き、各自が取り組むテーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。特にテーマの構想、分析の仕方、資料の扱い方等の基本的な調査・分析のスキルを向上させるとともに、口頭発表にとどまらず、成果を論理的な文章にまとめる取組も行う。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等のさらなる向上を目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した異文化コミュニケーションや社会言語学の領域の知識や理論について、学生自身がテーマを設定し、調査・分析した内容を資料として取りまとめ、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、その内容についての自分なりの観点を持つ。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	学生から呈された疑問点について、翌週にディスカッションを行ったり、教員からの説明を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	新聞記事、論文等を配布する。	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	20	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	0	学期中に発表とレポート提出を求めます。 また、発表とレポートが成績付与の条件となります。	

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 また、秋学期の終了までに卒業研究のテーマで5000字のレポートを書いてもらいます。 授業では、学生のそれぞれのテーマの先行研究を踏まえ、自身がどのような調査を行うのかを決めていき、早い人は3年生の間に調査を実施してもらいます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	事前学修:ラーニングポータルに社会言語学あるいはやさしい日本語に関する論文を掲載するので、事前に読み、概要を把握すること 発表者は1週間前にレジュメを提出すること。発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	2時間
第2回	対面	テーマの検討(1) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第3回	対面	テーマの検討(2) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第4回	対面	テーマの検討(3) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究、レジュメ等を直す。 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第5回	対面	テーマの検討(4) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間

第6回	対面	テーマの検討(5) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第7回	対面	テーマの検討(6) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第8回	対面	テーマの検討(7) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第9回	対面	テーマの検討(8) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第10回	オンデマンド	学期末のレポートの作成方法について	事後学修:学期末のレポートにとりかかる	4時間
第11回	対面	テーマの検討(9) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第12回	対面	テーマの検討(10) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第13回	対面	テーマの検討(11) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第14回	対面	テーマの検討(12) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	事後学修:授業でのコメント等を踏まえて、自身の研究授の修正を行う 事前学修:発表者は1週間前にレジュメを提出すること。 発表者以外はそのレジュメを読んで授業に参加すること。	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	自身のテーマについて、背景、先行研究、今後の研究の計画を5000字程度でまとめる(必要時間8時間程度)。	6時間

科目名	専門演習ⅡB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	本多　善	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論からグローバリゼーションと文化について考察する		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅡA」に引き続き、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づきテーマを選択し、それに向けた調査報告をおこなう。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につけることを目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論をグローバリゼーションと文化に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 各自のテーマ、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの一連のプロセスを学び、卒業テーマを決定し、5000字の卒業レポートを執筆する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの調査については、その方法論と調査方法について、適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックをおこなう。また発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。	**ISBN**	使用しない。
参考書	①Sarah Tomley and Mitchell Hobs, 2015, 'The Sociology Book: Big Ideas Simply Explained', DK ②岸政彦ほか(2016)『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ③ジグムント・バウマン(2014)『リキッド化する世界の文化論』訳伊藤茂、青土社	**ISBN**	①978-1465436504 ②978-4641150379 ③978-4791768073

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	40	**成果発表(口頭・実技)(%)**	30	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	国際関係学、国際文化学、国際社会学から、世界の文化的な事象の捉え方について学びます。そして自身のテーマについて、問の立て方の妥当性、研究方法の妥当性、論の展開について研究指導します。授業では専門書を読みながら、国際関係や世界の見方、文化について考えていきます。洋書の読解を通じてグローバル社会を理解することにも挑戦します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション: 授業の目的・意義・方法・評価について 世界/国際関係/国際文化について考える⑥ ・指定された章の解説 ・ディスカッション	指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第2回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える⑦ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第3回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える⑧ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第4回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える⑨ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間

第5回	対面	世界/国際関係/国際文化について考える⑩ ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第6回	対面	質的・量的調査とは③: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第7回	オンデマンド	質的・量的調査とは④: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第8回	対面	社会調査の実践③: 自身のテーマによる社会調査実践	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第9回	対面	社会調査の実践④: 自身のテーマによる社会調査実践	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第10回	対面	社会調査の報告⑤: 自身のテーマによる社会調査報告	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第11回	対面	社会調査の報告⑥: 自身のテーマによる社会調査報告	報告に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第12回	対面	グローバリゼーションと文化に関するテーマと論の展開①: ・論文の構成 ・根拠の提示 に関する講義	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身のテーマ設定が妥当かどうか、論の展開について調査研究する。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第13回	対面	グローバリゼーションと文化に関するテーマと論の展開②: ・論文の構成 ・根拠の提示 に関する講義 ・TOEIC、SPIの学修	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身のテーマ設定が妥当かどうか、論の展開について調査研究する。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第14回	対面	グローバリゼーションと文化に関する自身の研究発表①: ・先行研究 ・論文の展開 の発表 ・TOEIC、SPIの学修	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 自身の研究発表に向けた準備をする。(所要時間1時間) TOEIC、SPIの学修をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第15回	対面	グローバリゼーションと文化に関する自身の研究発表②: ・先行研究 ・論文の展開 の発表 TOEIC、SPIの学修 秋学期総括	5000字のレポートを提出する。(所要時間4時間)	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	呉原　志賢	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	グローバル化する企業経営における情報の利活用について考察する。		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習ⅡA」に引き続き、専門テーマに基づく課題研究に取り組む。各自、課題の成果を中間発表し、授業での討論を通して、検討しなければならない具体的な課題を明確にする。また、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等をさらに向上させる。授業では、教員が履修生とのコミュニケーションを十分に図りながら、社会に対する視野を拡げ、課題発見能力を涵養する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した知識や理論をグローバル化する企業経営における情報の利活用についての諸課題に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげるために、グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課した課題に対して、授業内で講評する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しません。	ISBN	―
参考書	『情報通信白書』総務省(授業内での発表を行う際に参考にする。)	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			
この科目の履修にあたって	目的意識を持って授業に望むようにすること。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	授業前後に、授業で配布した資料を読ん復習ておくこと	4時間
第2回	対面	テーマの検討(1) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の課題研究に関連する調査・分析のテーマを検討する。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第3回	対面	テーマの検討(2) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の課題研究に関連する調査・分析のテーマを検討する。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第4回	対面	課題研究に関連する調査・分析(1) グローバル化する企業経営における情報やそれを扱うシステムの活用と今後の進展についての諸課題に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第5回	対面	課題研究に関連する調査・分析(2) グローバル化する企業経営における情報やそれを扱うシステムの活用と今後の進展についての諸課題に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第6回	対面	課題研究に関連する調査・分析(3) グローバル化する企業経営における情報やそれを扱うシステムの活用と今後の進展についての諸課題に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第7回	対面	課題研究に関連する調査・分析(4) グローバル化する企業経営における情報やそれを扱うシステムの活用と今後の進展についての諸課題に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間

第8回	対面	課題研究に関連する調査・分析(5) グローバル化する企業経営における情報やそれを扱うシステムの活用と今後の進展についての諸課題に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第9回	オンデマンド	課題研究作成(1) これまでの研究成果の取りまとめ、レポート作成に取り組む。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第10回	対面	課題研究作成指導(2) これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第11回	対面	課題研究作成指導(3) これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第12回	対面	課題研究発表(1) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第13回	対面	課題研究発表(2) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第14回	対面	課題研究発表(3) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読ん復習ておくこと	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中西　亮太	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	言語そのものを研究対象として扱う言語学を概観し、言語現象をさまざまな分野・観点から分析する。		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習ⅡA」に引き続き、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表に至るまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づきテーマを選択する。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につけさせることを目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した言語や文化に関する知識を具体的な言語現状に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 グループに分けれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげるために、グループディスカッション等のグループでの取り組みを通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの発表については、理論や分析・考察方法に対して適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックを行う。また、発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する形でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	適宜論文等の文献資料を配布する。	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	
この科目の履修にあたって	世界中の様々な言語そのものや言語にまつわる現象に関心が学生を歓迎します。授業では論文や専門書などの精読を通して、研究対象としての言語の捉え方や研究方法などについて考えていきます。学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分ならではの「答え」を探していくことを期待します。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方などの概要を説明する。	事前学修として、ラーニングポータルに言語学に関する課題論文を掲載するので、事前に読み概要を把握しておく。 事後学修として、概要をレポートとしてまとめ、ラーニングポータルに提出する。	4時間
第2回	対面	テーマの検討① 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	事前に個々の興味・関心に基づいたテーマを掘り下げ、設定しているテーマに具体性を持たせておく。 授業でのディスカッション内容を個々のテーマの検討に反映させ、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第3回	対面	テーマの検討② 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第4回	対面	テーマの検討③ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第5回	対面	テーマの検討④ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第6回	対面	テーマの検討⑤ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間

第7回	対面	テーマの検討⑥ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第8回	対面	テーマの検討⑦ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第9回	対面	テーマの検討⑧ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第10回	対面	テーマの検討⑨ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第11回	対面	テーマの検討⑩ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第12回	対面	テーマの検討⑪ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第13回	オンデマンド	個々の研究の振り返り 担当教員による研究の方向性や手法・分析のポイント等に関する概説を踏まえて、自身の研究を再検討する。	事前学習として、第13回までに授業で検討したテーマを踏まえて、自身の研究の要点をまとめておく。 事後学修として、担当教員による概説や第13回までに授業で実施したディスカッションを踏まえて、自身の軌道修正を行う。	4時間
第14回	対面	テーマの検討⑫ 教員や履修生間でのディスカッションを通して、ここの調査・分析・考察のテーマを検討する。	発表担当者は発表する内容をまとめたレジュメを事前に作成・提出しておく。 授業後は、授業でのディスカッションやコメント等を踏まえて、自身の研究の軌道修正を行う。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行う。	自身で設定したテーマについて、背景、先行研究、課題、分析・考察、今後の研究の計画を5000字程度でまとめる。	6時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	水野　清	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	SDGs（持続可能な開発目標)を実現するための実践的なマネジメントについて、理解し実践する。		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅡA」に引き続き、各自が取り組むテーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とします。特にテーマの構想、分析の仕方、資料の扱い方等の基本的な調査・分析のスキルを向上させるとともに、口頭発表にとどまらず、成果を論理的な文章にまとめる取組みも行います。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等のさらなる向上を目指します。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)マネジメントについて、基礎理論を理解し専門用語の説明ができるようになる。 (2)チームでの活動に主体的に参加し、積極的に協働することができる。 (3)個人研究の課題・関心領域を決定する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。そのほか提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティング戦略の企画・立案や組織のマネジメント業務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	P.F.ドラッカー著,上田惇生訳『【エッセンシャル版】マネジメント−基本と原則』(ダイヤモンド社,2001年)	ISBN	978−4478410233
参考書	P.F.ドラッカー著,上田惇生訳『非営利組織の経営』(ダイヤモンド社,2007年)	ISBN	978−4478307052

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技)(%)	60	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	ゼミで真剣に研究したいと考えている学生の受講を期待しています。 ゼミは、少人数で教員とゼミ生が直接交流することができる数少ない機会です。 単に勉強する場だけではなく、学生生活、そして社会人になってからも含めて、皆さんが有意義に過ごすことができるようにゼミを活用して下さい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	ラーニングポータルに「SDGsマネジメント」に関する記事を掲載するので事前に読み、概要を把握すること。 また授業後には、事案に関する論点をまとめ、ラーニングポータルを通じて提出すること。	4時間
第2回	対面	テーマの検討(1) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	研究テーマに関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをしシートを再提出する。	4時間
第3回	対面	テーマの検討(2) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	研究テーマに関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをしシートを再提出する。	4時間
第4回	対面	調査・分析(1) 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第5回	対面	調査・分析(2) 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第6回	対面	調査・分析(3) 「SDGsマネジメント」に関わるさまざまなグローバル課題に関する調査・分析を行う。	調査・分析の内容をシートにまとめラーニングポータルに提出する。授業後は、シートを加筆修正し再提出する。	4時間
第7回	オンデマンド	中間総括 これまでの調査・分析を総括し、今後の発表・報告資料の取りまとめとレポート作成に対するポイントを提示。	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成に対するポイントをラーニングポータルに提出する。	4時間

第8回	対面	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成指導(1) 調査・分析した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行った内容を資料として取りまとめ、レポート作成に向けた指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第9回	対面	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成指導(2) 調査・分析した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行った内容を資料として取りまとめ、レポート作成に向けた指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第10回	対面	発表・報告資料の取りまとめとレポート作成指導(3) 調査・分析した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行った内容を資料として取りまとめ、レポート作成に向けた指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第11回	対面	レポート発表(1) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第12回	対面	レポート発表(2) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第13回	対面	レポート発表(3) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第14回	対面	レポート発表(4) 各自が作成したレポートと資料を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、完成度の高いレポート作成指導を行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第15回	対面	全体総括 授業全体の総括を行うとともに、卒業論文執筆にむけたポイントを提示。	ラーニングポータルを通じた事前学修・事後学修を行う。詳しくは授業のなかで指示する。	4時間

科目名	専門演習ⅡB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	浅見　緑	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界とのつながりに目を向け、その背景にある社会状況や考え方を理解する。		
授業の目的及び概要	この科目は、国際コミュニケーションコースに所属する学生のための演習です。 「専門演習ⅡB」に引き続き、演習での学修を通じて、異文化に対する理解と多文化共生を育み、世界各国・地域の文化、歴史、および現代の社会事情に精通した能力を身につけることを目標にしています。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)文化、ことば、文学などを通して、世界とのつながりに目を向け、その背景にある社会状況や考え方を理解する。 (2)1・2年次に講義科目で得た知識や理論、留学・体験などの経験を結びつけ、学生研究発表大会や卒業論文へとつながる自身のテーマを探す。 (3)演習での活動を通して、コミュニケーション能力やリーダーシップ等の社会人基礎力の向上を目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業時または次回の授業時に、振り返り、コメント、添削などによってフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しません。	ISBN	なし
参考書	授業時に必要に応じて紹介します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	基本資料の収集・輪読、調査・分析、ゼミ生どうしの活発な意見交換・協働作業、プレゼンテーション、レポートの作成などを通して、異なる視点から物事を見ることができ、お互いの価値観が揺さぶられるような演習になればと思っています。状況が許せば、学外見学に出かける予定です。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	シラバスを読み、秋学期の授業の目的、目標、進め方等について、確認する。 夏季休暇の課題報告(学生研究発表大会に向けて参考資料を複数探す)の準備をする。	4時間
第2回	対面	学生研究発表大会クラス選考会の準備(1) 学生研究発表大会に向けて、グループ(個人でも可)を決め、テーマについて意見交換する。	学生研究発表大会クラス選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第3回	対面	学生研究発表大会クラス選考会の準備(2) グループ(個人でも可)ごとに決めたテーマについて、クラスで共有する。	学生研究発表大会クラス選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第4回	対面	学生研究発表大会クラス選考会の準備(3)	学生研究発表大会クラス選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第5回	対面	学生研究発表大会クラス選考会の準備(4)	学生研究発表大会クラス選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第6回	対面	学生研究発表大会クラス選考会の準備(5)	学生研究発表大会クラス選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第7回	対面	学生研究発表大会クラス選考会(1) クラス発表と意見交換	学生研究発表大会クラス選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第8回	対面	学生研究発表大会クラス選考会(2) クラス発表と意見交換	学生研究発表大会選考会に向けて、必要な準備をする。	4時間
第9回	対面	卒業論文の準備(1) 卒業論文に向けてのレポート作成	レポート作成に向けて、必要な準備を行う。	4時間

第10回	対面	卒業論文の準備(2) 卒業論文に向けてのレポート作成	レポート作成に向けて、必要な準備を行う。	4時間
第11回	対面	卒業論文の準備(3) 卒業論文に向けてのレポート作成	レポート作成に向けて、必要な準備を行う。	4時間
第12回	対面	卒業論文の準備(4) 卒業論文に向けてのレポート作成	レポート作成に向けて、必要な準備を行う。	4時間
第13回	対面	卒業論文の準備(5) 受講生によるレポートの相互点検と意見交換	レポートの推敲を行う。	4時間
第14回	対面	卒業論文の準備(6) 受講生によるレポートの相互点検と意見交換	レポートの推敲を行う。	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ	レポートを推敲して完成させる。	4時間

科目名	専門演習ⅢA	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	赤城　永里子	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	コミュニケーションの面での国際的課題や地域的課題を研究する		
授業の目的及び概要	講義科目等で学修したコミュニケーションに関する知識や理論を国際的課題や地域的課題の課題の所在について分析・考察を行うことで総合的学修を行う。専門演習ⅡAから続けてきたテーマに沿って、履修者各々の研究を完成へと一歩ずつ進めて授業内で報告する。授業内では、その報告に基づいてディスカッションを行い、卒業研究の執筆へとつなげていく。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、相互に意見を交換しながら、各自が取り組む課題研究を発展させることを目的とする。テーマに関連する参考文献を踏まえて、自信の調査研究を深めていく。課題研究の成果は、授業において報告を行い、履修生間で討論する。授業での取組を通して、これまでの学修で修得した、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等を向上させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。さらに卒業研究については、授業での中間発表後、クラスメイトおよび教員からフィードバックを行う。提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	履修者の卒業研究に応じた論文などを提供する。	**ISBN**	なし
参考書	なし	**ISBN**	なし

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	20	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	40	学期末提出レポート	

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 卒業研究を完成させ、卒業論文または卒業レポートにまとめよう。 学期中に発表とレポート提出を求めます。また、発表とレポートが成績付与の条件となります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	個人発表の準備:例えば、調査の方法とそのスケジュール	2時間
第2回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	個人発表の準備:例えば、調査の方法とそのスケジュール	2時間
第3回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	個人発表の準備:例えば、調査の方法とそのスケジュール	2時間
第4回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	個人発表の準備:例えば、調査の方法とそのスケジュール	2時間
第5回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	個人発表の準備:例えば、調査の方法とそのスケジュール	2時間
第6回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の調査・分析のテーマを検討する。	個人発表の準備:例えば、調査の方法とそのスケジュール	2時間
第7回	オンデマンド	データの分析方法と考察の仕方	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など	4時間
第8回	対面	課題研究の中間発表(1) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間
第9回	対面	課題研究の中間発表(2) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間

第10回	対面	課題研究の中間発表(3) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間
第11回	対面	課題研究の中間発表(4) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間
第12回	対面	課題研究の中間発表(5) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間
第13回	対面	課題研究の中間発表(6) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間
第14回	対面	課題研究の中間発表(7) 課題研究の成果を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学士課程の学修の締めくくりとして取り組む課題研究の成果の作成に向けて検討を行う。	中間発表の準備:調査の結果や分析結果など 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	6時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	学期中に進んだ箇所を文章化し、論文の作成を進める。 (目標は7000字程度)	6時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	地球的課題(人権、環境、国際犯罪、腐敗防止、武力紛争等)の法政治分野からの考察		
授業の目的及び概要	講義科目等で学修した法・政治に関する知識や理論を地球的課題(人権、環境、国際犯罪、腐敗防止、武力紛争等)の解決に向けた国際的な法政策に対して応用し、分析・考察を行うことで総合的学修を行う。授業の前半では、国際公共政策の内容やしくみについて、個々の履修生が説明を行い、課題研究に向けた調査テーマの検討を行う。授業の後半では、時事の地球的課題に関する国際公共政策に関する調査を行い、課題研究の中間発表に向けて内容をまとめあげる。ディスカッションを通じ、学修内容の定着と問題点の再検討を行い、課題研究のレポートを作成させる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、相互に意見を交換しながら、各自が取り組む課題研究を発展させることを目的とする。テーマに関連する文献調査に当たり、それに基づき考察することで、課題研究を深めていく。課題研究の成果は、授業において報告を行い、履修生間で討論する。授業での取組を通して、これまでの学修で修得した、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等を向上させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。さらに卒業研究については、授業での中間発表後、クラスメイトおよび教員からフィードバックを行う。提出された課題についてもラーニングポータルを通じて、また授業のなかでフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし。	ISBN	なし
参考書	①新グローバル公共政策(改定第2版), 庄司真理子・宮脇昇・玉井雅隆(編), 晃洋書房, 2021年 ②国際人権法の考え方, 川島聡・菅原絵美・山崎公士, 法律文化社, 2021年 ③国際条約集, 植木俊哉・中谷和弘(編集代表), 有斐閣, 2022年	ISBN	①9784771034648 ②9784589041449 ③9784641001589

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 卒業研究のテーマを決定、研究を進め、夏までに研究の完成度8割を目指そう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する.	卒業研究のテーマに関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをシートを再提出する。	4時間
第2回	対面	卒業研究(論文・レポート)の進め方(1)	研究テーマに関する文献調査に関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをシートを再提出する。	4時間
第3回	対面	卒業研究(論文・レポート)の進め方(2)	卒業研究のリサーチクエスチョンに関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをシートを再提出する。	4時間
第4回	対面	卒業研究(論文・レポート)の進め方(3)	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第5回	対面	卒業研究の中間発表(1) 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第6回	対面	卒業研究の中間発表(2) 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第7回	対面	卒業研究の中間発表(3) 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間

第8回	対面	卒業研究の中間発表（4） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第9回	対面	卒業研究の中間発表（5） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第10回	対面	卒業研究の中間発表（6） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第11回	対面	卒業研究の中間発表（7） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第12回	対面	卒業研究の中間発表（8） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第13回	対面	卒業研究の中間発表（9） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第14回	対面	卒業研究の中間発表（10） 地球的課題の解決に向けた国際公共政策に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	夏休みの卒業研究の課題・計画に関するワークシートを記入しラーニングポータルに提出する。授業後は、計画を再確認し、各自卒業研究を進めていく。	4時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論からグローバリゼーションと文化について考察する		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習IIB」に引き続き、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、自身の調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づき研究を進める。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につける。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	3年間で学修した異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論をグローバリゼーションと文化に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 自身の発表に向けて内容をまとめあげ、8000字の卒業論文を執筆する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの調査については、その方法論と調査方法について、適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックをおこなう。また発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	ISBN	使用しない。
参考書	①Sarah Tomley and Mitchell Hobs, 2015, 'The Sociology Book: Big Ideas Simply Explained', DK ②岸政彦ほか(2016)『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ③ジグムント・バウマン(2014)『リキッド化する世界の文化論』訳伊藤茂、青土社	ISBN	①978-1465436504 ②978-4641150379 ③978-4791768073

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際関係学、国際文化学、世界の文化的な事象を考察し、自身のテーマから研究を進め卒論完成を目指します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション: 授業の目的・意義・方法・評価について 世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要2時間)	4時間
第2回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第3回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第4回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間

第5回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第6回	対面	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第7回	オンデマンド	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第8回	対面	社会調査及び自身の研究①: 社会調査及び自身の研究発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表向に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第9回	対面	社会調査及び自身の研究②: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第10回	対面	社会調査及び自身の研究③: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第11回	対面	社会調査及び自身の研究④: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第12回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第13回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第14回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第15回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 春学期総括	8000字のレポートを提出する。	4時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代中東地域とイスラーム世界における政治・経済・紛争		
授業の目的及び概要	私の担当する専門演習ⅡIAでは「現代中東地域とイスラーム世界における政治・経済・紛争」について学びます．この演習には大きく2つの目的があります． 1つ目に，中東地域とイスラーム世界を総合的に理解すること． 2つ目に，それらの地域を理解するために「社会科学の方法」を身につけることです． まず，中東地域とは「中東と北アフリカの国々」を指し，イスラーム世界とは「イスラーム教徒が多く住む場所」のことを指します．現代中東地域を理解する上で必要なアラビア語と，イスラームという宗教の2つの軸から，当該地域の政治・経済・紛争のダイナミックな動きを学んでいきます． 次に，この演習では社会科学の方法を身につけることが必須です．簡単な統計や数学を用いて社会科学の方法を身につけることで，さまざまな社会現象の「原因と結果」を理解することができるようになります．		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①社会科学・人文科学，ひいては社会人として働く際に広く通用する，基本的なアカデミック・スキルを身につけ向上すること． ②秋学期の学生研究発表大会の出場や卒業研究の完成を目指して，各々の研究テーマを見つけ，それを深めていくこと． ③グループワークや議論を通じて，社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協働力・リーダーシップ力の向上をすること． ④国際社会で活躍するための最低限の語学力を身につけること．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①発表資料・レジュメ 締め切り1週間前に提出されたものは，事前に添削し，フィードバックをする． ②レポート・論文について 提出後，個別に添削をしてフィードバックをする．		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし．	ISBN	指定なし．
参考書	①中東政治入門，末近浩太，2020，筑摩書房 ②イスラームとは何かーその宗教・社会・文化ー，小杉泰，1994，講談社． ③現代中東の国家・権力・政治，ロジャー・オーウェン（山尾大・溝渕正季　訳），2015，明石書店 ④原因を推論するー政治分析方法論のすゝめー，久米郁男，2013，有斐閣 ⑤比較政治学の考え方，久保慶一・末近浩太・高橋百合子，2016，有斐閣 ⑥基礎からわかる論文の書き方，小熊英二，2022，講談社．	ISBN	①9784480073440 ②9784061492103 ③9784750341408 ④9784641149076 ⑤9784641150317 ⑥9784065280867

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	①インプット（＝予習・日々の多読）とアウトプット（＝発表・議論，学生研究発表大会等への出場）を効果的に行いましょう． ②多様な言語で書かれた，書籍・資料などの「書かれた文字」を読み，理解し，考え，整理すること（＝レジュメやスライドの作成）が求められます． ③知の消費者に没することなく，「知の生産者」としてのスキルとツールを積極的に身につける姿勢が必要です． ④携帯の使用は原則禁止です．ただし，授業の活性化が期待される場合はその限りでありません．良識あるエレクトロニック・マナーを身につけましょう． ⑤授業には，体調を万全の状態に整え，時間内に教室に来てください．欠席する場合は，前日までに欠席の連絡を担当者にしてください． ⑥随時，必要と状況に応じて，対面orZoomにて相談を受け付けます．お気軽にお申し付けください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の概要説明・発表順番と1年間の目標決め	事前:シラバスを熟読し, 本演習の概要・目標について確認をする. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第2回	対面	前半:「現代中東地域」に関する講義(1) 後半:卒論の中間報告(1)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第3回	対面	前半:「現代中東地域とイスラーム世界における政治・経済・紛争」に関する講義(1) 後半:卒論の中間報告(2)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第4回	対面	前半:「現代中東地域とイスラーム世界における政治・経済・紛争」に関する講義(2) 後半:卒論の中間報告(3)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第5回	対面	前半:「社会科学の方法論」に関する講義(1) 後半:卒論の中間報告(4)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第6回	対面	前半:「社会科学の方法論」に関する講義(2) 後半:卒論の中間報告(5)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第7回	対面	前半:「社会科学の方法論」に関する講義(3) 後半:卒論の中間報告(6)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第8回	対面	卒論の中間報告(7)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第9回	対面	卒論の中間報告(8)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第10回	対面	卒論の中間報告(9)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第11回	対面	卒論の中間報告(10)	事前:卒論の中間報告の準備. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第12回	対面	映画から学ぶイスラーム①	事前:映画から学ぶイスラーム①に関連資料を読む. 事後:映画から学ぶイスラーム①に関連資料に基づいて, ショートペーパーの作成.	4時間
第13回	対面	映画から学ぶイスラーム②	事前:映画から学ぶイスラーム②に関連資料を読む. 事後:映画から学ぶイスラーム②に関連資料に基づいて, ショートペーパーの作成.	4時間
第14回	対面	映画から学ぶイスラーム③	事前:映画から学ぶイスラーム③に関連資料を読む. 事後:映画から学ぶイスラーム③に関連資料に基づいて, ショートペーパーの作成.	4時間
第15回	オンデマンド	春学期のまとめ:6回の講義と10回の報告に関する総括, 第1回で定めた目標への到達度の確認	事前:春学期に行われた講義と卒論の中間報告のレジュメを読み直す. 事後:春学期に行われた講義と卒論の中間報告のレジュメを読み直す.	4時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本文化および比較文化について学修する。		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅡB」に引き続き、各自が取り組むテーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。現代はグローバル社会が進んでおり、国境を越えたやり取りが年々増えています。これから日本の職場で活動する人にとっては、日本文化の特徴をより深く理解し、かつ外国人に対して英語で説明することは非常に重要な課題です。この専門演習では、日本文化の特徴について考えます。現在の文化の現象もちろん、近代以前の時代の文化も視野に入れ、より深く考えます。また、国際共修の観点から、他国(または自国)の文化との比較を行います。この演習は主に英語で行われます。教材は、日本文化に関する文献からの文章を精読し、英語でのペアワーク、グループワーク、学生発表等を実施します。この専門演習の学修と実践を通じて、現代の職場に求められている強い「異文化理解力」も築くことを望んでいます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業の前半では、日本文化・比較文化に関する教材に基づいて個々の履修生が説明を行う。授業の後半では、グループに分かれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげる。グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間前後に個別にフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定しません。	ISBN	なし。
参考書	①Stanley-Baker, Joan. “Japanese Art.” Third edition. London: Thames & Hudson. 2014. ② Kerr, Alex. “Lost Japan : Last Glimpse of Beautiful Japan.” New edition. UK: Penguin Books. 2015. ③アレックス・カー著『美しき日本の残像』朝日文庫、2000.	ISBN	① 9780500204252 ② 9780141979748 ③ 9784022642400

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	4年間の集大成である卒業論文の執筆に励んでいただきたい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第2回	対面	発表方法 調査した内容をまとめあげ、発表する方法を検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第3回	対面	発表方法 調査した内容をまとめあげ、発表する方法を検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第4回	対面	日本文化、比較文化に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第5回	対面	日本文化、比較文化に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

第6回	対面	日本文化、比較文化に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第7回	対面	日本文化、比較文化に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第8回	対面	日本文化、比較文化に関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第9回	対面	個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第10回	対面	個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第11回	対面	個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第12回	対面	個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第13回	対面	課題研究を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学修内容の定着と問題点の再検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第14回	対面	課題研究を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学修内容の定着と問題点の再検討を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の総括を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

科目名	専門演習ⅢA	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	金子　治平	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	卒業研究を行い，卒寮研究論文を執筆する （副次的にはアンケート調査や統計データの使用についても理解を深める）		
授業の目的及び概要	専門演習ⅢA・Bでは，専門演習ⅡA・Bで各自が決定した卒業研究の課題についての研究を進め，卒業研究論文を執筆することを目的とします． とくにデータの扱いやアンケート調査について学びたい学生には，授業時間外に学習を行いますので申し出てください．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	卒業研究論文の執筆		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間外に，グループあるいは個別にフィードバックします．		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しない予定ですが，必要に応じて授業内で指示させていただきます．	**ISBN**	なし
参考書	必要があれば，授業中に紹介します．	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表（口頭・実技）(%)**	40	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	・授業には必ず出席してください． ・やむをえず欠席する場合には，直前でもいいので事前に連絡してください． ・出席しなかった場合には，次回までに補習を行いますので出席してください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 秋学期の専門演習ⅡBを振り返るとともに，これからの研究の進め方について説明します．	事前学習として，春休み中に，卒業研究に関連して行ったことをまとめておいてください．	4時間
第2回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（1）	事前学習として，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第3回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（2）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第4回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（3）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第5回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（4）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第6回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（5）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第7回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（6）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第8回	オンデマンド	卒業研究論文の執筆についての説明	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第9回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（7）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第10回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（8）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間

第11回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（9）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第12回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（10）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第13回	対面	卒業研究の進捗状況の発表と検討（11）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめておいてください．	4時間
第14回	対面	夏休みに向けての卒業研究の進め方の検討（1）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめて，夏休み中に何をすべきかをまとめておいてください．	4時間
第15回	対面	夏休みに向けての卒業研究の進め方の検討（2）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗状況についてまとめて，夏休み中に何をすべきかをまとめておいてください．	4時間

科目名	専門演習ⅢA	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	安全保障の理解深化と卒業論文の完成		
授業の目的及び概要	この授業は、次の3つにより構成されます。第1に、文献講読、第2にグループディスカッション、第3に、ニュースプレゼンバトルです。まず、文献講読は、国際法に関する本を1冊選定し、担当者の報告と討議を行います。これは、卒業論文を執筆するための知識量の増大を目的としています。つぎに、グループディスカッションは、ある論点につき各チームに分かれて時間内で議論し発表していただきます。これは、他者の意見に触れ多様な価値観を醸成するためです。そして、ニュースプレゼンバトルは、1人3分間で興味深いニュースを紹介し、誰のニュースが興味深いと思ったかを聴衆が決めるものです。これは、プレゼンテーション能力向上を目的としています。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業での到達目標は、次の2点です。第1に、安全保障分野に関する基本的知見を習得とともに、安全保障に関する論点での立場の違いを理解し、一方の立場に変更することなく俯瞰的視野を持って国際情勢を分析できるようになることです。第2に、グループディスカッションやニュースプレゼンバトルを通じて、説得的かつ論理的な自己の見解を主張できるようになることです。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループディスカッション及びニュースプレゼンバトル実施回では、終了後に講評を行います。また、講読報告に対しては、その都度フィードバックを行います。そして、卒業論文については、随時個別相談に応じます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	国際法で世界が分かる, 森川幸一・森肇志・岩月直樹・藤澤巌・北村朋史, 岩波書店, 2016年	**ISBN**	9784000229555
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	60	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	40	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	この授業では、卒業論文の完成を第一の目標にします。そのため、普段から卒業論文に手を入れる習慣を身につけてください。また、学生研究発表大会に参加申込をして、顕彰論文コンテストに積極的に応募してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要紹介	【予習】自身が関心のあるニュースを探索してください。 【復習】執筆した卒業研究中間レポートを基に、研究発表の準備をしてください。	4時間
第2回	対面	グループディスカッション、ニュースプレゼンバトル①、講読報告担当者決定	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第3回	対面	講読報告①	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第4回	対面	卒業論文進捗状況報告	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第5回	対面	講読報告②	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第6回	対面	グループディスカッション、ニュースプレゼンバトル②	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第7回	対面	講読報告③	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間

第8回	対面	安全保障に関するディベート	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第9回	対面	講読報告④	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第10回	対面	講読報告⑤	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第11回	対面	グループディスカッション、ニュースプレゼンバトル③	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第12回	対面	講読報告⑥	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第13回	対面	講読報告⑦	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第14回	対面	夏休み前卒業論文進捗状況報告	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第15回	オンデマンド	日本と集団的自衛権（オンデマンド）	【予習】2014年から15年にかけて日本国内で生じた集団的自衛権に関する意見対立を調べておいてください。 【復習】オンデマンド動画教材とレジュメを繰り返し見直してください。また、卒業論文の執筆を継続してください。	6時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	張　雪斌	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際政治学の理論と現実を学ぶ		
授業の目的及び概要	本演習は国際政治学の観点からさまざまな国際問題を分析し、国際社会の過去、現在と未来について学ぶ。演習の中心的な分析対象は東アジアの国際関係だが、それ以外の地域や新領域の国際問題(人の越境、文化交流、環境問題やサイバーセキュリティなど)についても扱う。 国際政治学、とりわけ東アジアの国際関係は私たちの生活に深く関連している。グローバリゼーションが深化している今日では、公的機関や企業の活動だけでなく、我々個人の安全と安心も国際情勢の変動に影響されている。日々起こっている時事問題を知ることが極めて重要だが、情報を手に入れるだけでは国際政治を理解できるわけではない。本演習では、受講者は国際政治学の専門書や論文集を講読し、ディスカッションを重ねることで国際政治に関連する知識を学ぶのと同時に国際政治学の分析手法を習得する。 受講者の理解度と要望に合わせて、内容を調整する可能性がある。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際政治の過去、現在と未来に関する基本的な知識を身につけること ・国際政治学の基本的な分析手法を理解し、習得すること ・国際社会におけるさまざまな課題の存在を認識し、批判的に分析できること ・積極的な学修姿勢を身に着け、専門的なアカデミックスキルを応用できること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設ける ・Microsoft Teamsを活用して受講者と情報共有や個別指導を行う ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介する		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	日本国際政治学会学会誌『国際政治』各号 ・受講者が発表で使用する論文を選択し、クラスメイトと情報共有する ・新たな文献を追加する場合は受講者と相談して決定する	ISBN	0454-2215
参考書	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013)	ISBN	978-4641053786

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	・普段積極的に国際政治に関連する新聞記事、書籍や論文を読むこと
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の概要、目的、教材について説明する。	授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習を行う	2時間
第2回	対面	班分け、発表内容の確認、卒業研究進捗確認	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第3回	対面	卒業研究、卒業論文の進め方について	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第4回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間

第5回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第6回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第7回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第8回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第9回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第10回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第11回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第12回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第13回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第14回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、卒業研究の内容に合わせて発表論文を決定する ・論文の内容を読み、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ、質疑応答	・授業の復習を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間

科目名	専門演習ⅢA	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	岩見　真希	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する調査研究		
授業の目的及び概要	この授業では、相互に意見を交換しながら、各自が取り組む課題研究を発展させることを目的とする。テーマに関連する文献調査に当たり、それに基づき考察することで、課題研究を深めていく。課題研究の成果は、授業において報告を行い、履修生間で討論する。授業での取組を通して、これまでの学修で修得した、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等を向上させる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した知識や理論を社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティの諸課題に対して応用し、分析・考察を行うことで総合的学修を行う。授業の前半では、テーマに基づいて個々の履修生が説明を行い、課題研究に向けた調査テーマの検討を行う。授業の後半では、最新の諸課題に関する調査を行い、課題研究の中間発表に向けて内容をまとめあげる。ディスカッションを通じ、学修内容の定着と問題点の再検討を行い、課題研究のレポートを作成させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課した課題について、授業内で講評する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しない	**ISBN**	特に指定しない
参考書	情報通信白書 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html 情報セキュリティ白書2022 https://www.ipa.go.jp/security/publications/hakusyo/2022.html	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	50	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティについて、幅広く興味を持って調査研究しよう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第2回	対面	調査方法 文献収集や調査の方法について検討する。	授業前後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第3回	対面	発表方法 調査した内容をまとめあげ、発表する方法を検討する。	授業前後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間
第4回	対面	テーマの検討(1) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること	4時間
第5回	対面	テーマの検討(2) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第6回	対面	テーマの検討(3) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第7回	対面	テーマの検討(4) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間

第8回	対面	テーマの検討(5) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する発表を行い、調査テーマの検討を行い、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第9回	オンデマンド	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する時事問題の考察とレポート作成指導(1) 個々に調査した内容について、課題研究のレポート作成を行う。	課題に取り組み、提出すること。	4時間
第10回	対面	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する時事問題の考察とレポート作成指導(2) 個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第11回	対面	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する時事問題の考察とレポート作成指導(3) 個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第12回	対面	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する時事問題の考察とレポート作成指導(4) 個々に調査した内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、課題研究のレポート作成の指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第13回	対面	課題研究中間発表(1) 課題研究を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学修内容の定着と問題点の再検討を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第14回	対面	課題研究中間発表(2) 課題研究を中間発表し、教員と履修生がディスカッションを行い、学修内容の定着と問題点の再検討を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	伍 躍	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代東アジアの諸課題:歴史の視点		
授業の目的及び概要	専門演習ⅡのAとBの内容に基づいて、歴史の視点から現代アジアの諸課題を学び、分析・考察を通して各自が取り組む課題研究を発展させることを目的とする。テーマに関連する文献調査を調査し、それに基づき考察することで、課題研究を深めていく。課題研究の成果は、授業において報告(個人かグループ)を行い、教員による指導のもと履修生間で討論を行う。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①現代アジアの諸課題を観察して、歴史の視点で理解し自らの見解をまとめることができる。 ②特定のテーマに関する調査・研究を行い、国際社会の多様性、異なる価値観や文化的背景をもつ他者との協働に資する有為な論点や処方を獲得することができる。 ③プレゼンカ・協働力のさらなる向上を目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①提出物(コメントペーパーやレポート)は次回以降の授業で返却し、演習内で他の学生を交えて意見交換を行う。 ②ラーニング・ポータルのディスカッション機能を含むICT手段を活用する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	不使用	ISBN	なし
参考書	吉澤誠一郎編『論点・東洋史学:アジア・アフリカへの問い』、ミネルヴァ書房、2021	ISBN	978-4623092178

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	50	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	大学における学修生活4年間の集大成と記念としての卒業論文の執筆に励んでいただきたい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	復習:配布資料をもとに、本学期のスケジュールを確認し、自らの履修計画を考える(2時間程度) 予習:配布資料をもとに、資料調査・収集のポイントを事前に確認する(2時間程度)	4時間
第2回	対面	図書資料・先行研究についての収集や調査入手の方法	復習:配布資料をもとに、資料調査・収集のポイントを再確認する(2時間程度) 予習:配布資料をもとに、研究課題の選定/調整を行う(2時間程度)	4時間
第3回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習:教員が指定した資料を使って事後学修すること (2時間程度)。 予習:教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第4回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習:教員が指定した資料を使って事後学修すること (2時間程度)。 予習:教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第5回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習:教員が指定した資料を使って事後学修すること (2時間程度)。 予習:教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間

第6回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第7回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第8回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第9回	対面	①現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討をする。 ②上記①のテーマについて、教員が先行研究調査と資料収集の指導を行う。 ③履修者が上記①のテーマについての発表を行い、教員と履修生がディスカッションをする。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第10回	オンデマンド	グループ研究1：要点説明	復習：教員が説明したグループ研究の要点を確認すること（2時間程度）。 予習：興味関心をもとに研究テーマの案を考える(2時間程度)。	4時間
第11回	対面	グループ研究2：研究テーマの決定	復習＋予習：グループ単位で資料を調査し、発表の準備をすること（4時間程度）。	4時間
第12回	対面	グループ研究3：発表	復習＋予習：グループ単位で資料を調査し、発表の準備をすること（3時間程度）。	4時間
第13回	対面	グループ研究4：発表	復習＋予習：グループ単位で資料を調査し、発表の準備をすること（4時間程度）。	4時間
第14回	対面	グループ研究5・発表	復習＋予習：グループ単位で資料を調査し、発表の準備をすること（4時間程度）。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括 ＊以上の授業計画は卒業研究の進捗状況に応じて、オンデマンド授業の実施時期を含めて微調整を行う可能性はある。。	復習＋予習：卒業論文の一部としてのレポートを執筆すること（4時間程度）。	4時間

科目名	専門演習ⅢA	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多　善	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論からグローバリゼーションと文化について考察する		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習IIB」に引き続き、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、自身の調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づき研究を進める。また、グループワークを通して、コミュニケーション能力、協働力とリーダーシップ、課題発見能力等を身につける。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	3年間で学修した異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論をグローバリゼーションと文化に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 自身の発表に向けて内容をまとめあげ、8000字の卒業論文を執筆する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの調査については、その方法論と調査方法について、適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックをおこなう。また発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	ISBN	使用しない。
参考書	①Sarah Tomley and Mitchell Hobs, 2015, 'The Sociology Book: Big Ideas Simply Explained', DK ②岸政彦ほか(2016)『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ③ジグムント・バウマン(2014)『リキッド化する世界の文化論』訳伊藤茂、青土社	ISBN	①978-1465436504 ②978-4641150379 ③978-4791768073

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際関係学、国際文化学、世界の文化的な事象を考察し、自身のテーマから研究を進め卒論完成を目指します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション: 授業の目的・意義・方法・評価について 世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章の解説 ・ディスカッション	指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要2時間)	4時間
第2回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第3回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第4回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間

第5回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第6回	対面	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第7回	オンデマンド	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第8回	対面	社会調査及び自身の研究①: 社会調査及び自身の研究発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表向に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第9回	対面	社会調査及び自身の研究②: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第10回	対面	社会調査及び自身の研究③: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第11回	対面	社会調査及び自身の研究④: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第12回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第13回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第14回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第15回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 春学期総括	8000字のレポートを提出する。	4時間

科目名	専門演習ⅢB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	赤城　永里子	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	コミュニケーションの面での国際的課題や地域的課題を研究する		
授業の目的及び概要	講義科目等で学修したコミュニケーションに関する知識や理論を国際的課題や地域的課題の課題の所在について分析・考察を行うことで総合的学修を行う。「専門演習ⅢA」で学修した内容に基づき、個々の履修生がテーマに関連した調査・分析を行う。授業の後半では、調査・分析した内容を発表し、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、その内容についての理解を深め、課題研究を完成させる。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、「専門演習ⅢA」に引き続き、専門テーマに基づく課題研究に取り組む。各自、課題研究の成果を中間発表し、授業での討論を通して、検討しなければならない具体的な課題を明確にする。また、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等をさらに向上させる。学士課程における学修の締めくくりとして、教員の指導のもとで研究成果を完成させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。さらに卒業研究については、授業での最終発表後、クラスメイトおよび教員からフィードバックを行う。卒業論文・レポートについても適宜フィードバックを行い指導する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業中に指示する	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	40	学期中に発表とレポート提出を求めます。 また、発表と卒業研究の提出が成績付与の条件となります。	

この科目の履修にあたって	大学時代の集大成です！学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 卒業研究を完成させ、卒業論文または卒業レポートにまとめよう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第2回	オンデマンド	結果の考察の方法	各自の調査結果の分析と考察を行う	4時間
第3回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第4回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第5回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第6回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間

第7回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第8回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第9回	対面	卒業論文の発表	卒業研究を進めると同時に発表担当者は発表のためのレジュメの作成を行う。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第10回	対面	卒業論文集の編集	卒業研究を進める。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第11回	対面	卒業論文集の編集	卒業研究を進める。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第12回	対面	卒業論文集の編集	卒業研究を進める。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第13回	対面	卒業論文集の編集	卒業研究を進める。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第14回	対面	卒業論文集の編集	卒業研究を進める。 授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	卒業研究を完成させる	6時間

科目名	専門演習ⅢB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	菅原　絵美	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	地球的課題(人権、環境、国際犯罪、腐敗防止、武力紛争等)の法政治分野からの考察		
授業の目的及び概要	講義科目等で学修した法・政治に関する知識や理論を地球的課題(人権、環境、国際犯罪、腐敗防止、武力紛争等)の解決に向けた国際的な法政策に対して応用し、さらなる分析・考察を行うことで総合的学修を行う。授業の前半では、「専門演習ⅢA」で学修した内容に基づき、個々の履修生がテーマに関連した調査・分析を行う。授業の後半では、調査・分析した内容を発表し、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、その内容についての理解を深め、課題研究を完成させる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、「専門演習ⅢA」に引き続き、専門テーマに基づく課題研究に取り組む。各自、課題研究の成果を中間発表し、授業での討論を通して、検討しなければならない具体的な課題を明確にする。また、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等をさらに向上させる。学士課程における学修の締めくくりとして、教員の指導のもとで研究成果を完成させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	発表資料・レジュメについては発表の1週間前にラーニングポータルに提出してもらい、教員が確認・添削を行いフィードバックする。さらに卒業研究については、授業での最終発表後、クラスメイトおよび教員からフィードバックを行う。卒業論文・レポートについても適宜フィードバックを行い指導する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし	ISBN	なし
参考書	①新グローバル公共政策(改定第2版), 庄司真理子・宮脇昇・玉井雅隆(編), 晃洋書房, 2021年 ②国際人権法の考え方, 川島聡・菅原絵美・山崎公士, 法律文化社, 2021年 ③国際条約集, 植木俊哉・中谷和弘(編集代表), 有斐閣, 2022年	ISBN	①9784771034648 ②9784589041449 ③9784641001589

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	学生ひとりひとりが「問い」を持ち、授業を通じて自分なりの「答え」を探していくような、参加型の講義にしたいと思っているので、授業のなかで感じた疑問や興味は積極的に発言してほしい。 卒業研究を完成させ、卒業論文または卒業レポートにまとめよう。そして、学生研究発表大会、さらに顕彰論文への応募とつなげていこう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	卒業研究の進捗に関するワークシートに記入しラーニングポータルに提出する。また授業で学んだポイントから見直しをシートを再提出する。	4時間
第2回	対面	卒業研究(論文・レポート)の作成にあたって(1) 卒業研究ガイドを基に、卒業研究を完成させる際の実質面(国際法・政治の理論からの検証、先行研究の追加など)について確認する。	関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第3回	対面	卒業研究(論文・レポート)の作成にあたって(2) 卒業研究ガイドを基に、卒業研究を完成させる際の形式面(参考文献、脚注など)について確認する。	関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第4回	対面	卒業研究の最終発表(1) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第5回	対面	卒業研究の最終発表(2) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第6回	対面	卒業研究の最終発表(3) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第7回	対面	卒業研究の最終発表(4) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間

第8回	対面	卒業研究の最終発表(5) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第9回	対面	卒業研究の最終発表(6) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第10回	対面	卒業研究の最終発表(7) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第11回	対面	卒業研究の最終発表(8) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第12回	対面	卒業研究の最終発表(9) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	発表者の発表資料および関連文献をラーニングポータルに掲載するので予習を行う。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第13回	対面	卒業研究(論文・レポート)の見直し指導(1)	各自卒業研究(論文・レポート)の執筆を続ける。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第14回	対面	卒業研究(論文・レポート)の見直し指導(2)	各自卒業研究(論文・レポート)の執筆を続ける。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間
第15回	オンデマンド	総括 授業全体の総括を行う。	卒業研究をまとめたレポート・論文をラーニングポータルを通じて提出する。授業後は、授業での指摘を受けて、自身の研究の修正を行う。	4時間

科目名	専門演習ⅢB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代中東地域とイスラーム世界における政治・経済・紛争		
授業の目的及び概要	私の担当する専門演習ⅡIAでは「現代中東地域とイスラーム世界における政治・経済・紛争」について学びます．この演習には大きく2つの目的があります． 1つ目に，中東地域とイスラーム世界を総合的に理解すること． 2つ目に，それらの地域を理解するために「社会科学の方法」を身につけることです． まず，中東地域とは「中東と北アフリカの国々」を指し，イスラーム世界とは「イスラーム教徒が多く住む場所」のことを指します．現代中東地域を理解する上で必要なアラビア語と，イスラームという宗教の2つの軸から，当該地域の政治・経済・紛争のダイナミックな動きを学んでいきます． 次に，この演習では社会科学の方法を身につけることが必須です．簡単な統計や数学を用いて社会科学の方法を身につけることで，さまざまな社会現象の「原因と結果」を理解することができるようになります．		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①社会科学・人文科学，ひいては社会人として働く際に広く通用する，基本的なアカデミック・スキルを身につけ向上すること． ②秋学期の学生研究発表大会の出場や卒業研究の完成を目指して，各々の研究テーマを見つけ，それを深めていくこと． ③グループワークや議論を通じて，社会人基礎力としてのコミュニケーション力・協働力・リーダーシップ力の向上をすること． ④国際社会で活躍するための最低限の語学力を身につけること．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①発表資料・レジュメ 締め切り1週間前に提出されたものは，事前に添削し，フィードバックをする． ②レポート・論文について 提出後，個別に添削をしてフィードバックをする．		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし．	ISBN	指定なし．
参考書	①中東政治入門，末近浩太，2020，筑摩書房 ②イスラームとは何かーその宗教・社会・文化ー，小杉泰，1994，講談社． ③現代中東の国家・権力・政治，ロジャー・オーウェン（山尾大・溝渕正季　訳），2015，明石書店 ④原因を推論するー政治分析方法論のすゝめー，久米郁男，2013，有斐閣 ⑤比較政治学の考え方，久保慶一・末近浩太・高橋百合子，2016，有斐閣 ⑥基礎からわかる論文の書き方，小熊英二，2022，講談社．	ISBN	①9784480073440 ②9784061492103 ③9784750341408 ④9784641149076 ⑤9784641150317 ⑥9784065280867

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	①インプット（＝予習・日々の多読）とアウトプット（＝発表・議論，学生研究発表大会等への出場）を効果的に行いましょう． ②多様な言語で書かれた，書籍・資料などの「書かれた文字」を読み，理解し，考え，整理すること（＝レジュメやスライドの作成）が求められます． ③知の消費者に没することなく，「知の生産者」としてのスキルとツールを積極的に身につける姿勢が必要です． ④携帯の使用は原則禁止です．ただし，授業の活性化が期待される場合はその限りでありません．良識あるエレクトロニック・マナーを身につけましょう． ⑤授業には，体調を万全の状態に整え，時間内に教室に来てください．欠席する場合は，前日までに欠席の連絡を担当者にしてください． ⑥随時，必要と状況に応じて，対面orZoomにて相談を受け付けます．お気軽にお申し付けください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:授業の概要説明・発表順番と卒業までの目標決め	事前:シラバスを熟読し, 本演習の概要・目標について確認をする. 事後:卒論の中間報告の準備.	4時間
第2回	対面	前半:英語文献の精読(1) 後半:卒論の中間報告(1)	事前:英語文献の予習, 卒論の中間報告の準備 事後:卒論の中間報告の準備	4時間
第3回	対面	前半:英語文献の精読(2) 後半:卒論の中間報告(2)	事前:英語文献の予習, 卒論の中間報告の準備 事後:卒論の中間報告の準備	4時間
第4回	対面	前半:英語文献の精読(3) 後半:卒論の中間報告(3)	事前:英語文献の予習, 卒論の中間報告の準備 事後:卒論の中間報告の準備	4時間
第5回	対面	前半:英語文献の精読(4) 後半:卒論の中間報告(4)	事前:英語文献の予習, 卒論の中間報告の準備 事後:卒論の中間報告の準備	4時間
第6回	対面	前半:英語文献の精読(5) 後半:卒論の中間報告(5)	事前:英語文献の予習, 卒論の中間報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第7回	対面	前半:英語文献の精読(6) 後半:卒論の中間報告(6)	事前:英語文献の予習, 卒論の中間報告の準備 事後:卒論の中間報告の準備	4時間
第8回	対面	卒論の最終報告(1)	事前:卒論の最終報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第9回	対面	卒論の最終報告(2)	事前:卒論の最終報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第10回	対面	卒論の最終報告(3)	事前:卒論の最終報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第11回	対面	卒論の最終報告(4)	事前:卒論の最終報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第12回	対面	卒論の最終報告(5)	事前:卒論の最終報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第13回	対面	卒論の最終報告(6)	事前:卒論の最終報告の準備 事後:卒論の最終報告の準備	4時間
第14回	対面	4年間の振り返り	事前:4年間の振り返りシートの記入 事後:4年間の振り返りシートの再確認事前	4時間
第15回	オンデマンド	秋学期のまとめ:春学期第1回に定めた目標と秋学期第1回に定めた目標の到達度の確認, 4年間の振り返り	事前:秋学期に行われた英語文献の精読と, 卒論の最終報告のレジュメを読み直す. 事後:秋学期に行われた英語文献の精読と, 卒論の最終報告のレジュメを読み直す.	4時間

科目名	専門演習ⅢB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	本多　善	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論からグローバリゼーションと文化について考察する		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習ⅢA」に引き続き、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、自身の調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づき研究を進める。12000字の卒業論文を執筆する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	3年間で学修した異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論をグローバリゼーションと文化に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 自身の発表に向けて内容をまとめあげ、卒業論文を執筆する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの調査については、その方法論と調査方法について、適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックをおこなう。また発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	**ISBN**	使用しない。
参考書	①Sarah Tomley and Mitchell Hobs, 2015, 'The Sociology Book: Big Ideas Simply Explained', DK ②岸政彦ほか(2016)『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ③ジグムント・バウマン(2014)『リキッド化する世界の文化論』訳伊藤茂、青土社	**ISBN**	①978-1465436504 ②978-4641150379 ③978-4791768073

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	40	**成果発表(口頭・実技)(%)**	30	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	0		
この科目の履修にあたって	国際関係学、国際文化学、世界の文化的な事象を考察し、自身のテーマから研究を進め卒業論文の完成を目指します。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション: 授業の目的・意義・方法・評価について 世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第2回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第3回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第4回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間

第5回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第6回	対面	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第7回	オンデマンド	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第8回	対面	社会調査及び自身の研究①: 社会調査及び自身の研究発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表向に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第9回	対面	社会調査及び自身の研究②: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第10回	対面	社会調査及び自身の研究③: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第11回	対面	社会調査及び自身の研究④: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第12回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 個人発表	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第13回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 個人発表	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第14回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 個人発表	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第15回	対面	2年間の総括と卒論の講評 春学期総括	卒論を提出する。	4時間

科目名	専門演習ⅢB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際政治学の理論と現実を学ぶ		
授業の目的及び概要	本演習は国際政治学の観点からさまざまな国際問題を分析し、国際社会の過去、現在と未来について学ぶ。演習の中心的な分析対象は東アジアの国際関係だが、それ以外の地域や新領域の国際問題(人の越境、文化交流、環境問題やサイバーセキュリティなど)についても扱う。 国際政治学、とりわけ東アジアの国際関係は私たちの生活に深く関連している。グローバリゼーションが深化している今日では、公的機関や企業の活動だけでなく、我々個人の安全と安心も国際情勢の変動に影響されている。日々起こっている時事問題を知ることが極めて重要だが、情報を手に入れるだけでは国際政治を理解できるわけではない。本演習では、受講者は国際政治学の専門書や論文集を講読し、ディスカッションを重ねることで国際政治に関連する知識を学ぶのと同時に国際政治学の分析手法を習得する。 受講者の理解度と要望に合わせて、内容を調整する可能性がある。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際政治の過去、現在と未来に関する基本的な知識を身につけること ・国際政治学の基本的な分析手法を理解し、習得すること ・国際社会におけるさまざまな課題の存在を認識し、批判的に分析できること ・積極的な学修姿勢を身に着け、専門的なアカデミックスキルを応用できること ・4年間の集大成である卒業論文を完成させること		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・授業中や授業終了後に質疑応答の時間を設ける ・Microsoft Teamsを活用して受講者と情報共有や個別指導を行う ・必要な場合は補足資料を配布(あるいはラーニングポータルで公開)し、参考資料、文献を紹介する		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	日本国際政治学会学会誌『国際政治』各号 ・受講者が発表で使用する論文を選択し、クラスメイトと情報共有する ・新たな文献を追加する場合は受講者と相談して決定する	**ISBN**	0454-2215
参考書	中西寛、石田淳、田所昌幸『国際政治学』(有斐閣、2013)	**ISBN**	978-4641053786

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	0		
この科目の履修にあたって	・普段積極的に国際政治に関連する新聞記事、書籍や論文を読むこと							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の概要、目的、教材について説明する。	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	2時間
第2回	対面	班分け、発表内容の確認、卒業研究進捗確認	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第3回	対面	卒業研究、卒業論文の進め方について	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第4回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第5回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間

第6回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第7回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第8回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第9回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第10回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第11回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第12回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第13回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第14回	対面	受講者発表・ディスカッション	・授業の概要とテキスト『国際政治』の内容を確認し、予習、復習を行う ・発表の日程を確定し、発表の準備を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間
第15回	オンデマンド	授業のまとめ、質疑応答	・授業の復習を行う ・卒業研究の進捗を確認し、卒業研究を進める	4時間

科目名	専門演習ⅢB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	金子　治平	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	卒業研究を行い，卒寮研究論文を執筆する （副次的にはアンケート調査や統計データの使用についても理解を深める）		
授業の目的及び概要	専門演習ⅢA・Bでは，専門演習ⅡA・Bで各自が決定した卒業研究の課題についての研究を進め，卒業研究論文を執筆することを目的とします． とくにデータの扱いやアンケート調査について学びたい学生には，授業時間外に学習を行いますので申し出てください．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	卒業研究論文の執筆		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間外に，グループあるいは個別にフィードバックします．		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しない予定ですが，必要に応じて授業内で指示させていただきます．	**ISBN**	なし
参考書	必要があれば，授業中に紹介します．	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表（口頭・実技）(%)**	30	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験（%）	0	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	0	**その他(%)**	30	卒業研究論文	

この科目の履修にあたって	・授業には必ず出席してください． ・やむをえず欠席する場合には，直前でもいいので事前に連絡してください． ・出席しなかった場合には，次回までに補習を行いますので出席してください．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 専門演習ⅢAを踏まえて，これからの研究の進め方について説明します．	夏休み中の卒業研究の進捗状況をまとめておいてください．	4時間
第2回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（1）	各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください．	4時間
第3回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（2）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください．	4時間
第4回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（3）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください．	4時間
第5回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（4）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください．	4時間
第6回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（5）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください．	4時間
第7回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（6）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください．	4時間
第8回	オンデマンド	卒業研究論文の執筆についての留意点	オンデマンドで配信した内容をよく復習してください．	4時間

第9回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（7）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください.	4時間
第10回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（8）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください.	4時間
第11回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（9）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください.	4時間
第12回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（10）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください.	4時間
第13回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（11）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください.	4時間
第14回	対面	卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況の発表と検討（12）	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究の進捗・卒業研究論文の執筆状況についてまとめておいてください.	4時間
第15回	対面	まとめ	事前学習として，各自の卒業研究を進展させて，各自の卒業研究を振り返ってみておいてください.	4時間

科目名	専門演習ⅢB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本文化および比較文化について学修する。		
授業の目的及び概要	この授業は、「専門演習ⅢA」に引き続き、各自が取り組むテーマを絞り込んでいくとともに考察を深めていくことを目的とする。現代はグローバル社会が進んでおり、国境を越えたやり取りが年々増えています。これから日本の職場で活動する人にとっては、日本文化の特徴をより深く理解し、かつ外国人に対して英語で説明することは非常に重要な課題です。この専門演習では、日本文化の特徴について考えます。現在の文化の現象もちろん、近代以前の時代の文化も視野に入れ、より深く考えます。また、国際共修の観点から、他国(または自国)の文化との比較を行います。この演習は主に英語で行われます。教材は、日本文化に関する文献からの文章を精読し、英語でのペアワーク、グループワーク、学生発表等を実施します。この専門演習の学修と実践を通じて、現代の職場に求められている強い「異文化理解力」も築くことを望んでいます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業の前半では、日本文化・比較文化に関する教材に基づいて個々の履修生が説明を行う。授業の後半では、グループに分かれ、特定のテーマに関する調査を行い、発表に向けて内容をまとめあげる。グループディスカッション等のグループでの取組を通して、主体性やチームワーク、リーダーシップ等を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間前後に個別にフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定しません。	**ISBN**	なし。
参考書	① Stanley-Baker Joan. “Japanese Art.” Third edition. London: Thames & Hudson. 2014. ② Kerr Alex. “Lost Japan : Last Glimpse of Beautiful Japan.” New edition. UK: Penguin Books. 2015. ③ アレックス・カー著『美しき日本の残像』朝日文庫、2000.	**ISBN**	① 9780500204252 ② 9780141979748 ③ 9784022642400

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	40	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	0		

この科目の履修にあたって	4年間の集大成である卒業論文の執筆に励んでいただきたい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する 。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第2回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の課題研究に関連する調査・分析のテーマを検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第3回	対面	教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の課題研究に関連する調査・分析のテーマを検討する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第4回	対面	日本文化、比較文化に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第5回	対面	日本文化、比較文化に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

第6回	対面	日本文化、比較文化に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第7回	対面	日本文化、比較文化に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第8回	対面	日本文化、比較文化に関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第9回	対面	これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第10回	対面	これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第11回	対面	これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第12回	対面	個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第13回	対面	個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第14回	対面	個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の総括を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

科目名	専門演習ⅢB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉良　悟	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	安全保障の理解深化と卒業論文の完成		
授業の目的及び概要	この授業は、次の3つにより構成されます。第1に、文献講読、第2にグループディスカッション、第3に、ニュースプレゼンバトルです。まず、文献講読は、国際法に関する本を1冊選定し、担当者の報告と討議を行います。これは、卒業論文を執筆するための知識量の増大を目的としています。つぎに、グループディスカッションは、ある論点につき各チームに分かれて時間内で議論し発表していただきます。これは、他者の意見に触れ多様な価値観を醸成するためです。そして、ニュースプレゼンバトルは、1人3分間で興味深いニュースを紹介し、誰のニュースが興味深いと思ったかを聴衆が決めるものです。これは、プレゼンテーション能力向上を目的としています。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業での到達目標は、次の2点です。第1に、安全保障分野に関する基本的知見を習得とともに、安全保障に関する論点での立場の違いを理解し、一方の立場に変更することなく俯瞰的視野を持って国際情勢を分析できるようになることです。第2に、グループディスカッションやニュースプレゼンバトルを通じて、説得的かつ論理的な自己の見解を主張できるようになることです。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループディスカッション及びニュースプレゼンバトル実施回では、終了後に講評を行います。また、講読報告に対しては、その都度フィードバックを行います。そして、卒業論文については、随時個別相談に応じます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	国際法で世界が分かる, 森川幸一・森肇志・岩月直樹・藤澤巌・北村朋史, 岩波書店, 2016年	ISBN	9784000229555
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	60	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では、卒業論文の完成を第一の目標にします。そのため、普段から卒業論文に手を入れる習慣を身につけてください。また、学生研究発表大会に参加申込をして、顕彰論文コンテストに積極的に応募してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の概要紹介	【予習】自身が関心のあるニュースを探索してください。 【復習】執筆した卒業論文を基に、研究発表の準備をしてください。	4時間
第2回	対面	グループディスカッション、ニュースプレゼンバトル①	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第3回	対面	講読報告①	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間
第4回	対面	卒業論文発表①	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第5回	対面	卒業論文発表②	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第6回	対面	卒業論文発表③	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第7回	対面	講読報告②	【予習】講読の該当箇所を読んでおいてください。 【復習】授業内で配布されたレジュメを読み返してください。	4時間

第8回	対面	グループディスカッション、ニュースプレゼンバトル②	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第9回	対面	講読報告③	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第10回	対面	卒業論文発表④	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第11回	対面	卒業論文発表⑤	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第12回	対面	卒業論文発表⑥	【予習】卒業論文の概要をまとめて報告できるようにしてください。 【復習】卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第13回	対面	グループディスカッション、ニュースプレゼンバトル③	【予習】グループディスカッション用資料を読んできてください。 【復習】講評をもとに、改善点を内省してください。また、卒業論文の執筆を進めてください。	4時間
第14回	対面	卒業論文提出前総点検	【予習】完成させた卒業論文の脚注等を確認してください。 【復習】教員から指摘された事項を修正してください。	4時間
第15回	オンデマンド	社会人として大学で得た知識をどのように活かすのか（オンデマンド）	【予習】これまでの授業内で配布したプリントを確認してください。 【復習】動画とレジュメを見返してください。	6時間

科目名	専門演習ⅢB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多　善	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論からグローバリゼーションと文化について考察する		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習ⅢA」に引き続き、専門分野における特定のテーマに関する知識を学修し、自身の調査・研究に取り組むことによって、テーマの設定、資料調査、分析、そして研究成果の発表にいたるまでの、一連のプロセスを学ぶことを目的とする。履修生は、各自の問題関心に基づき研究を進める。12000字の卒業論文を執筆する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	3年間で学修した異文化理解・国際関係学・国際文化学に関する知識や理論をグローバリゼーションと文化に対して応用し、分析・考察を行うことで理解を深める。 自身の発表に向けて内容をまとめあげ、卒業論文を執筆する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	グループでの調査については、その方法論と調査方法について、適切なコメントやアドバイスをし、フィードバックをおこなう。また発表・レポートについてはコメントや改善点を提示する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	ISBN	使用しない。
参考書	①Sarah Tomley and Mitchell Hobs, 2015, 'The Sociology Book: Big Ideas Simply Explained', DK ②岸政彦ほか(2016)『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ③ジグムント・バウマン(2014)『リキッド化する世界の文化論』訳伊藤茂、青土社	ISBN	①978-1465436504 ②978-4641150379 ③978-4791768073

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	国際関係学、国際文化学、世界の文化的な事象を考察し、自身のテーマから研究を進め卒業論文の完成を目指します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション: 授業の目的・意義・方法・評価について 世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第2回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第3回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間
第4回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(2時間)	4時間

第5回	対面	世界/国際関係/国際文化の省察 ・指定された章のグループ発表 ・指定された章の解説 ・ディスカッション ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第6回	対面	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・個人発表	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第7回	オンデマンド	質的・量的調査の確認: ・調査の目的と意義 ・仮設の提示 ・調査方法の妥当性 ・分析方法 について理解する。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、自身の研究及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第8回	対面	社会調査及び自身の研究①: 社会調査及び自身の研究発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、発表向に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第9回	対面	社会調査及び自身の研究②: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 指定された章を熟読し、社会調査及び発表に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第10回	対面	社会調査及び自身の研究③: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第11回	対面	社会調査及び自身の研究④: 社会調査及び自身の発表をおこなう。	前回授業の学びの要点に関する事後学修をおこなう。(所要時間1時間) 報告に向けた準備をおこなう。(所要時間1時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第12回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 個人発表	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第13回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 個人発表	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第14回	対面	グローバリゼーションと文化に関する省察 個人発表	前回授業を復習し、自身の研究と課題を明らかにする。(所要時間2時間) 各自の研究調査(資料調査・論文執筆)をおこなう。(所要時間2時間)	4時間
第15回	対面	2年間の総括と卒論の講評 春学期総括	卒論を提出する。	4時間

科目名	専門演習ⅢB	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	岩見　真希	**配当年次**	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する調査研究		
授業の目的及び概要	この授業では、「専門演習ⅢA」に引き続き、専門テーマに基づく課題研究に取り組む。各自、課題研究の成果を中間発表し、授業での討論を通して、検討しなければならない具体的な課題を明確にする。また、調査、分析、発表といった一連のプロセスを行う能力と筋道を立てて考える力等をさらに向上させる。学士課程における学修の締めくくりとして、教員の指導のもとで研究成果を完成させる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	講義科目等で学修した知識や理論を社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティの諸課題に対して応用し、分析・考察を行うことで総合的学修を行う。授業の前半では、「専門演習ⅢA」で学修した内容に基づき、個々の履修生がテーマに関連した調査・分析を行う。授業の後半では、調査・分析した内容を発表し、教員や履修生間でディスカッションを行うことで、その内容についての理解を深め、課題研究を完成させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課した課題について、授業内で講評する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しない	**ISBN**	特に指定しない
参考書	情報通信白書 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html 情報セキュリティ白書2022 https://www.ipa.go.jp/security/publications/hakusyo/2022.html	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	50	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			
この科目の履修にあたって	社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティについて、幅広く興味を持って調査研究しよう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の目的や目標、進め方など授業の概要を説明する。	授業後に、授業で配布した資料を読ん復習しておくこと。	4時間
第2回	対面	テーマの再検討(1) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の課題研究に関連する調査・分析のテーマをさらに深く掘り下げる。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間
第3回	対面	テーマの再検討(2) 教員や履修生間でのディスカッションにより、個々の課題研究に関連する調査・分析のテーマをさらに深く掘り下げる。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間
第4回	対面	課題研究に関連する調査・分析(1) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間
第5回	対面	課題研究に関連する調査・分析(2) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間
第6回	対面	課題研究に関連する調査・分析(3) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間
第7回	対面	課題研究に関連する調査・分析(4) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間
第8回	対面	課題研究に関連する調査・分析(5) 社会的課題解決に向けたICTの利活用および情報セキュリティに関する課題研究に関連する調査・分析を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んでおくこと。	4時間

第9回	オンデマンド	課題研究作成指導(1) これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	課題に取り組み、提出すること。	4時間
第10回	対面	課題研究作成指導(2) これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第11回	対面	課題研究作成指導(3) これまでの研究成果の取りまとめと研究手法、レポート作成について指導を行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること。	4時間
第12回	対面	課題研究発表(1) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること 。	4時間
第13回	対面	課題研究発表(2) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること 。	4時間
第14回	対面	課題研究発表(3) 個々の課題研究の内容を発表し、教員と履修生がディスカッションを行う。	課題に取り組み、次回授業で報告すること 。	4時間
第15回	対面	総括 授業全体の総括を行う。	授業前後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと。	4時間

科目名	専門演習ⅢB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	伍 躍	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代アジアの諸課題:歴史の視点		
授業の目的及び概要	専門演習ⅢAの内容に基づいて、歴史の視点から現代アジアの諸課題を引き続き学び、分析・考察を通して各自が取り組む課題研究を発展させることを目的とする。テーマに関連する文献調査を調査し、それに基づき考察することで、課題研究を深めていく。課題研究の成果は、授業において報告(個人かグループ)を行い、教員による指導のもと履修生間で討論を行う。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①現代アジアの諸課題を観察して、歴史の視点で理解し自らの見解をまとめることができる。 ②特定のテーマに関する調査・研究を行い、国際社会の多様性、異なる価値観や文化的背景をもつ他者との協働に資する有為な論点や処方を獲得することができる。 ③プレゼン力・協働力のさらなる向上を目指す。 ④卒業論文を提出することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①提出物(コメントペーパーやレポート)は次回以降の授業で返却し、演習内で他の学生を交えて意見交換を行う。 ②ラーニング・ポータルのディスカッション機能を含むICT手段を活用する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	不使用	ISBN	なし
参考書	吉澤誠一郎編『論点・東洋史学:アジア・アフリカへの問い』、ミネルヴァ書房、2021	ISBN	9784623092178

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	大学における学修生活4年間の集大成と記念としての卒業論文の執筆に励んでいただきたい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション ①授業計画説明 ②卒業論文の進捗状況の確認 ③個人面談	復習:配布資料をもとに、本学期のスケジュールを確認し、自らの履修計画を考える(2時間程度) 予習:配布資料をもとに、資料調査・収集のポイントを事前に確認する(2時間程度)	4時間
第2回	対面	学位論文の構成と仕上げの方法	復習:配布資料をもとに、資料調査・収集のポイントを再確認する(2時間程度) 予習:配布資料をもとに、研究課題の選定/調整を行う(2時間程度)	4時間
第3回	対面	現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討・発表をし、教員と履修生がディスカッションを行う。	復習:教員が指定した資料を使って事後学修すること (2時間程度)。 予習:教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第4回	対面	現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討・発表をし、教員と履修生がディスカッションを行う。	復習:教員が指定した資料を使って事後学修すること (2時間程度)。 予習:教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間
第5回	対面	現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討・発表をし、教員と履修生がディスカッションを行う。	復習:教員が指定した資料を使って事後学修すること (2時間程度)。 予習:教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。	4時間

第6回	対面	現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討・発表をし、教員と履修生がディスカッションを行う。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第7回	対面	現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討・発表をし、教員と履修生がディスカッションを行う。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第8回	対面	現代アジアの諸課題に関する調査テーマの検討・発表をし、教員と履修生がディスカッションを行う。	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第9回	オンデマンド	卒業研究の仕上げに向けて	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第10回	対面	卒業研究の最終発表１	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第11回	対面	卒業研究の最終発表２	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第12回	対面	卒業研究の最終発表３	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第13回	対面	卒業研究の最終発表４	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第14回	対面	卒業研究の最終発表５	復習：教員が指定した資料を使って事後学修すること（2時間程度）。 予習：教員が指定した文献資料を事前に読むこと（2時間程度）。	4時間
第15回	対面	振り返り・まとめ ＊以上の授業計画は卒業研究の進捗状況に応じて、オンデマンド授業の実施時期を含めて微調整を行う可能性はある。	復習＋予習：卒業論文を執筆すること（4時間以上）	4時間

科目名	卒業論文	開講年度	2023年度春学期
担当者	専門演習ⅢA・B担当教員	配当年次	4
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	4単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G4		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	卒業論文の作成		
授業の目的及び概要	「専門演習ⅢA・B」での報告と教員の指導をもとに、卒業論文を完成させます。詳細について、年度初めに発行する『卒業研究ガイド』を必ず参照してください。 3年次に選んだ自身の所属ゼミの専攻分野の中からテーマを選び、情報利活用力、文献理解力、検証・考察力、文章作成力、そして自分の集中力と忍耐力のすべてを使って完成させます。4年間にわたる国際学を中心とする大学の学びの集大成というべきものです。 卒業論文の執筆を通して、国際学の専門知識を深め、社会で活躍するために必要な現代社会の諸課題の解決に向けて取り組む力を身につけます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	自身が設定したテーマに関して、これまでにどのようなことが議論されてきたのかを整理し、残された課題や自身の意見を述べることができるようになること。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	論文の添削・指導を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	―	ISBN	―
参考書	―	ISBN	―

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	卒業論文	

この科目の履修にあたって	12,000字以上の卒業論文を執筆し、社会で活躍することができる力を身につけてください。合格作品は図書館で永久保存し、学内での閲覧に供します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	―	―	6時間
第2回	対面	―	―	6時間
第3回	対面	―	―	6時間
第4回	対面	―	―	6時間
第5回	対面	―	―	6時間
第6回	対面	―	―	6時間
第7回	対面	―	―	6時間
第8回	対面	―	―	6時間
第9回	対面	―	―	6時間
第10回	対面	―	―	6時間

第11回	対面	ー	ー	6時間
第12回	対面	ー	ー	6時間
第13回	対面	ー	ー	6時間
第14回	対面	ー	ー	6時間
第15回	オンデマンド	ー	ー	6時間

科目名	海外語学研修A＜海外語学研修＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修A＜海外語学研修＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1)（事前学修） 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2)（事前学修） 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3)（事前学修） 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4)（事前学修） 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5)（事前学修） 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修B	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修C	開講年度	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修C	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修D	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	中西　亮太	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	0	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**		**成果発表(口頭・実技)(%)**		**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	
この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	海外語学研修D	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語運用能力を高める		
授業の目的及び概要	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修である。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とする。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図る。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業は、オーストラリアの海外協定校における4週間の英語研修です。英語の4技能(文章表現・読解・聴解・口頭表現)について集中的に学び、英語運用能力を高めることを目標とします。また、海外での生活、社会・文化体験、学生や市民との交流などを通じて、異文化への理解促進、学修動機の形成あるいは向上を図ります。履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績書などをもとに担当教員が内容を評価し単位を認定します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	事前学修のなかで現地プログラムに関する質問・疑問にフィードバックする。事後学修のなかで、現地プログラムにおいて学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)		成果発表(口頭・実技)(%)		中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	100	帰国後に履修生が提出する学修成果に関するレポート、研修先が発行する成績など	

この科目の履修にあたって	事前学修、留学体験が順調にいくための非常に重要な内容が入っており、必ず出席して内容をしっかり聞いてメモしましょう。留学期間中も、現地の人との積極的な交流と、現地での英語の学習と、両方の要素が貴重な体験となりますので、両方に力を入れましょう。事後学修も、研修の重要な要素なので必ず出席すること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回		オリエンテーションおよび渡航時の英語表現(1) (事前学修) 飛行機の機内時に使う表現、入国管理	事前学修:事前に配布している渡航に関する資料を通読しておくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第2回		渡航時の英語表現(2) (事前学修) 食事の注文、道案内の尋ね方	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第3回		渡航時の英語表現(3) (事前学修) 待ち合わせをする表現、遺失物を説明する英語表現、交通機関を使うときに便利な表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第4回		渡航時の英語表現(4) (事前学修) 銀行で使う英語、体調不良やちょっとした怪我のときの表現	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第5回		渡航時の英語表現(5) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、地理・気候・社会・文化等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間

第6回		渡航時の英語表現(6) (事前学修) 自国の説明を行うときの表現、政治・経済・ビジネス等	事前学修:前回の授業で配布している資料をしっかりと読んでおくこと 事後学修:授業で学んだ内容について、資料を基に復習すること	4時間
第7回		イントロダクション (海外現地) オリエンテーション、プレイスメントテスト、キャンパスツアー	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第8回		英語授業(1) (海外現地) 英語授業(午前)、教員との個人面談(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第9回		英語授業(2) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第10回		英語授業(3) (海外現地) 英語授業(午前)、課外活動(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第11回		英語授業(4) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第12回		英語授業(5) (海外現地) 英語授業(午前)、フィールドワーク(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第13回		英語授業(6) (海外現地) 英語授業(午前)、ワークショップ(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第14回		英語授業(7) (海外現地) 英語授業(午前)、現地学生との交流(午後)	事前学修:事前に配布された資料等を通読する 事後学修:現地での学修のポイントの整理	4時間
第15回		課題発表 (事後学修) グループ発表:「私たちの海外体験について」。来年度の海外語学研修に参加する学生のためのアドバイスについてのディスカッションや、資料の作成	事前学修:発表に向け、最終の準備をしておく 事後学修:今後の学修に活かせるように語学研修で学んだことを総復習すること	4時間

科目名	フィールド・プロジェクトA＜フィールド・プロジェクトⅠ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトA＜フィールド・プロジェクトⅠ＞	開講年度	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトA＜フィールド・プロジェクトⅠ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトA＜フィールド・プロジェクトⅠ＞	開講年度	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトB	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトB	開講年度	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトB	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトB	開講年度	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトC	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトC	開講年度	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトC	開講年度	2023年度秋学期
担当者	張　雪斌	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	フィールド・プロジェクトC	開講年度	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界に対する関心を高め、「気づき」を得る		
授業の目的及び概要	この授業は、国内における事前・事後学修と海外における約1週間の体験・研修から構成される。国内での集中的な学修と海外の研修先における、学修、交流活動、現地調査、ボランティア活動などの種々の学修及び体験を通して、異文化理解、コミュニケーション能力、協働力を養うことを目的とする。また、学修と体験の過程を通じて、国際感覚の涵養と学修動機の形成あるいは向上を図る。学修目標の達成度、プロジェクトレポートの内容、学修成果発表の結果などをもとに担当教員が成績評価を行う。		
履修の条件・注意	国際学部2年生以上は1年次の留学・体験科目は必修であり、海外語学研修またはフィールドプロジェクトⅠのいずれかを履修しなければならない。国際学部1年生も、卒業要件である留学・体験科目2単位以上に含まれるものとして、本科目を履修することができる。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	学修、生活、交流、ボランティア活動等、学生たちの主体的な活動への参加を促し、異なる人々とのコミュニケーションや協働を通じて、1)言語運用能力とコミュニケーション能力の向上、2)国際理解と国際性の涵養、3)チームワーク、リーダーシップ、協働について学ぶこと、4)大学での学修への動機を形成あるいは深めることを目標とする。 (この科目の位置づけ、学位授与方針との関係等については、履修要項「国際学部教育課程の編成の考え方」及び「コース制と履修モデル」を参照。)		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業での発表、あるいは、現地での見学の総括後には、各見学地において学んだことを学生とディスカッションすると同時に、教員から適宜ポイントを伝える。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.
参考書	参加するプログラムのなかで指示する。	ISBN	N.A.

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	60	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	なし	なし	

この科目の履修にあたって	国際学部1年次の学びのテーマは「気づき」である。世界に対する興味・関心を広げ、自国の歴史・文化・社会と、研修先国との歴史・文化・社会との相違から、多くの「気づき」を得てほしい。そのためにも、学生はプログラムにおける積極性が強く求められ、どんどん見聞きし、経験していく姿勢が重要である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション プログラムの概要説明と理解、自己紹介、渡航に当たっての注意(危機管理オリエンテーション(1)、ビザ情報含む)、個人/チーム別プレゼンテーションの担当決めおよび説明	事前学修:分担になっている渡航先の社会について調べ、プレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第2回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(1) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および交流イベントでのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:TOEIC IPに向けた学修 事後学修:渡航先国について、図書を読み知識を深める	4時間
第3回	対面	TOEIC®IP受験	事前学修:分担になっている渡航先の社会について、調べプレゼンの準備をする 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第4回	対面	講義とディスカッション:研修先となる国・地域理解(2) 渡航先の社会・政治・経済課題の個人プレゼンテーション(1人5分)、プログラムの到達目標・意義、ボランティア・文化活動および現地での交流でのプレゼンテーション案などのディスカッション	事前学修:現地プログラムを準備するために、自国と渡航先国の文化の差異を調べる 事後学修:渡航先国について、図書と読み知識を深める	4時間
第5回	対面	語学授業(英語＋研修国・地域の言語基礎) 英語/現地言語講座、プログラムのなかで、ボランティア・文化紹介活動の企画、日本文化紹介の準備	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第6回	対面	目標シートの作成 出発前のプログラムの最終確認、目標シートの作成と提出、危機管理オリエンテーション(2)	事前学習:渡航に向けた準備として、グローバル化が渡航先国にもたらす現象について調べる。 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間

第7回	対面	オリエンテーション、英語と研修国・地域の言語基礎授業、研修中の活動に関わる準備(1) 1)オリエンテーション 計画書、目標シートに基づいた準備とディスカッション、危機管理オリエンテーション(3) 2) 英語と研修国・地域の言語基礎授業 3) 研修中の活動に関わる準備(1) 4) チームビルディング 5) 目標設定の確認、ディスカッション	事前学習:現地プログラムでの発表の最終準備 事後学修:現地語の復習をし、挨拶程度の簡単な会話ができるように準備しておく。	4時間
第8回	対面	イントロダクション オリエンテーション、歓迎会、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第9回	対面	フィールドワーク(1) 派遣国の社会、政治、経済に関するフィールドワーク、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第10回	対面	フィールドワーク(2) フィールドワーク(日系企業、NGOの訪問・インタビュー、社会文化施設見学など)、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第11回	対面	ボランティア・文化交流活動(1) 学校訪問と交流など 社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第12回	対面	ボランティア・文化交流活動(2) 学校訪問と交流など、社会的弱者支援のボランティア・文化交流活動:学校、児童養護施設(孤児院)やまたは老人福祉施設など、総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第13回	対面	成果発表と交流 プレゼンテーション:(1)大学紹介、(2)日本・大阪紹介、(3)今回のFld.Pで学んだことなど、 総括ミーティング実施、各自活動日誌作成	事前学習:翌日の活動を確認し、獲得目標を立てる 事後学修:一日の活動をまとめる	4時間
第14回	対面	課題発表準備 活動日誌の整理と提出、現地研修からの学びと課題についてのディスカッション、学修成果発表に向けてのプレゼンテーションの作成	事前・事後学習:報告会に向けた準備	6時間
第15回	対面	学修成果発表とTOEIC®IP受験 フィールド・プロジェクトⅠを通じての学修成果についてのプレゼンテーションの発表、TOEIC®IP受験	事後学修:現地での活動とそこでの体験の省察をレポートにまとめる	6時間

科目名	国際キャリア開発A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	池上　寛	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来を見据えた学生生活の設計		
授業の目的及び概要	国際キャリア開発Aは、国際キャリア開発Bとともに、卒業後の生涯にわたる「生き方・学び方・働き方(＝キャリア)」を考えながら、社会人に求められる就業力を培う科目である。就業力とは、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力である。さらに、国際学部生の卒業後の進路を見据え、グローバル人材に求められる能力と態度について理解することを目標とする。 この授業では、日本の経済・社会情勢の変化やグローバル化の進展を踏まえ、卒業後の進路選択で重要となる社会観と職業観を養成するため、「社会理解、産業・企業理解、職業理解」をテーマとして、課題に取り組むことで就業力を培う。そして、これらの理解を通じて、キャリア形成に向けた自己の目標を設定し、学生時代に取り組むべき諸課題を認識する。さらに、グローバル化における自らのキャリアデザインをイメージするため、①異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイルの理解、②海外勤務の特性の理解、③日本国内におけるグローバルキャリアの理解、等の課題にも取り組む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリア開発Aの学修到達目標は以下のとおりである。 ①将来のキャリア形成に向けて学生時代に取り組むべき諸課題を認識し、今後の計画を立てることができる。 ②自分自身の特長(長所・短所・興味・能力・価値観)について理解している。 ③現代社会の変化を踏まえ、職業や働き方を理解し、説明することができる。 ④グローバル人材として活躍するために必要な価値観、意欲・態度等をイメージできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は採点し、翌週の授業にて総評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	学就BOOK(日経HR編集部著)	**ISBN**	978-4-89112-167-9
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表(口頭・実技)(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	―	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	―	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	授業を通じて、卒業後の進路に関する視野を広げ、キャリアデザインについて積極的に取り組む姿勢・価値観を培うことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス キャリアとは何か、キャリア開発で何を学ぶかについてガイダンスを行う。	【復習】授業内で使用した配布資料などを読み直し 、改めてこれまでの学生生活を振り返る。	2時間
第2回	オンデマンド	【オンデマンド】【自己理解】大学生活を考えよう① 学生生活の過ごし方のポイントを理解し、学生時代に「やって良かったこと・やれば良かったこと」を知る。	【予習】学就BOOK「4章・5章・6章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「4章・5章・6章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第3回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう② サークル・部活、インターンシップ、留学の魅力を知り、今後の大学生活を考える。	【予習】学就BOOK「8章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「8章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第4回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう③ 資格の魅力、大学で取得可能な資格について知り、大学生活を考える。	【予習】学就BOOK「9章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「9章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第5回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう④ 文章作成のポイントを理解し、今後の大学生活、就職活動に繋げる。	【予習】学就BOOK「スタディスキル」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「スタディスキル」を読み直し、文章作成のポイントについて復習する。	4時間
第6回	対面	【職業理解】金融リテラシーの重要性を知る ファイナンシャルプランニングについて学び、お金・時間の使い方について理解を深める。	【予習】学就BOOK「2章」を事前に読んでおく。 【復習】配布された資料を読み直し、ファイナンシャルプランニングについて復習する。	4時間

第7回	対面	中間試験	【復習】これまでの学修についての中間試験を実施するので、第6回までの内容を復習する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】就職活動について知る① 新規学卒労働市場と就職活動の流れについて理解する。	【予習】学就BOOK「11章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「11章」、パワーポイント資料を読み直し、新規学卒労働市場と就職活動の流れについて復習する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】就職活動について知る② 就業力に求められる汎用的技能（数量的スキル）について確認し、自身がどのように向きあっていくか計画する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】就職活動について知る③ 正規雇用・非正規雇用の違いを理解する。	【予習】正規雇用・非正規雇用の違いについて自身で調べ、理解を深める。 【復習】配布された資料を読み直し、正規雇用・非正規雇用について復習する。	4時間
第11回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成① 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】学就BOOK「1章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「1章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第12回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成② 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】イノベーション・今後変わっていく働き方について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、イノベーションで今後変わっていく仕事・働き方について復習する。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成③ 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】学部での学習内容を見直し、学びについて振り返る。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、学部の学び・進路特性を踏まえた仕事について復習する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】特別講演② ゲスト講師による「企業が求める人材像」について知る。	【予習】講義内にて指示を受けた業界について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働く上で大切なこと・留意すべきポイントについて復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題	【予習】学期内の学修についての期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア開発A	開講年度	2023年度春学期
担当者	水野　清	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来を見据えた学生生活の設計		
授業の目的及び概要	国際キャリア開発Aは、国際キャリア開発Bとともに、卒業後の生涯にわたる「生き方・学び方・働き方(＝キャリア)」を考えながら、社会人に求められる就業力を培う科目である。就業力とは、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力である。さらに、国際学部生の卒業後の進路を見据え、グローバル人材に求められる能力と態度について理解することを目標とする。 この授業では、日本の経済・社会情勢の変化やグローバル化の進展を踏まえ、卒業後の進路選択で重要となる社会観と職業観を養成するため、「社会理解、産業・企業理解、職業理解」をテーマとして、課題に取り組むことで就業力を培う。そして、これらの理解を通じて、キャリア形成に向けた自己の目標を設定し、学生時代に取り組むべき諸課題を認識する。さらに、グローバル化における自らのキャリアデザインをイメージするため、①異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイルの理解、②海外勤務の特性の理解、③日本国内におけるグローバルキャリアの理解、等の課題にも取り組む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリア開発Aの学修到達目標は以下のとおりである。 ①将来のキャリア形成に向けて学生時代に取り組むべき諸課題を認識し、今後の計画を立てることができる。 ②自分自身の特長(長所・短所・興味・能力・価値観)について理解している。 ③現代社会の変化を踏まえ、職業や働き方を理解し、説明することができる。 ④グローバル人材として活躍するために必要な価値観、意欲・態度等をイメージできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は採点し、翌週の授業にて総評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティング戦略の企画・立案や組織のマネジメント業務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	学就BOOK(日経HR編集部著)	ISBN	978-4-89112-167-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	―	成果発表(口頭・実技)(%)	―	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	―	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	―	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	授業を通じて、卒業後の進路に関する視野を広げ、キャリアデザインについて積極的に取り組む姿勢・価値観を培うことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス キャリアとは何か、キャリア開発で何を学ぶかについてガイダンスを行う。	【復習】授業内で使用した配布資料などを読み直し 、改めてこれまでの学生生活を振り返る。	2時間
第2回	オンデマンド	【オンデマンド】【自己理解】大学生活を考えよう① 学生生活の過ごし方のポイントを理解し、学生時代に「やって良かったこと・やれば良かったこと」を知る。	【予習】学就BOOK「4章・5章・6章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「4章・5章・6章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第3回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう② サークル・部活、インターンシップ、留学の魅力を知り、今後の大学生活を考える。	【予習】学就BOOK「8章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「8章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第4回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう③ 資格の魅力、大学で取得可能な資格について知り、大学生活を考える。	【予習】学就BOOK「9章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「9章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第5回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう④ 文章作成のポイントを理解し、今後の大学生活、就職活動に繋げる。	【予習】学就BOOK「スタディスキル」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「スタディスキル」を読み直し、文章作成のポイントについて復習する。	4時間
第6回	対面	【職業理解】金融リテラシーの重要性を知る ファイナンシャルプランニングについて学び、お金・時間の使い方について理解を深める。	【予習】学就BOOK「2章」を事前に読んでおく。 【復習】配布された資料を読み直し、ファイナンシャルプランニングについて復習する。	4時間

第7回	対面	中間試験	【復習】これまでの学修についての中間試験を実施するので、第6回までの内容を復習する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】就職活動について知る① 新規学卒労働市場と就職活動の流れについて理解する。	【予習】学就BOOK「11章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「11章」、パワーポイント資料を読み直し、新規学卒労働市場と就職活動の流れについて復習する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】就職活動について知る② 就業力に求められる汎用的技能（数量的スキル）について確認し、自身がどのように向きあっていくか計画する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】就職活動について知る③ 正規雇用・非正規雇用の違いを理解する。	【予習】正規雇用・非正規雇用の違いについて自身で調べ、理解を深める。 【復習】配布された資料を読み直し、正規雇用・非正規雇用について復習する。	4時間
第11回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成① 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】学就BOOK「1章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「1章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第12回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成② 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】イノベーション・今後変わっていく働き方について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、イノベーションで今後変わっていく仕事・働き方について復習する。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成③ 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】学部での学習内容を見直し、学びについて振り返る。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、学部の学び・進路特性を踏まえた仕事について復習する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】特別講演② ゲスト講師による「企業が求める人材像」について知る。	【予習】講義内にて指示を受けた業界について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働く上で大切なこと・留意すべきポイントについて復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題	【予習】学期内の学修についての期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア開発A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	吉良　悟	**配当年次**	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来を見据えた学生生活の設計		
授業の目的及び概要	国際キャリア開発Aは、国際キャリア開発Bとともに、卒業後の生涯にわたる「生き方・学び方・働き方(＝キャリア)」を考えながら、社会人に求められる就業力を培う科目である。就業力とは、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力である。さらに、国際学部生の卒業後の進路を見据え、グローバル人材に求められる能力と態度について理解することを目標とする。 この授業では、日本の経済・社会情勢の変化やグローバル化の進展を踏まえ、卒業後の進路選択で重要となる社会観と職業観を養成するため、「社会理解、産業・企業理解、職業理解」をテーマとして、課題に取り組むことで就業力を培う。そして、これらの理解を通じて、キャリア形成に向けた自己の目標を設定し、学生時代に取り組むべき諸課題を認識する。さらに、グローバル化における自らのキャリアデザインをイメージするため、①異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイルの理解、②海外勤務の特性の理解、③日本国内におけるグローバルキャリアの理解、等の課題にも取り組む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリア開発Aの学修到達目標は以下のとおりである。 ①将来のキャリア形成に向けて学生時代に取り組むべき諸課題を認識し、今後の計画を立てることができる。 ②自分自身の特長(長所・短所・興味・能力・価値観)について理解している。 ③現代社会の変化を踏まえ、職業や働き方を理解し、説明することができる。 ④グローバル人材として活躍するために必要な価値観、意欲・態度等をイメージできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は採点し、翌週の授業にて総評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	学就BOOK(日経HR編集部著)	**ISBN**	978-4-89112-167-9
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表(口頭・実技)(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	―	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	―	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	授業を通じて、卒業後の進路に関する視野を広げ、キャリアデザインについて積極的に取り組む姿勢・価値観を培うことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス キャリアとは何か、キャリア開発で何を学ぶかについてガイダンスを行う。	【復習】授業内で使用した配布資料などを読み直し 、改めてこれまでの学生生活を振り返る。	2時間
第2回	オンデマンド	【オンデマンド】【自己理解】大学生活を考えよう① 学生生活の過ごし方のポイントを理解し、学生時代に「やって良かったこと・やれば良かったこと」を知る。	【予習】学就BOOK「4章・5章・6章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「4章・5章・6章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第3回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう② サークル・部活、インターンシップ、留学の魅力を知り、今後の大学生活を考える。	【予習】学就BOOK「8章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「8章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第4回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう③ 資格の魅力、大学で取得可能な資格について知り、大学生活を考える。	【予習】学就BOOK「9章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「9章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第5回	対面	【自己理解】大学生活を考えよう④ 文章作成のポイントを理解し、今後の大学生活、就職活動に繋げる。	【予習】学就BOOK「スタディスキル」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「スタディスキル」を読み直し、文章作成のポイントについて復習する。	4時間
第6回	対面	【職業理解】金融リテラシーの重要性を知る ファイナンシャルプランニングについて学び、お金・時間の使い方について理解を深める。	【予習】学就BOOK「2章」を事前に読んでおく。 【復習】配布された資料を読み直し、ファイナンシャルプランニングについて復習する。	4時間

第7回	対面	中間試験	【復習】これまでの学修についての中間試験を実施するので、第6回までの内容を復習する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】就職活動について知る① 新規学卒労働市場と就職活動の流れについて理解する。	【予習】学就BOOK「11章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「11章」、パワーポイント資料を読み直し、新規学卒労働市場と就職活動の流れについて復習する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】就職活動について知る② 就業力に求められる汎用的技能（数量的スキル）について確認し、自身がどのように向きあっていくか計画する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】就職活動について知る③ 正規雇用・非正規雇用の違いを理解する。	【予習】正規雇用・非正規雇用の違いについて自身で調べ、理解を深める。 【復習】配布された資料を読み直し、正規雇用・非正規雇用について復習する。	4時間
第11回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成① 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】学就BOOK「1章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「1章」・パワーポイント資料を読み直し、大学生活の取り組みについて復習する。	4時間
第12回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成② 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】イノベーション・今後変わっていく働き方について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、イノベーションで今後変わっていく仕事・働き方について復習する。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びとキャリア形成③ 学部での学びを通じて、自身の未来や社会の未来を考える。	【予習】学部での学習内容を見直し、学びについて振り返る。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、学部の学び・進路特性を踏まえた仕事について復習する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】特別講演② ゲスト講師による「企業が求める人材像」について知る。	【予習】講義内にて指示を受けた業界について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働く上で大切なこと・留意すべきポイントについて復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題	【予習】学期内の学修についての期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア開発B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	池上　寛	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来を見据えた学生生活の設計		
授業の目的及び概要	国際キャリア開発Bは、国際キャリア開発Aに続き、卒業後の生涯にわたる「生き方・学び方・働き方(＝キャリア)」を考えながら、社会人に求められる就業力を培う科目である。就業力とは、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力となる。さらに、国際学部生の卒業後の進路を見据え、グローバル人材に求められる能力と態度について理解することを目標とする。 この授業では、日本の経済・社会情勢の変化やグローバル化の進展を踏まえ、卒業後の進路選択で重要となる社会観と職業観を養成するため、「社会人として必要な能力」・「働き方を考える」などをテーマとして、課題に取り組むことで就業力を培う。そして、キャリアデザインをイメージしつつ、社会人として求められる能力とは何かを考えその養成を図る。そのため、最新のキャリア事情を踏まえて、様々なワーク課題に取り組みつつ、コミュニケーション能力をはじめとする汎用的基礎力を養成する。 さらに、グローバル化における自らのキャリアデザインをイメージするため、①異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイルの理解、②海外勤務の特性の理解、③日本国内におけるグローバルキャリアの理解、等の課題にも取り組む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリア開発Bの学修到達目標は以下のとおりである。 ①自分自身の長所や短所を理解し、言語化できる。 ②社会課題や業界・企業について関心を持って情報収集ができる。 ③自身の将来や社会で働くことについて関心を持つことができている。 ④グローバル人材として活躍するために必要な価値観、意欲・態度等をイメージできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は採点し、翌週の授業にて総評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	学就BOOK(日経HR編集部著)	ISBN	978-4-89112-167-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	―	成果発表(口頭・実技)(%)	―	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	―	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	―	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	授業を通じて、卒業後の進路に関する視野を広げ、グローバルな観点とともに、キャリアデザインについて積極的に取り組む姿勢・価値観を培うことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス 社会人基礎力診断＋企業動向を知る	【予習】学就BOOK「10章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「10章」、パワーポイント資料を読み直し、社会人基礎力について復習する。	2時間
第2回	対面	【職業理解】社会人基礎力について考える① ビンゴゲームとディスカッションを通して、社会人基礎力について理解する。	【予習】社会人基礎力について調べ、ワークシートに記入する。 【復習】配布資料等を読み直し、社会人基礎力について再度確認する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】社会人基礎力について考える② 仕事の現場で奮闘する社会人に関する動画を視聴し、仕事に向き合う姿勢や価値観について観察し、グループでディスカッションすることで、社会人に求められる諸要素について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】動画およびワークシートを振り返り、社会人基礎力を身につけるためには何が必要か確認する。	4時間
第4回	対面	【自己理解】様々な働き方を知る① 仕事観と働き方の変遷、多様な価値観に触れ、自分自身が大切にしたい生き方・働き方について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第5回	対面	【職業理解】様々な働き方を知る② 仕事観と働き方の変遷、多様な価値観に触れ、自分自身が大切にしたい生き方・働き方について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、講義で得た知識を確認する。	4時間

第6回	オンデマンド	【オンデマンド】【職業理解】特別講演① 働き方改革やダイバーシティ＆インクルージョンの基本的知識を習得する。	【予習】働き方改革やダイバーシティ＆インクルージョンについて事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働き方について復習する。	4時間
第7回	対面	中間試験	【復習】これまでの学修についての中間試験を実施するので、第7回までの内容を復習する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】「職種」「業種」について理解する① 職種・業種の体系、内容について理解し、各自の興味・関心、強みと照らし合わせて考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料を読み直し、「職種・業界」について再度確認する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】「職種」「業種」について理解する② 業界について理解を深め、卒業後の進路について考える。	【予習】職種・業種について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、業界の働き方について復習する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】「業界」について考える①（ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝと産業） グループワーク「チョコレートが消費者に届くまで」 グループワークを通じて、業界間のつながりを理解する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】作成した業界間のつながりを再度確認し、不足点を調査する。	4時間
第11回	対面	【職業理解】「業界」について考える②（ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝと産業） グループ発表 前回の取り組みのグループ発表及び講評・まとめ（サプライチェーンの観点を解説など）	【予習】前回の授業で使用したワークシートを提出（発表）できるよう事前準備をする。 【復習】グループ発表の振り返りと身の回りにある商品・サービスの業界間のつながりを検討し、理解を深める。	4時間
第12回	対面	【職業理解】特別講演② ゲスト講師による「企業が求める人材像」について知る。	【予習】講義で扱われる業界について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働き方について復習する。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びと自身のキャリアについて考えよう① 先輩学生による学生生活に関する講演を聞き、成長する学生生活について考える。	【予習】学就BOOK「7章・8章・9章」を事前に読んでおく。 【復習】講演資料・学就BOOK「7章・8章・9章」を読み直し、成長する学生生活について復習する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びと自身のキャリアについて考えよう② 1年間を振り返り、2年生からの計画をたてる。	【予習】学部での学習内容を見直し、学部での学びについて振り返る。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、学部の学び・進路特性を踏まえた仕事について復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題	【予習】学期内の学修についての期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア開発B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	水野　清	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来を見据えた学生生活の設計		
授業の目的及び概要	国際キャリア開発Bは、国際キャリア開発Aに続き、卒業後の生涯にわたる「生き方・学び方・働き方(＝キャリア)」を考えながら、社会人に求められる就業力を培う科目である。就業力とは、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力となる。さらに、国際学部生の卒業後の進路を見据え、グローバル人材に求められる能力と態度について理解することを目標とする。 この授業では、日本の経済・社会情勢の変化やグローバル化の進展を踏まえ、卒業後の進路選択で重要となる社会観と職業観を養成するため、「社会人として必要な能力」・「働き方を考える」などをテーマとして、課題に取り組むことで就業力を培う。そして、キャリアデザインをイメージしつつ、社会人として求められる能力とは何かを考えその養成を図る。そのため、最新のキャリア事情を踏まえて、様々なワーク課題に取り組みつつ、コミュニケーション能力をはじめとする汎用的基礎力を養成する。 さらに、グローバル化における自らのキャリアデザインをイメージするため、①異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイルの理解、②海外勤務の特性の理解、③日本国内におけるグローバルキャリアの理解、等の課題にも取り組む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリア開発Bの学修到達目標は以下のとおりである。 ①自分自身の長所や短所を理解し、言語化できる。 ②社会課題や業界・企業について関心を持って情報収集ができる。 ③自身の将来や社会で働くことについて関心を持つことができている。 ④グローバル人材として活躍するために必要な価値観、意欲・態度等をイメージできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は採点し、翌週の授業にて総評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業でマーケティング戦略の企画・立案や組織のマネジメント業務に従事してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	学就BOOK(日経HR編集部著)	ISBN	978-4-89112-167-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	―	成果発表(口頭・実技)(%)	―	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	―	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	―	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	授業を通じて、卒業後の進路に関する視野を広げ、グローバルな観点とともに、キャリアデザインについて積極的に取り組む姿勢・価値観を培うことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス 社会人基礎力診断＋企業動向を知る	【予習】学就BOOK「10章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「10章」、パワーポイント資料を読み直し、社会人基礎力について復習する。	2時間
第2回	対面	【職業理解】社会人基礎力について考える① ビンゴゲームとディスカッションを通して、社会人基礎力について理解する。	【予習】社会人基礎力について調べ、ワークシートに記入する。 【復習】配布資料等を読み直し、社会人基礎力について再度確認する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】社会人基礎力について考える② 仕事の現場で奮闘する社会人に関する動画を視聴し、仕事に向き合う姿勢や価値観について観察し、グループでディスカッションすることで、社会人に求められる諸要素について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】動画およびワークシートを振り返り、社会人基礎力を身につけるためには何が必要か確認する。	4時間
第4回	対面	【自己理解】様々な働き方を知る① 仕事観と働き方の変遷、多様な価値観に触れ、自分自身が大切にしたい生き方・働き方について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第5回	対面	【職業理解】様々な働き方を知る② 仕事観と働き方の変遷、多様な価値観に触れ、自分自身が大切にしたい生き方・働き方について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、講義で得た知識を確認する。	4時間

第6回	オンデマンド	【オンデマンド】【職業理解】特別講演① 働き方改革やダイバーシティ＆インクルージョンの基本的知識を習得する。	【予習】働き方改革やダイバーシティ＆インクルージョンについて事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働き方について復習する。	4時間
第7回	対面	中間試験	【復習】これまでの学修についての中間試験を実施するので、第7回までの内容を復習する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】「職種」「業種」について理解する① 職種・業種の体系、内容について理解し、各自の興味・関心、強みと照らし合わせて考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料を読み直し、「職種・業界」について再度確認する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】「職種」「業種」について理解する② 業界について理解を深め、卒業後の進路について考える。	【予習】職種・業種について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、業界の働き方について復習する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】「業界」について考える①（ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝと産業） グループワーク「チョコレートが消費者に届くまで」 グループワークを通じて、業界間のつながりを理解する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】作成した業界間のつながりを再度確認し、不足点を調査する。	4時間
第11回	対面	【職業理解】「業界」について考える②（ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝと産業） グループ発表 前回の取り組みのグループ発表及び講評・まとめ（サプライチェーンの観点を解説など）	【予習】前回の授業で使用したワークシートを提出（発表）できるよう事前準備をする。 【復習】グループ発表の振り返りと身の回りにある商品・サービスの業界間のつながりを検討し、理解を深める。	4時間
第12回	対面	【職業理解】特別講演② ゲスト講師による「企業が求める人材像」について知る。	【予習】講義で扱われる業界について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働き方について復習する。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びと自身のキャリアについて考えよう① 先輩学生による学生生活に関する講演を聞き、成長する学生生活について考える。	【予習】学就BOOK「7章・8章・9章」を事前に読んでおく。 【復習】講演資料・学就BOOK「7章・8章・9章」を読み直し、成長する学生生活について復習する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びと自身のキャリアについて考えよう② 1年間を振り返り、2年生からの計画をたてる。	【予習】学部での学習内容を見直し、学部での学びについて振り返る。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、学部の学び・進路特性を踏まえた仕事について復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題	【予習】学期内の学修についての期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア開発B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	吉良　悟	配当年次	1
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来を見据えた学生生活の設計		
授業の目的及び概要	国際キャリア開発Bは、国際キャリア開発Aに続き、卒業後の生涯にわたる「生き方・学び方・働き方(＝キャリア)」を考えながら、社会人に求められる就業力を培う科目である。就業力とは、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力となる。さらに、国際学部生の卒業後の進路を見据え、グローバル人材に求められる能力と態度について理解することを目標とする。 この授業では、日本の経済・社会情勢の変化やグローバル化の進展を踏まえ、卒業後の進路選択で重要となる社会観と職業観を養成するため、「社会人として必要な能力」・「働き方を考える」などをテーマとして、課題に取り組むことで就業力を培う。そして、キャリアデザインをイメージしつつ、社会人として求められる能力とは何かを考えその養成を図る。そのため、最新のキャリア事情を踏まえて、様々なワーク課題に取り組みつつ、コミュニケーション能力をはじめとする汎用的基礎力を養成する。 さらに、グローバル化における自らのキャリアデザインをイメージするため、①異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイルの理解、②海外勤務の特性の理解、③日本国内におけるグローバルキャリアの理解、等の課題にも取り組む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリア開発Bの学修到達目標は以下のとおりである。 ①自分自身の長所や短所を理解し、言語化できる。 ②社会課題や業界・企業について関心を持って情報収集ができる。 ③自身の将来や社会で働くことについて関心を持つことができている。 ④グローバル人材として活躍するために必要な価値観、意欲・態度等をイメージできる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は採点し、翌週の授業にて総評を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	学就BOOK(日経HR編集部著)	ISBN	978-4-89112-167-9
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	―	成果発表(口頭・実技)(%)	―	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	―	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	―	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	授業を通じて、卒業後の進路に関する視野を広げ、グローバルな観点とともに、キャリアデザインについて積極的に取り組む姿勢・価値観を培うことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス 社会人基礎力診断＋企業動向を知る	【予習】学就BOOK「10章」を事前に読んでおく。 【復習】学就BOOK「10章」、パワーポイント資料を読み直し、社会人基礎力について復習する。	2時間
第2回	対面	【職業理解】社会人基礎力について考える① ビンゴゲームとディスカッションを通して、社会人基礎力について理解する。	【予習】社会人基礎力について調べ、ワークシートに記入する。 【復習】配布資料等を読み直し、社会人基礎力について再度確認する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】社会人基礎力について考える② 仕事の現場で奮闘する社会人に関する動画を視聴し、仕事に向き合う姿勢や価値観について観察し、グループでディスカッションすることで、社会人に求められる諸要素について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】動画およびワークシートを振り返り、社会人基礎力を身につけるためには何が必要か確認する。	4時間
第4回	対面	【自己理解】様々な働き方を知る① 仕事観と働き方の変遷、多様な価値観に触れ、自分自身が大切にしたい生き方・働き方について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第5回	対面	【職業理解】様々な働き方を知る② 仕事観と働き方の変遷、多様な価値観に触れ、自分自身が大切にしたい生き方・働き方について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、講義で得た知識を確認する。	4時間

第6回	オンデマンド	【オンデマンド】【職業理解】特別講演① 働き方改革やダイバーシティ＆インクルージョンの基本的知識を習得する。	【予習】働き方改革やダイバーシティ＆インクルージョンについて事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働き方について復習する。	4時間
第7回	対面	中間試験	【復習】これまでの学修についての中間試験を実施するので、第7回までの内容を復習する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】「職種」「業種」について理解する① 職種・業種の体系、内容について理解し、各自の興味・関心、強みと照らし合わせて考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料を読み直し、「職種・業界」について再度確認する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】「職種」「業種」について理解する② 業界について理解を深め、卒業後の進路について考える。	【予習】職種・業種について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、業界の働き方について復習する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】「業界」について考える①（ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝと産業） グループワーク「チョコレートが消費者に届くまで」 グループワークを通じて、業界間のつながりを理解する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】作成した業界間のつながりを再度確認し、不足点を調査する。	4時間
第11回	対面	【職業理解】「業界」について考える②（ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝと産業） グループ発表 前回の取り組みのグループ発表及び講評・まとめ（サプライチェーンの観点を解説など）	【予習】前回の授業で使用したワークシートを提出（発表）できるよう事前準備をする。 【復習】グループ発表の振り返りと身の回りにある商品・サービスの業界間のつながりを検討し、理解を深める。	4時間
第12回	対面	【職業理解】特別講演② ゲスト講師による「企業が求める人材像」について知る。	【予習】講義で扱われる業界について事前に調べる。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、働き方について復習する。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びと自身のキャリアについて考えよう① 先輩学生による学生生活に関する講演を聞き、成長する学生生活について考える。	【予習】学就BOOK「7章・8章・9章」を事前に読んでおく。 【復習】講演資料・学就BOOK「7章・8章・9章」を読み直し、成長する学生生活について復習する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】学部での学びと自身のキャリアについて考えよう② 1年間を振り返り、2年生からの計画をたてる。	【予習】学部での学習内容を見直し、学部での学びについて振り返る。 【復習】パワーポイント資料を読み直し、学部の学び・進路特性を踏まえた仕事について復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題	【予習】学期内の学修についての期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリアデザインA＜国際キャリアデザイン演習A＞	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	榎原　千春	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来の生き方・働き方（キャリア）を考え描く（デザイン）		
授業の目的及び概要	この授業では、これに続く国際キャリアデザインBとともに、自分の将来の生き方・働き方を自分の興味や強みなどを見極めながら考え描き、その未来像を実現するために必要な技能と態度・姿勢について身につけることを目標とする。授業の目標を達成するために、講義をベースとしながらもペアワークやグループワークを適宜採り入れながら、授業を進める。 授業の概要としては、まず、「働くことの意味」について、他者の考えについても参考に、自分なりの考えをまとめる。次に社会人基礎力とそれを構成する3つの力、すなわち「考える力」「行動する力」「チームで働く力」について、社会人の方々の行動を観察することなどを通して理解し、表現する。そして、企業、社会の仕組みを確認しつつ、「職種」「業界」について理解し、自分の興味・関心と結びつけてみる。さらに「業界」について、業界間のつながりを理解し、将来の選択肢を広げる。 また、就職試験、さらには社会人として活躍するために必要なコミュニケーションスキルや数量的スキルなどの汎用的技能について、自分の現在のスキルを見極め、各自のスキルアップに向けた取り組みへとナビゲーションする機会を設定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリアデザインAの授業到達目標は以下の通りである。 ①「生きること」「働くこと」について、自分なりの考えをまとめ説明することができる。 ② 社会課題や業界・企業について関心を持って情報収集を行い、それに対する自身の考えを表現することができる。 ③「自分自身」について理解するとともに、将来の目標を実現するために必要なことをまとめ説明することができる。 ④学部の進路として想定される業界について、業界間のつながりや特色について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物（コメントシート等）については、翌週の授業で質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、個人事業主として、大学・企業でのキャリアカウンセリングや研修を多数実施してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	テキストは使用せず、動画の視聴やプリントを配付し、授業を進める。	**ISBN**	なし
参考書	「CAREER ROAD 2023（キャリアセンター発刊）」、キャリタス就活2025「業界MAP」	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表（口頭・実技）(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験（%）	―	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	―	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	この授業での学修は将来の進路選択において重要な指標となるため、授業内で積極的に発言し、課題に取り組むことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【職業理解】ガイダンス キャリアデザインに必要な素養・技能を修得することの意義を確認し、授業の概要を紹介する。	【復習】授業内で使用した配布資料等を読み直し、得た知識を確認する。	2時間
第2回	対面	【自己理解】「生きること」「働くこと」について考える①（キャリアアンカー） 各種ツールを使って、自己の価値観について分析する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】授業内で使用したレジュメ等を読み直し、「日本的雇用慣行、新規学卒労働市場、多様な雇用形態の仕組み等」について復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える②（ダイバーシティ） 「働き方改革」や「ダイバーシティ」をテーマに、講義とグループワークを通じて考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、学部に関連のある業界及びSDGsに取り組む企業について理解を深める。	4時間
第4回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える③（SDGs） 学部の主な進路先とこれからの企業選びのモノサシを理解し、各自の興味・関心、強みと重ねてみる。（SDGs）	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、学部に関連のある業界及びSDGsに取り組む企業について理解を深める。	4時間
第5回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える④（観察とディスカッション） 職場で奮闘する社会人の動画を視聴し、働くことの意義・価値観について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】動画およびワークシートを振り返り、働くことの意味や社会人基礎力の重要性を確認する。	4時間

第6回	対面	「生きること」「働くこと」について考える⑤（特別講演） 社会人による「生きること、働くことの意味」についての講演を聴き、「働くことの意味」について考える。 ※ゲストスピーカー	【予習】ゲストスピーカーの属する業界や企業についてインターネット等で事前に調査し、質問等を準備する。 【復習】配布資料等を読み直し、「生きること、働くことの意味」について再度確認する。	4時間
第7回	対面	「生きること」「働くこと」のまとめ　※中間課題 第6回までのまとめ（レポート作成）を行う。	【予習】「生きること」「働くこと」に関する中間課題を授業内で実施するので、第6回までの内容を復習する。 【復習】「生きること」「働くこと」を振り返り、講義で得た知識を確認する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】業界研究入門①グループワーク グループで特定の業界内企業の比較研究に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界の研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】作成した業界内企業の比較を再度確認し、不足点は調査する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】業界研究入門②グループワーク 前回につづき、グループワークを通して、特定の業界内企業の比較研究に取り組み、中間発表をする。	【予習】前回の授業で使用したワークシートを提出（発表）できるよう事前準備を行う。 【復習】作成した業界内企業の比較を再度確認し、不足点は調査する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】業界研究入門③グループワーク 前回につづき、完成した業界内企業の比較研究成果を発表する。	【予習】前回の授業で完成したワークシートの発表準備を行う。 【復習】発表を振り返り、興味関心がある業界の比較研究を進め、理解を深める。	4時間
第11回	オンデマンド	【オンデマンド】 【自己理解】「自己」を理解し表現する①（自己分析にどう向き合うか） 自己分析の意義とあり方について考える。★適性検査実施	【予習】CAREER ROAD「自己分析①」を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第12回	対面	【自己理解】「自己」を理解し表現する②（自分の興味・関心・強みの認識） 各種ツールを使って、自己の経験を棚卸し、自己を分析する。（マインドマップ・ジョハリの窓）★適性検査の振り返り	【予習】CAREER ROAD「自己分析②③」を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第13回	対面	【自己理解】「自己」を理解し表現する③（自分の弱みの認識・克服） 各種ツールを使って、自己の経験を棚卸し、自己を分析する。（リフレーミング）	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】「自己」を理解し表現する④（自分の興味・関心・強みの認識） 学部で学んだことを棚卸し、自己を分析する。	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】「自己」を理解し表現する④（自分の興味・関心・強みの認識） 学部で学んだことを棚卸し、自己を分析する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題 これまで学修してきた内容について総括する。夏休みに取り組むことを確認する。	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリアデザインA＜国際キャリアデザイン演習A＞	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	榎原　千春	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来の生き方・働き方（キャリア）を考え描く（デザイン）		
授業の目的及び概要	この授業では、これに続く国際キャリアデザインBとともに、自分の将来の生き方・働き方を自分の興味や強みなどを見極めながら考え描き、その未来像を実現するために必要な技能と態度・姿勢について身につけることを目標とする。授業の目標を達成するために、講義をベースとしながらもペアワークやグループワークを適宜採り入れながら、授業を進める。 授業の概要としては、まず、「働くことの意味」について、他者の考えについても参考に、自分なりの考えをまとめる。次に社会人基礎力とそれを構成する3つの力、すなわち「考える力」「行動する力」「チームで働く力」について、社会人の方々の行動を観察することなどを通して理解し、表現する。そして、企業、社会の仕組みを確認しつつ、「職種」「業界」について理解し、自分の興味・関心と結びつけてみる。さらに「業界」について、業界間のつながりを理解し、将来の選択肢を広げる。 また、就職試験、さらには社会人として活躍するために必要なコミュニケーションスキルや数量的スキルなどの汎用的技能について、自分の現在のスキルを見極め、各自のスキルアップに向けた取り組みへとナビゲーションする機会を設定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリアデザインAの授業到達目標は以下の通りである。 ①「生きること」「働くこと」について、自分なりの考えをまとめ説明することができる。 ② 社会課題や業界・企業について関心を持って情報収集を行い、それに対する自身の考えを表現することができる。 ③「自分自身」について理解するとともに、将来の目標を実現するために必要なことをまとめ説明することができる。 ④学部の進路として想定される業界について、業界間のつながりや特色について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物（コメントシート等）については、翌週の授業で質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、個人事業主として、大学・企業でのキャリアカウンセリングや研修を多数実施してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	テキストは使用せず、動画の視聴やプリントを配付し、授業を進める。	**ISBN**	なし
参考書	「CAREER ROAD 2023（キャリアセンター発刊）」、キャリタス就活2025「業界MAP」	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表（口頭・実技）(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験（%）	―	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	―	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	この授業での学修は将来の進路選択において重要な指標となるため、授業内で積極的に発言し、課題に取り組むことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【職業理解】ガイダンス キャリアデザインに必要な素養・技能を修得することの意義を確認し、授業の概要を紹介する。	【復習】授業内で使用した配布資料等を読み直し、得た知識を確認する。	2時間
第2回	対面	【自己理解】「生きること」「働くこと」について考える①（キャリアアンカー） 各種ツールを使って、自己の価値観について分析する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】授業内で使用したレジュメ等を読み直し、「日本的雇用慣行、新規学卒労働市場、多様な雇用形態の仕組み等」について復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える②（ダイバーシティ） 「働き方改革」や「ダイバーシティ」をテーマに、講義とグループワークを通じて考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、学部に関連のある業界及びSDGsに取り組む企業について理解を深める。	4時間
第4回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える③（SDGs） 学部の主な進路先とこれからの企業選びのモノサシを理解し、各自の興味・関心、強みと重ねてみる。（SDGs）	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、学部に関連のある業界及びSDGsに取り組む企業について理解を深める。	4時間
第5回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える④（観察とディスカッション） 職場で奮闘する社会人の動画を視聴し、働くことの意義・価値観について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】動画およびワークシートを振り返り、働くことの意味や社会人基礎力の重要性を確認する。	4時間

第6回	対面	「生きること」「働くこと」について考える⑤（特別講演） 社会人による「生きること、働くことの意味」についての講演を聴き、「働くことの意味」について考える。 ※ゲストスピーカー	【予習】ゲストスピーカーの属する業界や企業についてインターネット等で事前に調査し、質問等を準備する。 【復習】配布資料等を読み直し、「生きること、働くことの意味」について再度確認する。	4時間
第7回	対面	「生きること」「働くこと」のまとめ　※中間課題 第6回までのまとめ（レポート作成）を行う。	【予習】「生きること」「働くこと」に関する中間課題を授業内で実施するので、第6回までの内容を復習する。 【復習】「生きること」「働くこと」を振り返り、講義で得た知識を確認する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】業界研究入門①グループワーク グループで特定の業界内企業の比較研究に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界の研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】作成した業界内企業の比較を再度確認し、不足点は調査する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】業界研究入門②グループワーク 前回につづき、グループワークを通して、特定の業界内企業の比較研究に取り組み、中間発表をする。	【予習】前回の授業で使用したワークシートを提出（発表）できるよう事前準備を行う。 【復習】作成した業界内企業の比較を再度確認し、不足点は調査する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】業界研究入門③グループワーク 前回につづき、完成した業界内企業の比較研究成果を発表する。	【予習】前回の授業で完成したワークシートの発表準備を行う。 【復習】発表を振り返り、興味関心がある業界の比較研究を進め、理解を深める。	4時間
第11回	オンデマンド	【オンデマンド】 【自己理解】「自己」を理解し表現する①（自己分析にどう向き合うか） 自己分析の意義とあり方について考える。★適性検査実施	【予習】CAREER ROAD「自己分析①」を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第12回	対面	【自己理解】「自己」を理解し表現する②（自分の興味・関心・強みの認識） 各種ツールを使って、自己の経験を棚卸し、自己を分析する。（マインドマップ・ジョハリの窓）★適性検査の振り返り	【予習】CAREER ROAD「自己分析②③」を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第13回	対面	【自己理解】「自己」を理解し表現する③（自分の弱みの認識・克服） 各種ツールを使って、自己の経験を棚卸し、自己を分析する。（リフレーミング）	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】「自己」を理解し表現する④（自分の興味・関心・強みの認識） 学部で学んだことを棚卸し、自己を分析する。	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】「自己」を理解し表現する④（自分の興味・関心・強みの認識） 学部で学んだことを棚卸し、自己を分析する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題 これまで学修してきた内容について総括する。夏休みに取り組むことを確認する。	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリアデザインA＜国際キャリアデザイン演習A＞	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	岩田　伽耶	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来の生き方・働き方（キャリア）を考え描く（デザイン）		
授業の目的及び概要	この授業では、これに続く国際キャリアデザインBとともに、自分の将来の生き方・働き方を自分の興味や強みなどを見極めながら考え描き、その未来像を実現するために必要な技能と態度・姿勢について身につけることを目標とする。授業の目標を達成するために、講義をベースとしながらもペアワークやグループワークを適宜採り入れながら、授業を進める。 授業の概要としては、まず、「働くことの意味」について、他者の考えについても参考に、自分なりの考えをまとめる。次に社会人基礎力とそれを構成する3つの力、すなわち「考える力」「行動する力」「チームで働く力」について、社会人の方々の行動を観察することなどを通して理解し、表現する。そして、企業、社会の仕組みを確認しつつ、「職種」「業界」について理解し、自分の興味・関心と結びつけてみる。さらに「業界」について、業界間のつながりを理解し、将来の選択肢を広げる。 また、就職試験、さらには社会人として活躍するために必要なコミュニケーションスキルや数量的スキルなどの汎用的技能について、自分の現在のスキルを見極め、各自のスキルアップに向けた取り組みへとナビゲーションする機会を設定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリアデザインAの授業到達目標は以下の通りである。 ①「生きること」「働くこと」について、自分なりの考えをまとめ説明することができる。 ② 社会課題や業界・企業について関心を持って情報収集を行い、それに対する自身の考えを表現することができる。 ③「自分自身」について理解するとともに、将来の目標を実現するために必要なことをまとめ説明することができる。 ④学部の進路として想定される業界について、業界間のつながりや特色について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物（コメントシート等）については、翌週の授業で質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは使用せず、動画の視聴やプリントを配付し、授業を進める。	**ISBN**	なし
参考書	「CAREER ROAD 2023（キャリアセンター発刊）」、キャリタス就活2025「業界MAP」	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表（口頭・実技）(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験（%）	―	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	―	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	この授業での学修は将来の進路選択において重要な指標となるため、授業内で積極的に発言し、課題に取り組むことを期待する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【職業理解】ガイダンス キャリアデザインに必要な素養・技能を修得することの意義を確認し、授業の概要を紹介する。	【復習】授業内で使用した配布資料等を読み直し、得た知識を確認する。	2時間
第2回	対面	【自己理解】「生きること」「働くこと」について考える①（キャリアアンカー） 各種ツールを使って、自己の価値観について分析する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】授業内で使用したレジュメ等を読み直し、「日本的雇用慣行、新規学卒労働市場、多様な雇用形態の仕組み等」について復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える②（ダイバーシティ） 「働き方改革」や「ダイバーシティ」をテーマに、講義とグループワークを通じて考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、学部に関連のある業界及びSDGsに取り組む企業について理解を深める。	4時間
第4回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える③（SDGs） 学部の主な進路先とこれからの企業選びのモノサシを理解し、各自の興味・関心、強みと重ねてみる。（SDGs）	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、学部に関連のある業界及びSDGsに取り組む企業について理解を深める。	4時間
第5回	対面	【職業理解】「生きること」「働くこと」について考える④（観察とディスカッション） 職場で奮闘する社会人の動画を視聴し、働くことの意義・価値観について考える。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】動画およびワークシートを振り返り、働くことの意味や社会人基礎力の重要性を確認する。	4時間

第6回	対面	「生きること」「働くこと」について考える⑤（特別講演） 社会人による「生きること、働くことの意味」についての講演を聴き、「働くことの意味」について考える。 ※ゲストスピーカー	【予習】ゲストスピーカーの属する業界や企業についてインターネット等で事前に調査し、質問等を準備する。 【復習】配布資料等を読み直し、「生きること、働くことの意味」について再度確認する。	4時間
第7回	対面	「生きること」「働くこと」のまとめ　※中間課題 第6回までのまとめ（レポート作成）を行う。	【予習】「生きること」「働くこと」に関する中間課題を授業内で実施するので、第6回までの内容を復習する。 【復習】「生きること」「働くこと」を振り返り、講義で得た知識を確認する。	6時間
第8回	対面	【職業理解】業界研究入門①グループワーク グループで特定の業界内企業の比較研究に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界の研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】作成した業界内企業の比較を再度確認し、不足点は調査する。	4時間
第9回	対面	【職業理解】業界研究入門②グループワーク 前回につづき、グループワークを通して、特定の業界内企業の比較研究に取り組み、中間発表をする。	【予習】前回の授業で使用したワークシートを提出（発表）できるよう事前準備を行う。 【復習】作成した業界内企業の比較を再度確認し、不足点は調査する。	4時間
第10回	対面	【職業理解】業界研究入門③グループワーク 前回につづき、完成した業界内企業の比較研究成果を発表する。	【予習】前回の授業で完成したワークシートの発表準備を行う。 【復習】発表を振り返り、興味関心がある業界の比較研究を進め、理解を深める。	4時間
第11回	オンデマンド	【オンデマンド】 【自己理解】「自己」を理解し表現する①（自己分析にどう向き合うか） 自己分析の意義とあり方について考える。★適性検査実施	【予習】CAREER ROAD「自己分析①」を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第12回	対面	【自己理解】「自己」を理解し表現する②（自分の興味・関心・強みの認識） 各種ツールを使って、自己の経験を棚卸し、自己を分析する。（マインドマップ・ジョハリの窓）★適性検査の振り返り	【予習】CAREER ROAD「自己分析②③」を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第13回	対面	【自己理解】「自己」を理解し表現する③（自分の弱みの認識・克服） 各種ツールを使って、自己の経験を棚卸し、自己を分析する。（リフレーミング）	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等で振り返り、理解した自己を再度確認する。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】「自己」を理解し表現する④（自分の興味・関心・強みの認識） 学部で学んだことを棚卸し、自己を分析する。	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】「自己」を理解し表現する④（自分の興味・関心・強みの認識） 学部で学んだことを棚卸し、自己を分析する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題 これまで学修してきた内容について総括する。夏休みに取り組むことを確認する。	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリアデザインB＜国際キャリアデザイン演習B＞	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	榎原　千春	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来の生き方・働き方（キャリア）を考え描く（デザイン）		
授業の目的及び概要	この授業では、春学期の国際キャリアデザインAに続き、自分の将来の生き方・働き方を自分の興味や強みなどを見極めながら考え描き、その未来像を実現するために必要な技能と態度・姿勢について身につけることを目標とする。授業の目標を達成するために、講義をベースとしながらもペアワークやグループワークを適宜採り入れながら、授業を進める。 授業の概要としては、まず、「企業研究」について、特定の業界の企業比較を通して業界特性や企業研究の方法を理解する。次に、自己理解にどのように向き合うかについて理解した上で、様々なツールを用いて、自己の振り返りと自己分析を進め、理解を深める。さらに自分の強みを社会で通用する強みに練り上げ、自己PRとして完成させる。 また、就職試験、さらには社会人として活躍するために必要なコミュニケーションスキルや数量的スキルなどの汎用的技能について、自分の現在のスキルを見極め、各自のスキルアップに向けた取り組みへとナビゲーションする機会を設定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリアデザインBの授業到達目標は以下の通りである。 ①自分自身の長所や短所について客観性も踏まえて表現できる。 ②自身の将来や進路選択に主体性を持てており、希望進路を実現するための計画について考える準備ができている。 ③将来の進路選択に前向きであり、困難があっても適切なサポートを受けながら前に進む事ができる。 ④学部の進路として想定される業界について、業界間のつながりや特色について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物（コメントシート等）については、翌週の授業で質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、個人事業主として、大学・企業でのキャリアカウンセリングや研修を多数実施してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	テキストは使用せず、動画の視聴やプリントを配付し、授業を進める。	**ISBN**	なし
参考書	「CAREER ROAD 2023（キャリアセンター発刊）」、キャリタス就活2025「業界MAP」	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表（口頭・実技）(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験（%）	―	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	―	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	この授業での学修は将来の進路選択において重要な指標となるため、授業内で積極的に発言し、課題に取り組むことを期待する。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス 夏休みの振り返りを行い、授業概要についてガイダンスを実施する。	【復習】授業内で使用した配布資料等を読み直し、演習で得た知識を確認する。	2時間
第2回	対面	【自己理解】自己分析①自分の経験を整理する 学生時代の経験や学部での学びについて、ワークシート等に書き出すことにより、自分の経験を整理する。	【予習】CAREER ROAD「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「具体的なエピソードを探す」を読み直し、授業内で配布したワークシートを用いて復習する。	4時間
第3回	対面	【自己理解】自己分析②「学生時代に力を入れたこと」を文章で表現する 前回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、文章表現および口頭練習を行う。	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、自己分析について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】自己分析③「学生時代に力を入れたこと」を完成させる これまでの授業を振り返り、ワークを通じて、学生生活を通じた自身の強みを発見し文章化する。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を読み直し、自己PRについて復習し、課題に取り組む。	4時間

第5回	オンデマンド	【オンデマンド】 【就業力】自己分析④文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を読み直し、自己PRについて復習する。	4時間
第6回	対面	【就業力】自己分析⑤「エントリーシート」にまとめる これまでの学習を通じて得られた自己について模擬エントリーシートにまとめる。※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】特別講演の内容を振り返り、自身の自己PRを再考する。	6時間
第7回	対面	【就業力】社会人基礎力を培う②（アサーション） 相手を尊重しつつ、自分自身の意見、気持ちを適切に伝える方法を学び、その大切さを認識する。ペアやグループでワークを行い、アサーションの有用性を体感する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、「アサーション」について再度確認し、学生生活の場で活用する。	4時間
第8回	対面	【就業力】実践トレーニング①グループディスカッション（メリット・デメリット分析） グループディスカッションについて、その実施意図や評価ポイント、基本的な進行方法を理解する。	【予習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を読み直し、グループディスカッションについて復習する。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】実践トレーニング②グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を読み直し、グループディスカッションについて復習する。	4時間
第10回	対面	【自己理解】実践トレーニング①1分間自己PR① 自己分析、企業研究をもとに企業が求める人材像に沿って、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第11回	対面	【就業力】実践トレーニング②1分間自己PR② 自己PR動画作成に向けて準備した、原稿や動画を活用し、グループワークでの相互評価を通じて自身の課題に気づく。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習する。	4時間
第12回	対面	【職業理解】実践トレーニング③集団面接① 面接の基本的な所作のマナーを理解する。また、「集団面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】実践トレーニング④集団面接② 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】実践トレーニング⑤個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題 これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間

科目名	国際キャリアデザインB＜国際キャリアデザイン演習B＞	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	榎原　千春	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来の生き方・働き方（キャリア）を考え描く（デザイン）		
授業の目的及び概要	この授業では、春学期の国際キャリアデザインAに続き、自分の将来の生き方・働き方を自分の興味や強みなどを見極めながら考え描き、その未来像を実現するために必要な技能と態度・姿勢について身につけることを目標とする。授業の目標を達成するために、講義をベースとしながらもペアワークやグループワークを適宜採り入れながら、授業を進める。 授業の概要としては、まず、「企業研究」について、特定の業界の企業比較を通して業界特性や企業研究の方法を理解する。次に、自己理解にどのように向き合うかについて理解した上で、様々なツールを用いて、自己の振り返りと自己分析を進め、理解を深める。さらに自分の強みを社会で通用する強みに練り上げ、自己PRとして完成させる。 また、就職試験、さらには社会人として活躍するために必要なコミュニケーションスキルや数量的スキルなどの汎用的技能について、自分の現在のスキルを見極め、各自のスキルアップに向けた取り組みへとナビゲーションする機会を設定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリアデザインBの授業到達目標は以下の通りである。 ①自分自身の長所や短所について客観性も踏まえて表現できる。 ②自身の将来や進路選択に主体性を持てており、希望進路を実現するための計画について考える準備ができている。 ③将来の進路選択に前向きであり、困難があっても適切なサポートを受けながら前に進む事ができる。 ④学部の進路として想定される業界について、業界間のつながりや特色について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物（コメントシート等）については、翌週の授業で質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、個人事業主として、大学・企業でのキャリアカウンセリングや研修を多数実施してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	テキストは使用せず、動画の視聴やプリントを配付し、授業を進める。	**ISBN**	なし
参考書	「CAREER ROAD 2023（キャリアセンター発刊）」、キャリタス就活2025「業界MAP」	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表（口頭・実技）(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験（%）	―	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	―	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	この授業での学修は将来の進路選択において重要な指標となるため、授業内で積極的に発言し、課題に取り組むことを期待する。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス 夏休みの振り返りを行い、授業概要についてガイダンスを実施する。	【復習】授業内で使用した配布資料等を読み直し、演習で得た知識を確認する。	2時間
第2回	対面	【自己理解】自己分析①自分の経験を整理する 学生時代の経験や学部での学びについて、ワークシート等に書き出すことにより、自分の経験を整理する。	【予習】CAREER ROAD「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「具体的なエピソードを探す」を読み直し、授業内で配布したワークシートを用いて復習する。	4時間
第3回	対面	【自己理解】自己分析②「学生時代に力を入れたこと」を文章で表現する 前回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、文章表現および口頭練習を行う。	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、自己分析について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】自己分析③「学生時代に力を入れたこと」を完成させる これまでの授業を振り返り、ワークを通じて、学生生活を通じた自身の強みを発見し文章化する。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を読み直し、自己PRについて復習し、課題に取り組む。	4時間

第5回	オンデマンド	【オンデマンド】 【就業力】自己分析④文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を読み直し、自己PRについて復習する。	4時間
第6回	対面	【就業力】自己分析⑤「エントリーシート」にまとめる これまでの学習を通じて得られた自己について模擬エントリーシートにまとめる。※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】特別講演の内容を振り返り、自身の自己PRを再考する。	6時間
第7回	対面	【就業力】社会人基礎力を培う②（アサーション） 相手を尊重しつつ、自分自身の意見、気持ちを適切に伝える方法を学び、その大切さを認識する。ペアやグループでワークを行い、アサーションの有用性を体感する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、「アサーション」について再度確認し、学生生活の場で活用する。	4時間
第8回	対面	【就業力】実践トレーニング①グループディスカッション（メリット・デメリット分析） グループディスカッションについて、その実施意図や評価ポイント、基本的な進行方法を理解する。	【予習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を読み直し、グループディスカッションについて復習する。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】実践トレーニング②グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を読み直し、グループディスカッションについて復習する。	4時間
第10回	対面	【自己理解】実践トレーニング①1分間自己PR① 自己分析、企業研究をもとに企業が求める人材像に沿って、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第11回	対面	【就業力】実践トレーニング②1分間自己PR② 自己PR動画作成に向けて準備した、原稿や動画を活用し、グループワークでの相互評価を通じて自身の課題に気づく。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習する。	4時間
第12回	対面	【職業理解】実践トレーニング③集団面接① 面接の基本的な所作のマナーを理解する。また、「集団面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】実践トレーニング④集団面接② 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】実践トレーニング⑤個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題 これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間

科目名	国際キャリアデザインB＜国際キャリアデザイン演習B＞	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	岩田　伽耶	**配当年次**	2
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	将来の生き方・働き方（キャリア）を考え描く（デザイン）		
授業の目的及び概要	この授業では、春学期の国際キャリアデザインAに続き、自分の将来の生き方・働き方を自分の興味や強みなどを見極めながら考え描き、その未来像を実現するために必要な技能と態度・姿勢について身につけることを目標とする。授業の目標を達成するために、講義をベースとしながらもペアワークやグループワークを適宜採り入れながら、授業を進める。 授業の概要としては、まず、「企業研究」について、特定の業界の企業比較を通して業界特性や企業研究の方法を理解する。次に、自己理解にどのように向き合うかについて理解した上で、様々なツールを用いて、自己の振り返りと自己分析を進め、理解を深める。さらに自分の強みを社会で通用する強みに練り上げ、自己PRとして完成させる。 また、就職試験、さらには社会人として活躍するために必要なコミュニケーションスキルや数量的スキルなどの汎用的技能について、自分の現在のスキルを見極め、各自のスキルアップに向けた取り組みへとナビゲーションする機会を設定する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	国際キャリアデザインBの授業到達目標は以下の通りである。 ①自分自身の長所や短所について客観性も踏まえて表現できる。 ②自身の将来や進路選択に主体性を持っており、希望進路を実現するための計画について考える準備ができている。 ③将来の進路選択に前向きであり、困難があっても適切なサポートを受けながら前に進む事ができる。 ④学部の進路として想定される業界について、業界間のつながりや特色について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物（コメントシート等）については、翌週の授業で質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは使用せず、動画の視聴やプリントを配付し、授業を進める。	**ISBN**	なし
参考書	「CAREER ROAD 2023（キャリアセンター発刊）」、キャリタス就活2025「業界MAP」	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表（口頭・実技）(%)**	―	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験（%）	―	**【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）**	―	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	この授業での学修は将来の進路選択において重要な指標となるため、授業内で積極的に発言し、課題に取り組むことを期待する。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【自己理解】ガイダンス 夏休みの振り返りを行い、授業概要についてガイダンスを実施する。	【復習】授業内で使用した配布資料等を読み直し、演習で得た知識を確認する。	2時間
第2回	対面	【自己理解】自己分析①自分の経験を整理する 学生時代の経験や学部での学びについて、ワークシート等に書き出すことにより、自分の経験を整理する。	【予習】CAREER ROAD「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「具体的なエピソードを探す」を読み直し、授業内で配布したワークシートを用いて復習する。	4時間
第3回	対面	【自己理解】自己分析②「学生時代に力を入れたこと」を文章で表現する 前回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、文章表現および口頭練習を行う。	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、自己分析について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】自己分析③「学生時代に力を入れたこと」を完成させる これまでの授業を振り返り、ワークを通じて、学生生活を通じた自身の強みを発見し文章化する。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を読み直し、自己PRについて復習し、課題に取り組む。	4時間

第5回	オンデマンド	【オンデマンド】 【就業力】自己分析④文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を読み直し、自己PRについて復習する。	4時間
第6回	対面	【就業力】自己分析⑤「エントリーシート」にまとめる これまでの学習を通じて得られた自己について模擬エントリーシートにまとめる。※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」を事前に読んでおく。 【復習】特別講演の内容を振り返り、自身の自己PRを再考する。	6時間
第7回	対面	【就業力】社会人基礎力を培う②（アサーション） 相手を尊重しつつ、自分自身の意見、気持ちを適切に伝える方法を学び、その大切さを認識する。ペアやグループでワークを行い、アサーションの有用性を体感する。	【予習】配布資料を事前に読んでおく。 【復習】配布資料等を読み直し、「アサーション」について再度確認し、学生生活の場で活用する。	4時間
第8回	対面	【就業力】実践トレーニング①グループディスカッション（メリット・デメリット分析） グループディスカッションについて、その実施意図や評価ポイント、基本的な進行方法を理解する。	【予習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を読み直し、グループディスカッションについて復習する。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】実践トレーニング②グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「グループディスカッション」を読み直し、グループディスカッションについて復習する。	4時間
第10回	対面	【自己理解】実践トレーニング①1分間自己PR① 自己分析、企業研究をもとに企業が求める人材像に沿って、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第11回	対面	【就業力】実践トレーニング②1分間自己PR② 自己PR動画作成に向けて準備した、原稿や動画を活用し、グループワークでの相互評価を通じて自身の課題に気づく。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習する。	4時間
第12回	対面	【職業理解】実践トレーニング③集団面接① 面接の基本的な所作のマナーを理解する。また、「集団面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】実践トレーニング④集団面接② 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】実践トレーニング⑤個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ・期末課題 これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。	【予習】CAREER ROAD「集団面接」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「集団面接」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	中川　正秋	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、長年にわたり、各国の航空会社にて、営業課長や営業部長、執行役員等の役職を歴任し、エアライン・ビジネスに広く携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	南　美弥	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、ビジネスマナー講師として活動してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	－	成果発表(口頭・実技)(%)	－	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	－	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	石井　里奈	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタント有資格者であり、専門学校での学生就職指導や民間企業での人事採用等の業務に携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	中川　正秋	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、長年にわたり、各国の航空会社にて、営業課長や営業部長、執行役員等の役職を歴任し、エアライン・ビジネスに広く携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	石井　里奈	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタント有資格者であり、専門学校での学生就職指導や民間企業での人事採用等の業務に携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	－	成果発表(口頭・実技)(%)	－	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	－	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	南　美弥	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、ビジネスマナー講師として活動してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	－	成果発表(口頭・実技)(%)	－	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	－	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	笠田　真由美	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてグループワークを中心に授業を進める。この科目では、主に自己分析、業界・企業研究、志望動機作成に取り組む。 自己を客観的に捉え、論理的に表現する力を身に付けながら、企業研究や業界研究などを通じて産業への知識を深めることで、自らの強みと職業とをリンクさせる志望動機の素地を形成し、職業人となるための基礎力を養成する。 授業においては、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自分自身の長所や短所について、根拠や具体的な経験に基づいて説明ができる ②社会課題や業界・企業について主体的に研究・探索を行うと共に、多角的な視点を持って思考することができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動することができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持っており、自分で考え、対処ができる。又、必要な際は助言を求めることができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について、理解し説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)の資格を有し、民間企業での業務経験に加え、大学・企業での研修を多数実施してきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己理解・社会理解・職業理解に関する具体的な指導を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】ガイダンス 雇用情勢、採用活動スケジュール、授業の流れ等についてガイダンスを行い、自らの経験の棚卸に取り組む。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシートの作成に向けて① 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を読み直し、復習する。	4時間
第3回	対面	【職業理解】企業研究入門①業界理解 日経新聞に関する動画教材を視聴し、業界理解を深める。グループワークを通して、業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を読み直し、業界・職種について復習する。	4時間
第4回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門②企業実務家から業界・職種を知る(特別講演) 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解に取り組む。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③BtoB企業を知る(特別講演) 「BtoB」「BtoC」について理解する。学部特性に合わせた日経新聞の動画教材等を活用し、業界・企業への理解を広げるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み、各業界のBtoB,BtoC企業について復習する。	4時間

第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用したインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を読み直し、就職先の探し方について復習する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】 志望動機を考える① 学部特性を踏まえ、志望動機の評価ポイントを知り、採用者側の意図を理解する。これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を読み直し、志望動機作成について復習する。	4時間
第8回	対面	【就業力】 文章表現力養成講座「読み手に伝わる文章を書こう」（特別講演） 報道記者や人事局などマスコミ業界で幅広い活躍経験をもつゲストスピーカーが、読み手に伝わる文章を書くためのポイントを具体的に解説する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【自己理解】 エントリーシートの作成に向けて② 第8回の講演を踏まえ、就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第10回	対面	【職業理解】 志望動機を考える② 第8回の講演を踏まえ、応募企業の選定と志望動機作成を進め、グループワークを通じて、作成した志望動機の足りない点や課題に気づき、改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「志望動機を考える」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第11回	対面	【自己理解】 志望動機を考える③ 第10回の授業を踏まえて、面接場面を想定し、口頭練習を行い、自身の課題に気づき、表現の修正等を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を読み直し、最終課題に向けた準備を進める。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接① 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第13回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第14回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期全体を振り返り、自身の課題への対応や今後の就職活動、公務員試験準備に向けて、これからやるべきことについて整理にする。 ※期末課題提出	【予習】春学期の学修に関する期末課題（エントリーシートの作成）を授業内で実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習A	開講年度	2023年度春学期
担当者	三戸　康世	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、グローバルに活躍できる就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	グローバルキャリアは企業によって与えられるものではなく、個人があらゆる場面で能動的に構築していくものです。つまり長期的には、become an employee(企業の一員になること)からbecome employable(どのような企業でも活躍できる=雇用に値する)を目指していく必要があります。何となくグローバル企業が良いなといった漠然とした考えから、グローバル企業とは何か、自分は語学力を使って何がしたいのか、自分の個性や強みを具体的にどのような業界・企業で活かしたいのかについて、課題や授業内でのディスカッションを通して深く考察していきます。自身の就業観や将来の進路について考えを明確にしていくと同時に、面接時やビジネスシーンで必要となる英語力も強化していきます。通常の国際キャリア演習科目の授業内容に加えて、グローバルクラスでは下記のようなことにも取り組んでいきます。 1)英語を使って業界・企業研究 現代においてグローバル・非グローバルという業界区分はもはや存在しません。全てが世界と繋がっているという前提で企業・業界研究を行います。英字新聞(Japan Timesなど)や企業のホームページ(英語)なども併用します。 2)英文履歴書の作成と英語面接対策 英文履歴書や英語面接は日本語の内容をただ英訳すれば良いというものではありません。適切なフォーマットや訴求するポイントなど大きく異なる点があります。 3)グローバルキャリアを切り開いていくための自己分析・マインドセット ・国際社会の課題を踏まえた上で、自分の個性や強みをどう生かすか ・キャリアを自律的に切り開くためのポジティブ思考、growth mindsetsの鍛え方 ・採用担当者の目に止まるようなインパクトある文章はどう書けばよいのか？ ・自分らしさはどのように表現すれば相手に伝わるのか？　などについて考えていきます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1)自分自身の個性や強みを認識した上で、その内容を採用担当者に伝わるように表現できる。 2)希望進路の実現に向けて、自身が身につけるべきスキル(語学力＋α)やマインドセットについて認識する。 3)将来のビジネスシーンで役立つ英語力・コミュニケーション力を習得する。(発信力・傾聴力・異文化コミュニケーション等) 4)国際的キャリアを切り開いていくための自分なりの考え(軸)を持つ。 5)異なる考えや価値観を持つ他者と協同しながら自律的に学ぶことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)は、翌週の授業で返却し、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業での業務経験を持ち、就職支援を行ってきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	テキスト「CAREER ROAD2023」(購入不要) その他提示教材(予定) ・The Japan Times, Nikkei Asian Review, New York Timesなどの英字新聞 ・国内新聞記事 ・企業のホームページやIRレポート等のプリントを随時授業内で配布します	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	何事にも探求心や好奇心を持って課題に取り組む姿勢と、自己を客観視し、クラスの仲間と共に謙虚に学ぶ姿勢をぜひ大切にしてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【ガイダンス】 全体の採用活動スケジュールや企業が求める人材像を理解し、自身の就職活動における目標設定を行う。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行う。	2時間
第2回	対面	【自己理解】エントリーシート作成のポイントを理解する 就職活動で求められるエントリーシートの作成に向けて、留学経験を含めた自身の経験の棚卸し、言語化を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシートとは」、「具体的なエピソードを探す」を事前に読んでおく。 【復習】授業で配布する自己分析課題ワークシートに取り組む。	4時間
第3回	対面	【職業理解】 企業研究入門①　業界理解 業界・企業研究の方法や情報収集の重要性について理解する。各業界や企業がどのようなビジネスモデルを展開し、海外とどのような繋がりを持っているのか事例を通して考察する。	【予習】CAREER ROAD「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】授業で配布する業界に関する記事・課題ワークシートに取り組む。	4時間
第4回	対面	【職業理解】 企業研究入門②　グローバルに活躍する企業実務家による特別講演 実際にグローバル企業で活躍する実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】講義内容に関するワークシート及び感想レポートを作成する。	4時間
第5回	対面	【職業理解】 企業研究入門③　グローバルに展開するB to B企業について知る 「BtoB」「BtoC」の違いについて理解した上で、特にグローバルにビジネス展開するB to B企業をピックアップし、業界課題やビジネスモデル、必要とされる人材像について考察する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】授業で配布する業界に関する記事・課題ワークシートに取り組む。	4時間
第6回	オンデマンド	【職業理解】 企業研究入門④　企業の探し方、求人票の見方 動画を視聴し、ナビサイトを活用してのインターンシップ参加に向けて、企業の探し方と求人票の見方を学ぶ。関心を持った企業へ実際にエントリーを行い、企業研究を行う。併せて、情報収集のポイントや調べ方を、実践を通して理解する。	【予習】CAREER ROAD「就職活動を知る」「社会・仕事について知る」を事前に読んでおく。 【復習】動画を視聴後、関心を持った企業一覧のリスト作成及び企業研究ワークシートを作成する。	4時間
第7回	対面	【自己理解】エントリーシート作成 これまでの授業内容を踏まえ、夏のインターンシップ選考用のエントリシートの作成に取り組む。主に自己PR、自身の強み、学生時代に取り組んだこと（専門学修含む）といった基本項目について準備を行う。	【予習】CAREER ROAD「自己PRを考える」「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】実際のエントリーシート作成に取り組む。	4時間
第8回	対面	【職業理解】志望動機を考える① 志望動機の基本的な評価ポイントを理解した上で、グローバル企業が求めるマインドセットや効果的な表現法、コミュニケーションを事例を通して学ぶ。 英語を活用したい、海外で働きたいといった「ありがちな志望動機」から、具体的で芯の通った説得力のある志望動機を作成するためのポイントについても理解する。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】これまでの授業内容を踏まえて中間課題に取り組む。	6時間
第9回	対面	【職業理解】志望動機を考える② 応募企業の選定、職業理解を深めながら、志望動機の作成に引き続き取り組む。グループワークにてお互いの記載内容について相互評価を行うなど、足りない視点や課題に気づき改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】エントリーシートの改善ポイントについて修正を行う。	4時間
第10回	対面	【職業理解】志望動機を考える③ 応募企業の選定、職業理解を深めながら、志望動機の作成に引き続き取り組む。グループワークにてお互いの記載内容について相互評価を行うなど、足りない視点や課題に気づき改善を行う。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」を事前に読んでおく。 【復習】エントリーシートの改善ポイントについて修正を行う。	4時間
第11回	対面	【職業理解】志望動機を考える④ これまでの授業内容やフィードバック内容を基に、志望動機を完成させる。	【予習】CAREER ROAD「志望動機を考える」「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】志望動機について相互評価コメントを作成する。	4時間
第12回	対面	【実践トレーニング】集団面接① 面接特有の雰囲気の中で、論理的且つ簡潔に自身の考えを伝えるためのトレーニングを行う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】面接の評価ポイントについて復習し、自身の改善点を振り返る。	4時間
第13回	対面	【実践トレーニング】集団面接② 面接特有の雰囲気の中で、論理的且つ簡潔に自身の考えを伝えるためのトレーニングを行う。 加えて英語による面接練習も実施する。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】面接の評価ポイントについて復習し、自身の改善点を振り返る。	4時間
第14回	対面	【実践トレーニング】グループディスカッション 特にグローバル企業の採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】グループディスカッションの評価ポイントを踏まえ、自身の課題について振り返る。	4時間
第15回	対面	【総括・ふりかえり】 春学期全体を振り返り、自身の個性や強みの表現の仕方、今後取り組むべき課題の整理を行う。 ※期末課題提出	【予習】春学期全体を振り返り、自身の課題を整理する。 【復習】春学期全体を振り返り、期末課題に取り組む。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	南　美弥	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてワークを中心に授業を進める。このうちこの科目では、就職活動に際しての実践力養成を行うことを目的とする。 授業において、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。 また、授業後半には、進路を決定した4年生が「キャリアメンター」として参画し、アドバイス等を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自身の強みを将来どのように活かしたいか具体的且つ効果的に述べることができる。 ②社会課題や業界・企業について、主体的に研究・探索し、思考を深めると共に自身の志望動機やキャリア展望と結びつけて表現ができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動ができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持ち対処ができ、自身の体験談を基に周りに助言を行うことができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、ビジネスマナー講師として活動してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	－	成果発表(口頭・実技)(%)	－	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	－	その他(%)	40	期末課題	

この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力、就業力が着実に身に付いてくる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】 ガイダンス 春学期および夏休みの体験を振り返り、今後の就職活動の目標とスケジュールを確認し、実践力を高める。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】 応募書類を再確認するこれまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、応募書類を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシート」を読み直し、応募書類を作成する。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演:ビジネスマナーの基本(プロカメラマンによる「外見力」講座) 選考での印象面の重要性についての説明動画を視聴する。動画選考や証明写真における表情・髪型等による印象の違いや業界・企業の特徴を踏まえ、具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の応用について復習し、課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門③企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解を深める。	4時間
第7回	対面	【職業理解】就職活動とキャリア これまでの学習を通じて得られた学びから、自身の希望進路を実現するために必要なことについて内省し、まとめる。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第8回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第10回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第11回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】別途準備する資料を事前に読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。 ※期末課題提出	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	石井　里奈	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてワークを中心に授業を進める。このうちこの科目では、就職活動に際しての実践力養成を行うことを目的とする。 授業において、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。 また、授業後半には、進路を決定した4年生が「キャリアメンター」として参画し、アドバイス等を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自身の強みを将来どのように活かしたいか具体的且つ効果的に述べることができる。 ②社会課題や業界・企業について、主体的に研究・探索し、思考を深めると共に自身の志望動機やキャリア展望と結びつけて表現ができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動ができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持ち対処ができ、自身の体験談を基に周りに助言を行うことができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタント有資格者であり、専門学校での学生就職指導や民間企業での人事採用等の業務に携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力、就業力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】 ガイダンス 春学期および夏休みの体験を振り返り、今後の就職活動の目標とスケジュールを確認し、実践力を高める。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】 応募書類を再確認するこれまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、応募書類を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシート」を読み直し、応募書類を作成する。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演:ビジネスマナーの基本(プロカメラマンによる「外見力」講座) 選考での印象面の重要性についての説明動画を視聴する。動画選考や証明写真における表情・髪型等による印象の違いや業界・企業の特徴を踏まえ、具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の応用について復習し、課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門③企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解を深める。	4時間
第7回	対面	【職業理解】就職活動とキャリア これまでの学習を通じて得られた学びから、自身の希望進路を実現するために必要なことについて内省し、まとめる。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第8回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第10回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第11回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】別途準備する資料を事前に読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。 ※期末課題提出	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	中川　正秋	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてワークを中心に授業を進める。このうちこの科目では、就職活動に際しての実践力養成を行うことを目的とする。 授業において、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。 また、授業後半には、進路を決定した4年生が「キャリアメンター」として参画し、アドバイス等を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自身の強みを将来どのように活かしたいか具体的且つ効果的に述べることができる。 ②社会課題や業界・企業について、主体的に研究・探索し、思考を深めると共に自身の志望動機やキャリア展望と結びつけて表現ができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動ができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持ち対処ができ、自身の体験談を基に周りに助言を行うことができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、長年にわたり、各国の航空会社にて、営業課長や営業部長、執行役員等の役職を歴任し、エアライン・ビジネスに広く携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力、就業力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】 ガイダンス 春学期および夏休みの体験を振り返り、今後の就職活動の目標とスケジュールを確認し、実践力を高める。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】 応募書類を再確認するこれまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、応募書類を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシート」を読み直し、応募書類を作成する。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演:ビジネスマナーの基本(プロカメラマンによる「外見力」講座) 選考での印象面の重要性についての説明動画を視聴する。動画選考や証明写真における表情・髪型等による印象の違いや業界・企業の特徴を踏まえ、具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の応用について復習し、課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門③企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解を深める。	4時間
第7回	対面	【職業理解】就職活動とキャリア これまでの学習を通じて得られた学びから、自身の希望進路を実現するために必要なことについて内省し、まとめる。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第8回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第10回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第11回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】別途準備する資料を事前に読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。 ※期末課題提出	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	南　美弥	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてワークを中心に授業を進める。このうちこの科目では、就職活動に際しての実践力養成を行うことを目的とする。 授業において、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。 また、授業後半には、進路を決定した4年生が「キャリアメンター」として参画し、アドバイス等を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自身の強みを将来どのように活かしたいか具体的且つ効果的に述べることができる。 ②社会課題や業界・企業について、主体的に研究・探索し、思考を深めると共に自身の志望動機やキャリア展望と結びつけて表現ができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動ができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持ち対処ができ、自身の体験談を基に周りに助言を行うことができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業での業務経験に加え、ビジネスマナー講師として活動してきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力、就業力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】 ガイダンス 春学期および夏休みの体験を振り返り、今後の就職活動の目標とスケジュールを確認し、実践力を高める。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】 応募書類を再確認するこれまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、応募書類を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシート」を読み直し、応募書類を作成する。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演:ビジネスマナーの基本(プロカメラマンによる「外見力」講座) 選考での印象面の重要性についての説明動画を視聴する。動画選考や証明写真における表情・髪型等による印象の違いや業界・企業の特徴を踏まえ、具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の応用について復習し、課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門③企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解を深める。	4時間
第7回	対面	【職業理解】就職活動とキャリア これまでの学習を通じて得られた学びから、自身の希望進路を実現するために必要なことについて内省し、まとめる。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第8回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第10回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第11回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】別途準備する資料を事前に読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。 ※期末課題提出	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	中川　正秋	**配当年次**	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてワークを中心に授業を進める。このうちこの科目では、就職活動に際しての実践力養成を行うことを目的とする。 授業において、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。 また、授業後半には、進路を決定した4年生が「キャリアメンター」として参画し、アドバイス等を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自身の強みを将来どのように活かしたいか具体的且つ効果的に述べることができる。 ②社会課題や業界・企業について、主体的に研究・探索し、思考を深めると共に自身の志望動機やキャリア展望と結びつけて表現ができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動ができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持ち対処ができ、自身の体験談を基に周りに助言を行うことができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、長年にわたり、各国の航空会社にて、営業課長や営業部長、執行役員等の役職を歴任し、エアライン・ビジネスに広く携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	**ISBN**	なし
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	－	**成果発表(口頭・実技)(%)**	－	**中間試験(%)**	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	－	**その他(%)**	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力、就業力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】 ガイダンス 春学期および夏休みの体験を振り返り、今後の就職活動の目標とスケジュールを確認し、実践力を高める。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】 応募書類を再確認するこれまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、応募書類を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシート」を読み直し、応募書類を作成する。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演:ビジネスマナーの基本(プロカメラマンによる「外見力」講座) 選考での印象面の重要性についての説明動画を視聴する。動画選考や証明写真における表情・髪型等による印象の違いや業界・企業の特徴を踏まえ、具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の応用について復習し、課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門③企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解を深める。	4時間
第7回	対面	【職業理解】就職活動とキャリア これまでの学習を通じて得られた学びから、自身の希望進路を実現するために必要なことについて内省し、まとめる。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第8回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第10回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第11回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】別途準備する資料を事前に読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。 ※期末課題提出	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	石井　里奈	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	この授業では、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成することをねらいとし、演習の特性を活かしてワークを中心に授業を進める。このうちこの科目では、就職活動に際しての実践力養成を行うことを目的とする。 授業において、双方向実践型形式、課題解決型授業(PBL)を行う。例えば、グループディスカッション、志望動機形成力、集団面接、個人面接など実践を通して学ぶ。 また、授業後半には、進路を決定した4年生が「キャリアメンター」として参画し、アドバイス等を行う。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①自身の強みを将来どのように活かしたいか具体的且つ効果的に述べることができる。 ②社会課題や業界・企業について、主体的に研究・探索し、思考を深めると共に自身の志望動機やキャリア展望と結びつけて表現ができる。 ③自身の希望進路を実現するための計画について、自律的且つ具体的に考え、行動ができる。 ④困難に直面した際も自身で乗り越えるマインドや戦略を持ち対処ができ、自身の体験談を基に周りに助言を行うことができる。 ⑤学部の進路として想定される業界の特色、求められる人材について理解し、説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、キャリアコンサルタント有資格者であり、専門学校での学生就職指導や民間企業での人事採用等の業務に携わってきた。本科目では、これらの実務経験を活かして、自己分析や業界・企業研究に関する実践的な教育を行う。		
テキスト	CAREER ROAD2023(購入不要)	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	－	成果発表(口頭・実技)(%)	－	中間試験(%)	30
	【定期試験】レポート試験(%)	－	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	－	その他(%)	40	期末課題	
この科目の履修にあたって	本科目の学修にあたっては、課題への積極的取り組みと課題提出が不可欠である。これらの課題にしっかりと取り組んでいれば、就職活動や公務員採用試験に必要な汎用的基礎力、就業力が着実に身に付いてくる。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	【就業力】 ガイダンス 春学期および夏休みの体験を振り返り、今後の就職活動の目標とスケジュールを確認し、実践力を高める。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】 応募書類を再確認するこれまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえて、応募企業を1社選び、応募書類を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「エントリーシート」を読み直し、応募書類を作成する。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演:ビジネスマナーの基本(プロカメラマンによる「外見力」講座) 選考での印象面の重要性についての説明動画を視聴する。動画選考や証明写真における表情・髪型等による印象の違いや業界・企業の特徴を踏まえ、具体的に解説する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の基本について復習し、課題に取り組む。	4時間
第5回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、面接の応用について復習し、課題に取り組む。	4時間

第6回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解】 企業研究入門③企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） 学部特性に合わせた企業実務家による特別講演を行い、企業が求める人材像を知り、同業他社比較の重要性や職種を知り、情報収集の重要性を理解する。	【予習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「業界とは何か」「業界研究と理解」を読み直し、業界理解を深める。	4時間
第7回	対面	【職業理解】就職活動とキャリア これまでの学習を通じて得られた学びから、自身の希望進路を実現するために必要なことについて内省し、まとめる。 ※中間課題提出	【予習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「自分のしたいことを考える」を読み直し、中間課題に取り組む。	6時間
第8回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第9回	対面	【専門を学ぶことによる自身の強みの理解 】 実践トレーニング　グループディスカッション 学部特性に合わせ、採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、グループディスカッション選考について理解を深める。	4時間
第10回	対面	【就業力】 実践トレーニング　集団面接 「集団面接」の実践練習を通して、集団面接特有の雰囲気に慣れるとともに、簡潔に自己表現する力を養う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、集団面接について復習する。	4時間
第11回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第12回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第13回	対面	【就業力】 実践トレーニング 個人面接 「個人面接」について、その意図や評価ポイントを理解する。実践練習を通して、個人面接における対話力をつける。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「面接試験」を読み直し、個人面接について復習する。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】別途準備する資料を事前に読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	まとめ これまで学修してきた内容について振り返りを行い、総括する。 ※期末課題提出	【予習】秋学期の学修に関する期末課題を実施するので、第14回までの内容を復習する。	4時間

科目名	国際キャリア演習B	開講年度	2023年度秋学期
担当者	三戸　康世	配当年次	3
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	演習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	・希望進路の実現に向けて、グローバルに活躍できる就業力の向上をはかる。 ・卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定するために必要な就業力を養成する。		
授業の目的及び概要	グローバルキャリアは企業によって与えられるものではなく、個人があらゆる場面で能動的に構築していくものです。つまり長期的には、become an employee(企業の一員になること)からbecome employable(どのような企業でも活躍できる=雇用に値する)を目指していく必要があります。何となくグローバル企業が良いなといった漠然とした考えから、グローバル企業とは何か、自分は語学力を使って何がしたいのか、自分の個性や強みを具体的にどのような業界・企業で活かしたいのかについて、課題や授業内でのディスカッションを通して深く考察していきます。自身の就業観や将来の進路について考えを明確にしていくと同時に、面接時やビジネスシーンで必要となる英語力も強化していきます。通常の国際キャリア演習科目の授業内容に加えて、グローバルクラスでは下記のようなことにも取り組んでいきます。 1)英語を使って業界・企業研究 現代においてグローバル・非グローバルという業界区分はもはや存在しません。全てが世界と繋がっているという前提で企業・業界研究を行います。英字新聞(Japan Timesなど)や企業のホームページ(英語)なども併用します。 2)英文履歴書の作成と英語面接対策 英文履歴書や英語面接は日本語の内容をただ英訳すれば良いというものではありません。適切なフォーマットや訴求するポイントなど大きく異なる点があります。 3)グローバルキャリアを切り開いていくための自己分析・マインドセット ・国際社会の課題を踏まえた上で、自分の個性や強みをどう生かすか ・キャリアを自律的に切り開くためのポジティブ思考、growth mindsetsの鍛え方 ・採用担当者の目に止まるようなインパクトある文章はどう書けばよいのか？ ・自分らしさはどのように表現すれば相手に伝わるのか？　などについて考えていきます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1)自分自身の個性や強みを認識した上で、その内容を採用担当者に伝わるように表現できる。 2)希望進路の実現に向けて、自身が身につけるべきスキル(語学力＋α)やマインドセットについて認識する。 3)将来のビジネスシーンで役立つ英語力・コミュニケーション力を習得する。(発信力・傾聴力・異文化コミュニケーション等) 4)国際的キャリアを切り開いていくための自分なりの考え(軸)を持つ。 5)異なる考えや価値観を持つ他者と協同しながら自律的に学ぶことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出物(コメントシート等)等、質問への回答や補足説明をする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／反転授業／ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、民間企業での業務経験を持ち、就職支援を行ってきた。本科目では、これらの実務経験を活かした授業を行う。		
テキスト	テキスト「CAREER ROAD2023」(購入不要) その他提示教材(予定) ・The Japan Times, Nikkei Asian Review, New York Timesなどの英字新聞 ・国内新聞記事 ・企業のホームページやIRレポート等のプリントを随時授業内で配布します	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	40	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	何事にも探求心や好奇心を持って課題に取り組む姿勢と、自己を客観視し、クラスの仲間と共に謙虚に学ぶ姿勢をぜひ大切にしてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	【ガイダンス】 春学期および夏休みのインターンシップ等の経験を振り返り、今後の就職活動の目標と活動スケジュールを作成する。	【復習】ワークシート課題に取り組み、次回以降の授業に向けた事前準備を行い、課題を提出する。	2時間
第2回	対面	【自己理解・就業力】エントリーシート作成とブラッシュアップ① これまでの自己分析、業界・企業研究を踏まえてエントリーシートの相互評価・口頭での発表を行う。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】授業内でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第3回	オンデマンド	【就業力】 特別講演：ビジネスマナーの基本（プロカメラマンによる「外見力」講座） 選考における第一印象の重要性やWEB面接におけるポイントに関する動画を視聴する。	【予習】CAREER ROAD「マナーの基本」を事前に読んでおく。 【復習】CAREER ROAD「マナーの基本」を読み直し、特に服装のマナーについて復習する。	4時間
第4回	対面	【自己理解・就業力】エントリーシート作成・ブラッシュアップ② 秋冬のインターンシップ参加に向けた応募企業を複数選び、志望動機を作成する。	【予習】CAREER ROAD「エントリーシート」を事前に読んでおく。 【復習】授業内でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第5回	対面	【自己理解・就業力】エントリーシート作成・ブラッシュアップ③ 前回に引き続き、秋冬のインターンシップ参加に向けた応募企業を複数選び、志望動機を作成する。	【予習】エントリーシートの改善ポイントを自身で振り返っておく。 【復習】授業内でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第6回	対面	【企業研究・業界研究】 企業実務家から業界・職種を知る（特別講演） グローバルに活躍する企業実務家による特別講演を行う。実際にその業界・企業が求める人材像を理解した上で、同業他社比較やビジネスモデル等についても理解を深める。	【予習】業界に関する記事を読み、課題ワークシートに取り組む。 【復習】講義内容を振り返り、感想レポートを作成する。	4時間
第7回	対面	これまでの授業内容及びフィードバックを踏まえ、自身の希望進路実現のために必要な取り組みについて整理する。加えて、自身がエントリーする予定の企業1社を選択し、企業研究プレゼンテーションを行う。 ※中間課題（プレゼンテーション）	【予習】中間課題（企業研究プレゼンテーション）の準備に取り組む 【復習】授業でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	6時間
第8回	対面	【実践トレーニング】 グループディスカッション① グローバル企業で採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】授業でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第9回	対面	【実践トレーニング】 グループディスカッション② グローバル企業で採用選考で実施されるグループディスカッションのテーマを想定し、実践練習に取り組む。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】授業でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第10回	対面	【実践トレーニング】 集団面接① なぜこの業界・企業なのか（職業理解・業界企業理解）、自身の強みや個性をどのように活かしたいのか等の志望動機を明確に表現できるようトレーニングを行う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】授業でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第11回	対面	【実践トレーニング】 集団面接② なぜこの業界・企業なのか（職業理解・業界企業理解）、自身の強みや個性をどのように活かしたいのか等の志望動機を明確に表現できるようトレーニングを行う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】授業でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第12回	対面	【実践トレーニング】 集団面接③ なぜこの業界・企業なのか（職業理解・業界企業理解）、自身の強みや個性をどのように活かしたいのか等の志望動機を明確に表現できるようトレーニングを行う。	【予習】CAREER ROAD「面接試験」を事前に読んでおく。 【復習】授業でのフィードバックを踏まえ、自身の課題を振り返る。	4時間
第13回	対面	【実践トレーニング】英語プレゼンテーション・英語面接実践 英語での面接場面を想定し、英語でのプレゼンテーション、英語面接の実践練習を行う。	【予習】「英語面接時の表現」を事前に読んでおく。 【復習】「英語面接時の表現」を読み直し、自身の課題を振り返る。	4時間
第14回	対面	【職業理解】労働法について 内定後～入社まで、入社後の基本的な労働に関する法律に関して理解する。	【予習】事前に提示される資料を読んでおく。 【復習】就職活動に必要な労働法の基礎知識を復習する。	4時間
第15回	対面	【まとめ・総括】秋学期全体を振り返り、自身の課題、就職活動における目標と行動スケジュールの確認等を行う。加えて志望企業1社を選択し、エントリーシートの作成を英語・日本語両方で行う。 ※期末課題提出	【予習】第14回までの内容を踏まえて自身の課題について振り返りを行う。	4時間

科目名	インターンシップⅠ	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	1単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	インターンシップ(就業体験学習)を通じて社会、働く意味、そして自分を知る。		
授業の目的及び概要	インターンシップは、授業のない夏季休暇期間(8・9月)や春季休暇期間(2・3月)において、企業や地方公共団体などでの実習(＝就業体験)を行うもので、実習を通じて社会や職業への理解を深め、将来の進路や職業の選択に向けた社会観・職業観を養成する。企業、団体、事業所等への派遣にあたっては、学内で事前のガイダンスと研修を実施し、インターンシップの意義・目的についての理解を深めた後、受入事業所において、1週間(実働5日間)以上の実習を行う。実習終了後、体験レポートを作成することで、インターンシップの成果と課題を認識する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認すること。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	企業・団体・事業所等における一定期間の就業体験を行い、大学における学習と社会での実習経験を結びつけることで、将来の社会的・職業的自立を意識することを目標とする。さらに、主体的な職業選択に向けた動機づけを行うとともに、社会観・職業観を含む就業力を育成し、希望進路の実現に不可欠な就職活動に対する意識を高める。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	実習中に作成する日誌は、提出後、キャリアセンターより返却する。返却した日誌を元に自身を振り返って、次の実習に活かすこと。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	**ISBN**	指定テキストはありません。
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表(口頭・実技)(%)**	50	**中間試験(%)**	―
	【定期試験】レポート試験(%)	―	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	―	**その他(%)**	―	―	

この科目の履修にあたって	＜重要＞この科目を履修する際には、必ず、キャリアセンターで開催する説明会に参加して、インターンシップの基本的な意義目的について理解しておくこと。 なお、インターンシップは実習先において社会人としてのマナーが厳しく問われる。そのため、欠席・遅刻・早退は論外である。自覚して臨んでほしい。
オフィスアワー	―

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	【予習】事前学修として、シラバス等の内容を確認しておく。 【復習】事後学修として、説明があった内容について再確認しておく。	1時間
第2回	対面	事前研修	【予習】事前学修として、社会人としての基本的な部分を事前に準備しておく。 【復習】事後学修として、事後学修として、講義とグループワークの内容について再確認しておく。	1時間
第3回	対面	インターンシップ派遣先等において実習①(1日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間
第4回	対面	インターンシップ派遣先等において実習②(2日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間
第5回	対面	インターンシップ派遣先等において実習③(3日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間
第6回	対面	インターンシップ派遣先等において実習④(4日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間

第7回	対面	インターンシップ派遣先等において実習⑤（5日目） インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、これまでの実習内容の振り返りを行い、体験レポートの作成に活かす。	1時間
第8回	対面	体験レポートの作成・提出 インターンシップ派遣先企業等にて行った就業体験について、体験レポートを作成し、インターンシップの成果と課題を振り返り、社会人として必要なビジネススキル等について復習を行う。	【予習】事前学修として、これまでの実習内容の振り返りを行い、体験レポートの作成に活かす。 【復習】事後学修として、社会、働く意味、そして社会人としての自らのあり方について考える。	6時間

科目名	インターンシップⅡ	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	1単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	インターンシップ(就業体験学習)を通じて社会、働く意味、そして自分を知る。		
授業の目的及び概要	インターンシップは、授業のない夏季休暇期間(8・9月)や春季休暇期間(2・3月)において、企業や地方公共団体などでの実習(＝就業体験)を行うもので、実習を通じて社会や職業への理解を深め、将来の進路や職業の選択に向けた社会観・職業観を養成する。企業、団体、事業所等への派遣にあたっては、学内で事前のガイダンスと研修を実施し、インターンシップの意義・目的についての理解を深めた後、受入事業所において、1週間(実働5日間)以上の実習を行う。実習終了後、体験レポートを作成することで、インターンシップの成果と課題を認識する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認すること。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	企業・団体・事業所等における一定期間の就業体験を行い、大学における学習と社会での実習経験を結びつけることで、将来の社会的・職業的自立を意識することを目標とする。さらに、主体的な職業選択に向けた動機づけを行うとともに、社会観・職業観を含む就業力を育成し、希望進路の実現に不可欠な就職活動に対する意識を高める。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	実習中に作成する日誌は、提出後、キャリアセンターより返却する。返却した日誌を元に自身を振り返って、次の実習に活かすこと。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	**ISBN**	指定テキストはありません。
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	―	**成果発表(口頭・実技)(%)**	50	**中間試験(%)**	―
	【定期試験】レポート試験(%)	―	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	―	**その他(%)**	―	―	

この科目の履修にあたって	＜重要＞この科目を履修する際には、必ず、キャリアセンターで開催する説明会に参加して、インターンシップの基本的な意義目的について理解しておくこと。 なお、インターンシップは実習先において社会人としてのマナーが厳しく問われる。そのため、欠席・遅刻・早退は論外である。自覚して臨んでほしい。
オフィスアワー	―

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション	【予習】事前学修として、シラバス等の内容を確認しておく。 【復習】事後学修として、説明があった内容について再確認しておく。	1時間
第2回	対面	事前研修	【予習】事前学修として、社会人としての基本的な部分を事前に準備しておく。 【復習】事後学修として、事後学修として、講義とグループワークの内容について再確認しておく。	1時間
第3回	対面	インターンシップ派遣先等において実習①(1日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間
第4回	対面	インターンシップ派遣先等において実習②(2日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間
第5回	対面	インターンシップ派遣先等において実習③(3日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間
第6回	対面	インターンシップ派遣先等において実習④(4日目) インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。	1時間

第7回	対面	インターンシップ派遣先等において実習⑤（5日目） インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身に着け、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、これまでの実習内容の振り返りを行い、体験レポートの作成に活かす。	1時間
第8回	対面	体験レポートの作成・提出 インターンシップ派遣先企業等にて行った就業体験について、体験レポートを作成し、インターンシップの成果と課題を振り返り、社会人として必要なビジネススキル等について復習を行う。	【予習】事前学修として、これまでの実習内容の振り返りを行い、体験レポートの作成に活かす。 【復習】事後学修として、社会、働く意味、そして社会人としての自らのあり方について考える。	6時間

科目名	海外インターンシップ	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	**配当年次**	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	実習
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	東南アジアやオーストラリアでの就業体験を通じて異文化理解を深め、グローバルマインドを養う。		
授業の目的及び概要	海外インターンシップは、授業のない夏季休暇期間(8・9月)や春季休暇期間(2・3月)において、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)、タイ(バンコク)、インドネシア(ジャカルタ)、フィリピン(マニラ)、カンボジア(プノンペン)、オーストラリア(メルボルン)などの日系企業等での就業体験するプログラムである。海外での実習を通じて将来の進路や職業の選択に向けた社会観・職業観を養成するとともに、グローバル人材で求められる素養や態度、価値観について理解を深める。海外の企業、団体、事業所等への派遣にあたっては、学内での事前ガイダンス受講を必須とする。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	海外インターンシップは、海外の日系企業・事業所等における就業体験を行い、大学における学習と社会での実習経験を結びつけることで、将来の社会的・職業的自立を意識することを目標とする。さらに、異文化社会における就業体験により、海外でのワークスタイル、海外勤務の職務特性、現地スタッフとの協働について理解を深め、グローバル人材で求められる素養や態度、価値観を培う。また、英語コミュニケーション能力の向上、国際的視野の涵養、海外で活躍できるグローバル人材への準備、そして、最終的には日本国内外での広いフィールドで活躍できることを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	実習中に作成する日誌は、提出後、担当者から返却する。返却した日誌を元に自身を振り返って、次の実習に活かすこと。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	**ISBN**	指定テキストはありません。
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	20	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	海外現地での円滑なコミュニケーションには、一定レベルの英語コミュニケーション能力が必要。そのため、研修前か研修後のTOIEC®受験(IPも可)を必須とする。 この科目を履修する際には、必ず、キャリアセンターで開催する説明会に参加して、海外インターンシップの基本的な意義目的について理解しておくこと。 なお、海外インターンシップは国内でのインターンシップと同様に、社会人としてのマナーが厳しく問われる。さらに、派遣先地域・国の治安状況は比較的安定しているものの、日本国内とは異なることを肝に銘じておく。そのため、プログラム全般において、緊張感を持って臨むこと。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション・ガイダンス 授業の目的、授業の進め方、成績評価の方法など、授業の概要を説明する。併せて、インターンシップの意義と目的について概要を説明する。	【予習】事前学修として、シラバス等の内容を確認しておく。(30分程度) 【復習】事後学修として、説明があった内容について再確認しておく。(30分程度)	1時間
第2回	対面	事前研修①(ビジネスマナー講座) ゲスト講師による講義とグループワークを通じて、ビジネス社会で求められる素養、ビジネスマナー、コミュニケーションスキルを養い、社会人にとって必要な素養・能力等を理解する。	【予習】事前学修として、社会人としての基本的な部分を事前に準備しておく。(30分程度) 【復習】事後学修として、講義とグループワークの内容について再確認しておく。(30分程度)	1時間
第3回	対面	事前研修②(現地事情理解講座) ゲスト講師による講義を通じて渡航先の政治・経済事情、文化、歴史に関する理解を深める。	【予習】事前学修として、現地の歴史・文化・経済などの情報や治安に関する新聞・ニュースに接し、雇用や社会情勢に関心を高めておく。(30分程度) 【復習】事後学修として、講義とグループワークの内容について再確認しておく。(30分程度)	1時間
第4回	対面	事前研修③(危機管理講座) 海外の治安状況を踏まえ、危機管理に対する基本事項を理解する。	【予習】事前学修として、現地の歴史・文化・経済などの情報や治安に関する新聞・ニュースに接し、雇用や社会情勢に関心を高めておく。(30分程度) 【復習】事後学修として、講義とグループワークの内容について再確認しておく。(30分程度)	1時間

第5回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習①(1日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第6回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習②(2日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第7回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習③(3日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第8回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習④(4日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第9回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習⑤(5日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第10回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習⑥(6日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第11回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習⑦(7日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第12回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習⑧(8日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第13回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習⑨(9日目) シップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、次の就業体験に活かしていく。(30分程度)	1時間
第14回	対面	海外インターンシップ派遣先企業等において実習⑩(10日目) 海外インターンシップ派遣先企業等にて就業体験を行い、業務報告として実習日誌を作成することで、社会人としての行動規範を身につけ、ビジネスに関する基本的な素養を培う。	【予習】事前学修として、引き続き派遣先に関わる業界の最新動向や今後の展望などについて調べる。(30分程度) 【復習】事後学修として、就業体験結果について実習日誌にまとめ、これまでの実習内容の振り返りを行い、体験レポートの作成に活かす。(30分程度)	1時間
第15回	対面	レポート作成・提出 企業実習の総括を行うことで、海外インターンシップの成果と課題を認識する。	【予習】事前学習として、これまでの実習内容の振り返りを行い、体験レポートの作成に活かす。(30分程度) 【復習】事後学修として、社会、働く意味、そして社会人としての自らのあり方について考える。(30分程度)	1時間

科目名	日本史概論Ⅱ	開講年度	2023年度春学期
担当者	望月　みわ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本の政治・外交・社会の歴史と国際関係		
授業の目的及び概要	古代から現代までの歴史の中でいくつかの重要なトピックについてとりあげるかたちで講義を行い、現代社会の前提となっている歴史上の諸問題について理解を深めていく。これにより物事の背景を歴史的に考え理解しようとすること習慣づけ、異なる文化、言語、歴史邸背景をもつ者どうしの相互理解を一層深める知識や想像力を身につけることを目的とする。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本史の基礎的事項について理解し、歴史的な背景をもとに現代社会についても考察できるようになる。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	授業後に提出されたコメントや質問を翌週の授業で取り上げ、質問への回答や補足説明を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しません。レジュメを配付します。	ISBN	なし
参考書	使用しません。講義中に紹介します。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	用語等の暗記は必要ありません。授業内容から課題を見つけ、解決するための情報収集の仕方を身につけることを重視します。 オンデマンド形式で実施します。授業の受け方や出席確認の方法は、Learning portalの概要と第一回の授業で説明します。 かならず確認してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	ガイダンス(授業内容・進め方等の説明)	授業後に、授業で配付したレジュメを読んで、レポート作成にあたってのスケジュールを立てて下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	古代の日本と東アジア	授業後に、授業で配付した原始・古代史に関するレジュメを読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第3回	オンデマンド	中世の戦と対外関係	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第4回	オンデマンド	戦国大名の外交	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第5回	オンデマンド	鎖国と「四つの口」	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第6回	オンデマンド	開国と不平等条約	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第7回	オンデマンド	明治期の外交と条約改正	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第8回	オンデマンド	日清戦争	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間

第9回	オンデマンド	日露戦争	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	4時間
第10回	オンデマンド	第一次世界大戦と日本	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	6時間
第11回	オンデマンド	近代日本の植民地支配	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	6時間
第12回	オンデマンド	中国情勢と日本	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	6時間
第13回	オンデマンド	日中戦争からアジア・太平洋戦争へ	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	6時間
第14回	オンデマンド	冷戦と戦後の日本	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 レポート作成をスケジュールに沿って進めて下さい。	6時間
第15回	オンデマンド	日本の歴史認識問題（授業のまとめ）	授業後に、授業で配付したレジュメや参考文献を読んで復習して下さい。 提出に向けてレポートを作成してください。	6時間

科目名	世界史概論Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	中尾　恭三	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	近代の国民国家とナショナリズム		
授業の目的及び概要	この授業は世界史に関する基礎レベルの科目です。近現代から現代までの様々な国と地域における歴史的事象を幅広く学修することを目的とします。 世界史概論Ⅱでは、国民国家とナショナリズムを一貫したテーマとします。近代にうまれた理念であるナショナリズムは、各地で国民国家を成立させていくとともに、世界の歴史をつよく規定する要素としてはたらいてきました。国民国家とナショナリズムをテーマに、わたしたちが生きる現代世界がいかにして成り立ってきたのか、さらに、現代世界における諸問題とはなんなのかを理解する力を養っていきます。		
履修の条件・注意	「世界史概論＜世界史概論Ⅰ＞」を修得していることが望ましい		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	異なる地域世界の形成・展開ならびに相互関係を、時代の流れにおいて学修し、近代から現代まで西洋と東洋の歴史に関する基礎知識を修得すると同時に、世界史を横断的に眺める能力を養い、現代社会の諸問題に対する理解を深めます。 世界史あるいは歴史学を学ぶことにより、現在発生している様々な社会問題を長い時間軸の中で検討することで、社会と対話する力を身につけることができます。この授業を受講することにより、とくに国際協力や異文化理解に関心のある学生が、他国の歴史や自己の歴史認識を語る力を得ることを目標とします。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	数回にいちど、テーマに準じた課題を出題します。 学生の解答を紹介しつつ、解答へのコメントと課題の解説をおこないます。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは指定しません。 授業の進展におうじて適宜参考文献を紹介するとともに、一部をテキストととして配布します。	ISBN	なし
参考書	つぎの書籍を参考文献としてあげます。 ①アントニー・D・スミス著, 庄司信訳,『ナショナリズムとは何か』, ちくま学芸文庫, 2018年。 ②塩川伸明,『民族とネイション―ナショナリズムという難問』, 岩波新書, 2008年。 ③大澤真幸, 姜尚中編,『ナショナリズム論入門』, 有斐閣, 2009年。 ④大澤真幸編『ナショナリズム論の名著50』, 平凡社, 2002年。	ISBN	①978-4480098733 ②978-4004311560 ③978-4641123359 ④978-4582452181

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	現代の国際関係は、国民国家同士の関係です。そして、国民は近代の歴史の中で誕生していった比較的あたらしい現象です。 私たちの多くが、いずれかの国の国民なのですが、国民とはどういったものなのか、国民が作り上げる国家とは何かを意外なほどに知りません。 世界史概論Ⅱの学習をつうじて、国民とは何か、国民国家とは何かを学習し、現代世界の国際的な諸問題や未来に向けての課題を考察するための基礎を身に着けていきましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	ナショナリズムと国民国家をめぐるいくつかの理論(1) 第1回～第3回では、基礎的な概念と理論について学習をおこないます。 ガイダンス これからの学習の基礎となる基本的な用語をおこないます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第2回	オンデマンド	ナショナリズムと国民国家をめぐるいくつかの理論(2) ゲルナー『民族とナショナリズム』 アーネスト・ゲルナーのナショナリズム理論を検討し、近代の国民の誕生について考察をすすめていきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第3回	オンデマンド	ナショナリズムと国民国家をめぐるいくつかの理論(3) アンダーソン『創造の共同体』 アンダーソンによるナショナリズム論をてがかりとして、近代社会において国民が誕生した経緯について検討をおこないます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第4回	オンデマンド	フランス革命とナショナリズム 18世紀のヨーロッパで国民国家の理念が誕生したフランスをとりあげ、そこでいかにナショナリズムが作用したのかを考察します。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間

第5回	オンデマンド	19世紀ヨーロッパにおける国民意識の創造 19世紀のヨーロッパ諸国では、民族の一体性をつくりだすために、さまざまな文化や制度がつくりだされてきた。 どのようにして人びとは民族意識をもつにいたったのかを、この時代のヨーロッパ諸国を対象として理解していきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第6回	オンデマンド	帝国主義とナショナリズム ヨーロッパ列強は、19世紀世界各地に進出し植民地化をすすめた。 そこでナショナリズムがいかに作用したかを検討していきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第7回	オンデマンド	植民地におけるナショナリズム―インド 植民地化された地域の人びとは、ヨーロッパで生まれた理念であるナショナリズムを取り込み、自民族の独立を志すようになった。 インドを例に、ナショナリズムと独立運動の関係について分析をおこないます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第8回	オンデマンド	ナショナリズムと辛亥革命 東アジアの清帝国では、列強の侵出をうけるなかでナショナリズムが高まり、革命へとつながっていった。 19世紀から20世紀初頭の中国におけるナショナリズムを検討し、なぜ革命が勃発したのかを理解していきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第9回	オンデマンド	ナショナリズムがひきおこした世界大戦 1914年にはじまった第一次世界大戦はなぜひきおこされたのか。 国民が抱いたナショナリズムを手掛かりに分析をおこないます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第10回	オンデマンド	アジアの民族運動 第一次世界大戦後、民族自決の理念にもとづきアジア各地で民族運動が活発化した。 インドのナショナリズム運動をおもにとりあげ、1920年代からの民族運動について理解を深めていきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第11回	オンデマンド	ファシズムと第2次世界大戦 ドイツでナチスが独裁体制を確立できたのはなぜか。 ナショナリズムの側面から検討していきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第12回	オンデマンド	アラブ・ナショナリズムの展開 20世紀のアラブ世界のナショナリズムとその限界について検討をしていきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第13回	オンデマンド	多民族国家ユーゴスラビアの20世紀 東ヨーロッパに存在した国家ユーゴスラヴィアは、20世紀後半東西冷戦のはざまにあって、多民族国家かつ独自の社会主義国として91年まで存続した。 この国家の成立から崩壊までを、ナショナリズムをてがかりに理解していきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第14回	オンデマンド	現代中国のナショナリズム 1949年の中華人民共和国の誕生から現代までの歴史を、ナショナリズムを手掛かりに理解していきます。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間
第15回	オンデマンド	EUとナショナリズム 1993年に誕生し、統合を志向するヨーロッパ連合(EU)の加盟国のなかで、ポピュリズムが台頭した原因を検討します。	配布するテキストを読み、予習問題を解いておいてください。	4時間

科目名	市民社会と法	開講年度	2023年度秋学期
担当者	兪　珏根	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G1		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	本講義では、人間生活の基礎となる法律について、日常の市民生活に必要な最低限の知識を得るとする。		
授業の目的及び概要	人間が社会生活を営む以上、そのルールである法は必要不可欠である。現代社会の様々な法制度などを理解し、法学的な考え方を身近なものとするためには雇用の場で生起する諸問題の構造を学ぶことを目的とする。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	法基礎理論で, 法とはなにか、法と他の社会規範、権利義務関係などと、消費生活と法、親子と法(婚姻制度含む)、職場の雇用条件として法的な基礎を習得することを目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	中間テストについては解説する。 -中間テストは、第1週から第7週まで習った部分について、予想問題3問を提示し、その内容で問題を解決する。 さらに、課題や疑問点については、授業中に解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	川田知子・長谷川聡『労働法』(弘文党 2020年) 小川富之編『法学』、八千代2018年) 授業の前に毎回講義レジュメをパワーポイントで配布する。授業はレジュメに沿って進行する。	ISBN	ISBN978-4-335-35838-8 ISBN978-4-8429-17313
参考書	荒木尚志『労働法 第5版』(有斐閣 2022年) 村中孝史・荒木尚志編『労働判例百選 第10版』(有斐閣、2022年)	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	・本授業では, 法学基礎理論として難しくない日常の市民生活に必要な最低限の法律知識を学ぶものであり、授業にまじめに参加することで充分である。 ・日ごろから、雇用問題や法制度に関するニュース等に接することや、各自のアルバイトの経験などで遭遇する法的問題について意識することが授業の理解に役立つ。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション (授業のガイダンス)	予習:レジュメや参考資料等の目次・概要を確認する 概要:講義の進め方を示し、法基礎や労使問題の学修方法について学ぶ 復習:法とは何かの特徴を確認する	4時間
第2回	対面	法基礎論の意義と基本構造 －法と社会規範との関係について学ぶ	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:法と社会規範との関係について学ぶ 復習:法、道徳、宗教、慣習などの生まれた歴史的背景を確認する	4時間
第3回	対面	権利と義務の意義と基本構造 －権利とは、義務は、 －権利と類似した権限、権力等と比較	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:権利義務関係の意味について学ぶ 復習:権利、義務、権限などの概念を確認する	4時間
第4回	対面	契約と消費と法 －契約の意思表示 －売買契約、消費者保護など	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:契約及び消費関係の解決システムについて学ぶ 復習:契約と債務不履行の相互関係等を確認する	4時間
第5回	対面	婚姻制度 －婚姻、離婚など	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:婚姻制度の成立、効果、離婚の事由および財産分与について学ぶ 復習:婚姻システムの概要・相互関係等を確認する	4時間
第6回	対面	国際社会と法 －国際社会における人権保護 －外国人の地位	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:国際社会の基本ルールを学ぶ 復習:国際人権規約、差別禁止に関する議論等を確認する	4時間

第7回	対面	労働契約の成立 －労働契約の締結	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:労働契約の締結に関する基本ルールを学ぶ 復習:募集、採用時の法規定など	4時間
第8回	対面	賃金(1) －賃金の支払い方法、退職金など	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:賃金制度と法規制その争点を学ぶ 復習:平均賃金など賃金規制を確認する	4時間
第9回	対面	賃金(2) －年俸制、成果主義賃金	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:各種賃金制度の法律問題等を確認する 復習:年俸制、賞与、退職金制度の意義と課題等を確認する	4時間
第10回	対面	労働時間(1) －法定労働時間、変形制、休日	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:労働時間規制の全体像に関する法理を学ぶ 復習:法定労働時間、所定労働時間、休憩時間の内容、論点等を確認する	4時間
第11回	対面	労働時間(2) －時間外労働、裁量労働制など	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:労働時間の弾力的規制に関する法理を学ぶ 復習:変形労働時間制に関する判例法理の特徴と課題等を確認する	4時間
第12回	対面	非典型雇用	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:非正規雇用に関する法制度を学ぶ 復習:有期雇用の法的性質、不合理な労働条件の相違の禁止に対して確認する	4時間
第13回	対面	労働契約の終了(1) －解雇規制	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:解雇に関する規制の枠組みを学ぶ 復習:解雇に関する規制の内容や論点を確認する	4時間
第14回	対面	労働契約の終了(2) －退職・定年・再雇用	予習:レジュメ・資料の該当箇所を確認する 概要:退職・定年・再雇用に関する法的課題を学ぶ 復習:退職・定年・再雇用に関する法的課題を確認する	4時間
第15回	オンデマンド	授業計画1から14までの授業内容及び理解度を総括的に討論時間を設けて確認する	予習:レジュメ・資料を全体的に確認する 概要:授業内容及び総括的な確認を行う 復習:レジュメ・資料を全体的に確認し、理解不足の部分を学び直す	4時間

科目名	日本文化論	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本文化の諸相について比較の観点を交えながら講義する。		
授業の目的及び概要	異文化に対する寛容な態度の基礎となる、自国文化の理解が重要である。この授業では、多くの履修生にとって自国である日本の文化を、多角的な視点から考察することを目的とする。具体的には、歴史、言語、文化・芸術、武道、政治制度等の具体的な事例を通して、日本文化の諸相について検討を行う。また、世界から日本文化がどのように評価され、理解されてきたかについて、外国人研究者の見解等を用いながら、必要に応じて批判的な検討も加えつつ、客観的でバランスのとれた理解を身につける。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育む。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本文化の理解を深め、世界における日本文化の位置づけを説明することができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しません。	ISBN	なし
参考書	① "The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture", Roger J. Davis and Osamu Ikeno, Tuttle Publishing 2002 ②『日本人と日本文化―対談』、司馬遼太郎、ドナルド・キーン、中公文庫、1996年	ISBN	① 9780804832953 ② 9784122026643

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	テーマに関する予習(読書、調査、考察など)を毎回要求します。 英語(と日本語との対訳的な知識)による概念使用や議論の基礎を目指す参加者を歓迎します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第2回	対面	時代の文化史(1):古代について(縄文時代～飛鳥時代)	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第3回	対面	時代の文化史(2):奈良時代について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第4回	対面	時代の文化史(3):平安時代について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第5回	対面	時代の文化史(4): 平安末期について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第6回	対面	時代の文化史(5):鎌倉時代について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第7回	対面	時代の文化史(6):室町時代とその後について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第8回	対面	時代の文化史(7):江戸時代について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第9回	対面	時代の文化史(8):明治時代・大正時代について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第10回	対面	時代の文化史(9):戦後の日本について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間

第11回	対面	日本文化の基本概念（1）：〈言葉〉と〈沈黙〉について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第12回	対面	日本文化の基本概念（2）：〈道〉の精神について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第13回	対面	日本文化の基本概念（3）：〈あいまいさ〉について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第14回	対面	日本文化の基本概念（4）：〈頑張り〉について	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ	授業後に、授業で配布した資料を読んで復習しておくこと	4時間

科目名	Japanese History	開講年度	2023年度春学期
担当者	宮﨑　友里	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本近現代史		
授業の目的及び概要	この授業では、英語を用いて日本近現代史について学習します。明治、大正、昭和、平成と各時代ごとに重要な出来事を概観することを通して、日本社会について理解することがこの授業の目的です。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	現代の日本がどのように形成されてきたのかを理解し、英語で説明できるようになることが学習の到達目標です。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	質問があれば、回答や補足説明を行います。質問は、ポータルサイトに記載するメールアドレスに送ってください。 優秀なコメント等は、授業中に紹介します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しません。	ISBN	特に指定しません。
参考書	講義内で、参考資料を提示します。	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この科目の履修にあたり、これまでに学習した日本史を復習しておくことが望ましい。 なお、これまでに日本史を学習したことがない留学生は、日常生活の中で日本の歴史に関心を持つことが望ましい。例えば、インターネット記事、新聞記事、テレビ番組などの日本史に関する内容には目を通すことが望ましい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	イントロダクション	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第2回	オンデマンド	江戸時代以前の日本	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第3回	オンデマンド	徳川幕府の衰退と黒船来航	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第4回	オンデマンド	徳川幕府の終焉と明治維新	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第5回	オンデマンド	西南戦争と明治憲法	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第6回	オンデマンド	日清戦争と日露戦争	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第7回	オンデマンド	日韓併合	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第8回	オンデマンド	第一次世界大戦	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第9回	オンデマンド	日中戦争と第二次世界大戦	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第10回	オンデマンド	日本の降伏と占領下の日本	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間
第11回	オンデマンド	高度経済成長	事前学習:日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習:英語で説明できるように復習すること	4時間

第12回	オンデマンド	四大公害病	事前学習：日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習：英語で説明できるように復習すること	4時間
第13回	オンデマンド	バブル経済とその崩壊	事前学習：日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習：英語で説明できるように復習すること	4時間
第14回	オンデマンド	平成期の自然災害	事前学習：日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習：英語で説明できるように復習すること	4時間
第15回	オンデマンド	総括	事前学習：日本語で該当箇所を確認しておくこと 事後学習：英語で説明できるように復習すること	4時間

科目名	Japanese Society	開講年度	2023年度秋学期
担当者	綱島　洋之	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Japanese society from a different vantage point		
授業の目的及び概要	この授業は英語のみで行われる。授業では、日本人の思想と文化の根底にあるそのメンタリティについての理解を深める。今日みられる日本の伝統、習慣、慣習、風習、習俗等の現象のなかには、本来の意味や意義を離れ、形だけが継承されているものがあることを踏まえ、授業ではそれら現象のなかに秘められた、日本人のメンタリティの根源を明らかにする。さらに、異文化理解の観点から、世界からみた日本社会の特徴について理解し、英語で説明できる能力を修得する。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育む。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	The goal is to grasp the common background to several social and cultural phenomena in Japan, so that the students can make their own future study topics clearer.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	Each student will receive feedback on their term paper from their classmates and the lecturer during the writing of their own.		
アクティブ・ラーニングの取組み	プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Summaries will be handed out every class. Some parts of the course material will be based on Yoshio Sugimoto's "An Introduction to Japanese Society: 4th Edition", Cambridge University Press (2015).	ISBN	978-1107626676
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	Aiming at developing a further understanding of the Japanese society, this course examines contemporary cultural and social issues in Japan from the standpoint of the people who have been exposed to various forms of social exclusion e.g. poverty and discrimination.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Explanation about the goal and method of this course, and grade evaluation.	Students are required to be prepared to express what kinds of topics they are intrested in.	0.5時間
第2回	対面	Social exclusion in Japan: an overview (1)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第3回	対面	Social exclusion in Japan: an overview (2)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第4回	対面	Homelessness and change in the labor market (1)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第5回	対面	Homelessness and change in the labor market (2)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第6回	対面	Homelessness and change in the labor market (3)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第7回	対面	The Japanese style management model	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第8回	対面	Gender Aspect of Change in the Labor Market	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第9回	対面	Movement toward liberation of disabled people (1)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第10回	対面	Movement toward liberation of disabled people (2)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間

第11回	対面	Movement toward liberation of disabled people (3)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第12回	対面	Racism issues and “Japaneseness” (1)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第13回	対面	Racism issues and “Japaneseness” (2)	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第14回	オンデマンド	Summary and discussion	Students are required to prepare a presentation based on drafts for their term paper.	1時間
第15回	対面	Presentation and discussion	Students may be required to make some amendments to improve and finish their term paper in accordance with the discussion conducted in the class.	1時間

科目名	Japanese Geography	開講年度	2023年度秋学期
担当者	綱島　洋之	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Japanese geography from several angles		
授業の目的及び概要	この授業は英語のみで行われる。授業では、国内外の地域について探究する際に有用な、地理学的な空間分析の方法や地域のとらえ方に関して理解を深めることを目標とする。まず地理学の基本的な空間分析の方法・手法を解説した上で、日本における人間環境関係、日本的な生活空間の特徴について、地理学的視点から地域の自然、社会、文化について考察する。さらに、異文化理解の観点から、世界からみた日本の地理の特徴について理解し、英語で説明できる能力を修得する。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育む。		
履修の条件・注意	“Japanese Geography” is an introductory course that requires no particular knowledge about geography, and all interested students are welcome. Since the language of instruction is English, a certain level of English is required to understand the content of the class. Nevertheless, the course is designed for non-native English speakers, providing detailed explanations of technical terms, giving students the opportunity to improve their language skills.		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	The goal is to grasp the common background to several natural, social and cultural phenomena in Japan, so that the students can make their own future study topics clearer.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	Each student will get feedback on their term paper from their classmates and the lecturer during the writing of their own.		
アクティブ・ラーニングの取組み	プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Class materials will be handed out for every class.	ISBN	なし
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	Aiming at developing a further understanding of Japanese geography, this course examines contemporary economic and social issues in Japan from the standpoint of the relationship between human activities and natural environment.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	An introduction to the geography of Japan	Students are required to be prepared to express what kinds of topics they are intrested in.	0.5時間
第2回	対面	What the topography determines?	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第3回	対面	Japan in the global weather system	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第4回	対面	Climate and change in seasons	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第5回	対面	Climate, topography and agriculture	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第6回	対面	Agriculture and international relationship	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第7回	対面	Industries in decline	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第8回	対面	Population dynamics	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第9回	対面	Urbanization, aging and depopulation	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第10回	対面	Urban planning	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間

第11回	対面	Compact city and people's participation	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第12回	対面	Present urbanization situation	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第13回	対面	Inner cities and disadvantaged areas	Students are required to review the video materials and handouts used in the class.	0.5時間
第14回	オンデマンド	Summary and discussion 1	Students are required to prepare a presentation based on drafts for their term paper.	1時間
第15回	対面	Summary and discussion 2	Students may be required to make some amendments to improve and finish their term paper in accordance with the discussion conducted in the class.	1時間

科目名	Japanese Law and Society	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	グリーン・スティーブン	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本の法律と社会的背景を学びながら、多様な活動を通して英語技術と英語でアカデミックスキルを養う。 このコースは日本に集中するが、他の国とのいくらかの比較も含みます。		
授業の目的及び概要	この授業は全て英語で行われ、学生は「英語で内容(日本の法律・政治)を学ぶ」という活動を行います(「英語を学ぶ」のでは無く「英語で学ぶ」)。 従って、授業では英語のみが使われ、評価となる活動も、全て英語が使用されます。 この科目は専門知識・能力の高度化を図る科目です。 日本の主な法を学ぶと同時に、日本社会について考察します。 日本における法と社会規範について考察を行い、日本国憲法の基礎理論や、その基本原理である国民主権、基本的人権の尊重についての理解を深めます。また、日本社会が直面する様々な問題の解決に向けた、法の役割を学びます。		
履修の条件・注意	授業は全て英語で行われる。 学生には一定の語学力が備わっていることが望ましい。 英語圏に留学した学生や、将来、国内外で英語能力を活かしたキャリアに就きたい学生に履修する事を勧める。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この科目の目標は、以下の通り設定しています。 1. 日本の法律、社会的背景について多面的に理解する。 2. 英語でトピックに関連した日本の法律、社会的背景や時事問題を英語でリサーチする能力をつける。 3. リサーチを通して、批判的思考能力を身につけ、英語で自らの意見を述べる事ができるようになる。 4. 日本の法律、社会的背景の問題について自らの意見を英語でディスカッションが出来る能力を養う。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で質問への回答や説明をします。 授業内で継続的に行なわれるエクセサイズやクイズ、ディスカッションを行うなかで教員から講評を受けます。 学生により継続的に提出されるテキストのワークやこのコース専用のノートブックは添削した上で返却します。 テストは、採点した上で、教員から講評を受けます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	Law in Japan, Law in the World, Richard Powell , 堀田秀吾 , Fathima Marikkar, 朝日出版社, 2012	**ISBN**	978-4-255-15518-0
参考書	参考書の指定は行いません。 必要な資料は適宜授業内で指示します。	**ISBN**	なし

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	80	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	This is a content-based instruction (CBI) course in English. Only English is used in class, and for assessment activities. 授業は全て英語で行われ、授業内では英語による積極的なディスカッション参加が求められます。 TOEICスコア600以上の学生さんの履修を推奨します。 英語で自身の意見を表現する、また、他者の意見を聞き取り、それに対する質問や意見の違いを述べるなど、実践的な英語運用能力を 身につけるためには、しっかりとした準備が必要となりますが、間違いを恐れず、ディスカッションに活発に参加してください。 授業は教科書に即して行われますので第2回 から毎週必ず持参してください。 また、このコース専用のノートブックが必要で、第1回 から毎週必ず持参してください。 盗用は禁止されています。また、オンライン/自動翻訳の使用も禁止されています。 授業中スマートフォンの使用は禁止です。教員の許可なく使用していると、クラスから退席することになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	(授業計画は、授業を進める中で変更される事があります。) Introduction to the course 授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。	【予習】 シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 【復習】 シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確 認してください。	4時間
第2回	対面	″Law in daily life″ reading and vocabulary	【予習】 complete 'Before you read' (p.2) & 'Legal terms' (p.2), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete 'After you read' (p.4), 'Vocabulary expansion' (p.4), 'Composition' (p.5), 'Structure and grammar' (p.5)	4時間

第3回	対面	"Law in daily life" discussion	【予習】 review Chapter 1 'Law in daily life', including 教科書付属音声, complete the 'Debate' activity (p.6) in your notebook, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 make your own notes for test	4時間
第4回	対面	"Legal systems around the world" reading and vocabulary	【予習】 complete 'Before you read' (p.8) & 'Legal terms' (p.8), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete 'After you read' (p.10), 'Vocabulary expansion' (p.10), 'Composition' (p.11), 'Structure and grammar' (p.11), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook	4時間
第5回	対面	"Legal systems around the world" discussion	【予習】 review Chapter 2 'Legal systems around the world', including 教科書付属音声, complete the 'Debate' activity (p.12) in your notebook, add new words to your 'vocabulary list' 【復習】 make your own notes for test	4時間
第6回	対面	"Legal professionals" reading and vocabulary	【予習】 complete 'Before you read' (p.20) & 'Legal terms' (p.20), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete 'After you read' (p.22), 'Vocabulary expansion' (p.23), 'Composition' (p.23), 'Structure and grammar' (p.24)	4時間
第7回	対面	"Legal professionals" discussion	【予習】 review Chapter 4 'Legal professionals', including 教科書付属音声, complete the 'Debate' activity (p.25) in your notebook, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 make your own notes for test	4時間
第8回	対面	review of first-half of semester's work, including test on Chapter 1, Chapter 2, and Chapter 4	【予習】 prepare for test by reviewing vocabulary and your own notes on Chapter 1, Chapter 2, and Chapter 4 【復習】 review feedback and comments given on test onChapter 1, Chapter 2, and Chapter 4	4時間
第9回	対面	"Evolution of modern Japanese law" reading and vocabulary	【予習】 complete 'Before you read' (p.26) & 'Legal terms' (p.26), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete 'After you read' (p.28), 'Vocabulary expansion' (p.28), 'Composition' (p.29), 'Structure and grammar' (p.29)	4時間
第10回	対面	"Evolution of modern Japanese law" discussion	【予習】 review Chapter 5 'Evolution of modern Japanese law', including 教科書付属音声, complete the 'Debate' activity (p.30) in your notebook, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 make your own notes for test	4時間
第11回	対面	"The Constitution" reading and vocabulary	【予習】 complete 'Before you read' (p.32) & 'Legal terms' (p.32), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete 'After you read' (p.34), 'Vocabulary expansion' (p.34), 'Composition' (p.35), 'Structure and grammar' (p.35)	4時間
第12回	オンデマンド	「ラーニングポータルで」 "The Constitution" discussion	【予習】 review Chapter 6 'The Constitution', including 教科書付属音声, complete the 'Debate' activity (p.36) in your notebook, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 make your own notes for test	4時間
第13回	対面	"Criminal law" reading and vocabulary	【予習】 complete 'Before you read' (p.38) & 'Legal terms' (p.38), add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 complete 'After you read' (p.40), 'Vocabulary expansion' (p.40), 'Composition' (p.41), 'Structure and grammar' (p.41), 'Flow diagram' (p.42)	4時間
第14回	対面	"Criminal law" discussion	【予習】 review Chapter 7 'Criminal law', including 教科書付属音声, complete the 'Debate' activity (p.42) in your notebook, add new words to your 'vocabulary list' in your notebook 【復習】 make your own notes for test	4時間
第15回	対面	review of second-half of semester's work, including test on Chapter 5 to Chapter 7 (inclusive)	【予習】 prepare for test by reviewing vocabulary and your own notes on Chapter 5 to Chapter 7 (inclusive) 【復習】 review feedback and comments given on test on Chapter 5 to Chapter 7 (inclusive) © Stephen Green 2023	4時間

科目名	Comparative Culture	開講年度	2023年度秋学期
担当者	宮﨑　寛	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Approaches to the power of culture in everyday life		
授業の目的及び概要	This course explores intercultural issues and cultural theories that allow us to understand what we (usually) unconsciously do in everyday, cultural practices and framework, including popular music. At the same time, this course introduces such concepts as “hybridity”, “cultural industry”, “postcoloniality” and “westernisation/modernisation” which enable the students to grasp the cultural interactions and acculturations occurring across “national” border. In particular, the impact of American culture during the post-war period and the acculturation of American values in the context of Japan will be investigated in the latter half of this course.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	The goal of the class is twofold: (1) to expose students to the study of culture through works taken from a variety of disciplines as well as concrete examples of cultural pieces, and (2) through such endeavor, to have the students be able to analyse the everyday cultural practices in the broader context of cultural, historical interactions. In particular, the students will develop a self-reflexive awareness of Japanese culture and its position in East Asia, while also recognising the impact of Westernisation and modernisation. This will require the development of analytic tools to promote meaningful dialogue placed within theoretic frameworks. Topics that will be explored include cultural variables, communication norms and their differences, the potential problems that can arise during intercultural interaction, and ways in which these problems can be addressed.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	The instructor will respond to and give some advice on any questions and comments raised during the class. Feedback to presentation: You will get feedback, including questions and comments, immediately after your presentation in class. Feedback to final essay: The mark and comments on your final essay will be posted on ″Report″ section of Learning Portal webs.		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特になし。教材はこちらで用意します。	ISBN	特になし。
参考書	①During, Simon (2005), Cultural Studies: A Critical Introduction , New York: Routledge. ②Frith, Simon (1981), Sound Effects: Youth, Leisure and the Politics of Rock 'n' Roll, New York: Pantheon. ③Gilroy, Paul (1993), The Black Atlantic: Modernity and Double Consciousness, Harvard University Press. ④Longhurst, Brian et al. (2017), Introducing Cultural Studies, London: Routledge. ⑤Williams, Raymond (1976=2011) Keywords: A Vocabulary of Culture and Society, Routledge (Routledge revivals), on “Culture”.	ISBN	①0415246571 ②0094649502 ③9780860916758 ④9781138915725 ⑤0199393214

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	50	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	20	Presentation (プレゼンテーション)	

この科目の履修にあたって	The most challenging aspect of this class for the students will be to engage with critical thinking in English. To successfully to do so will require that they work in groups outside of class to analyse the readings in preparation of class discussion.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	Introduction: Introduction to class / course outline	Please review the materials (outline paper and PPT file) posted on Learning Portal. If possible, also read the following reading material for preparing the next class: Page 4-7, ″1.1 What is Culture?″ in 'Chapter 1 Culture and Cultural Studies', in Longhurst (2017), Introducing Cultural Studies, London: Routledge.	4時間
第2回	対面	What is “culture” ?: Different definitions of culture: its transition in multiple contexts	Please read the following materials beforehand. Raymond Williams (1976), Keywords: A Vocabulary of Culture and Society, Oxford Univ Press. Page 4-7, ″1.1 What is Culture?″ in 'Chapter 1 Culture and Cultural Studies' in Brian Longhurst et al. (2017), Introducing Cultural Studies, London: Routledge.	4時間
第3回	対面	Introduction to Cultural Studies Why and how of the discipline / culture as the production of meaning	Please read the following material beforehand.'Chapter1 Culture and Cultural Studies' in Brian Longhurst et al. (2017), Introducing Cultural Studies, London: Routledge, pp3-11.	4時間

第4回	対面	Case 1: cultural analysis Situating music piece(s) in historical, economic, political and social context	Seek and find a newspaper article on the issue of 'music and immigrants' or 'music and cultural diversity'.	4時間
第5回	オンデマンド	Case 2: more in-depth cultural analysis: Critical analysis of music in relation to the concept of "power", and in the context of music industry (from Fordism to Post-Fordism)	Please read the following material beforehand. 'Chapter 4" of Keith Negus, Popular Music in Theory: An Introduction. Cambridge: Polity Press, 1996.	4時間
第6回	対面	Cultures and hybridity in Theory: Theories: Paul Gilroy, George Lipsitz (and hopefully James Clifford).	Please read the following material beforehand. 'Chapter1 Culture and Cultural Studies' in Brian Longhurst et al. (2017), Introducing Cultural Studies, London: Routledge, pp-11-17.	4時間
第7回	対面	Case1: analysis of cultural hybridity Diaspora and hybridity Presentation Day 1	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal. Be prepared to the presentation.	4時間
第8回	対面	Case2: more in-depth analysis of cultural hybridity in the political-historical nexus "Black" music and Enka Presentation Day 2	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal. Be prepared to the presentation.	4時間
第9回	対面	Colonialism and Culture: Problem of cultural representation	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal.	4時間
第10回	対面	Case Study of colonialism and culture: Okinawan Music	Please read the following material beforehand: James E. Robertson, "Uchina Pop: Place and Identity in Contemporary Okinawan Popular Music" in Laura Hein & Mark Selden eds., Islands of Discontent: Okinawan Responses to Japanese and American Power, Oxford: Rowman & Littlefield Publishers.	4時間
第11回	対面	Western impact on Japan Critical perspective on the beginning of "modern" Japan	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal.	4時間
第12回	対面	Case1: From the end of Edo shogunate to the beginning of Meiji Production of "Japanese-ness" and its "value" through cultural practices	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal.	4時間
第13回	対面	Case2: critical analysis of post-war Japanese society The impact of "America" on the Japanese lifestyle and political view	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal. Shunya, Yoshimi (2008), 'What Does "American" Mean in Postwar Japan?', Nanzan Review of American Studies (Vol. 30: 83-7).	4時間
第14回	対面	Consumer Society in Japan and Beyond (cont. from the last class) Cultural consumption and 'comfortable' servitude	Please read and take notes on the reading material posted on Learning Portal. Mōri, Yoshitaka (2011), 'The Pitfall Facing the Cool Japan Project: The Transnational Development of the Anime Industry under the Condition of Post-Fordism', International Journal of Japanese Sociology, Nomber 20.	4時間
第15回	対面	Wrapping up …and submission of final project (essay)	Make sure you finish writing your final essay. If you have any question on the essay, do ask me through Learning Portal or email.	4時間

科目名	Comparative Legal System	開講年度	2023年度秋学期
担当者	グリーン・スティーブン	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界がグローバル化する中、自国の法制度にとどまらず、他国の法制度 についても理解することは重要である。この科目は世界中に存在するさまざまな法制度を研究しています。		
授業の目的及び概要	この授業は全て英語で行われ、学生は英語で諸外国の法制度を学ぶという活動を行います。評価となる活動も、全て英語を使用します。 この授業は論理的思考力や幅広い視野を育む科目です。 国や地域、歴史や社会などが異なれば、法制度やその制度によって形成される社会も固有のものとなります。諸外国の諸法制度と日本の法制度の違いを身近な観点を事例に考えます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この科目の目標は以下の通りに設定しています。 1. 世界の法制度についての理解を深めに付けます。諸外国の法制度と日本の法制度背景について多面的に理解する。 2. 英語でアカデミックスキル(ディスカッション、プレゼンテーション、報告が出来る、など)をする能力を養うことができます。 3. 関連した諸外国の法制度と日本の法律を英語でリサーチする能力をつける。 4. リサーチを通して、批判的思考能力を身につけ、英語で自らの意見を述べる事ができるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で質問への回答や説明をします。 授業内で継続的に行なわれるエクセサイズやディスカッション、プレゼンテーション行うなかで教員から講評を受けます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	教科書指定は行いません。	ISBN	なし
参考書	必要な資料は適宜授業内で指示します。	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	70	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	上の「成績評価の方法・基準 」の説明 「授業期間中の小テスト、レポート課題等 (70)%」= 4x英語でレポート10% (40%) + 1x英語でレポート30% 「成果発表(口頭・実技) (30)%」= 3x英語でプレゼンテーション5% (15%)+ 1x英語でプレゼンテーション15% This is a project-based learning course in English. Only English is used in class, and for assessment activities. 授業は全て英語で行われ、授業内では英語による積極的なディスカッション参加が求められます。 TOEICスコア600以上の学生さんの履修を推奨します。 英語で自身の意見を表現する、また、他者の意見を聞き取り、それに対する質問や意見の違いを述べるなど、実践 的な英語運用能力を身につけるためには、しっかりとした準備が必要となりますが、間違いを恐れず、ディスカッションに活発に参加 してください。 このコース専用のノートブック が必要で、第1回 から毎週に必ず持参してください。 盗用は禁止されています。また、オンライン/自動翻訳の使用も禁止されています。授業中スマートフォンの使用は禁止です。教員の 許可なく使用していると、クラスから退席することになります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	(授業計画は、授業を進める中で変更される事があります。) Introduction to the course 授業の概要や到達目標等について、ガイダンスを行います。 Introduction to legal systems around the world	【予習】 read the course syllabus シラバスとガイダンス資料を事前に読んでおいてください。 【復習】 シラバスとガイダンス資料を読み直し、講義で得た内容を確 認してください。 complete and revise your notes from the introduction to the course and introduction to legal systems around the world think about the country that you want to study in this course for the entire semester write down any questions that you have to ask in the next class	4時間

第2回	対面	Legal systems around the world, reading and discussion	【予習】 decide the country that you want to study in this course for the entire semester complete 'Before you read' (handout) & 'Legal terms' (handout) pre-read 'Reading' (handout) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 research the legal system of your study country (handout) write report on the legal system of your study country (Report #1) write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第3回	対面	Legal system of your study country, research and discussion	【予習】 decide the country that you want to study in this course for the entire semester research the legal system of your study country (handout) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 write report on the legal system of your study country (Report #1) write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第4回	対面	Legal education introduction, reading, and explanation Legal system of your study country report due (Report #1; 10 percent of course grade)	【予習】 finalise report on the legal system of your study country (Report #1) complete 'Before you read' (handout) & 'Legal terms' (handout) pre-read 'Reading' (handout) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 complete and review 'After you read' (handout) complete and revise your notes from legal education introduction write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第5回	対面	Legal education, discussion and research	【予習】 research legal education in your study country prepare for your presentation (Presentation #1) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 research legal education in your study country finalise and practice Presentation #1 legal education in your study country write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第6回	対面	Legal education presentations (Presentation #1; 5 percent of course grade) and discussion	【予習】 research legal education in your study country prepare for your presentation (Presentation #1) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 review comments and feedback on your legal education presentation plan and write your report on legal education (Report #2) write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第7回	対面	Legal professionals introduction, reading, and explanation (Legal education – Report #2 due; 10 percent of course grade)	【予習】 finalise report on legal education in your study country (Report #2) complete 'Before you read' (handout) & 'Legal terms' (handout) pre-read 'Reading' (handout) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 complete and review 'After you read' (handout) complete and revise your notes from legal professionals introduction write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第8回	対面	Legal professionals discussion and research	【予習】 research legal professionals in your study country prepare for your presentation (Presentation #2) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 research legal professionals in your study country write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第9回	対面	Legal professionals presentations (Presentation #2; 5 percent of course grade) and discussion	【予習】 finalise and practice Presentation #2 legal professionals in your study country 【復習】 review comments and feedback on your legal professionals presentation plan and write your report on legal professionals (Report #3) write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第10回	対面	Court system research introduction, reading, and explanation (Legal professionals report due – Report #3; 10 percent of course grade)	【予習】 finalise your report on the legal professionals in your study country (Report #3) complete 'Before you read' (handout) & 'Legal terms' (handout) Pre-read 'Reading' (handout) 【復習】 complete 'After you read' (handout) write down any questions that you have to ask in the next class	4時間

第11回	オンデマンド	「ラーニングポータルで」 Court system research	【予習】 research the court system in your study country write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 research the court system in your study country write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第12回	対面	court system presentations (Presentation #3; 5 percent of course grade) and discussion	【予習】 research the court system in your study country prepare for your presentation (Presentation #3) write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 review comments and feedback on your presentation on the court system in your study country plan and write your report on the court system in your study country (Report #4) write down any questions that you have to ask in the next class	4時間
第13回	対面	Explanation and consultation about individual comparative presentation and individual comparative report Court system report due (Report #4; 10 percent of course grade)	【予習】 review comments and feedback on your four reports (Report #1 – Report #4) plan your detailed individual comparative presentation write down any questions that you have to ask in the next class 【復習】 prepare and practice your individual comparative presentation	4時間
第14回	対面	Detailed individual comparative presentation (15 percent of course grade) and discussion	【予習】 prepare and practice your individual comparative presentation 【復習】 review comments and feedback on your individual comparative presentation plan and write your detailed individual comparative report	4時間
第15回	対面	Detailed individual comparative report due (30 percent of course grade)	【予習】 finalise your detailed individual comparative report 【復習】 review comments and feedback on your final comparative report © Stephen Green 2023	4時間

科目名	宗教学	開講年度	2023年度春学期
担当者	本多 真	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	この講義では、宗教の歴史的な流れを理解しつつ、グローバルな状況の中で宗教がどのように受容されているかについて学びます。		
授業の目的及び概要	宗教文化、宗教対話、宗教慣習に関心を持ちつつ、宗教をめぐる現象を客観的に理解／分析することのできる力を身に着けることを目指します。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	宗教がどのような歴史を経て、今日どのような形で現存し、社会とどのように共存しているのか、その概要について理解することができるようになります。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	フロアから寄せられた質問にその場で答えます。また講評についても授業時に対応します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	毎回、資料を準備します。	ISBN	特になし。
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	まずは身近にある宗教行事、宗教文化、伝統的慣習について考えてみてください。 また、政治、経済、医療と宗教の関係について考えてみてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション:宗教について考える	・講義概要の説明。 ・あなたがイメージする宗教とはいったい何を指していますか。考えてみてください。 ・世界に宗教を信じる人はどのくらいいるのか、調べておいてください。	4時間
第2回	対面	宗教のタイプ:一神教、多神教、無神論／民族宗教、世界宗教	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・どの宗教が「一神教」「多神教」「無神論」か、またそれらの宗教が「民族宗教」「世界宗教」のいずれに該当するか、調べておきましょう。	4時間
第3回	対面	ユダヤ教について	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・ユダヤ教について学びますので、事前学習をしてきてください。	4時間
第4回	対面	キリスト教について	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・キリスト教について学びますので、事前学習をしてきてください。	4時間
第5回	対面	イスラム教について	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・イスラム教について学びますので、事前学習をしてきてください。	4時間
第6回	対面	ヒンドゥー教について	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・ヒンドゥー教について学びますので、事前学習をしてきてください。	4時間
第7回	対面	仏教について	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・仏教について学びますので、事前学習をしてきてください。	4時間

第8回	対面	神道について	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・神道について学びますので、事前学習をしてきてください。	4時間
第9回	対面	日本人と宗教	・前回講義の内容を復習してきてください。 ・日本人の多くは「無宗教」でありながら、日本には無数の宗教施設があります。この謎に迫ります。 ・無数に存在する神社、寺院はどのように維持されているのか、インターネットなどで調べておきましょう。	4時間
第10回	対面	発表：自由論題①	・宗教について調べた内容を発表していただきます。	4時間
第11回	対面	発表：自由論題②	・宗教について調べた内容を発表していただきます。	4時間
第12回	対面	発表：自由論題③	・宗教について調べた内容を発表していただきます。	4時間
第13回	対面	宗教と社会課題①	・宗教は命をどう捉えるか、生命操作の現場に迫ります。 ・人工妊娠中絶、胃ろうなどの医療行為にどの宗教が反対意見なのか、調べておきましょう。	4時間
第14回	対面	宗教と社会課題②	・宗教と政治について考えます。 ・イスラエルとはどのような国か、調べておきましょう。	4時間
第15回	オンデマンド	講義総括	・前回講義の内容を復習してきてください。	2時間

科目名	社会思想史	開講年度	2023年度春学期
担当者	北西　正人	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	近代国家の根幹となる人権思想が，どのような歴史的背景の中で登場し，現代につながっているかを考える.		
授業の目的及び概要	現代は，旧来の秩序が崩れ，パラダイムが揺らぎを見せる社会である. グローバル化が進行するなかで，近代的あるいは普遍的な価値観や制度，経済合理性に基づく市場システムなどが世界中を包摂し，世界の同質化を進めている. しかしそれと同時に，そうした近代的あるいは普遍的な価値観が，地域や民族などに表象される多元的あるいは特殊的な価値観と衝突し，世界の異質化を進めているともいえる. 現代社会の位相を正しく理解するためには，「近代的あるいは普遍的な枠組み」と，「多元的あるいは特殊的な枠組み」の双方を踏まえたアプローチを提示することが求められる. この授業では，「近代的な」社会の枠組みとはいかなるものかという点について，それが構築されてきた思想史の流れに沿いながら考えていきたい. 教科書として使用する『古典から読み解く社会思想史』は，年代別に紹介されることが多い思想史の教科書とは異なり，テーマ別に論じるという新しいスタイルを採用している. その中から数名の思想家のテキストを取り上げることで，「近代社会」のありかたを浮き彫りにする.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	現代におけるさまざまな問題に通じる歴史的背景を理解し，人権についての認識を深める。そのなかで多様な価値観に対する意識を涵養する.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題については授業内で講評する.		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	中村健吾(編著)『古典から読み解く社会思想史』ミネルヴァ出版	ISBN	9784623055852
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	60	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	世界史の知識を有している，または世界史に興味をもっていることが望ましい.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	社会思想史とは	古代から中世，近代の価値観の変容を理解する.	2時間
第2回	対面	古代ギリシャ思想	予習内容：ソクラテス，プラトン，アリストテレスについて調べる. 復習内容：古代ギリシャにおける社会思想とその限界について整理する.	2時間
第3回	対面	中世スコラ哲学と宗教改革	予習内容：トマス・アクィナス，ルター，カルヴァンについて調べる. 復習内容：キリスト教思想の中世から近代への変容を整理する.	2時間
第4回	対面	近代とは何であるのか？――近代人とは何者か？[前編]	予習内容：ホッブズについて調べる. 復習内容：ホッブズを時代背景の中で整理する.	2時間
第5回	対面	近代とは何であるのか？――近代人とは何者か？[後編]	予習内容：自然権について調べる. 復習内容：国家設立の過程を整理する.	2時間
第6回	対面	近代とは何であるのか？――人間の権利は存在するのか[前編]	予習内容：バークについて調べる. 復習内容：フランス革命に関するバークの態度を整理する.	2時間
第7回	対面	近代とは何であるのか？――人間の権利は存在するのか[後編]	予習内容：ペインについて調べる. 復習内容：バークとペインの思想を比較検討して整理する.	2時間

第8回	対面	近代から現代への変容を診る――個人主義社会における連帯と排除[前編]	予習内容:デュルケームについて調べる. 復習内容:デュルケームを時代背景の中で整理する.	2時間
第9回	対面	近代から現代への変容を診る――個人主義社会における連帯と排除[後編]	予習内容:個人と社会について考える. 復習内容:個人の連帯について整理する.	2時間
第10回	対面	近代から現代への変容を診る――近代政治秩序の形成とその変容	予習内容:ウェストファリア体制について調べる. 復習内容:ヴェーバーとシュミットの思想を比較検討して整理する.	2時間
第11回	対面	近代から現代への変容を診る――公共性，無国籍者，人権[前編]	予習内容:アーレントについて調べる. 復習内容:アーレントを時代背景の中で整理する.	2時間
第12回	対面	近代から現代への変容を診る――公共性，無国籍者，人権[後編]	予習内容:「無国籍者」について調べる. 復習内容:アーレントの人権思想を整理する.	2時間
第13回	対面	せめぎあう正義・文化・自然――女性の社会進出と自然的差異[前編]	予習内容:J. S. ミルについて調べる. 復習内容:J. S. ミルを時代背景の中で整理する.	2時間
第14回	対面	せめぎあう正義・文化・自然――女性の社会進出と自然的差異[後編]	予習内容:性差別について考える. 復習内容:家庭における協働のあり方を整理する.	2時間
第15回	オンデマンド	総括	予習内容:第1回から第14回までの内容を確認する. 復習内容:支配と人権の関係について整理する.	2時間

科目名	アジア史	開講年度	2023年度秋学期
担当者	伍 躍	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	新たな時代へ羽ばたくためのアジア史		
授業の目的及び概要	歴史の観点からアジア・東アジア、特にアジア大陸の東部に位置する中国をはじめとする地域の文化を理解することを目的とする。授業においては、アジアとは何か。東アジアとは何か。広大な領土のなかに多様な民族と地域を含みながら、なぜ一つの地域としてまとまっているのか、および西洋や日本とも異なるその特質がいかにして形成されたのか―、そして新たな可能性があるのか一などについて講義を行う。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①政治・経済・文化交流を軸に、どのような経緯で東アジアは現在の姿になっているのか、理解して説明できるようになる。 ②現代東アジアの国際関係を考察して、その特徴について自分なりの見解を示すことができるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	①小テストを通して履修者の理解度を把握する。 ②ラーニング・ポータルのディスカッション機能などを使って、履修者の質問を受け付け回答する。 ③授業中、適宜、履修者の質問を紹介し解説を行う、		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは不使用。必要な資料は事前にラーニングポータルにて配布します。	ISBN	なし
参考書	①木村靖二　ほか『もういちど読む 山川世界史 PLUS アジア編』、山川出版社、2022年 ②宮崎市定『アジア史概説』(中公文庫プレミアム)、中央公論社、2018年 ③亀井高孝　ほか『世界史年表・地図』、吉川弘文館、2021年	ISBN	①9784634640948 ②9784122066038 ③9784642095556

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	50	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	40	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	「なぜ私はここにいるのか」という疑問のように、「なぜこうなっているのか」「どうすれば二度と同じ失敗は繰り返すことを避けるかといった疑問を常に持ち続けて探究していこう。授業に積極的に出席し、積極的に質問することは望ましい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業ガイダンス・イントロダクション 古代アジアの諸文明・西アジアの古代文明	復習:授業の配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の「はじめに」と第1章、および参考書②の緒論と第1章「アジア諸文化の成立とその推移」を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第2回	対面	古代アジアの諸文明・南・東南・東アジアの古代文明	復習:参考書①の第2～3章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の第4章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第3回	対面	イスラーム世界の成立	復習:参考書①の第4章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の第5章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第4回	対面	内陸・東アジア世界の成立	復習:参考書①の第5章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の第6章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第5回	対面	モンゴル時代・「グローバル」の雛形	復習:参考書①の第6章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の第7章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第6回	対面	明清時代の東アジア	復習:参考書①の第7章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の第8～9章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第7回	対面	イスラーム諸国の変容(興隆・危機・改革)	復習:参考書①の第8～9章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習:参考書①の第10章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間

第8回	対面	インド・東南アジアの植民地化	復習：参考書①の第10章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：参考書①の第11章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第9回	対面	東アジアの開港と近代化の試み	復習：参考書①の第11章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：参考書①の第12章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第10回	対面	帝国主義とアジア・アフリカ	復習：参考書①の第12章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：参考書①の第13章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第11回	対面	第1次世界大戦と民族主義の新展開	復習：参考書①の第13章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：参考書①の第14章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第12回	対面	第2次世界大戦とアジア	復習：参考書①の第14章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：参考書①の第15章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第13回	オンデマンド	冷戦とアジア 期末試験案内	復習：参考書①の第15章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：参考書①の第16章を読んでおくこと(2時間程度)。	4時間
第14回	対面	グローバル化する世界・アジアの課題	復習：参考書①の第16章と配布資料を読んで復習すること(2時間程度)。 予習：これまでの配布資料(レジュメ・スライドファイル)を整理して確認しておくこと(2時間程度)。	5時間
第15回	対面	まとめ 期末試験復習	復習：これまでの配布資料(レジュメ・スライドファイル)と復習資料を用いて復習すること(5時間程度)。 【以上の授業計画は受講生の理解度を配慮し必要に応じて、オンデマンド授業の実施時期を含めて微調整を行う可能性はある】	5時間

科目名	アメリカ史	開講年度	2023年度春学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	植民期から19世紀までのアメリカ史の検討		
授業の目的及び概要	本授業ではアメリカ合衆国がいかに世界の中で特異な国であるのかを、同国の植民記から19世紀までの歴史から理解することを目的とする。 20世紀以降のアメリカについては、後期に開講する「アメリカ外交史」で取り扱うので、是非とも受講をお願いしたい。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	受講者に期待する到達目標は、以下の3点である。 1. 日々流れるアメリカについての様々なニュースを、歴史的背景を含めて理解できるようになる(例:台湾問題、BLM運動、日米同盟)。 2. なぜアメリカのの歴史を学ばなければならないのか、各自なりの答えを導き出せる。 3. 世界におけるアメリカの特異性を歴史的な知見から他人に説明できるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎回の授業についてはコメントシートを配布するので、質問や意見等を自由に記入してもらい、翌授業回に講師からのコメントを付して返却する。 ・2回の小テストについては、翌授業回で全問解説を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない 必要な資料は全て授業内で配布する	ISBN	指定なし
参考書	授業内で適宜紹介する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	日本の歴史を学ぶ国は世界的に見ても少ないだろうが、アメリカの歴史は全ての国で学ばれている。 それは何故なのか。アメリカの歴史を学ぶことで、何が見えてくるのか。 本授業においてこれらの答えを授業内で模索することにより、アメリカについての知見のみならず、国際政治全般の知見を深めることができる。 是非とも積極的な受講をお願いしたい。 また、上記にも記したが、本講義は建国期から19世紀までを範疇としている。 後期の「アメリカ外交史」において20世紀のアメリカの外交を中心とした歴史を取り扱う。 是非、本授業を受講した後は、後期の講義を受講してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション ・教員と受講生の自己紹介 ・授業概要の説明と目的意識のすり合わせ ・成績評価の方法と注意事項の説明	事前学習　シラバスを熟読する 事後学習　シラバスと配付資料を読み返し履修するかを決める	5時間
第2回	対面	米国大陸の「発見」と、英国の入植経緯について	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第3回	対面	英国からの独立経緯と独立宣言の内容について(何が何から独立したのか)	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第4回	対面	建国と憲法制定について(米国憲法の特徴と妥協とは何か)	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間

第5回	対面	建国初期の米国の政治的課題について（米仏同盟と奴隷制度）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第6回	対面	1812年戦争とモンロー・ドクトリンについて（両者の内容と意義とは何か）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第7回	対面	1830年代の国土拡大をめぐる経緯について（奴隷制とインディアンはどうなったのか）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第8回	対面	ミニテスト第1回	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、テストに備える 事後学習　分からなかった点を整理・纏めて質問できるようにしておく	4時間
第9回	対面	テストの解説と前期授業の復習	事前学習　分からなかった点を整理・纏めて質問できるようにしておく 事後学習　テストの結果を見直し、前期のポイントを復習する	4時間
第10回	対面	米墨戦争と日米の邂逅について（国土の完成と、米国の太平洋横断の狙い）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第11回	対面	南北戦争の開戦と推移について（欧州諸国の対応と奴隷制との関係とは何か）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第12回	対面	南北戦争の終焉とその後について（南部再建はなぜ破綻したのか）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第13回	対面	金メッキ時代と米西戦争について（メッキと言われる所以と同戦争の意義）	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第14回	対面	第2回ミニテスト	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、テストに備える 事後学習　分からなかった点を整理・纏めて質問できるようにしておく	4時間
第15回	オンデマンド	ミニテスト第2回の解説と、定期試験に向けた授業の総括	事前学習　授業全体のレジュメを見直し、質問事項などを準備・整理する 事後学習　テストを見返し、定期試験への準備をする	5時間

科目名	アメリカ外交史	開講年度	2023年度秋学期
担当者	田中　慎吾	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	20世紀を中心とするアメリカ外交史の検討		
授業の目的及び概要	本授業はアメリカとはどのような国かについて、外交の側面から史的に検討をおこなうものであり、その考察対象は主として20世紀である。 19世紀以前のアメリカ史については、春学期開講の「アメリカ史」において取り扱っている。 なお、秋学期の本授業においても、第2回目の授業で19世紀までの概要をカバーする予定であるが、 学習効果を最大にするためにも、是非とも春学期開講のアメリカ史を受講してから本授業を受講してほしい。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	受講者に期待する到達目標は、以下の3点である。 1. アメリカについての日々の様々なニュースを、その歴史的背景を含めて理解できるようになる(例:米中問題、核・原子力問題、在日米軍基地問題)。 2. なぜアメリカを、そして外交の歴史を学ばなければならないのか、各自なりの答えを導き出せる。 3. 世界におけるアメリカ外交の特異性を、歴史的見地から説明できるようになる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	・毎回の授業についてはコメントシートを配布するので、質問や意見等を自由に記入してもらい、翌授業回に講師からのコメントを付して返却する。 ・2回の小テストについては、翌授業回で全問解説を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定なし 必要な資料は全て授業内で配布する。	ISBN	指定なし
参考書	適宜授業内で紹介する	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	米国は建国から120年程で世界の覇権国となった。しかしその覇権は今、中国から大きな挑戦を受けている。 米国は今後どのような行動をとるのか、その際に我々の国・日本はどのように行動すべきなのか。 こうした点を考えるには、やはり米国がどのような外交方針をとる国なのか、その歴史を振り返ることが肝要である。是非とも受講生の積極的な履修を期待したい。 また、既述したように本講義は20世紀のアメリカ外交を中心に取り扱うものである。 前学期の「アメリカ史」では建国期から19世紀までのアメリカの歴史をカバーしているので、 本授業の理解を深めるために「アメリカ史」を先に履修することが好ましい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション ・教員と受講生の自己紹介 ・授業概要の説明と目的意識のすり合わせ ・成績評価の方法と注意事項の説明	事前学習　シラバスを熟読する 事後学習　シラバスと配付資料を読み返し履修するかを決める	5時間
第2回	対面	19世紀までの米国外交の特徴(選民思想、孤立主義、モンロー・ドクトリン)	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第3回	対面	アジアへの進出とその狙い(米西戦争、帝国主義、啓蒙主義)	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間

第4回	対面	第1次世界大戦とアメリカ（勝利無き平和）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第5回	対面	戦間期のアメリカ外交（国際連盟、不戦条約、ワシントン体制）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第6回	対面	第2次世界大戦への米国対応（中立法、4つの自由）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第7回	対面	日米開戦の経緯について（援蒋ルート、石油依存）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第8回	対面	ミニテスト第1回	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、テストに備える 事後学習　分からなかった点を整理・纏めて質問できるようにしておく	4時間
第9回	対面	ミニテストの解説と前半の復習	事前学習　テストで分からなかった点を整理する 事後学習　解説を聞いて二度と間違わないよう理解する	4時間
第10回	対面	冷戦開始と対日占領（封じ込め、同盟政策の転換）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第11回	対面	インドシナ戦争と朝鮮戦争（アジアと冷戦、核兵器の意味）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第12回	対面	キューバ危機とベトナム戦争（アメリカの教訓と反省）	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第13回	対面	米中接近とその後	事前学習　前回配布したレジュメを読み込み、授業内で質問する点をリスト化する。 事後学習　授業で配布したレジュメを読み返す。授業内で分からなかったところをリスト化し、次回の授業時に配布するコメントシートにかき込む準備をする。	4時間
第14回	対面	第2回ミニテスト	事前学習　新聞のアメリカ社会・政治面と、前回配布したレジュメを読み込み、テストに備える 事後学習　分からなかった点を整理・纏めて質問できるようにしておく	4時間
第15回	オンデマンド	第2回ミニテストの解説と授業の総括	事前学習　これまでのレジュメを読み込み質問を整理する 事後学習　授業で配布した全てのレジュメとテストを読み返すし定期試験への準備をする。	5時間

科目名	ヨーロッパ史	開講年度	2023年度春学期
担当者	中尾　恭三	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	物語からみる近代ヨーロッパ史 身近な手がかりをつうじて、過去の社会について理解を深める		
授業の目的及び概要	この授業ではヨーロッパで作りだされた物語を手掛かりとして、同時代の歴史を理解していくことを目的とします。 日本ではたくさんの海外小説や文学作品が翻訳されており、そういった作品をつうじて私たちはさまざまな国の作家が生きた社会のあり方や人々の想いに接することができます。 本科目では、近代のヨーロッパでうみだされた諸作品をとりあげつつ、その背景となった当時の社会や歴史への理解を深めていきます。 同時代や現代に制作された映画やドラマなど動画資料も教材として積極的にもちいて、歴史への理解を深める助けとします。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	近代ヨーロッパの歴史をよりよく理解したうえで、現代社会の問題について考えることができるようになる。 歴史はわたしたちの社会と切り離されたものではありません。いくつもの点でわたしたちの現代社会と直接つながりをもつものです。 かずかずの物語を私たちの過去を知る手段し、わたしたちの社会を理解していく手がかりは身近にあるのだと実感することを目標としています。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	適宜授業中に課題を出します。それらは翌週の授業で紹介し、コメントや質問への回答、補足説明をおこないます。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	一貫した教科書はありません。 授業ごとに必要なテキストを紹介し、配布します。	ISBN	なし
参考書	近代ヨーロッパの基本的な歴史のながれについて、以下の2冊を参考書として挙げておきます。 ①福井憲彦『近代ヨーロッパ史』ちくま学芸文庫、2010年。 ②小山哲、上垣豊他編『大学で学ぶ西洋史[近現代]』ミネルヴァ書房、2011年。 そのほか各時代の小説をとりあげていきます。授業のたびに参考として紹介していきます。	ISBN	①978-4480092991 ②978-4623059386

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	本を読むことが好きな学生やさまざまな視点から私たちの過去について考えていこうと望む学生を歓迎します。 過去を知る手がかりはどこにあるのか。歴史の教科書や研究書はもちろんのこと、私たちのすぐそばにある小説、映画、ドラマのなかにも、手がかりはあります。 この授業では小説や映画など、時代をこえておおくの人びとに親しまれてきた物語をとりあげつつ、その背景となった歴史を学んでいきます。 なお、一方的な講義の形式ではなく、受講生の意見をたびたび聞く機会をもうけていくつもりです。積極的に自分の考えを表現していきましょう。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 冒険と啓蒙の18世紀(1) ヴォルテール『ミクロメガス』、ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』を手掛かりとして、18世紀のヨーロッパ人の海外進出と知的発見、啓蒙主義の精神について理解を深めていく。	初回なので予習は課しません。	0.5時間
第2回	対面	冒険と啓蒙の18世紀(2) 前回にひきつづきヴォルテール『ミクロメガス』、ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』を手掛かりとして、18世紀のヨーロッパ人の海外進出と知的発見、啓蒙主義の精神について理解を深めていく。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第3回	対面	革命がうみだした怪物(1) メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』で描かれる怪物とは、何をあらわしたものなのか。 18世紀末からヨーロッパで発生した社会革命と産業革命を手掛かりに考察していく。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第4回	対面	革命が生み出した怪物(2) 前回からのテーマをひきつぎ授業をおこないます。 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』が描く恐怖は、この時代のヨーロッパの何を反映したものなのか。 この問いを手掛かりとして、18世紀後半から19世紀にかけてヨーロッパで展開した社会革命と産業革命について考察していく。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間

第5回	対面	未来のディストピアとユートピア(1) ハーバート・ウェルズはなぜ『タイムマシン』で未来世界を描き出したのか。 19世紀から20世紀初頭のユートピア小説は、なにを目的に書かれたのか。 19世紀後半ヨーロッパ諸国ですすんだ工業化と社会の変化について学びつつ、考察していく。 その他『宇宙戦争』、『モロー博士の島』、エドワード・ベラミー『かえりみれば』、シャーロット・ギルマン『フェミニジア』などをとりあげていきます。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第6回	対面	未来のディストピアとユートピア(2) ハーバート・ウェルズはなぜ『タイムマシン』で未来世界を描き出したのか。 19世紀から20世紀初頭のユートピア小説は、なにを目的に書かれたのか。 19世紀後半ヨーロッパ諸国ですすんだ工業化と社会の変化について学ぶ。 その他『宇宙戦争』、『モロー博士の島』、エドワード・ベラミー『かえりみれば』、シャーロット・ギルマン『フェミニジア』などをとりあげていきます。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第7回	対面	20世紀初頭の大衆文化 20世紀初頭のアメリカ合衆国では、バロウズの『火星のプリンセス』、『ターザン』、E.E. スミス「レンズマン・シリーズ」などの大衆向けの冒険小説がさかんに読まれた。 この時代のアメリカで流行したパルプ雑誌をとりあげ、20世紀前半のアメリカとヨーロッパの大衆文化の成立について理解を深めていきます。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第8回	対面	オーウェルの体験(1) イギリスの作家オーウェルが描いた1984年の世界とは何か。 小説『1984』、『動物農場』をうみだしたジョージ・オーウェルの経験をとおして、全体主義とヨーロッパ諸国間の対立について考える。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第9回	対面	オーウェルの体験(2) イギリスの作家オーウェルが描いた1984年の世界とは何か。 小説『1984』、『動物農場』をうみだしたジョージ・オーウェルの経験をとおして、全体主義とヨーロッパ諸国間の対立について考える。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第10回	対面	冷戦、原子爆弾 冷戦と原子爆弾は、ヨーロッパの人びとにどのような感情を植え付けたのか。 50年代の滅亡をテーマにした作品をもとに探っていきます。 とりあげる作品は、フィリップ・K・ディック『フォスター、お前はもう死んでるぞ』、ロバート・ハインライン『人形つかい』、アーサー・C・クラーク『地球幼年期の終わり』などを予定しています。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第11回	対面	カウンターカルチャーとニューウェーブ(1) 60年代アメリカでまきおこった公民権運動やカウンターカルチャーの原因と展開をニューウェーブ小説を糸口に理解していく。 公民権運動については、映画『私はあなたのニグロではない』をとりあげて、学習していきます。 ハーラン・エリスン『「悔い改めよ、ハーレクイン！」とチクタクマンは言った』やエリスン編集によるアンソロジー『危険なヴィジョン』を糸口として、60年代のカウンターカルチャーを分析していきます。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	4時間
第12回	対面	カウンターカルチャーとニューウェーブ(2) 前回にひきつづき60年代アメリカのカウンターカルチャーの原因と展開をニューウェーブ小説を糸口に理解していく。 カウンターカルチャーを理解する手がかりとして、ハーラン・エリスンの諸作品、ロバート・ハインライン『異星の客』、ル・グイン『闇の左手』などをとりあげます。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	5時間
第13回	対面	サイバーパンクと新自由主義(1) 80年代のヨーロッパとアメリカに生きた人々が新自由主義とテクノロジーの発展に対して抱いた不安と興奮を、アメリカを中心にまきおこったサイバーパンクの流行を手掛かりに探っていく。 とりあげる作品は、『ニューロマンサー』、『記憶屋ジョニー』、『ニュー・ローズ・ホテル』など80年代にアメリカで活躍したウィリアム・ギブスンの諸作品を予定しています。	配布した参考文献と予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	5時間
第14回	対面	サイバーパンクと新自由主義(2) 80年代のヨーロッパとアメリカに生きた人々が新自由主義とテクノロジーの発展に対して抱いた不安と興奮を、アメリカを中心にまきおこったサイバーパンクの流行を手掛かりに探っていく。 とりあげる作品は、『ニューロマンサー』、『記憶屋ジョニー』、『ニュー・ローズ・ホテル』など80年代にアメリカで活躍したウィリアム・ギブスンの諸作品を予定しています。	配布した予習プリントにもとづいて、用語等を調べておく。	5時間
第15回	オンデマンド	第1回～第14回授業全体のまとめをおこないます。 過去を知る手がかりと私たちの現代社会について考えていきます。	配布されたプリントを使って授業全体の復習をする。	5時間

科目名	現代中東事情	開講年度	2023年度秋学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	現代中東事情を，政治・経済・紛争などの多角的な視点から学ぶ．		
授業の目的及び概要	本講義の目的は，近代から現代を時間軸とし，中東地域に関する政治・経済・紛争などの多角的な視点から学び，同地域のダイナミズムを，遠く近寄りがたい現象としてではなく，受講生にとって身近なものとして理解してもらうことです． 本講義の概要としては，現代中東地域の政治・経済・紛争を中心に扱います．授業前半では，現代中東地域の歴史的な成立過程を学び，授業後半では，当該地域で起こる具体的な問題や現象を学びます． 学問的主題は現代中東地域の「政治・経済・紛争」です．これらの現象を理解するために，政治学や経済学を中心としたディシプリンが用いられます． この講義を受講することで，今後ますます重要性が高まる中東地域のことに詳しくなり，自ら積極的に中東情勢のニュースを入手することができるようになるという自己成長がもたらされます．また，社会に出た際には，「近寄りがたく遠い世界」という日本特有の中東観から脱却することができ，自分ごととして日々のニュースや仕事に関係する情報を処理できるようになるため，社会人生活を送る上で大いに活かされます．		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)現代中東地域で起こる政治・経済・紛争について，多角的な見方ができるようになること． (2)国際関係論や比較政治学の見地から，現代中東地域で起こる出来事を説明できるようになること． (3)現代中東地域を学ぶことにより，アジア・アフリカなどの他地域との比較の視点を持てるようになる．		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	各授業回の終了前にリアクションペーパーを配布し，次回授業の冒頭でそれらをもとに受講生との質疑応答を行います．また，課題については授業中に解説及び講評を行います．		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しません． 配布資料を用いて授業を行います．	ISBN	なし
参考書	①現代中東の国家・権力・政治，ロジャー・オーウェン（山尾大・溝渕正季 訳），明石書店，2015年 ②中東政治入門，末近浩太，筑摩書房，2020年	ISBN	①9784750341408 ②9784480073440

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	20	成果発表（口頭・実技）(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	40	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	参考書や配布資料を利用して予習・復習を行ってください． 関連科目として「国際関係論」「比較政治学」と併せて履修することを推奨しますが，必須ではありません． 授業では教員の一方的な説明のみではなく，受講生同士でのディスカッションを通じて知識を深めていきます．
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス：授業全体の説明（30分），受講生の関心に関する聞き取り（30分），映像を用いた講義（30分）	【予習】シラバスを事前に読んでおいてください． 【復習】シラバスとガイダンス資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第2回	対面	中東はどこ？中東ってなに？：「中東」という地域の概念	【予習】「『中東』という地域の概念」の配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】「『中東』という地域の概念」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第3回	対面	中東を知るためには？：中東を知るための基礎①イスラームとアラビア語	【予習】「中東を知るための基礎①イスラームとアラビア語」の配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】「中東を知るための基礎①イスラームとアラビア語」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間
第4回	対面	中東を知るためには？：中東を知るための基礎②：宗教・民族・言語	【予習】「中東を知るための基礎②：宗教・民族・言語」の配布資料を事前に読んでおいてください． 【復習】「中東を知るための基礎②：宗教・民族・言語」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください．	4時間

第5回	対面	中東を知るためには？中東を知るための基礎③オスマン帝国から国民国家へ	【予習】「中東を知るための基礎③オスマン帝国から国民国家へ」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「中東を知るための基礎③オスマン帝国から国民国家へ」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第6回	対面	現代中東の成り立ちとは？：現代中東諸国の独立とパレスチナ問題	【予習】「現代中東諸国の独立とパレスチナ問題」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「現代中東諸国の独立とパレスチナ問題」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第7回	対面	イスラームと政治の関係とは？：イラン・イスラーム革命とイスラーム復興	【予習】「イラン・イスラーム革命とイスラーム復興」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「イラン・イスラーム革命とイスラーム復興」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第8回	対面	「過激な」イスラーム？：9.11事件，テロとの戦い，ジハード主義	【予習】「9.11事件，テロとの戦い，ジハード主義」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「9.11事件，テロとの戦い，ジハード主義」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第9回	対面	アメリカと中東の関係ってどんなもの？：アメリカの軍事介入と同盟関係	【予習】「中東へのアメリカの軍事介入と同盟関係」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「中東へのアメリカの軍事介入と同盟関係」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第10回	対面	王様と石油が国を統治する？：中東の君主制と石油	【予習】「中東の君主制と石油」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「中東の君主制と石油」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第11回	対面	中東の政治経済とは？：グローバル化と経済・産業政策	【予習】「グローバル化と経済・産業政策」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「グローバル化と経済・産業政策」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第12回	対面	宗教と紛争の関係ってなに？：レバノン・アルジェリア・スーダンを事例に	【予習】「レバノン・アルジェリア・スーダンを事例に」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「レバノン・アルジェリア・スーダンを事例に」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第13回	対面	なぜ若者は路上に繰り出すの？：「アラブの春」と2019年以降の抗議運動	【予習】「『アラブの春』と2019年以降の抗議運動」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「『アラブの春』と2019年以降の抗議運動」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第14回	対面	シリアで何が起こっているの？なぜ難民はヨーロッパに行くの？：現代中東地域における内戦と難民	【予習】「現代中東地域における内戦と難民」の配布資料を事前に読んでおいてください. 【復習】「現代中東地域における内戦と難民」の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間
第15回	オンデマンド	授業全体の振り返りと総括	【予習】これまでの授業回の配布資料を再度読んでおいてください. 【復習】これまでの授業回の配布資料を読み直し，講義で得た知識を確認してください.	4時間

科目名	Regional Studies（Asia）	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡部　友樹	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Democracy and Dictatorship in Muslim Societies		
授業の目的及び概要	This course will be conducted in English. This course is intended as an introduction to the politics of Muslim societies in Asia (Southeast Asia, West Asia, South Asia, and Central Asia). Its purpose is to provide you basic ideas and the frontier topics.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	The aim is to acquaint students with topics of Muslim politics in Asia and to encourage the development of the ability to understand and discuss in the area.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	Feedback will be provided via a reaction paper in each class and two papers (mid-term and final).		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	No textbook A summary of the chapter in "The Politics Book" and "Global Islam" will be provided in the class.	ISBN	No textbook
参考書	①The Politics Book: Big Ideas Simply Explained, Kelly Paul, DK Publishing, 2013 ②Global Islam: A Very Short Introduction, Nile Green, Oxford University Press, 2020 ③The Oxford Handbook of Politics in Muslim Societies, Melani Cammett and Pauline Jones eds., Oxford University Press, 2022 ④The Oxford Handbook of Islam and Politics, John L. Esposito and Emad El-Din Shahin. eds., Oxford University Press, 2013	ISBN	①9781409364450 ②9780190917234 ③9780190931056 ④9780195395891

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	10	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験（%）	30	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	MINIMUM TOEIC score: 600 (please make an appointment if your score is under 600) *This course is intended to learn and discuss a wide variety of topics in ENGLISH. Active participation in the discussion is highly recommended. It is also recommended to take this course for any prospective students who aim for studying and working abroad. **ALL participants are required to read the assigned chapter before the class. ***There is one short paper (mid-term) and one long paper (final). The short paper asks the student to summarize one of the assigned papers or articles. The long paper asks the student to summarize and discuss one of the assigned papers or articles.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	Introduction to the Politics in Muslim Societies	Please read the syllabus in advance.	4時間
第2回	対面	What is "Global Islam"? I	Reading: Green (2020) Chapter 1 Supplementary: Chaney (2022) "Islam and Political Structure in Historical Perspective"	4時間

第3回	対面	What is "Global Islam"? II	Reading: Green (2020) Chapter 1 Supplementary: Hashemi (2013) "Islam and Democracy" Hamayotsu (2020) "States, Religion, and Democracy in Southeast Asia: Comparative Religious Regime Formation" Tudor (2020) "Islam, Nationalism, and Democracy in AsiaNations under Gods or Gods under Nations?"	4時間
第4回	対面	What is "Global Islam"? III	Reading: Green (2020) Chapter 1 Supplementary: Nielsen (2020) "The Rise and Impact of Muslim Women Preaching Online" Badran (2013) "Political Islam and Gender"	4時間
第5回	対面	Islam in the Age of Empire, Steam, and Print I	Reading: Green (2020) Chapter 2 Supplementary: von der Mehden (2013) "Islam and Politics in Southeast Asia" Hamayotsu (2020) "States, Religion, and Democracy in Southeast Asia: Comparative Religious Regime Formation"	4時間
第6回	対面	Islam in the Age of Empire, Steam, and Print II	Reading: Green (2020) Chapter 2 Supplementary: Fattah (2013) "Islam and Politics in the Middle East" Saleh (2020) "Islam and Economic Development: The Case of Non-Muslim Minorities in the Middle East and North Africa"	4時間
第7回	対面	Islam in the Age of Empire, Steam, and Print III	Reading: Green (2020) Chapter 2 Supplementary: Ahmad (2013) "Islam and Politics in South Asia" Nelson (2020) "Regime Types, Regime Transitions, and Religion in Pakistan"	4時間
第8回	対面	Defending Islam from the Secular World Order I	Reading: Green (2020) Chapter 3 Supplementary: Hunter (2013) "Islam and Politics in Central Asia" Gamza & Jones (2020) "Repressive Religious Regulation and Political Mobilization in Central Asia: Why Muslims (Don't) Rebel" Markowitz & Omelicheva (2020) "Illicit Economies and Political Violence in Central Asia"	4時間
第9回	対面	Defending Islam from the Secular World Order II	Reading: Green (2020) Chapter 3 Supplementary: Saleh (2020) "Islam and Economic Development: The Case of Non-Muslim Minorities in the Middle East and North Africa" Masoud (2013) "The Political Economy of Islam and Politics"	4時間
第10回	対面	Defending Islam from the Secular World Order III	Reading: Green (2020) Chapter 3 Supplementary: Eibl (2020) "Welfare States in the Middle East" Corstange & York (2020) "Clientelism, Constituency Services, and Elections in Muslim Societies"	4時間
第11回	対面	From Islamic Revolutions to the Internet I	Reading: Green (2020) Chapter 4 Supplementary: Brooke (2020) "Islamist Organizations and the Provision of Social Services"	4時間
第12回	対面	From Islamic Revolutions to the Internet II	Reading: Green (2020) Chapter 4 Supplementary: Lust, Kao, Okar (2020) "Voting for Islamists: Mapping the Role of Religion" Corstange & York (2020) "Clientelism, Constituency Services, and Elections in Muslim Societies"	4時間
第13回	対面	From Islamic Revolutions to the Internet III ＊Student Presentation 1	Reading: Green (2020) Chapter 4 Supplementary: Lotito (2020) "Military Politics in Muslim Societies" Milton-Edwards (2013) "Hamas in the Palestinian Territories" Salloukh & Mikaelian (2013) "Hizbullah in Lebanon"	4時間
第14回	対面	＊Student Presentation 2	Reading: Green (2020) Conclusion Supplementary: Siddiqui (2020) "Piety, Devotion, and Support for Shari'a: Examining the Link between Religiosity and Political Attitudes in Pakistan"	4時間
第15回	オンデマンド	Summary and Final Discussion	Please re-read the most fascinating chapter or paper for you in advance.	4時間

科目名	Regional Studies（Oceania）	開講年度	2023年度春学期
担当者	岡村　徹	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態（方法）	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	オセアニアの言語・歴史・文化 Our Understanding of Oceania: its language, history and culture		
授業の目的及び概要	本講義の目的は、オセアニア島嶼国が抱える諸問題を理解し、それに対し様々な学問的立場からアプローチすることを通して文化的多様性に関する分析、考察、提案する能力を高めることである。受講生は受け身ではなく、自らの主体性を発揮し学ぶ態度を身につけ、広い意味でのオセアニア文化の現状について、英語でのプレゼンテーションを通して基本的な知識を身につけてほしい。 The purpose of this course is for students to understand the problems and linguistic and cultural issues of Pacific countries, and to be able to analyze, consider, and make proposals for maintaining cultural diversity from various academic perspectives. Students will acquire preparation for active rather than passive learning, and basic knowledge of the broad meaning of the cultures in Oceania through English presentation.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	オセアニア文化の多様性に触れつつ、当該地域の基礎的な知識を身につけることを目的とする。その地域の文化的・社会的背景などについて描かれた情景を英文で読みながら学び、視覚化し、考え、自分の言葉で表現できるようになる。 Students will obtain basic knowledge of cultures in Oceania, which are critical for understanding of diversity. Students will be able to visualize scenes while reading English texts. Students will also be able to, through careful reading, study, consider, and express their opinions on the cultural and social background of people living in Oceania.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	課題を提出したものを添削して、返却する。 The person in charge makes corrections to students assignments and send back their documents.		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	毎回レジュメを配布する。 I am going to give you a resume of the lecture each time.	ISBN	なし
参考書	授業中、適宜文献を紹介する。 During the lecture, I will show you reference books accordingly.	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	10	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	10	成果発表（口頭・実技）(%)	10	中間試験(%)	10
	【定期試験】レポート試験（%）	0	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）（%）	60	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	オセアニア文化を理解するうえで、日ごろから新聞やエッセイなどを読み、基本的な視点を養うよう心掛けて下さい。 Cultivate basic viewpoints needed to understand the actual situation of cultures in Oceania by reading various information such as newspapers and essays.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	オセアニアとは What is Oceania?	今回の授業内容を振り返り、学習したこと（三つのネシアについて）を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about Melanesia, Polynesia and Micronesia).	4時間
第2回	対面	今日のパプアニューギニアについて学習します。 Papua New Guinea Today	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと（神秘の大地）を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the land of mystery). ・レジュメの5頁までを予習しておく。 Prepare up to page 5. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第3回	対面	言語について学習します。 Language	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと（言語について）を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the language). ・レジュメの10頁までを予習しておく。 Prepare up to page 10. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間

第4回	対面	歴史について学習します。 History	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(歴史について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the history). ・レジュメの15頁までを予習しておく。 Prepare up to page 15. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第5回	対面	文化について学習します。 Culture	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(文化について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the culture). ・レジュメの20頁までを予習しておく。 Prepare up to page 20. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第6回	対面	今日のナウル共和国について学習します。 Nauru Today	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(小国について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the tiny island). ・レジュメの25頁までを予習しておく。 Prepare up to page 25. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第7回	対面	言語について学習します。 Language	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(言語について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the language). ・レジュメの30頁までを予習しておく。 Prepare up to page 30. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第8回	対面	歴史について学習します。 History	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(歴史について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the history). ・レジュメの35頁までを予習しておく。 Prepare up to page 35. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第9回	対面	文化について学習します。 Culture	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(文化について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the culture). ・レジュメの40頁までを予習しておく。 Prepare up to page 40. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第10回	対面	今日のオーストラリアについて学習します。 Australia Today	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(多文化国家について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the multicultural country). ・レジュメの45頁までを予習しておく。 Prepare up to page 45. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第11回	対面	言語について学習します。 Language	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(言語について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the language). ・レジュメの50頁までを予習しておく。 Prepare up to page 50. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第12回	対面	文化と歴史について学習します。 History and Culture	・今回の授業内容を振り返り、学習したこと(文化と歴史について)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about the history and culture). ・レジュメの55頁までを予習しておく。 Prepare up to page 55. ・与えられた課題に取り組む。 Work on class assignments.	4時間
第13回	対面	プレゼンテーション Ⅰ Presentation Ⅰ	今回の授業内容を振り返り、学習したこと(他者のプレゼンテーション)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about your classmate presentations).	4時間
第14回	対面	プレゼンテーション Ⅱ Presentation Ⅱ	今回の授業内容を振り返り、学習したこと(他者のプレゼンテーション)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about your classmate presentations).	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ Conclusive Remarks	今回の授業内容を振り返り、学習したこと(他者のプレゼンテーション)を整理する。 First review what we've done and then sort out the things we learned (about your classmate presentations). まとめ Conclusive Remarks	4時間

科目名	国際紛争の平和的解決と国際法	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	來田　真依子	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際紛争の解決方法を法の窓から考える		
授業の目的及び概要	二度の世界大戦を経て、国際社会は国家同士が武力行使によって国際紛争を解決することを原則として禁止した。その代わりに発展したのが、国際法(国家間のルール)に基づく平和的解決という方法である。この授業では、国際紛争の平和的解決に関する基本的な知識を学んだ上で、具体的な事例を取り上げながら、「国際紛争を法的アプローチの下で平和的に解決するとはどういうことか」を理解することを目的とする。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業の到達目標は2つある。1つ目は、国際紛争の平和的解決が国際社会で求められるようになった背景的理由や、国際司法裁判所をはじめとする国際裁判の仕組みと意義について専門的な知識を獲得することである。2つ目は、国際法に基づいて国際紛争を平和的に解決することの可能性と限界を理解することにより、柔軟な問題解決型の思考を修得することである。確認のためのリフレクションペーパー作成とまとめの試験を通じて、受講者は正しい知識を獲得し、さらに自分自身の視点を養うことができたかどうかを評価される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業中にリアクションペーパーを課題として提出してもらう。このリアクションペーパーについては、次回授業でフィードバックを行うとともに、授業の振り返りに活用し、授業の双方向性を確保する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない	**ISBN**	指定しない
参考書	浅田正彦(編著)『国際法 第4版」(東信堂、2019年) 森川幸一ほか(編)『国際法で世界がわかる　ニュースを読み解く32講』(岩波書店、2016年)	**ISBN**	978-4-7989-1545-6 978-4-0002-2955-5

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	30	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	40	**その他(%)**			
この科目の履修にあたって	学生一人ひとりがまず自分自身の考えを構築し、次にその考えをわかりやすく言語化し、最後に他者と意見を交わして多様な視点を学ぶことができるような、参加型の講義にすることを目指している。授業の中で感じた疑問や興味については積極的に発言してほしい。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の進め方や成績評価について説明する。また、国際法における紛争の平和的解決とは何かについて概観する。	最近のニュースの中で国際紛争が登場したものをひとつ選び、概要を説明できるようにしておく。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第2回	対面	国際法とは何か？ 主に国家間の法(ルール)として発展してきた国際法の基本的知識について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第3回	対面	国際紛争とは何か？ 国際紛争の定義と日本が抱える領土問題について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第4回	対面	国際紛争の平和的解決とは何か？(1) 戦争の違法化、及び武力行使禁止原則が国際社会で確立されるまでの歴史的経緯について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第5回	対面	国際紛争の平和的解決とは何か？(2) 国際紛争の平和的解決の手段にはどのようなものがあるのかを学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第6回	対面	国際裁判には従わなくてもよい？－南シナ海事件仲裁裁判判決(フィリピン対中国) 紛争の平和的解決の手段として国際裁判を行う意義について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第7回	対面	日本と国際裁判－南極海捕鯨事件国際司法裁判所判決(オーストラリア対日本)(1) 日本が当事国となった国際司法裁判所での裁判を題材に、「紛争」の法的な読み解き方を学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間

第8回	対面	日本と国際裁判－南極海捕鯨事件国際司法裁判所判決（オーストラリア対日本）(2) 日本が当事国となった国際司法裁判所での裁判を題材に、「なぜ日本が敗訴したのか」を考察する。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第9回	オンデマンド	ディベートの事前準備 ディベートの進行方法、主張の組み立て方と資料の調査方法について学び、実際に資料を収集する。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第10回	対面	ディベート(1)「南極海捕鯨事件国際司法裁判所判決は妥当か？」準備 上記のテーマに関するディベートに向けてグループワークを実施する。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第11回	対面	ディベート(1)「南極海捕鯨事件国際司法裁判所判決は妥当か？」本番 上記のテーマに関するディベートをグループ対抗戦で実施する。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第12回	対面	国際裁判所の重要判例－ノースター号事件国際海洋法裁判所判決（パナマ対イタリア） 最近の判例として、国際海洋法裁判所が公海自由の原則について判断を行った事例を学ぶ。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第13回	対面	ディベート(2)「ノースター号事件国際海洋法裁判所判決は妥当か？」準備 上記のテーマに関するディベートに向けてグループワークを実施する。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第14回	対面	ディベート(2)「ノースター号事件国際海洋法裁判所判決は妥当か？」本番 上記のテーマに関するディベートをグループ対抗戦で実施する。	授業のテーマに関する資料（ラーニングポータルに掲載）を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第15回	対面	授業のまとめ 国際紛争の平和的解決の今後と課題について考察する。	これまでの授業で配布したレジュメを読み返し、自分の理解度を確認する。復習として、試験の実施内容を確認し、定期試験に向けて対策を行う。	4時間

科目名	国際社会と人の移動	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	梶村　美紀	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本及び諸外国地域の越境のあり方		
授業の目的及び概要	この授業では、移民の受け入れや難民の保護といった国際社会における人の移動をグローバル化時代の特徴的な現象の1つと捉え、日本及び諸外国地域の越境のあり方を考察する。特定の領域にとどめるのではなく、北米・東南アジア・東アジア・オセアニア・ヨーロッパを、具体的な事例を取り上げながら、総括的に考察する。日本の事例については、フィールドワーク及び当事者による体験談等を通して、より身近な問題として捉えられる内容にする。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育みます。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	移民国家や大陸に位置する国や地域では、国境を越えた人の移動のあり方が常に注目されてきたが、隣国と国境を接していない日本では越境者に対する関心は薄かった。しかし、近年日本においても、移民の受け入れや難民の保護などが議論されるようになり、私たちも無関心でいられなくなってきた。この授業を履修する事により、基本的な理論および具体的な事例、各方面への影響およびそのメカニズム、また、日本に住む私たちの生活との関わりなどを習得し、多様な課題を理解し、諸問題の具体的な解決策を見いだすことができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業内および授業時間前後に個別にフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しない。	**ISBN**	使用しない。
参考書	授業中に紹介する。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	20	**成果発表(口頭・実技)(%)**	10	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	国境を越えた人の移動に関する諸問題は現代社会における重要な課題であるが、高校までの授業では学ぶ機会は少ない。この授業の履修を通して本課題への理解を深め、各自が問題解決への道を探るきっかけとしてほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	越境するとはどういうことか。なぜ最貧困国・地域からの越境は起きないのか。どのように仕事を見つけるのか。オリエンテーションを兼ねて越境事情の最新傾向を説明する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第2回	対面	越境を取り巻く諸現象を理解するための理論を説明する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第3回	対面	アメリカ西海岸・ハワイは、観光旅行の行き先として人気があるが、かつては日本を含むアジアの人びとにとって、重要な出稼ぎ先であった。出稼ぎ労働者がどのように現地に定着していったのかを日系人の例から考察する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第4回	対面	日系アメリカ人の定住過程を歴史的経緯から考察する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第5回	対面	映像及び当時の生活用品等を用いて日系アメリカ人の定住過程を考察する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

第6回	対面	1～5回の振り返り・確認テスト	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第7回	対面	移民国家アメリカは、かつてはメルティングポットやサラダボウルなどと呼ばれていたが、911やヒスパニック移民の増加にともない移民排斥の声が高まってきている。変化が激しいアメリカの越境者を取り巻く趨勢を読み解く。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第8回	対面	日系を含めアメリカ社会を構成する移住者コミュニティを考察する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第9回	対面	中国系移民について越境経緯及び現状と課題を考察する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第10回	対面	インド系移民について越境経緯及び現状と課題を考察する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第11回	対面	近年経済成長の目覚ましいアジア域内における越境事情について学習する。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第12回	対面	1～11回の振り返り・中間テスト	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第13回	対面	日本への越境について難民問題を例として理解し、課題解決への取り組みを考える。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第14回	対面	これまで学んだ内容をまとめて個人またはグループで口頭発表を行う。	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間
第15回	オンデマンド	最終総括	教員が指定した文献資料を事前に読むこと(2時間程度)。 教員が指定した課題に取り組み事後学修すること (2時間程度)。	4時間

科目名	異文化適応論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	本多 善	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	文化の諸側面を理解し、異文化適応の理論と能力を身に着ける		
授業の目的及び概要	この授業では、国境を越える人々によりもたらされる、異なる文化集団やその構成員の直接的な接触に帰因する、文化変容等の異文化適応について理解することを目的とします。授業を通じて、文化摩擦の解消に向けた方法を検討できるようになるとともに、自国文化との違いを認識しながら、様々なバックグラウンドの人と協働する上で必要な、異文化を受容する力を身につけます。就業力育成の観点から論理的思考力や幅広い視野を育みます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①異文化接触に帰因する文化変容等の異文化適応について理解し、②具体的事例を用いて、文化的な摩擦を取り上げ、どのように異文化適応が進んでいくかを理解し、③文化摩擦の解消に向けた方法を検討し、自国文化との違いを認識することで、異文化を受容する力を身につけます。また、④海外体験を通じた異文化理解/受容/適応について学修します。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の課題、発表、レビュークイズについてフィードバックをおこなう。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	なし	ISBN	なし
参考書	有田佳代子他、(2018)『多文化社会で多様性を考えるワークブック』研究社	ISBN	978-4327377458

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	異文化適応の諸側面を理解するためには、そのための事前事後学修が必要です。授業内で出された課題を学修し、授業内のディスカッションに積極的に関わってください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション(国際関係を文化で見る)	事前事後学習① 第1回 イントロダクション(国際関係を文化で見る) の復習(2時間程度) 事前事後学習② 第2回 文化的特徴と異文化理解(文化の諸概念を理解する) の予習(2時間程度)	4時間
第2回	対面	文化的特徴と異文化理解(文化の諸概念を理解する)	事前事後学習① 第2回 文化的特徴と異文化理解(文化の諸概念を理解する の復習(2時間程度) 事前事後学習② 第3回 海外体験と異文化衝突(語学力、コミュニケーション、主体性/積極性)① の予習(2時間程度)	4時間
第3回	対面	海外体験と異文化衝突(語学力、コミュニケーション、主体性/積極性)①	事前事後学習① 第3回 海外体験と異文化衝突(語学力、コミュニケーション、主体性/積極性)① の復習(2時間程度) 事前事後学習② 第4回 海外体験と異文化衝突(語学力、コミュニケーション、主体性/積極性)② の予習(2時間程度)	4時間

第4回	対面	海外体験と異文化衝突（語学力、コミュニケーション、主体性/積極性）②	事前事後学習① 第4回 海外体験と異文化衝突（語学力、コミュニケーション、主体性/積極性）②」 の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第5回 異文化トレーニング（カルチャー・アシミレーター、シミュレーション）による異文化理解 の予習（2時間程度）	4時間
第5回	対面	異文化トレーニング（カルチャー・アシミレーター、シミュレーション）による異文化理解	事前事後学習① 第5回 異文化トレーニング（カルチャー・アシミレーター、シミュレーション）による異文化理解 の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第6回 異文化受容のプロセス①（自文化中心主義、異文化への気付き、文化の相対化） の予習（2時間程度）	4時間
第6回	対面	異文化受容のプロセス①（自文化中心主義、異文化への気付き、文化の相対化）	事前事後学習① 第6回 異文化受容のプロセス①（自文化中心主義、異文化への気付き、文化の相対化） の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第7回 異文化受容のプロセス②（新たな文化の受容、新たなアイデンティティの確立） の予習（2時間程度）	4時間
第7回	対面	異文化受容のプロセス②（新たな文化の受容、新たなアイデンティティの確立）	事後学習① 第7回 異文化受容のプロセス②（新たな文化の受容、新たなアイデンティティの確立） の復習（2時間程度）	2時間
第8回	対面	文化の特性、異文化衝突、異文化受容の総括	事前事後学習① 第8回 文化の特性、異文化衝突、異文化受容の総括 の復習（4時間程度） 事前事後学習② 第9回 異文化集団の歴史的形成、移民の多文化社会 の予習（2時間程度）	6時間
第9回	対面	異文化集団の歴史的形成、移民の多文化社会	事前事後学習① 第9回 異文化集団の歴史的形成、移民の多文化社会 の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第10回 異文化適応の具体的事例：移民国家アメリカ（多からなる一のアメリカ） の予習（2時間程度）	4時間
第10回	対面	異文化適応の具体的事例：移民国家アメリカ（多からなる一のアメリカ）	事前事後学習① 第10回 異文化適応の具体的事例：移民国家アメリカ（多からなる一のアメリカ） の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第11回 異文化適応の具体的事例：文化のダイナミズムとしての日系アメリカ人 の予習（2時間程度）	4時間
第11回	対面	異文化適応の具体的事例：文化のダイナミズムとしての日系アメリカ人	事前事後学習① 第11回 異文化適応の具体的事例：文化のダイナミズムとしての日系アメリカ人 の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第12回 異文化適応の具体的事例：日系アメリカ人の困難、日系アメリカ人の異文化適応 の予習（2時間程度）	4時間
第12回	対面	異文化適応の具体的事例：日系アメリカ人の困難、日系アメリカ人の異文化適応	事前事後学習① 第12回 異文化適応の具体的事例：日系アメリカ人の困難、日系アメリカ人の異文化適応 の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第13回 異文化適応の具体的事例：日系アメリカ人のトランストランスナショナルなアイデンティティ の予習（2時間程度）	4時間
第13回	対面	異文化適応の具体的事例：日系アメリカ人のトランストランスナショナルなアイデンティティ	事前事後学習① 第13回 異文化適応の具体的事例：日系アメリカ人のトランストランスナショナルなアイデンティティ の復習（2時間程度） 事前事後学習② 第14回 異文化適応及び異文化受容の具体的事例に関する発表 の準備（4時間程度）	6時間
第14回	対面	異文化適応及び異文化受容の具体的事例に関する発表	第15回 事前事後学習① 異文化適応及び異文化受容の具体的事例に関する発表 の準備（4時間程度） 事前事後学習② 異文化適応及び異文化受容に関するレビュークイズ（2時間程度）	6時間
第15回	オンデマンド	異文化適応論並びに発表内容の総括	事前事後学習① 異文化適応及び異文化受容の復習	4時間

科目名	国際機構論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	來田　真依子	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際機構から世界を見る		
授業の目的及び概要	現代において国際社会が抱える様々な課題(安全保障と平和、環境、開発、人権、人道支援等)の解決に取り組む上で、国連をはじめとする国際機構の存在は無視することができない。この授業では、今日のグローバル社会の中で国際機構がどのような機能を有し、いかなる役割を果たしているのかを理解することを目的とする。		
履修の条件・注意	「国際協力法」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業の到達目標は2つある。1つ目は、現代国際社会における国際機構の成り立ちや、国連を代表とする国際機構の構造や意思決定プロセスに関する専門的な知識を獲得することである。2つ目は、国際機構がグローバルな諸課題に対してどのように取り組んでいるのかを学び、国際機構による秩序構築の可能性と限界を理解することにより、柔軟な問題解決型の思考を修得することである。確認のためのリアクションペーパー作成とグループワークによるディベートの実施、まとめの試験を通じて、受講者は国際機構について正しく理解し、自分自身の視点を養うことができたかどうかを評価される。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の授業中にリアクションペーパーを提出してもらう。このリアクションペーパーについては、次回授業でフィードバックを行うとともに、授業の振り返りに活用し、授業の双方向性を確保する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業中に適宜配布する。	ISBN	なし
参考書	山田哲也『国際機構論入門』(東京大学出版会、2018年) 最上敏樹『国際機構論講義』(岩波書店、2016年)	ISBN	ISBN: 4130322249 ISBN: 4000229540

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	30	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	40	その他(%)			

この科目の履修にあたって	学生一人ひとりがまず自分自身の考えを構築し、次にその考えをわかりやすく言語化し、最後に他者と意見を交わして多様な視点を学ぶことができるような、参加型の講義にすることを目指している。授業の中で感じた疑問や興味については積極的に発言してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション 授業の進め方や成績評価について説明する。また、国際機構とは何か、どのような役割と意義を果たしているのかについて概観する。	最近のニュースの中で国際機構が登場したものをひとつ選び、概要を説明できるようにしておく。	4時間
第2回	対面	国際機構とは何か 国際機構の生成と進化に関する歴史的経緯について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第3回	対面	国際連合とEU 現代の国際機構を代表する国際連合とEUについて学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第4回	対面	国際連合の権限拡大 近年におけるPKOと安保理の権限拡大について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第5回	オンデマンド	ディベートの事前準備 ディベートの進行方法、主張の組み立て方と資料の調査方法について学び、実際に資料を収集する。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第6回	対面	ディベート(1)「アメリカによる対イラク武力行使に正義はあるか？」準備 上記のテーマに関するディベートに向けてグループワークを実施する。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第7回	対面	ディベート(1)「アメリカによる対イラク武力行使に正義はあるか？」本番 上記のテーマに関するディベートをグループ対抗戦で実施する。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間

第8回	対面	国際機構による大量破壊兵器の規制(1) 軍縮フォーラムとしての国際機構の役割について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第9回	対面	国際機構による大量破壊兵器の規制(2) 大量破壊兵器の不拡散について国際機構が果たす役割について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第10回	対面	ディベート(2)「核兵器禁止条約は軍縮のために有効か？」準備 上記のテーマに関するディベートに向けてグループワークを実施する。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第11回	対面	ディベート(2)「核兵器禁止条約は軍縮のために有効か？」本番 上記のテーマに関するディベートをグループ対抗戦で実施する。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第12回	対面	国際機構による環境保護(1) 環境保護フォーラムとしての国際機構の役割について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第13回	対面	国際機構による環境保護(2) 環境保護フォーラムとしての国際機構の役割について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第14回	対面	極域における秩序形成 国際機構が中心となって秩序を構築する南極と、国際機構ではないフォーラムによって秩序が構築される北極について学ぶ。	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間
第15回	対面	授業のまとめ	授業のテーマに関する資料(ラーニングポータルに掲載)を読み予習する。復習として授業で配布したレジュメを読み返し、講義で得た知識を確認する。	4時間

科目名	社会保障の国際比較	開講年度	2023年度春学期
担当者	呉　紅敏	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界の社会保障(福祉)はどうなっているの？		
授業の目的及び概要	この授業では、社会保障制度の基礎的知識を修得し、少子高齢化社会における社会保障制度の問題点と解決方法を学修するとともに、諸外国の社会保障制度との比較を通して、社会保障制度への理解を深めることを目的とする。具体的には、医療保険や介護保険、年金、労災保険、雇用保険等の社会保険や、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、生活保護等の社会福祉のほか、諸外国におけるこれらの制度等を授業で扱い、日本の制度と比較検討することで、社会保障制度への理解を深める。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	社会保障制度にかかわる基本的知識、いわば社会保障制度の基礎的な常識をみにつけることを第一目標とし、少子高齢化社会の中で改革が急務といわれている社会保障制度の現状や改革議論について、身近な例を挙げながら具体的にわかりやすく説明し、その上で、社会保険制度や社会福祉の個別制度の基礎知識について解説し、社会保障制度の基礎知識を得ることを第二の目標とする。また、その上で、世界諸国の社会保障制度の現状と課題について概説し、最後に社会保障制度の国際的な動向を説明することで、諸外国の社会保障制度についても理解してもらうことを第三の目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の講義において、コメントシートを配布し、質問、提案、困ったことなど書いてもらい、次の講義中に必ずフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	古橋エツ子編『新・初めての社会保障論』(第3版)法律文化社、2021年	ISBN	ISBN978-4-589-03889-0
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	40	その他(%)			

この科目の履修にあたって	無断欠席5回以上の学生は、評価対象から外すこともあるので、お気をつけてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	何のために社会保障があるの？	授業後に、教科書やレジュメを用いて講義内容について復習してください。	4.5時間
第2回	対面	社会保障制度はいつから、できているの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第3回	対面	日本の社会保障制度の仕組みはどうなっているの？	授業後に、教科書やレジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第4回	対面	社会保険制度の全体像について説明	授業後に、教科書やレジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第5回	対面	社会福祉制度の全体像について説明	授業後に、教科書やレジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第6回	対面	社会保障の働きにはどんなものがある？	授業後に、教科書やレジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第7回	オンデマンド	これまでの授業内容の復習	授業後に、教科書やレジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第8回	対面	経済大国のアメリカは国民健康保険ってないの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第9回	対面	フランスは子供の福祉がしっかりしているって本当なの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第10回	対面	スウェーデンって社会保障制度が最も充実しているって本当なの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間

第11回	対面	中国では、いつから年金をもらえるの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第12回	対面	韓国の医療保険はどうなっているの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第13回	対面	ベトナムでも失業保険ってあるの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第14回	対面	社会保障制度にはどのような課題や問題があるの？	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間
第15回	対面	講義内容の総括	授業後に、レジュメを用いて講義内容について復習してください。	4時間

科目名	都市計画の国際比較	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	荒木　俊之	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	世界と日本における諸都市の都市計画と都市形成		
授業の目的及び概要	この授業では、世界と日本の都市計画・都市形成の歴史を理解するとともに、地域や時代ごとに社会が直面する問題が変化するなかで、都市計画や都市形成はどのように変遷してきたのか、問題解決に向けた都市計画の役割と課題は何かを学修します。具体的には、大阪や京都等関西地区の主要都市の都市計画・都市形成の歴史と現状とをふまえ、関連する社会問題を扱うほか、ヨーロッパやオーストラリアにおける諸都市の都市計画・都市形成との比較を通して、日本の都市計画に関する特徴や問題点の理解を深めることも目的とします。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	世界と日本における各時代の都市の形成や都市計画の歴史を理解し、その特徴や違いを概ね説明できる。 世界と日本における諸都市の都市の成り立ちや都市づくりの歴史、都市問題などを理解し、その特徴や違いを概ね説明できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業中に実施する課題等(コメントペーパー・小テスト)は、授業中に紹介したり、解答例を示したり、講評したりします。 試験についてもLearning Portalにて、解説・講評等を掲載します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特に指定しません。	**ISBN**	なし
参考書	世界における都市計画の流れをつかむものとして、 ●都市計画の世界史，日端康雄，講談社（講談社現代新書），2008年 を紹介します。 なお、上記以外は、講義時に、参考書・参考文献を提示します。 また、高校において利用した地図帳があれば、持参してください。	**ISBN**	9784062879323

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	0	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	70	**その他(%)**	0		
この科目の履修にあたって	前近代(古代～近世)の都市は、当時の為政者(例えば、豊臣秀吉、ナポレオン三世など)の意志により、建設や整備、改造などが行われ、その後、都市は近代化の影響を受けて変容していきます。そのような都市の成り立ちや都市計画の歴史、世界や日本の様々な都市に興味がある学生に受講して欲しいと思います。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	「都市計画の国際比較」の履修にあたって:ガイダンスとして、講義概要、到達目標、成績評価及び第2回以降の授業計画を説明し、都市形成や都市計画とはを考えていく	【予習】世界や日本で、興味のある都市などについてインターネットなどで事前に調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習すること	2時間
第2回	対面	都市の概念と都市計画①:都市の範囲や分布、規模、機能など、都市とはどういったものか、都市の概念や定義について学ぶ	【予習】都市の概念や定義などについて、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、都市について理解を深めること	4時間
第3回	対面	都市の概念と都市計画②:都市計画とは何か、その概念や定義などを学ぶ	【予習】都市計画についての概念や定義などを、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、都市計画について理解を深めること	4時間
第4回	対面	都市の成り立ち①　古代都市における都市形成と都市計画:世界や日本における特徴的な古代都市(都城など)を取り上げて、その成り立ちや特徴を学び、当時の都市づくりを理解する	【予習】世界や日本の古代都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、世界や日本の古代都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間

第5回	対面	都市の成り立ち②　中近世都市における都市形成と都市計画(1):世界における特徴的な中近世都市(城郭都市など)を取り上げて、その成り立ちや特徴を学び、当時の都市づくりを理解する	【予習】世界の中近世都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、世界の中近世都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第6回	対面	都市の成り立ち③　中近世都市における都市形成と都市計画(2):日本における特徴的な中近世都市(城下町、寺内町など)を取り上げて、その成り立ちや特徴を学び、当時の都市づくりを理解する	【予習】日本の中近世都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、日本の中近世都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第7回	対面	都市の成り立ち④　近代都市における都市形成と都市計画(1):世界における特徴的な近代都市(計画的に形成された都市など)を取り上げて、その成り立ちや特徴を学び、当時の都市づくりを理解する	【予習】世界の近代都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、世界の近代都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第8回	対面	都市の成り立ち⑤　近代都市における都市形成と都市計画(2):日本における特徴的な近代都市(城下町の成長や計画的に形成された都市など)を取り上げて、その成り立ちや特徴を学び、当時の都市づくりを理解する	【予習】日本の近代都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、日本の近代都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第9回	対面	日本における都市の形成と都市計画①:大阪市を中心に周辺諸都市の都市の成り立ちや都市形成の歴史、都市計画の特徴を学ぶ	【予習】大阪市を中心に周辺諸都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、大阪市を中心に周辺諸都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第10回	対面	日本における都市の形成と都市計画②:京都市を中心に周辺諸都市の都市の成り立ちや都市形成の歴史、都市計画の特徴を学ぶ	【予習】京都市を中心に周辺諸都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、京都市を中心に周辺諸都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第11回	対面	ヨーロッパにおける都市の形成と都市計画①:パリを中心にフランス諸都市を取り上げて、都市の成り立ちや都市形成の歴史、都市計画の特徴を学ぶ	【予習】パリを中心にフランス諸都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、パリを中心にフランス諸都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第12回	対面	ヨーロッパにおける都市の形成と都市計画②:ロンドンを中心にイギリス諸都市を取り上げて、都市の成り立ちや都市形成の歴史、都市計画の特徴を学ぶ	【予習】ロンドンを中心にイギリス諸都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、ロンドンを中心にイギリス諸都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第13回	対面	オーストラリアなど新大陸における都市の形成と都市計画:オーストラリアの諸都市を取り上げて、都市の成り立ちや都市形成の歴史、都市計画の特徴を学ぶ	【予習】オーストラリアなど新大陸における諸都市の都市形成・都市計画について、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、オーストラリアなど新大陸における諸都市の都市形成・都市計画について理解を深めること	4時間
第14回	対面	世界や日本における現代の都市形成と都市計画:欧米、豪州、日本における現代の都市形成や都市計画、例えば、近年、日本でも話題となっている都市政策の1つ「コンパクトシティ」について学ぶ	【予習】コンパクトシティについて、事前にインターネットなどで調べること 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、コンパクトシティについて理解を深めること	4時間
第15回	オンデマンド	授業の総括:第1回から第14回までの講義の内容をまとめ、世界と日本における諸都市の都市形成や都市計画の特徴や差異などを再確認する	【予習】これまでに配布したレジュメを事前に読むこと 【復習】授業で配布したレジュメや紹介した参考書、Learning Portalに掲載する資料などを読んで復習し、15回の講義内容の理解を深めること	6時間

科目名	資源・エネルギー論	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	日夏　宗彦	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	資源およびエネルギー問題について、科学的基礎知識、その歴史、現状の問題点等について国際的な視野も含めて学ぶ。		
授業の目的及び概要	資源およびエネルギー問題は、人類が今後とも持続可能な社会を作るうえで重要な課題である。エネルギー資源は世界中に均等に存在せずに局在している。このためエネルギーに絡む国際紛争等も生じうる。加えて我が国はエネルギー資源の多くを輸入に頼っており、将来にわたって安定したエネルギー確保のためには、常に国際情勢を正しく把握する必要がある。本科目ではエネルギー問題について科学的な知見と我が国が国際社会の中で置かれた立ち位置を学び、あふれる情報から各自が科学的根拠に基づいてエネルギー問題を分析できる姿勢を学ぶ。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	我が国を取り巻く国際情勢を常に念頭に置きながら、エネルギー問題に対して科学的知見及びに基づいた考察ができるようにする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業終了後に実施するラーニングポータルを用いた3択形式の3問よりなる小テストを実施し、その解説機能を用いて解答解説や採点結果をフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	各授業ごとにパワーポイントを用いて行い、特に決まった教科書は使用しない。	**ISBN**	なし
参考書	①文系のための資源・エネルギーと環境, 池田良穂著, 海文堂, 2016 ②官公庁が出している白書類。	**ISBN**	①9784303562205 ②なし

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	40	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	60	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	エネルギー及び環境問題は、我々が将来にわたり快適な生活を営む上で極めて重要な問題である。社会にあふれる情報から科学的知見に基づき、各自が適切に取捨選択できるよう、常に興味と関心を持っていただきたい。なお、対面形式授業は最低でも4回は出席すること。対面授業で出席が3回以下の受講生は成績の評価をしない。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	本科目の構想とエネルギーに関する概要 本科目の主旨を説明し、エネルギーの概要を紹介することで、まずエネルギーについて興味を持つようにする。さらにエネルギー計算に必要な割合、比例計算の復習を行う。	配布資料の復習	4時間
第2回	対面	エネルギーとは エネルギーとは何か、基礎的な事項を説明する。エネルギーの単位や身近な乗り物等を例にとりエネルギーの大きさを実感する。またエネルギーの力学的な側面を簡単に紹介する。	配布資料の復習	4時間
第3回	対面	各種エネルギーと値の計算 日常生活をとりまくいろいろなエネルギーについて、具体例を用いて実際に計算することにより、エネルギーというものがどの程度のものか実感する。	配布資料の復習	4時間
第4回	対面	化石燃料 化石燃料は石油、石炭、LNG、シエールガス等である。これらについて成り立ちや採掘方法、運搬方法、どのようにして利用されるか等について学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第5回	対面	発電の原理と水力、火力発電所 電気は私たちの生活を支えるうえで最も重要なものである。この電気が作られる原理を学びなおすとともに、発電方法として水力発電、火力発電について、仕組みを学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第6回	対面	外燃機関と内燃機関 エネルギーを動力に変換する機器に熱を利用した機関(エンジン)がある。それらは外燃機関と内燃機関に分類される。私たちの生活に必要不可欠な二つの機関について学ぶ。	配布資料の復習	4時間

第7回	対面	エネルギーと環境問題 大量のエネルギー消費は地球環境に負荷をかける。その代表が地球温暖化と酸性雨の問題である。これらについて学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第8回	対面	再生可能エネルギー 地球温暖化や酸性雨の問題を解決する手段として、再生可能エネルギーの利用が各国で研究開発が進められている。この回では再生可能エネルギーについて学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第9回	対面	原子力発電所 電力の大出力かつ安定供給可能な原子力発電の仕組みについて学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第10回	対面	原子力発電の課題 東日本大震災以来、原子力発電の安全性が注目されている。ここでは原子力発電の課題、使用済み核燃料の処理の難しさ等について学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第11回	対面	省エネ技術 省エネ技術は限られた資源を有効に利用するうえで、また地球環境問題解決にも重要な技術である。このためいろいろな分野で省エネ技術は研究開発されている。各種省エネ技術について学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第12回	対面	エネルギー白書より 国内エネルギーの動向(I) エネルギー需給の概要、部門別エネルギー消費の動向、化石エネルギーの動向について学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第13回	対面	エネルギー白書より 国内エネルギーの動向(II)および国際エネルギーの動向(I) 国内の非化石エネルギーの動向、二次エネルギーの動向、国際エネルギー需給の概要、化石エネルギーの動向について学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第14回	対面	エネルギー白書より 国際エネルギーの動向(II) 非化石エネルギーの動向、二次エネルギーの動向、エネルギーコストの比較について学ぶ。	配布資料の復習	4時間
第15回	オンデマンド	講義全体のまとめと復習を行う	配布資料の復習	4時間

科目名	資源・エネルギー論	開講年度	2023年度春学期
担当者	池上　寛	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	資源およびエネルギー問題について、科学的基礎知識、その歴史、現状の問題点等について学ぶ。		
授業の目的及び概要	ロシアにおけるウクライナ侵攻は世界各国でエネルギー価格の上昇を招く原因のひとつとなり、現在に至っている。また、日本ではエネルギー資源のほとんどを輸入に依存している。我々が生活をするうえでエネルギーは無くてはならないものである。エネルギーの特性やその確保のために、常に国際情勢を正しく把握する必要がある。この講義では資源およびエネルギー問題を取り上げ、科学的な基礎知識、その歴史、現状の問題点を学習する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	我が国を取り巻く国際情勢を常に念頭に置きながら、エネルギー問題に対して科学的知見及びに基づいた考察ができるようにする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	講義の終わりに疑問点や質問を書いてもらい、それを原則次の講義でフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	池田良穂(2016)『文系のための資源・エネルギーと環境』海文堂	ISBN	978-4303562205
参考書	古舘恒介(2021)『エネルギーをめぐる旅――文明の歴史と私たちの未来』英知出版	ISBN	978-4862763099

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	エネルギー及び環境問題は我々の生活に非常に密接に関係しているが、実感することはなかなか難しい。講義ではできるだけ具体的な事例を出して行うので、興味をもって出席してほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション:エネルギーとは何か	【予習】テキストの第1章を読んでくること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第2回	対面	エネルギー利用の歴史(1)	【予習】テキストの第2章前半(2.1～2.5)を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第3回	対面	エネルギー利用の歴史(2)	【予習】テキストの第2章後半(2.6から2.11)を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第4回	対面	エネルギー資源(1)	【予習】テキストの第3章前半(3.1から3.3)を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第5回	対面	エネルギー資源(2)	【予習】テキスト第3章後半(3.4および3.5)を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第6回	対面	エネルギー輸送	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

第7回	対面	エネルギー資源の利用	【予習】テキストの第4章を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第8回	対面	エネルギーの利用	【予習】テキスト第5章を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第9回	対面	ふさわしい電力構成：エネルギーミックス	【予習】テキスト第6章を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第10回	対面	発電と送電システム、エネルギー消費の現状	【予習】テキスト第7・8章を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第11回	対面	省エネ技術をみる	【予習】テキスト第9章を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第12回	対面	エネルギー利用と環境問題	【予習】テキスト第10章を読んで出席すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第13回	対面	原子力エネルギー	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第14回	対面	脱炭素社会について考える	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第15回	オンデマンド	講義全体のまとめ	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

科目名	Academic Writing I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	初めてのアカデミックライティング(英語の論文執筆)		
授業の目的及び概要	この授業は、パラグラフの概念と構成(Introduction / Body / Conclusion)を学び、複数のパラグラフを用いて英語で報告・説明・説得する文章を論述する能力を養うことを目的とする。ブレーンストーミング手法から、主題やアイデアを絞り込みテーマ化する作業を修得した後、論文執筆の基礎的能力を養う。パラグラフライティングを用いて、一貫性を持った文章を書く能力を身につける。また、論文執筆に関る基本的なスケジューリングについても学修する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・様々な形式のパラグラフ(段落)が執筆できるようになる(例:「how to」型、「descriptive」型など) ・作文に必要な文法(仮定の文型、形容詞の順番など)が使える ・語彙を体系として把握し、語彙力を上げる ・執筆の運営には欠かせない読解技能も磨く		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	①「"Q: Skills for Success Level 3 Reading and Writing Split Student Book A with iQ Online Practice", Colin Ward and Margot Gramer」, Oxford University Press (OUP), 2019 ※ 授業の予習・復習およびレポート作成の時に使用します。	ISBN	①9780194904063
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	大学、大学院、職場、プライベートなど、英作文は幅広く応用できるスキルです。また、「ライティング」は他の3技能(スピーキング、リーディング、リスニング)との密接な関係にあり、ライティングの切磋琢磨による相乗効果のおかげで、英語を自由自在に使える「上級者」への道も開かれます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	社会学について書く(1)「Small Talk: A Big Deal」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	社会学について書く(2)「21-Century Job Interviews」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	パラグラフの構造について	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	栄養学について書く(1)「Knowing Your Tastes」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	栄養学について書く(2)「Eating with our Eyes」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	形容詞の使い方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	授業期間中レポートの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第9回	対面	情報科学について書く（1）「Cars That Think」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第10回	対面	情報科学について書く（2）「Classrooms Without Walls」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第11回	対面	文の「Parallel Structure」について	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第12回	対面	マーケティングについて書く（1）「Can Targeted Ads Change You?」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第13回	対面	マーケティングについて書く（2）「In Defense of Advertising」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第14回	対面	接尾語の使い方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第15回	オンデマンド	期末レポートの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間

科目名	Academic Writing I	開講年度	2023年度春学期
担当者	ボイキン　舞	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	初めてのアカデミックライティング（英語の論文執筆）		
授業の目的及び概要	この授業は、パラグラフの概念と構成(Introduction / Body / Conclusion)を学び、複数のパラグラフを用いて英語で報告・説明・説得する文章を論述する能力を養うことを目的とする。ブレーンストーミング手法から、主題やアイデアを絞り込みテーマ化する作業を修得した後、論文執筆の基礎的能力を養う。パラグラフライティングを用いて、一貫性を持った文章を書く能力を身につける。また、論文執筆に関る基本的なスケジューリングについても学修する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・様々な形式のパラグラフ（段落）が執筆できるようになる（例：「how to」型、「descriptive」型など） ・作文に必要な文法（仮定の文型、形容詞の順番など）が使える ・語彙を体系として把握し、語彙力を上げる ・執筆の運営には欠かせない読解技能も磨く		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	中谷安男(2020)『Academic Writing Strategies –Focus on Global Issues for Sustainable Development Goals–』金星堂	ISBN	978-4-7647-4109-6
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表（口頭・実技）(%)	20	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験（%）	30	【定期試験】筆記試験（WEB試験含む）(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	大学、大学院、職場、プライベートなど、英作文は幅広く応用できるスキルです。また、「ライティング」は他の3技能（スピーキング、リーディング、リスニング）との密接な関係にあり、ライティングの切磋琢磨による相乗効果のおかげで、英語を自由自在に使える「上級者」への道も開かれます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明 Chapter 1 Flow of Sentences ① 読者が読みやすい英文の基礎	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第2回	対面	Chapter 1 Flow of Sentences ② 英文の流れの作り方／Punctuation 1 句読点 1	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第3回	対面	Chapter 2 Basic Paragraph ① パラグラフの基本構成	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第4回	対面	Chapter 2 Basic Paragraph ② パラグラフの統一性の作り方／Punctuation 2 句読点 2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第5回	対面	Chapter 3 Developing Coherence ① パラグラフの一貫性の構築	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第6回	対面	Chapter 3 Developing Coherence ② 文法的結束と語彙的結束の作り方／Determiner and Article 1 限定詞と冠詞その1	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第7回	対面	Chapter 4 Guiding Your Reader ① 読者の誘導の仕方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間

第8回	対面	Chapter 4 Guiding Your Reader ② 効果的なメタディスコースの使い方／Determiner and Article 2 限定詞と冠詞その2	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第9回	対面	Chapter 5 Hedges and Boosters ① 議論を弱め、批判に対して防御するヘッジ表現の活用法	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第10回	対面	Chapter 5 Hedges and Boosters ② 議論を強調するブースター表現の使用法／Subject-Verb Agreement 主語と動詞の一致	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第11回	対面	Chapter 6 Generating Ideas ① 書く内容のアイディアの広げ方とまとめ方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第12回	対面	Chapter 6 Generating Ideas ② 批判的な思考方法／Hedges ヘッジに使われる法助動詞	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	Chapter 7 How to Attract Your Readers ① 読者を惹きつけるためのtopic sentenceの書き方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第14回	対面	Chapter 7 How to Attract Your Readers ② 読者を惹きつけるためのtopic sentenceの書き方／Modal Verbs 意味のよく似た助動詞	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第15回	対面	総括 これまで学んだことを復習し、それらを使って自分なりのパラグラフを書き、発表する。	これまで学んだアカデミック・ライティングのストラテジーを復習し、発表に向けて原稿を完成させる。	4時間

科目名	Academic Writing Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	ミルズ・ジョナサン	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	アカデミックライティング(英語の論文執筆)を続ける		
授業の目的及び概要	この授業は、「Academic Writing Ⅰ」に引き続き、複数のパラグラフを用いて英語で報告・説明・説得の文章を論理的に論述する能力を向上させることを目的とする。主題やアイデアを素早くテーマ化する作業を修得し、論文執筆の能力向上を図り、様々な形式の論述ができることを目標とする。授業では、履修生の論文を題材にして、構成(Introduction / Body / Conclusion)を分析するなど、英語による論文執筆を客観的かつ批判的に行える能力を培うことを目指す。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・様々な形式のパラグラフ(段落)が執筆できるようになる(例:「summary and personal response」型など) ・段落を合わせて、自分の意見を表現する「opinion essay」が執筆できる ・作文に必要な文法(重文など)が使える ・語彙を体系として把握し、語彙力を上げる ・執筆の運営には欠かせない読解技能も磨く		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	"Q: Skills for Success Level 3 Reading and Writing Split Student Book B with iQ Online Practice", Colin Ward and Margot Gramer, Oxford University Press (OUP), 2019 ※ 授業の予習・復習、およびレポート作成の時に使います。	ISBN	9780194904124
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	40	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0	0	

この科目の履修にあたって	大学、大学院、職場、プライベートなど、英作文は幅広く応用できるスキルです。また、「ライティング」は他の3技能(スピーキング、リーディング、リスニング)との密接な関係にあり、ライティングの切磋琢磨による相乗効果のおかげで、英語を自由自在に使える「上級者」への道も開かれます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	心理学について書く(1)「How People Learn to Become Resilient」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	心理学について書く(2)「The Climb of My Life」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	時制の使い方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	神経学について書く(1)「The Lazy Brain」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	神経学について書く(2)「Problem Solvers: Which One Are You?」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第7回	対面	動名詞・不定詞について	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第8回	対面	授業期間中レポートの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第9回	対面	経済学について書く（1）「FEED Projects: How a Bag Can Feed Children in Many Ways」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第10回	対面	経済学について書く（2）「A New Business Model: Do Well While Doing Good」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第11回	対面	「Complex Sentences」について	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第12回	対面	行動科学について書く（1）「Fast Cars, Big Money」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第13回	対面	行動科学について書く（2）「Practice Makes…Pain?」	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第14回	対面	形容詞＋前置詞のコロケーション	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第15回	オンデマンド	期末レポートの説明	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間

科目名	Academic Writing Ⅱ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	ボイキン　舞	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	アカデミックライティング(英語の論文執筆)を続ける		
授業の目的及び概要	この授業は、「Academic Writing Ⅰ」に引き続き、複数のパラグラフを用いて英語で報告・説明・説得の文章を論理的に論述する能力を向上させることを目的とする。主題やアイデアを素早くテーマ化する作業を修得し、論文執筆の能力向上を図り、様々な形式の論述ができることを目標とする。授業では、履修生の論文を題材にして、構成(Introduction / Body / Conclusion)を分析するなど、英語による論文執筆を客観的かつ批判的に行える能力を培うことを目指す。 ※「Academic Writing Ⅱ ②」を受講しておくことが望ましい。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・様々な形式のパラグラフ(段落)が執筆できるようになる(例:「summary and personal response」型など) ・段落を合わせて、自分の意見を表現する「opinion essay」が執筆できる ・作文に必要な文法(重文など)が使える ・語彙を体系として把握し、語彙力を上げる ・執筆の運営には欠かせない読解技能も磨く		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	レポートは、添削した上で返却します。小テストは、採点した上で返却します。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	中谷安男(2020)『Academic Writing Strategies –Focus on Global Issues for Sustainable Development Goals–』金星堂	**ISBN**	978-4-7647-4109-6
参考書	"Q: Skills for Success Level 2 Reading and Writing Split Student Book A with iQ Online Practice", Jennifer Bixby and Joe McVeigh, Oxford University Press (OUP), 2019	**ISBN**	978-0194904056

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	50	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	20	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	30	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	大学、大学院、職場、プライベートなど、英作文は幅広く応用できるスキルです。また、「ライティング」は他の3技能(スピーキング、リーディング、リスニング)との密接な関係にあり、ライティングの切磋琢磨による相乗効果のおかげで、英語を自由自在に使える「上級者」への道も開かれます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	コースの説明 Chapter 8 Supporting Your Ideas ① Topic sentenceを効果的にサポートする方法	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第2回	対面	Chapter 8 Supporting Your Ideas ② Supporting sentenceの書き方／Quantifiers 数量詞	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第3回	対面	Chapter 9 Concluding Paragraphs ① パラグラフの効果的な終わり方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第4回	対面	Chapter 9 Concluding Paragraphs ② Concluding sentenceの書き方／Infinitives or Gerunds 不定詞と動名詞の選択	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第5回	対面	Chapter 10 Comparison and Contrast Paragraphs ① 比較や対照を行う表現方法	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間
第6回	対面	Chapter 10 Comparison and Contrast Paragraphs ② 3つのタイプの比較や対照パラグラフの構成／ Noun Usage 間違いやすい名詞	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題(通例1時間程度)を完成すること。	4時間

第7回	対面	Chapter 11 Essay Structure ① 読みやすいエッセイの構成	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第8回	対面	Chapter 11 Essay Structure ② Thesis statementの書き方／ Use of Adjectives and Adverbs 形容詞と副詞の用法	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第9回	対面	Chapter 12 Problem-Solving Essay ① 問題解決のエッセイの書き方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第10回	対面	Chapter 12 Problem-Solving Essay ② 問題解決のエッセイの書き方／Conditionals 仮定法	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第11回	対面	Chapter 13 The First Step for Academic Papers ① 研究論文の書き方の基礎と研究テーマの重要性の伝え方	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第12回	対面	Chapter 13 The First Step for Academic Papers ② 研究論文の書き方の基礎と研究テーマの重要性の伝え方／Literature Review 先行研究の引用方法と時制	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第13回	オンデマンド	Chapter 14 Creating a Research Niche ① 研究論文の書き方の基礎	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第14回	対面	Chapter 14 Creating a Research Niche ② 研究の独自性の明示方法／ Tense 時制	教科書の内容と、授業を取ったメモをしっかり復習し、積極的に内容の練習・暗記に取り組むこと。また、課題（通例1時間程度）を完成すること。	4時間
第15回	対面	総括 これまで学んだことを復習し、それらを使って自分なりのパラグラフを書き、発表する。	これまで学んだことを復習し、それらを使って自分なりのパラグラフを書き、発表に向けて準備する。	4時間

科目名	貿易英語	開講年度	2023年度秋学期
担当者	東條　加寿子	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	貿易実務に必要な基礎的英語力の修得と実践		
授業の目的及び概要	国際商取引のひとつである貿易の実務現場での実践的な英語運用能力の修得を目標とします。特に、輸出・輸入取引の仕組を英語で理解し、説明できるようにするとともに、貿易実務での交渉・コミュニケーションに使われる基本となる英語の専門用語や表現を身につけるます。授業では、国際商取引について、特に英語で書かれた文書の内容を理解し、実際の貿易取引の現場で取引相手と文書で交渉ができるようになることを目指します。貿易実務検定®C級試験の受験を推奨します。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	ビジネス英語や貿易実務に慣れ，貿易に関するビジネスレターを理解し、実際に作成できることを目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テスト、中間テストについては、採点評価し解説します。定期的な課題として取り組むビジネスレター作成については、全体または個別にコメントフィードバックを行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	貿易実務検定®C級試験対策　改訂版貿易実務英語の基礎，日本貿易実務検定協会®編，日本能率協会マネジメントセンター、2020年	ISBN	9784820716877
参考書	図解　これ1冊でぜんぶわかる！貿易実務，大須賀祐著，あさ出版，2020年	ISBN	9784860634186

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	15	成果発表(口頭・実技)(%)	15	中間試験(%)	25
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	25	その他(%)			

この科目の履修にあたって	貿易英語実務は、これまでに学んできた英語を実際にビジネスの場面で役立てる具体的な方法の一つです。「貿易実務」という目的を果たすためにはどのようなルールがあるのかを正しく理解し、そのルールに則って英語を使っていくという視点が重要です。実社会で通用する英語に挑戦しましょう。貿易実務検定®C級試験の受験を推奨します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション：授業の進め方について 貿易実務検定®C級試験について Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-1　引合・通知・意思表示の基本① Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　1）自社の紹介(p.186)	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-1　引合・通知・意思表示の基本① Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　1）自社の紹介(p.186)　の復習及び Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-2, 1-3, 1-4　取引相手に依頼する、取引相手に断る、引合・通知・意思表示の基本②　の予習	4時間
第2回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-2, 1-3, 1-4　取引相手に依頼する、取引相手に断る、引合・通知・意思表示の基本② Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　2）引合(p.187)	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-2, 1-3, 1-4　取引相手に依頼する、取引相手に断る、引合・通知・意思表示の基本② Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　2）引合(p.187)　の復習および Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-5, 1-6, 1-7　商品の引合と注文、謝意・評価を告げる、引合・通知・意思表示の基本③　の予習	4時間
第3回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-5, 1-6, 1-7　商品の引合と注文、謝意・評価を告げる、引合・通知・意思表示の基本③ Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　3）引合に対する回答(p.188)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-5, 1-6, 1-7　商品の引合と注文、謝意・評価を告げる、引合・通知・意思表示の基本③ Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　3）引合に対する回答(p.188)　の小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-8, 1-9　販売状況の通知と確認、トラブル・クレームを事前に回避する　Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-1　取引条件等の確認　の復習	4時間

第4回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-8, 1-9 販売状況の通知と確認、トラブル・クレームを事前に回避する　Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-1　取引条件等の確認 Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　4）信用照会(p.189)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 1 貿易取引をスタートする　Section 1-8, 1-9　販売状況の通知と確認、トラブル・クレームを事前に回避する　Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-1　取引条件等の確認 Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　4）信用照会(p.189)　の小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-2, 2-3, 2-4　反対オファーや回答、信用取引の準備、取引を段階的に確認する①　の予習	4時間
第5回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-2, 2-3, 2-4　反対オファーや回答、信用取引の準備、取引を段階的に確認する① Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　5）オファー(p.190)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-2, 2-3, 2-4　反対オファーや回答、信用取引の準備、取引を段階的に確認する① Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　5）オファー(p.190)　の小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-5, 2-6, 2-7　取引を段階的に確認する②、取引を段階的に確認する③、取引相手に通知する①　の予習	4時間
第6回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-5, 2-6, 2-7　取引を段階的に確認する②、取引を段階的に確認する③、取引相手に通知する① Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　6）反対オファー(p.191)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-5, 2-6, 2-7　取引を段階的に確認する②、取引を段階的に確認する③、取引相手に通知する① Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　6）反対オファー(p.191)　の小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-8, 2-9, 2-10　取引相手に通知する②、船積通知、好条件をオファーする　の予習	4時間
第7回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-8, 2-9, 2-10　取引相手に通知する②、船積通知、好条件をオファーする Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　7）取引条件(p.191)　課題	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-8, 2-9, 2-10　取引相手に通知する②、船積通知、好条件をオファーする Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　7）取引条件(p.191)　の復習と課題の取り組み	4時間
第8回	オンデマンド	これまでの貿易英語表現（基礎編）の復習 貿易実務の基本の復習とプレゼンテーション準備（PPTの作成）	中間テストに向けた復習、およびプレゼンテーション資料（PPT）の作成	4時間
第9回	対面	中間テスト Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-11　反対オファー Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　8）注文(p.192)	中間テストにむけた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　Section 2-11　反対オファー Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　8）注文(p.192)　の予習	4時間
第10回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　2-12, 2-13　信用照会、価格・需要・品質の変動を伝える　Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-1 発注と注文取消 Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　9）契約(p.194)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 2 取引条件の交渉　2-12, 2-13　信用照会、価格・需要・品質の変動を伝える　Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-1 発注と注文取消 Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　9）契約(p.194)　小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-2, 3-3　価格表・見積・調査・割引を請求する、クレーム・価格・販売状況等を通知する　の予習	4時間
第11回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-2, 3-3　価格表・見積・調査・割引を請求する、クレーム・価格・販売状況等を通知する Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　10）信用状(p.196)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-2, 3-3　価格表・見積・調査・割引を請求する、クレーム・価格・販売状況等を通知する Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　10）信用状(p.196)　小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-4, 3-5 オファー／履行確認・クレーム、取引相手に回答する　の予習	4時間
第12回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-4, 3-5 オファー／履行確認・クレーム、取引相手に回答する Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　11）船積み(p.197)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-4, 3-5 オファー／履行確認・クレーム、取引相手に回答する Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　11）船積み(p.197)　小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-6, 3-7 製造・船積時期等の問合せ・確認、引合・通知・意思表示の基本④　の予習	4時間
第13回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-6, 3-7 製造・船積時期等の問合せ・確認、引合・通知・意思表示の基本④ Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　12）引渡し・送達(p.198)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-6, 3-7 製造・船積時期等の問合せ・確認、引合・通知・意思表示の基本④ Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　12）引渡し・送達(p.198)　小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-8, 3-9 カタログ等の請求／処分方法の選択、取引条件の提示　の予習	4時間
第14回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-8, 3-9 カタログ等の請求／処分方法の選択、取引条件の提示 Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　13）決済(p.199)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-8, 3-9 カタログ等の請求／処分方法の選択、取引条件の提示 Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　13）決済(p.199)　小テストに向けた学修　および Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-10, 3－11　信用照会・要望への対処、状況に応じて取引相手に要望する　の予習	4時間
第15回	対面	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-10, 3－11　信用照会・要望への対処、状況に応じて取引相手に要望する Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　14）瑕疵・保険(p.200)　小テスト	Part 1 基礎編：Chapter 3 取引関係の発展　Section 3-10, 3－11　信用照会・要望への対処、状況に応じて取引相手に要望する Part 3 応用編：Chapter 4 ビジネス・レター　14）瑕疵・保険(p.200)　小テストに向けた学修	4時間

科目名	日本語文章表現Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	小南　淳子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	身近な社会問題をテーマに、複数の資料の内容を統合し、効果的に使用して文章を書く力をつける。具体的には、大学の授業科目で作成するレポートが自信をもって書けるようになることを目指したい。		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙力、思考力及び表現力等を養成し、論理的な思考に基づく日本語表現力(記述力)を修得することを目標とする。授業では、まずレポート、各種報告書、通信文等における文章構成の差異について理解する。次に、様々な種類の文章の事例を参考にしながら、文の構成や組立の分析・読解を実施し、論理的な文章を記述するための知識について学修する。さらに、より明確な文章を記述するための課題に取り組み、文章作成の能力を養成する。		
履修の条件・注意	「文章作成Ⅰ＜文章表現入門＞」を受講しているほうが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙力・表現力を強化し、主にレポートにおいて、適切なに資料を用い、自身の意見を展開できるようになる。またレポートを書くために必要な思考力を養い、論理的な思考に基づく日本語表現力を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業外の課題は、よりよいものにするための留意点等を教員から解説する。フィードバックは個別の添削指導が基本であるが、授業内で注意箇所を共有して行うこともある。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。講師作成の資料を配布する。	ISBN	なし
参考書	宇野聖子・藤浦五月『大学生のための表現力トレーニング　あしか』ココ出版(2009)	ISBN	ISBN:978-4-904595-83-1

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	定期試験に変わるものとして、最終レポート(1000字程度またはA4.1ページ程度)を提出する。	

この科目の履修にあたって	レポートを書くにあたり、どのようにレポートを展開したらよいかわからない人は、ぜひ受講してください。 留学生受講生は、日本人大学生と同等の読解能力・文章作成能力の獲得を目指します。毎回の文章作成⇒添削指導⇒修正が大切な作業になります。 小テストは前回授業の学習内容が中心となります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れの説明 および　授業担当者からの自己紹介 文書の種類と文体について	事後学修:授業で学んだこと(文書の種類と文体について)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:次時(好きな文章のジャンル、現在の問題意識などを含む自己紹介プレゼンテーション)の準備(2時間)	4時間
第2回	対面	1. 自己紹介プレゼンテーション(好きな文章のジャンル、興味のある社会問題などを含む) 2. 文末のスタイル(文体) 3. 縮約・省略、文末表現	事後学修:授業で学んだこと(文末スタイル、縮約・省略表現などについて)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第2回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第3回	対面	1. 小テスト(文末スタイル、縮約・省略表現) 2. 副詞 3. 文を続ける形式	事後学修:授業で学んだこと(副詞の使い方)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第3回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第4回	対面	1. 小テスト(副詞の使い方) 2. 接続詞 3. セットで使う表現(呼応表現)	事後学修:授業で学んだこと(接続詞・呼応表現)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第4回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第5回	対面	1. 小テスト(接続詞の使い方・呼応表現) 2. 資料の探し方をマスターする 3. 参考文献の書き方を身につける	事後学修:授業で学んだことに関する宿題…資料を検索する…(2時間) 事前学習:プレゼンテーション(検索した資料について)の準備(2時間)	4時間

第6回	対面	1. プレゼンテーション…各自が見つけた資料について発表する 2. 引用のしかたを身につける	事後学修:授業で学んだこと(引用のしかた)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第6回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第7回	対面	1. 小テスト(引用のしかたについて) 2. 身近な社会問題について考え、テーマを決める 3. 資料収集計画の立て方	事後学修:自身が選んだテーマについて調べる(2時間) 事前学習:資料収集計画書の作成(2時間)	4時間
第8回	対面	1. 資料収集計画書の提出 2. 関連する資料を整理する1 ①資料の読解 ②資料をまとめる	事後学修:資料の読解…つづき(2時間) 事前学習:資料の整理・考察　および発表の準備(2時間)	4時間
第9回	対面	1. テーマについての発表　① 2. 関連する資料を整理する2 ①資料の読解 ②資料をまとめる	事後学修:集めた資料の読解・要約など(2時間) 事前学習:発表の準備(2時間)	4時間
第10回	対面	1. 個々のテーマについての発表　② 2. テーマの絞り込み・再検討 3.「定義する」ことについて学ぶ	事後学修:集めた資料の要約・整理など(2時間) 事前学習:個々のテーマについて考察・資料の補充(2時間)	4時間
第11回	対面	1. 段落構成について学ぶ 2. 見本レポートを読んで、構成方法を学ぶ	事後学修:授業で学んだこと(段落構成)に関する宿題(2時間) 事前学習:段落を意識した文章作成(2時間)	4時間
第12回	対面	1. 見本レポートを読んで、表現方法を学ぶ 2. 文章作成	事後学修:文章の添削箇所の確認・修正(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第13回	対面	1. タイトル・アウトラインを作成する 2. アウトラインをチェックする	事後学修:アウトラインの添削箇所の確認・修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第14回	対面	1. これまでに書いた文章を一つのレポートにする方法を学ぶ 2。自身のテーマについて発表し、質疑応答をレポートに反映させる	事後学修:授業内で書いた文章の誤字脱字の修正(2時間) 事前学習:発表で指摘された疑問点・質問点の確認(2時間)	4時間
第15回	オンデマンド	発表時の質疑応答を考慮し、推敲し、よりよいレポートに仕上げる これまでの14回の授業で学んだことをレポートに反映させるための振り返りをオンデマンドで行う	事後学修:文章作成の続き　および　レポートの完成と提出	4時間

科目名	日本語文章表現Ⅰ	開講年度	2023年度春学期
担当者	小南　淳子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	身近な社会問題をテーマに、複数の資料の内容を統合し、効果的に使用して文章を書く力をつける。具体的には、大学の授業科目で作成するレポートが自信をもって書けるようになることを目指したい。		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙力、思考力及び表現力等を養成し、論理的な思考に基づく日本語表現力(記述力)を修得することを目標とする。授業では、まずレポート、各種報告書、通信文等における文章構成の差異について理解する。次に、様々な種類の文章の事例を参考にしながら、文の構成や組立の分析・読解を実施し、論理的な文章を記述するための知識について学修する。さらに、より明確な文章を記述するための課題に取り組み、文章作成の能力を養成する。		
履修の条件・注意	「文章作成Ⅰ＜文章表現入門＞」を受講しているほうが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙力・表現力を強化し、主にレポートにおいて、適切なに資料を用い、自身の意見を展開できるようになる。またレポートを書くために必要な思考力を養い、論理的な思考に基づく日本語表現力を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業外の課題は、よりよいものにするための留意点等を教員から解説する。フィードバックは個別の添削指導が基本であるが、授業内で注意箇所を共有して行うこともある。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。講師作成の資料を配布する。	ISBN	なし
参考書	宇野聖子・藤浦五月『大学生のための表現力トレーニング　あしか』ココ出版(2009)	ISBN	ISBN:978-4-904595-83-1

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	定期試験に変わるものとして、最終レポート(1000字程度またはA4.1ページ程度)を提出する。	

この科目の履修にあたって	レポートを書くにあたり、どのようにレポートを展開したらよいかわからない人は、ぜひ受講してください。 留学生受講生は、日本人大学生と同等の読解能力・文章作成能力の獲得を目指します。毎回の文章作成⇒添削指導⇒修正が大切な作業になります。 小テストは前回授業の学習内容が中心となります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れの説明 および　授業担当者からの自己紹介 文書の種類と文体について	事後学修:授業で学んだこと(文書の種類と文体について)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:次時(好きな文章のジャンル、現在の問題意識などを含む自己紹介プレゼンテーション)の準備(2時間)	4時間
第2回	対面	1. 自己紹介プレゼンテーション(好きな文章のジャンル、興味のある社会問題などを含む) 2. 文末のスタイル(文体) 3. 縮約・省略、文末表現	事後学修:授業で学んだこと(文末スタイル、縮約・省略表現などについて)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第2回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第3回	対面	1. 小テスト(文末スタイル、縮約・省略表現) 2. 副詞 3. 文を続ける形式	事後学修:授業で学んだこと(副詞の使い方)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第3回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第4回	対面	1. 小テスト(副詞の使い方) 2. 接続詞 3. セットで使う表現(呼応表現)	事後学修:授業で学んだこと(接続詞・呼応表現)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第4回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第5回	対面	1. 小テスト(接続詞の使い方・呼応表現) 2. 資料の探し方をマスターする 3. 参考文献の書き方を身につける	事後学修:授業で学んだことに関する宿題…資料を検索する…(2時間) 事前学習:プレゼンテーション(検索した資料について)の準備(2時間)	4時間

第6回	対面	1. プレゼンテーション…各自が見つけた資料について発表する 2. 引用のしかたを身につける	事後学修:授業で学んだこと(引用のしかた)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第6回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第7回	対面	1. 小テスト(引用のしかたについて) 2. 身近な社会問題について考え、テーマを決める 3. 資料収集計画の立て方	事後学修:自身が選んだテーマについて調べる(2時間) 事前学習:資料収集計画書の作成(2時間)	4時間
第8回	対面	1. 資料収集計画書の提出 2. 関連する資料を整理する1 ①資料の読解 ②資料をまとめる	事後学修:資料の読解…つづき(2時間) 事前学習:資料の整理・考察　および発表の準備(2時間)	4時間
第9回	対面	1. テーマについての発表　① 2. 関連する資料を整理する2 ①資料の読解 ②資料をまとめる	事後学修:集めた資料の読解・要約など(2時間) 事前学習:発表の準備(2時間)	4時間
第10回	対面	1. 個々のテーマについての発表　② 2. テーマの絞り込み・再検討 3.「定義する」ことについて学ぶ	事後学修:集めた資料の要約・整理など(2時間) 事前学習:個々のテーマについて考察・資料の補充(2時間)	4時間
第11回	対面	1. 段落構成について学ぶ 2. 見本レポートを読んで、構成方法を学ぶ	事後学修:授業で学んだこと(段落構成)に関する宿題(2時間) 事前学習:段落を意識した文章作成(2時間)	4時間
第12回	対面	1. 見本レポートを読んで、表現方法を学ぶ 2. 文章作成	事後学修:文章の添削箇所の確認・修正(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第13回	対面	1. タイトル・アウトラインを作成する 2. アウトラインをチェックする	事後学修:アウトラインの添削箇所の確認・修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第14回	対面	1. これまでに書いた文章を一つのレポートにする方法を学ぶ 2。自身のテーマについて発表し、質疑応答をレポートに反映させる	事後学修:授業内で書いた文章の誤字脱字の修正(2時間) 事前学習:発表で指摘された疑問点・質問点の確認(2時間)	4時間
第15回	オンデマンド	発表時の質疑応答を考慮し、推敲し、よりよいレポートに仕上げる これまでの14回の授業で学んだことをレポートに反映させるための振り返りをオンデマンドで行う	事後学修:文章作成の続き　および　レポートの完成と提出	4時間

科目名	日本語文章表現Ⅱ	開講年度	2023年度秋学期
担当者	小南　淳子	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	身近な社会問題をテーマに、複数の資料の内容を統合し、効果的に使用して文章を書く力をつける。具体的には、大学の授業科目で作成するレポートが自信をもって書けるようになることを目指したい。		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙力、思考力及び表現力等を養成し、論理的な思考に基づく日本語表現力(記述力)を修得することを目標とする。授業では、まずレポート、各種報告書、通信文等における文章構成の差異について理解する。次に、様々な種類の文章の事例を参考にしながら、文の構成や組立の分析・読解を実施し、論理的な文章を記述するための知識について学修する。さらに、より明確な文章を記述するための課題に取り組み、文章作成の能力を養成する。		
履修の条件・注意	「文章作成Ⅰ＜文章表現入門＞」を受講しているほうが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙力・表現力を強化し、主にレポートにおいて、適切なに資料を用い、自身の意見を展開できるようになる。またレポートを書くために必要な思考力を養い、論理的な思考に基づく日本語表現力を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業外の課題は、よりよいものにするための留意点等を教員から解説する。フィードバックは個別の添削指導が基本であるが、授業内で注意箇所を共有して行うこともある。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。講師作成の資料を配布する。	ISBN	なし
参考書	宇野聖子・藤浦五月『大学生のための表現力トレーニング　あしか』ココ出版(2009)	ISBN	ISBN:978-4-904595-83-1

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	20	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	40	成果発表(口頭・実技)(%)	10	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	30	定期試験に変わるものとして、最終レポート(1200字程度またはA41ページ程度)を提出する。	

この科目の履修にあたって	日本語文章表現Ⅰに続く内容となりますが、文体・文末表現・副詞・接続詞・資料の参照および引用の方法など、日本語文章表現Ⅰの内容で必要なところは復習も行いますので、この授業から始めることも可能です。 レポートを書くにあたり、どのようにレポートを展開したらよいかわからない人は、ぜひ受講してください。 留学生受講生は、日本人大学生と同等の読解能力・文章作成能力の獲得を目指します。毎回の文章作成⇒添削指導⇒修正が大切な作業になります。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れの説明　および　担当教員の自己紹介 文書の種類と文体の復習	事後学修:授業で学んだこと(文書の種類と文体)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:次時(自己紹介文の作成)の材料集め、準備(2時間)	4時間
第2回	対面	1. 自己紹介文作成 2. 文末のスタイル(文体)の復習 3. 縮約・省略、文末表現	事後学修:授業で学んだこと(文体、縮約・省略表現、文末表現)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第2回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第3回	対面	1. 小テスト(文体、縮約・省略表現、文末表現) 2. 副詞の復習 3. 前回作文の添削修正箇所の共有 4. 資料①(時事問題)の配布と概要説明 ※資料はラーニングポータルに示すので確認すること	事後学修:資料①の確認・復習(2時間) 事前学習:資料①の用語調べ、関連資料の検索など(2時間)	4時間
第4回	対面	1. 資料①をもとに文章作成 2. 接続詞の復習	事後学修:授業で学んだこと(接続詞の使い方)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第4回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第5回	対面	1. 小テスト…200~400字程度の説明文を書く 2. セットで使う表現(呼応表現)の復習 3. 提出作文の添削修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:提出課題の添削箇所確認と修正作業(2時間) 事前学習:小テスト(第5回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間

第6回	対面	1. 小テスト(呼応表現) 2. 引用の仕方を身につける 3. 資料②(時事問題)の配布と概要説明 ※資料はラーニングポータルに示すので確認すること	事後学修:資料②の確認・復習(2時間) 事前学習:資料②の用語調べ、関連資料の検索など(2時間)	4時間
第7回	対面	1. 資料②をもとに文章作成 2. 資料の探し方をマスターする 3. 参考文献の示し方を身につける	事後学修:資料の探し方・参考文献の示し方を確認・復習する(1時間) 事前学習:資料を探す(2時間)	3時間
第8回	対面	1. 関連する資料を整理する1 ①資料の読解 ②資料をまとめる 2. 提出課題の添削修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:資料の読解、まとめのつづき(2時間) 事前学習:資料の整理・検討(2時間)	4時間
第9回	対面	1. 関連する資料を整理する2 ①資料の読解 ②資料をまとめる 2. 段落構成を学ぶ ①他者の意見に賛成するときの段落構成 ②他者の意見に反対するときの段落構成 ③自分の意見と他者の意見を明確に書くことの重要性について	事後学修:段落構成の要点を確認する(1時間) 事前学習:個々のテーマによるレポート作成の準備(3時間)	4時間
第10回	対面	1. 文章を作成する 2. テーマの絞り込み 3. 使用する用語を定義する	事後学修:自身のレポートで使用する用語の確認など(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第11回	対面	1. 文章を作成する 2. 見本レポートを読んで、段落構成を確認する 3. 提出課題の添削・修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:提出課題の添削箇所確認、修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第12回	対面	1. 文章を作成する 2. 見本レポートを読んで、表現方法を確認する 3. 提出課題の添削・修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:提出課題の添削箇所確認、修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第13回	対面	1. 文章を作成する 2. タイトル・アウトラインを作成する 3. アウトラインをチェックする	事後学修:提出課題の添削箇所確認、修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き　および　発表の準備(2時間)	4時間
第14回	対面	1. 個々のテーマについて発表する 2. 質疑応答	事後学修:第一稿の誤字脱字の修正　および　質疑応答の反映を考える(2時間) 事前学習:第二稿提出準備(2時間)	4時間
第15回	オンデマンド	1. 第二稿の添削修正箇所を共有して学ぶ 2. よりよいレポートに仕上げるための注意点、書式の確認など これまでの14回の授業で学んだことを期末レポートに反映させるために、注意点などの振り返りをオンデマンドで行う	事後学修:レポートの提出に向けて、推敲する	5時間

科目名	日本語文章表現Ⅱ	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	小南　淳子	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	身近な社会問題をテーマに、複数の資料の内容を統合し、効果的に使用して文章を書く力をつける。具体的には、大学の授業科目で作成するレポートが自信をもって書けるようになることを目指したい。		
授業の目的及び概要	この授業は、語彙力、思考力及び表現力等を養成し、論理的な思考に基づく日本語表現力(記述力)を修得することを目標とする。授業では、まずレポート、各種報告書、通信文等における文章構成の差異について理解する。次に、様々な種類の文章の事例を参考にしながら、文の構成や組立の分析・読解を実施し、論理的な文章を記述するための知識について学修する。さらに、より明確な文章を記述するための課題に取り組み、文章作成の能力を養成する。		
履修の条件・注意	「文章作成Ⅰ＜文章表現入門＞」を受講しているほうが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	語彙力・表現力を強化し、主にレポートにおいて、適切なに資料を用い、自身の意見を展開できるようになる。またレポートを書くために必要な思考力を養い、論理的な思考に基づく日本語表現力を身につける。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業外の課題は、よりよいものにするための留意点等を教員から解説する。フィードバックは個別の添削指導が基本であるが、授業内で注意箇所を共有して行うこともある。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	指定しない。講師作成の資料を配布する。	**ISBN**	なし
参考書	宇野聖子・藤浦五月『大学生のための表現力トレーニング　あしか』ココ出版(2009)	**ISBN**	ISBN:978-4-904595-83-1

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	40	**成果発表(口頭・実技)(%)**	10	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	30	定期試験に変わるものとして、最終レポート(1200字程度またはA41ページ程度)を提出する。	
この科目の履修にあたって	日本語文章表現Ⅰに続く内容となりますが、文体・文末表現・副詞・接続詞・資料の参照および引用の方法など、日本語文章表現Ⅰの内容で必要なところは復習も行いますので、この授業から始めることも可能です。 レポートを書くにあたり、どのようにレポートを展開したらよいかわからない人は、ぜひ受講してください。 留学生受講生は、日本人大学生と同等の読解能力・文章作成能力の獲得を目指します。毎回の文章作成⇒添削指導⇒修正が大切な作業になります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の流れの説明　および　担当教員の自己紹介 文書の種類と文体の復習	事後学修:授業で学んだこと(文書の種類と文体)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:次時(自己紹介文の作成)の材料集め、準備(2時間)	4時間
第2回	対面	1. 自己紹介文作成 2. 文末のスタイル(文体)の復習 3. 縮約・省略、文末表現	事後学修:授業で学んだこと(文体、縮約・省略表現、文末表現)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第2回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第3回	対面	1. 小テスト(文体、縮約・省略表現、文末表現) 2. 副詞の復習 3. 前回作文の添削修正箇所の共有 4. 資料①(時事問題)の配布と概要説明 ※資料はラーニングポータルに示すので確認すること	事後学修:資料①の確認・復習(2時間) 事前学習:資料①の用語調べ、関連資料の検索など(2時間)	4時間
第4回	対面	1. 資料①をもとに文章作成 2. 接続詞の復習	事後学修:授業で学んだこと(接続詞の使い方)に関するオリジナルプリント(2時間) 事前学習:小テスト(第4回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間
第5回	対面	1. 小テスト…200~400字程度の説明文を書く 2. セットで使う表現(呼応表現)の復習 3. 提出作文の添削修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:提出課題の添削箇所確認と修正作業(2時間) 事前学習:小テスト(第5回授業内容に関するもの)の学習(2時間)	4時間

第6回	対面	1. 小テスト(呼応表現) 2. 引用の仕方を身につける 3. 資料②(時事問題)の配布と概要説明 ※資料はラーニングポータルに示すので確認すること	事後学修:資料②の確認・復習(2時間) 事前学習:資料②の用語調べ、関連資料の検索など(2時間)	4時間
第7回	対面	1. 資料②をもとに文章作成 2. 資料の探し方をマスターする 3. 参考文献の示し方を身につける	事後学修:資料の探し方・参考文献の示し方を確認・復習する(1時間) 事前学習:資料を探す(2時間)	3時間
第8回	対面	1. 関連する資料を整理する1 ①資料の読解 ②資料をまとめる 2. 提出課題の添削修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:資料の読解、まとめのつづき(2時間) 事前学習:資料の整理・検討(2時間)	4時間
第9回	対面	1. 関連する資料を整理する2 ①資料の読解 ②資料をまとめる 2. 段落構成を学ぶ ①他者の意見に賛成するときの段落構成 ②他者の意見に反対するときの段落構成 ③自分の意見と他者の意見を明確に書くことの重要性について	事後学修:段落構成の要点を確認する(1時間) 事前学習:個々のテーマによるレポート作成の準備(3時間)	4時間
第10回	対面	1. 文章を作成する 2. テーマの絞り込み 3. 使用する用語を定義する	事後学修:自身のレポートで使用する用語の確認など(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第11回	対面	1. 文章を作成する 2. 見本レポートを読んで、段落構成を確認する 3. 提出課題の添削・修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:提出課題の添削箇所確認、修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第12回	対面	1. 文章を作成する 2. 見本レポートを読んで、表現方法を確認する 3. 提出課題の添削・修正箇所を共有して学ぶ	事後学修:提出課題の添削箇所確認、修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き(2時間)	4時間
第13回	対面	1. 文章を作成する 2. タイトル・アウトラインを作成する 3. アウトラインをチェックする	事後学修:提出課題の添削箇所確認、修正作業(2時間) 事前学習:文章作成の続き　および　発表の準備(2時間)	4時間
第14回	対面	1. 個々のテーマについて発表する 2. 質疑応答	事後学修:第一稿の誤字脱字の修正　および　質疑応答の反映を考える(2時間) 事前学習:第二稿提出準備(2時間)	4時間
第15回	オンデマンド	1. 第二稿の添削修正箇所を共有して学ぶ 2. よりよいレポートに仕上げるための注意点、書式の確認など これまでの14回の授業で学んだことを期末レポートに反映させるために、注意点などの振り返りをオンデマンドで行う	事後学修:レポートの提出に向けて、推敲する	5時間

科目名	クラウド活用実践	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	岩見　真希	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	Microsoft365を用いたビジネスシーンにおけるクラウド活用		
授業の目的及び概要	この授業では、クラウドコンピューティングとモバイルコンピューティングを活用するスキルを身につける。ICT(情報通信技術)の発展により、PCやスマートフォン等、様々な情報端末からWeb上にある情報資源にアクセスし、それらを活用する使用法が浸透しており、情報化社会においてそのスキルを身につけることが必要とされてきている。授業では、実際に情報端末を使用して、クラウド活用スキルを身につけるための実践的な課題に取り組む。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	ビジネスシーンを想定した実践的な課題を通して、Microsoft365のサービスを理解し、Teams, SharePoint, のクPower Apps, Power Automate等の活用スキルを身に付けることを目標とする。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	Learning Portalで随時講評を実施します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／クリッカー等の理解度把握システムの利用		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	ひと目でわかるMicrosoft 365 ビジネス活用編, 西岡 真樹、北端 智、福田 健吾 (著), 日経BP, 2022.	**ISBN**	978-4296080113
参考書		**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	30	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	70	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**			

この科目の履修にあたって	ビジネスシーンを想定した実践的な課題を通して、クラウド活用スキルを身に付けよう。 かなり緻密な操作が必要で、毎回、様々なエラーが出ることが想定されるが、それらの原因を探り、意図したとおりに動くように修正する根気強さが求められる。 当然、教科書の準備は必須である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	イントロダクション・働く場所を選ばないTeams中心のワークスタイルの実現(1) ・メール文化の脱却 ・チームベースでのプロジェクト推進 ・リモート会議の実施(会議室予約から議事録の提出まで)	【復習】今回の授業資料を読んで復習する。	4時間
第2回	対面	働く場所を選ばないTeams中心のワークスタイルの実現(2) ・バーチャルコミュートによる翌日の予定の確認 ・チーム内でメンバーごとのタスクを管理する(タスク:Planner+ToDo)	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第3回	対面	働く場所を選ばないTeams中心のワークスタイルの実現(3) ・チームで必要なフォーム情報管理(Microsoft Lists活用) ・チームで必要なアンケートを実施(Forms活用) ・チームで従業員のシフトを管理(シフト機能活用) ・「探す」をより効率的に(Microsoft Searchによる直感的な検索)	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第4回	対面	どこからでも見られる社内ポータルをSharePointで実現(1) ・新しいワークスタイルでの社内ポータルの位置づけ ・Teamsと表裏一体のSharePointチームサイト活用	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第5回	オンデマンド	どこからでも見られる社内ポータルをSharePointで実現(2) ・社内ポータルとしてのSharePoint ・モバイルからのホームサイトアクセス ・テナント内でのニュース投稿とホームサイトでの新着表示	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間

第6回	対面	部門ごとの個別業務をPower Appsで構築(1) ・ローコード/ノーコードソリューションとは ・企業のDX促進とPower Platformの位置づけ ・Power Appsとアプリ設計 ・サービスリクエスト受付	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第7回	対面	部門ごとの個別業務をPower Appsで構築(2) ・電話対応記録	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第8回	対面	部門ごとの個別業務をPower Appsで構築(3) ・社内イベント参加管理	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第9回	対面	部門ごとの個別業務をPower Appsで構築(4) ・来訪者記録アプリ	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第10回	対面	手間がかかる業務プロセスをPower Automateで自動化(1) ・業務プロセス自動化 ・スマートフォンから作成する日報	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第11回	対面	手間がかかる業務プロセスをPower Automateで自動化(2) ・テレワーク申請	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第12回	対面	手間がかかる業務プロセスをPower Automateで自動化(3) ・Twitterをモニターしてマーケティング資料を作成する	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第13回	対面	手間がかかる業務プロセスをPower Automateで自動化(4) ・社内イベント参加管理を拡張する	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第14回	対面	テレワーク環境で人材育成を考える ・新しい働き方での人材育成をITで支援 ・オンライントレーニング(Vivaラーニング) ・セキュリティ意識向上テスト(Forms)	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間
第15回	対面	新しい労働環境でのワークスタイル ・AIチャットボットの活用(Power Virtual AgentsとTeams) ・ロボットと協働作業を行う時代での働き方	【予習】テキストの該当箇所を読んで予習する。 【復習】今回の授業資料を読んで復習する。課題を完成させて提出する。	4時間

科目名	データマイニング	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	呉原　志賢	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	データ分析力を身につける。		
授業の目的及び概要	この授業では、データからある知見を抽出するための手法を修得する。情報化社会において、日々大量のデータが蓄積されている。このように蓄積されたデータには有用な情報や知識が多く含まれており、データマイニングによってそれらを掘り出すことが必要とされてきている。そのため、事象の背後にあると想定される多数の要因を分析し、データに含まれる構造を見出す方法を理解する。授業では、実践的な課題に取り組むことで、修得した知識の定着を図る。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	授業では以下の到達目標を掲げる。 ① データマイニングに関する基本的な知識を備えている。 ② データ分析を設計し、問題の要因を抽出することができる。 ③ データをどのように活用すれば有効かを考えることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業において課したレポート等について講評する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	本物のデータ分析力が身に付く本, 河村 真一, 日置 孝一, 野寺 綾, 日経BP, 2016	**ISBN**	978-4822237721
参考書	―	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	20	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	30	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	50	授業内課題	

この科目の履修にあたって	事前事後の学修を行い、目的意識を持って授業に望むようにすること。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義に関するガイダンスとデータマイニングについて説明する。	テキストデのータマイニングに関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第2回	対面	分析の概念図等について説明して、データ分析の基本的考え方を学ぶ。	テキストの分析の概念図に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第3回	対面	問題領域と評価軸の設定等について説明して、データ分析の基本的考え方を学ぶ。	テキストの問題領域と評価軸の設定に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第4回	対面	要因選択等について説明して、データ分析の基本的考え方を学ぶ。	テキストの要因選択に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第5回	対面	欠損値、外れ値等を解説して、対象データの検証について理解を深める。	テキストの欠損値、外れ値に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第6回	対面	データのクレンジング等を解説して、対象データの検証について理解を深める。	テキストのデータのクレンジングに関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第7回	対面	分析方法について解説を行い、選択の仕方を身につける。	テキストの分析方法に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第8回	対面	データの特徴量について説明を行い、分析に活用する方法を身につける。	テキストのデータの特徴量に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第9回	対面	分析結果のまとめ方等について理解を深める。	テキストの分析結果のまとめ方に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間
第10回	オンデマンド	分析結果の表現方法等について理解を深める。	テキストの分析結果の表現方法に関する部分を読んで予習・復習しておくこと	4時間

第11回	対面	実際の事例を用いてデータマイニングを行う。	実際の事例に関する課題に取り組み、次回授業で提出すること	4時間
第12回	対面	実際の事例を用いてデータマイニングを行う。	実際の事例に関する課題に取り組み、次回授業で提出すること	4時間
第13回	対面	実際の事例を用いてデータマイニングを行う。	実際の事例に関する課題に取り組み、次回授業で提出すること	4時間
第14回	対面	実際の事例を用いてデータマイニングを行う。	実際の事例に関する課題に取り組み、次回授業で提出すること	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行う。	テキストのデータマイニングに関する部分を読んで復習しておくこと	4時間

科目名	ソーシャルメディア論	**開講年度**	2023年度秋学期
担当者	増本　貴士	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ソーシャルメディアの登場によって、現代社会の情報環境が大きく変化し、社会や個人に大きな影響をもたらしていることを理解する。		
授業の目的及び概要	本講義では、ソーシャルメディアに関連する歴史やビジネス活動、情報発信の現状等から「ソーシャルメディアの活用が現代社会にもたらすインパクトと問題点」を明らかにし、その解決策を考察する。この問題点と解決策から、現代社会に不可欠となったソーシャルメディアを活用した情報発信や人としての活動について、メディア・リテラシーも含めて講義する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	「ソーシャルメディアを活用して、どんな情報を発信すれば、現代社会が良くなると思うか」に自分自身の回答を準備する。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	1. グループディスカッションとプレゼンテーションの内容を授業中に講評します。 2. レポートの内容を授業中に講評します。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	ソーシャルメディア・スタディーズ, 松井広志・岡本健, 北樹出版, 2021年	**ISBN**	9784779306617
参考書	レジュメ等で紹介します。	**ISBN**	

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	0	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	20	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	30	**その他(%)**	50	グループディスカッション、その解決提案のプレゼンテーション。左記2つの合計が25%、2回行って50%。	

この科目の履修にあたって	ソーシャルメディアは誰もが簡単に使用でき、ビジネスで利用できるものとなった。その中で、「どんな情報を発信すれば良いのか」や「玉石混交の状態にある情報を受信者はどう内容を見抜くのか」といった議論は非常に難しく、万人が納得できるものになっていない。本講義では、ソーシャルメディアでの情報発信を多角的に考える。これにより、履修者が現代社会で活躍する際に、発信する情報内容には一定水準のメディアリテラシーと知性・品位があり、きちんと情報発信ができる一助になるように講義を行う。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	第1回 「ソーシャルメディア」を学ぶとは(オリエンテーション、ガイダンス) ○担当教員の自己紹介 ○授業の受け方の説明(特に、グループディスカッション、プレゼンテーション) ○授業内容の説明 ○単位認定の仕方の説明) ○ソーシャルメディアとは何か	復習:授業内容の振り返りを行う	1時間
第2回	対面	第2回 ソーシャルメディアと新聞 ○ソーシャルメディアでのメディアリテラシー、情報リテラシーについて新聞記事を事例に考える	予習:google検索で、メディアリテラシー、情報リテラシーについて調べる 復習:授業内容の振り返りを行う	3時間
第3回	対面	第3回 ソーシャルメディアのメディア論的立ち位置 ○メディア論からソーシャルメディアを考える	予習:google検索でメディア論、ソーシャルメディアについて調べる 復習:授業内容の振り返りを行う	3時間
第4回	対面	第4回 ソーシャルメディアと個人の情報発信 ○ソーシャルメディアを活用した個人の情報発信(blog、twitter)の発展可能性	予習:google検索でblogやtwitterの活用事例について調べる 復習:授業内容の振り返りを行う	3時間
第5回	対面	第5回 ソーシャルメディアと大学 ○ソーシャルメディアでの大学の情報発信は受験生に有効か	予習:各自が本学を志望した時を振り返り、大学の情報をどう得たかを思い出してメモを作る 復習:授業内容の振り返りを行う	3時間

第6回	対面	第6回　ソーシャルメディアと観光情報の発信 ○観光情報を発信し、観光してもらって地域活性化にどう結び付けるか	予習：各自がどこかに観光に行きたいと思う場所を考え、観光情報をどう得るかについてメモを作る 復習：授業内容の振り返りを行う	3時間
第7回	対面	第7回　ソーシャルメディアと地域商社 ○地域にある商品を企画・開発・製造・PR・販売するのが地域商社の役目であるが、そのPRをソーシャルメディアでどうすればよいか	予習：各自が自宅の地域にある商品を1つ取り出し、それをPRして販売するにはどうすればよいかを考えてメモを作る 復習：授業内容の振り返りを行う	3時間
第8回	対面	第8回　ソーシャルメディアと動画での情報発信 ○情報発信を動画で行う時、どうすれば効果的に情報が伝わるか	予習：情報発信をすべき内容の動画とは何で、どんな内容であればよいと思うかを考えて、メモを作る 復習：授業内容の復誉を行う	3時間
第9回	対面	第9回　ソーシャルメディアと広告 ○ソーシャルメディアを活用した広告（特に、インターネット広告）はマス4媒体よりも有効か	予習：新聞記事検索等で、インターネット広告の事例を調べておく 復習：授業内容の振り返りを行う	3時間
第10回	対面	第10回　中間レポートの講評・フォローアップ ○中間レポートの講評を行う ○情報を追加し、フォローアップを行う	予習：自分が執筆・提出した中間レポートを見直す 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、中間レポートの加筆・修正を行う	6時間
第11回	対面	第11回　グループディスカッションの準備 ○グループディスカッションのやり方、お題の解題の仕方（問題の構造化）、解決提案の作り方 ○グループディスカッションの採点側の採点基準を知る	予習：google検索等で「グループディスカッションのやり方」「問題の構造化」を調べておく 復習：グループディスカッションは単位認定の配点が大きく、就職活動にも必須なので、動画を繰り返し視聴して、主体的に取り組めるようにしておく	6時間
第12回	オンデマンド	第12回　グループディスカッション① ○第1回目のグループディスカッションを行う ○授業時間内に、チームでまとめた解決提案をリーダーが担当教員に紙で提出する	予習：前回のグループディスカッションのやり方等を見直しておく 復習：今回のグループディスカッションの内容を振り返り、解決提案の内容をプレゼンテーションできるようにしておく	6時間
第13回	対面	第13回　グループディスカッション①の講評とフォローアップ ○前回行ったグループディスカッション①の講評を行う ○情報を追加し、フォローアップを行う	予習：提出した解決提案のプレゼンテーションができるようにしておく 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、解決提案の加筆・修正を行う	6時間
第14回	対面	第14回　グループディスカッション② ○第2回目のグループディスカッションを行う ○授業時間内に、チームでまとめた解決提案をリーダーが担当教員に紙で提出する	予習：第1回目のグループディスカッションのやり方・解決提案等を見直しておく 復習：今回のグループディスカッションの内容を振り返り、解決提案の内容をプレゼンテーションできるようにしておく	6時間
第15回	対面	第15回　まとめ、グループディスカッション②の講評とフォローアップ ○前回行ったグループディスカッション②の講評を行う ○情報を追加し、フォローアップを行う ○本授業のまとめを行う	予習：提出した解決提案のプレゼンテーションができるようにしておく 復習：講評・フォローアップの内容を参考に、解決提案の加筆・修正を行う。また、これまでの授業内容を各自で振り返る	6時間

科目名	メディアと広告	開講年度	2023年度春学期
担当者	石川　靖之	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	メディアと広告に関する知識と企画作成を通したメディアリテラシーの獲得		
授業の目的及び概要	情報通信技術の発達により、SNS(Social Networking Service)等のメディアが多様化し、広告活動のあり方は大きく変化しています。この授業では、現代社会における広告の現状とあるべき姿、そして今後の課題について具体的な事例や実践を通して学修することで、メディアリテラシーを養成していただきます。 また、毎回授業前に達成すべき目標を「目標管理シート」を使って自ら設定。授業終了後に達成できたかを自己評価することで、目標達成の仕方と目標達成意識の醸成につなげます。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	広告の役割と多様化するメディアの特徴を学んだ後、実際のコミュニケーション企画や広告を作成することで、メディアリテラシーの習得を目標とします。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	講義授業の翌週は、前回の復習を行います。また、実践課題はラーニングポータルにアップしていただき、後日フィードバックいたします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、リクルートで採用広告制作を5年、制作会社でイベントや各種広告・販促物・音楽の企画制作等で15年の勤務経験を経た後、自らの会社を起業。大手企業から行政、中小企業まで幅広いクライアントを対象に広告・マーケティング分野で30年以上の実務経験を有しており、現在も現役プランナーとして活動している。本科目では、これらの実務経験を活かして、具体的な事例を挙げながら、メディアと広告の関連性や機能、課題、今後の可能性について解説する。		
テキスト	指定しません。ラーニングポータルにアップする講義資料(パワーポイント等)を用いて行います。	ISBN	指定しません。
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	70	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	「約束を守る」こと。これが社会人になってまず問われる能力です。授業を通して約束を守る習慣を身につけながら、いかに自ら積極的に行動できるかがポイントです。受講者自身の積極的な参加と継続的な向上心が必要。出席と提出物だけでは単位取得はできません。 授業及び課題作成はマイクロソフト社のパワーポイントを使用しますので、パワーポイントがないと受講できません。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	●ガイダンス～教員自己紹介。授業の進め方・注意点について説明	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間
第2回	対面	●メディア、広告とは？～メディアの定義、広告の種類や目的・機能、現状課題、実際に伝わる広告とは？	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間
第3回	対面	●広告を取り巻く動向～広告が抱える課題や今後の可能性について	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間
第4回	対面	●ネット時代のメディア分類～Triple Media(Paid、Owned、Earned)	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間
第5回	対面	●メディアの種類と特徴①～マスメディア	事前:当日の授業で達成したい目標を決めておくこと(1時間程度) 事後:「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと(2時間程度)	3時間

第6回	対面	●メディアの種類と特徴②～インターネットメディア	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと（2時間程度）	3時間
第7回	対面	●メディアの種類と特徴③～インターネットメディア（動画広告）	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと（2時間程度）	3時間
第8回	対面	●メディアの種類と特徴④～プロモーションメディア	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと。気になる広告を探し提出（4時間程度）	5時間
第9回	対面	●これまでの復習／あなたの周りの広告提出物解説 ※提出された課題の中から一部を解説します。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと。課題提出（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと（2時間程度）	3時間
第10回	対面	●AIDMAからAISASへ～ネット時代の消費者の情報処理行動の変化、カスタマージャーニー	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと（4時間程度）	5時間
第11回	対面	●コミュニケーション戦略企画 これまで学んだことを活用し、さまざまなメディアを組み合わせたコミュニケーション戦略企画の立て方をお教えします。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載した授業資料に目を通し、不明点をなくしておくこと。提出課題作成（4時間程度）	5時間
第12回	対面	●実践①～課題作成 提示した課題のコミュニケーション戦略（メディアの活用方法）を考えていただきます。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと。課題提出（1時間程度） 事後：次回課題に向け情報収集しておくこと（4時間程度）	5時間
第13回	対面	●広告作成 前回に立案したコミュニケーション戦略で使われる各メディアごとの広告表現についてお教えします。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと。発表準備（3時間程度） 事後：課題作成（3時間程度）	6時間
第14回	対面	●実践②～課題作成 コミュニケーション戦略の中での、各広告表現を考えていただきます。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：「Learning Portal」に掲載したこれまでの授業資料に目を通し、復習しておくこと（4時間程度）	5時間
第15回	オンデマンド	●全体総括 オンデマンド動画で、これまで授業で学んできたことのおさらいをします。	事前：当日の授業で達成したい目標を決めておくこと（1時間程度） 事後：最終のまとめを復習し、本科目で学んだことを身に着けること（4時間程度）	5時間

科目名	社会心理学	開講年度	2023年度春学期
担当者	竹井　夏生	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	多様性や異質性を尊びながら、「私」、「他者」、「社会」とそのダイナミズムについて学んでいく。		
授業の目的及び概要	この授業では、社会との関係における個人の心理を考察するとともに、社会のなかにある心理的な側面から、人々の心理や行動に対する理解を深めることを目標とする。また著名な社会心理学の研究を紹介しながら、社会的動物である人間の行動や認知、他者と共に生活することの意味やその影響について考察する。加えて、人間関係、集団過程と組織行動、説得的コミュニケーション、広告と消費行動等の関係性について、心理学的基本概念や臨床的問題、臨床的な援助法の具体事例から理解を深める。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・社会に出る準備段階にいる受講生が、社会や集団の中で起こりうることについて知り、備え、またそこに生きることになる「私」についての洞察を深めながら、よりたくましくかつしなやかに社会を生き抜くことができるようになることを目標とする。 ・多様性や異質性を重んじ国際社会を共生していくための土台を築くことを目指す。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	講義についての質問のほか、コメントシート、試験などについてさらに深く考えたいという学生に対しては、随時その機会を設ける。		
アクティブ・ラーニングの取組み	グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しない(こちらでレジュメを準備する)。	ISBN	なし
参考書	・以下は参考書として、関心があれば手に取ってほしい。 ①現実の社会的構成―知識社会学論考, ピーター・バーガー・トーマス・ルックマン(著), 山口節郎(訳), 新曜社, 2003年 ②べてるの家の「非」援助論―そのままでいいと思えるための25章(シリーズケアをひらく), 浦河べてるの家(著), 医学書院, 2002年 ③アリアドネからの糸, 中井久夫(著), みすず書房, 1997年	ISBN	① ISBN: 978-4-788-50839-2 ② ISBN: 978-4-260-33210-1 ③ ISBN: 978-4-622-04619-6

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	受講生一人一人が、私―他者―社会という結びつきの中で生きていることに自覚的になりながら、その結びつきをよりよいものにしていくことができるよう、受講生とともに考えていく時間にしたい。国籍、文化、言語などが異なる人々と関わる上で、私という存在を大切に保ちながら、他者をも重んじ、よりよい社会を築いていくための小さな礎となるような講義にしたい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	社会心理学への導入―人、人と人、人と社会(1) 社会心理学的なものの見方を踏まえながら、心理臨床事例や社会事象に触れてみる。私たちが現在経験しているパンデミックの事態についても議論してみたい。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第2回	対面	社会心理学への導入―社会心理学への導入―人、人と人、人と社会(2) 前回の内容を引き続き深めていく。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第3回	対面	社会構成主義とナラティヴ(1) 「現実は社会的に構成される」―真実や事実とよばれるものは、普遍の真理としてのそれではなく、社会や文化といった特定の集団において共有された「共同幻想」に過ぎない―たとえば「疾患(をもつ者)」や「逸脱(者)」といった存在はその集団において、その集団の秩序維持のために、マージナルかつネガティヴな立ち位置に排除され釘づけされた人々であり概念ではないのだろうか。そのようなものの見方について学んでいきたい。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間

第4回	対面	社会構成主義とナラティヴ(2) 前回の内容を引き続き深めていく。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第5回	対面	言説・知・権力―フーコーを手掛かりにして フランスの哲学者フーコー(Michel Foucault, 1926-1984)は、あらゆる「逸脱」やマイノリティ―「狂気」、犯罪、性的なそれなど―の側に立ちながら、それらが統率され支配されていく社会集団のあり方についての議論を展開してきた。そのうちここでは、特に精神疾患に関わる「知(savoir)」、「言説(discours)」、「権力(pouvoir)」、といった概念やものの見方について学んでいきたい。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第6回	対面	セラピューティック・コミュニティ 北海道浦河町にある統合失調症をもつ人々を中心とした「べてるの家」というコミュニティについて。「幻聴」、「妄想」といった統合失調症特有の「症状」を人間としてのかけがえのない「苦労」や「悩み」として、「ひと」が「ひと」として生き、つながっていくための貴重な財産としてともに生きる―このような治療共同体(therapeutic community)についてともに考えてみたい。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第7回	対面	集団力動と家族療法(1) 「痛みは低きところに寄せ集まる」―家族や組織といった集団においては往々にして、弱い立場の者やマイノリティがスケープゴートしてその集団に遍在する「抱えきれないもの」を引き受けさせられることがある。クライン(Klein, M)の「投影同一視」、ビオン(Bion,W. R)「Ps⇔D」といった考えを借りながら、集団において生じる力動に気づき、それを生き抜くための手掛かりを見出したい。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第8回	対面	集団力動と家族療法(2) 前回の内容を引き続き深めていく。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第9回	対面	集団力動と家族療法(3) 前回の内容を引き続き深めていく。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第10回	対面	いじめのある世界に生きることになったときには―(1) いじめのある世界でその矢面に立たされているとき、人 はどのような思いを味わうことになるのだろう。たとえば―自分を惨めで卑小な存在だと感じてしまったり、起こっている状況に対して自分が間違っているのだと捉えてしまったり、いまや孤立無援で状況はもはや変わるものではないと諦めてしまったり、加害者に隷属し進んで協力さえしてゆくなかで、自分ですら自分自身を嫌悪してしまったり―。そして自分自身がその矢面に立たされたときに、あるいはそばにいる誰かがそのような思いを味わっているときに、自分は何ができるのだろう。『いじめのある世界に生きる君たちへ』(中井久夫)、あるいはその原著論文である「いじめの政治学」(中井著『アリアドネからの糸』収蔵)を手掛かりにして、精神分析的な集団力動論の観点からこのことについて受講生たちと話し合ってみたい。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第11回	対面	いじめのある世界に生きることになったときには―(2) 前回の内容を引き続き深めていく。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第12回	対面	村上春樹作品を読む(1) これまで学んだ観点から、村上春樹の作品を読んでみる。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第13回	対面	村上春樹作品を読む(2) 前回の内容を引き続き深めていく。	1. 配布したレジュメを各自振り返り、次回の講義に円滑に参加できるよう備えておくこと。 2. 講義で抱いた関心や疑問点などがあれば、次回の講義で質問できるようにしておくこと。 3. 関心のある学生は、レジュメで取り上げた文献に触れてみること。	4時間
第14回	対面	講義の振り返りと対話(1) これまで学んだ考え方やものの見方を、対話形式で振り返り定着を図る。	学期を通して学んだことを総括すべく、これまで配布したレジュメ全体を振り返っておくこと。	4時間
第15回	オンデマンド	講義の振り返りと対話(2) これまで学んだ考え方やものの見方を、対話形式で振り返り定着を図る。	学期を通して学んだことを総括すべく、これまで配布したレジュメ全体を振り返っておくこと。	4時間

科目名	ディベート実践	開講年度	2023年度春学期
担当者	廣本　寿夫	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	論理思考をベースとしたディベート実践力を鍛えます。 Ⅰ論理思考の基礎 Ⅱ問題解決のプロセス Ⅲディベート実践 ※基礎知識は、講義動画で学び、ワーク・ディベート演習は、文章(シナリオ作成)で行います。		
授業の目的及び概要	オンデマンド型(講義映像＋テキスト)でディベート実践力を学びます。 ディベートの前提として、論理思考力を鍛えます。 そして、ディベートの本質となる論述力を鍛えます。 ・論理的な思考方法が修得できる。 ・課題を構造的に抽出できる。 ・原因と影響を論理的に分析できる。 ・ディベート実践を想定し、そのシナリオを文章で論述できる。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバルビジネスで必要不可欠な論理思考力、論述力を磨き上げ、ディベートの基本を学びます。 ・ディベートの基本が理解できる。 ・論理的思考力を向上する。 ・情報を体系的に整理できる。 ・問題の原因と分析が体系的にできる。 ・ディベート演習を通じて、論述力が向上できる。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	毎回提出する課題のフィードバックを、次回の講義の最初に講義映像等を活用し行う。 適時メールでのコミュニケーション ※必要に応じてZOOMでの個別(グループ)対話		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	(株)ワイドブック　制作 「論理思考でディベート実践」　1，650円(消費税込み)必ず購入してください。 学内・丸善ショップで購入できます。	ISBN	無し　自社出版
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	70	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	オンデマンド型講義(講義映像＋テキスト)で学習します。 ディベートに必要な、論理思考力、問題解決力、論述力を鍛えます。 ※テキストは、15章構成のノート形式となっております。 1回1回の講義が、1~15章の各章に対応し、予習復習の内容が明記されております。 履修にあたっては、 　※留学生は、特に注意してください。日本語で論述ができるレベルになってから受講してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	1章　ディベートの全体像 オリエンテーション ・ディベートの全体像 ・論理思考と問題解決力の必要性 テキストは、15章構成になっており、各回1章ずつ展開します。(必ず購入してください)	1回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。 ※1回1回の講義が、1~15章の各章に対応し、予習復習の内容が明記されております。 テキストが無いと、予習・演習ができませんのでで必ず購入してください。	4時間
第2回	オンデマンド	1. 論理思考とは？	2回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第3回	オンデマンド	「論理思考とは？」ワーク	3回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間

第4回	オンデマンド	2. 帰納法と演繹法	4回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第5回	オンデマンド	3. 漏れなく、ダブりなく！	5回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第6回	オンデマンド	4. 4つの思考法	6回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第7回	オンデマンド	5. カード型ブレーンストーミング	7回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第8回	オンデマンド	問題解決のプロセス	8回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第9回	オンデマンド	6. 影響分析 7. 原因分析 8. 見える化 ゴール設定 戦略・アクションプラン策定	9回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第10回	オンデマンド	信頼関係を構築するコミュニケーション	10回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第11回	オンデマンド	ディベートと論述力	11回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第12回	オンデマンド	ディベート実践演習	12回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第13回	オンデマンド	ディベート実践演習	13回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第14回	オンデマンド	ディベート実践演習	14回目のレポートを記述し、レポートをメールで提出してください。	4時間
第15回	オンデマンド	15章　総括・振り返り・アクションプラン ・総括 ・振り返り ・アクションプラン ・決意表明	アクションプランを実践してください。	4時間

科目名	ビジネス交渉	開講年度	2023年度春学期
担当者	廣本　寿夫	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ビジネスにおける「営業・交渉・提案」の基礎を学びます。様々なワークで、「三方よしの交渉学」、「ハーバード流交渉学」、「行動経済学」のエッセンスを体系的に学びます。		
授業の目的及び概要	講義は、オンデマンド型(講義映像＋テキスト)で行います。 この授業では、ビジネスにおける交渉の理論を学修し、ロールプレイ等を通して提案力・交渉力を向上します。 交渉のノウハウとして「三方よしの交渉学」、「ハーバード流交渉学」、「行動経済学」のエッセンス活用します。 また、実際のビジネスシーンで必要となる組織内外のステークホルダーとの「交渉」ついて学びます。 総合演習では、体系的な提案・交渉のシナリオを策定します。 ※15章構成のテキスト(ノート形式で空白に記入)をベースに行います。 予習・復習の内容もテキストに明記しておりますので必ず購入してください。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	グローバルビジネスで必要不可欠な交渉学を学びます。 ・ビジネスシーンで最も重要な営業・提案・交渉のプロセスが理解できる。 ・三方よしの交渉の意味と価値を理解・実践できる。 ・信頼関係を構築するコミュニケーションを理解・実践できる。 ・価値観・タイプを理解し、適切なコミュニケーション・交渉ができる。 ・ハーバード流交渉学の体系とエッセンを理解・実践できる。 ・行動経済学の体系とエッセンスを理解・実践できる。 ・学習したノウハウを駆使し、実践交渉ができる。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	授業開始時の対話 授業中での対話 授業終了時の対話 適時メールでのコミュニケーション		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	(株)ワイドブック 「三方良しの交渉学」 1，650円(消費税込み)必ず購入してください。 学内・丸善ショップで購入できます。	ISBN	無し　自社出版
参考書		ISBN	

成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	70	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	ワークを中心に「提案力・交渉力」を鍛えます。 論理思考力に加え、人のマインドを考慮した交渉力を学びます。 ※毎回ワークを行います。レポートの提出は、論述形式を基本とします。 ※15章構成のテキスト(ノート形式で空白に記入)をベースに行います。 予習・復習の内容もテキストに明記しておりますので必ず購入してください。 履修にあたっては、 ・日本語がビジネス交渉を行えるレベルであること。 ※留学生は、特に注意してください。日本語でビジネス交渉ができるレベルになってから受講してください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	第1章 交渉とビジネス オリエンテーション＆受講者選抜	事後学習 自己アピールスピーチ(1分)の準備をしてください。	4時間
第2回	オンデマンド	第2章　交渉の基本：自己アピールと信頼関係の構築 自己アピール、会社アピール、商品アピール実践演習 「買わない3つの疑問」と提案演習	事後学習 学習した内容の復習と第3回　営業提案・交渉のプロセスの準備を行ってください。	4時間
第3回	オンデマンド	第3章　営業提案・交渉のプロセス 営業提案・交渉のプロセスの確認と実践ワーク	事後学習 学習した内容の復習と第4章　交渉とコミュニケーションの準備を行ってください。	4時間

第4回	オンデマンド	第4章　交渉とコミュニケーション 相手の心の窓を開く6つの話法活用した交渉演習	事後学習 学習した内容の復習と第5章　タイプと価値観の準備を行ってください。	4時間
第5回	オンデマンド	第5章　タイプと価値観 タイプ別交渉演習 価値観別交渉演習	事後学習 学習した内容の復習と第6章　ハーバード流交渉学　分配型交渉の準備を行ってください。	4時間
第6回	オンデマンド	第6章　ハーバード流交渉学　分配型交渉 分配型交渉のノウハウと活用演習	事後学習 学習した内容の復習と第7章　ハーバード流交渉学　統合型交渉の準備を行ってください。	4時間
第7回	オンデマンド	第7章　ハーバード流交渉学　統合型交渉 統合型交渉のノウハウと活用演習	事後学習 学習した内容の復習と第8章　提案・交渉総合演習Ⅰの準備を行ってください。	4時間
第8回	オンデマンド	第8章　提案・交渉総合演習Ⅰ キーマン分析、人間関係マップ、商品分析	事後学習 学習した内容の復習と第9章　提案・交渉総合演習Ⅱの準備を行ってください。	4時間
第9回	オンデマンド	第9章　提案・交渉総合演習Ⅱ 仮説とゴール設定、交渉の戦略策定、プロセス確認、リスク分析	事後学習 学習した内容の復習と第10章　提案・交渉総合演習Ⅲの準備を行ってください。	4時間
第10回	オンデマンド	第10章　提案・交渉総合演習Ⅲ 提案・交渉のシナリオ策定＆リハーサル	事後学習 学習した内容の復習と第11章　提案・交渉総合演習Ⅳの準備を行ってください。	4時間
第11回	オンデマンド	第11章　提案・交渉総合演習Ⅳ 提案・交渉実践演習	事後学習 学習した内容の復習と第12章　行動経済学Ⅰの準備を行ってください。	4時間
第12回	オンデマンド	第12章　行動経済学Ⅰ 行動経済学のノウハウと活用演習Ⅰ	事後学習 学習した内容の復習と第13章　行動経済学Ⅱの準備を行ってください。	4時間
第13回	オンデマンド	第13章　行動経済学Ⅱ 行動経済学のノウハウと活用演習Ⅱ	事後学習 学習した内容の復習と第14章　ビジネス交渉総合演習（上司との交渉）の準備を行ってください。	4時間
第14回	オンデマンド	第14章　ビジネス交渉総合演習（上司との交渉） 上司を味方にするコミュニケーション・交渉演習	事後学習 アクションプランを策定してください。	4時間
第15回	オンデマンド	第15章 まとめ・総括 アクションプラン 決意表明	事後学習 アクションプランを実践してください。	4時間

科目名	日本経済論	開講年度	2023年度春学期
担当者	金子　治平	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本経済の歴史的発展や現在の経済諸事象を相互に関連づけながら説明します.		
授業の目的及び概要	この授業は，日本を対象として経済諸事象相互やそれに関連する政策を，歴史的展開も考慮しながら関連づけて理解してもらうことを目的とします. この授業を受講することにより，新聞やテレビ・ラジオで話題となっている経済用語や諸事象，およびそれらに関連する政策を，相互に関連づけて理解する基本的知識を身につけます.		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	日本の経済事象に関する基本的知識を習得し，日本の経済的な問題を考察・検討する能力を身につけることを目標とします.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業支援システム「Learning Portal」上で質問を受け付けて，翌週の授業で説明します.		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	使用しません. 資料は，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードします.	ISBN	なし
参考書	① 宮崎勇・本庄真・田谷禎三(2021)『日本経済図説 第五版』(岩波新書)岩波書店 ② 大守隆(編)(2021)『日本経済読本(第22版)』東洋経済新報社	ISBN	① 9784004318781 ② 9784492100370

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	60	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	40	その他(%)			

この科目の履修にあたって	経済や社会の状況に関心を持ち，積極的に新聞・雑誌を読んだりテレビ・ラジオのニュースを見聞きしたりすることを求めます. 毎回の講義の1週間後に，ラーニングポータルで小テストを実施します. 毎週，きちんと復習することが必要です.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	日本経済の歩みと現代(1) 明治維新の諸改革が，その後の経済発展の基礎を作ったことを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第2回	対面	日本経済の歩みと現代(2) 日本の歴史を通じて，インフレ・デフレ，円安・円高の効果も学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第3回	対面	日本経済の歩みと現代(3) 高度経済成長期以降の日本経済の変化を学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第4回	対面	国民経済計算(1) 仮想的な簡単な国を想定して，GDPとは何かを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第5回	対面	国民経済計算(2) 日本の国民経済を表した図を使用して，経済が循環していることや，GDPで「豊かさ」や「幸せ」を測ることの問題点を学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第6回	対面	国民経済計算(3) 名目GDPと実質GDPの違い，および両者と関係する物価指数を学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間

第7回	対面	消費者物価指数 消費者物価指数がどのようにして作られているのか，どのように利用されるのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第8回	対面	前半の振り返り	事前学習として，これまでの授業を振り返り，理解した点や疑問点などを再度整理しておいてください. 事後学習として，前半で理解できなかった部分を理解し，定着するようにしてください.	4時間
第9回	対面	政府の財政と経済（1） 日本の政府の財政はどのようになっているのか，経済とどのような関係があるのか，どのような問題点があるのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第10回	対面	政府の財政と経済（2） 政府から地方公共団体に交付される地方交付税の仕組み，地方財政などについて学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第11回	対面	労働市場と失業率 労働市場とは何なのか，完全失業率は何を示していて，経済とどのように関連しているのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第12回	対面	日本の国際収支 国際収支は何を示しているのか，日本の国際収支は日本経済の変化をどのように表しているのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第13回	対面	日本の景気循環 「月例経済報告」を資料として，主として2000年代以降の日本について，世界や日本の出来事と景気の関係について学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第14回	対面	外国為替レート 名目為替レートや実質為替レートとは何か，それらは貿易にどのような影響を与えているのかを学びます.	事前学習として，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードした資料に目を通しておいてください. 事後学習として，各自の講義ノートと資料を確認して，理解した点や疑問点などを整理しておいてください.	4時間
第15回	オンデマンド	後半部分の振り返り	事前学習として，理解できていない箇所を掘り下げておいてください. 事後学習として，定期試験に向けて，理解を定着するように復習してください.	4時間

科目名	経済政策概論	開講年度	2023年度春学期
担当者	今井　健一	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	日本経済とグローバル経済を通して経済政策の基礎理論と実践について学ぶ。		
授業の目的及び概要	本授業は、日本経済とグローバル経済を通して、一国の経済政策についての理解を深めることを目的とする。私たちの暮らしの基盤である経済は、常に何らかの課題(例えば、経済成長、所得格差、失業、環境保全など)を抱えている。本授業では、時代の推移と共に変化する様々な経済課題の改善に向けて、どのような経済政策が有効となり得るのかについて学んでいく。より具体的には、政府による市場への介入、経済政策の両輪である財政・金融政策、所得再分配政策などに加えて、国際的な協調を必要とする分野、特に、国際貿易、国際通貨システム、気候変動問題に関連した経済政策の基礎理論と実際について学んでいく。この授業を通して修得する日本経済とそのグローバル経済との繋がりについての理解は、国際ビジネスや国際機関を含むグローバルキャリアにおいて活かすことができる。		
履修の条件・注意	「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」や「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本授業では、講義に加えて、授業テーマに関連した質問を出題する(課題)。本授業の学修における到達目標は、次のとおりである。まず、(1)課題への答えを自ら考え、あるいは調べることを通して、授業で学ぶ経済の仕組みや経済政策、あるいは日本経済やグローバル経済についての理解をさらに深めていくことである。そして、(2)自ら考え、そして調査・分析していく力(受動的に学ぶのではなく、能動的に学んでいく力)を身に付け、この能動的な学びを習慣として身に付けることである。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で出題する課題については、その回答につき授業において解説・質疑応答・ディスカッションを行うと共に、優れた回答についてはクラスで紹介していく。また、中間試験については、採点した上で講評・解答解説・質疑応答を行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	PBL(課題解決型学習)／ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	経済政策入門, 藤川清史 編, 法律文化社, 2020年	ISBN	9784589040855
参考書	なし	ISBN	なし

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	20
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)			

この科目の履修にあたって	経済政策は、経済学にたくさんある応用分野の一つです。よって、本授業で経済政策を学ぶにあたっては、経済学(具体的にはミクロ経済学とマクロ経済学)入門レベルの知識が役立ちます。本授業で初めて聞く経済用語や経済的概念については、最初、難しく感じるかもしれませんが、何かを初めて学ぶときは何でもそうです。経済学を学んだことがない人でも理解できるよう、出来るだけわかりやすく説明していきます。経済は私たちの暮らしの基盤です。経済のしくみを知ることは、どのような職業に就いても、あるいは世界のどこで暮らしても必ず役立ちます。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の目的及び概要、学修の到達目標、授業計画等について、ガイダンスを行います。	【予習】シラバスとテキストの「『経済政策入門』の出版にあたって」と「目次」の箇所をを事前に読んでおいてください。 【復習】シラバスを読み直し、講義で得た内容を確認してください。	2時間
第2回	対面	「市場のメカニズム」と「市場の失敗」について学ぶ。	【予習】テキストの「第1章　ミクロ経済政策理論」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第3回	対面	マクロ経済の最も重要な指標である「GDP」について学ぶ。	【予習】テキストの「第2章　国民経済計算」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第4回	対面	「財の市場」と「貨幣の市場」について学ぶ。	【予習】テキストの「第3章　マクロ経済政策理論」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間

第5回	対面	経済政策の両輪の一つである財政政策について、「日本の財政の現状と課題」をとおして学ぶ。	【予習】テキストの「第4章　財政政策1：財政の機能と財政政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第6回	対面	財政政策を「経済安定化」の視点から学ぶ。	【予習】テキストの「第5章　財政政策2：経済安定化政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第7回	対面	財政政策を「所得再分配」の視点から学ぶと共に、所得の不平等を計る指標である「ジニ係数」について学ぶ。	【予習】テキストの「第6章　財政政策3：所得再分配政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】①講義で学んだ重要ポイントを確認してください。 ②次回授業で実施される中間試験に備えて、第2回～第7回授業の講義内容（課題も含む）を復習してください。	5時間
第8回	対面	①中間試験の実施。 ②経済政策の両輪のもう一つである金融政策を日本の中央銀行である「日本銀行」による政策を通して学ぶ。	【予習】テキストの「第7章　金融政策1：貨幣と金融政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第9回	対面	①中間試験の講評・解答説明・質疑応答。 ②時代の推移と共に変化してきた日本銀行の金融政策について学ぶ。そして、自国の中央銀行が直面している課題について調査する。	【予習】テキストの「第8章　金融政策2：金融政策の理論と歴史」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で得た重要ポイントを確認すると共に、自国の中央銀行が直面している課題について調査する。	4時間
第10回	対面	「物価変動」の原因と対策、「失業」の原因と対策、そして、物価と失業の関係について学ぶ。	【予習】テキストの「第9章　物価と失業」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第11回	対面	「経済成長」の問題点について考える。	【予習】テキストの「第10章　経済成長政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第12回	対面	グローバル化における貿易政策について学ぶ。	【予習】テキストの「第11章　貿易政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第13回	対面	「為替レート」と「国際経済取引」について学ぶ。	【予習】テキストの「第12章　国際通貨システムとマクロ経済政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で出題された課題がある場合は、答えを次回の授業までに考えておいてください。	4時間
第14回	対面	気候変動問題の解決に向けた経済政策について学ぶ。	【予習】テキストの「第14章　地球温暖化防止政策」を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認してください。	4時間
第15回	オンデマンド	定期筆記試験に備えて、第2回～第14回授業の講義内容（課題内容も含む）における重要項目についての理解度を再確認することを目的として、オンデマンド授業を実施する。	【予習】第2回～第14回授業の重点ポイントを再度確認し、理解が不十分である項目についてはリストアップし、第15回オンデマンド授業の前日までにLearning Portralより提出してください。	5時間

科目名	Japanese Economy	開講年度	2023年度春学期
担当者	今井　健一	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	英語で日本経済の歩み、現状、そして将来の見通しについて学ぶ。		
授業の目的及び概要	本授業は、英語で日本経済の歩み、現状、そして将来について学ぶことを目的とする。具体的には、授業前半では、日本経済の戦後復興、高度経済成長、石油ショック、バブル経済とその崩壊、そして現在までの推移について学ぶ。授業後半では、日本経済の現状と見通しについて、少子高齢化と雇用、社会保障と財政、気候変動問題と経済成長、エネルギー政策、地方経済などの側面から他国との比較も交え学んでいく。授業では、以上の日本経済の推移、そして特定の側面からみた日本経済の現状と見通しをデータも踏まえながら学んでいく(データを通して、日本経済を客観的、論理的に分析)。本授業では、英語によるレクチャー、Q&A(質疑応答)、ディスカッションに加えて、特定の課題についてのプレゼン、プレゼン用サマリー作成を授業形態として採り入れる。本授業をとおして修得する「英語で経済のしくみと実際を理解・発信していくための基礎力」は、あらゆる種類のグローバルキャリアにおいて活かすことができる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業の学修の主な目標は以下の通りである。 1. 日本経済や世界経済のデータを英語で読んで、分析できる基礎力を高める。 2. 日本経済の現状について英語で考えて、英語で説明できる基礎力を高める。 3. 日本経済の将来の見通しについて英語で考えて、英語で話せる基礎力を高める。 4. 英語でコミュニケーションできる力を高める。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	授業で出題される課題について、調査、分析、調査・分析結果のサマリー作成、そしてプレゼンテーション(Q&A、ディスカッションを含む)を行う。このようなプロセスを通して、授業で学んだ経済テーマについての理解を深めていくと共に、他のプレゼンテーションを聞くことでテーマについての視野を広げていく。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／プレゼンテーション、発表、報告		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しない。授業用資料をラーニング・ポータルに掲載する。	ISBN	なし
参考書	①The Japanese Economy, second edition, Takatoshi Ito・Takeo Hoshi, The MIT Press, 2020 ②Population and the Japanese Economy: Longevity, Innovation, and Economic Growth, Hiroshi Yoshikawa・Charles Stewart, 出版文化産業振興財団(JPIC), 2020 ③経済ニュース英語リーディング教本, 小西和久, 朝日出版社, 2007	ISBN	①9780262538244 ②9784866580562 ③9784255004099

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	50	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	50	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)	0		

この科目の履修にあたって	この科目は英語で日本経済を学びます。このように英語で特定の分野を学ぶことを一般的に「Content-based English」と呼びます。本科目を履修するにあたっては、(1) 経済学入門程度の経済についての知識がある(または1・2年次の時に経済関連科目を履修している)こと、加えて、(2) 英語力、例えばTOIEC 600点以上あることが、望ましいと言えます(但し、必須ではありません)。以上の2点を満たしていなくても、"是非、本科目を履修して、日本経済を学び英語力を高めたい"と高い意欲を持っている人は、是非履修してください。また、迷っている人は、第1回目の授業に出席し、担当教員に相談してみて下さい。皆さん、本科目で「日本経済を学び、そして英語力も高める」一石二鳥の実現にチャレンジしましょう！
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	①授業の目的及び概要、学修の到達目標、テキスト、授業計画等について、ガイダンスを行う。 ②授業開始に先立っての簡単なアンケート調査および英語力小テストの実施(事前準備は不要)。	【予習】シラバスとテキスト『英語で学ぶ日本経済』中のCONTENTS(目次)とPREFACE(はしがき)を事前に読んでおくこと。 【復習】シラバスを読み直し、講義で聞いた内容を確認すること。	2時間
第2回	対面	戦後から高度経済成長までの日本経済の歩み(1回目)について学ぶ。	【予習】テキストの「Chapter 1 Postwar through High Economic Growth Periood」を事前に読んでおくこと。読む箇所は、事前に指定します。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第3回	対面	戦後から高度経済成長までの日本経済の歩み(2回目)について学ぶ。	【予習】テキストの「Chapter 1 Postwar through High Economic Growth Periood」を事前に読んでおくこと。読む箇所は、事前に指定します。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間

第4回	対面	戦後から高度経済成長までの日本経済の歩み（3回目）について学ぶ。	【予習】テキストの「Chapter 1 Postwar through High Economic Growth Periood」を事前に読んでおくこと。読む箇所は、事前に指定します。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第5回	対面	戦後から高度経済成長までの日本経済の歩み（4回目）について学ぶ。	【予習】テキストの「Chapter 1 Postwar through High Economic Growth Periood」を事前に読んでおくこと。読む箇所は、事前に指定します。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第6回	対面	高度経済成長の後から現在までの日本経済の歩み（1回目）について学ぶ。	【予習】テキストの「Chapter 2 From High Economic Growth Period to Today」を事前に読んでおくこと。読む箇所は、事前に指定します。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第7回	対面	①高度経済成長の後から現在までの日本経済の歩み（2回目）について学ぶ。 ②【課題1】の説明：課題内容、調査・分析結果のサマリー作成、プレゼンテーションについて	【予習】テキストの「Chapter 2 From High Economic Growth Period to Today」を事前に読んでおくこと。読む箇所は、事前に指定します。 【復習】【課題1】について調べ、その調査・分析結果のサマリーを作成し、次回の授業でサマリー内容を発表する準備をすること。	6時間
第8回	対面	【課題1】のプレゼンテーション（全員）	【予習】プレゼンテーション準備	4時間
第9回	対面	「日本経済の現状と見通しについて：少子高齢化と雇用、社会保障と財政、気候変動問題と経済成長、エネルギー政策、地方経済などの側面から他国との比較も交え学ぶ」シリーズ（1回目）	【予習】指定されたテキストの該当ページ（または配布資料）を事前に読んでおくこと。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第10回	対面	「日本経済の現状と見通しについて：少子高齢化と雇用、社会保障と財政、気候変動問題と経済成長、エネルギー政策、地方経済などの側面から他国との比較も交え学ぶ」シリーズ（2回目）	【予習】指定されたテキストの該当ページ（または配布資料）を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第11回	対面	「日本経済の現状と見通しについて：少子高齢化と雇用、社会保障と財政、気候変動問題と経済成長、エネルギー政策、地方経済などの側面から他国との比較も交え学ぶ」シリーズ（3回目）	【予習】指定されたテキストの該当ページ（または配布資料）を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第12回	対面	「日本経済の現状と見通しについて：少子高齢化と雇用、社会保障と財政、気候変動問題と経済成長、エネルギー政策、地方経済などの側面から他国との比較も交え学ぶ」シリーズ（4回目）	【予習】指定されたテキストの該当ページ（または配布資料）を事前に読んでおいてください。 【復習】講義で学んだ重要ポイントを確認すると共に、講義で質問が出題された場合はその答えを考えておくこと。	4時間
第13回	対面	①「日本経済の現状と見通しについて：少子高齢化と雇用、社会保障と財政、気候変動問題と経済成長、エネルギー政策、地方経済などの側面から他国との比較も交え学ぶ」シリーズ（5回目） ②【課題2】の説明：課題内容、調査・分析結果のサマリー作成、プレゼンテーションについて	【予習】指定されたテキストの該当ページ（または配布資料）を事前に読んでおいてください。 【復習】【課題2】について調べ、その調査・分析結果のサマリーを作成し、次回の授業でサマリー内容を発表する準備をすること。	6時間
第14回	対面	【課題2】のプレゼンテーション（全員）	【予習】プレゼンテーション準備	4.5時間
第15回	オンデマンド	レポート試験（定期試験）についての説明。	【予習】事前に配布される“レポート試験”説明資料を読んでおくこと。 【復習】レポート執筆	6時間

科目名	中国経済論	開講年度	2023年度春学期
担当者	池上　寛	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	戦後の中国経済を概観し、中国経済の実態を知る		
授業の目的及び概要	この授業は、経済大国化した後の中国経済に関する講義を行う。グローバリゼーションによって、自国経済だけではなく、他国の経済を知ることも重要となっている。この講義では世界有数の経済規模を誇る中国経済を取り上げ、中国の経済発展を国内経済、歴史的流れ、経済分野における対外関係といった多岐にわたる内容から中国経済の実態を知ることを目的とする。日本と中国の関係は遣隋使や遣唐使の派遣を発端に、歴史的に見ても非常に長い期間交流を持ってきた。1972年の国交回復から50年を経て、日中関係は色々な問題を持ちつつも、日本と中国は互いに重要な国のひとつであることには変わりがない。本講義では戦後中国の経済に焦点を当てて、中国経済について体系的に論じる。また、講義の第1回、第2回では世界における中国経済を位置づけ、戦後中国の概説をしたうえで、中国経済について論じる。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	中国経済の現状や問題点を学習することができる 中国がどのような形で経済成長を成し遂げているのかを知ることができる		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回授業後に質問や疑問に思ったことを書いてもらい、それを次の講義の冒頭でフィードバックする。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは指定しない。講義の際に必要に応じて参考文献を指示する。ただし、 ジェトロ・アジア経済研究所編刊『アジア動向年報』(各年版)は以下のサイトに創刊(1970年)以来の全文が公開されている。中国の部分をダウンロードしてチェックしてもらいたい。 https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Books/Doko.html	ISBN	なし
参考書	梶谷懐(2018)『中国経済講義』中公新書2506　中央公論新社 丸川知雄(2021)『現代中国経済(新版)』有斐閣	ISBN	978-4121025067 978-4641221796

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	テレビなどで報じられていない中国経済の実態について知る機会としてもらいたい。また、日中の経済関係は密接に結びついていることも知る機会にしてほしい。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	オリエンテーション：世界における中国経済	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第2回	対面	戦後中国の概説	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第3回	対面	国営企業とその改革	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第4回	対面	市場経済システムとしての中国経済	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第5回	対面	産業構造の転換	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

第6回	対面	改革・開放路線：鄧小平の南巡講話	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第7回	対面	政府の役割	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第8回	対面	経済成長と格差（都市と農村、省）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第9回	対面	WTO加盟と貿易の拡大	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第10回	対面	「世界の工場」への道（対外投資と港湾の拡大）（オンデマンド講義）	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第11回	対面	一帯一路とアジアインフラ投資銀行（AIIB）の設立	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第12回	対面	対米関係：協調から米中対立へ	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第13回	対面	対日関係：国交回復と政冷経熱	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第14回	対面	新型コロナウイルス感染症と中国経済	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ：これからの中国経済の展望と課題	【予習】事前にシラバスの内容を確認し、授業の概要を把握すること。疑問があれば、講義の際に質問すること。 【復習】授業終了後、配布資料やノートを使って復習を実施すること。	4時間

科目名	中国経済論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	木下　英雄	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	戦後日中経済関係の歴史		
授業の目的及び概要	この授業は、改革開放後、特に経済大国化した後の中国経済の現状と課題について理解することを目標とする。具体的には、国交回復前の日中貿易の発展とその限界、国交回復後の日中貿易、ODA、日系企業進出等による日本の貢献等について解説する。また今年度は、昨年度に引き続き、米中経済関係の歴史と一帯一路、米中「新冷戦」についてもみていくこととする。また、北京オリンピックの効果も含めて、現代における中国の著しい経済発展の要因について理解するとともに、それによって生じる格差、貧困、環境汚染等の問題に焦点をあて、これらの諸問題の解決方法についても考察する。		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	2010年代後半には改善傾向が一時的にみられたものの、米国バイデン政権の対中強硬政策の同盟国を巻き込む形の遂行が行われる中、日本は世界各地への米中対立持ち込み、敵基地攻撃能力保有で、日中国交回復の50周年を祝うべき年であった昨年には、再び日中関係が険悪化の方向に進むようになってきました。90年代後半以降、長く険悪な関係が続いてきた日中関係も一時期は非常に良かった時期もありました。1980年代に日中間の蜜月期を形成した日本から中国へのODA経済援助は、戦後賠償免除とも密接なかかわりがあります。蜜月期には歴史認識問題はそれほど大きくは問われませんでした。日中間の経済交流の歴史を概観することは、日中関係自体を好転させるのに役立つはずであることはもちろんですが、東アジア諸国との良好な関係を今後築いていくために何が必要かを考えるヒントも与えてくれるでしょう。今後とも付きまとうと考えられる歴史認識問題への日本人の取り組み方を考えるとともに、日中間の戦後の経済交流の歴史を、 一、国交のなかった50年代、60年代、 二、国交回復後の良好な関係が築かれていた蜜月期を含む70年代から90年代前半、 三、悪化した関係の続く90年代後半以降 の3つの時期に区分して、それぞれの時期の経済交流の特徴とその交流に与えた日台関係、日米関係、中ソ関係、中米関係、中台関係などの影響などを理解する。社会にはいろんな状況に置かれた人たちが存在するが、それぞれの人の置かれた立場から考えて、どのような経済政策、貿易・投資政策、日中交流の在り方、それぞれの人の社会に向き合う態度が望ましいか、それぞれの人の利益に適うかを考えることが出来るようになることが重要です。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回授業の最後に質問時間を設けていますが、時間なかったり、質問しにくかったりする場合もあるかと思いますので、毎回の受講票に質問内容を書いておいてください。学会発表前や新しいプリントの作成の時には出来ないことも出て来るかとは思いますが、出来る限り次の授業で回答するようにしたいと思います。もし、答えて欲しい質問に回答がなかったり、回答が早く欲しい場合は、目立つように赤色など色のついたペンでもう一度書いておいてください。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	テキストは使用しません。	ISBN	テキストは使用しません。
参考書	①国分良成・渋谷芳秀・高原明生・川島真『日中関係史』有斐閣アルマ　2013年 ②毛里和子『日中関係』岩波新書、2006年 ③服部健治・丸川知雄『日中関係史Ⅱ　1972-2012　経済』東京大学出版会	ISBN	

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	40	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	10	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	50	その他(%)			

この科目の履修にあたって	日本人学生の皆さんには歴史認識問題に強くなり、日中関係の改善に貢献できる人になってもらえればと思います。中国人の皆さんには日本国内の現実をよく見て歴史認識問題が根強く残る要因と友好を育む大多数の日本人との付き合い方を考えてもらえればと思います。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	戦後日中関係を概観するビデオを見てもらいます。	ビデオの内容を中心とした、戦後日中関係を整理したプリントを配布しますので、それを見ておいてください。 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第2回	対面	日華平和条約とココムの制約下で始まった日中民間貿易(50年代)。50年代に国交のない状態で始められた民間の日中貿易はどのような環境にあったか。その貿易の特徴はどのようなものだったか。貿易協定で日本と中国、それぞれの基本的姿勢はどのようなものであったか。58年にいったん全面ストップした原因は?	50年代の日中関係に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は、参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p39-73 ②p1-14,p21-32,p36-42 ③p5-9 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間

第3回	対面	2つのチャンネルで行われた日中貿易(60年代)。60年代の2つの貿易チャンネルとは?経済政策重視の池田内閣の下で中国側の念願の工業プラント輸入を実現するためにとられた貿易の方式とは?これは通産省の役人の支持を取り付けて行われた半官半民の貿易とされるが、それに対し政府はどのような態度を取り、これを阻止するために台湾はどのような行動に出たか?	60年代の日中関係に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は、参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p75-104 ②p14-20,p33-35,p43-48 ③p9-13 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第4回	対面	米中接近と日中国交正常化。米中それぞれのどのような事情が米中接近へと向かわせたか。60年代後半に工業プラント貿易を可能にした貿易方式が、台湾の行動で失速していたが、70年の「周恩来四条件」はどのような効果をもたらしていたか。米中接近後、一気に日中国交正常化に突き進んだ要因は?	参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p105-128②p49-94③55-57 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第5回	対面	対ソ戦略提携と中国近代化路線の下で発展した日中貿易(70年代)。70年代の日中貿易の発展は、日中双方のどのような経済状況に基づくものか。1974年日中貿易協定で、対ソ戦略提携のもと米国が行った貿易規制緩和をまねたと考えられるその中身とは?1978年長期貿易協定により、ようやく日本政府も正式に承認して始められた工業プラント輸入にいったんストップがかかった要因は?またそれに対して日本側はどのような手を差しのべたか。	70年代日中関係について説明したまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は、参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p129-137,p142-145 ②p96-104 ③p58-63, p73-80,p123-130 さらに出来ればp81-95 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第6回	対面	改革開放政策とODA援助(80年代)。日本がODA援助を行い、中国がそれを受けることになったそれぞれの事情はどういうものか。米国からの対中ODA援助が少なく日本がダントツだった原因は?ODA援助実施に当たっては日本の省庁間で諸外国の懸念もあり対立があった。その対立はどのようなもので、どのような調整が図られたか。ODA援助に対して中国人の評価は?80年代の対中直接投資に多かった委託加工とは?	80年代の日中関係に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は、参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p145-167②p44-45,p104-128③p105-121,p131-137 さらに出来ればp139-163 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第7回	対面	天安門事件の背後の2つの経済路線勢力と日本。歴史的に重要な第11期3中全会ののち改革開放が直ちには始まらず、海外からの工業プラント輸入キャンセル問題を惹き起こす原因を作った勢力とは?それに対し、鄧小平はどのように行動し、日本はそれをどのように支えたか。天安門事件において学生、民衆は何に抗議していたか、それに対し武力鎮圧を行った異なる2つの方向の勢力とは?それに対して日本はどのような態度で臨んだか?	2つの経済路線勢力と日本の中国関与政策に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は、参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p160-167 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第8回	対面	南巡講話と外資企業、日系外資企業(90年代)。世界的対中投資ブームが起こった要因は?90年代に現地法人を設立した外資企業は何を目的として進出してきた企業が多いか。WTO加盟を果たすためにどのような規制緩和が行われたか。2000年前後から外資企業の進出目的で増えてきたのはどのような目的か?90年代後半以降、ODAの重点は環境協力に移行する。日本の環境協力について見ておく。	90年代の日中関係に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は、参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p172-181③p22-31,p46-47, p167-181, さらに出来ればp175-181, p219-243 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第9回	対面	台湾海峡危機、安保再定義、中国の高度経済成長と日中関係の悪化。95年くらいまでは日中関係は蜜月関係と言われるほど良好であったが、95年前後以降、一気に悪化した。その要因は何だったか。	参考書の該当箇所を見ておいてください。参考書①p181-201②p130-184 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第10回	対面	中国の海洋経済発展戦略。中国の海洋発展戦略とその土台となっている海洋経済発展戦略とはどんなものか。領有権問題における帰属についてどのように考えるべきか。中国、日本はそれぞれどのような根拠に基づいて自国領有権を主張しているか。	海洋経済発展戦略に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。また、余裕ある人は参考書の該当箇所を見ておいてください。①p232-247 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第11回	対面	米国の対中関与政策。米国は中国に対し、50年代のココムをはじめとして、経済関係の規制を行ってきた。中国からGATT、WTO加盟申請に対して、米国はどのように対応してきたか。中国がGATT、WTO加盟を申請するに至るまでおよび申請後、交渉し、実際に加盟を果たす中でどのような変化を遂げてきたか。	米国の対中関与政策に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第12回	対面	新たな外資導入政策と中国進出日本企業の特徴(2000年代以降)。2000年代の政冷経熱、2012年以降の政冷経冷の意味は? 外資企業の沿海部に集中している状況に対し、中国政府はどのような政策を打ち出したか。中国に進出した外資企業の中で、日本企業はどのような特徴を持っているか。	2000年代の日中関係に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。参考書①p203-231 ②p185-223 ③p247-256 p333-342 さらに出来ればp307-330 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第13回	対面	中国「一帯一路」政策。中国は、米国の制止を振り切って参加してきた英独仏伊含む70か国もの参加国を集めてAIIB(アジアインフラ投資銀行)を創設し、中国から欧州までを「シルクロード経済帯」(「一帯」)と「21世紀海上シルクロード」(「一路」)で結ぶために交通インフラを建設しそれを金融面から支えようとしている。具体的進行状況とともにその目的について見ておきます。	中国「一帯一路」政策に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。参考書の該当箇所なし。 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第14回	対面	米中関係の戦後史を見ることにします。新中国建国間もないころのココム、チンコム対中包囲網、米中接近後のチャイナカード時代、対中関与政策の時代と「新冷戦」に入る前の米中関係の歴史を見ていきます。	米中関係の歴史に関するまとめプリントを配布しますので、授業プリントとともに目を通しておいてください。参考書の該当箇所なし。 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間
第15回	対面	対中関与政策との決別と対中制裁の行方。米国トランプ政権は、TPPを離脱し、保護貿易政策を打ち出し、世界各国に自国第一主義の貿易政策、投資政策などを押し付けました。中国との間には米中貿易戦争など対中制裁が行われました。バイデン政権も、自国第一主義の政策は廃止したものの対中強硬路線は続いています。対中制裁の背景、具体的様相と日本への影響を見るとともに、今後あるべき世界経済秩序について考えることとします。	対中関与政策との決別と対中制裁に関するまとめプリントを配布しますので、授業で用いるレジュメとともに目を通しておいてください。参考書の該当箇所なし。 4時間勉強するのが通例だそうです。しっかり勉強しましょう。	4時間

科目名	アメリカ経済論	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	畑佐　伸英	**配当年次**	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	アメリカ経済の現状と課題		
授業の目的及び概要	世界第一の経済大国であるアメリカは、紛れもなくグローバル社会の中心的存在として、各国・地域の政治や経済の動向にも大きな影響を及ぼしている。 そのアメリカの経済の状況や構造を学んでいくことは、単にその国についての知識と教養を深めるのみならず、今後のグローバル経済の行方や国際政治の流れを読み解くうえでも重要なファクターとなる。 本講義では、こうしたアメリカと国際社会との関係にも注視しながら、現在のアメリカ経済の実態を様々な視点から平易に解説し、アメリカが抱えている経済的な問題や課題についても明らかにしていく。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	(1)アメリカ経済の実態について、あらゆる角度から説明できる。 (2)アメリカが直面している経済問題について理解し、その対応策を導き出すことができる。 (3)アメリカ経済と各国・地域の経済との関係を把握し、グローバル経済の行方を考察できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	テストの内容や解答方法については、授業の中で解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特定のテキストは使用しない。毎回の講義資料をラーニングポータル上に掲載するので、各自で取得しておくこと。	**ISBN**	なし
参考書	①現代アメリカ経済分析―理念・歴史・政策, 中本悟・宮崎礼二, 日本評論社, 2013年 ②アメリカ経済論入門　第2版, 宮田由紀夫・玉井敬人, 晃洋書房, 2018年 ③入門アメリカ経済Q＆A100, 坂出健・秋元英一・加藤一誠, 中央経済社, 2019年 ④現代アメリカ経済史 「問題大国」の出現, 谷口明丈・須藤功, 有斐閣, 2017年	**ISBN**	①9784535557604 ②9784771030343 ③9784502291913 ④9784641164925

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	15	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	0	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	35
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	50	**その他(%)**			
この科目の履修にあたって	講義資料や参考書を熟読して予習をするとともに、授業中には必ずノートを取ることが重要である。中間テストや定期試験に対応するには、講義内で示されるポイントを理解しておくことがカギとなるため、欠かさずに授業に出席することが求められる。また、普段から新聞やニュースを通して、アメリカの政治経済事情に触れておくと良いでしょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 講義の進め方や評価の方法を説明し、本講義で取り扱うアメリカ経済の主要なトピックスについて概説する。	講義資料に目を通して、学習する内容を把握しておくとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第2回	対面	アメリカ経済の土台となっている基本的な理念や政治との関係について説明する。	講義資料や参考書①「第1章　資本主義発展と遠ざかる建国の理念」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第3回	対面	アメリカ経済の発展の経緯をGDP統計と主要な経済イベントに着目して解説していく。	講義資料や参考書①「第2章　マクロ経済の展開と政策思想の変遷」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第4回	対面	産業構造の変化とその特徴について学んでいく。	講義資料や参考書①「第3章　産業構造の再編とその現段階」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間

第5回	対面	雇用環境と企業システムについて、主要な企業などにも注目して解説する。	講義資料や参考書①「第3章　産業構造の再編とその現段階」と「第5章　社会保障制度」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第6回	対面	アメリカ経済の大きな問題となっている格差と貧困の状況について学習する。	講義資料や参考書①「第4章　科学技術政策と教育政策」、「第5章　社会保障制度」、「第8章　低所得コミュニティの開発と金融」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第7回	対面	政策論争の中心的な課題となりやすい社会保障制度について学んでいく。	講義資料や参考書①「第5章　社会保障制度」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第8回	対面	アメリカの国家予算と財政状況について説明する。	講義資料や参考書①「第6章　オバマ政権と自由裁量的財政政策の復権」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第9回	対面	2008年に世界経済を揺るがした米国発の金融危機について解説する。	講義資料や参考書①「第7章　金融規制の政治経済学」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第10回	対面	連邦準備制度と金融政策について学習する。	講義資料や参考書①「第9章　金融システムとアンバンクト」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第11回	対面	貿易の状況と自由貿易協定（FTA）政策について概説する。	講義資料や参考書①「第11章　NAFTAと対ラテンアメリカFTA戦略」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第12回	対面	通商政策とその根幹をなす貿易戦略について学んでいく。	講義資料や参考書①「第10章　多極化のなかの通商政策」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第13回	対面	国際通貨制度とドルの機能について説明する。	講義資料や参考書①「第12章　グローバルな資金循環とドル体制の行方」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第14回	対面	日本とアメリカの経済関係について、これまでの経緯も含めて学んでいく。	講義資料や参考書①「終章　戦後日米経済関係」を熟読して予習を行うとともに、復習として、ノートに書き取った内容は読み返し、更に授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは追記して、ノートやファイルの整理を行いながら、講義の内容をまとめておくと良いでしょう。	4時間
第15回	オンデマンド	定期試験に向けて	定期試験に関する案内に沿って、各自で試験に向けた課題に取り組んでください。これまでの学習を通して学んだこと、分かったこと、発見したこと、難しかったこと、興味や関心を抱いたこと、などについて振り返りを行ってください。授業で学んだことや思ったこと、考えたことなどは、復習としてノートやファイルに整理して、まとめておくと良いでしょう。	4時間

科目名	ヨーロッパ経済論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	田畑　理一	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ヨーロッパ地域形成の歴史を踏まえた上で、ヨーロッパ経済統合とEU(ヨーロッパ連合)の現状について考察し、理解することを目的とする。		
授業の目的及び概要	この授業の目的は、狭義のヨーロッパ経済であるEUの成立とそのメカニズムの理解にあるが、それを知るための前提条件であるヨーロッパそのものの形成の歴史を踏まえておく必要があり、ギリシア・ローマにさかのぼるヨーロッパ文化とキリスト教文化、中世封建制からルネサンスを経て近代ヨーロッパの成立、産業革命から2つの世界大戦に至る歴史を骨子を知っておく必要がある。第2次大戦以降のEC(EUの前身)の成立からEUへの発展の背景にはソ連の崩壊という歴史的事件があり、EUは今日の27カ国(イギリスの離脱による)からなる経済統合を達成し、部分的には通貨統合と政治統合にまで進んでおり、この大きな歴史的流れを追いながら、EUの現状を知り、理解することを目的とする。		
履修の条件・注意	「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」や「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「経済政策概論」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	ヨーロッパ地域の形成(ギリシア、ローマ)から始まって、ヨーロッパにおける主権国家の成立と戦争の歴史を経て、ヨーロッパにおけるEU(欧州連合)の成立までの歴史を知った上で、その「拡大と深化」の歴史や超国家機関の経済制度の確立、共通通貨(ユーロ)の創出に至る過程と現状を知ること、これによって「就業力」を身に付けることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回コメントシートを配布し、その回の講義の中心的部分を書いた上で、自分の理解したことに対して意見を書く。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特にありません。	ISBN	なし
参考書	①『現代ヨーロッパ経済論』, 久保 広正、田中 友義, ミネルヴァ書房, 2011年 ②『EUの知識』, 藤井良弘著, 日経文庫, 2013年 ③『EU崩壊』, 木村正人, 新潮新書, 2013年	ISBN	①9784623058709 ②9784532112905 ③9784106105449

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	新聞でヨーロッパの記事を見かけたら読んでみてください。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス:通常考えられているヨーロッパとは何か、地理的、歴史的、文化的内見でのヨーロッパについて考える。狭い意味でのヨーロッパ経済とはEC、EU経済であるが、広い意味では、ロシア(ソ連を含む)、東欧諸国まで含む、EC、EUの発展を含んでいる。	参考書1、2の冒頭部分を読んでおいてもらいたい。	4時間
第2回	対面	ヨーロッパの歴史(1):古代ギリシヤ、古代ローマから中世封建制とカトリック、ルネサンス、絶対主義、市民革命あたりまでのヨーロッパの歴史について説明する。 農奴制と宗教改革。	参考書1、およびウェブサイト(たとえばwikipediaなどでもよい)でヨーロッパの歴史、キリスト教の歴史について読んでおく。	3時間
第3回	対面	ヨーロッパの歴史(2):ルネサンス、宗教改革、市民革命の続きを話す。これはヨーロッパにおける合理主義的思考の発展でもあることを説明する。	ウェブサイト(たとえばwikipediaなどでもよい)で宗教改革、市民革命(清教徒革命、名誉革命、フランス革命)について調べる。	3時間
第4回	対面	ヨーロッパの歴史(3):17～18世紀の市民革命とその後の国民国家の形成、産業革命、帝国主義の時代の列強の成立と戦争の時代。	ウェブサイト(たとえばwikipediaなどでもよい)で市民革命、産業革命、帝国主義について調べる。	3時間
第5回	対面	ロシア革命から第1次世界大戦、第2次世界大戦について説明する。第1次世界大戦の教訓からヨーロッパの政治、経済の統合の構想が生まれる。	参考書1と2でヨーロッパの政治・経済の統合構想についてみておく。	3時間
第6回	対面	ECの成立と発展(1):ECSC(ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体)、EURATOM(ヨーロッパ原子力共同体)、EEC(ヨーロッパ経済共同体)が発足。その後(1968年)EC(ヨーロッパ共同体)へ発展。	参考書1と2によってECSCの成立からECの成立までを見ておく。	4時間
第7回	対面	ECの成立と発展(2):通貨調整メカニズムおよびECUの発足。EC統合の拡大と深化。市場統合の進展。12カ国体制へ。	参考書1と2によって1960年代から1980年代までのECの発展を見ておく。	4時間

第8回	対面	ECの成立と発展（3）：市場統合の開始と完成（1987年から1992年末）。ECからEUへ（マーストリヒト条約の締結と通貨統合の開始）	参考書1と2によって1980年代から1990年代前半を見ておく。市場統合完成の持つ意味の重要性を理解すること。	4時間
第9回	対面	ロシア革命とソ連の成立：第1次世界大戦中のロシア革命（社会主義革命へ）。ソ連成立からスターリン独裁体制の成立。	ウェブサイト（たとえばwikipediaなどでもよい）でロシア革命とスターリン独裁体制について参照。	3時間
第10回	対面	戦後の東欧諸国の社会主義化と冷戦体制：ソ連の復興と東欧諸国への社会主義の拡大。ヨーロッパにおける冷戦体制の成立、ドイツの東西への分断。	ウェブサイト（たとえばwikipediaなどでもよい）で戦後の冷戦体制について参照。	3時間
第11回	対面	ペレストロイカとソ連崩壊、東欧のソ連からの）解放：社会主義の行き詰まりとペレストロイカ。冷戦の終焉とソ連崩壊へ。東欧諸国のソ連からの解放。東欧諸国の市場経済への移行。	ウェブサイト（たとえばwikipediaなどでもよい）でペレストロイカ、冷戦の終焉、ソ連崩壊について参照。	4時間
第12回	対面	東欧諸国の市場経済移行とEUへの加盟：旧ソ連諸国および中東欧諸国の市場経済への移行。中東欧諸国のEUへの加盟。	参考書1と2によって中東欧諸国のEUへの加盟を参照。	3時間
第13回	対面	拡大EUとロシア、CIS体制へ：2004年、2007年の旧社会主義国のEU加盟とEU諸国金融機関の中東欧への金融支配へ。	参考書1と2によって拡大EUの実態を確認。	4時間
第14回	対面	リーマン・ショックとユーロ危機：リーマン・ショックによるEUの金融危機。ギリシアの財政・金融危機の深刻化とEUの動揺。ギリシア支援とユーロ危機。EUの不安定化。	ウェブサイト（たとえばwikipediaなどでもよい）でリーマン・ショック、ギリシア危機、ギリシア支援、ユーロ危機について参照。	4時間
第15回	オンデマンド	イギリスのEU離脱とEUの動揺。中東からの移民問題。	授業を参考にして、ウェブサイト（たとえばwikipediaなどでもよい）を使ってイギリスのEU離脱について理解する。	4時間

科目名	ロシア経済論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	田畑　理一	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	アメリカ、EU、中国とともに、現在の世界政治の主要なプレイヤーの一つであるロシアの経済と政治を考察する。主要な論点は、社会主義計画経済、ソ連崩壊と市場経済化、国家資本主義体制の成立である。		
授業の目的及び概要	この授業では、ロシア及び東欧諸国の経済の歴史、現状および課題について学修する。具体的には、まず20世紀のロシア・東欧諸国における社会主義体制の成立と崩壊、体制転換という歴史的事象について解説する。また、これらの国々におけるその後の市場経済化の経緯について理解する。さらに、これらを通して、ロシア・東欧経済と日本経済やアメリカ経済、中国経済等との関係も含め、現代の世界経済に対する視野を広げることを目標とす		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	この授業では、ロシアおよび東欧諸国の経済の歴史、現状及び課題について学修する。具体的には、① 20世紀のロシア・東欧諸国における社会主義体制の成立と崩壊、体制転換という歴史的事象について知ること、② これらの国々におけるその後の市場経済化の経緯について理解を深めること、そして③ これらを通して、現代の世界経済に対する視野を広げることができる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	毎回の講義の際にコメントシートに講義の中心的な論点を書くこと。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	特にありません。	ISBN	なし
参考書	①『現代ロシア経済論』, 溝端佐登史ほか著, ミネルヴァ書房, 2011年	ISBN	①9784623060368

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	30	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	0	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	20世紀は社会主義と戦争の時代と言われているが、学生諸君には1917年のロシア社会主義革命以降のロシアおよびソ連、第2次大戦以降の米ソ冷戦、ソ連崩壊後の市場経済化、プーチン以降の強権体制の成立と軍事大国の復活、ウクライナのクリミア半島の併合をめぐる米欧日の制裁発動の長期化といった近年のロシアと世界の政治経済の動きにも興味を持ってほしいと考える。近年の世界の大きなプレイヤーは米欧日と中国、ロシアである。ロシア経済および国内事情を見る場合には世界情勢への興味を背景に持っておく必要があると思われる。本講義の主要な内容はソ連崩壊後のロシア経済の考察にあるが、ロシア帝政以来のロシア史を講義冒頭で説明する予定である。現代ロシアの考察の場合、ロシアの歴史に関する知識は不可欠である。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	1985年3月ゴルバチョフのソ連共産党書記長就任、その後1986年末からのペレストロイカ発動による改革とソ連体制の動揺、冷戦体制の終焉、保守派のクーデターについて学修する。	第一回目の講義の際に小論文(以下では田畑第一論文と呼ぶ)を配布し、講義の内容を理解し、確認してもらう。	4時間
第2回	対面	1991年8月19日のソ連保守派のクーデター勃発とエリツィン派及び改革派の反撃によるクーデター失敗、その後のエリツィンの実権掌握によるソ連崩壊への道筋について学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第3回	対面	ソ連崩壊直後の1992年初めからの新生ロシアでの市場経済への移行(いわゆるショック療法)の開始の過程について学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第4回	対面	1992年初めからのロシア全国民へのバウチャー(いわゆる民営化小切手)の配布とバウチャーによる民営化(いわゆる無償民営化)、1995年からの有償民営化について学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第5回	対面	1992年初期からの自由化政策、1995年から始まった超引き締め政策(コリドール制、超通貨高政策)、財政赤字と短期国債(GKO)依存について学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第6回	対面	超引き締め政策の帰結としての経済のバーター化、現物経済化の実態について学修する。ロシアのバーター経済化をモデル化したバーチャル・エコノミー論についても学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第7回	対面	バウチャー民営化、その後の担保付き民営化の過程を通じて蓄財、資源関連産業、有望製造業企業を手に入れ、一種の財閥(金融・産業グループと呼ばれる)を形成した「オリガルヒ」について学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間

第8回	対面	コリドール制を初めとする超引き締め政策の帰結でもあり、1997年のアジア危機の帰結でもあるロシアのいわゆる「8月危機」(1998年8月)の発生とその帰結について学修する。	田畑第一論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第9回	対面	「8月危機」後のロシアを初めとするCIS諸国の経済成長について学修する。田畑論文(以下、田畑第二論文と呼ぶ)を配布する。	田畑第二論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第10回	対面	2000年以降のロシア経済の長期にわたる高度経済成長過程について学修する。	田畑第二論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第11回	対面	ロシアの高度成長の過程で露呈した資源依存経済化といわゆる「オランダ病」、好調な経済の成果である巨額の外貨の蓄積(安定化基金)について学修する。田畑論文(田畑第三論文と呼ぶ)を配布する。	田畑第三論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第12回	対面	好調な経済を背景とした強権的なプーチン体制の確立、エリツィン時代のオリガルヒの抑圧と再国有化、言論封殺化、総じて、いわゆる「国家資本主義」の成立について学修する。	田畑第三論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第13回	対面	2008年8月の対グルジア戦争、9月のリーマンショックによって多額の外貨流出、その後の大幅マイナス成長と資源依存経済のもろさを露呈したロシア経済の実態について学修する。	田畑第三論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第14回	対面	2014年の原油価格の急落とウクライナのクリミア併合への米欧日の経済制裁の影響によるロシア経済の低迷。政治の強権化と軍事力の強化と今後の展望。	田畑第三論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間
第15回	オンデマンド	これまでの講義内容の総括。	田畑第三論文および参考書(『現代ロシア経済』)、その他の資料で講義内容およびを確認すること。	4時間

科目名	ビジネス統計	**開講年度**	2023年度春学期
担当者	金子　治平	**配当年次**	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	**単位数**	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	ビジネスを取り巻く状況を，統計資料から多角的に把握しよう.		
授業の目的及び概要	ビジネスでは，起業・事業の展開・維持・発展という様々な場面でデータを活用し，客観的な推論と判断をおこなうことが必要です. 世の中にはデータが溢れていますが，その作成にはコストと手間がかかります. したがって，必ずしもすべてのデータが整備されているわけではないし，無料で活用できるわけでもありません. この授業では，まず行政機関や民間調査機関が整備した統計資料の所在や活用上の注意事項を理解します. さらに，データに基づく推論や意思決定に必要な統計学の知識についても学修すます. 授業の目的は、ビジネスの様々な場面で，データを活用して役立てることと，さまざまな分野の統計データから，国内や世界の現状を認識することです.		
履修の条件・注意	ー		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1. 人口，家計，食料，物価，労働，産業統計，企業，国民経済，景気，国際収支などビジネスに関わる統計資料について，その所在を検索し，入手できるようにすること. 2. ビジネスに関わる統計資料について，整備状況と分析上の注意事項を理解し，的確に現状を把握できるようになること. 3. Excelを用いて簡単な統計処理を行い，大学でのレポート作成やビジネスの現場での活用方法を体得すること.		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	提出された疑問点などを翌週の授業で紹介し、質問への回答や補足説明を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み			
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	適宜，授業支援システム「Learning Portal」にアップロードします.	**ISBN**	なし
参考書	御園謙吉・良永康平編著(2011)『よくわかる統計学Ⅱ 経済統計編』ミネルヴァ書房 その他，https://www.e-stat.go.jp/ などのWebページ	**ISBN**	978-4623061129

成績評価の方法・基準	**授業への積極的な参加度・取組み(%)**	10	**授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)**	60	**成果発表(口頭・実技)(%)**	0	**中間試験(%)**	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	**【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)**	0	**その他(%)**	30	定期試験期間中に，筆記及び実技での試験を行います.	

この科目の履修にあたって	時間的余裕がないので，MS-EXCELの使い方は講義時間中だけでは習得できません. 初歩的なMS-EXCELの操作は，教科書を使用したり入門書やヘルプを読んだりして，各自で習得してくれることを求めます.
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス MS-EXCELの初歩	事後学習として，講義内容を整理するとともに，授業で行ったMS-EXCELの操作を各自で行ってみてください.	4時間
第2回	対面	MS-EXCELの基本的な使い方(1) 世界各国の年齢階級別人口の推移，年齢階級別人口割合の変化，及びそれらのグラフ化などを行います. MS-EXCELでの，相対参照，絶対参照についても学びます.	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください. 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください.	4時間
第3回	対面	MS-EXCELの基本的な使い方(2) データの必要な部分だけを使用して作表し，適切な罫線を入れたり整形したりすることを学びます.	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください. 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください.	4時間
第4回	対面	『統計年鑑』Statistical Yearbookにどのような統計データが掲載されているのかを学びます. また，国連統計部などのウェブサイトから，世界各国の人口などを入手することを学びます.	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください. 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください.	4時間
第5回	対面	日本の「政府統計の総合窓口」https://www.e-stat.go.jpから，国勢調査 Population Censusのデータをダウンロードし，複数年次の年齢階級別人口の表を作成することを学びます.	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください. 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください.	4時間

第6回	対面	人口動態統計Vital Statisticsのデータを入手し，前回のデータと合わせて，簡易的な将来人口推計を行う手順を学びます．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第7回	対面	与えられたデータからヒストグラムを作成すること，平均，標準偏差，分散，変動係数を理解し求めることを学びます．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第8回	対面	日本の家計調査の統計結果を使用して，地域による食料購入量の偏りやその変化を示すような表を作成します． また，表から何がわかるのかを学びます．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第9回	対面	相関図と相関係数を学びます． 具体例として，家計調査結果の消費支出と食費の関係について，相関図を作成したり相関係数を求めたりします．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第10回	対面	簡単な回帰分析を行う方法と，その読み取り方を学びます． 具体例として，家計調査結果の消費支出と食費の関係について回帰分析を行います．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第11回	対面	増加率や寄与度について学びます． 具体例として，国民経済計算の経済活動別就業者数・雇用者数を事例として，就業者と雇用者の違いを理解するとともに，増加率や寄与度を求めます．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第12回	対面	特化係数を学びます． 具体例として，経済センサス活動調査結果を使用して，事業所と企業の違いを理解するとともに，都道府県別産業別従業者の特化係数を求め，その意味を説明します．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第13回	対面	移動平均を学ぶとともに，国際収支統計のうち貿易収支について学びます． 具体例として，日本の国際収支総括表の月次データを使用します．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第14回	対面	MS-EXCELのさまざまな関数やピボットテーブルの使い方を学びます． 具体例として，生年月日や血液型を含む個人別データから，年齢階級別や血液型別の人数を求めます．	事前学習として，前回までの講義や実習の内容をしっかりと理解してください． 事後学習として，講義内容を整理・復習するとともに，実習課題のMS-EXCELファイル作成をおこない，必ず提出してください．	4時間
第15回	オンデマンド	講義で取り上げたMS-EXCELの基本的な使い方や関数を整理します． また，どこにどのようなデータがあったかについても整理します．	事前学習として，これまでの授業で理解できていない箇所を掘り下げ，よく復習しておくようにしてください． 事後学習として，授業内容を整理・復習してください．	4時間

科目名	国際経営論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際経営における全般的な内容を学修します。		
授業の目的及び概要	この授業は、国際経営の基礎理論及び国際経営環境の基礎知識を修得することを目標とする。具体的には、多国籍企業の歴史、企業の国際化の理論、M&A(合併と買収)戦略、国際戦略的提携、企業経営の職能からの国際化理論(国際経営戦略、マーケティング戦略、ロジスティクス戦略、組織戦略、人的資源戦略、海外生産・研究開発戦略等)といった国際経営の中心的な課題について考察し、多国籍企業の経営行動の理解を深める。また、各国固有の文化や慣習、政治体制といった進出先の経営環境等についても具体事例から解説する。		
履修の条件・注意	「国際ビジネス概論」や「経営管理論＜経営管理概論＞」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際経営の全体構造を説明できる。 ・多国籍企業について説明できる。 ・貿易取引の流れを説明できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行うこととする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連の情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行います。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	企業の国際化について解説します。	【予習】事前学修として、企業の国際化について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	対面	国際ビジネスの歴史について解説します。	【予習】事前学修として、国際ビジネスの歴史と事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	対面	多国籍企業について解説します。	【予習】事前学修として、多国籍企業と事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	対面	輸入取引における取引全体の流れを解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	対面	輸出取引における取引全体の流れを解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	対面	直接投資と間接投資について解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	対面	M&A戦略について解説します。	【予習】事前学修として、M&A戦略と事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	対面	日本のFTA（自由貿易協定）について解説します。	【予習】事前学修として、日本のFTA（自由貿易協定）について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	対面	国際比較経営について解説します。	【予習】事前学修として、国際比較経営について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	対面	グローバル競争戦略について解説します。	【予習】事前学修として、グローバル競争戦略について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	対面	国際マーケティングについて解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	対面	国際マーケティングについて解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	対面	国際経営の事例について解説します。	【予習】事前学修として、国際経営の事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	対面	講義内容の総括をします。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	国際経営論	開講年度	2023年度春学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G2		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	国際経営の全体把握		
授業の目的及び概要	この授業は、国際経営の基礎理論及び国際経営環境の基礎知識を修得することを目標とする。具体的には、多国籍企業の歴史、企業の国際化の理論、M&A(合併と買収)戦略、国際戦略的提携、企業経営の職能からの国際化理論(国際経営戦略、マーケティング戦略、ロジスティクス戦略、組織戦略、人的資源戦略、海外生産・研究開発戦略等)といった国際経営の中心的な課題について考察し、多国籍企業の経営行動の理解を深める。また、各国固有の文化や慣習、政治体制といった進出先の経営環境等についても具体事例から解説する。		
履修の条件・注意	「国際ビジネス概論」や「経営管理論＜経営管理概論＞」を履修していることが望ましい。		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・国際経営の全体構造を説明できる。 ・多国籍企業について説明できる。 ・貿易取引の流れを説明できる。		
授業の方法	この科目は遠隔授業で行われます。詳細についてはLearning Portalを確認してください。		
フィードバックの方法	小レポートについては、授業中に解説及び講評を行うこととする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	70	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	0	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連の情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	オンデマンド	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行います。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	企業の国際化について解説します。	【予習】事前学修として、企業の国際化について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	オンデマンド	国際ビジネスの歴史について解説します。	【予習】事前学修として、国際ビジネスの歴史と事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	オンデマンド	多国籍企業について解説します。	【予習】事前学修として、多国籍企業と事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	オンデマンド	輸入取引における取引全体の流れを解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	オンデマンド	輸出取引における取引全体の流れを解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	オンデマンド	直接投資と間接投資について解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	オンデマンド	M&A戦略について解説します。	【予習】事前学修として、M&A戦略と事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	オンデマンド	日本のFTA（自由貿易協定）について解説します。	【予習】事前学修として、日本のFTA（自由貿易協定）について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	オンデマンド	国際比較経営について解説します。	【予習】事前学修として、国際比較経営について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	オンデマンド	グローバル競争戦略について解説します。	【予習】事前学修として、グローバル競争戦略について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	オンデマンド	国際マーケティングについて解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	オンデマンド	国際マーケティングについて解説します。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	オンデマンド	国際経営の事例について解説します。	【予習】事前学修として、国際経営の事例について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	オンデマンド	講義内容の総括をします。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	外国為替論	開講年度	2023年度春学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	外国為替における理論を基に相場変動要因について学修します。		
授業の目的及び概要	この授業では、外国為替の基礎的な知識である外国為替相場の構造と変動要因、為替リスクに対する知識と対処方法について理解することを目標とする。また、外国為替の基礎的な知識に基づき、国際収支、デリバティブ、国際通貨体制等についても解説する。授業では、世界主要国の国際収支のインバランス問題及び近年の世界金融危機、ユーロ危機等の国際通貨情勢に関する事例を取り上げながら理解を深める。また、為替相場の変動が、物価水準や雇用、生産高、所得等に与える影響についても解説する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・外国為替相場の構造と変動要因が説明できる。 ・為替リスクに対する知識と対処方法について説明できる。 ・為替がおよぼす経済的な行かを説明できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な金融・貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにして下さい。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連の情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修することが、復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行う。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、外国為替論を受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	外国為替の基本と相場について具体的に解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	対面	外国為替取引と相場の構造について具体的に解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	対面	外国為替と通貨特性の関係について具体的な事例をもとに解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	対面	外国為替相場の変動要因について具体的に解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	対面	外国為替の基礎知識から具体的な外国為替相場予測について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	対面	為替のリスク回避策として持高管理について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	対面	外為法規制の歴史的変遷から日本版金融ビックバンと今日の状況について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	対面	貿易実務の観点から輸入取引と外国為替について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	対面	貿易実務の観点から信用状取引について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	対面	為替のリスク回避策として為替予約について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	対面	貿易実務の観点から輸出取引と外国為替について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	対面	為替のリスク回避策としてインパクトローンと外貨預金について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	対面	外国為替の基礎知識から金融の国際化と外国為替の関係について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第6章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行う。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	外国為替論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	外国為替における理論を基に相場変動要因について学修します。		
授業の目的及び概要	この授業では、外国為替の基礎的な知識である外国為替相場の構造と変動要因、為替リスクに対する知識と対処方法について理解することを目標とする。また、外国為替の基礎的な知識に基づき、国際収支、デリバティブ、国際通貨体制等についても解説する。授業では、世界主要国の国際収支のインバランス問題及び近年の世界金融危機、ユーロ危機等の国際通貨情勢に関する事例を取り上げながら理解を深める。また、為替相場の変動が、物価水準や雇用、生産高、所得等に与える影響についても解説する。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	・外国為替相場の構造と変動要因が説明できる。 ・為替リスクに対する知識と対処方法について説明できる。 ・為替がおよぼす経済的な行かを説明できる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行います。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な金融・貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにして下さい。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連の情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修することが、復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行う。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、外国為替論を受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	外国為替の基本と相場について具体的に解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	対面	外国為替取引と相場の構造について具体的に解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	対面	外国為替と通貨特性の関係について具体的な事例をもとに解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	対面	外国為替相場の変動要因について具体的に解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	対面	外国為替の基礎知識から具体的な外国為替相場予測について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	対面	為替のリスク回避策として持高管理について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第2章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	対面	外為法規制の歴史的変遷から日本版金融ビックバンと今日の状況について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第5章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	対面	貿易実務の観点から輸入取引と外国為替について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	対面	貿易実務の観点から信用状取引について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	対面	為替のリスク回避策として為替予約について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	対面	貿易実務の観点から輸出取引と外国為替について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	対面	為替のリスク回避策としてインパクトローンと外貨預金について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	対面	外国為替の基礎知識から金融の国際化と外国為替の関係について解説を行う。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第6章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行う。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	貿易金融論	開講年度	2023年度春学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	貿易金融における実務的な対応について学修します。		
授業の目的及び概要	この授業は、貿易における金融取引の制度や仕組を理解させることを目的とする。そのために、国内取引とは異なる諸規則や商慣習を前提とした、国際商取引に関する契約や規則、商慣習等の知識を修得させる。具体的には、貿易取引の各段階を説明し、一連の貿易取引(信用状ベース取引、信用状なし取引、送金ベース取引等)の流れを把握したのち、各取引での資金需要に対する対応策について解説する。また、実際の貿易金融における事例等を取り上げて理解を深める。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	わが国は、天然資源に恵まれないため、資源を輸入し、付加価値を付け、輸出することで、大きな経済成長を遂げてきた。日本の企業構造に注目すると、経済の活性化には、中小企業の活性化策を検討することが必要不可欠である。この授業は、貿易における金融取引の制度や仕組を理解させることを目的とする。そのために、国内取引とは異なる諸規則や商慣習を前提とした、国際商取引に関する契約や規則、商慣習等の知識を修得させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行うこととする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連の情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行う。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	日本経済の歴史とデビッド・リカードが提唱した比較優位論から貿易の役割について解説する。	【予習】事前学修として、日本経済の歴史とデビッド・リカードが提唱した比較優位論について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	対面	貿易取引に欠かせない外国為替の基本構造と為替変動要因について解説する。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	対面	貿易取引に欠かせない外国為替の基本と国や企業に与える影響について解説する。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	対面	輸入取引における信用状の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	対面	信用状ベース取引とそれに付随する輸入金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金に付随する輸入金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	対面	輸出取引における信用状の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	対面	信用状ベース取引とそれに付随する輸出金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金に付随する輸出金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	対面	長期輸入為替予約の企業会計における問題について、実際の裁判事例を基に解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	対面	貿易取引の電子化問題と貿易金融EDIの現状と課題について解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行う。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

科目名	貿易金融論	開講年度	2023年度秋学期
担当者	高砂　謙二	配当年次	34
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2単位
		授業形態(方法)	講義
グレード	G3		
科目区分	国際学部専門教育科目		
テーマ	貿易金融における実務的な対応について学修します。		
授業の目的及び概要	この授業は、貿易における金融取引の制度や仕組を理解させることを目的とする。そのために、国内取引とは異なる諸規則や商慣習を前提とした、国際商取引に関する契約や規則、商慣習等の知識を修得させる。具体的には、貿易取引の各段階を説明し、一連の貿易取引(信用状ベース取引、信用状なし取引、送金ベース取引等)の流れを把握したのち、各取引での資金需要に対する対応策について解説する。また、実際の貿易金融における事例等を取り上げて理解を深める。		
履修の条件・注意	―		
DPとの関連	本科目と学位授与の方針(DP)との関連については、以下のURLから確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	わが国は、天然資源に恵まれないため、資源を輸入し、付加価値を付け、輸出することで、大きな経済成長を遂げてきた。日本の企業構造に注目すると、経済の活性化には、中小企業の活性化策を検討することが必要不可欠である。この授業は、貿易における金融取引の制度や仕組を理解させることを目的とする。そのために、国内取引とは異なる諸規則や商慣習を前提とした、国際商取引に関する契約や規則、商慣習等の知識を修得させる。		
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。		
フィードバックの方法	小テストについては、授業中に解説及び講評を行うこととする。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目	本科目の担当教員は、金融機関において営業店や外国部、審査部、経営企画等で16年間勤務し、銀行業務全般や国際業務(外国為替リーディング業務、外為与信審査業務、国際経営・貿易相談業務、輸出入貿易書類点検業務)、法務・市場調査・広報等の実務経験を積んできた。本科目では、国際的なマーケットの実態や外国為替相場の特性などについて、こうした実務経験を活かして解説するなど、実践的な教育を行う。		
テキスト	テキストは指定しないものの、事前に基礎的な貿易関連知識等は参考書等で事前学修することが望まれる。	ISBN	なし
参考書	①外国為替・国際金融入門＜第2版＞, 川本明人, 中央経済社,2018年 ②基本貿易実務,来住哲二,同文舘出版,2004年	ISBN	①4502269514 ②4495677128

成績評価の方法・基準								
	授業への積極的な参加度・取組み(%)	0	授業期間中の小テスト、レポート課題等(%)	30	成果発表(口頭・実技)(%)	0	中間試験(%)	0
	【定期試験】レポート試験(%)	0	【定期試験】筆記試験(WEB試験含む)(%)	70	その他(%)			

この科目の履修にあたって	この授業では専用のノートを必携し、必要に応じてメモを取るようにすること。また、近年の事例を取り上げるため、常日頃から新聞・ニュース等で関連の情報収集に努めること。また、事前に基礎的な関連知識等は参考書等で事前学修すること。復習については講義ノートで授業外の学修を行うことが望まれる。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、Universal Passportの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	対面	講義の概要と今後の授業の進め方について説明を行う。	【予習】事前学修として、この科目のシラバスを読み込むとともに、受講するにあたってのポイントについて確認しておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業での説明部分について、ノートを読み返し、あらためてポイントになるところは何かを考えながら復習して下さい。	4時間
第2回	オンデマンド	日本経済の歴史とデビッド・リカードが提唱した比較優位論から貿易の役割について解説する。	【予習】事前学修として、日本経済の歴史とデビッド・リカードが提唱した比較優位論について各自で調べ、わからない所がないようにしておいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第3回	対面	貿易取引に欠かせない外国為替の基本構造と為替変動要因について解説する。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第4回	対面	貿易取引に欠かせない外国為替の基本と国や企業に与える影響について解説する。	【予習】事前学修として、参考書『外国為替・国際金融入門』の第1章を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第5回	対面	輸入取引における信用状の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間

第6回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第7回	対面	信用状ベース取引とそれに付随する輸入金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第8回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金に付随する輸入金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第2編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第9回	対面	輸出取引における信用状の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第10回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金の仕組みと役割、取引全体の流れを解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第11回	対面	信用状ベース取引とそれに付随する輸出金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第12回	対面	信用状なしの取引(D/P,D/A)と外国送金に付随する輸出金融の種類と仕組みについて解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第1編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第13回	対面	長期輸入為替予約の企業会計における問題について、実際の裁判事例を基に解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第14回	対面	貿易取引の電子化問題と貿易金融EDIの現状と課題について解説する。	【予習】事前学修として、参考書『基本貿易実務』の第3編を事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間
第15回	対面	授業全体の総括を行う。	【予習】事前学修として、あらためて参考書の当該部分、ノートを事前に読んでおいて下さい。 【復習】事後学修として、授業で確認された重要ポイントを中心に参考書、ノートを読み返し、復習して下さい。	4時間